2019年度
Aセメスター(A1･A2)
科目紹介

東京大学教養学部前期課程

平成31年度　教養学部前期課程 授業等日程

◆９月～１月　授業等日程

●授業期間　9月24日(火)　～　1月31日(金)

●授業休止日
11月21日(木) 全日：駒場祭準備のため
11月22日(金) 全日：駒場祭のため
11月25日(月) 午前：駒場祭片付けのため
1月17日(金) 午後：大学入試センター試験準備のため

●祝休日等利用日
11月16日(土) 全日：A1ターム定期試験のため

〔セメスター科目〕

◎授業日（Ａセメスター）　※12/24、12/25午前、1/6午後、1/14～1/16はセメスター科目の授業はなし

		第１回	第２回	第３回	第４回	第５回	第６回	第７回	第８回	第９回	第１０回	第１１回	第１２回	第１３回
月曜日	AM	9/30	10/7	10/21	10/28	11/7	11/11	11/13	11/18	12/2	12/9	12/16	12/23	1/6
	PM									11/25	12/2	12/9	12/16	12/23
火曜日	AM PM	9/24	10/1	10/8	10/15	10/29	11/5	11/12	11/19	11/26	12/3	12/10	12/17	1/7
水曜日	AM PM	9/25	10/2	10/9	10/16	10/23	10/30	11/6	11/20	11/27	12/4	12/11	12/18	1/8
木曜日	AM PM	9/26	10/3	10/10	10/17	10/24	10/31	11/14	11/28	12/5	12/12	12/19	12/26	1/9
金曜日	AM PM	9/27	10/4	10/11	10/18	10/25	11/1	11/8	11/29	12/6	12/13	12/20	12/27	1/10

○振替授業日
11月7日(木) は、木曜日の授業は行わずに月曜日の授業を行う。
11月13日(水) は、水曜日の授業は行わずに月曜日の授業を行う。

○補講日
11月15日(金) 全日　　1月17日(金) 午前
12月25日(水) 午後　　1月20日(月)　～　1月21日(火)

○定期試験　1月22日(水)　～　1月31日(金)　※土・日を除く。

〔ターム科目〕

◎授業日（Ａ１ターム）

週1コマ		第１回	第２回	第３回	第４回	第５回	第６回	第７回
月曜日	AM PM	9/30	10/7	10/21	10/28	11/7	11/11	11/13
火曜日	AM PM	9/24	10/1	10/8	10/15	10/29	11/5	11/12
水曜日	AM PM	9/25	10/2	10/9	10/16	10/23	10/30	11/6
木曜日	AM PM	9/26	10/3	10/10	10/17	10/24	10/31	11/14
金曜日	AM PM	9/27	10/4	10/11	10/18	10/25	11/1	11/8

週2コマ		第１回	第２回	第３回	第４回	第５回	第６回	第７回	第８回	第９回	第１０回	第１１回	第１２回	第１３回
月・木曜日	AM PM	9/26	9/30	10/3	10/7	10/10	10/17	10/21	10/24	10/28	10/31	11/7	11/11	11/13
火・金曜日	AM PM	9/24	9/27	10/1	10/4	10/8	10/11	10/15	10/18	10/25	10/29	11/1	11/5	11/8

○振替授業日
11月7日(木) は、木曜日の授業は行わずに月曜日の授業を行う。
11月13日(水) は、水曜日の授業は行わずに月曜日の授業を行う。

○補講日　11月15日(金) 全日

○定期試験　11月16日(土)

◎授業日（Ａ２ターム）

週1コマ		第１回	第２回	第３回	第４回	第５回	第６回	第７回
月曜日	AM	11/18	12/2	12/9	12/16	12/23	12/25	1/6
	PM		11/25	12/2	12/9	12/16	12/23	
火曜日	AM PM	11/19	11/26	12/3	12/10	12/17	1/7	1/14
水曜日	AM PM	11/20	11/27	12/4	12/11	12/18	1/8	1/15
木曜日	AM PM	11/28	12/5	12/12	12/19	12/26	1/9	1/16
金曜日	AM PM	11/29	12/6	12/13	12/20	12/24	12/27	1/10

週2コマ		第１回	第２回	第３回	第４回	第５回	第６回	第７回	第８回	第９回	第１０回	第１１回	第１２回	第１３回
月・木曜日	AM	11/18	11/28	12/2	12/5	12/9	12/12	12/16	12/19	12/23	12/25	12/26	1/6	1/9
	PM		11/25	11/28	12/2	12/5	12/9	12/12	12/16	12/19	12/23			
火・金曜日	AM PM	11/19	11/26	11/29	12/3	12/6	12/10	12/13	12/17	12/20	12/24	12/27	1/7	1/10

○振替授業日
12月24日(火) は、火曜日の授業は行わずに金曜日の授業を行う。
12月25日(水) 午前は、水曜日の授業は行わずに月曜日の授業を行う。

○補講日
12月25日(水) 午後　　1月20日(月)　～　1月21日(火)
1月17日(金) 午前

○定期試験　1月22日(水)　～　1月31日(金)　※土・日を除く。

授業時間(105分)				定期試験時間(90分)			
1時限	8時30分	～	10時15分	1時限	8時40分	～	10時10分
2時限	10時25分	～	12時10分	2時限	10時35分	～	12時05分
3時限	13時00分	～	14時45分	3時限	13時10分	～	14時40分
4時限	14時55分	～	16時40分	4時限	15時05分	～	16時35分
5時限	16時50分	～	18時35分	5時限	17時00分	～	18時30分
6時限	18時45分	～	20時30分	6時限	18時55分	～	20時25分

2019年度　教養学部前期課程事務手続き等日程

＊ 日程を変更する場合UTAS・掲示板等で発表しますので、最新情報を必ず確認するようにしてください。

【1年生】

2019年	3月 28日(木)	～	29日(金)	新入生入学諸手続・Sセメスター時間割配付
	4月 1日(月)	～	4月 2日(火)	新入生学部ガイダンス
	15日(月)	～	5月 7日(火)	Sｾﾒｽﾀｰ/S1ﾀｰﾑ要履修許可科目登録
	4月 19日(金)	～	4月 23日(火)	Sｾﾒｽﾀｰ/S1・S2ﾀｰﾑ履修科目登録
	26日(金)	～	5月 7日(火)	Sｾﾒｽﾀｰ/S1・S2ﾀｰﾑ履修科目確認・訂正期間
	6月 13日(木)	～	6月 18日(火)	S2ﾀｰﾑ要履修許可科目登録
	13日(木)	～	18日(火)	S2ﾀｰﾑ履修科目確認・訂正期間
	7月 5日(金)			S1ﾀｰﾑ成績発表
	7月 5日(金)	～	7月 8日(月)	S1ﾀｰﾑ成績確認・成績評価の確認願受付
	8月 1日(木)	～	8月 9日(金)	Sｾﾒｽﾀｰ/S1・S2ﾀｰﾑ受験資格A追試験願受付[窓口]
	9月 10日(火)			Sｾﾒｽﾀｰ/S2ﾀｰﾑ成績発表
	10日(火)	～	9月 11日(水)	Sｾﾒｽﾀｰ/S2ﾀｰﾑ成績確認・成績評価の確認願受付
	10日(火)	～	12日(木)	Sｾﾒｽﾀｰ/S1・S2ﾀｰﾑ受験資格C追試験願登録
	17日(火)	～		Aセメスター時間割配付
	10月 2日(水)	～	10月 18日(金)	Aｾﾒｽﾀｰ/A1ﾀｰﾑ要履修許可科目登録
	9日(水)	～	11日(金)	Aｾﾒｽﾀｰ/A1・A2ﾀｰﾑ履修科目登録
	15日(火)	～	18日(金)	Aｾﾒｽﾀｰ/A1・A2ﾀｰﾑ履修科目確認・訂正期間
	24日(木)	～	25日(金)	Sｾﾒｽﾀｰ/S1・S2ﾀｰﾑ追試験成績確認・成績評価の確認願受付[窓口]
	11月 29日(金)	～	12月 12日(木)	進学選択各学部ガイダンス
	11月 29日(金)	～	12月 13日(金)	A2ﾀｰﾑ要履修許可科目登録
	12月 9日(月)	～	12月 13日(金)	A2ﾀｰﾑ履修科目確認・訂正期間
2020年	1月 30日(木)	～	2月 5日(水)	Aｾﾒｽﾀｰ/A1・A2ﾀｰﾑ受験資格A追試験願受付[窓口]
	3月 12日(木)			Aｾﾒｽﾀｰ/A1・A2ﾀｰﾑ成績発表
	12日(木)	～	3月 13日(金)	Aｾﾒｽﾀｰ/A1・A2ﾀｰﾑ成績確認・成績評価の確認願受付
	12日(木)	～	18日(水)	自主留年届受付[窓口]

【2年生】

2019年	3月 28日(木)	～		Sセメスター時間割配付
	4月 3日(水)	～	4月 5日(金)	Aｾﾒｽﾀｰ/A1・A2ﾀｰﾑ受験資格C追試験願登録
	15日(月)	～	5月 7日(火)	Sｾﾒｽﾀｰ/S1ﾀｰﾑ他クラス聴講・要履修許可科目登録
	16日(火)	～	4月 18日(木)	Sｾﾒｽﾀｰ/S1・S2ﾀｰﾑ履修科目登録
	26日(金)	～	5月 7日(火)	Sｾﾒｽﾀｰ/S1・S2ﾀｰﾑ履修科目確認・訂正期間
	5月 15日(水)	～	16日(木)	Aｾﾒｽﾀｰ/A1・A2ﾀｰﾑ追試験成績確認・成績評価の確認願受付
	6月 5日(水)	～	6月 11日(火)	「物性化学」「生命科学(理一生対象)」受験資格A追試験願登録[窓口]
	13日(木)	～	18日(火)	S2ﾀｰﾑ他クラス聴講・要履修許可科目登録
	13日(木)	～	18日(火)	S2ﾀｰﾑ履修科目確認・訂正期間
	20日(木)			S1ﾀｰﾑ成績発表
	20日(木)	～	21日(金)	S1ﾀｰﾑ成績確認・成績評価の確認願受付
	20日(木)	～	24日(月)	「物性化学」「生命科学(理一生対象)」受験資格C追試験願登録
	8月 1日(木)	～	8月 9日(金)	Sｾﾒｽﾀｰ/S1・S2ﾀｰﾑ受験資格A追試験願受付[窓口]
	15日(木)			Sｾﾒｽﾀｰ/S2ﾀｰﾑ成績発表
	15日(木)	～	16日(金)	Sｾﾒｽﾀｰ/S2ﾀｰﾑ成績確認・成績評価の確認願受付
	15日(木)	～	16日(金)	S1ﾀｰﾑ追試験成績確認・成績評価の確認願受付[窓口]
	9月 10日(火)	～	9月 12日(木)	Sｾﾒｽﾀｰ/S1・S2ﾀｰﾑ受験資格C追試験願登録
	17日(火)	～		Aセメスター時間割配付
	10月 2日(水)	～	10月 18日(金)	Aｾﾒｽﾀｰ/A1ﾀｰﾑ他クラス聴講・補修願・要履修許可科目登録
	3日(木)	～	7日(月)	Aｾﾒｽﾀｰ/A1・A2ﾀｰﾑ履修科目登録
	15日(火)	～	18日(金)	Aｾﾒｽﾀｰ/A1・A2ﾀｰﾑ履修科目確認・訂正期間
	24日(木)	～	25日(金)	Sｾﾒｽﾀｰ/S1・S2ﾀｰﾑ追試験成績確認・成績評価の確認願受付[窓口]
	11月 29日(金)	～	12月 13日(金)	A2ﾀｰﾑ他クラス聴講・要履修許可科目登録
	12月 9日(月)	～	13日(金)	A2ﾀｰﾑ履修科目確認・訂正期間
2020年	1月 30日(木)	～	2月 5日(水)	Aｾﾒｽﾀｰ/A1・A2ﾀｰﾑ受験資格A追試験願受付[窓口]
	3月 12日(木)			進学者発表
	12日(木)			Aｾﾒｽﾀｰ/A1・A2ﾀｰﾑ成績発表
	12日(木)	～	3月 13日(金)	Aｾﾒｽﾀｰ/A1・A2ﾀｰﾑ成績確認・成績評価の確認願受付

【2年生進学選択関係】

2019年	4月 〈中旬〉			進学選択の手引き配付
	4月 17日(水)	～	5月 16日(木)	進学選択各学部ガイダンス
	6月 24日(月)			第一段階定数発表
	24日(月)	～	6月 26日(水)	第一段階進学志望・不志望登録
	7月 5日(金)			第一段階進学選択志望集計表発表
	8月 1日(木)	～	8月 27日(火) 12:00	第二段階進学志望登録(第一段階で内定しなかった者)
	15日(木)	～	16日(金)	進学処置願登録(2014年度以前入学者のみ)
	15日(木)	～	20日(火) 12:00	第一段階進学志望登録変更
	23日(金)			第一段階進学選択内定者発表
	23日(金)			第二段階定数発表
	9月 9日(月)			第二段階進学選択内定者発表
	9日(月)			第三段階定数発表(第三段階対象者のみ)
	9日(月)	～	9月 10日(火) 12:00	第三段階進学志望登録(第二段階までで内定しなかった者)
	17日(火)			第三段階進学選択内定者発表
	19日(木)	～	20日(金)	各学部進学内定者ガイダンス
2020年	1月 6日(月)	～	1月 16日(木)	進学内定辞退届受付[窓口]

はじめに

この冊子には、2019 年度の A セメスターに教養学部前期課程の 1・2 年生に対して開講される講義内容の概要（『科目紹介』）と、学年・科類・専門学部ごとの時間割（『時間割表』）が記載されています。

『科目紹介』では、時間割ごとに講義に関する情報を記載していますが、より詳しい情報は、UTAS（https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/）のシラバスで公開していますので、履修を検討している講義については必ず参照してください。それぞれの講義内容をよく比較して、各自履修計画を立ててください。なお、こちらは『履修の手引き』の Ｉ－４に掲載されている、（表２）「前期課程で各科類の学生が取得すべき必要最低単位数」の順に記されています。

『時間割表』は、「科類別時間割表」「総合科目等時間割表」「専門科目一覧表」に分かれています。受講するクラスが指定されている科目は、科類ごとに「科類別時間割表」に、受講するクラスが指定されていない総合科目、主題科目及び展開科目は、「総合科目等時間割表」に、各種情報が記載されています。

入学時に配付された『履修の手引き』を参照して、前期課程の修了要件を満たすためにはどの科目群からどの程度の単位の履修が必要か、進学志望の学部・学科等の要望科目・要求科目はどうなっているか、将来進むべき専門分野の基礎知識を十分につけ、あわせて幅広く深い教養を身につけるためにはどのような組み合わせで講義を履修するのがよいかなどを十分に考えて、バランスよく履修計画を立ててください。

教室の変更について

講義を受講する学生が、教室の収容人数を大幅に超え、多数の学生が椅子に座ることのできないケースが、近年目立ってきています。この問題を解決するために、教員からの教室変更の要望があり次第、随時教室の変更を行っています。

したがって、授業期間開始から履修科目確認・訂正期間終了時までは、特に掲示・UTAS を確認して、教室変更の情報に十分注意してください。

また、履修科目確認・訂正期間以降についても、空調の故障等の原因により、急遽教室変更が生じることがありますので、教室変更の情報は随時確認するようにしてください。

A セメスター（A1・A2 ターム）科目紹介

このブックには A セメスター（A1・A2 ターム）に開講される科目の科目紹介（シラバス）が掲載されていますので、履修計画を立てる際の参考にしてください。シラバスは本冊子以外にも、UTAS にログインの上、画面上「シラバス」メニューから「(シラバス参照)」を選択することでも参照ができます。UTAS 上のシラバスは本冊子の科目紹介よりも多くの情報が掲載されていますので、履修を考えている授業については、UTAS 上のシラバスも併せて参照するようにしてください。具体的には、「授業計画」「学習上のアドバイス」などの項目は、UTAS 上のシラバスのみに掲載されています。

科目紹介（シラバス）例（科目ごとに掲載されている項目・情報は異なります）

時間割ｺｰﾄﾞ	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
①	②	東大概論	駒場 太郎	③	④	⑤	⑥	⑦
講義題目 目標概要 評価方法 ⑧ 教科書 ガイダンス								

①時間割コード

それぞれの授業に割り振られている固有の番号です。UTAS でシラバスを参照する際などに使用します。

②開講区分

授業が開講される期間を示します。それぞれの表示は以下の期間での開講を表します。

開講区分	正式名称	授業の開講期間
A	A セメスター	概ね 9～1 月
A1	A1 ターム	概ね 9～11 月
A2	A2 ターム	概ね 11～1 月

授業日の詳細については、表紙裏の授業等日程を参照してください。

③所属

教養学部（総合文化研究科）が開講する授業は、開講元の部会名又は学科（専攻）が掲載されています。

他学部・研究科等が開講する授業は、当該学部・研究科等の名前が掲載されています。

開講所属凡例

教養学部前期課程部会
英語
ドイツ語
フランス語・イタリア語
中国語
韓国朝鮮語
ロシア語
スペイン語
古典語・地中海諸言語
法・政治
経済・統計
社会・社会思想史
国際関係
歴史学
国文・漢文学
文化人類学
哲学・科学史
心理・教育学
人文地理学
物理
化学
生物
情報・図形
宇宙地球
相関自然
スポーツ・身体運動
数学
PEAK 前期
日本語
先進科学

教養学部
統合自然科学科

総合文化研究科
言語情報科学専攻
超域文化科学専攻 表象文化論コース
超域文科化学専攻 比較文学比較文化コース
地域文化研究専攻
地域文化研究専攻 アジア・日本文化研究コース

その他（後期課程諸学部、全学センターなど）
情報メディア科学委員会
法学部
医学部
新領域創成科学研究科
先端科学技術研究センター
生産技術研究所
人間の安全保障プログラム
etc.

④曜限

授業が行われる曜限が掲載されています。「集中講義」と記載されている授業は、特定の日程や授業期間外に行われることがありますので、授業内容を確認してください。

⑤単位

当該授業に合格した場合に得られる単位数が掲載されています。当項目の掲載がない科目については、『履修の手引き』p.6 に掲載されている内容に従います。

⑥教室

授業が行われる教室が掲載されています。表記と対応する号館・建物は以下のとおりです。

教室名称	建物名称
101～192	1 号館
511～534	5 号館
721～762	7 号館
900	講堂
10-101～10-308	10 号館
1101～1109	11 号館
1211～1233	12 号館
1311～1341	13 号館

教室名称	建物名称
KALS	17 号館 2 階
E21～E49	情報教育棟
K101～K502（下 2 桁目が 0）	21KOMCEE West
K011～K214（下 2 桁目が 1）	21KOMCEE East
学際交流ホール	ｱﾄﾞﾐﾆｽﾄﾚｰｼｮﾝ棟 3 階
18 号館ホール	18 号館 1 階
音楽実習室	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾌﾟﾗｻﾞ北館

駒場キャンパスの建物配置図については教養学部前期課程 HP の建物配置図を参照してください。教室欄に「シラバス参照」と記載されている授業は、上表以外の教室や駒場キャンパス以外の場所で開講される授業のため、正しい開講場所をシラバスやガイダンス等で確認してください。

また、初回のみ通常と異なる教室で行われる授業や、授業開始後に教室変更が行われる授業がありますので、シラバスや掲示板・教養学部前期課程 HP のお知らせを随時確認し、実際に授業が行われる教室を正確に把握するようにしてください。

⑦対象

授業の対象となる科類やクラスが掲載されています。欄内の数字は組番号を表し、複数クラスが対象の場合は「6,16-18,20」のように範囲を示しています（この場合は 17 組も対象クラスに含みます)。「奇数」「偶数」と記載のある場合には、学生証番号末尾の数字の奇数・偶数で対象学生を示しています。本項目で指定されていない科類・クラス等に所属している学生は当該授業の履修登録を行うことができないので、注意してください。

⑧科目紹介の内容

具体的な科目紹介の内容が掲載されています。授業によっては、履修にあたっての注意点等が挿入されていることがあります。不明な点は教務課に必ず確認の上、履修登録を行うようにしてください。

英語の履修について

既修外国語の英語は各科目１単位または２単位で、計５単位の科目群であり、英語一列（教養英語）・英語二列Ｓ（アカデミック・ディスカッション）・英語二列W（アカデミック・ライティング）に分けられる（その他に総合科目Ｌ系列３単位）。
英語一列（教養英語）は共通教科書とこれに関連する音声教材を使用する習熟度別の授業である。英語二列Ｓも同じく習熟度別の授業であり、文科生、理科生とも FLOW(Fluency-Oriented Workshop)のプログラムにより実施する。英語二列Wは、文科生は ALESA(Active Learning of English for Students of the Arts)、理科生は ALESS(Active Learning of English for Science Students)のプログラムにより実施する。

●本冊子において、「英語一列」「英語二列Ｓ」「英語二列W」のシラバスが掲載されている。

●「英語一列」「英語二列Ｓ」「英語二列W」は所属クラスに応じてあらかじめ指定された授業を履修する。「英語一列」「英語二列Ｓ」は習熟度別にクラスが分けられている。

●「英語一列」「英語二列Ｓ」「英語二列W」の３科目をそれぞれどのターム・セメスターに履修するかについては、所属クラスにより異なり、下表の４つのグループにあらかじめ分けられる。「（クラス指定総合科目Ｌ）」と記載されている部分については、総合科目Ｌ系列「英語中級」が所属クラスに対するクラス指定の授業として開講される。

<table>
<tr><td rowspan="2"></td><td colspan="4">ターム・セメスター</td></tr>
<tr><td rowspan="2">所属クラス</td><td>1S1</td><td>1S2</td><td>1A1</td><td>1A2</td></tr>
<tr><td colspan="2">1S</td><td colspan="2">1A</td></tr>
<tr><td rowspan="2">文一二（8,11,22,25-26）
文三（5,7,11,14,19）
理一（1-4,12,17,18,20,23,31,35-36,39）
理二三（11,13,20,23）</td><td>英語一列①</td><td>英語二列Ｓ</td><td>（クラス指定総合科目Ｌ）</td><td>英語一列②</td></tr>
<tr><td colspan="2">（クラス指定総合科目Ｌ）</td><td colspan="2">英語二列Ｗ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">文一二（5-6,13,15,16,18-19,24）
文三（6,10,12,17）
理一（7,9,13,19,25,28,30,34,37）
理二三（6-7,18,19,22）</td><td>英語一列①</td><td>（クラス指定総合科目Ｌ）</td><td>英語二列Ｓ</td><td>英語一列②</td></tr>
<tr><td colspan="2">英語二列Ｗ</td><td colspan="2">（クラス指定総合科目Ｌ）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">文一二（1-3,7,10,17,20-21,23,27-28）
文三（1-3,9,15-16）
理一（8,11,16,21,24,27,29,33）
理二三（4,8,9,14,17,21）</td><td>英語二列Ｓ</td><td>英語一列①</td><td>英語一列②</td><td>（クラス指定総合科目Ｌ）</td></tr>
<tr><td colspan="2">（クラス指定総合科目Ｌ）</td><td colspan="2">英語二列Ｗ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">文一二（4,9,12,14）
文三（4,8,13,18,20）
理一（5-6,10,14-15,22,26,32,38）
理二三（1-3,5,10,12,15-16,24）</td><td>（クラス指定総合科目Ｌ）</td><td>英語一列①</td><td>英語一列②</td><td>英語二列Ｓ</td></tr>
<tr><td colspan="2">英語二列Ｗ</td><td colspan="2">（クラス指定総合科目Ｌ）</td></tr>
</table>

外国語（英語一列・特別クラス）

英語一列（教養英語）・特別クラス

≪英語一列①（教養英語）≫

目標・概要　「教養英語」は、本学教養学部の英語部会教員が教養課程における英語学習のために作成した、理科生、文科生を問わず学生の知的関心に応える高度で分野横断的な内容をもつ教科書『教養英語読本』と、これに関連したリスニング教材を使用して行う授業である。リスニング教材（音声）およびスクリプトは下記「関連ホームページ」で配信する。クラスは、学生の習熟度に合わせて三段階に分かれており、それぞれのグループの学生にもっとも適した進度や授業方法を採用する。その際、全クラスで共通して学習する部分を一定量設けて試験範囲とし、これに実力問題を加えた統一定期試験を実施する。

授業の方法　・「教養英語」が行われる時間帯には、それぞれ複数のクラスが設けられている。各クラスの教室割当は教務課掲示板に掲示する（他の語学クラスとは違うので注意すること）。
・「教養英語」では、習熟度に応じて三つのグループを設定している。

グループ１： 約 300 名。授業は英語で行われる。指定された共通部分以外のテキストの範囲もカバーし、テキストの内容理解に加え、作文・ディスカッションなど応用的な活動も含まれる。
グループ２： 約 900 名。授業は原則として日本語で行われる。指定された共通部分以外のテキストの範囲もカバーし、テキストの正確な読解に加え、作文・ディスカッションなど各教員の個性を生かした応用的な活動も含まれる。
グループ３： 約 1800 名。授業は原則として日本語で行われる。指定された共通部分をカバーし、語彙・文法等を重視しながら読解力の養成を目指すが、それを元にした発展的な活動を含むこともある。

・具体的な授業スケジュール（教材の選択、利用方法、必要な準備など）は、授業開始後に各クラスで教員から伝達される。

成績評価方法　定期試験（統一試験）および平常点
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　教養英語読本Ⅱ
著者（訳者）　東京大学教養学部英語部会（編）
出版社　東京大学出版会
関連ホームページ　http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/efas/

≪英語特別クラス≫
非英語圏からの留学生、及び入試の外国語を英語以外で受験した者で、かつ英語の履修を希望する者は、英語部会の許可を得て「英語特別クラス」の履修で「英語一列②」「英語二列」「総合科目 L 系列 英語中級」の単位に充当することができる。履修希望者は第一週のガイダンス（日時、場所は掲示を参照）に出席すること。
《英語特修クラス（第 3 学期終了時点で平均合格していない進学内定者《平均点が 40 点以上 50 点未満》対象）》
※2014 年度以前入学者対象
すでに学んだ英語科目の授業内容を復習し、不足部分を補いつつ、英語の運用能力を高めることを目指す。詳しくは UTAS 上のシラバスを参照のこと。

授業科目名	担当教員	教室	開講	曜限	対象クラス
英語一列②	教養英語担当教員	各教室	A1	火 3	1 年 文一二(1-3,7,9,27)文三(1-3,8-9)理一(5-6,16,27)理二三(1-3,5,12,17)
				火 4	1 年 文一二(4,21,23)文三(16,18)理一(21-22,32,38)理二三(8,14-15)
				水 2	1 年 文一二(10,14,20)文三(4,13)理一(11,14-15,24)理二三(4,9-10)
				水 3	1 年 文一二(12,17,28)文三(15,20)理一(8,10,26,29,33)理二三(16,21,24)
			A2	火 3	1 年 文一二(13,24-25)文三(11,17)理一(1-4,9,18-19)理二三(7,13)
				火 4	1 年 文一二(6,8,18)文三(5,7,12)理一(20,30-31,34-35)理二三(11,18,22)
				水 2	1 年 文一二(5,15,19,26)文三(6,19)理一(7,12,23,28,36)理二三(6,23)
				水 3	1 年 文一二(11,16,22)文三(10,14)理一(13,17,25,37,39)理二三(19-20)
英語特修	担当教員	シラバス参照	A	集中	2014 年度以前入学の 2 年生

外国語（英語二列 S）

Fluency-Oriented Workshop （FLOW）	
授業の目標・概要	The course aims to build students' confidence and ability to engage fluently and critically in a classroom discussion, to be aware of their weaknesses, and to have the tools to improve autonomously.
成績評価方法	Grades are based on active participation in class activities and on related assignments.

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	開講	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50338	A 1	火 3	SEDDON Ryan John	119	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50339	A 1	火 3	沈 尚玉	10-204	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50340	A 1	火 3	ナオミ バーマン	K301	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50341	A 1	火 3	PAZDZIORA JOHN PATRICK	120	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50343	A 1	火 3	RUIZ TADA Elisa	114	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50344	A 1	火 3	ホールマン フランシス キャンドラー	516	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50345	A 1	火 3	BORDILOVSKAYA Anna	118	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50346	A 1	火 3	DIETZ Richard	KALS	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50347	A 1	火 3	ROBB Nigel	10-202	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50348	A 1	火 3	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	518	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50349	A 1	火 3	テラシマ アレクサンドラ	149	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50350	A 1	火 3	Kartika Diana	K302	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50351	A 1	火 3	ユウ ジョアン	K401	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
51493	A 1	火 3	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	K501	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50399	A 1	火 4	テラシマ アレクサンドラ	149	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50401	A 1	火 4	BORDILOVSKAYA Anna	118	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50402	A 1	火 4	ユウ ジョアン	K401	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50403	A 1	火 4	沈 尚玉	10-204	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50404	A 1	火 4	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	518	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50405	A 1	火 4	PAZDZIORA JOHN PATRICK	120	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50406	A 1	火 4	VANDEN BUSSCHE, Eric Armand	116	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50407	A 1	火 4	ナオミ バーマン	K301	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50409	A 1	火 4	Kartika Diana	K302	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50410	A 1	火 4	BUENO Alex Falcon	153	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50411	A 1	火 4	DIETZ Richard	KALS	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50412	A 1	火 4	マニナン ジョン	516	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
51494	A 1	火 4	RUIZ TADA Elisa	114	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50497	A 1	水 2	RUIZ TADA Elisa	114	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50499	A 1	水 2	モレノ ペナランダ ラケル	K401	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50500	A 1	水 2	BUENO Alex Falcon	115	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50501	A 1	水 2	ディーエル グレゴリー ロジャース	10-304	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)

外国語（英語二列 S）

50502	A 1	水 2	マニナン ジョン	K301	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50503	A 1	水 2	DIETZ Richard	516	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50504	A 1	水 2	PAZDZIORA JOHN PATRICK	119	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50505	A 1	水 2	ハンセン キャサリン	10-102	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50506	A 1	水 2	ジェームズ エリンガー	K201	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50507	A 1	水 2	ROBB Nigel	10-204	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50508	A 1	水 2	Kartika Diana	K303	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50509	A 1	水 2	VANDEN BUSSCHE, Eric Armand	116	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50510	A 1	水 2	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	KALS	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50512	A 1	水 2	ホールマン フランシス キャンドラー	517	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50591	A 1	水 3	WEITEMIER Adam	515	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50593	A 1	水 3	テラシマ アレクサンドラ	120	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50594	A 1	水 3	ユウ ジョアン	119	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50595	A 1	水 3	BUENO Alex Falcon	115	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50596	A 1	水 3	BORDILOVSKAYA Anna	149	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50598	A 1	水 3	RUIZ TADA Elisa	114	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50599	A 1	水 3	ハンセン キャサリン	10-102	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50600	A 1	水 3	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	150	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50601	A 1	水 3	モレノ ペナランダ ラケル	K401	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50602	A 1	水 3	BROOKS Britton	118	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50603	A 1	水 3	沈 尚玉	10-204	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50604	A 1	水 3	VANDEN BUSSCHE, Eric Armand	116	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50605	A 1	水 3	Kartika Diana	K303	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
60022	A 2	火 3	沈 尚玉	10-204	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60023	A 2	火 3	ナオミ バーマン	K301	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60024	A 2	火 3	RUIZ TADA Elisa	114	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60025	A 2	火 3	テラシマ アレクサンドラ	149	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60026	A 2	火 3	ユウ ジョアン	K401	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60027	A 2	火 3	ホールマン フランシス キャンドラー	516	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60028	A 2	火 3	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	518	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60029	A 2	火 3	DIETZ Richard	KALS	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60030	A 2	火 3	SEDDON Ryan John	119	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60031	A 2	火 3	BORDILOVSKAYA Anna	118	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60032	A 2	火 3	ROBB Nigel	10-202	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60035	A 2	火 3	Kartika Diana	K302	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60036	A 2	火 3	PAZDZIORA JOHN PATRICK	120	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60239	A 2	火 3	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	K501	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60056	A 2	火 4	沈 尚玉	10-204	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60057	A 2	火 4	PAZDZIORA JOHN PATRICK	120	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)

外国語（英語二列 S）

60058	A 2	火 4	BORDILOVSKAYA Anna	118	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60059	A 2	火 4	マニナン ジョン	516	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60060	A 2	火 4	Kartika Diana	K302	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60061	A 2	火 4	DIETZ Richard	KALS	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60062	A 2	火 4	BUENO Alex Falcon	153	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60063	A 2	火 4	VANDEN BUSSCHE, Eric Armand	116	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60064	A 2	火 4	ナオミ バーマン	K301	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60066	A 2	火 4	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	518	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60067	A 2	火 4	テラシマ アレクサンドラ	149	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60069	A 2	火 4	ユウ ジョアン	K401	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60240	A 2	火 4	RUIZ TADA Elisa	114	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60116	A 2	水 2	VANDEN BUSSCHE, Eric Armand	116	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60117	A 2	水 2	RUIZ TADA Elisa	114	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60119	A 2	水 2	ROBB Nigel	10-204	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60120	A 2	水 2	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	KALS	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60122	A 2	水 2	モレノ ペナランダ ラケル	K401	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60123	A 2	水 2	マニナン ジョン	K301	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60125	A 2	水 2	Kartika Diana	K303	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60126	A 2	水 2	ハンセン キャサリン	10-102	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60127	A 2	水 2	ホールマン フランシス キャンドラー	517	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60128	A 2	水 2	ジェームズ エリンガー	K201	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60129	A 2	水 2	DIETZ Richard	516	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60130	A 2	水 2	ディーエル グレゴリー ロジャース	10-304	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60131	A 2	水 2	BUENO Alex Falcon	115	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60132	A 2	水 2	PAZDZIORA JOHN PATRICK	119	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60147	A 2	水 3	VANDEN BUSSCHE, Eric Armand	116	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60148	A 2	水 3	BORDILOVSKAYA Anna	149	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60149	A 2	水 3	BUENO Alex Falcon	115	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60151	A 2	水 3	ハンセン キャサリン	10-102	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60152	A 2	水 3	Kartika Diana	K303	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60153	A 2	水 3	モレノ ペナランダ ラケル	K401	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60155	A 2	水 3	WEITEMIER Adam	515	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60156	A 2	水 3	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	150	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60157	A 2	水 3	テラシマ アレクサンドラ	120	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60158	A 2	水 3	RUIZ TADA Elisa	114	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60159	A 2	水 3	沈 尚玉	10-204	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60160	A 2	水 3	ユウ ジョアン	119	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60162	A 2	水 3	BROOKS Britton	118	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)

外国語（英語二列 W）ALESA

Active Learning of English for Students of the Arts (ALESA)	開講区分	A

授業の目標・概要

This course introduces students to the skill of building an effective written argument in English supported by sources and evidence and to the conventions of formal writing. By the end of the course, students will:
- be able to present a clear position which is supported by evidence and addresses alternative points of view;
- understand the organisation and rhetorical features of an argumentative essay;
- be familiar with basic stylistic conventions of academic writing.

授業の方法

Class activities will include reading and analyzing argumentative writing in English; developing a position on a issue on the basis of individual research; engaging in a variety of pre-writing exercises; drafting and revising an essay; and using peer feedback to improve students' own and others' work in discussion and written comments.

The class is taught in English, and students are encouraged to speak English in class. Graduate-student teaching assistants are available in the Komaba Writers' Studio to help students with their research, writing, and discussion.

成績評価方法
Grades are based on writing assignments, discussion, and participation in class activities.

関連ホームページ
http://ale.c.u-tokyo.ac.jp/

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50029	月 2	BROOKS Britton	119	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50030	月 2	ディーエル グレゴリー ロジャース	10-103	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50031	月 2	モレノ ペナランダ ラケル	E25	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50032	月 2	ナオミ バーマン	K201	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50034	月 2	ホールマン フランシス キャンドラー	515	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50035	月 2	片山 晶子	E39	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50036	月 2	Kartika Diana	K301	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50037	月 2	沈 尚玉	10-204	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50038	月 2	ハンセン キャサリン	10-102	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
51489	月 2	木村 大輔	K501	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50731	木 2	ハンセン キャサリン	10-102	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)
50732	木 2	BROOKS Britton	119	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)
50734	木 2	PAZDZIORA JOHN PATRICK	117	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)
50735	木 2	BUENO Alex Falcon	115	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)
50736	木 2	片山 晶子	E39	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)
50737	木 2	DIETZ Richard	518	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)
50738	木 2	ディーエル グレゴリー ロジャース	10-206	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)
50739	木 2	VANDEN BUSSCHE, Eric Armand	118	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)
51495	木 2	木村 大輔	K401	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)
50786	木 3	ディーエル グレゴリー ロジャース	10-206	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)
50787	木 3	VANDEN BUSSCHE, Eric Armand	118	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)
50788	木 3	PAZDZIORA JOHN PATRICK	117	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)
50790	木 3	BROOKS Britton	119	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)
50791	木 3	DIETZ Richard	KALS	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)
50792	木 3	ハンセン キャサリン	10-102	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)

50793	木 3	BUENO Alex Falcon	115	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)
50794	木 3	ユウ ジョアン	120	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)
51497	木 3	木村 大輔	K401	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)
50891	金 1	BUENO Alex Falcon	115	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50892	金 1	沈 尚玉	10-204	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50893	金 1	ホールマン フランシス キャンドラー	515	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50894	金 1	片山 晶子	E25	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50895	金 1	BROOKS Britton	119	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50896	金 1	ディーエル グレゴリー ロジャース	10-102	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50897	金 1	VANDEN BUSSCHE, Eric Armand	114	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50898	金 1	PAZDZIORA JOHN PATRICK	120	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50899	金 1	Kartika Diana	K301	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
51498	金 1	DIETZ Richard	518	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50986	金 3	BUENO Alex Falcon	115	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
50988	金 3	沈 尚玉	10-204	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
50989	金 3	ハンセン キャサリン	10-102	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
50990	金 3	PAZDZIORA JOHN PATRICK	120	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
50991	金 3	Kartika Diana	K301	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
50992	金 3	BROOKS Britton	119	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
50993	金 3	VANDEN BUSSCHE, Eric Armand	114	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
50994	金 3	ディーエル グレゴリー ロジャース	10-206	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
51499	金 3	DIETZ Richard	518	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)

外国語（英語二列 W）ALESS

Active Learning of English for Science Students (ALESS)	開講区分	A

授業の目標・概要　In this course, students learn about formal scientific writing and style in English; the organization, language, and rhetoric of scientific papers; and the process of writing and preparing formal papers through peer review and revision.

成績評価方法　Grades are based on writing a research paper, giving a presentation, weekly written assignments, and on participation in class activities.

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50047	月 2	SEDDON Ryan John	114	1 年 理一(4,35-36)
50049	月 2	マニナン ジョン	K302	1 年 理一(4,35-36)
50050	月 2	神島 智子	116	1 年 理一(4,35-36)
50051	月 2	ジェームズ エリンガー	K401	1 年 理一(4,35-36)
50052	月 2	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	117	1 年 理一(4,35-36)
50053	月 2	BORDILOVSKAYA Anna	118	1 年 理一(4,35-36)
51490	月 2	WEITEMIER Adam	518	1 年 理一(4,35-36)
50088	月 3	BORDILOVSKAYA Anna	118	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50089	月 3	タヴァレス ヴァスケス ジエーゴ	KALS	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50090	月 3	マニナン ジョン	K402	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50091	月 3	RUIZ TADA Elisa	115	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50092	月 3	ジェームズ エリンガー	K401	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50093	月 3	SEDDON Ryan John	114	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50094	月 3	ROBB Nigel	10-202	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50095	月 3	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	K301	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50096	月 3	神島 智子	116	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50097	月 3	テラシマ アレクサンドラ	119	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50098	月 3	ユウ ジョアン	120	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50099	月 3	モレノ ペナランダ ラケル	E25	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50100	月 3	ホールマン フランシス キャンドラー	515	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50101	月 3	ナオミ バーマン	K201	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50102	月 3	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	117	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50103	月 3	WEITEMIER Adam	518	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50152	月 4	テラシマ アレクサンドラ	119	1 年 理一(12,16)理二三(13)
50153	月 4	RUIZ TADA Elisa	115	1 年 理一(12,16)理二三(13)
50154	月 4	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	K301	1 年 理一(12,16)理二三(13)
50156	月 4	マニナン ジョン	K402	1 年 理一(12,16)理二三(13)
50157	月 4	ユウ ジョアン	120	1 年 理一(12,16)理二三(13)
50158	月 4	ROBB Nigel	10-202	1 年 理一(12,16)理二三(13)
51491	月 4	ジェームズ エリンガー	K401	1 年 理一(12,16)理二三(13)
50236	火 1	SEDDON Ryan John	114	1 年 理二三(21,23)

50237	火 1	ジェームズ エリンガー	K401	1 年 理二三(21,23)
50239	火 1	ROBB Nigel	10-202	1 年 理二三(21,23)
51492	火 1	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	K501	1 年 理二三(21,23)
50468	水 1	ホールマン フランシス キャンドラー	517	1 年 理一(1-3,18,27)
50469	水 1	マニナン ジョン	K301	1 年 理一(1-3,18,27)
50470	水 1	ジェームズ エリンガー	K303	1 年 理一(1-3,18,27)
50472	水 1	タヴァレス ヴァスケス ジエーゴ	KALS	1 年 理一(1-3,18,27)
50473	水 1	ナオミ バーマン	K201	1 年 理一(1-3,18,27)
50474	水 1	モレノ ペナランダ ラケル	K401	1 年 理一(1-3,18,27)
50756	木 2	SEDDON Ryan John	114	1 年 理一(17,20)理二三(20)
50757	木 2	RUIZ TADA Elisa	116	1 年 理一(17,20)理二三(20)
50759	木 2	ユウ ジョアン	120	1 年 理一(17,20)理二三(20)
50760	木 2	マニナン ジョン	K302	1 年 理一(17,20)理二三(20)
50761	木 2	ジェームズ エリンガー	KALS	1 年 理一(17,20)理二三(20)
50762	木 2	モレノ ペナランダ ラケル	E25	1 年 理一(17,20)理二三(20)
51496	木 2	WEITEMIER Adam	K501	1 年 理一(17,20)理二三(20)
50913	金 1	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	117	1 年 理二三(8,14)
50914	金 1	神島 智子	116	1 年 理二三(8,14)
50915	金 1	WEITEMIER Adam	516	1 年 理二三(8,14)
50916	金 1	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	KALS	1 年 理二三(8,14)
50917	金 1	BORDILOVSKAYA Anna	118	1 年 理二三(8,14)
51011	金 3	ROBB Nigel	10-202	1 年 理一(29,39)理二三(9)
51012	金 3	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	117	1 年 理一(29,39)理二三(9)
51013	金 3	ナオミ バーマン	KALS	1 年 理一(29,39)理二三(9)
51014	金 3	WEITEMIER Adam	516	1 年 理一(29,39)理二三(9)
51015	金 3	テラシマ アレクサンドラ	118	1 年 理一(29,39)理二三(9)
51016	金 3	神島 智子	116	1 年 理一(29,39)理二三(9)
51017	金 3	ホールマン フランシス キャンドラー	515	1 年 理一(29,39)理二三(9)
51056	金 4	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	K301	1 年 理二三(4,11,17)
51057	金 4	BORDILOVSKAYA Anna	115	1 年 理二三(4,11,17)
51058	金 4	テラシマ アレクサンドラ	118	1 年 理二三(4,11,17)
51059	金 4	ROBB Nigel	10-202	1 年 理二三(4,11,17)
51060	金 4	SEDDON Ryan John	K401	1 年 理二三(4,11,17)
51061	金 4	ナオミ バーマン	KALS	1 年 理二三(4,11,17)

基礎科目　ドイツ語

ドイツ語	開講区分	A

授業の目標・概要　　Ｓセメスターに引き続いて、共通教材『Einblicke』 (東京大学教養学部ドイツ語部会編)を用いて、文法と読解を中心に、会話練習を交えながら総合的にドイツ語を学習する。
　なお、L 系列の科目も積極的に履修することを勧める。

成績評価方法　　平常点および試験によって総合的に評価を行う。平常点は、授業に積極的に参加していることを前提に、授業の「まとめ」や Text についての準備をグループで行うことについて評価する。試験は時間内に複数回行う。

教科書　　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　　ドイツ語共通教科書『Einblicke』
著者（訳者）　東京大学教養学部ドイツ語部会編
関連ホームページ　　http://deutsch.c.u-tokyo.ac.jp/

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	教室	対象クラス
50041	月 2	ドイツ語一列②	大石 紀一郎	10-203	1 年 文一二(21)
50059	月 2	ドイツ語一列②	三宅 晶子	122	1 年 理一(30)
50060	月 2	ドイツ語一列②	斉藤 渉	101	1 年 理一(32)
50149	月 4	ドイツ語一列②	石原 あえか	10-308	1 年 文三(15)
50370	火 3	ドイツ語一列②	久保 哲司	155	1 年 理一(31)
50429	火 4	ドイツ語一列②	一條 麻美子	166	1 年 理一(27)
50430	火 4	ドイツ語一列②	日名 淳裕	1224	1 年 理一(28)
50435	火 4	ドイツ語一列②	足立 信彦	1221	1 年 理二三(20)
50549	水 2	ドイツ語一列②	高橋 亮介	162	1 年 理一(29)
50608	水 3	ドイツ語一列②	足立 信彦	155	1 年 文三(16)
50651	水 4	ドイツ語一列②	原田 晶子	154	1 年 理一(33)
50658	水 4	ドイツ語一列②	稲葉 治朗	10-203	1 年 理二三(19)
50743	木 2	ドイツ語一列②	中丸 禎子	104	1 年 文一二(20)
50804	木 3	ドイツ語一列②	田中 純	150	1 年 文一二(22)
50826	木 3	ドイツ語一列②	識名 章喜	105	1 年 理二三(18)
50836	木 4	ドイツ語一列②	SCHWARZ Thomas	105	1 年 文一二(1)文三(1)理一(1)理二三(1)
51026	金 3	ドイツ語一列②	工藤 達也	149	1 年 理二三(17)
50660	水 4	ドイツ語特修	一條 麻美子	150	2 年 文科 理科
50672	水 5	ドイツ語特修	原田 晶子	154	2 年 文科 理科

基礎科目　フランス語

フランス語	開講区分	A

授業の目標・概要　文科生クラス、理科生クラスとも、一列・二列を通じて文法および講読の基礎を固める。
文科生は、これに加えて演習を履修し、発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や講読の応用練習などを行う。
理科生には、文科生の演習に相当するものとして、国際コミュニケーション「フランス語初級（演習）」が自由選択できるので、積極的に参加してほしい。

成績評価方法　平常点（出席・授業への参加態度および小テストなど）と学期末試験で総合的に評価する。
教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	教室	対象クラス
50042	月 2	フランス語一列②	飛嶋 隆信	108	1 年 文一二(24)
50061	月 2	フランス語一列②	大森 晋輔	162	1 年 理一(37)
50112	月 3	フランス語一列②	今橋 映子	105	1 年 理一(38)
50113	月 3	フランス語一列②	原 和之	106	1 年 理一(39)
50143	月 4	フランス語一列②	大森 晋輔	162	1 年 文一二(23)
50423	火 4	フランス語一列②	山田 広昭	158	1 年 文一二(26)
50641	水 4	フランス語一列②	増田 一夫	122	1 年 文三(17)
50744	木 2	フランス語一列②	伊達 聖伸	113	1 年 文一二(27)
50746	木 2	フランス語一列②	郷原 佳以	122	1 年 文三(19)
50766	木 2	フランス語一列②	渡邊 淳也	158	1 年 理一(35)
50767	木 2	フランス語一列②	中田 健太郎	166	1 年 理一(36)
50771	木 2	フランス語一列②	三浦 篤	1211	1 年 理二三(22)
50805	木 3	フランス語一列②	篠原 学	152	1 年 文一二(25)
50806	木 3	フランス語一列②	松村 剛	156	1 年 文一二(28)
50807	木 3	フランス語一列②	森元 庸介	158	1 年 文三(18)
50808	木 3	フランス語一列②	坂本 さやか	154	1 年 文三(20)
50837	木 4	フランス語一列②	ビゼ	K211	1 年 文一二(2)文三(2)理一(2)理二三(2)
50861	木 4	フランス語一列②	篠原 学	152	1 年 理二三(23)
51018	金 3	フランス語一列②	飛嶋 隆信	108	1 年 理一(34)
51028	金 3	フランス語一列②	鈴木 順子	150	1 年 理二三(21)
51029	金 3	フランス語一列②	斎藤 かぐみ	122	1 年 理二三(24)
50623	水 3	フランス語特修	寺田 寅彦	108	2 年 文科 理科

基礎科目　中国語

中国語	開講区分	A

授業の目標・概要　中国語の要である発音をしっかりと身につけた上で、文法の基礎を一年かけて一通り学習する。

● 文科生は選択必修科目の演習をあわせて履修し、コミュニケーション能力を養成する。クラス別に開講するので、自分のクラスの演習を履修すること。

●理科生には、選択科目の「初級演習」を開講しているので、一列で習ったことをもとにコミュニケーション能力を高めることが望ましい。

成績評価方法　期末の筆記試験や小テストの結果など。
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　基础汉语
著者（訳者）　楊凱栄・吉川雅之・張麗群
出版社　白帝社
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	教室	対象クラス
50045	月 2	中国語一列②	大橋 義武	121	1 年 文三(13)
50225	火 1	中国語一列②	阿古 智子	104	1 年 理一(3)理二三(3)
50234	火 1	中国語一列②	山影 統	105	1 年 理一(22)
50434	火 4	中国語一列②	中村 元哉	1213	1 年 理二三(13)
50480	水 1	中国語一列②	波多野 真矢	157	1 年 理一(24)
50528	水 2	中国語一列②	伊藤 徳也	523	1 年 文一二(17)
50539	水 2	中国語一列②	石井 剛	112	1 年 文三(12)
50547	水 2	中国語一列②	瀬地山 角	1221	1 年 理一(19)
50548	水 2	中国語一列②	相原 まり子	113	1 年 理一(26)
50554	水 2	中国語一列②	波多野 真矢	157	1 年 理二三(16)
50640	水 4	中国語一列②	楊 凱栄	149	1 年 文三(14)
50741	木 2	中国語一列②	松本 秀士	107	1 年 文一二(14)
50765	木 2	中国語一列②	下出 宣子	101	1 年 理一(25)
50802	木 3	中国語一列②	下出 宣子	101	1 年 文一二(19)
50825	木 3	中国語一列②	河野 直恵	107	1 年 理二三(15)
50838	木 4	中国語一列②	毛 興華	153	1 年 文一二(3)文三(3)理一(3)理二三(3)
50840	木 4	中国語一列②	渡辺 剛	108	1 年 文一二(15)
50841	木 4	中国語一列②	河野 直恵	107	1 年 文一二(16)
50903	金 1	中国語一列②	王 英輝	157	1 年 文一二(18)
50911	金 1	中国語一列②	小方 伴子	121	1 年 理一(20)
51009	金 3	中国語一列②	吉川 雅之	104	1 年 理一(23)
51025	金 3	中国語一列②	韓 燕麗	121	1 年 理二三(14)
51037	金 4	中国語一列②	岩月 純一	107	1 年 文一二(13)
51046	金 4	中国語一列②	田原 史起	102	1 年 文三(11)
51055	金 4	中国語一列②	谷垣 真理子	113	1 年 理一(21)
50673	水 5	中国語特修	谷垣 真理子	103	2 年 文科 理科

基礎科目　ロシア語

ロシア語	開講区分	A

授業の目標・概要　　初修ロシア語の 1 年目はロシア語の文字からはじめて、ロシア語の基礎文法を修得する。1 年を終えるころには簡単なロシア語テクストが自在に読める能力の獲得をめざす。
　文系・理系を問わず、共通教科書を使用する。
　S セメスターに学んだ文法の基本を発展させ、さらに新しい文法項目を学ぶとともに、テクストによって読解の基礎をつける。

成績評価方法　　定期試験と平常点。適宜小テストを行うことがある。
教科書　　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　　Изучаем русский язык с нуля (ロシア語をはじめよう)
著者（訳者）　西中村浩・朝妻恵理子
出版社　　朝日出版社

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	教室	対象クラス
50224	火 1	ロシア語一列②	安岡 治子	103	1 年 文一二(4)文三(4)理一(4-5)理二三(4)　【TLP】
50431	火 4	ロシア語一列②	渡邊 日日	1232	1 年 理二三(4)
50748	木 2	ロシア語一列②	鳥山 祐介	155	1 年 理一(4)
50749	木 2	ロシア語一列②	西中村 浩	157	1 年 理一(5)
50975	金 3	ロシア語一列②	渡邊 日日	106	1 年 文一二(4)
50995	金 3	ロシア語一列②	乗松 亨平	107	1 年 文三(4)
50661	水 4	ロシア語特修	濵田 華練	114	2 年 文科 理科

※TLP 履修者は、対象クラスで TLP と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目 L 系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

基礎科目　スペイン語

スペイン語	開講区分	A

授業の目標・概要　　スペイン語初修は、共通教科書を用い、１年間かけて、日常使われるスペイン語を理解し、簡単な文章を読んだり書いたり、またスペイン語でコミュニケーションをとるために必要な文法体系全体を学習する。Ｓセメスターでは、内容を一列（文法）と二列（講読）に分け、Ａセメスターでは一列で文法・講読の両方を扱う。文系では、外国人教員が担当するクラス指定の演習を設け、教科書の進度に合わせ、発音、聞き取り、会話練習、文法の応用練習などを行う。また、スペイン語を集中的に勉強したい学生のために、インテンシヴクラスを週２回開講する。そのほかに、初級作文や初級会話の科目を開講しており、これらを履修することによりスペイン語の運用能力をさらに高めることができる。

成績評価方法　　各担当教員に任されている。
教科書　　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　　スペイン語初級
著者（訳者）　　東京大学教養学部スペイン語部会
出版社　　朝日出版社
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	教室	対象クラス
50063	月 2	スペイン語一列②	網野 徹哉	150	1 年 理二三(7)
50064	月 2	スペイン語一列②	栗林 ゆき絵	151	1 年 理二三(10)
50116	月 3	スペイン語一列②	三浦 麻衣子	107	1 年 理二三(8)
50145	月 4	スペイン語一列②	三浦 麻衣子	107	1 年 文三(9)
50421	火 4	スペイン語一列②	深澤 晴奈	K114	1 年 文一二(9)
50527	水 2	スペイン語一列②	川上 英	1214	1 年 文一二(12)
50538	水 2	スペイン語一列②	網野 徹哉	108	1 年 文三(10)
50545	水 2	スペイン語一列②	久住 真由	109	1 年 理一(16)
50546	水 2	スペイン語一列②	深澤 晴奈	K011	1 年 理一(18)
50553	水 2	スペイン語一列②	川崎 義史	1212	1 年 理二三(12)
50607	水 3	スペイン語一列②	渡辺 暁	113	1 年 文三(7)
50635	水 4	スペイン語一列②	石橋 純	511	1 年 文一二(10)
50639	水 4	スペイン語一列②	深澤 晴奈	K113	1 年 文三(8)
50645	水 4	スペイン語一列②	川上 英	1214	1 年 理一(9)
50647	水 4	スペイン語一列②	久住 真由	109	1 年 理一(11)
50648	水 4	スペイン語一列②	渡辺 暁	113	1 年 理一(17)
50740	木 2	スペイン語一列②	深澤 晴奈	K211	1 年 文一二(8)
50753	木 2	スペイン語一列②	愛場 百合子	1214	1 年 理一(10)
50755	木 2	スペイン語一列②	倉田 量介	162	1 年 理一(15)
50795	木 3	スペイン語一列②	倉田 量介	162	1 年 文一二(11)
50815	木 3	スペイン語一列②	若林 大我	155	1 年 理一(12)
50824	木 3	スペイン語一列②	中島 聡子	104	1 年 理二三(11)
50848	木 4	スペイン語一列②	深澤 晴奈	K113	1 年 理一(13)
50849	木 4	スペイン語一列②	若林 大我	155	1 年 理一(14)
50860	木 4	スペイン語一列②	中島 聡子	104	1 年 理二三(9)
50983	金 3	スペイン語一列②	有田 美保	152	1 年 文一二(7)
50624	水 3	スペイン語特修	竹村 文彦	159	2 年 文科 理科

基礎科目　韓国朝鮮語

韓国朝鮮語	開講区分	A

授業の目標・概要

●1 年生初修クラス

S セメスターに引き続き、共通教材『ことばの架け橋』を通じて文法と語彙を学んでいき、教科書を終えた後には、さまざまな教材を用いて一年間に学んだ文法知識の応用練習を行います。これらによって A セメスターの授業では、基礎文法を完全に習得した上で、辞書を引きながら新聞・雑誌記事を読める程度、また基本的な内容ならば自分の考えや意見を正確に表現できる程度の力を身につけることを目指します。

文科生はこのほか総合科目 L 系列において、韓国人教員が担当する「初級（演習）②」を履修し、基礎知識の応用をはかっていきます。

●特修クラス

これまでに学んだ内容の復習によって、韓国朝鮮語の基本的な能力を身に付けることを目指します。詳しくは UTAS 上のシラバスを参照してください。

成績評価方法　定期試験と平常点（出席、小テスト、課題など）

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名　『ことばの架け橋』（再改訂試用版）

著者（訳者）　生越直樹・曺喜澈・三ツ井崇

関連ホームページ　http://phiz.c.u-tokyo.ac.jp/~korea/korea_junior.html

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	教室	対象クラス
50054	月 2	韓国朝鮮語一列②	三ツ井 崇	157	1 年 理一(6)
50334	火 3	韓国朝鮮語一列②	三ツ井 崇	1211	1 年 文一二(5) 文三(5)
50432	火 4	韓国朝鮮語一列②	生越 直樹	1211	1 年 理二三(5)
50662	水 4	韓国朝鮮語特修	生越 直樹	152	2 年 文科 理科

基礎科目　イタリア語

イタリア語	開講区分	A

授業の目標・概要

●1 年生初修クラス
Ⅰ列Ⅱ列では、Ｓセメスターの終わりまでに、初級文法を一通り習得します。Ａセメスターでは、それを応用しながら、比較的平易な現代文を中心としたテクストの読解と、接続法・条件法等の文法知識の整理を行います。テクストとして、東京大学イタリア語教材編集委員会編の文法教科書「イタリア語のスタート Italiano... in partenza!」（白水社）を適宜参照しながら、中級読解教科書『ピアッツァ』（東京大学出版局）を主に使用します。あわせて、ネイティヴスピーカの教員による、文法知識の定着と自然なイタリア語の習得のための演習が必修科目として開講されています。「国際コミュニケーション」として、初級の会話・作文、テクスト分析Ⅰも開講されているので、積極的に受講してください。

●既修クラス
総合科目Ｌ系列「国際コミュニケーション」科目の中・上級科目を既修者の単位として認定しています。

●授業計画
１年生初修 ―Ａセメスター前半 初級文法まとめ
Ａセメスター後半 講読中心

●学習上のアドバイス
時間割上可能で意欲的な学習者には、総合科目Ｌ系列「国際コミュニケーション」で開講される選択科目「初級・中級会話」「初級・中級作文」「読解」「表現練習」等の受講をあわせてすすめます。授業には積極的に参加し、有効な学習としてください。

成績評価方法　平常点とセメスター末の筆記試験

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　『Italiano... in partenza! イタリア語のスタート 文法と練習』
著者（訳者）　東京大学イタリア語教材編集委員会編
出版社　白水社

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	教室	対象クラス
50044	月 2	イタリア語一列②	村松 真理子	K402	1 年 文三(6)
50335	火 3	イタリア語一列②	池上 俊一	158	1 年 文一二(6)
50433	火 4	イタリア語一列②	宮坂 真紀	108	1 年 理二三(6)
50543	水 2	イタリア語一列②	宮坂 真紀	155	1 年 理一(8)
50847	木 4	イタリア語一列②	山﨑 彩	162	1 年 理一(7)
50625	水 3	イタリア語特修	日向 太郎	151	2 年 文科 理科

基礎科目　日本語

日本語	開講区分	A

授業の目標・概要

[注意事項]

● 日本語を、前期課程外国語科目の既修外国語、或は、[既修・既修選択]の初修外国語相当として選択した学生は、基礎科目一列② [必修科目] の授業に初回授業から必ず出席すること

● 新カリキュラムにおける日本語科目（基礎科目一列、二列 C、二列 P、総合科目 L 系列）の履修方法等について、基礎科目一列② の初回授業で説明があるので、必ず出席し説明を受けること。

● 総合科目 L 系列科目(A1, A2)の登録について、UTAS や授業での指示に留意し従うこと。

● 基礎科目 日本語一列② 1 年生 既修外国語 （初修扱い外国語）
『テーマで考え議論する日本語 後半 -Active Learning in Academic Japanese -』

文理横断的なテーマに関して、文献リサーチ、読解・聴解、資料収集、調査、協働タスク、ディスカッション、プレゼンテーション、要旨・レジメ執筆等、様々な能動的な協働活動を通して、日本語の諸技能の習得・上達を目指しつつ、現象・問題や他者の意見を適格に理解する力、資料を分析しデータや論拠に基づき考え述べる力、自分の意見を構築し伝える力、議論し合う力、能動的学習力を養う。

総合科目 L 系列においては、相互に相補的な授業活動を行う。日本語科目カリキュラム全体・総合科目カリキュラム全体として、様々な分野・目的での四技能の習得・上達にバランス良く資するための授業を設定し、各々の総合科目 L 系列授業において、それぞれ特徴をもつ授業活動を行う。各授業の特徴・焦点目標については、UTAS の各シラバス参照。

総合科目 L 系列(一部)において、一列授業で扱うテーマ・内容・活動と連動しつつ、相互に相補的な活動を行う。『基礎科目 日本語一列』で扱うテーマやそのテーマでの読解・聴解・協働タスク・ディスカッション等の活動と連動して、一方で、正確な精読、構文・語彙習得（要約・文作・文章構成等、ライティングを含む）のための活動を行い、一方で、アクティブラーニングの発表・プレゼンテーション・発音演習やレポート執筆・論文執筆等、それぞれに特徴をもつ授業活動を行う。

● 総合科目 L 系列『日本語上級』 A1 ターム
「テーマで考え議論する日本語 2: 精読、構文・語彙習得・ライティング中心」
「論文執筆・アカデミックライティング 1（準備編）」
「アカデミックプレゼンテーションのための発音」
「文学作品を読む・味わう・まとめる・伝える その 1」

● 総合科目 L 系列『日本語上級』 A2 ターム
「テーマで考え議論する日本語 2: レポート執筆・発表プレゼンテーション中心」
「論文執筆・アカデミックライティング 2（実践編）」
「アカデミックプレゼンテーションのための発音」
「文学作品を読む・味わう・まとめる・伝える その 2」

成績評価方法

「成績評価方法」は、科目・授業列により異なるので、UTAS 上のそれぞれの科目のページを参照すること。
全般的に、毎回の授業活動(および予習・復習)を重視し、出席、授業活動参加、ディスカッション、クイズ、宿題等の課題、発表、試験、レポート等を総合して評価する。詳細については第一回目の授業で配布するシラバスで説明する。

教科書

その他。／Other

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	開講	曜限	授業科目名	担当教員	教室	対象クラス
50263	A	火 2	日本語一列②	藤井 聖子	10-205	1 年 文科 理科
50926	A	金 2	日本語一列②	藤井 聖子	10-205	1 年 文科 理科

身体運動・健康科学実習Ⅱ

身体運動・健康科学実習Ⅱ	開講区分	A

授業の目標・概要

週１回の授業を通じて
1.身体および身体運動に関する知識を習得する。
2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。
3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。
4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。

授業計画

第１回 教室で教科書を用いた授業（教室は９号館前の掲示を参照)、種目選択
第２回から 選択した種目での授業
学期中に２度 身体運動の科学的理解を目的とした共通授業を行う。
12 月に体力テストを行う。
体育館種目が別の場所に移動し、外種目を体育館で行うこともあるので、９号館前の掲示板を見ること。

授業の方法

第 1 回目の授業で、種目選択を行う。スポーツコース（テニス、サッカー等)、フィットネスコース、サイエンスコースから選択する。その曜限に開設されている種目と説明は https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp を参照のこと。
種目選択以降は、各種目に分かれて行う。
基本的には自分の身体を動かして、実習することが第一であるが、各種目により様々なアプローチがなされる。
学期中に２回、身体運動の科学的理解を目的とした共通授業を、通常とは別の場所で行う。教室での授業、身体運動の科学的理解のための授業だけでなく、通常の授業でも教科書「教養としてのスポーツ・身体運動」を用いるので、毎回持ってくること。毎回の授業における心拍数、体力テストの結果等も教科書に記入する。
通常授業での説明、科学的理解のための共通授業、体力テスト等によって、学期末にレポートを提出する。

成績評価方法

1 出席 身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。
2 達成度 各自が選択履修している授業について、学習達成度の評価を行う。
3 体力テスト １２月に行い、評価に含める。
4 レポート 通常授業での説明、共通授業、体力テストの結果等を受けて、学期末にレポートを提出する。
5 その他 授業中にどのような態度で参加し、どのように自己の役割を認識し、実行しているか、学習内容をどれだけ理解しているのか、等を評価する。

教科書

次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　教養としての身体運動・健康科学
著者（訳者）　東京大学身体運動科学研究室
出版社　東大出版会

履修上の注意

種目選択後の種目変更は、特別な事情（病気、怪我など）が無い限り認めない。

学習上のアドバイス

盗難が多いので注意する。体育館は、土足、飲食禁止。

関連ホームページ

https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50043	月 2	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 文三(4,11,16)理一(5,10-11,15,19,25-26)理二三(8)
50333	火 3	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 文一二(4,8)文三(18)理一(14,17,20,28,34-35,37-38)
50384	火 4	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 文一二(1-3,5,11-12,25)文三(1-3,14-15,17)理二三(1-3,7,12,17,19)
50568	水 3	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 文一二(6-7,14-15)文三(8)理一(7,9,22,27,30)
50637	水 4	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 文一二(16,26-28)文三(9)理一(13,16)理二三(16,20-22)
50747	木 2	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 理一(1-3,12,31-33)理二三(5-6,9-11,15,24)
50785	木 3	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 文一二(9,18,23)文三(6,12)理一(4,18)理二三(4,13-14,23)
50984	金 3	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 文一二(10,13,17,19-20,24)文三(5,7,10)理一(21,36)理二三(18)
51038	金 4	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 文一二(21-22)文三(13,19-20)理一(6,8,23-24,29,39)

身体運動・健康科学実習Ⅱ（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ）

身体運動・健康科学実習Ⅱ（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ）	開講区分	A

授業の目標・概要

週１回の授業を通じて
1.身体および身体運動に関する知識を習得する。
2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。
3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。
4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。

授業計画

第 1 回目の授業は、クラス指定された身体運動・健康科学実習の曜限で受講する。第 2 回目以降からこの曜限で受講する。
各自の状態に合わせて、実習を行う。

授業の方法

基本的には自分の身体を動かして、実習することが第一であるが、各自の状態により様々なアプローチがなされる。
教科書「教養としてのスポーツ・身体運動」を用いるので、毎回持ってくること。学期末にレポートを提出する。

成績評価方法

1 出席 身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。
2 達成度 各自の学習達成度について評価を行う。
3 レポート 授業での説明、実習内容、その結果等を受けて、学期末にレポートを提出する。
4 その他 授業中にどのような態度で参加し、どのように自己の役割を認識し、実行しているか、学習内容をどれだけ理解しているのか、等を評価する。

教科書

次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　教養としての身体運動・健康科学
著者（訳者）　東京大学身体運動科学研究室
出版社　東大出版会

履修上の注意

第 1 回目の授業は、クラス指定された身体運動・健康科学実習の曜限で受講する。そこで今後の指示を受け、第 2 回目以降から別の曜限（月１、月５、火１、水１のいずれか）で受講する。
クラス指定された曜限で他の授業を受講する場合のみ、教務登録は実際にメデイカルケアコースを受講する曜限に変更する。その際には、教務課で配布する履修認定カード（３枚綴り）に必要事項を記入した上で、許可サイン欄に授業担当教員のサインをもらい、１枚目を教員に提出、２枚目を教務課に提出すること。ただし、クラス指定された曜限に他の授業を入れない場合は、教務登録はクラス指定された曜限のままでよい。

学習上のアドバイス

盗難が多いので注意する。体育館は、土足、飲食禁止。

関連ホームページ

https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50002	月 1	身体運動・健康科学実習Ⅱ（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 3）	実技担当	1 年 文科 理科
50185	月 5	身体運動・健康科学実習Ⅱ（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 1）	実技担当	1 年 文科 理科
50240	火 1	身体運動・健康科学実習Ⅱ（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 3）	実技担当	1 年 文科 理科
50487	水 1	身体運動・健康科学実習Ⅱ（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 2）	実技担当	1 年 文科 理科

基礎科目 社会科学

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50125	A	法Ⅱ	北村 朋史	法・政治	月 3	1313	1 年 文二 文三 2 年 文二 文三

講義題目　国際社会と法

授業の目標概要　国際社会には、国内におけるような集権的な統治機関が存在しない。そうした社会において妥当する法とはどのような特徴を有し、どのように機能しているのだろうか。本授業では、近年の具体的な国際紛争事例にも触れながら、国家管轄権、国家領域、海洋の利用、国際通商、武力の行使等にかかわる法について解説し、国際社会における法の役割と限界について考察する。またこうした作業を通じて、法・法学一般に関する基本的な知識や思考の方法を身につけることも目標する。

評価方法　期末試験によって評価する。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50465	A	法Ⅱ	福岡 安都子	法・政治	水 1	1106	1 年 文一(1-14) 2 年 文一

講義題目　公法学のテクストを読む

授業の目標概要　【文一のみ履修可】
「法 I」で法学につき基礎的知識を習得したことを前提に、引き続き、公法学分野の具体的素材とその読解を通じて、解釈の力を養うことを目指す。

評価方法　基本的に学期末試験に基づいて行いますが、授業における各種フィードバックの内容も加味します。
なお、フィッシャー先生担当の 2 回の授業についても試験を行います。詳細は授業の際に通知します。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50466	A	法Ⅱ	石川 健治	法・政治	水 1	1331	1 年 文一(15-22) 2 年 文一

講義題目　法Ⅱ・法学オードブル

授業の目標概要　かつて民事訴訟法学の泰斗・三ヶ月章教授は、最初で最後の「法学」（現在の「法Ⅰ」）の講義を担当するにあたって、「蟹は自らの甲羅に似せて穴を掘る」ほかないと述懐された。当時学生としてそれを聴講した私が同じ立場にたってみると、やはり全く同様のことを思わざるを得ない。本講義は、いま自分が学生であったら聴いてみたいと思うような「法学入門」をめざすが、それだけに内容は、三ヶ月教授から法学の手ほどきを受け、縁あって憲法学を専攻することになった私の「甲羅」に、おのずから準拠したものになるであろう。

評価方法　学期末の筆記試験により成績を評価する

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　法学入門
著者(訳者)　三ヶ月章
出版社　弘文堂
ISBN　4335300298

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50467	A	法Ⅱ	森田 修	法・政治	水 1	1225	1 年 文一(23-28) 2 年 文一

講義題目　法Ⅱ・生活の中の民法

授業の目標概要　目標の第一は、契約・不法行為責任・所有権などの民法の基本的な制度と考え方とを学ぶことである。
目標の第二は、コンビニ営業の過酷さや、浮気禁止約束といった、身近な現代的紛争事例を取り上げ、その中で民事法がどのような役割を果たしているかを知ることである

評価方法　期末試験による

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50126	A	政治Ⅱ	伊藤 武	法・政治	月 3	1323	1 年 文一 2 年 文一

講義題目　比較政治入門

授業の目標概要　この授業は、専門課程で学ぶ政治学系科目の基礎として、政治Ｉで学んだ政治学原論に続き、比較政治の基本的な考え方を身に付けることを目的とします。
比較政治（学）は、国際政治学や政治思想史・政治理論と並ぶ政治学の主要なな分野です。特定の国や事例を見るだけでは分からない共通のメカニズムや特徴を、比較の手法や政治学理論を用いて明らかにする政治学です。
授業では、先進国・途上国を含んだ多様な地域を対象に、選挙や政党政治、議会政治など従来重要とされてきた分野に加えて、司法政治など新しい分野も扱います。授業の解説は基本的なレベルから行いますが、新しい研究動向なども紹介しながら必要に応じて発展的内容も扱います。 受講者の方は、それぞれの関心に応じて取り組んで下さい。

評価方法　・期末試験
・付加的にプレゼンテーション、小テスト、レポートなどの内容を考慮する場合もあります。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　政治学の第一歩
著者(訳者)　砂原庸介 ， 稗田健志，多湖 淳
出版社　有斐閣
ISBN　978-4-641-15025-6
その他　教科書は必ず入手してください。

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50488	A	政治Ⅱ	浅野 豊美	法・政治	水 1	525	1 年 文二 文三 2 年 文二 文三

講義題目　政治の基礎概念と国民的和解

授業の目標概要

１ 「政治とは何か」「何のために政治学を勉強するのか」という根本的な問いから始まって、主権(sovreignty)、憲法(constitution)、政治体制（political regime）、国家(state)、社会（society）、民主主義（democracy）、国民（nation）、市民(citizen)、政党(political party)、選挙(election)など、政治を理解するために必要な基本的な諸概念に関する理解を深め、今後、日本国内の政治に関する種々の現象、周辺地域のアジア諸国の民主化プロセス、その後の国内政治と国際政治との共振現象としての「歴史問題」を冷静に分析するのに必要な基礎を身につける。

２ 民主主義（democracy）とは何であり、その主体としての国民や、その客体としての国家的統治とは何かという問題を、対外政策を含めた公共性の実現プロセスとして考える能力を養う。民主主義に関する既存の見方も時代によって変遷しているので、夜警国家時代、福祉国家時代、小さな政府を基礎とするグローバル化の時代に大別しながら考察を深める。

３ 各時代によって異なる政治と経済との関係について、歴史的な展開過程やいくつかの争点を選んで考察を深める。同様に、各時代によって異なるところの、国民的社会を自己再生してきた基盤としての文化と政治との関係にも視野を広げて、現代の日本と周辺諸国との民主主義体制の共存のあり方という観点から、「国民的和解」を焦点にして歴史問題にアプローチする視点を各自に築いてもらう。

４ アジアの周辺地域が民主化によっていかに政治体制を変化させたのかという問題は、通常、比較政治という分野に属するが、この民主化の問題を日本自身のそれとの比較を念頭に、思考の対象とできるようにする。日本では 1955 年以来、自民党中心の一党優位体制が続いてきたが、1993-96 年、および、2009-2012 年には、それまでの野党が政権を掌握した。（2009 年総選挙では、野党民主党が 308 議席を獲得、自民党が 119 議席と大敗し小選挙区制の効果が発揮された）しかしこうした日本政治における政権交代が、新しい歴史観を伴うものでなかったのに対して、日本周辺地域としての韓国と台湾における民主化は、新たな歴史認識を掲げた勢力による平和的体制変革として進められた。韓国における民衆史、台湾における台湾史は民主化運動に対する幅広い支持を集める手段となり、民主化以前の政治体制の象徴となった存在こそ「歴史の被害者」であった。歴史解釈権を伴ってこそ、アジアの民主化は成功したといえる。また、被害者の人権や女性の尊厳という普遍的価値の実現は、体制の変革・民主化と円満に自然調和して、少なくともある時点まで進んだといえる。また、こうした観点から日本を見れば、冷戦下の国内的冷戦状況の下で「革新」の側が掲げてきた異なる歴史認識こそ、「未完の民主化」とその契機としての明治の自由民権運動、大正デモクラシー、そして占領下の民主化をつなぐ歴史観であったということができる。

以上、日本の大学で政治学の講義をする際には、日本の政治をメインの対象とせざるを得ないが、留学生を含めて日本国籍を持たない受講生がいることや、近年の出口が見えない歴史問題の展開をも念頭に、政治と経済、そして政治と文化の関係にも目配せをしながら、大きな公共性の抽出過程としての政治、国内政治と国際政治のレベルを超えた共振現象、そして国民的和解に向けた新たな学の試みにも注意を向けてほしい。

教科書は特には指定しないが、授業の内容に関して以下の参考書が授業を理解するために一定程度有用だと考える。各会の授業に関して、下記の ABCD の参考書の関連部分を示すので、授業を理解するための参考にしてもらいたい。
Ａ 久米郁男・川出良枝・古城佳子・田中愛治・真渕勝 編著『New Liberal Arts Selection 政治学 Political Science: Scope and Theory』有斐閣、2003 年）
Ｂ 川崎修・杉田敦 編『現代政治理論』有斐閣、2005 年
Ｃ 苅部直・宇野重規・中本義彦編『政治学をつかむ』有斐閣、2011 年
Ｄ 川出良枝・谷口将紀編『政治学』東京大学出版会、2012 年
Ｅ マーク・ピーティー、浅野豊美訳『植民地—20 世紀日本帝国 50 年の興亡』慈学社、2012 年。

また、特に、民主主義（democracy）に関しては、以下が手がかりとして有益である。
杉田敦『デモクラシーの論じ方：論争の政治』ちくま新書、2001 年
杉田敦『政治的思考』岩波新書、2013 年
森政稔『変貌する民主主義』ちくま新書、2008 年；森政稔『迷走する民主主義』ちくま新書、2016 年。
宇野重規『<私>時代のデモクラシー』岩波新書、2010 年
佐々木毅『民主主義という不思議な仕組み』筑摩書房、2007 年
中北浩爾『現代日本の政党デモクラシー』岩波新書、2012 年
丸山眞男著、杉田敦編『丸山眞男ｾﾚｸｼｮﾝ』 平凡社ライブラリー（文庫）、2010 年
杉田敦『境界線の政治学 増補版』岩波現代文庫、2015 年。

このうち、2019 年度秋の授業では、
杉田敦『境界線の政治学 増補版』（岩波現代文庫、2015 年）に関するレポートを提出してもらう。

評価方法　定期試験

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50127	A	経済Ⅱ	丸山 真人	経済・統計	月 3	900	1 年 文科 2 年 文科

講義題目　人間の経済と資本の論理

授業の目標概要　人間の経済の根底には市場化に馴染まないものが実在しており、それを分析するためには、自然と人間との間の物質代謝や非市場的社会関係を射程に入れた広義の経済学のアプローチが必要である。ところで、現代資本主義は自然環境のみならず、社会関係や人間自身までも擬制的に資本化し、人間生活の全体を市場関係で覆い尽くそうとしている。このような現象の背後には資本の運動法則が存在しており、それを解明するには「資本論」のアプローチが不可欠である。本講義では、これらのアプローチの基本を説明し、人間の経済を資本の論理から解放する方途を探求することを課題とする。

評価方法　期末試験

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50456	A	経済Ⅱ	竹野 太三	経済・統計	火 5	900	1 年 文科 2 年 文科

講義題目　経済 II 価格理論

授業の目標概要　本講義では、経済学に興味を持つ前期課程文科生を対象に、価格理論の解説を行います。主として個人や単一企業レベルにおける意志決定過程の考察を基に、完全競争市場や不完全競争市場で達成される均衡の特性の分析を試みることに加え、厚生経済の第一、および第二定理に示される知見を紹介することを目的とします。従って、市場全体、或いは経済全体の特性を示す指標（例えば失業率やインフレ率、経済成長率など）に関わる分析をするマクロ経済学の解説は、本講義では行いません。なお、ミクロ経済学、マクロ経済学のいずれを先に学ぶかは重要ではありません。(履修計画の参考まで。)

評価方法　持ち込み不可の期末試験によります。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名　経済学の基礎 価格理論

著者(訳者)　竹野太三

出版社　東京大学出版会

ISBN　978-4-13-042146-1

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50128	A	社会Ⅱ	井上 彰	社会・社会思想史	月 3	531	1 年 文科 2 年 文科

講義題目　分析的政治哲学入門

授業の目標概要　本授業では、現代英米圏を中心に、政治理論においてメインストリームを形成している「分析的政治哲学」について学習する。分析的政治哲学とは、１９世紀に生まれ、２０世紀初頭から飛躍的な発展を遂げた分析哲学の道具立てを用いて、政治哲学上の鍵概念である「正義」「自由」「平等」等の構成要件を解明し、それらの主題や適用範囲を明らかにする学問領域である。本授業では、２０世紀を代表する分析的政治哲学者である J・ロールズの議論をおさえたうえで、そこから発展した様々な論争の検討を通じて、分析的政治哲学の主題や鍵概念の適用範囲をめぐる議論についてわかりやすく解説する。その射程は、グローバル正義論や地球環境（排出権）問題、そして移民問題といった具体的な論点も含まれる。

評価方法　筆記試験の点数に、授業中に複数回課す小レポートの点数を加えて評価する。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50489	A	数学 I	長谷川 立	数学	水 1	761	1 年 文科 2 年 文科

講義題目　数学 I
授業の目標概要　文科生向けに一変数関数の微分法と積分法に関する基礎的内容を扱う科目である．社会科学に関連する題材を織り交ぜ，数学的な概念を把握することに重点をおいて講義する．講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが，担当教員によって順序は異なることがある．

評価方法　定期試験による．
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　入門微分積分
著者(訳者)　三宅敏恒
出版社　培風館
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50490	A	数学Ⅱ	辻 雄	数学	水 1	743	1 年 文科 2 年 文科

講義題目　数学Ⅱ
授業の目標概要　文科生向けの，ベクトルと行列に関する基礎的な内容や，計算手法を理解するための科目である．講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが，担当教員によって順序は異なることがある．この科目を履修した後に，より進んだ内容を総合科目 「数理科学概論 II」で学ぶことができる．

評価方法　主として定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある．
教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50491	A	数学Ⅱ	坂井 秀隆	数学	水 1	532	1 年 文科 2 年 文科

講義題目　数学Ⅱ
授業の目標概要　文科生向けの，ベクトルと行列に関する基礎的な内容や，計算手法を理解するための科目である．講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが，担当教員によって順序は異なることがある．この科目を履修した後に，より進んだ内容を総合科目 「数理科学概論 II」で学ぶことができる．

評価方法　主として定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある．
教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

基礎科目 人文科学

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50129	A	哲学Ⅱ	高村 夏輝	哲学・科学史	月 3	1331	1年 文科 2 年 文科

講義題目　近代哲学と心身問題

授業の目標概要
　ヨーロッパにおいて、アリストテレスやキリスト教の影響下にあるものから近代科学を支えるものへと世界観が変わっていくのに応じて、物質と心に関する理解の仕方も変化し、両者の関係を問う心身問題が深刻化した。
　この授業では、デカルト・ホッブズ・スピノザ・ライプニッツなど、主に 17 世紀に活躍した哲学者たちの心身問題への取り組みを紹介していく。それを通じて、心身問題の基本的な問題構成、それに対する代表的な解決方法およびそれらが抱える問題点を理解することを目的とする。

評価方法　出席と授業時の態度、定期試験の成績を勘案して評価する。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50457	A	哲学Ⅱ	山本 芳久	哲学・科学史	火 5	1323	1 年 文科 2 年 文科

講義題目　哲学の原典を読む

授業の目標概要
　西洋哲学の基礎を、その原点に即しながら学ぶ。具体的には、古代ギリシアの哲学者アリストテレスの『ニコマコス倫理学』と、西洋中世の哲学者トマス・アクィナスの『神学大全』を中心に、基本的なテクストを抜粋し、日本語で丁寧に読解していく。関連する範囲で、他の哲学者のテクストも読解する。

評価方法　試験。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　トマス・アクィナス 理性と神秘
著者(訳者)　山本芳久
出版社　岩波新書
ISBN　978-4004316916
その他

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50130	A	倫理Ⅱ	田中 智彦	哲学・科学史	月 3	K212	1 年 文科 2 年 文科

講義題目　〈いのち〉と〈ひと〉のいまを問う

授業の目標概要
In order to have a sense of who we are, we have to have a notion of how we have become, and of where we are going. Charles Taylor
　私たちは今日、いのちとひとをめぐって倫理的にどのような状況にあるのだろうか。またその状況は、どのようにして今日あるようになったのだろうか。どのような明日をもたらしうるのだろうか。
　この授業ではこうした問いについて考えてゆきたい。その過程において、私たちの生・病・老・死を取り囲んでいるいわば「4 つの bio」――生権力（biopower）・生政治（biopolitics）・生命倫理（bioethics）・生命科学技術（biotechnology）――を歴史的・批判的に検討することになるだろう。
　したがって、倫理の諸理論を概説するという形はとらない。むしろ過去の、また現在の具体的な事例をとりあげ、そこにどのような問題を見いだすか、それらをどのように考えるかに関して一つの視座を示すことをつうじて、受講者一人ひとりが「ひととして限りあるいのちをいかに生きるべきか」という問いを自ら探究する手がかりを提供したいと思っている。

評価方法　原則として〈レポート 75%〉〈授業参加度 25%〉で評価する。ただし、受講者数によってはレポートを試験に変更することもありうる。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50458	A	歴史Ⅰ	大塚 修	歴史学部会	火 5	1101	1 年 文科 2 年 文科

講義題目　イランの歴史と文化

授業の目標概要

この授業では、中東イスラーム地域の中でも、イランを中心とする地域の歴史と文化を扱います。イランは 1979 年のイスラーム革命以降、イスラーム的価値観に基づく国家づくりを掲げ、国際社会から孤立してきました。特に 2018 年にアメリカが核合意を離脱して以降、アメリカとの対立はいっそう深まっている状況にあります。しかし、中東イスラーム地域におけるイランの重要性については、いまだに十分な知識が提供されているとは言えない状況にはあります。イスラーム文化は非アラブ圏においても、各地域で独自の発展を遂げてきました。特に、イラン文化の影響は中央アジア、インド、トルコなど広範囲に及び、イスラームという宗教やその文化を考える上で看過できない重要な位置をしめています。そこで、この授業では、イスラーム以前の在来文化と融合しながら発展してきたイラン地域固有のイスラームの在り方を提示し、アラブ世界に代表される一般的なイスラーム認識を相対化することを目指します。それと同時に、現代のイランに関する諸問題を考えるための基礎的な知識を提供します。

評価方法　期末試験（60%）、平常点（40%）

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50131	A	歴史Ⅱ	桜井 英治	歴史学部会	月 3	K211	1 年 文科 2 年 文科

講義題目　歴史学を知る

授業の目標概要

「歴史を学んで何になるんだろう」――年号や人名の暗記に苦しんだ受験勉強の最中に、そんな風に思ったことはないだろうか。しかし歴史学とはもちろん暗記ではない。「史料に基づき過去の人間生活の事象を研究する学問」である。それは専門的な学問領域であると同時に、“歴史学的にみる・考える”という普遍的な思考力を身に付けるためのトレーニングでもある。物事を長いタイムスパンで捉える力、経験不可能な物事に対するリアルな推測力、「現在」を相対的に視る力――歴史学によって必然的に養われるこれらの力は、過去を振り返るときだけでなく、今を生き、未来を踏み誤らないためにも必要不可欠のものだろう。

この授業では、受講生が歴史学の基礎を学びながら、“歴史学的にみる・考える”力を養うことを目的に、教養学部の 6 名の歴史学教員がリレー形式で講義する。歴史学の研究とは、どのような発想と手法によって進められ、その結果どのような歴史像が描き出されるのか。歴史学を専門的に学びたい学生ばかりでなく、“歴史学的にみる・考える”力を身に付けたいと考えるすべての文科生に受講してほしい。

評価方法　学期末の試験を主とし、授業中の課題などを加味して総合的に判断する。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50132	A	ことばと文学Ⅱ	谷口 洋	国文・漢文学	月 3	109	1 年 文科 2 年 文科

講義題目　うたをめぐるものがたり、ものがたりのなかのうた：中国古典文学の場合

授業の目標概要

「うた」と「ものがたり」とは、文学の二大分類とも言い得るものだが、ややもすると、両者は別々にとらえられる傾向にある。研究者の間でも、「ご専門は韻文ですか、散文ですか」「私は小説が専門なんで、詩はちょっと……」というような会話がされたりもする。しかし歴史的に見れば、両者はむしろ相互に分かちがたく絡み合っているのが普通であった。

ここでは、中国古典文学を例に取りあげるが、日本の場合でも『古事記』や『伊勢物語』がすぐに思い浮かぶように、問題自体は文学一般に普遍的なものである。中国文学についての知見を得ることと、文学研究の視点を得ることの両方が目標である。

評価方法　学期末のレポートを主とし、学期途中の小レポートを勘案する。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50459	A	ことばと文学Ⅲ	矢田 勉	国文・漢文学	火 5	1225	1 年 文科 2 年 文科

講義題目　日本語史の未解決問題

授業の目標概要　日本語は、世界の諸言語の中ではその歴史的変遷に関わる資料に恵まれた言語に属する。また、語彙構造については中国語を初めとする外国語の大きな影響を蒙り、音声・音韻構造についても中国語等の影響をその史的変化の上に受けているが、文法構造については大きな影響を受けていない、という点でも、言語の史的変化に関する、興味深い事例を一般言語史研究に提供できる研究対象である。しかしながら、確実に近縁関係を指摘出来る言語が発見されていないことはその研究上の大きな制約でもあり、そもそも、本来は音声という形態をとるのが一次的な姿である言語を、文献から復元することに関わる、言語史に普遍的な研究上の困難もある。本講義では、日本語史の重要事項を押さえつつ、今後の解明が待たれる問題について紹介していく。

評価方法　授業中の課題への取り組み（30%）と期末試験（70%）により総合的に判定する。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50133	A	ことばと文学Ⅳ	白井 重範	中国語	月 3	104	1 年 文科 2 年 文科

講義題目　中国近現代小説を読む

授業の目標概要　中国が近代化の必要に迫られた 19 世紀から 20 世紀初頭までの歴史的・社会的背景をふまえた上で、20 世紀前半の中国で書かれた短編小説を読んでいく。当時の中国で、文学は救国・社会改革のための道具としての側面が強く意識され、文学作品を通じて様々な社会問題が提起された。また、伝統的な社会規範から脱却し、西洋的な価値観を取り入れる必要性も、主として文学作品を通じて宣伝された。ただし、識字率の低さ、貧困率の高さ、伝統への愛着の深さ、諸外国の中国侵攻等々により、文学による社会改造は順調に進まなかった。それでも、人間の生き方を巡る諸問題を分析した作品が数多く生まれ、その中には 21 世紀の日本に生きる私たちにも、一定程度共感可能なものがあるように思われる。この機会に、前世紀の中国知識人の想像力と時空を超えた交流が可能かどうか、確かめてみてほしい。

評価方法　コメントペーパー（約 20%）、口頭発表（約 30%）、レポート（約 50%）。
毎回の授業で、授業内容に関する質問や自らの見解、作品に対する感想等を書いたコメントペーパーを提出する。発表は、履修者の数が多い場合は全員にまわらない可能性もあり、その際は代替手段を講ずる。レポートのテーマは、受講者と相談の上決定する。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50134	A	心理Ⅱ	本吉 勇	心理・教育学	月 3	525	1 年 文科 2 年 文科

講義題目　心理学概論

授業の目標概要　人間は，環境から受け取った光や音の情報をもとに，外界のモノや出来事を認識し，過去の記憶や与えられた状況に応じて適切に反応し，また他の人間と相互作用することができる．このすぐれて知的な能力はすべて脳の情報処理によるものである．認知科学(cognitive science)とは，心理学・神経生理学・情報工学が密接に結びつきながら，その仕組みを解明し制御することをめざす巨大な学問領域である．

本講義では，多くの錯覚デモや模擬実験を体験しながら，知覚，認識，記憶，感情，思考，社会性といった「人の心の基本的な仕組み及び働き」を支えている脳情報処理の原理原則と，その背後にある生理学的・計算論的メカニズムの基礎を学ぶ．それによって，進化と学習が生み出した優れた情報処理マシンとしての脳と人間を理解するための視点を身につけることをめざす．人工知能を含めた現代と未来の脳工学技術や「心理学の成り立ち」にも触れる．

評価方法　出席および期末試験による．

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50492	A	心理Ⅱ	伊村 知子	心理・教育学	水 1	1313	1 年 文科 2 年 文科

講義題目	心理学概論
授業の目標概要	ヒトの心は、発達とともに変化するものであると同時に、環境への適応をとおして形づくられた進化の産物である。この講義では、発達と進化の視点から心理学の成り立ちをとらえることにより、人の心の基本的な仕組み及び働き、ヒトに固有の心の特徴、心の普遍性と多様性について理解を深める。前半は、乳幼児の心的機能の発達、後半は、ヒトを含む霊長類などの動物との比較をとおして心的機能の発生について概観する。
評価方法	期末試験により評価する（持込不可）。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

基礎実験

基礎実験	開講区分	Ａ１／Ａ２

授業の目標・概要

自然科学の学習に不可欠な基本的な知識・技能を習得する.
１）将来の自然科学の発展に対応できるように、自然科学諸分野の基礎的な実験方法と概念を理解できるようにする.
２）基礎講義の内容を、基礎実験によってよりよく理解できるようにする。
３）未知の自然現象の解明を目的とする研究実験に必要な観察力・姿勢を養い、みずから実験を計画する場合に不可欠な基本的技法を習得できるようにする.

月曜から金曜の指定された曜日に週１回受講する.

基礎実験は班に別れて行う。班分け、実施日程ならびに各班の実験種目ローテーションを KOMCEE East に掲示するので前もって確認しておくこと.

授業の方法

【実験開始と終了】
１３：００に実験を開始する．その時に、実験に関する説明･注意等をするので遅刻は厳禁である.
化学実験では１３：２０以降の遅刻は必ず欠席扱いとなる.
ただし、１３：２０以内の遅刻でも予習が不足していた場合、欠席扱いになることがあるので注意すること.
物理学実験では１３：３０以降の遅刻は欠席扱いとなる.
実験が終了し、データの解析を終えたら、実験ノートと実験報告書に必要事項を書き、要求されているサンプル等を持って、試問を受けること．ＯＫならばノートに検印を受ける.
きちんと後片付けをしてすみやかに退室すること．内容が十分でない場合は、再実験、再解析を指示する.

欠席：原則として、欠席に対する補充実験は認めない.
遅刻：遅刻は大きく減点する.
予習：必ず自分が受講する種目を予習してくること．予習してこない場合、実験の進行に支障を来たす．グループで実験を行う場合、他のメンバーに大変迷惑をかけることになる.
また、実験全体の流れを前もって把握しておくことは事故を回避するためにも必ず必要なことである.
従って、予習を行ってこなかったものに対しては実験を行うことを認めない.
早退：早退は欠席扱いとなる.
後片付け：後片付けが悪い場合は減点とする.
退室：実験を終了したら必ず終了時のチェック、試問を受けること．ＯＫならばすみやかに退室する.

【用意するもの】
物理系種目：教科書『基礎物理学実験』、実験ノート(Ｂ５版)、グラフ用紙、計算機を用意すること.
化学系種目：教科書『基礎化学実験』、実験ノート(Ｂ５版)、計算機、白衣、保護メガネを用意すること.

【提出物】
物理系実験：実験終了後、実験ノート、解析結果を提示し、試問を受け、最終実験日に実験ノートを提出する
化学系実験：実験終了後、実験ノート、サンプル、グラフなどを提示し、実験報告を行い、１週間後に実験報告書を提出する

成績評価方法

成績は、出席、予習、実験ノート、試問、後片付け、提出物（化学実験は実験報告書、物理学実験は実験ノート）で評価する。

教科書

次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名	『基礎物理学実験』、	『基礎化学実験』
著者（訳者）	基礎物理学実験テキスト編集委員会、	教養学部化学部会
出版社	学術図書出版社、	東京化学同人

履修上の注意

過去ノートの持ち込みはカンニング行為とみなす
携帯・スマホ・デジカメなどの記憶媒体の使用は禁止.
使用は不正行為とみなし厳正に処分する.
館内および外階段は全面禁煙とする．実験室内は飲食禁止.

関連ホームページ

予習し、教科書、ノート、グラフ用紙、計算機、白衣、保護メガネ等実験に必要な物を持参すること.

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	開講	曜限	科目名	対象クラス
50082	Ａ１	月 3,月 4	基礎実験Ⅰ(物理学)	１年 理一(1-5,7,9,13-14,18)
50365	Ａ１	火 3,火 4	基礎実験Ⅰ(物理学)	１年 理一(23-25,29,33,36,39)
50612	Ａ１	水 3,水 4	基礎実験Ⅰ(物理学)	１年 理一(6,12,20-21,31,34-35)
50810	Ａ１	木 3,木 4	基礎実験Ⅰ(物理学)	１年 理一(8,10-11,15-17,19)
51007	Ａ１	金 3,金 4	基礎実験Ⅰ(物理学)	１年 理一(22,26-28,30,32,37-38)
60004	Ａ２	月 3,月 4	基礎実験Ⅱ(物理学)	１年 理一(1-5,7,9,13-14,18)

60052	A 2	火 3,火 4	基礎実験Ⅱ(物理学)	1 年 理一(23-25,29,33,36,39)
60171	A 2	水 3,水 4	基礎実験Ⅱ(物理学)	1 年 理一(6,12,20-21,31,34-35)
60176	A 2	木 3,木 4	基礎実験Ⅱ(物理学)	1 年 理一(8,10-11,15-17,19)
60181	A 2	金 3,金 4	基礎実験Ⅱ(物理学)	1 年 理一(22,26-28,30,32,37-38)
50084	A 1	月 3,月 4	基礎実験Ⅰ(化学)	1 年 理一(1-5,7,9,13-14,18)
50369	A 1	火 3,火 4	基礎実験Ⅰ(化学)	1 年 理一(23-25,29,33,36,39)
50616	A 1	水 3,水 4	基礎実験Ⅰ(化学)	1 年 理一(6,12,20-21,31,34-35)
50814	A 1	木 3,木 4	基礎実験Ⅰ(化学)	1 年 理一(8,10-11,15-17,19)
51008	A 1	金 3,金 4	基礎実験Ⅰ(化学)	1 年 理一(22,26-28,30,32,37-38)
60005	A 2	月 3,月 4	基礎実験Ⅱ(化学)	1 年 理一(1-5,7,9,13-14,18)
60053	A 2	火 3,火 4	基礎実験Ⅱ(化学)	1 年 理一(23-25,29,33,36,39)
60172	A 2	水 3,水 4	基礎実験Ⅱ(化学)	1 年 理一(6,12,20-21,31,34-35)
60177	A 2	木 3,木 4	基礎実験Ⅱ(化学)	1 年 理一(8,10-11,15-17,19)
60182	A 2	金 3,金 4	基礎実験Ⅱ(化学)	1 年 理一(22,26-28,30,32,37-38)
50114	A 1	月 3,月 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(4,6,9,11) 奇数
50372	A 1	火 3,火 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(10,16,21,24) 奇数
50621	A 1	水 3,水 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(14-15,17-18) 奇数
50822	A 1	木 3,木 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(5,8,19-20,22) 奇数
51019	A 1	金 3,金 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(1-3,7,12-13,23) 奇数
60006	A 2	月 3,月 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(4,6,9,11) 偶数
60054	A 2	火 3,火 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(10,16,21,24) 偶数
60173	A 2	水 3,水 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(14-15,17-18) 偶数
60178	A 2	木 3,木 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(5,8,19-20,22) 偶数
60183	A 2	金 3,金 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(1-3,7,12-13,23) 偶数
50115	A 1	月 3,月 4	基礎化学実験	1 年 理二三(4,6,9,11) 偶数
50373	A 1	火 3,火 4	基礎化学実験	1 年 理二三(10,16,21,24) 偶数
50622	A 1	水 3,水 4	基礎化学実験	1 年 理二三(14-15,17-18) 偶数
50823	A 1	木 3,木 4	基礎化学実験	1 年 理二三(5,8,19-20,22) 偶数
51020	A 1	金 3,金 4	基礎化学実験	1 年 理二三(1-3,7,12-13,23) 偶数
60007	A 2	月 3,月 4	基礎化学実験	1 年 理二三(4,6,9,11) 奇数
60055	A 2	火 3,火 4	基礎化学実験	1 年 理二三(10,16,21,24) 奇数
60174	A 2	水 3,水 4	基礎化学実験	1 年 理二三(14-15,17-18) 奇数
60179	A 2	木 3,木 4	基礎化学実験	1 年 理二三(5,8,19-20,22) 奇数
60184	A 2	金 3,金 4	基礎化学実験	1 年 理二三(1-3,7,12-13,23) 奇数

微分積分学②

微分積分学②	開講区分	A

授業の目標・概要

代数学，幾何学とともに，数学の根幹をなす解析学について，その基本的な考え方や方法を学ぶ．力学における運動方程式などに代表されるように，自然界の多くの現象が，微分積分学を用いて記述される．微分積分学は，あらゆる科学技術の基礎となっている．微分積分学は 17 世紀末に，ニュートンやライプニッツらによって創成された．ニュートンは量の変化の記述に注目し，速度，加速度などの物理量を表現するために微分の概念を導入した．「微分積分学の基本定理」により，区分求積法によって定義される積分は，微分の逆操作であることが，明確に認識されるようになった．

微分積分学では，極限をとること，無限和をとることなどの操作が重要な役割を果たす．このような微分積分学の基礎となる極限の厳密な定義は，19 世紀後半から整えられていった．この授業では，「数理科学基礎」で学んだ極限の扱いに基づき，微分積分学の基礎と応用を学ぶ．具体的な項目は以下の通りである． S2 タームで項目 1,2 を扱い，A セメスターで項目 3〜6 を扱うことを目安とするが，担当教員によって，順序や内容に一部変更が加えられる場合がある．

1. 一変数関数の微分 (微分の基本性質，テーラーの定理，テーラー展開)
2. 多変数関数の微分 (偏微分と全微分，合成関数の微分の連鎖律)
3. 多変数関数の微分（続き）(高階偏微分，多変数のテーラーの定理とその応用)
4. 一変数関数の積分 (区分求積法，微分積分学の基本定理)
5. 多変数関数の積分 (多重積分と累次積分，多重積分の変数変換公式)
6. 無限級数と広義積分 (関数列の収束，広義積分)

実数の連続性に基づく微分積分学の基礎の厳密な展開は，2 年次 S セメスターの総合科目「解析学基礎」で学ぶことができる．将来，本格的に数学を使う分野に進学しようという場合は「解析学基礎」によって微分積分学の理論的基礎を修得することをすすめる．なお，「解析学基礎」は 1 年次 S セメスターでも履修することができる．また，2 年次 S セメスターの総合科目として，「微分積分学」の直接的な続きにあたる「微分積分学続論」，および「微分積分学」で学んだ事項の応用にあたる「常微分方程式」，「ベクトル解析」が開講される．

成績評価方法　主として定期試験によるが，担当教員によって小テストやレポートを含めて評価する場合がある．
教科書　その他。／Other
関連ホームページ　https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/calculus.html

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50065	月 2	木田 良才	524	1 年 理二三(14-17)
50066	月 2	山浦 義彦	741	1 年 理二三(18-20)
50067	月 2	斎藤 毅	723	1 年 理二三(21-24)
50165	月 4	石毛 和弘	724	1 年 理一(20-23)
50166	月 4	松田 茂樹	723	1 年 理一(24-27)
50167	月 4	逆井 卓也	523	1 年 理一(28-31)
50168	月 4	金井 雅彦	741	1 年 理一(32-35)
50169	月 4	WILLOX RALPH	721	1 年 理一(36-39)
50424	火 4	斉藤 義久	523	1 年 理一(1,17-19)
50425	火 4	大坪 紀之	531	1 年 理一(2,4-5,8)
50426	火 4	山本 昌宏	524	1 年 理一(3,11-13)
50427	火 4	津田 照久	724	1 年 理一(6-7,9-10)
50428	火 4	大場 清	741	1 年 理一(14-16)
50618	水 3	岡崎 龍太郎	721	1 年 理二三(1-7)
50619	水 3	阿部 紀行	523	1 年 理二三(8-10)
50620	水 3	緒方 芳子	724	1 年 理二三(11-13)

線型代数学②

線型代数学②	開講区分	A

授業の目標・概要

線型代数学の萌芽である行列は多変数の連立一次方程式を効率的，統一的に扱う手法として発明された．また，行列式は方程式の解がただ一つ存在するための条件として発見された．ベクトルの概念の起こりは古典力学にあり，その意味で線型代数学の歴史は古い．しかし行列の本質である線型性概念の真の威力が認識され，数学の一分野として線型代数学が確立したのは新しく，20 世紀にはいってのことであった．

自然界や社会科学における現象は一般には複雑で一次方程式で表せることはまれだが，一次近似によりその本質的な部分をとらえることは常套手段であり，線型代数学の考え方は非常に有効である．また，量子力学や，フーリエ解析などに現れる無限次元のベクトル空間を扱うための基礎ともなっており，線型代数学の応用については枚挙にいとまがない． このように，線型代数学の考え方は現代数学や理論物理学においてはもちろんのこと，工学，農学，医学，経済学などにおいても基本的な考え方として浸透しており，応用範囲も広い．線型代数学は理論的には単純で明快であるが，その反面，抽象的な概念操作にある程度慣れないと理解しにくい面もある．線型代数学を身につけるには，演習などのさまざまな問題にあたり，理解を深めることが必要である．「数理科学基礎」において学んだベクトルと線型写像に関する知識を前提とする．

S2 タームで UTAS シラバス「授業計画」の項目 1, 2 を扱い， A セメスターで項目 3〜6 を扱うことを目安とするが，担当教員によって，順序や内容に一部変更が加えられる場合がある．

成績評価方法　主として定期試験によるが，担当教員によって小テストやレポートを含めて評価する場合がある．
教科書　その他。／Other
関連ホームページ　https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/linear_algebra.html

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50481	水 1	田中 公	721	1 年 理二三(1-7)
50482	水 1	植野 義明	523	1 年 理二三(8-10)
50483	水 1	小林 正典	724	1 年 理二三(11-13)
50484	水 1	村上 順	524	1 年 理二三(14-17)
50485	水 1	高木 俊輔	741	1 年 理二三(18-20)
50486	水 1	関口 英子	723	1 年 理二三(21-24)
50816	木 3	飯田 正敏	724	1 年 理一(20-23)
50817	木 3	白石 潤一	723	1 年 理一(24-27)
50818	木 3	下川 航也	523	1 年 理一(28-31)
50819	木 3	梶原 健	741	1 年 理一(32-35)
50820	木 3	山﨑 満	721	1 年 理一(36-39)
50998	金 3	竹内 知哉	523	1 年 理一(1,17-19)
50999	金 3	松井 千尋	531	1 年 理一(2,4-5,8)
51000	金 3	戸瀬 信之	524	1 年 理一(3,11-13)
51001	金 3	足助 太郎	724	1 年 理一(6-7,9-10)
51002	金 3	大田 佳宏	741	1 年 理一(14-16)

微分積分学演習・線型代数学演習

微分積分学演習・線型代数学演習	
授業の目標・概要	数学は講義を聴いただけでは意味を理解することが難しく，自分の手を動かして計算や証明をやってみる必要がある．この２つの科目は微分積分学や線型代数学の講義と一体であり，練習問題を解くことによって講義に対する理解を助け，応用力を養う．講義内容に即した応用問題の他に，講義の理解を深めるための証明問題や，講義で触れられなかった内容に関する補足問題を適宜付け加えることもある．
成績評価方法	通常は定期試験を行なわず，平常の出席点と対応する講義の試験結果とを組み合わせ，授業時間に発表した解答・提出レポート・小テストなどを適宜勘案した総合評価をもって成績とする．出席点が重視されるため，欠席を重ねると単位を出せなくなることがある．
教科書	その他。／Other
関連ホームページ	https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/

※講義の詳細については、UTAS も参照すること

時間割コード	開講	曜限	科目名	担当教員	教室	対象クラス
50118	A	月 3	微分積分学演習	鮑 園園	524	1 年 理二三(14-17)
50119	A	月 3	線型代数学演習	鮑 園園	10-203	1 年 理二三(14-17)
50120	A	月 3	微分積分学演習	田中 雄一郎	741	1 年 理二三(18-20)
50121	A	月 3	線型代数学演習	高木 俊輔	741	1 年 理二三(18-20)
50122	A	月 3	微分積分学演習	山本 宏子	723	1 年 理二三(21-24)
50123	A	月 3	線型代数学演習	関口 英子	723	1 年 理二三(21-24)
50442	A	火 5	微分積分学演習	斉藤 義久	523	1 年 理一(1,17-19)
50443	A	火 5	線型代数学演習	竹内 知哉	523	1 年 理一(1,17-19)
50450	A	火 5	微分積分学演習	清野 和彦	741	1 年 理一(14-16)
50451	A	火 5	線型代数学演習	清野 和彦	741	1 年 理一(14-16)
50444	A	火 5	微分積分学演習	牛腸 徹	531	1 年 理一(2,4-5,8)
50445	A	火 5	線型代数学演習	牛腸 徹	531	1 年 理一(2,4-5,8)
50446	A	火 5	微分積分学演習	山本 昌宏	524	1 年 理一(3,11-13)
50447	A	火 5	線型代数学演習	寺田 至	524	1 年 理一(3,11-13)
50448	A	火 5	微分積分学演習	津田 照久	724	1 年 理一(6-7,9-10)
50449	A	火 5	線型代数学演習	足助 太郎	724	1 年 理一(6-7,9-10)
50656	A	水 4	微分積分学演習	牛腸 徹	723	1 年 理二三(11-13)
50657	A	水 4	線型代数学演習	牛腸 徹	723	1 年 理二三(11-13)
50652	A	水 4	微分積分学演習	柏原 崇人	524	1 年 理二三(1-7)
50653	A	水 4	線型代数学演習	柏原 崇人	524	1 年 理二三(1-7)
50654	A	水 4	微分積分学演習	阿部 紀行	523	1 年 理二三(8-10)
50655	A	水 4	線型代数学演習	鮑 園園	523	1 年 理二三(8-10)
50850	A	木 4	微分積分学演習	間瀬 崇史	724	1 年 理一(20-23)
50851	A	木 4	線型代数学演習	間瀬 崇史	724	1 年 理一(20-23)
50852	A	木 4	微分積分学演習	山本 宏子	723	1 年 理一(24-27)
50853	A	木 4	線型代数学演習	白石 潤一	723	1 年 理一(24-27)
50854	A	木 4	微分積分学演習	清野 和彦	523	1 年 理一(28-31)
50855	A	木 4	線型代数学演習	清野 和彦	523	1 年 理一(28-31)

50856	A	木 4	微分積分学演習	金井 雅彦	741	1 年 理一(32-35)
50857	A	木 4	線型代数学演習	梶原 健	741	1 年 理一(32-35)
50858	A	木 4	微分積分学演習	WILLOX RALPH	721	1 年 理一(36-39)
50859	A	木 4	線型代数学演習	山﨑 満	721	1 年 理一(36-39)

数理科学基礎（補修）

数理科学基礎（補修）	
授業の目標・概要	科学・技術の礎となる数理科学の基礎的内容を学び，高等学校で学んだ数学から大学で学ぶ数学への橋渡しとする． 講義は微分積分と線型代数の二つのテーマからなる．本科目の講義内容は S2 タームから始まる「微分積分学」「線型代数学」に接続する．
成績評価方法	定期試験による．
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
関連ホームページ	https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/ms_s1.html

※講義の詳細については、UTAS も参照すること

時間割コード	開講	曜限	科目名	担当教員	教室	対象クラス
50186	A	月 5	数理科学基礎（補修）	入江　慶	511	1 年 理科 2 年 理科
50674	A	水 5	数理科学基礎（補修）	白石 潤一	722	1 年 理科 2 年 理科

電磁気学Ａ

電磁気学Ａ	開講区分	Ａ

授業の目標・概要

電気・磁気の法則を電荷やその運動による電流が作り出す電磁場の法則として捉える事によって、電磁気現象を統一的に理解し、基礎方程式としてのマクスウェル方程式に至る。また、代表的な例題の解法を通じて、その内容と応用の理解を深める。 主な項目は以下の通りであるが，実際の内容や順序は教員によって多少の違いがあり、特に＊印のついた項目は省略される場合がある。

1.序論：自然界の基本的力と電磁場、ローレンツ力、電荷の保存

2.静電場
・クーロンの法則とガウスの法則
・電位とその性質
・静電場の微分方程式（ガウスの定理、ストークスの定理）
・導体系
・静電場のエネルギーとストレス

3.定常電流
・オームの法則、連続の方程式
・回路への応用（キルヒホフの法則）
・ジュール熱

4.定常電流による磁場
・アンペールの法則
・静磁場の微分方程式
・ベクトルポテンシャル
・ビオー・サヴァールの法則
・円電流と等価磁石
・単位系

5.電磁誘導とマクスウェル方程式
・ファラデイ・レンツの法則
・変位電流と連続の方程式
・マクスウェル方程式
・電磁場のエネルギーと仕事
・平面電磁波
・準定常電磁場と交流回路

＊6.物質中の電磁場
＊考え方：分極電荷、磁化電流
＊誘電体、磁性体（常磁性、反磁性、強磁性）
＊異なった物質の間の境界条件
＊物質中の電磁場エネルギー

成績評価方法　各授業の UTAS シラバスを参照すること
教科書　その他。／Other
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50540	水 2	森松 治	533	1 年 理一(1-4)理二三(1-3,7)
50542	水 2	下村 裕	524	1 年 理一(5-6,30-31)
50550	水 2	多田 司	531	1 年 理一(32-35)
50551	水 2	大井 万紀人	721	1 年 理一(37-39)
50552	水 2	深津 晋	532	1 年 理二三(8,11,19)
50555	水 2	横倉 祐貴	723	1 年 理二三(20,22,24)
50751	木 2	関野 恭弘	524	1 年 理一(9,27-29)
50763	木 2	前田 京剛	741	1 年 理一(19,21-22)
50764	木 2	久我 隆弘	721	1 年 理一(23-24,26)
50768	木 2	下村 裕	523	1 年 理二三(4,17-18,23)

50769	木 2	富谷 光良	723	1 年 理一(7-8)理二三(12)
50770	木 2	小林 研介	533	1 年 理二三(13-14,16)
51049	金 4	石原 秀至	523	1 年 理一(10-12)
51051	金 4	大谷 宗久	524	1 年 理一(13-15)
51052	金 4	秋山 英文	724	1 年 理一(16-18)
51054	金 4	年吉 洋	531	1 年 理一(20,25,36)
51062	金 4	町田 友樹	532	1 年 理二三(5-6,9)
51063	金 4	藤山 茂樹	1102	1 年 理二三(10,15,21)

電磁気学Ｂ

電磁気学Ｂ	開講区分	A

授業の目標・概要

入学試験で物理学を選択しなかった学生で希望する者を対象とする。
高等学校で未履修であること前提とした講義を行う。
講義では演習、宿題等を十分に課する。
目的は大学レベルの電磁気学を習得してもらう事である。入試において|物理学を選択したものは受講資格がない。
主な内容は以下の通り。

1.序論：自然界の基本的力と電磁場、ローレンツ力、電荷の保存

2.静電場
・クーロンの法則とガウスの法則
・電位とその性質
・静電場の微分方程式（ガウスの定理、ストークスの定理）
・導体系、導体に働く力、静電場のエネルギーとストレス
演習

3.定常電流
・オームの法則、連続の方程式
・回路への応用（キルヒホフの法則）
・ジュール熱

4.定常電流による磁場
・アンペールの法則
・ビオー・サヴァールの法則
・電流に働く力
・円電流と等価磁石
・磁場のエネルギー
・単位系

5.時間的に変動する電磁場
・ファラデイ・レンツの電磁誘導の法則
・交流回路

6.変位電流とマクスウェル方程式
・変位電流と電荷の保存
・マクスウェル方程式 （積分形）
・平面電磁波
演習

成績評価方法　各授業の UTAS シラバスを参照すること
教科書　その他。／Other
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50541	水 2	陶山 明	741	1 年 理一(1-6,30-35,37-39)理二三(1-3,7-8,11,19-20,22,24)
50752	木 2	菊川 芳夫	511	1 年 理一(7-9,19,21-24,26-29)理二三(4,7-8,12-14,16-18,23)
51050	金 4	上野 和紀	513	1 年 理一(10-18,20,25,36)理二三(5-6,9-10,15,21)

構造化学

構造化学	開講区分	A

授業の目標・概要

物質の多様な構造や性質，反応を体系的に理解するには，原子や分子に基づいた化学的な考察が不可欠である．本講義では，初歩的な量子論に基づいて，原子の構造や周期律，分子の化学結合の基礎を学ぶ．理論的な基礎だけでなく，契機となった実験結果や身近な物質・現象を通して理解を深めることを目指す．各教員が共通して取り上げる具体的な項目は，下記の通りである．

1. 量子論の必要性
   - ・原子の発光スペクトル(離散的なエネルギー準位，Bohr 原子)
   - ・電子の粒子性と波動性(電子回折，物質波)
2. 量子論の基礎 | ・Schrödinger 方程式(原子・分子の量子論の出発点)
   - ・1 次元箱中の電子(ポリエンの吸収スペクトルと色)
   - ・2 原子分子の振動(振動スペクトルと分子構造)
3. 原子の構造と性質
   - ・水素原子(量子数，エネルギー準位，原子軌道)
   - ・Pauli の排他原理(電子スピン)
   - ・多電子原子(元素の周期律と構成原理)
4. 化学結合と分子
   - ・水素分子イオン(分子軌道，化学結合)
   - ・2 原子分子(分子の性質と電子構造)

成績評価方法　各授業の UTAS シラバスを参照すること

教科書　その他。／Other

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50057	月 2	立川 仁典	532	1 年 理一(20,33-34)
50058	月 2	山口 和也	531	1 年 理一(21-22,31)
50062	月 2	村田 昌之	523	1 年 理二三(5-6,9,11)
50087	月 3	奥野 将成	523	1 年 理一(17,29-30)
50117	月 3	瀬川 浩司	524	1 年 理二三(10,12-13)
50226	火 1	十代 健	524	1 年 理一(7,27-28)
50233	火 1	河野 淳也	523	1 年 理一(12,24,35)
50235	火 1	横川 大輔	531	1 年 理二三(7,15,20)
50363	火 3	小安 喜一郎	1225	1 年 理一(8,11,13)
50371	火 3	横川 大輔	531	1 年 理二三(4,8,22-23)
50374	火 3	安池 智一	1102	1 年 理二三(14,18-19)
50610	水 3	中田 真秀	532	1 年 理一(4,16,18)
50617	水 3	澁田 靖	533	1 年 理一(19,36,38)
50646	水 4	齊藤 圭亮	532	1 年 理一(10,14-15)
50649	水 4	青木 優	533	1 年 理一(23,37,39)
50650	水 4	小島 達央	531	1 年 理一(25-26,32)
50809	木 3	長谷川 宗良	531	1 年 理一(1-3,5-6,9)
50821	木 3	角野 浩史	532	1 年 理二三(1-3,16-17,21,24)

生命科学Ⅱ

生命科学Ⅱ	開講区分	A

授業の目標・概要　細胞生物学を中心に細胞の構造と機能の初歩を講義する。内容はほぼ以下の通りであるが、講義の具体的な進め方は教員によって多少異なることもある。開講時の説明をよく聞くこと。

１．細胞内輸送
２．細胞骨格と細胞運動
３．細胞間・細胞内情報伝達
４．神経伝達と機能
５．細胞周期
６．動物・植物の発生
７．遺伝子の発現制御
８．ゲノムと進化
９．生物多様性

成績評価方法　各授業の UTAS シラバスを参照すること

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名　理系総合のための生命科学－分子・細胞・個体から知る“生命”のしくみ－第 4 版
著者（訳者）　東京大学生命科学教科書編集委員会 編
出版社　（株）羊土社
ISBN　978-4-7581-2086-9

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50170	月 4	阿部 光知、坪井 貴司	1101	1 年 理二三(1-3,16,20-22)
50171	月 4	細谷 夏実	524	1 年 理二三(10,14,17-18)
50912	金 1	道上 達男	523	1 年 理二三(7,9,12,23)
50918	金 1	佐藤 健	524	1 年 理二三(11,13,15,24)
51021	金 3	山田 貴富	1102	1 年 理二三(4-6,8,19)

展開科目 社会科学ゼミナール

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51385	A	社会科学ゼミナール（法・政治）	新田 一郎	法学部	月 5	118	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　大学とスポーツについて考える

授業の目標概要　現代日本にあって急速にビジネスとの関わりを強めつつあるスポーツは、これまたビジネスとの強い関わりを余儀なくされつつある大学に対して、正負さまざまな影響を及ぼすことになる。「日本版 NCAA」として構想された UNIVAS が今春発足したことを機に、アメリカの本家 NCAA（National Collegiate Athletic Association）が抱えてきた問題点について、関係者の回顧録を講読しながら考え、以て日本の大学スポーツの現状と将来について考える一助とする。受講希望者が 15 名を大きくこえた場合には、第一回授業に際し実施する小テストによって選考するので、受講希望者は必ず出席すること。その際、英和辞典ないしそれに代わりうるものを持参すること。受講許可は第二回授業日までに掲示によって告知する。

評価方法　授業中のパフォーマンスによる

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名　Universities in the Marketplace
著者（訳者）　Derek Bok
出版社　Princeton University Press
ISBN　0-691-12012-9
その他　「主たるテキスト」として用いる

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time
2019/9/30　5 限／5th Period

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51386	A	社会科学ゼミナール（法・政治）	五百籏頭 薫	法学部	水 5	K302	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　UTAS のシラバスを参照すること
授業の目標概要　UTAS のシラバスを参照すること
評価方法　UTAS のシラバスを参照すること
教科書　UTAS のシラバスを参照すること
ガイダンス　UTAS のシラバスを参照すること

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51388	A	社会科学ゼミナール（社会・社会思想史）	橋本 摂子	社会・社会思想史	火 2	1224	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　質的調査の方法

授業の目標概要　社会調査は、量的調査と質的調査の二つに大別されるが、本授業では、質的調査（聞き取り調査、参与観察法、ドキュメント分析、ライフストーリー分析、等）の方法、および質的データの分析手法について習得する。社会調査士【F】科目。

評価方法　授業中に出される諸課題、レポート等。

教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50187	A	社会科学ゼミナール（国際関係）	酒井 哲哉	国際関係	月 5	115	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　1930 年代日本の国際秩序論
授業の目標概要　1930 年代日本の国際秩序論に関する最近の研究文献を購読し、この分野についての知識を深めることにする。

評価方法　報告・出席を含む平常点による。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

展開科目 人文科学ゼミナール

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51382	A	人文科学ゼミナール（哲学・科学史）	葛西 康徳	文学部	金 5	106	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　古典、現代社会、教養、教養区分

授業の目標概要

本授業の目的は、受講生が指定されたテクスト（古典作品ないしその一部）をきちんと読んだ上で、現代社会の種々の問題（何を問題と考えるかもまた議論しながら）に関して、テクストの内在的論理と、その社会的政治的背景を考慮した論理、この二つの論理を基にして、どのようにアプローチするか（しないか）を、授業中の口頭による議論と授業の事前事後の文字化・文章化した議論を通じて、明らかにしてゆくことである。

一見、「ハーバード流なんとか」の授業に類似しているかのごとき印象を与えるが、決してそうではない。第一に、本授業は、問題解決を目指さない。何が、何故、問題なのかを問うことが、主眼である。第二に、古典テキストを参加者が共有する。つまりレファレンスを限定する。第三に、口頭によるアクロバティックな論証よりも文章（書いたもの）による論証を重要視する。

とは言え、本授業では現代社会の問題も念頭において議論する。そして現代社会における教養とは何かを参加者全員で考える。しかも、抽象的にではなく、「教養区分」という名のフォーマットを参考にしながら、エッセイを書くことを要求する実践的性格を有している。

評価方法　毎回の出席、意見発表レジュメ作成、ディスカッション、最終レポートの総合評価。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名　岩波ジュニア新書 2018

著者（訳者）　小島毅編『知の古典は誘惑する』

出版社　岩波書店

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51383	A	人文科学ゼミナール（歴史学）	長井 伸仁	文学部	水 5	118	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　記念行事にみる歴史意識

授業の目標概要

歴史をどのように捉えるのか、過去とどう関わるのかは、時代や社会によって異なる。たとえば陵墓についても、その世界遺産登録を望む心性は、皇国史観の時代のそれとは本質的に違うと思われる。このゼミナールでは、過去の想起や顕彰のあり方を調べることで、現代がどのような時代なのかを考えてみたい。

評価方法　発表と質疑応答への参加をもとに評価する。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50927	A	人文科学ゼミナール（歴史学）	岡田 泰平	歴史学部会	金 2	114	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　「戦記もの」から考えるアジア・太平洋戦争

授業の目標概要　本授業では、国会図書館に所蔵されている「戦記もの」と呼ばれるジャンルの文献を読んでいきます。それぞれの受講者がアジア・太平洋戦争についてのテーマを考え、絞り込み、調査してもらいます。学期末には外部の研究会で発表し、その上でレポートを提出してもらいます。日本社会においては、1990 年代からアジア・太平洋戦争についての見直しがなされてきました。外国人の当事者が日本社会で訴えたことの影響が大きかったのですが、現在ではその訴えにどう対処するかが国際政治の対象となってしまいました。その結果、「何が起きたのか」「どのような状況で起きたのか」「誰が行ったのか」等々のあたりまえの問いは、意見や見解によるものとみなされる傾向が大変強くなりました。このような傾向は、過去を見つめなおし、過去から何を学べるのかを考える、という歴史学の本流からは切り離されたものです。そこで、歴史学の本流の方法に立ち戻り、皆さんと共に、より現場に近い資料から 70 年以上前に終わった戦争の実相を捉えるということを実践したいと思うようになりました。

評価方法　国会図書館での進捗状況の確認＋期末発表＋期末レポート
（読んだ「戦記もの」については基礎データを記した献リストを作成し、これを期末レポートに付けてください。）

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time
指定された教室

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51076	A	人文科学ゼミナール（歴史学）	渡辺 美季	歴史学部会	金 5	515	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　裁判記録から見る琉球王国

授業の目標概要　近世期（1609-1879 年）の琉球は、中国・日本と二重の君臣関係を有しながら－－むしろそれゆえに－－中日どちらにも包摂されない固有の文化・制度や社会状況を確立していった。この授業では、近世琉球の裁判記録（の現代語訳）を読み解きながら、（１）琉球固有の諸状況（例えば生活生業・国際関係・身分制・法制・ジェンダー・交通など）への理解を深めつつ、（２）史料から「問い」を立て、調査・考察するという歴史学研究方法の基礎を学ぶことを目的とする。
　ゼミであるので定員を 15 名程度とし、もし履修希望者が超過した場合は、初回授業で志望動機などに関する短いレポートを書いてもらい、これによって選考する。従って履修希望者は初回授業に必ず出席すること。

評価方法　出席状況、授業への参加度、報告（発表）およびレポートの内容などに基づき総合的に評価する。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50675	A	人文科学ゼミナール（文化人類学）	関谷 雄一	文化人類学	金 5	114	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　周縁課題に関する問いを立て、議論をする

授業の目標概要　地球上には様々な難題が山積みされている。貧困、紛争、疫病、環境問題、災害、排除と包摂、食糧問題、難民や移民、科学技術と倫理等々。グローバル化が進み、ビッグデータの活用や AI 等の先端技術が普及したとしても、常にその影には周縁化された課題が残ってしまう。そうした周縁課題と向き合ってきた文化人類学を中心とする様々な人文科学の業績を講読しながら、自らも問いを立て議論をするための作法を身に着ける訓練をする。ある人類学者が述べたように、文化人類学は「人文科学の中でもっとも科学的であり、科学の中で最も人文主義的である」とされる。その微妙なバランスを保ちながら、議論をする意義のある課題を見つけ、問いを立てて考察をし、問いを練り直しながらさらに議論を発展させてゆく作法を先行研究から学び取る。そして課題との持続的な対話を通して、学問に深みが増してゆくことを理解してゆく。履修者はセメスター中に課題図書を参考にしながら自らが関心を持つ周縁課題を 1 つ取り上げ、文化人類学的視座から自由に取り組み、セメスターの後半は各自その取り組みを発表し議論をしていくこととする。

評価方法　授業への出席と課題達成度で総合的に判断します。

教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50280	A	人文科学ゼミナール（テクスト分析）	宮地 隆廣	スペイン語	火 2	103	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　スペイン語多読トレーニング
授業の目標概要　スペイン語初級文法（直説法動詞）を学んだ者を対象に、平易な文章を多読することで、スペイン語読解のスキル向上を図る。

評価方法　授業参加 100%
出席しても、予習をしていない者は欠席と見なす。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50626	A	人文科学ゼミナール（テクスト分析）	松岡 心平	国文・漢文学	水 3	516	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　世阿弥の『風姿花伝』を読む
授業の目標概要　世阿弥は､役者であり、座長であり、演出家であり、その上に劇作家、さらには演劇論まで書くといったマルチタレントであった。その世阿弥の代表的な演劇論である『風姿花伝』を読み解いていく。
評価方法　出席、ゼミナールでの発表、最終レポートなどで総合判断する。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51077	A	人文科学ゼミナール（テクスト分析）	出口 智之	国文・漢文学	金 5	115	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　江戸川乱歩と横溝正史
授業の目標概要　日本の推理小説を作り上げた二人の作家、江戸川乱歩と横溝正史の初期短篇を中心に取上げ、テクスト分析を行うことで、文学研究の基本的な手法と考えかたとを学び、あわせて現在に続く日本のミステリの端緒や、大正～昭和期の幻想小説を文学史的に理解する。

評価方法　授業内で行う発表、議論の参加状況等の平常点に加え、学期末に提出するレポートによる。ただし、受講人数があまりにも多く、全員の発表が不可能なような状況になった場合は、別途課題を指示する。
教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51078	A	人文科学ゼミナール（テクスト分析）	田尻 芳樹	英語	金 5	116	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　占領期の日本文学を読む
授業の目標概要　昭和 20 年の敗戦から日本はアメリカに昭和 27 年まで占領されていた。改憲論争や日韓関係などを見るまでもなく、この時期から積み残されてきた問題は現在なお多い。いったい、当時の日本人は敗戦という事実をどのように受け止めていたのだろうか。また、戦争責任、アメリカ主導の民主化といった問題をどのように考えていたのだろうか。この授業では当時書かれた代表的な文学作品を通じて、占領期の世相に迫り、とりわけ戦争責任の問題について考察したい。

評価方法　通常の参加度と期末レポート。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50188	A	人文科学ゼミナール（データ分析）	永田 淳嗣	人文地理学	月 5	116	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　人文地理学農山漁村地域調査入門

授業の目標概要　国内の農山漁村の特定の地域を取り上げ、ローカルな生態・社会環境の制約と可能性の下で、人々がどのように生きてきたかを考察する。細かい調査・分析技術の習得よりも、まずは現場の人々の話にしっかり耳を傾けること、そして、具体的なデータに基づく論理的な思考の訓練に重点を置く。取り上げる対象・地域に対する知識の習得、データの収集と基本的な分析、議論には、相当な自主性と忍耐が要求される。12 月 23 日夜～24 日・25 日（授業未設定日）に予定している短期の野外調査への参加を前提とする。受講希望者多数の場合は選抜を行う（15 名程度）。

評価方法　通常の授業における課題への取り組み，野外実習本番での取り組み，最終レポートの内容を総合的に評価する.

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50928	A	人文科学ゼミナール（データ分析）	広瀬 友紀	英語	金 2	E41	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　文理解実験実習

授業の目標概要　人間が文を理解するしくみはどのようなものであるのか、頭の中の構文処理装置はどのような働きをしているのか。こうした観点から具体的な問いを立て、日本語の文理解実験（読み時間計測実験を予定）をデザインし、実際にデータ収集を行う。そのデータを言語心理学で用いられる一般的な方法（線形混合モデルでの分析を予定）で分析し考察した結果を学期末に発表しレポートにまとめる。

評価方法　各段階での取り組み（作業結果を随時提出）および結果発表（プレゼンテーションおよびレポート）
ただし、予測通りの実験結果が出なかったから不合格ということはない（議論をきちんとすれば）

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　ことばの実験研究の方法
著者(訳者)　中谷健太郎（編）
出版社　ひつじ書房
ISBN　ISBN978-4-89476-964-9

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50929	A	人文科学ゼミナール（データ分析）	大森 拓哉	心理・教育学	金 2	KALS	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　心理学統計法

授業の目標概要　物事を客観的に判断するための一つは、証拠となるデータを集め、分析することである。この授業では、人間行動や社会現象一般のデータを用い、的確な分析ができるようになるための基礎を学ぶ。その中でも特に「心理学で用いられる統計手法」および「統計に関する基礎的な知識」を学ぶ。講義は、EXCEL を用いて、実際のデータの収集・分析・考察を講義と演習によって行う。演習は一人一台の PC を使用して行う。

＊履修希望者が 40 名を超えた場合は、授業初回時間内の小レポートにより選考するので、初回授業に必ず出席すること。受講許可は第 2 回目までに掲示によって告知する。

評価方法　出席、授業中の課題、最終課題の合計点で評価する。
出席点 20%、課題点 80%

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time
2019/09/27　2 限／2nd Period　KALS（17 号館 2 階）

展開科目 自然科学ゼミナール

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50177	A	自然科学ゼミナール（身体運動科学）	石井 直方、久保 啓太郎	スポーツ・身体運動	月 4	K114	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　アドバンスト・フィットネス

授業の目標概要　定期的にトレーニングやスポーツを行っている学生やトレーニングに興味を持つ学生を対象に、最新のトレーニング科学の知識を講義と実習を通じて提供する（定員 25 名）。
＊履修者の決定方法等については、UTAS シラバスの「履修上の注意」を参照すること。

評価方法　出席、レポート、受講態度などから総合的に評点する。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51387	A	自然科学ゼミナール（生命科学）	和田 洋一郎	アイソトープ総合センター	火 1	515	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　放射線に対する生物応答の分子機序と放射線利用の最先端

授業の目標概要　東京大学では放射線に関して、生命科学から工学、物理学、数理科学まで広範な領域にわたる研究が行われている。全学センターとしてアイソトープ総合センターはその拠点となり、学内の放射線利用者への教育と同時に、放射線を使った先端的研究が行われている。学外に向けては原子力発電所事故の被災自治体や地元教育研究機関と協力して、除染・測定を含む学術的活動を継続的に行い、帰還を支援している。当センターはこれらの活動を通じて、被災地住民にとって真に重要な課題を明らかにし、これに取り組むために従来の学問の限界や枠組みを押し広げる努力を行っている。放射線影響、特に低線量の内部被ばくメカニズム解明やそれに対する防護については未知の点が多く、集学的な対応が必要であることから、その全貌を把握する系統的機会は少ない。そこで、本講義においては可及的に多様な視点から放射線が生体に及ぼす現象平易に解説することを目的とする。また、当センターは放射線を製造する加速器研究者や、分析装置の研究者と共に、生体イメージングや、α 線核種を用いた医薬品開発を行っており、先端的なアイソトープ利用の拠点としての役割も果たしているため、最新の学問的潮流を踏まえて、放射線の有効利用の現状と次の展開についても解説することが可能である。特に、アイソトープ総合センターの教職員が取り組む研究とその成果をとりあげることにより、現実的な課題から最先端の科学研究に至るまで概観することを本講義の目的とする。
「放射線影響と利用」では、(受講希望者が多数の場合には，)、受講を希望する理由書に基づき選抜を実施する。履修希望者は本講義の受講を希望する理由を A4 用紙 1 枚程度に記載し、第 1 回講義の際に提出すること。選抜結果は、第 2 回講義前までに掲示する。
なお、この講義は「福島復興学（仮称）」の支援により測定、復興支援に携わる現場担当者の話を聞く機会としての側面も有している。

評価方法　それぞれの講義のうち幾つかを選択した上でレポート提出を求め、通常点及び最終回に予定している測定演習の成績と総合して理解度を判定、評価する。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51107	A	自然科学ゼミナール（生命科学）	FERJANI Ali	生物	集中	シラバス参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　植物の多様性とその背景にある生存戦略の理解 —Rorippa aquatica の栄養生殖の観察—

授業の目標概要　栄養生殖の過程の観察及び有性生殖との比較を行ない、植物における生存戦略の多様性を理解することを目的とする。

自然界の植物は様々な環境下において、その形態や生活環を巧みに適応させながら、「自らは動けない」という不利な条件を克服している。本実験では植物の生殖に焦点を当てる。生殖には大きく分けて、「有性生殖」と「無性生殖」の２つに大別される。植物の無性生殖の中でも、根や葉、そして茎から新しい個体が生じる生殖方法を「栄養生殖」という。栄養生殖は農業や園芸においては、作物や花卉の種苗の大量生産に用いられるなど重要な現象である。本実験では最新の科学論文なども適宜紹介しながら、様々な視点から栄養生殖についての理解を深め、植物の多様性とその背景にある生存戦略について考える。

評価方法　講義の最終日に各班による結果をお互いに発表・考察・討論を行ない、それを基準に評価する。
具体的なことは講義の中で指示する。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time
2019/12/12　3 限／3rd Period　16 号館 5 階の 526 号室

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51108	A	自然科学ゼミナール（生命科学）	山道 真人	生物	集中	シラバス参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　野外生物学：生態と進化の数理モデル実習

授業の目標概要　基礎知識を学ぶ講義と、数理モデルの構築・解析・シミュレーションを組み合わせ、野外の生物群集と進化の動態に対する理解を深める。

休日を利用して実施する集中講義では、数理モデルを用いた個体群生態学・群集生態学・進化生態学・集団遺伝学の基礎を紹介し、実習にその知識を役立てることを期待する。休日を利用して実施する数理モデル実習では、野外の生物現象に基づいて数理モデルを構築し、シミュレーションを含めた解析を行う。休日を利用して実施するこれら講義・実習に参加できない場合は、履修できないので注意すること。

数理モデル実習のため、受講者数を 15 名程度に制限する。受講希望者が受講可能数を超える場合は、レポート課題により受講者を選抜する。その他、詳しい内容はガイダンスにおいて説明・指示する。ガイダンスは、9 月 30 日（月曜）昼休みに、106 教室で行なわれる。

評価方法　ｸﾞﾙｰﾌﾟ発表・参加姿勢

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　数理生物学入門—生物社会のダイナミックスを探る
著者（訳者）　巌佐庸
出版社　共立出版
ISBN　978-4320054851

ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/9/30　昼休みの時間帯、106 教室

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50930	A	自然科学ゼミナール（化学）	平岡 秀一	化学	金 2	116	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　有機反応機構を考える

授業の目標概要　本ゼミナールは実際に報告されている様々な有機化学反応を題材に、その反応機構を考える授業である。講義では、有機化合物の立体構造や安定性、基本的な有機反応とその反応機構を電子論的に考え、さらに、なぜそのような反応が起こるのか、もしくはある生成物がなぜ優先的に生成するのかを、軌道の相互作用、中間体もしくは遷移状態の安定性をもとに定性的に議論し、合理的な解釈へ至る方法を学ぶ。本授業は、有機化学の基礎知識の有無に関わらず、意欲のある学生を大いに歓迎する。なお、本講義では、受講希望者が多数の場合には、選抜を実施する。履修希望者は第 1 回目の講義に必ず出席すること。選抜結果は、第 2 回講義前までに掲示する。参考として、過去のクラスにおいて、受講者の選抜が行われたことはない。

評価方法　出席および各回の講義における発表，質疑応答により評価する。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51381	A	自然科学ゼミナール（数理科学）	加藤 晃史	数理科学研究科	月 5	112	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　図形と多項式 ー David A. Cox, John Little, Donal OShea 著 『Ideals, Varieties, and Algorithms』の輪講

授業の目標概要　数学で図形を扱う方法を大別すると、点の軌跡によるもの（manifold）と、座標が満たすべき条件を書き下すもの (variety) の、２種類があります。前者は直感的で扱いやすく、ベクトル解析などの講義でも扱われる考え方です。後者はやや抽象的で授業で学ぶ機会が少ないですが、現代数学では代数幾何学として大きく発展しており、数学以外の分野でも、複雑な図形や拘束条件を扱うための非常に強力な手法として利用されています。

本ゼミナールでは、この分野で定評のある入門書 David A Cox, John Little, OShea 著の 『Ideals, Varieties, and Algorithms』 (4th edition, Springer, ISBN 978-3-319-16721-3) を輪講します。

もし受講希望者が 20 名を超える場合には、第 1 回授業日に「受講を希望する理由」と「履修した数学科目」についてアンケートを行い、意欲と予備知識に基づき選抜を実施する予定です。選抜結果は、第２回授業日までに掲示します。

評価方法　平常点（発表のしかた・質疑応答・レポートなど）による。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名　Ideals, Varieties, and Algorithms
著者(訳者)　David A. Cox, John Little, Donal OShea
出版社　Springer Verlag
ISBN　978-3-319-16721-3
その他　4th edition

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51380	A	自然科学ゼミナール（数理科学）	齋藤 秀司	数理科学研究科	金 2	121	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　展開科目「群と対称性」: 5 次代数方程式の解の公式の不可能の証明：

授業の目標概要

5 次代数方程式の解の公式の不可能の証明：

中学で習う２次方程式の解の公式は東大に入学する学生諸君なら誰でも知っていることであろう。これよりはだいぶ複雑にはなるが３次方程式、４次方程式にも解の公式が存在する。これらが発見されてからしばらくの間、多大な努力が費やされたにもかかわらず５次方程式の解の公式を見つけることができなかった。そしてアーベルはそれが不可能であることを証明したのである。その後にガロアは、方程式の対称性を統制する「方程式のガロア群」の概念を導入することにより、アーベルの不可能の証明を美しい理論の中で再構成した。授業はこれを理解することを目標とする。

講義を受講するにあたり群の基本事項をあらかじめ予習しておくことが望ましい。

受講希望者が多数の場合には数学の予備知識を必要とすることから選抜テストを実施する。 履修希望者は第 1 回目の講義に必ず出席すること。選抜結果は、第３回講義前までに掲示する。

評価方法　授業中に配布する演習問題についてのレポートなど

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51384	A	自然科学ゼミナール（情報科学）	伊東 乾	学際情報学府	火 4	E41	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　UTAS のシラバスを参照すること

授業の目標概要　UTAS のシラバスを参照すること

評価方法　UTAS のシラバスを参照すること

教科書　UTAS のシラバスを参照すること

ガイダンス　UTAS のシラバスを参照すること

「英語中級」「英語上級」について

【科目概要】

「英語中級」は指定されたクラスのみが履修できるもの（指定クラス型）と全クラスに開かれたもの（全クラス型）がある。「英語上級」はすべて全クラス型である。

S2ターム、A2タームの授業を含む、いずれの授業もセメスター開始時に履修希望の登録を行い、希望者が多数の授業については抽選を行う。各セメスターに履修できるのは指定クラス型、全クラス型をそれぞれ１コマまでである。

〇履修の削除について

全クラス型授業の登録は削除できない。指定クラス型の授業は、同じセメスターの全クラス型授業に登録を認められた場合のみ削除できる。

〇２年生の履修について

２年生が抽選登録できるのは、全クラス型のみとなる。ただし、追加募集の対象となっている場合に限り、指定クラス型も履修することができる。

【抽選登録】

「英語中級」および「英語上級」はUTASで希望登録を行う。所定の期間中にUTASログイン後の【抽選対象科目希望登録】画面から希望する授業を登録する。

特定の授業に学生の希望が集中した場合に抽選が行われ、外れた学生は下位の希望順位の授業に振り分けられることになる。希望を登録していない授業に振り分けられることはない。ただし、希望したいずれの授業にも振り分けられないことはある。

〇追加募集について

学生数に余裕のある場合は追加募集を行う。追加募集授業の履修登録方法は、追加募集対象授業の発表時に指示する。追加募集の対象となっていない授業については、担当教員の許可を得ても履修登録は認められない。

（注意事項）

・総合科目Ｌ系列の英語には、「英語中級・セメスター制授業」、「英語中級・ターム制授業」、「英語上級・セメスター制授業」、「英語上級・ターム制授業」の４種類の授業がある。同一教員による同一種類の授業を複数履修することはできない。

・英語上級は各授業のシラバスに記載された習熟度レベルに到達した者を対象とする。

・Ｓセメスターの際には、抽選登録または追加募集登録する際に、初年次ゼミナールが自身のクラスに割り当てられる各２曜限には登録しないこと。

・TLP生は、TLP履修者用の科目と重複する曜限にも登録しないよう注意すること。

なお、一度当選した科目は履修登録を削除することはできない。

総合科目 L　英語中級・上級

クラス指定ターム型　火３　A1

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50354	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	後藤 春美	英語	火 3	102	1 年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)

講義題目　20 世紀両大戦間期イギリスの平和主義（英語講読）

授業の目標概要　Richard Overy, The Morbid Age: Britain between the Wars (London: Allen Lane, 2009) の一部を読む。歴史の本ではあるが、歴史の授業ではない。一人で英文を正確に読めるようになることを目標とする。

評価方法　平常点（授業で訳読を担当した時の出来、予習の有無）を主とし、最終授業時間に行うテストで補完して評価する。なお、出席は平常点に勘案するが、予習をせずに教室に座っているだけでは出席とはみなされない。必ず予習をして授業に臨んでほしい。

教科書　その他　初回の分は、プリントを用意して当日教室で配布する。二回目以降は、全体を ITC-LMS にアップするので、各自でダウンロードして欲しい。

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50355	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	土屋 和代	英語	火 3	103	1 年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)

講義題目　アメリカの黒人解放運動を読む（１）

授業の目標概要　戦間期を起点とし、公教育の場における人種隔離を禁じた 1954 年のブラウン判決以降、全米各地で劇的に展開した黒人解放運動は、アフリカ系アメリカ人の生活を大きく変えただけでなく、アメリカ社会を根底から揺さぶり再編するものだった。奴隷としての身分から解放されて以降も「二級市民」としての地位を押しつけられてきたアメリカ黒人たちが、自らの権利を求め立ち上がった運動の歴史について、黒人解放運動に関連する文献を読み、学ぶ。 上記の文献を通して、語彙、成句、パラグラフの構成や展開等を学び、英文読解力を向上させる。関連するドキュメンタリー等を視聴し、背景となるアメリカの黒人解放運動と 20 世紀の米国の歴史、社会、文化についての理解を深める。

評価方法　授業への貢献・コメントペーパー40%、期末テスト 60%

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts
書名　From #BlackLivesMatter to Black Liberation
著者（訳者）　Keeanga-Yamahtta Taylor
出版社　Haymarket Books

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50356	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	リチンスキ ダン	英語	火 3	156	1 年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)

講義題目　Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims

授業の目標概要　This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientists critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources.
The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.

評価方法　Attendance and participation in interactive activities with instructor and classmates: 30%
Individual Assignments: 70%

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50357	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	大井 赤亥	英語	火 3	150	1 年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)

講義題目　現代政治思想の「方向感覚（Orientation）」

授業の目標概要　19・20 世紀から現代にかけての代表的な政治思想（イデオロギー）について、それらが生じてきた歴史的背景、掲げた目的、達成や現状について、英語圏で使用されている標準的な教科書を通して理解を深める。具体的には、20 世紀の思想と体制を大きく規定した、①共産主義、②全体主義、③リベラリズム（「リベラルな平等」および新自由主義）、④デモクラシーを取りあげ、それらの表象で括られた思想と政治体制について理解し、議論を行う。これらの内容に習熟することは、政治概念についての基本的教養をもたらすのみならず、現代世界の動向を把握するためのシティズンシップ教育としての目的も帯びている。

評価方法　授業内でのプレゼンテーション（40%）、レポート（40%）、出席（20%）によって判断する。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　Political Ideologies (Sixth Edition)
著者（訳者）　Andrew Heywood
出版社　Palgrave, 2017

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50358	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	牛村 圭	英語	火 3	152	1 年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)

講義題目　英語で日本近現代史を読む

授業の目標概要　外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。

評価方法　発表を含めた平常点、学期中実施の語彙力試験、そして期末の筆記試験による。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50359	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	佐原 彩子	英語	火 3	1221	1 年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)

講義題目　New Windows on America: Reading the Atlantic Articles

授業の目標概要　The goal is to read articles in English (specifically articles from The Atlantic Magazine) to understand current issues of the U.S. in English. Students need to read an article a week to gain information in English and to be familiar with various issues in English. Through this course, students will improve their reading skills qualitatively as well as quantitatively through various activities in classes and at home.

評価方法　Quizzes and Class Activities (including discussions) (70%)/Final (30%)

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50360	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	中尾 まさみ	英語	火 3	154	1 年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)

講義題目　英語圏の短編小説を読む

授業の目標概要　20 世紀に英語圏で書かれた短編小説を講読します。英語を日常の言語として使用する国や地域は世界中に数多くあり、そこで書かれる文学作品もまた、それを生んだ社会、歴史、文化を反映して実に多彩な魅力を放っています。授業では、そうした作品を丁寧に読んで英語表現や文法構造などを解析する力をつけるとともに、文化的背景についても学びます。

評価方法　平常点(授業参加、小テスト等)および期末試験

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

クラス指定ターム型　火 4　A1

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50413	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	中尾 まさみ	英語	火 4	154	1 年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)

講義題目　英語圏の短編小説を読む

授業の目標概要　20 世紀に英語圏で書かれた短編小説を講読します。英語を日常の言語として使用する国や地域は世界中に数多くあり、そこで書かれる文学作品もまた、それを生んだ社会、歴史、文化を反映して実に多彩な魅力を放っています。授業では、そうした作品を丁寧に読んで英語表現や文法構造などを解析する力をつけるとともに、文化的背景についても学びます。

評価方法　平常点(授業参加、小テスト等)および期末試験

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50414	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	後藤 春美	英語	火 4	102	1 年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)

講義題目　20 世紀両大戦間期イギリスの平和主義（英語講読）

授業の目標概要　Richard Overy, The Morbid Age: Britain between the Wars (London: Allen Lane, 2009) の一部を読む。歴史の本ではあるが、歴史の授業ではない。一人で英文を正確に読めるようになることを目標とする。

評価方法　平常点（授業で訳読を担当した時の出来、予習の有無）を主とし、最終授業時間に行うテストで補完して評価する。なお、出席は平常点に勘案するが、予習をせずに教室に座っているだけでは出席とはみなされない。必ず予習をして授業に臨んでほしい。

教科書　その他　初回の分は、プリントを用意して当日教室で配布する。二回目以降は、全体を ITC-LMS にアップするので、各自でダウンロードして欲しい。

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50415	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	大井 赤亥	英語	火 4	150	1 年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)

講義題目　現代政治思想の Orientation

授業の目標概要　19・20 世紀から現代にかけての代表的な政治思想（イデオロギー）について、それらが生じてきた歴史的背景、掲げた目的、達成や現状について、英語圏で使用されている標準的な教科書を通して理解を深める。具体的には、20 世紀の思想と体制を大きく規定した、①共産主義、②全体主義、③リベラリズム（「リベラルな平等」および新自由主義）、④デモクラシーを取りあげ、それらの内容を理解し、議論を行う。これらの思想内容に習熟することは、政治概念についての基本的教養をもたらすのみならず、現代世界の動向を把握するためのシティズンシップ教育としての目的も帯びている。

評価方法　授業内でのプレゼンテーション（40%）、レポート（40%）、出席（20%）によって判断する。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　Political Ideologies (Sixth Edition)
著者（訳者）　Andrew Heywood
出版社　Palgrave, 2017

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50416	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	土屋 和代	英語	火 4	103	1 年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)

講義題目　アメリカの移民史を読む―「人種」と市民権（1）

授業の目標概要　アメリカ合衆国において、市民権がどのように人種化され、定義されたのかを考察する。学術書を速読する力を向上させるとともに、背景となる移民史、人種・エスニシティならびに市民権をめぐる理論、アメリカの歴史と文化についての理解を深めることを目的とする。

評価方法　授業への貢献、コメント―ペーパー40%、試験 60%

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts
書名　How Race Is Made in America: Immigration, Citizenship, and the Historical Power of Racial Scripts
著者（訳者）　Natalia Molina
出版社　University of California Press

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50417	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	Williams David	英語	火 4	155	1 年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)

講義題目　Critical Discussion and Thinking

授業の目標概要　The purpose of this class is to build students' English language reading and thinking skills beyond simple description to a more critical and analytical point. Each week students will focus on one topic and critically examine and consider an English language text in a group.
At the end of this course it is expected that students will be able to critically consider and assess a range of contemporary topics of domestic and international significance, and be able to reflect better on their own culture. Students will find that the skills acquired in this class will help them to express themselves in other areas of their academic studies; it is hoped the class will be an encouragement to see English language as an investment for the future.

評価方法　Assessment for this class will be based on four aspects:
(i) a series of role sheets filled out for the discussion circle (50% approx.)
(ii) weekly vocabulary test (15%)
(iii) one in-class presentation (15%)
(iv) final examination (20%)

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50418	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	牛村 圭	英語	火 4	152	1 年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)

講義題目　英語で日本近現代史を読む

授業の目標概要　外　国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。

評価方法　発表を含めた平常点、学期中実施の語彙力試験、そして期末の筆記試験による。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50419	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	リチンスキ ダン	英語	火 4	156	1 年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)

講義題目　Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims

授業の目標概要　This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientists critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources.
The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.

評価方法　Attendance and participation in interactive activities with instructor and classmates: 30%
Individual Assignments: 70%

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50420	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	中澤 恒子	英語	火 4	10-103	1 年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)

講義題目　Little Miss Sunshine

授業の目標概要　2006 年公開のアメリカのコメディ映画 Little Miss Sunshine を教材とする。Jonathan Dayton, Valerie Faris 監督、Abigail Breslin 主演、アカデミー作品賞ノミネート、助演男優賞 (Alan Arkin) 受賞。自然な英語を聞き取り、大意をつかみ、自分の言葉で内容や感想を伝える練習をする。映像によってストーリーの理解に努めた後で、スクリプトを読み進めながら理解できなかった部分を確認する。英語細部の追求より、物語の展開、何がおかしくてどこが悲しいのか、登場人物と共に笑ったり泣いたりできるような、映画を楽しむための英語理解を目指す。

評価方法　毎週の授業参加とクイズ（ディクテーション）、期末試験。欠席は 3 回までとし、4 回以上の場合は理由に関わらず単位を認定しない。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

クラス指定ターム型　水２　A1

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50529	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	具 裕珍	英語	水 2	10-201	1 年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)

講義題目　Reading Social Issues in English

授業の目標概要

This course briefly introduces students to various social issues in both domestic and international aspects. You will read a variety of text such as newspaper articles, speeches, and short research papers during the term. It will help students to develop broad perspectives on social issues and better understand current events in the world. You will also develop academic interests for the future research through the readings.
More detailed guideline will be provided later in class.

評価方法　Three Weekly Paper and Presentation (30%), Final Report (40%), Class Participation (20%), Attendance (10%)

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50530	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	LANDAU Samantha	英語	水 2	1213	1 年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)

講義題目　Climate Change: Fact and Fiction

授業の目標概要

In this course, students will learn about how literature and cinema handle the subjects of climate change and global warming in the genre of Science Fiction. In other words, we will study "Cli-Fi." Climate change is usually addressed from scientific, political, or social issues (e.g. poverty or food scarcity) perspectives, but in reality climate change and global warming have been important to science fiction since the turn of the 20th century. Through discussions, presentations, and written work, students will focus on how to approach climate change from an interdisciplinary standpoint, and develop their ideas about what steps society needs to take in the future.

評価方法　Final Report: 40%, Written assignments: 30%, In-class assignments and participation: 30%

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50531	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	三吉 美加	英語	水 2	158	1 年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)

講義題目　優れた短編作品を深読みする

授業の目標概要

短編作品を精読した後、その背景にある社会状況、歴史、文化などについて知識を深めていく。また、シンボリックな表現に注目しながら、作者や作品の世界観を探っていく。グループでの話し合いを行いながら、コミュニケーション能力の向上も目指す。

評価方法　平常点（授業時の積極的姿勢とグループワーク時の発言、予習状況）４０％、試験と小テスト　６０％

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50532	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	遠藤 智子	英語	水 2	154	1 年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)

講義題目　英語学習とメタ認知の理論と実践

授業の目標概要　学習者が自己の状態、目標や達成状況、問題点等を把握するメタ認知はあらゆる学習において有効であると考えられる。本授業では英語学習を題材としてメタ認知に関する理論の理解と実践を行う。

評価方法　授業参加、授業内課題（ワークシート、ディスカッション、プレゼンテーション、ライティング）、授業外課題（プレゼンテーション準備、ライティング、リーディング）等を行い、総合的に評価する。他の受講者のパフォーマンスに対して適切な評価ができているかどうかも評価の対象になる。必要に応じて試験を行う可能性がある。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50533	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	岩佐 将志	英語	水 2	156	1 年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)

講義題目　英語で読み解く現代社会

授業の目標概要　この授業では、現代社会の動向を社会学的な視点から考察している英語文献を題材とし、英文読解の訓練を行う。ここで取り上げるのは、デジタル技術、移動のための技術、整形手術といった一連の科学技術の進展が現代人の自己意識、身体、空間認識等に与える影響を考察している社会学者の著作である。そこでは、これらの科学技術がもたらした社会変化の加速や人間関係の変化に対応するために、個人が絶えず自らを作り変えるよう迫られ、持続したアイデンティティを保つことが困難になっているという見方が、さまざまな事例を通じて示される。この著作を読み解くことを通じ、その洗練された議論に触れると同時に、そこで用いられる幅広い語彙や表現を習得することを目指す。

評価方法　授業内の発表、小テスト、期末エッセーから総合的に判断する。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

書名　Identity Troubles: An Introduction

著者（訳者）　Anthony Elliott

出版社　Routledge

ISBN　9780415837118

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50534	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	坪井 栄治郎	英語	水 2	10-103	1 年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)

講義題目　言語と文化の関係についての英文を読む

授業の目標概要　言語と文化の関係について書かれた英文を読むことを通して、そうした関係についての理解を深めるとともに、読解力の向上を図ることを目的とする。

評価方法　小試験の点数と授業中の performance(質問された時の解答の出来、授業への参加･集中度）に最終授業時に行う試験の成績で評価。最終試験で 6 割、小試験と授業中の performance で 4 割の評価比率。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50535	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	グレノン イザベル	英語	水 2	153	1 年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)

講義題目　Professional presentation skills

授業の目標概要　The main objective of this course is to enable students to develop the skills necessary to properly organize, articulate and support their ideas, when presenting their position as an oral presentation. These skills include the ability to prepare a well-structured script for the presentation that emphasizes the chosen position with supporting arguments (backed up by facts and statistics).
Although the class focus on academic presentations, the skills developed throughout this class are applicable to other domains, such as the preparation of marketing pitches, job interviews, progress reports, and so on.

評価方法　Participation 20%
Outline 10%
Draft 20%
Presentation (only 1) 50%

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

クラス指定ターム型　水３　A1

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50569	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	三吉 美加	英語	水 3	158	1 年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)

講義題目　優れた短編作品を深読みする

授業の目標概要　短編作品を精読した後、その背景にある社会状況、歴史、文化などについて知識を深めていく。また、シンボリックな表現に注目しながら、作者や作品の世界観を探っていく。グループでの話し合いを行いながら、コミュニケーション能力の向上も目指す。

評価方法　平常点（授業時の積極的姿勢とグループワーク時の発言、予習状況）４０％、試験と小テスト　６０％

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50570	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	具 裕珍	英語	水 3	10-201	1 年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)

講義題目　Presentation on Your Research in English

授業の目標概要　This class is designed to provide students opportunities presenting their research project(s) in English. You will introduce a brief outline of your research (e.g. research questions, research methods, brief summary of main arguments, etc.) to your classmates for 10 minutes.
More detailed guideline will be provided later in class.

評価方法　Draft for presentation (30%), Final presentation (40%), Class participation (20%), Attendance (10%)

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50571	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	グレノン イザベル	英語	水 3	153	1 年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)

講義題目　Professional presentation skills

授業の目標概要　The main objective of this course is to enable students to develop the skills necessary to properly organize, articulate and support their ideas, when presenting their position as an oral presentation. These skills include the ability to prepare a well-structured script for the presentation that emphasizes the chosen position with supporting arguments (backed up by facts and statistics).
Although the class focus on academic presentations, the skills developed throughout this class are applicable to other domains, such as the preparation of marketing pitches, job interviews, progress reports, and so on.

評価方法　Participation 20%
Outline 10%
Draft 20%
Presentation (only 1) 50%

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50572	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	中尾 まさみ	英語	水 3	152	1 年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)

講義題目　英語圏の短編小説を読む

授業の目標概要　20 世紀に英語圏で書かれた短編小説を講読します。英語を日常の言語として使用する国や地域は世界中に数多くあり、そこで書かれる文学作品もまた、それを生んだ社会、歴史、文化を反映して実に多彩な魅力を放っています。授業では、そうした作品を丁寧に読んで英語表現や文法構造などを解析する力をつけるとともに、文化的背景についても学びます。

評価方法　平常点(授業参加、小テスト等)および期末試験

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50573	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	坪井 栄治郎	英語	水 3	10-103	1 年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)

講義題目　認知と言語

授業の目標概要　人間の認知と言語(言語も認知の一種)について書かれた英文を読むことを通して、関連する事柄についての理解を深めるとともに、読解力の向上を図ることを目的とする。

評価方法　小試験の点数と授業中の performance(質問された時の解答の出来、授業への参加･集中度）に最終授業時に行う試験の成績で評価。最終試験で 6 割、小試験と授業中の performance で 4 割の評価比率。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50574	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	岩佐 将志	英語	水 3	156	1 年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)

講義題目　英語で読み解く現代社会

授業の目標概要　この授業では、現代社会の動向を社会学的な視点から考察している英語文献を題材とし、英文読解の訓練を行う。ここで取り上げるのは、デジタル技術、移動のための技術、整形手術といった一連の科学技術の進展が現代人の自己意識、身体、空間認識等に与える影響を考察している社会学者の著作である。そこでは、これらの科学技術がもたらした社会変化の加速や人間関係の変化に対応するために、個人が絶えず自らを作り変えるよう迫られ、持続したアイデンティティを保つことが困難になっているという見方が、さまざまな事例を通じて示される。この著作を読み解くことを通じ、その洗練された議論に触れると同時に、そこで用いられる幅広い語彙や表現を習得することを目指す。

評価方法　授業内の発表、小テスト、期末エッセーから総合的に判断する。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts
書名　Identity Troubles: An Introduction
著者（訳者）　Anthony Elliott
出版社　Routledge
ISBN　9780415837118

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50575	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	遠藤 智子	英語	水 3	154	1 年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)

講義題目　英語学習とメタ認知の理論と実践

授業の目標概要　学習者が自己の状態、目標や達成状況、問題点等を把握するメタ認知はあらゆる学習において有効であると考えられる。本授業では英語学習を題材としてメタ認知に関する理論の理解と実践を行う。

評価方法　授業参加、授業内課題（ワークシート、ディスカッション、プレゼンテーション、ライティング）、授業外課題（プレゼンテーション準備、ライティング、リーディング）等を行い、総合的に評価する。他の受講者のパフォーマンスに対して適切な評価ができているかどうかも評価の対象になる。必要に応じて試験を行う可能性がある。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50576	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	LANDAU Samantha	英語	水 3	1213	1 年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)

講義題目　Ghosts and Hauntings in American Literature

授業の目標概要　This course is an overview introduction to fiction that concerns hauntings, ghosts, and warped spaces in American fiction. In this class, students will approach stories about ghosts through the lens of cultural studies and historical contexts. In addition to stories, students will be introduced to social criticism, religious studies, gender theory, cultural theory, and scientific theories that suit the story we are discussing. Students who want to understand psychological, scientific, or historical aspects of literature are encouraged to take this course.

評価方法　Final Report: 40%, Written assignments: 30%, In-class assignments and participation: 30%

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

クラス指定ターム型　火３　A2

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60015	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	牛村 圭	英語	火 3	152	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9) 理一(16,27)理二三(17)

講義題目　英語で日本近現代史を読む

授業の目標概要　外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。

評価方法　発表を含めた平常点、学期中実施の語彙力試験、そして期末の筆記試験による。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60016	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	佐原 彩子	英語	火 3	1221	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9) 理一(16,27)理二三(17)

講義題目　New Windows on America: Reading the Atlantic Articles

授業の目標概要　The goal is to read articles in English (specifically articles from The Atlantic Magazine) to understand current issues of the U.S. in English. Students need to read an article a week to gain information in English and to be familiar with various issues in English. Through this course, students will improve their reading skills qualitatively as well as quantitatively through various activities in classes and at home.

評価方法　Quizzes and Class Activities (including discussions) (70%)/Final (30%)

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60017	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	大井 赤亥	英語	火 3	150	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9) 理一(16,27)理二三(17)

講義題目　現代政治思想の「方向感覚（Orientation）」

授業の目標概要　19・20 世紀から現代にかけての代表的な政治思想（イデオロギー）について、それらが生じてきた歴史的背景、掲げた目的、達成や現状について、英語圏で使用されている標準的な教科書を通して理解を深める。具体的には、20 世紀の思想と体制を大きく規定した、①共産主義、②全体主義、③リベラリズム（「リベラルな平等」および新自由主義）、④デモクラシーを取りあげ、それらの表象で括られた思想と政治体制について理解し、議論を行う。これらの内容に習熟することは、政治概念についての基本的教養をもたらすのみならず、現代世界の動向を把握するためのシティズンシップ教育としての目的も帯びている。

評価方法　授業内でのプレゼンテーション（40%）、レポート（40%）、出席（20%）によって判断する。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名　Political Ideologies (Sixth Edition)

著者（訳者）　Andrew Heywood

出版社　Palgrave, 2017

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60018	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	後藤 春美	英語	火 3	102	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9) 理一(16,27)理二三(17)

講義題目　20 世紀両大戦間期イギリスの平和主義（英語講読）

授業の目標概要　Richard Overy, The Morbid Age: Britain between the Wars (London: Allen Lane, 2009) の一部を読む。歴史の本ではあるが、歴史の授業ではない。一人で英文を正確に読めるようになることを目標とする。

評価方法　平常点(授業で訳読を担当した時の出来、予習の有無）を主とし、最終授業時間に行うテストで補完して評価する。なお、出席は平常点に勘案するが、予習をせずに教室に座っているだけでは出席とはみなされない。必ず予習をして授業に臨んでほしい。

教科書　その他　初回の分は、プリントを用意して当日教室で配布する。二回目以降は、全体を ITC-LMS にアップするので、各自でダウンロードして欲しい。

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60019	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	土屋 和代	英語	火 3	103	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9) 理一(16,27)理二三(17)

講義題目　アメリカの黒人解放運動を読む（２）

授業の目標概要　戦間期を起点とし、公教育の場における人種隔離を禁じた 1954 年のブラウン判決以降、全米各地で劇的に展開した黒人解放運動は、アフリカ系アメリカ人の生活を大きく変えただけでなく、アメリカ社会を根底から揺さぶり再編するものだった。A2 タームでは、奴隷としての身分から解放されて以降も「二級市民」としての地位を押しつけられてきたアメリカ黒人たちが、自らの権利を求め立ち上がった運動の歴史について学ぶとともに、現代アメリカの差別と平等について考察する。

上記の文献を通して、語彙、成句、パラグラフの構成や展開等を学び、英文読解力を向上させる。関連するドキュメンタリー等を視聴し、背景となるアメリカの黒人解放運動と 20 世紀の米国の歴史、社会、文化についての理解を深める。

評価方法　授業への貢献・コメントペーパー40%、期末テスト 60%

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts
書名　From #BlackLivesMatter to Black Liberation
著者(訳者)　Keeanga-Yamahtta Taylor
出版社　Haymarket Books

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60020	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	中尾 まさみ	英語	火 3	154	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9) 理一(16,27)理二三(17)

講義題目　英語圏の短編小説を読む

授業の目標概要　20 世紀に英語圏で書かれた短編小説を講読します。英語を日常の言語として使用する国や地域は世界中に数多くあり、そこで書かれる文学作品もまた、それを生んだ社会、歴史、文化を反映して実に多彩な魅力を放っています。授業では、そうした作品を丁寧に読んで英語表現や文法構造などを解析する力をつけるとともに、文化的背景についても学びます。

評価方法　平常点(授業参加、小テスト等)および期末試験

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60021	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	リチンスキ ダン	英語	火 3	156	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9) 理一(16,27)理二三(17)

講義題目　Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims

授業の目標概要

This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientists critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources.

The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.

評価方法　Attendance and participation in interactive activities with instructor and classmates: 30%
Individual Assignments: 70%

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

クラス指定ターム型　火４　A2

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60086	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	大井 赤亥	英語	火 4	150	1 年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)

講義題目　現代政治思想の「方向感覚（Orientation）」

授業の目標概要

19・20 世紀から現代にかけての代表的な政治思想（イデオロギー）について、それらが生じてきた歴史的背景、掲げた目的、達成や現状について、英語圏で使用されている標準的な教科書を通して理解を深める。具体的には、20 世紀の思想と体制を大きく規定した、①共産主義、②全体主義、③リベラリズム（「リベラルな平等」および新自由主義）、④デモクラシーを取りあげ、それらの表象で括られた思想と政治体制について理解し、議論を行う。これらの内容に習熟することは、政治概念についての基本的教養をもたらすのみならず、現代世界の動向を把握するためのシティズンシップ教育としての目的も帯びている。

評価方法　授業内でのプレゼンテーション（40%）、レポート（40%）、出席（20%）によって判断する。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名　Political Ideologies (Sixth Edition)
著者（訳者）　Andrew Heywood
出版社　Palgrave, 2017

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60087	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	Williams David	英語	火 4	155	1 年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)

講義題目　Critical Discussion and Thinking

授業の目標概要

The purpose of this class is to build students' English language reading and thinking skills beyond simple description to a more critical and analytical point. Each week students will focus on one topic and critically examine and consider an English language text in a group.

At the end of this course it is expected that students will be able to critically consider and assess a range of contemporary topics of domestic and international significance, and be able to reflect better on their own culture. Students will find that the skills acquired in this class will help them to express themselves in other areas of their academic studies; it is hoped the class will be an encouragement to see English language as an investment for the future.
This course will be taught exclusively in English.

評価方法

Assessment for this class will be based on four aspects:
(i) a series of role sheets filled out for the discussion circle (50% approx.)
(ii) weekly vocabulary test (15%)
(iii) one in-class presentation (15%)
(iv) final examination (20%)

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60088	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	後藤 春美	英語	火 4	102	1 年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)

講義題目　20 世紀両大戦間期イギリスの平和主義（英語講読）

授業の目標概要

Richard Overy, The Morbid Age: Britain between the Wars (London: Allen Lane, 2009) の一部を読む。歴史の本ではあるが、歴史の授業ではない。一人で英文を正確に読めるようになることを目標とする。

評価方法

平常点(授業で訳読を担当した時の出来、予習の有無）を主とし、最終授業時間に行うテストで補完して評価する。なお、出席は平常点に勘案するが、予習をせずに教室に座っているだけでは出席とはみなされない。必ず予習をして授業に臨んでほしい。

教科書　その他　初回の分は、プリントを用意して当日教室で配布する。二回目以降は、全体を ITC-LMS にアップするので、各自でダウンロードして欲しい。

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60089	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	土屋 和代	英語	火 4	103	1 年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)

講義題目　アメリカの移民史を読む―「人種」と市民権（２）

授業の目標概要

アメリカ合衆国において、市民権がどのように人種化され、定義されたのかを考察する。学術書を速読する力を向上させるとともに、背景となる移民史、人種・エスニシティならびに市民権をめぐる理論、アメリカの歴史と文化についての理解を深めることを目的とする。

評価方法　授業への貢献、コメント―ペーパー40%、試験 60%

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

書名　How Race Is Made in America: Immigration, Citizenship, and the Historical Power of Racial Scripts
著者（訳者）　Natalia Molina
出版社　University of California Press

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60090	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	中尾 まさみ	英語	火 4	154	1 年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)

講義題目　英語圏の短編小説を読む

授業の目標概要　20 世紀に英語圏で書かれた短編小説を講読します。英語を日常の言語として使用する国や地域は世界中に数多くあり、そこで書かれる文学作品もまた、それを生んだ社会、歴史、文化を反映して実に多彩な魅力を放っています。授業では、そうした作品を丁寧に読んで英語表現や文法構造などを解析する力をつけるとともに、文化的背景についても学びます。

評価方法　平常点(授業参加、小テスト等)および期末試験

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60091	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	中澤 恒子	英語	火 4	10-103	1 年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)

講義題目　Little Miss Sunshine

授業の目標概要　2006 年公開のアメリカのコメディ映画 Little Miss Sunshine を教材とする。Jonathan Dayton, Valerie Faris 監督、Abigail Breslin 主演、アカデミー作品賞ノミネート、助演男優賞 (Alan Arkin) 受賞。自然な英語を聞き取り、大意をつかみ、自分の言葉で内容や感想を伝える練習をする。映像によってストーリーの理解に努めた後で、スクリプトを読み進めながら理解できなかった部分を確認する。英語細部の追求より、物語の展開、何がおかしくてどこが悲しいのか、登場人物と共に笑ったり泣いたりできるような、映画を楽しむための英語理解を目指す。

評価方法　毎週の授業参加とクイズ（ディクテーション）、期末試験。欠席は 3 回までとし、4 回以上の場合は理由に関わらず単位を認定しない。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60092	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	牛村 圭	英語	火 4	152	1 年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)

講義題目　英語で日本近現代史を読む

授業の目標概要　外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。

評価方法　発表を含めた平常点、学期中実施の語彙力試験、そして期末の筆記試験による。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60093	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	リチンスキ ダン	英語	火 4	156	1 年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)

講義題目　Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims

授業の目標概要

This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientists critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources.

The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.

評価方法　Attendance and participation in interactive activities with instructor and classmates: 30%
Individual Assignments: 70%

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

クラス指定ターム型　水２　A2

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60109	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	LANDAU Samantha	英語	水 2	1213	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)

講義題目　Climate Change: Fact and Fiction

授業の目標概要

In this course, students will learn about how literature and cinema handle the subjects of climate change and global warming in the genre of Science Fiction. In other words, we will study "Cli-Fi." Climate change is usually addressed from scientific, political, or social issues (e.g. poverty or food scarcity) perspectives, but in reality climate change and global warming have been important to science fiction since the turn of the 20th century. Through discussions, presentations, and written work, students will focus on how to approach climate change from an interdisciplinary standpoint, and develop their ideas about what steps society needs to take in the future.

評価方法　Final Report: 40%, Written assignments: 30%, In-class assignments and participation: 30%

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60110	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	グレノン イザベル	英語	水 2	153	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)

講義題目　Professional presentation skills

授業の目標概要

The main objective of this course is to enable students to develop the skills necessary to properly organize, articulate and support their ideas, when presenting their position as an oral presentation. These skills include the ability to prepare a well-structured script for the presentation that emphasizes the chosen position with supporting arguments (backed up by facts and statistics).
Although the class focus on academic presentations, the skills developed throughout this class are applicable to other domains, such as the preparation of marketing pitches, job interviews, progress reports, and so on.

評価方法　Participation 20%
Outline 10%
Draft 20%
Presentation (only 1) 50%

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60111	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	坪井 栄治郎	英語	水 2	10-103	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)

講義題目　言語と文化の関係についての英文を読む

授業の目標概要　言語と文化の関係について書かれた英文を読むことを通して、そうした関係についての理解を深めるとともに、読解力の向上を図ることを目的とする。

評価方法　小試験の点数と授業中の performance(質問された時の解答の出来、授業への参加･集中度）に最終授業時に行う試験の成績で評価。最終試験で 6 割、小試験と授業中の performance で 4 割の評価比率。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60112	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	遠藤 智子	英語	水 2	154	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)

講義題目　英語学習とメタ認知の理論と実践

授業の目標概要　学習者が自己の状態、目標や達成状況、問題点等を把握するメタ認知はあらゆる学習において有効であると考えられる。本授業では英語学習を題材としてメタ認知に関する理論の理解と実践を行う。

評価方法　授業参加、授業内課題（ワークシート、ディスカッション、プレゼンテーション、ライティング)、授業外課題（プレゼンテーション準備、ライティング、リーディング）等を行い、総合的に評価する。他の受講者のパフォーマンスに対して適切な評価ができているかどうかも評価の対象になる。必要に応じて試験を行う可能性がある。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60113	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	具 裕珍	英語	水 2	10-201	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)

講義題目　Reading Social Issues in English

授業の目標概要　This course briefly introduces students to various social issues in both domestic and international aspects. You will read a variety of text such as newspaper articles, speeches, and short research papers during the semester. It will help students to develop broad perspectives on social issues and better understand current events in the world. You will also develop academic interests for the future research through the readings.

More detailed guideline will be provided later in class.

評価方法　Three Weekly Paper and Presentation (30%), Final Report (40%), Class Participation (20%), Attendance (10%)

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60114	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	三吉 美加	英語	水 2	158	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)

講義題目　優れた短編作品を深読みする

授業の目標概要　短編作品を精読した後、その背景にある社会状況、歴史、文化などについて知識を深めていく。また、シンボリックな表現に注目しながら、作者や作品の世界観を探っていく。グループでの話し合いを行いながら、コミュニケーション能力の向上も目指す。

評価方法　平常点（授業時の積極的姿勢とグループワーク時の発言、予習状況）４０％、試験と小テスト　６０％

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60115	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	岩佐 将志	英語	水 2	156	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)

講義題目　英語で読み解く現代社会

授業の目標概要　この授業では、現代社会の動向を社会学的な視点から考察している英語文献を題材とし、英文読解の訓練を行う。ここで取り上げるのは、デジタル技術、移動のための技術、整形手術といった一連の科学技術の進展が現代人の自己意識、身体、空間認識等に与える影響を考察している社会学者の著作である。そこでは、これらの科学技術がもたらした社会変化の加速や人間関係の変化に対応するために、個人が絶えず自らを作り変えるよう迫られ、持続したアイデンティティを保つことが困難になっているという見方が、さまざまな事例を通じて示される。この著作を読み解くことを通じ、その洗練された議論に触れると同時に、そこで用いられる幅広い語彙や表現を習得することを目指す。

評価方法　授業内の発表、小テスト、期末エッセーから総合的に判断する。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

書名　Identity Troubles: An Introduction
著者(訳者)　Anthony Elliott
出版社　Routledge
ISBN　9780415837118

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

クラス指定ターム型　水３　A2

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60163	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	坪井 栄治郎	英語	水 3	10-103	1 年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)

講義題目　認知と言語

授業の目標概要　人間の認知と言語(言語も認知の一種)について書かれた英文を読むことを通して、関連する事柄についての理解を深めるとともに、読解力の向上を図ることを目的とする。

評価方法　小試験の点数と授業中の performance（質問された時の解答の出来、授業への参加･集中度）に最終授業時に行う試験の成績で評価。最終試験で 6 割、小試験と授業中の performance で 4 割の評価比率。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60164	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	中尾 まさみ	英語	水 3	152	1 年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)

講義題目　英語圏の短編小説を読む

授業の目標概要　20 世紀に英語圏で書かれた短編小説を講読します。英語を日常の言語として使用する国や地域は世界中に数多くあり、そこで書かれる文学作品もまた、それを生んだ社会、歴史、文化を反映して実に多彩な魅力を放っています。授業では、そうした作品を丁寧に読んで英語表現や文法構造などを解析する力をつけるとともに、文化的背景についても学びます。

評価方法　平常点(授業参加、小テスト等)および期末試験

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60165	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	グレノン イザベル	英語	水 3	153	1 年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)

講義題目　Professional presentation skills

授業の目標概要

The main objective of this course is to enable students to develop the skills necessary to properly organize, articulate and support their ideas, when presenting their position as an oral presentation. These skills include the ability to prepare a well-structured script for the presentation that emphasizes the chosen position with supporting arguments (backed up by facts and statistics).

Although the class focus on academic presentations, the skills developed throughout this class are applicable to other domains, such as the preparation of marketing pitches, job interviews, progress reports, and so on.

評価方法

Participation 20%
Outline 10%
Draft 20%
Presentation (only 1) 50%

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60166	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	LANDAU Samantha	英語	水 3	1213	1 年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)

講義題目　Ghosts and Hauntings in American Literature

授業の目標概要

This course is an overview introduction to fiction that concerns hauntings, ghosts, and warped spaces in American fiction. In this class, students will approach stories about ghosts through the lens of cultural studies and historical contexts. In addition to stories, students will be introduced to social criticism, religious studies, gender theory, cultural theory, and scientific theories that suit the story we are discussing. Students who want to understand psychological, scientific, or historical aspects of literature are encouraged to take this course.

評価方法　Final Report: 40%, Written assignments: 30%, In-class assignments and participation: 30%

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60167	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	岩佐 将志	英語	水 3	156	1 年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)

講義題目　英語で読み解く現代社会

授業の目標概要

この授業では、現代社会の動向を社会学的な視点から考察している英語文献を題材とし、英文読解の訓練を行う。ここで取り上げるのは、デジタル技術、移動のための技術、整形手術といった一連の科学技術の進展が現代人の自己意識、身体、空間認識等に与える影響を考察している社会学者の著作である。そこでは、これらの科学技術がもたらした社会変化の加速や人間関係の変化に対応するために、個人が絶えず自らを作り変えるよう迫られ、持続したアイデンティティを保つことが困難になっているという見方が、さまざまな事例を通じて示される。この著作を読み解くことを通じ、その洗練された議論に触れると同時に、そこで用いられる幅広い語彙や表現を習得することを目指す。

評価方法　授業内の発表、小テスト、期末エッセーから総合的に判断する。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

書名　Identity Troubles: An Introduction
著者（訳者）　Anthony Elliott
出版社　Routledge
ISBN　9780415837118

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60168	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	三吉 美加	英語	水 3	158	1 年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)

講義題目　優れた短編作品を深読みする

授業の目標概要　短編作品を精読した後、その背景にある社会状況、歴史、文化などについて知識を深めていく。また、シンボリックな表現に注目しながら、作者や作品の世界観を探っていく。グループでの話し合いを行いながら、コミュニケーション能力の向上も目指す。

評価方法　平常点（授業時の積極的姿勢とグループワーク時の発言、予習状況）４０％、試験と小テスト　６０％

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60169	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	遠藤 智子	英語	水 3	154	1 年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)

講義題目　英語学習とメタ認知の理論と実践

授業の目標概要　学習者が自己の状態、目標や達成状況、問題点等を把握するメタ認知はあらゆる学習において有効であると考えられる。本授業では英語学習を題材としてメタ認知に関する理論の理解と実践を行う。

評価方法　授業参加、授業内課題（ワークシート、ディスカッション、プレゼンテーション、ライティング）、授業外課題（プレゼンテーション準備、ライティング、リーディング）等を行い、総合的に評価する。他の受講者のパフォーマンスに対して適切な評価ができているかどうかも評価の対象になる。必要に応じて試験を行う可能性がある。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60170	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	具 裕珍	英語	水 3	10-201	1 年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)

講義題目　Presentation on Your Research in English

授業の目標概要　This class is designed to provide students opportunities presenting their research project(s) in English. You will introduce a brief outline of your research (e.g. research questions, research methods, brief summary of main arguments, etc.) to your classmates for 10 minutes.

More detailed guideline will be provided later in class.

評価方法　Draft for presentation (30%), Final presentation (40%), Class participation (20%), Attendance (10%)

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

クラス指定セメスター型　月２

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50019	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	WONG Michelle	英語	月 2	10-101	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20 理一(9,13)理二三(1-3)

講義題目　TED Talks, Discussions and Presentations

授業の目標概要
The primary goal of this course is to improve your confidence in using English to converse on a range of familiar and unfamiliar topics. Through discussion activities and presentations, you will expand your vocabulary as well as develop communication strategies to express yourself more accurately and confidently.

評価方法
70% Assignments and quizzes
30% Participation

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50020	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	メズールール ジェルマン	英語	月 2	K303	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)

講義題目　Social Inequality: Now and in the Future

授業の目標概要
This course will explore a range of social issues and situations faced by people in different societies around the world today. We will also explore how social inequality in future societies is represented in movies.
Through learning and discussing these issues, students will develop their comprehension and communication skills in English. The course is designed to help you learn and understand important sociological issues, in English. You will learn new vocabulary, and also practice your English discussion and presentation skills.
The exact topics covered will be decided in class, through discussions and votes, and could include:
Social Stratification
Gender Inequality
Impact of AI and robots on society
Inequalities of Race and Ethnicity
etc.

Students will gain a better understanding of basic sociology, as well as use critical thinking to discuss possible solutions to some of the main social inequalities covered in the class.

評価方法
25%: Learning Journal
25%: Presentation (2x12.5% or 1x25% depending on class size)
25%: Timed-essay in class
25%: Active participation and contribution to the class

教科書　その他　No textbook is required, but students will have to rent two films (DVD, digital, streaming, etc).

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50021	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	平賀 優子	英語	月 2	103	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)

講義題目　英語発音演習―発音力から聴解力へ―

授業の目標概要
この授業では英語の発音力を磨いて聴解力の向上を目指します。発音練習（音読）は、模倣からのみでなく音声学の理論（特に、IPA：International Phonetic Alphabet）やシャドーイング、オーバーラッピングの手法を用いて行います。また、英語の学習の方法も随時紹介し、自学自習ができる能力を養成します。

評価方法　学期末テスト、平常点

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　英語音声の基礎と聴解トレーニング
著者(訳者)　杉森 幹彦他
出版社　金星堂

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50022	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	志子田 祥子	英語	月 2	149	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)

講義題目　Lets Read and Discuss: Reading Short Stories

授業の目標概要

The aim of this course is to help students improve their reading and communication skills in English, through a range of student-centred activities designed to stimulate responses and promote social interactions in the classroom, including pair/group work and discussion.

We will read a selection of short stories written by contemporary authors, including but not limited to the ones published in The New Yorker magazine.

It is hoped that the course will help students not only to develop their reading fluency, but also to learn to enjoy authentic texts, as well as opening up new horizons.

評価方法

Active class participation and significant contribution (approx. 30%); successful completion of a series of activities and assignments, including presentations and vocabulary quizzes (approx. 70%).

理由の如何にかかわらず、授業開始後 30 分以上の遅刻、および授業終了 30 分以前の早退は欠席とみなす。遅刻・早退 2 回で欠席 1 回とみなす。5 回以上の欠席は不可。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50023	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	瀧野 みゆき	英語	月 2	152	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)

講義題目　プロフェッショナルのための共通語としての英語

Communication in English among professionals

授業の目標概要

プロフェッショナルとして、将来にわたって世界の人と英語を使って協働できるようになることを目標に、実践的な英語使用の考え方とスキルを学びます。

英語を多様な文化・国籍をもった人とコミュニケーションする共通語として使うことをイメージしながら、１）グローバル社会の英語の役割、２）プロフェッショナルとして英語を使うための基本的な考え方とルール、そして３）英語を将来にわたって長期的に学び、使っていくための英語学習方法、の３点を学ぶことを目指します。

授業では、ケースやタスクをもとに実際に英語を使い、国際協働のための英語の表現や話し方を練習し、実社会で英語を使う土台となる基本的スキルを習得します。

英語のコミュニケーションに重要なリスニング力の強化を、授業外学習で自律的に行います。

評価方法

授業内活動への積極的な参加・活動成果・授業内ミニテスト 55%

授業内のタスクへの積極的・効果的参加、提出物、授業内に行う範囲を指定されたリスニング教材の「聴き取り・理解を確認するミニテスト」の結果によって総合的に評価

中間プレゼン 20%

定められたテーマに沿って３分程度のプレゼンを行う・講師と学生の相互評価の総合点

期末プレゼン 25%

定められたテーマに沿って、３分程度の個人プレゼンを行う・講師と学生の相互評価の総合点

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名　VOA ニュースフラッシュ 2019 年度版 (<CD>)
著者(訳者)　アルク
出版社　アルク
ISBN　978-4757433243
その他　授業外のリスニング課題の教材として使います。授業の教材はプリント配布します。

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50024	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	岩崎 徹	英語	月 2	153	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)

講義題目　元祖ミュージカル（サヴォイ・オペラ）の台本を読む

授業の目標概要
　『オペラ座の怪人』の約 100 年前、ロンドンのサヴォイ劇場で初演されて以来、今でも英米を始め英語圏で人気の高い元祖ミュージカル的コミック・オペラがある。風刺の利いたウィリアム・ギルバートの台本（・歌詞）と、軽快で親しみやすいアーサー・サリヴァンの曲による一連の「サヴォイ・オペラ」は、ドイリー・カート歌劇団により 100 年以上上演されてきた伝統があるが、英米の主要大学、主要都市にある同好会によるアマチュアの上演も盛んだ。
　このレパートリーの中から、19 世紀末欧米の日本ブームに便乗して大ヒットし、日本・日本人のステレオタイプ形成に貢献（？）した『ミカド』を複数の上演映像を見ながら読み、イギリス的ユーモアを味わう。英米では知名度抜群で現在でも上演の機会が多いこの作品について、成立の時代背景（ジャポニスム）や、日本を含めた上演にまつわるエピソードも概観する。

評価方法　試験の成績に出席、平常点を加味する。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50025	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	月 2	154	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)

講義題目　Writing Myth, Reading Culture: An Introduction to Folklore

授業の目標概要
　This course will provide students with a foundation in working in English to conduct folkloric studies. Working through a series of comparative case studies, your class activities will be based around group discussions, presentations, in-class readings and student-led work - each designed to help develop your verbal and analytic skills in English language. Students will examine folklore from a cross-cultural perspective, exploring myths and legends from the geographical East and West. As well as assessing the role of folklore from both contemporary and historical viewpoints, the class will also introduce students to methodological approaches in the investigation of folklore. You will be required to write a research paper and give short presentations in English, as well as to undertake various homework tasks throughout the course (readings, creative assignments, compiling research etc.).

評価方法
Attendance, Participation and Engagement: 20%
Research Paper: 40%
Presentation: 40%

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50026	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	小田 悠生	英語	月 2	155	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)

講義題目　国際人口移動の基本概念と現代世界の諸課題

授業の目標概要
　この授業では、平易な英語で書かれたテキストと新聞記事、ビデオを併用しながら、特定テーマに関する一般向けの報道から入門者向けの概説書まで速読できる力を身につけます。中心とする指定教科書は、いわゆる「新書」相当のものであり、各自の専門分野・前提知識を問わず、アカデミックな文章を読解することができるようになることが目標です。
　リーディングのテーマは、国際人口移動です。日本でも入国管理法の改正に伴い、「外国人労働者」や「移民」に関する議論が活発となっていますが、移民とは誰を指すのかといった基本的問題に始まり、現代の世界において国境が持つ意味といった問題まで、様々なイシューについて考えてみましょう。

評価方法
出席回数が三分の二を満たさない場合、単位は認めない。
毎回の宿題提出：30%
授業内課題への取り組み：30%
期末試験: 40%

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　International Migration: A Very Short Introduction. 2nd edition.
著者(訳者)　Khalid Koser
出版社　Cambridge: Oxford UP, 2016.
ISBN　978-0198753773

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50027	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	堀越 庸一郎	英語	月 2	156	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)

講義題目　楽園はどこにある—Ronald Blythe, Akenfield: Portrait of an English Village (1969)を読む

授業の目標概要

あなたの楽園はどこにありますか。日本人の楽園はどこにあるのでしょう。イギリス人の楽園は村にあります。「愛すべき農村」のイメージ。都会と違って恐ろしいことは何も起きない、知らない者が侵入してくることもない、皆が皆をよく知っていて、親密な人間関係のなかで、多少の悶着も厄介ごとも、すべてユーモアと笑顔と、ゆるいキリスト教的モラルで乗り越えられていく、そういう居心地のいい楽園。そこで繰り返される生産のサイクル。春、夏、収穫、冬。今年も、来年も、いつまでも。いつかこんな薄汚れた都会を離れて、緑に囲まれたコテージに住み、そういう「本当に確実なもの、本当に大切なもの」を手に入れるんだ。都会に寓居するイギリス人はそうやって、永遠の楽園としてのカントリーライフを夢見ている。

『エイケンフィールド：あるイングランドの村の肖像 Akenfield: Portrait of an English Village』(1969) は、そういう「楽園」の実際の住民たちの談話を、作家ロナルド・ブライズ Ronald Blythe がまとめたものです。1960 年代後半、戦後のイギリス社会が経験した大変革がようやく落ち着き、19 世紀から続く大農業恐慌がようやく終わり、農村社会が豊かになり始めた頃、イングランドのある農村に住んでいた、実在の住民たちの声です。

話し言葉を書き起こしたものが多くの部分を占めているので、そういった部分はアカデミックな硬い英語ではありません。むしろ、この時代や地域に独特の言い回しや方言がある程度書き込まれているので、そのへんが面白いところです。世の中には、公的な文書や研究書、あるいは文学作品などの「真面目な」文章よりも、小説やエッセイなどの「気楽な」文章の方が圧倒的に多いわけで、そういう硬くない英文を読むための読解力や知識の習得を目標のひとつとしています。それから、授業内容は基本的にテキストの精読になります。テキストをきちんと精読するためには作法があり、それはそのテキストが「気楽な」エッセイであろうと「真面目な」研究論文であろうと、また千年前に書かれた古英語の文書だろうと、同じです。この「作法」をお伝えしたい、そういう授業です。

評価方法　授業中の和訳に対する評価、および学期末レポート（3〜4 頁分の英文の和訳）。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

クラス指定セメスター型　月 3

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50105	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	WONG Michelle	英語	月 3	10-101	1 年 理一(15,25-26,28,34)

講義題目　TED Talks, Discussions and Presentations

授業の目標概要

The primary goal of this course is to improve your confidence in using English to converse on a range of familiar and unfamiliar topics. Through discussion activities and presentations, you will expand your vocabulary as well as develop communication strategies to express yourself more accurately and confidently.

評価方法　70% Assignments and quizzes
30% Participation

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50106	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	メズールール ジェルマン	英語	月 3	K303	1 年 理一(15,25-26,28,34)

講義題目　Social Inequality: Now and in the Future

授業の目標概要

This course will explore a range of social issues and situations faced by people in different societies around the world today. We will also explore how social inequality in future societies is represented in movies.

Through learning and discussing these issues, students will develop their comprehension and communication skills in English. The course is designed to help you learn and understand important sociological issues, in English. You will learn new vocabulary, and also practice your English discussion and presentation skills.

The exact topics covered will be decided in class, through discussions and votes, and could include:

Social Stratification
Gender Inequality
Impact of AI and robots on society
Inequalities of Race and Ethnicity

etc.

Students will gain a better understanding of basic sociology, as well as use critical thinking to discuss possible solutions to some of the main social inequalities covered in the class.

評価方法

25%: Learning Journal
25%: Presentation (2x12.5% or 1x25% depending on class size)
25%: Timed-essay in class
25%: Active participation and contribution to the class

教科書　その他　No textbook is required, but students will have to rent two films (DVD, digital, streaming, etc).

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50107	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	岩崎 徹	英語	月 3	153	1 年 理一(15,25-26,28,34)

講義題目　ミュージカル（『レ・ミゼラブル』）の台本を読む

授業の目標概要

ミュージカル『レ・ミゼラブル』の台本を読む。日本でも長年上演されてきたこのミュージカルは、ヴィクトル・ユゴーの長編小説の名場面集的なフランスの舞台をイギリス演劇界の総力を結集して作り変えた英語版がもとになっている。10 周年、25 周年の記念コンサートや映画版の映像を見ながら、台本を読み、作品を鑑賞する。フランス版からの変更点、英語版制作の経緯、劇評なども参照して作品理解を深める。

評価方法　試験の成績に出席、平常点を加味する。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50108	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	瀧野 みゆき	英語	月 3	152	1 年 理一(15,25-26,28,34)

講義題目　プロフェッショナルのための共通語としての英語
Communication in English among professionals

授業の目標概要
　プロフェッショナルとして、将来にわたって世界の人と英語を使って協働できるようになることを目標に、実践的な英語使用の考え方とスキルを学びます。
　英語を多様な文化・国籍をもった人とコミュニケーションする共通語として使うことをイメージしながら、１）グローバル社会の英語の役割、２）プロフェッショナルとして英語を使うための基本的な考え方とルール、そして３）英語を将来にわたって長期的に学び、使っていくための英語学習方法、の３点を学ぶことを目指します。
授業では、ケースやタスクをもとに実際に英語を使い、国際協働のための英語の表現や話し方を練習し、実社会で英語を使う土台となる基本的スキルを習得します。
　英語のコミュニケーションに重要なリスニング力の強化を、授業外学習で自律的に行います。

評価方法
授業内活動への積極的な参加・活動成果・授業内ミニテスト 55%
　授業内のタスクへの積極的・効果的参加、提出物、授業内に行う範囲を指定されたリスニング教材の「聴き取り・理解を確認するミニテスト」の結果によって総合的に評価
中間プレゼン 20%
　定められたテーマに沿って３分程度のプレゼンを行う・講師と学生の相互評価の総合点
　（履修学生数によって、個人またはグループプレゼンとする）
期末プレゼン 25%
　定められたテーマに沿って、３分程度の個人プレゼンを行う・講師と学生の相互評価の総合点

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　VOA ニュースフラッシュ 2019 年度版 (<CD>)
著者(訳者)　アルク
出版社　アルク
ISBN　978-4757433243
その他　授業外のリスニング課題の教材として使います。授業の教材はプリント配布します。

ガイダンス
特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50109	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	月 3	154	1 年 理一(15,25-26,28,34)

講義題目
Geographies of Horror

授業の目標概要
　This course will introduce students to the role of geography in cinematic and literary horror, exploring the ways in which filmmakers and writers have tried to imagine the supernatural qualities of the world that surrounds them. Starting with a short introduction to cultural geography, the classes will move on to discuss specific English language examples of gothic, monstrous and ecological horror. You will be studying the works of a range of influential writers, including; M.R. James, H.P Lovecraft and Shirley Jackson. You will consider how the supernatural entities that appear in horror (ghosts, vampires, zombies etc.) can be seen to tell us about place and environment, expressing the complex relationship between people and the landscapes they inhabit. Using cultural geography as a backdrop for the course, students will examine the impact of horror on the way we think about and describe the threat of the natural world. A number of short readings will provide opportunities for weekly class discussion in English, and develop comprehension of the texts that accompany the course. Students will be expected to read excerpts and short stories in English on a weekly basis as preparation for in-class activities and presentations. Furthermore, this course aims to help you develop your analytical skills in working with English language texts and audio-visual materials.

評価方法
Attendance, Participation and Engagement: 20%
Research Paper: 40%
Presentation: 40%

教科書
教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス
特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50110	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	堀越 庸一郎	英語	月 3	156	1 年 理一(15,25-26,28,34)

講義題目　楽園はどこにある—Ronald Blythe, Akenfield: Portrait of an English Village (1969)を読む

授業の目標概要

あなたの楽園はどこにありますか。日本人の楽園はどこにあるのでしょう。イギリス人の楽園は村にあります。「愛すべき農村」のイメージ。都会と違って恐ろしいことは何も起きない、知らない者が侵入してくることもない、皆が皆をよく知っていて、親密な人間関係のなかで、多少の悶着も厄介ごとも、すべてユーモアと笑顔と、ゆるいキリスト教的モラルで乗り越えられていく、そういう居心地のいい楽園。そこで繰り返される生産のサイクル。春、夏、収穫、冬。今年も、来年も、いつまでも。いつかこんな薄汚れた都会を離れて、緑に囲まれたコテージに住み、そういう「本当に確実なもの、本当に大切なもの」を手に入れるんだ。都会に寓居するイギリス人はそうやって、永遠の楽園としてのカントリーライフを夢見ている。

『エイケンフィールド：あるイングランドの村の肖像 Akenfield: Portrait of an English Village』(1969) は、そういう「楽園」の実際の住民たちの談話を、作家ロナルド・ブライズ Ronald Blythe がまとめたものです。1960 年代後半、戦後のイギリス社会が経験した大変革がようやく落ち着き、19 世紀から続く大農業恐慌がようやく終わり、農村社会が豊かになり始めた頃、イングランドのある農村に住んでいた、実在の住民たちの声です。

話し言葉を書き起こしたものが多くの部分を占めているので、そういった部分はアカデミックな硬い英語ではありません。むしろ、この時代や地域に独特の言い回しや方言がある程度書き込まれているので、そのへんが面白いところです。世の中には、公的な文書や研究書、あるいは文学作品などの「真面目な」文章よりも、小説やエッセイなどの「気楽な」文章の方が圧倒的に多いわけで、そういう硬くない英文を読むための読解力や知識の習得を目標のひとつとしています。それから、授業内容は基本的にテキストの精読になります。テキストをきちんと精読するためには作法があり、それはそのテキストが「気楽な」エッセイであろうと「真面目な」研究論文であろうと、また千年前に書かれた古英語の文書だろうと、同じです。この「作法」をお伝えしたい、そういう授業です。

評価方法　授業中の和訳に対する評価、および学期末レポート（3〜4 頁分の英文の和訳）。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50111	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	平沢 慎也	英語	月 3	155	1 年 理一(15,25-26,28,34)

講義題目　マンガについてのマンガを読む

授業の目標概要

Scott McCloud の Understanding Comics: The Invisible Art というマンガを毎回 15-25 ページずつ読み進めていきます。このテキストはマンガの仕組みを言語学・心理学・哲学・メディア論・芸術論など様々な観点から分析したものです。講義の目標は（1）日本人にとって極めて身近な存在であるマンガを新たな視点で見られるようになることと（2）会話特有の口語表現と硬質な学術的表現をバランスよく習得することです。

評価方法　隔週の小テスト（50%）
グループ発表（40%）
授業中の議論への積極的貢献（10%）

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名　Understanding Comics: The Invisible Art
著者(訳者)　Scott McCloud
出版社　Harper Perennial
ISBN　9780060976255

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

クラス指定セメスター型　月４

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50159	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	小川 浩之	英語	月 4	149	1 年 理一(19) 理二三(7,15,24)

講義題目　World politics 100 years after the Paris Peace Conference I

授業の目標概要　イギリスの王立国際問題研究所（チャタム・ハウス）が発行している学術雑誌 International Affairs の、第一次世界大戦後のパリ講和会議 100 周年特集号から選んだ論文を読む。英語の論文の読解を通して、過去 100 年間の国際関係史について学ぶ。1 週間で扱う英文は 5〜8 ページ程度である。

評価方法　授業での発表、質疑応答と議論への貢献、毎週提出する要旨から総合的に評価する。

教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50160	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	石井 クンツ 昌子	英語	月 4	150	1 年 理一(19) 理二三(7,15,24)

講義題目　英語で社会問題についてディベートしよう
Lets debate about social problems in English

授業の目標概要　この授業の最終目標は英語で自分の考えやアイデアを発表する能力を身につけることである。日本と米国の様々な社会問題についてディベートする。各トピックの議論への準備を周到にして、ディベートにより英語のリスニング、スピーキング、プレゼンテーション能力を養う。

評価方法　出席率（欠席は 3 回までとして、4 回以上の場合の評価は「不可」とする）、ディベートのデリバリー技術、ディベート内容のクオリティ、ディベートへの準備、ディベートへの積極的な参加、ディベートの勝敗、授業態度と英会話セッションへの積極的な参加

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50161	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	高橋 和子	英語	月 4	10-303	1 年 理一(19) 理二三(7,15,24)

講義題目　TOEFL の後は、名作を英語で読もう

授業の目標概要　本授業では、授業前半で TOEFL の reading 問題を扱う。授業後半では、英語を学ぶ大学生ならば理科系・文科系に関わらず、一度は英語で読んでおきたい名作の名場面を取り上げる。随時、名作の中心場面の映像（映画）の視聴、ディスカッション・プレゼンテーション等を取り入れることによって、バランスのとれた英語力育成を目標にする。

評価方法　授業参加度：60%、出席（TOEFL の Reading 問題、名作に対する課題を含む）、ディスカッション、プレゼンテーションの成果を含む。
学期末試験・レポート：40%

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　Official TOEFL iBT Tests Volume 2, second edition
著者（訳者）　ETS (Educational Testing Service)
出版社　McGraw-Hill Education
ISBN　1260440990

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50162	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	WONG Michelle	英語	月 4	10-101	1 年 理一(19) 理二三(7,15,24)

講義題目　TED Talks, Discussions and Presentations

授業の目標概要　The primary goal of this course is to improve your confidence in using English to converse on a range of familiar and unfamiliar topics. Through discussion activities and presentations, you will expand your vocabulary as well as develop communication strategies to express yourself more accurately and confidently.

評価方法　70% Assignments and quizzes
30% Participation

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50163	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	平沢 慎也	英語	月 4	155	1 年 理一(19) 理二三(7,15,24)

講義題目　英語前置詞の自律的学習者を目指して

授業の目標概要　教員が英米の小説，TV ドラマ，映画などから収集した英文を読みながら，前置詞の使い方について考えます。英語で書かれた言語学文献も参照します。

授業の目標は以下のとおりです。
・英語（理想的には任意の外国語）の前置詞（理想的には任意の多義語）を含んだ表現で自分では使いこなせなさそうな表現 X に出会ったときに，(a) X の仕組みを〈理解〉しようと試み，かつ，(b) X（および X と同じ仕組みで成り立っている別のフレーズ X や X ）を丸ごと〈記憶〉しようと試みる，という健全な余剰性をもった学習方略をとれるようになること。
・(a) のための手段として，言語学的な諸概念を習得すること。
・(b) のための手段として，コーパスの使い方を習得すること。
・以上により英語（理想的には任意の外国語）の前置詞（理想的には任意の多義語）の自律的学習者になること。

評価方法　隔週の小テスト（50%）＋毎週の課題（25%）＋グループ研究発表（25%）

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50164	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	瀧野 みゆき	英語	月 4	152	1 年 理一(19) 理二三(7,15,24)

講義題目　プロフェッショナルのための共通語としての英語
Communication in English among professionals

授業の目標概要　プロフェッショナルとして、将来にわたって世界の人と英語を使って協働できるようになることを目標に、実践的な英語使用の考え方とスキルを学びます。
英語を多用な文化・国籍をもった人とコミュニケーションする共通語として使うことをイメージしながら、１）グローバル社会の英語の役割、２）プロフェッショナルとして英語を使うための基本的な考え方とルール、そして３）英語を将来にわたって長期的に学び、使っていくための英語学習方法、の３点を学ぶことを目指します。
授業では、ケースやタスクをもとに実際に英語を使い、国際協働のための英語の表現や話し方を練習し、実社会で英語を使う土台となる基本的スキルを習得します。
英語のコミュニケーションに重要なリスニング力の強化を、授業外学習で自律的に行います。

評価方法　授業内活動への積極的な参加・活動成果・授業内ミニテスト 55%
授業内のタスクへの積極的・効果的参加、提出物、授業内に行う範囲を指定されたリスニング教材の「聴き取り・理解を確認するミニテスト」の結果によって総合的に評価
中間プレゼン 20%
定められたテーマに沿って３分程度のプレゼンを行う・講師と学生の相互評価の総合点
（　履修学生数によって、個人またはグループプレゼンとする）
期末プレゼン 25%
定められたテーマに沿って、３分程度の個人プレゼンを行う・講師と学生の相互評価の総合点

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　VOA ニュースフラッシュ 2019 年度版 (<CD>)
著者(訳者)　アルク
出版社　アルク
ISBN　978-4757433243
その他　授業外のリスニング課題の教材として使います。授業の教材はプリント配布します。

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

クラス指定セメスター型　火１

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50227	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	西川 杉子	英語	火 1	149	1 年 理一(10,14) 理二三(12,16)

講義題目　History Today を読む

授業の目標概要　イギリスで出版されている歴史の教養雑誌 History Today に収録された小論文を読み、イギリスの文化・歴史を学ぶ。History Today については図書館に入っているので、参考にするとよい。

評価方法　毎回の小テストおよび授業への参加度。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50228	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	高橋 英海	英語	火 1	150	1 年 理一(10,14) 理二三(12,16)

講義題目　英語で世界を見聞きする

授業の目標概要　英語はいまや英米豪などの英語圏のみの言語ではなく、事実上の世界の共通語であり、世界への扉である。本授業では、世界の中の英米豪以外の地域、特にアジアや中東・アフリカ地域から発信されるニュースなどの視聴覚教材を見聞きしながら、世界への視野を広めるとともに英語の理解力を高める。

評価方法　授業への参加度およびテストによる。

教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50229	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	ロビンズ・ロジャー	英語	火 1	151	1 年 理一(10,14) 理二三(12,16)

講義題目　Jailbird by Kurt Vonnegut

授業の目標概要
This course will expand students ability to read and critically analyze English prose through a closely guided reading of an important work by a modern American novelist. We will emphasize multiple levels of comprehension, ranging from the appreciation of prose expression to the analysis of plot, literary structure, and character development.

評価方法
Students will be evaluated on the basis of their class participation, short weekly responses (posted to ITC/LMS), and a short literary-analysis paper.

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　Jailbird
著者(訳者)　Kurt Vonnegut
出版社　Vintage Books
ISBN　9780099999003

ガイダンス
特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50230	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	火 1	153	1 年 理一(10,14) 理二三(12,16)

講義題目　Fortean Geographies: critical engagements with supernatural spaces

授業の目標概要
This course will introduce students to the cultural geography of the supernatural. Each week students will examine a different instance of the Fortean, a term developed from the writings of Charles Fort (1874-1932), who published a number of popular works on the supernatural. From crop circles and UFOs to ghosts and telepathy, you will analyse the ways in which the supernatural has had a continued influence on our understanding of the world around us. You will be required to think critically about the relationship between paranormal phenomena and the specific geographies in which they are encountered, considering the role such beliefs might play in the development of the geographic imagination. What do strange encounters with the environment tell us about contemporary belief in the supernatural? Why are certain types of place still commonly believed to be cursed, haunted or magical? A number of short English-language readings will provide opportunities for class discussion and develop comprehension of the English text itself. Students will be expected to read excerpts, articles and short stories in English on a weekly basis in preparation for in-class activities and discussion. Weekly presentations will help students to improve their speaking, listening and critical thinking skills.

評価方法
Attendance, Participation and Engagement: 20%
Response paper: 40%
Presentation: 40%

教科書
教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス
特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50231	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	小野瀬 宗一郎	英語	火 1	152	1 年 理一(10,14) 理二三(12,16)

講義題目　２０世紀の英語圏の名エッセイを読む

授業の目標概要
２０世紀を代表する英語圏の政治家、作家、ジャーナリスト、文化人による様々なジャンルのエッセイを読み、英文読解力の向上を図ると同時に、名エッセイを名エッセイたらしめる構成・文体・レトリックの妙を考察し、エッセイ・ライティングのスキルとセンスを磨くことを主眼とする。

評価方法
平常点　（出席・授業態度）３０％
小テスト　４０％
エッセイ　３０％

教科書
プリントを配布する。／Will distribute handouts
書名　The Penguin Book of Twentieth-Century Essays
著者(訳者)　Ian Hamilton (ed.)
出版社　Penguin
ISBN　978-0140255218

ガイダンス
特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50232	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	遠藤 泰生	英語	火 1	154	1 年 理一(10,14) 理二三(12,16)

講義題目　American Slave Narattives

授業の目標概要　アメリカ合衆国における人種問題の原点に、黒人奴隷制度の長い歴史があることは誰もが知っている。この授業では、かつて奴隷であった一人の男の自伝を読む。人が「自由」であることの具体的な意味を考えさせる古典として知られるこの自伝を読み、アメリカ合衆国が現在も苦しむ人種問題の根を考える。

評価方法　授業への参加と期末試験。

教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time
書名　NARRATIVE OF THE LIFE OF FREDERICK DOUGLASS: AN AMERICAN SLAVE
著者（訳者）　Frederick Douglass

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

クラス指定セメスター型　火５

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50452	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	牛村 圭	英語	火 5	152	1 年 理一(30,37) 理二三(5)

講義題目　New York Times で世界を読む

授業の目標概要　New York Times に掲載された署名入り記事に注釈が付された教材を精読する。さまざまな今日の諸問題が、英語ではどのように表現されて論じられているかを知る機会とするにとどまらず、学生諸君の文理にわたる知的関心を高めることをも目指したい。

評価方法　担当した訳文の発表を含めた平常点、学期中に実施の語彙力テスト、そして学期末の筆記試験による。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　『ニューヨークタイムズの窓から』
出版社　英宝社、2014 年

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50453	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	リチンスキ ダン	英語	火 5	156	1 年 理一(30,37) 理二三(5)

講義題目　English Lectures on General Physics

授業の目標概要　This course will provide lectures on a series of Physics topics selected to ensure a balance between presentation of basic concepts and terminology, diagrams and formulas as well as proper reasoning about the underlying principles and mechanisms, using adequate English language. Although mainly intended for students interested to major in sciences, effort is made to select stand-alone content, presented so that it could be accessible to those specializing in other areas as well.

The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on two fronts: (i) comprehension of the studied Physics topics and (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various scientifically-valid perspectives, analyze problems, provide solutions and envision applications.

評価方法　Attendance and participation in interactive activities with instructor and classmates: 30%
Individual Assignments: 70% While emphasis in evaluation will not be on the mastering of the Physics content itself, highest grades will require a good performance with respect to both (i) and (ii) objectives.

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50454	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	藤尾 美佐	英語	火 5	10-201	1 年 理一(30,37) 理二三(5)

講義題目　世界で勝つための英語プレゼンテーション

授業の目標概要　英語コミュニケーションにおいて、プレゼンテーション(以下プレゼン)は不可欠なスキルである。また他のスキルと比べ、パフォーマンス的要素も強く、プレゼンスキルを学ぶことによって、英語の非母語話者であっても、母語話者以上のプレゼンターになることができる。本コースでは、英語のプレゼンに必要な基本的なスキル(プレゼンの構成、資料作成、英語のデリバリー、非言語コミュニケーション(ジェスチャー、アイコンタクトなど)の効果的な使い方)を学んだ後、授業内でグループ・プレゼンテーションを実施する。さらに、他のグループおよび自分自身のプレゼンのレビューを行うことにより、洞察を深めていく。授業は、英語と日本語の両方で行う(インストラクションにも極力英語を使用する予定)。

評価方法　授業への積極的な参加・提出物・プレゼンテーション・レポート

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　20 ステップで学ぶ 日本人だからこそできる英語プレゼンテーション
著者(訳者)　藤尾 美佐
出版社　DHC 出版

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50455	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	髙橋 和子	英語	火 5	10-308	1 年 理一(30,37) 理二三(5)

講義題目　Pronunciation and Listening

授業の目標概要　概要：英語発音とリスニング力の向上を目指すクラスである。特に発音訓練に重点をおくため、発音だけには自信がなく、自分が話した英語が聞き手に通じにくいと感じている人が履修することをお勧めする。主に、発音記号に沿って注意すべき英語音声について学び、ひとつずつ発音練習をしていく。加えて、英語独特の音の連結、消失、弱化やイントネーション、リズムを学び、リスニングの訓練を行う。また、聞き手に理解してもらえるように、文章の音読やプレゼンテーションを行う。

目標：英語を聞き、話す際に重要である英語音声の基礎知識を習得し、実践で活かせる力をつけることが本授業の目的である。将来、国際的な場において英語で発信、発表するための確かな道具を手に入れよう。本授業の到達目標は次の通りである。（1）英語音声を正しく理解し、発音できるようになる。（2）日本人にとって紛らわしい英語発音を聞き分けられるようになる。（3）専門用語を含む英文を、発音記号を調べ、正しく音読できるようになる。（4）英語リスニング力を向上させる。

評価方法　個別発音テスト 40%、リスニングテスト 20%、単語テストとレポート 20%、授業参加（発表、出席を含む）20% を総合して評価する予定。個別発音テストにおいては基準点以上を取ることが必要である。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　DVD＆CD でマスター 英語の発音が正しくなる本
著者(訳者)　鷲見由理
出版社　ナツメ社
ISBN　13: 978-4816344640
その他　参考書（UTAS シラバス参照）も授業で使用する。教科書と参考書、計 2 冊は購入の必要あり。

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

クラス指定セメスター型　水１

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50475	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	加治屋 健司	英語	水 1	102	1 年 理一(6,22,32,38)

講義題目　英語で読む芸術のモダニズム

授業の目標概要　オックスフォード大学出版局の概説書シリーズの『モダニズム』を読みます。本文 102 ページの薄い本です。英語の語彙を増やすこと、一定量の英語を読むのに慣れること、英語を通して未知の対象を確実に学ぶことを目標とします。

評価方法　小テストの結果と授業への貢献度によって最終的な成績を付けます。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　Modernism: A Very Short Introduction
著者(訳者)　Christopher Butler
出版社　Oxford University Press
ISBN　9780192804419

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50476	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	石原 剛	英語	水 1	103	1 年 理一(6,22,32,38)

講義題目　多種多様な英語ディスカッションやリスニング練習を通して、英語の表現力と理解力を養成する

授業の目標概要　教育、環境、家族、健康、宇宙開発など多岐にわたるテーマを用いて、自分の考えを英文でパラグラフにまとめたり、様々な英語 Discussion や英語 Listening 練習を行い、必要な情報や重要な意見を的確に英語で表現し、かつ理解する能力を養う。その為に、ディスカッションの場で良く使用される英語表現や重要語彙だけでなく、確認、批判、同意などの技法を学ぶことで、効果的に英語でコミュニケーションを進める経験をしてもらう。特に、アイディアを効果的に整理し、主張を明確にまとめ、的確な英語表現で発信できるような練習や、様々なジャンルやテーマのリスニング教材を利用して、必要な情報を効率よく把握する練習を行う。具体的には、予測の仕方や、図などを利用した情報整理の方法、話者の声のトーンなどに注目することで真意を推し量る技術などを学ぶ。

評価方法　期末試験:50%
授業内活動（出席状況、授業への貢献、提出物、小テスト）など：50%

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　Mosaic 1: Listening/Speaking
著者(訳者)　Jami Hanreddy & Elizabeth Whalley
出版社　McGraw Hill
ISBN　9781259070389

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50477	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	ナルト デリック	英語	水 1	149	1 年 理一(6,22,32,38)

講義題目　Creative Thinking

授業の目標概要

Albert Einstein once said that “creative imagination” is central to scientific progress. Apple Co-Founder Steve Jobs, like many business leaders nowadays, likewise stressed that creativity differentiates average individuals and companies from exceptional ones. As important as creativity is said to be in today’s competitive global economy, what the creative process requires or involves is usually left unexplained. This course, therefore, aims to familiarize participants with what creative thinking entails, why it is important, where it comes from, and how individuals can improve their critical faculties to enable them to thrive in our era of rapid technological, social, political and economic change.

By the end of the course students, besides improving their English speaking, listening, and writing skills, will learn:

-- how some of the greatest innovators in human history have applied creative thinking to achieve breakthroughs in the realms of science, business, and the arts

-- how they can overcome thinking blocks, formulate effective questions, create the right environment for creative thinking, and turn their creative thoughts into action

評価方法　Writing assignments: 30% (10% + 20%)
Presentations: (2 x 20) 40%
Participation: 30%

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50478	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	河合 祥一郎	英語	水 1	E42	1 年 理一(6,22,32,38)

講義題目　『不思議の国のアリス』を原文で読む

授業の目標概要

『不思議の国のアリス』の原文の音声教材を自宅でよく聴いて予習し、発音やリズム等に気をつけながら音読することで、英語の読み方の基本を身につけます。『鏡の国のアリス』からも「トゥィードルダムとトゥイードルディー」「ハンプディ・ダンプティ」「女王アリス」の 3 章を読みます。また、毎回授業の初めに TOEIC の語彙についての小テストを行い、語彙力を維持します。毎回発音指導を行い、そのための早口言葉を覚えてもらいます。

評価方法　毎回の小テストとクラスでの取り組み姿勢を評価する。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50479	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	ダルグリーシュ ブレガム	英語	水 1	118	1 年 理一(6,22,32,38)

講義題目　Ideas and Thinkers

授業の目標概要

Thought is the means by which we elaborate who we are, assert our membership of a culture, authorise institutions within society, and make claims upon each other. Indeed, without any philosophical reflection upon society and politics, life today would have neither rationale nor articulated meaning. It is thus precisely at the cross-roads between our daily practices and taken for granted ideas that this course is situated in terms of an examination and critical analysis of a range of texts at the core of the intellectual inheritance of the West.

Objectives:

1. reading, analysing and synthesising academic texts;
2. presenting, elaborating and defending arguments orally;
3. taking part in seminars and academic discussions;
4. structuring and organising ideas in a coherent and logical written form.

評価方法　Student presentation (individually or in groups, depending on student enrolment) = 50%;
Seminar participation = 50%

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

クラス指定セメスター型　木２

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50725	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	LANDAU Samantha	英語	木 2	149	1 年 文一二(4,9,18) 文三(17)

講義題目　Literature and Social Criticism

授業の目標概要

In this course, students will learn to read literature through the lens of social issues. Students will read several short stories by American author Shirley Jackson such as "The Lottery" and "Flower Garden" and examine theoretical, political, and historical contexts that underpin the stories. In addition to the stories, they will be introduced to social criticism and cultural theory on race and politics from the 1940s and 1950s. In their discussions, presentations, and written work, students will focus on how to approach literature from an interdisciplinary standpoint, and how to deeply read a story for its context and multiple meanings.

評価方法　Final Report: 40%, Written assignments (Including Mid-term Report): 30%, In-class assignments and participation: 30%

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50726	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	寺澤 盾	英語	木 2	150	1 年 文一二(4,9,18) 文三(17)

講義題目　プレゼンテーションの基礎

授業の目標概要

本授業では、英語によって明晰かつ説得力のあるプレゼンテーションを行うことを目標にする。そのために、まず、モデルとなるプレゼンテーションのヴィデオを視聴し、その後、発表原稿の作成の仕方を学んでいく。併せて、発表に関する質疑応答のスキル、発表をより効果的に行うためのハンドアウトや視覚的資料の用い方についても学んでいく。

評価方法　授業への参加度、提出課題、プレゼンテーションなどを総合して評価する。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50727	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	ナルト デリック	英語	木 2	151	1 年 文一二(4,9,18) 文三(17)

講義題目　Creative Thinking

授業の目標概要

Albert Einstein once said that “creative imagination” is central to scientific progress. Apple Co-Founder Steve Jobs, like many business leaders nowadays, likewise stressed that creativity differentiates average individuals and companies from exceptional ones. As important as creativity is said to be in today’s competitive global economy, what the creative process requires or involves is usually left unexplained. This course, therefore, aims to familiarize participants with what creative thinking entails, why it is important, where it comes from, and how individuals can improve their critical faculties to enable them to thrive in our era of rapid technological, social, political and economic change.

By the end of the course students, besides improving their English speaking, listening, and writing skills, will learn:

-- how some of the greatest innovators in human history have applied creative thinking to achieve breakthroughs in the realms of science, business, and the arts

-- how they can overcome thinking blocks, formulate effective questions, create the right environment for creative thinking, and turn their creative thoughts into action

評価方法　Writing assignments: 30% (10% + 20%)
Presentations: (2 x 20) 40%
Participation: 30%

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50728	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	田尻 芳樹	英語	木 2	152	1 年 文一二(4,9,18) 文三(17)

講義題目　短編小説を読む

授業の目標概要
　この授業では 20 世紀の英語圏のノーベル賞クラスの作家の短編をいくつか精読し、２０世紀ヨーロッパの歴史や新しい文学形式に注意を向けながら、英語の読解力増進を図ります。精読の授業ですので、細かいニュアンスも含めてすべてを訳出していきます。その過程で、英語の表現に関して辞書を丹念に調べたり、文脈に応じての意味をじっくり考えたりする訓練をします。

評価方法　平常の参加度と期末テスト。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50729	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	木 2	153	1 年 文一二(4,9,18) 文三(17)

講義題目　Ecologies of Capital: culture, space and society

授業の目標概要
　This discussion-based course provides students with an opportunity to engage in critical, cultural and geographic theory, exploring the relationship between geography, capitalism and culture through English language texts. The course will be organised around key ideas taken from the writings of Karl Marx (e.g. the commodity, fetishism, phantasmagoria), with each class used to explore a specific Marxist concept in relation to the spaces and cultures of capitalism. The course will make use of a series of interesting examples from popular culture as a basis for conducting discussions (in English) on capitalism's role in the shaping of class, gender and race. The course will introduce students to a range of thinkers from across the academic world, developing their knowledge of how and where critical and cultural theory can be applied in the analysis of contemporary capitalism. A number of short readings will provide opportunities for class discussion and presentations, and will develop comprehension of the text itself. Students will be expected to read excerpts of texts and short articles in English on a weekly basis as preparation for in-class activities.

評価方法　Attendance, Participation and Engagement: 20%
Presentation: 40%
Research Paper: 40%

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50730	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	武田 将明	英語	木 2	154	1 年 文一二(4,9,18) 文三(17)

講義題目　Critical Reading of Literary Texts

授業の目標概要
　現代の英語圏文学を批評的に読む。批評的に読むためには、作品の書かれた背景を知ることも必要だが、何よりも一定の長さの英文をじっくりと読み、前後の文脈やレトリックにも注意しながら、文学作品特有の意味の広がりを理解し、感じ取ることが重要である。
　上記の目標を意識しながら、４篇の特徴の異なる作品を読むことで、英文読解のセンスを磨くことができるだろう。また、各自が批評的な読みを言語化するために、4 本の英文エッセイを提出してもらい、その内容に基づいた英語のディスカッションも行いたい。事前に作品について深く考えることで、話すこと自体が得意でない人も議論に参加できるようになるはずである。
　最終的には、英語を用いて批評的な言葉を話し、書くことへの動機づけができれば、今後の専門的な学習にも役立つことだろう。

評価方法　授業への貢献（出席だけではなく、講師の質問への解答や、学生からの良質な質問を元に貢献度を判定する、ディスカッションでの貢献もここに含まれる）30%、4 本の英文エッセイ（200～300 語程度）40%、期末試験 30%

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

クラス指定セメスター型　木３

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50796	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	中山 匡美	英語	木 3	10-203	1 年 文一二(13,15) 文三(13)理二三(10)

講義題目　ニュース英語でインプットからアウトプットへ

授業の目標概要　日本の出来事、あるいは日本とも関係の深い世界的な出来事についての英文ニュースを文字と音声で正しく理解し、ニュースで頻繁に使われる語彙や表現を自分の言葉として使えるようになることを目標とする。また、英文ニュース特有の表現や構成についても学び、英語でニュースを書くことをめざす。

評価方法　３回以上欠席した学生は評価の対象とならない。授業への参加姿勢、小テスト，課題、定期試験を総合して評価する。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　時事英語の総合演習―2019 年度版―
著者(訳者)　堀江洋文、加藤香織、小西和久、宮崎修二、内野泰子
出版社　朝日出版社
ISBN　978-4-255-15642-2

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50797	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	木 3	153	1 年 文一二(13,15) 文三(13)理二三(10)

講義題目　An Introduction to Cultural Geography

授業の目標概要　This course will provide students with an opportunity to explore the complex terrain of Cultural Geography through English language texts. Starting with an overview of cultural geography, the course will then look at specific cultural, critical and aesthetic theory, helping students to reflect on the relationship between culture, nature and representation. Each class will focus on a particular cultural geographic theme (e.g. the culture-nature divide; mobility; the anthropocene; landscape and memory; urbanism and rurality; folklore and landscape). By the end of the course students will have a comprehensive understanding of the connections between people, landscape and the geographic imagination. The course is designed to develop your critical thinking, discussion and presentation skills and will therefore require you to read short academic articles and take part in class discussion. You will be expected to prepare for classes in advance and play an active role in the discussion, presentation and defence of your ideas throughout the course.

評価方法　Attendance, Participation, Engagement and Homework: 20%
Presentation: 40%
Research Paper: 40%

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50798	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	矢島 宏紀	英語	木 3	102	1 年 文一二(13,15) 文三(13)理二三(10)

講義題目　アメリカ合衆国の草創期から南北戦争期についての政治・社会について英語で読む

授業の目標概要　【概要】
建国期から南北戦争期までのアメリカ史について、毎週 4~10 ページの英文を精読しながら学びます。扱うのは入門書が中心ですが、論文や一次史料も少し読みます。
【目標】
アカデミックな英文を正確に理解するために必要となる解釈力と語彙力を高める。
英文の概要を簡潔かつ正確な日本語で要約し、文書および口頭で説明できるようになる。
英文読解を通じて、アメリカの歴史に関する知識を得ることで、現代アメリカの政治社会の理解を深める。

評価方法　期末試験（50%）　発表（30%）　態度・貢献（20%）
欠席、遅刻、授業時の態度を加減して最終評価を下す。
欠席数が授業回数の 1/3 を超えると単位認定（期末試験受験）不可。列車遅延は大規模な事案のみ考慮する。ただし、個人の過失によらない遅刻・欠席（公欠含む）であっても、単位認定のため追加課題が課される。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50799	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	久世 恭子	英語	木 3	103	1 年 文一二(13,15) 文三(13)理二三(10)

講義題目　Language Myths

授業の目標概要
　言語に関する「神話」について言語学者が一般向けに解説するテクストを教材とし、読解力向上を目指すだけでなく、言語神話形成の背景にある社会問題や文化への関心も養う。また、内容に関連のある戯曲 Pygmalion の読み合わせや映画 Pygmalion/My Fair Lady の視聴を取り入れることにより、文学的な作品にも触れる。

評価方法　授業参加・発表 20%、 小テスト 20%、 課題 10%、 筆記試験 50%

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　Language Myths
著者（訳者）　Laurie Bauer and Peter Trudgill (eds.)
出版社　Penguin
ISBN　978-0-14-026023-6

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50800	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	ナルト デリック	英語	木 3	151	1 年 文一二(13,15) 文三(13)理二三(10)

講義題目　Creative Thinking

授業の目標概要
　Albert Einstein once said that “creative imagination” is central to scientific progress. Apple Co-Founder Steve Jobs, like many business leaders nowadays, likewise stressed that creativity differentiates average individuals and companies from exceptional ones. As important as creativity is said to be in today’s competitive global economy, what the creative process requires or involves is usually left unexplained. This course, therefore, aims to familiarize participants with what creative thinking entails, why it is important, where it comes from, and how individuals can improve their critical faculties to enable them to thrive in our era of rapid technological, social, political and economic change.
　By the end of the course students, besides improving their English speaking, listening, and writing skills, will learn:
-- how some of the greatest innovators in human history have applied creative thinking to achieve breakthroughs in the realms of science, business, and the arts
-- how they can overcome thinking blocks, formulate effective questions, create the right environment for creative thinking, and turn their creative thoughts into action

評価方法
Writing assignments: 30% (10% + 20%)
Presentations: (2 x 20) 40%
Participation: 30%

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50801	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	アンダル ジャクリーン	英語	木 3	149	1 年 文一二(13,15) 文三(13)理二三(10)

講義題目　Reading Drama Texts

授業の目標概要
　This course will use a contemporary British drama text to improve reading comprehension. It will focus on understanding authentic contemporary speech and will help students to learn to draw inferences and make appropriate connections when reading. The course will also help students to speak more effectively in English by practicing authentic speech and dialogue and assimilating a range of features linked to oral fluency. Students will be expected to read excepts from the text on a weekly basis as preparation for in-class work. The reading material for this course will be distributed in class.

評価方法　Assessment for this course includes class preparation and participation, individual presentation and written commentary.

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

クラス指定セメスター型　金１

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50905	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	清水 徹郎	英語	金 1	K303	1 年 文三(6,8) 理二三(6,18)

講義題目　Reading and Listening to The New York Times

授業の目標概要　インターネット版 The New York Times から記事とビデオを選び、リスニングとリーディングの演習を行う。リスニングでは生の英語に慣れ、大意を把握できるようになることを目標 とする。リーディングでは、用語・慣用表現に加えて、レトリックと論理の組み立てについても正確に読みとれるようになることを目指す。質疑・説明・ディスカッション等は、すべて英語で行う。授業の終わりに英語で短いコメントを書いて提出。また復習を兼ねた小テストを定期的に行い、語彙力の増進を図る。

評価方法　平常点(出席、予習状況を含む総合的学習態度)約 25%+小テスト他の合計約 35%+学期末テスト約 40%をめやすとする。欠席・遅刻の多い場合(欠席 3 回超、なお遅刻 3 回で欠席 1 回に換算)は、上記のめやすに関わらず「不可」の評価とする。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　The New York Times (Digital Subscription at the Academic Rate)
著者（訳者）　The New York Times
出版社　The New York Times
その他　毎回予習用に通達する URL から教材記事へのアクセス は可能ですが、関連記事を読むにはデジタル版定期購読が必要なので、Academic Rate で 1 月までの定期購読を強く勧めます。
https://www.nytimes.com/subscriptions/inyt/ed u/lp8LXQ6.html?campaignId=6Y4QR

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50906	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	川崎 修一	英語	金 1	151	1 年 文三(6,8) 理二三(6,18)

講義題目　「学校では扱われない英語の文法や構文」に関する英語文献を読む

授業の目標概要　本授業の目標は、一義的には学術的な英文を完璧に読むための読解力の養成である。また、学校文法で扱われることはないが、実際には頻繁に使用される文法や構文などの言語現象に関する文献を読み、英語についての洞察を深めることを第二の目標とする。

評価方法　小テスト（40%）と学期末試験（60%）

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50907	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	佐藤 洋一	英語	金 1	152	1 年 文三(6,8) 理二三(6,18)

講義題目　Strategic management in business English

授業の目標概要　In this course, you will learn various kinds of English vocabulary and expressions necessary for practical business communication. You will be expected to develop your business English knowledge, including spoken and written communication and critical thinking skills, while learning various kinds of authentic English.

評価方法　Weekly homework (quizzes) 30%
Final exam 30%
Presentation 20%
Active Participation 20%

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　『Strategic Management in Business English』
著者（訳者）　Yoichi Sato, Steven William Smoley & Seisho Ano
出版社　播磨書院
その他　(近刊、税抜 2,000 円)

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50908	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	ポター サイモン	英語	金 1	153	1 年 文三(6,8) 理二三(6,18)

講義題目　Exploring the Human Condition through Dialogs

授業の目標概要　The objectives are to get some practice using the English language by reading dialogs in which the speakers talk about important or interesting issues, writing answers to questions about chapter contents, preparing oral presentations, and performing in front of the class. For an overview of the course, please see the "Schedule" below.

評価方法　Each week students will receive points that reflect their answers to the questions (individual work) and the group presentations, and the grade for the entire course will be based on the summation of these.

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　Dialogs Among Thoughtful Folk
著者（訳者）　Moatfield
出版社　Intelligence Gate Enterprises

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50909	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	LANDAU Samantha	英語	金 1	155	1 年 文三(6,8) 理二三(6,18)

講義題目　Introduction to American Gothic Fiction

授業の目標概要　This course is an overview introduction to American Gothic fiction. In this class, students will learn to read literature in an interdisciplinary way. They will approach American Gothic through the lens of American social issues and in the context of American history. In addition to stories, students may be introduced to history, social criticism, gender theory, cultural theory, and scientific theories that suit the story we are discussing. Students who want to understand psychological, scientific, or historical aspects of literature are encouraged to take this course.

評価方法　Final Report: 40%, Written assignments (Including Mid-term Report): 30%, In-class assignments and participation: 30%

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

クラス指定セメスター型　金３

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50976	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	古田 直肇	英語	金 3	164	1 年 文一二(5,12,16) 文三(18)理二三(22)

講義題目　国際共通語としての英語

授業の目標概要

英語力を高めるために何よりも必要なものは、「大量のインプット」である。日本人学習者の英語力が伸び悩む最大の要因は、インプットの量の圧倒的な不足であることが多い（本当に英語力を伸ばしたいのであれば、まずは 1000 頁以上の英語の文章に触れることが絶対条件であり、出発点となる）。そこで本講義では、毎週、原書を 1 章ずつ、あるいは論文を 1・2 本ずつ読んでいき、一学期で 300 頁程度を読破することを達成目標とし、英語圏の教養人同様の読解力と読書習慣の涵養を目指したい。

大量に読むためには、自分に関係があり、知的に面白い内容であることが望ましい。そこで、本講義では「国際共通語としての英語」というテーマを扱いたい。英語は今や国際語という発言をよく耳にするが、その意味するところを改めて考えていく。特に英語学習および英語教育において、それは一体いかなる意味合いを持つのだろうか。英米の言語として英語を学ぶ・教えることと、国際語として英語を学ぶ・教えることには、どのような差があるのだろうか。たとえば、発音の間違いは、正されるべきなのか、それとも許容されるべきなのか。日本に蔓延するネイティブ幻想（native speaker fallacy）を、どう捉えるべきなのか。こういった問題について、受講生とともに考えを深めていきたい。その中で、言語帝国主義や単一言語主義の弊害、規範主義の功罪、社会階級と言語の関係といったテーマも扱っていく。様々な文化的背景を持った多種多様な人々が混在する世界において、文化の違いを超えて相手の真意を的確に理解し、かつ自分の真意を適切に伝えるためには、どのような英語力が必要なのか。教科書に紹介されている事例の分析を通して、多国間コミュニケーションにおいて要求される効果的なストラテジーを身につけてほしい。

受講生は、事前に指定の文献を読んで、配布される Study Questions に答えておかなければならない。講義に加えて受講生によるディスカッションも行う予定だが、予習なきディスカッションは無意味なので、受講生は、必ず予習をした上で授業に臨まなければならない。受講生自身が自分の手と頭を使って下調べをして講義に臨んでいることを前提にして、教員は授業を行う。

＜授業の到達目標＞
・国際語としての英語について、専門的な知見に基づいて批判的に考え、自らの意見を論理的に発表できる。
・異文化理解のために必要とされるコミュニケーション能力やストラテジーを理解し、応用することができる。
・英語を母語としない人も含めて、様々な文化的背景を持った人々と英語を使用して意志の疎通ができる。
・英語によって書かれた専門書・論文を大量に読みこなしていくことを通して、英語を読むことに対する心理的抵抗を低減し、英語を使って日常的に情報の摂取をすることができる。

評価方法
Attendance and participation: 30%
Mid-term exam: 30%
Final exam: 40%

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　Teaching English as an International Language
著者（訳者）　Sandra Lee McKay
出版社　Oxford University Press
ISBN　9780194373647

ガイダンス
特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50977	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	勅使河原 三保子	英語	金 3	155	1 年 文一二(5,12,16) 文三(18)理二三(22)

講義題目　英語で提供された情報の理解と分析

授業の目標概要

話題性のある事柄や現代社会の諸問題をテーマとしたオンライン記事を読んだり動画を視聴したりすることにより、英語で提供された情報の理解と分析の訓練を行います。同じテーマでも異なる見解に立って書かれた記事を比較したり、主張の根拠となる資料に当たってみたりします。また、様々な訛りのある英語にも触れる機会を持ち、ある程度聞き取れるようになるよう、英語圏以外の訛りのある英語を話す話者の動画も扱います。

評価方法
テーマごとに行うテスト（計 50%：初めのテーマのテストを中間、残りの二つのテーマのテストをまとめて期末に行う）、グループワーク（30%）、課題（20%）

教科書
教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス
特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50978	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	ミルズ アンソニー	英語	金 3	10-308	1 年 文一二(5,12,16) 文三(18)理二三(22)

講義題目　Improving English Language Presentation Skills

授業の目標概要　For many of us it is sometimes necessary, both at university and in the world outside, to make oral presentations in front of an audience. We also often need to know how to respond appropriately and constructively to presentations by others and take part in discussions. A lot of people find these activities stressful, especially if the language that is used is not their own first language. This course aims to give the participants practice in making and responding to oral presentations in English. Each student will make three English-language presentations during the course and all students are expected to participate actively in class discussions.

評価方法　Grades will be calculated according to this system.
Attendance is required and you will lose 1% each time you are absent or late to class.
Presentations max: 60% (10% for the 1st, 20% for the 2nd, 30% for the 3rd)
Active participation max: 20%
Written work max. 20% (1 essay of about 500 words, based on the final presentation)
TOTAL　100%
There will be no final examination.

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50979	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	清水 徹郎	英語	金 3	K402	1 年 文一二(5,12,16) 文三(18)理二三(22)

講義題目　Reading and Listening to The New York Times

授業の目標概要　インターネット版 The New York Times から記事とビデオを選び、リスニングとリーディングの演習を行う。リスニングでは生の英語に慣れ、大意を把握できるようになることを目標とする。リーディングでは、用語・慣用表現に加えて、レトリックと論理の組み立てについても正確に読みとれるようになることを目指す。質疑・説明・ディスカッション等は、すべて英語で行う。授業の終わりに英語で短いコメントを書いて提出。また復習を兼ねた小テストを定期的に行い、語彙力の増進を図る。

評価方法　平常点(出席、予習状況を含む総合的学習態度)約 25%+小テスト他の合計約 35%+学期末 テスト約 40%をめやすとする。欠席・遅刻の多い場合(欠席 3 回超、なお遅刻 3 回で欠席 1 回に換算)は、上記のめやすに関わらず「不可」の評価とする。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　The New York Times (Digital Subscription at the Academic Rate)
著者（訳者）　The New York Times
出版社　The New York Times
その他　毎回予習用に通達する URL から教材記事へのアクセス は可能ですが、関連記事を読むにはデジタル版定期購読が必要なので、Academic Rate で 1 月までの定期購読を強く勧めます。
https://www.nytimes.com/subscriptions/inyt/ed u/lp8LXQ6.html?campaignId=6Y4QR

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50980	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	大橋 理枝	英語	金 3	156	1 年 文一二(5,12,16) 文三(18)理二三(22)

講義題目　Rhetorical Criticism

授業の目標概要　コミュニケーション学の分野で扱われる「レトリック批評」の理論を学ぶと共に、それを応用して実際に作品を分析してみる。

評価方法　二度のグループ発表及び授業中に行う小テストの結果で総合的に判断する。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50981	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	ポター サイモン	英語	金 3	153	1 年 文一二(5,12,16) 文三(18)理二三(22)

講義題目　Exploring the Human Condition through Dialogs

授業の目標概要　The objectives are to get some practice using the English language by reading dialogs in which the speakers talk about important or interesting issues, writing answers to questions about chapter contents, preparing oral presentations, and performing in front of the class. For an overview of the course, please see the "Schedule" on UTAS Syllabus..

評価方法　Each week students will receive points that reflect their answers to the questions (individual work) and the group presentations, and the grade for the entire course will be based on the summation of these.

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　Dialogs Among Thoughtful Folk
著者(訳者)　Moatfield
出版社　Intelligence Gate Enterprises

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

クラス指定セメスター型　金４

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51039	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	勅使河原 三保子	英語	金 4	155	1 年 文一二(24)文三(4) 理一(5,7)理二三(19)

講義題目　英語で提供された情報の理解と分析

授業の目標概要　話題性のある事柄や現代社会の諸問題をテーマとしたオンライン記事を読んだり動画を視聴したりすることにより、英語で提供された情報の理解と分析の訓練を行います。同じテーマでも異なる見解に立って書かれた記事を比較したり、主張の根拠となる資料に当たってみたりします。また、様々な訛りのある英語にも触れる機会を持ち、ある程度聞き取れるようになるよう、英語圏以外の訛りのある英語を話す話者の動画も扱います。

評価方法　テーマごとに行うテスト（計 50%：初めのテーマのテストを中間、残りの二つのテーマのテストをまとめて期末に行う)、グループワーク（30%)、課題（20%）

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51040	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	ポター サイモン	英語	金 4	153	1 年 文一二(24)文三(4) 理一(5,7)理二三(19)

講義題目　Exploring the Human Condition through Dialogs

授業の目標概要　The objectives are to get some practice using the English language by reading dialogs in which the speakers talk about important or interesting issues, writing answers to questions about chapter contents, preparing oral presentations, and performing in front of the class. For an overview of the course, please see the "Schedule" on UTAS Syllabus.

評価方法　Each week students will receive points that reflect their answers to the questions (individual work) and the group presentations, and the grade for the entire course will be based on the summation of these.

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　Dialogs Among Thoughtful Folk
著者(訳者)　Moatfield
出版社　Intelligence Gate Enterprises

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51041	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	ミルズ アンソニー	英語	金 4	10-308	1 年 文一二(24)文三(4) 理一(5,7)理二三(19)

講義題目　Improving English Language Presentation Skills

授業の目標概要

For many of us it is sometimes necessary, both at university and in the world outside, to make oral presentations in front of an audience. We also often need to know how to respond appropriately and constructively to presentations by others and take part in discussions. A lot of people find these activities stressful, especially if the language that is used is not their own first language. This course aims to give the participants practice in making and responding to oral presentations in English. Each student will make three English-language presentations during the course and all students are expected to participate actively in class discussions.

評価方法

Grades will be calculated according to this system.
Attendance is required and you will lose 1% each time you are absent or late to class.
Presentations max: 60% (10% for the 1st, 20% for the 2nd, 30% for the 3rd)
Active participation max: 20%
Written work max. 20% (1 essay of about 500 words, based on the final presentation)
TOTAL　100%
There will be no final examination.

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51042	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	ナルト デリック	英語	金 4	151	1 年 文一二(24)文三(4) 理一(5,7)理二三(19)

講義題目　Creative Thinking

授業の目標概要

Albert Einstein once said that “creative imagination” is central to scientific progress. Apple Co-Founder Steve Jobs, like many business leaders nowadays, likewise stressed that creativity differentiates average individuals and companies from exceptional ones. As important as creativity is said to be in today’s competitive global economy, what the creative process requires or involves is usually left unexplained. This course, therefore, aims to familiarize participants with what creative thinking entails, why it is important, where it comes from, and how individuals can improve their critical faculties to enable them to thrive in our era of rapid technological, social, political and economic change.

By the end of the course students, besides improving their English speaking, listening, and writing skills, will learn:
-- how some of the greatest innovators in human history have applied creative thinking to achieve breakthroughs in the realms of science, business, and the arts
-- how they can overcome thinking blocks, formulate effective questions, create the right environment for creative thinking, and turn their creative thoughts into action

評価方法

Writing assignments: 30% (10% + 20%)
Presentations: (2 x 20) 40%
Participation: 30%

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51043	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	佐竹 晶子	英語	金 4	149	1 年 文一二(24)文三(4) 理一(5,7)理二三(19)

講義題目　Reading and Discussion in English

授業の目標概要

National Geographic の記事を編纂した教科書を使って、専門的な英語の文章を読むための基礎力を養い、語彙を増やし、そこで得た知識や各自が調べた情報をもとに英語でディスカッションができるようにする。

評価方法　毎週の課題と小テスト、授業の参加度６５％、レポート３５％

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名　Reading Explorer level 5 (text only)
著者（訳者）　Nancy Douglas, David Bohlke, Helen Huntley, Bruce Rogers, Paul MacIntyre
出版社　National Geographic/Cengage Learning
ISBN　978-1-285-847000-9

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51044	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	大橋 理枝	英語	金 4	156	1 年 文一二(24)文三(4) 理一(5,7)理二三(19)

講義題目　Rhetorical Criticism

授業の目標概要　コミュニケーション学の分野で扱われる「レトリック批評」の理論を学ぶと共に、それを応用して実際に作品を分析してみる。

評価方法　二度のグループ発表及び授業中に行う小テストの結果で総合的に判断する。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

全クラス型

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50189	A	英語中級	小川 浩之	英語	月 5	149	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　World politics 100 years after the Paris Peace Conference II

授業の目標概要　イギリスの王立国際問題研究所（チャタム・ハウス）が発行している学術雑誌 International Affairs の、第一次世界大戦後のパリ講和会議 100 周年特集号から選んだ論文を読む。英語の論文の読解を通して、過去 100 年間の国際関係史について学ぶ。1 週間で扱う英文は 5〜7 ページ程度である。

評価方法　授業での発表、質疑応答と議論への貢献、毎週提出する要旨から総合的に評価する。

教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50190	A	英語中級	石原 剛	英語	月 5	152	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　多種多様な英語ディスカッションやリスニング練習を通して、英語の表現力と理解力を養成する

授業の目標概要　教育、環境、家族、健康、宇宙開発など多岐にわたるテーマを用いて、自分の考えを英文でパラグラフにまとめたり、様々な英語 Discussion や英語 Listening 練習を行い、必要な情報や重要な意見を的確に英語で表現し、かつ理解する能力を養う。その為に、ディスカッションの場で良く使用される英語表現や重要語彙だけでなく、確認、批判、同意などの技法を学ぶことで、効果的に英語でコミュニケーションを進める経験をしてもらう。特に、アイディアを効果的に整理し、主張を明確にまとめ、的確な英語表現で発信できるような練習や、様々なジャンルやテーマのリスニング教材を利用して、必要な情報を効率よく把握する練習を行う。具体的には、予測の仕方や、図などを利用した情報整理の方法、話者の声のトーンなどに注目することで真意を推し量る技術などを学ぶ。

評価方法　期末試験:50%
授業内活動（出席状況、授業への貢献、提出物、小テスト）など：50%

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　Mosaic 1: Listening/Speaking
著者(訳者)　Jami Hanreddy & Elizabeth Whalley
出版社　McGraw Hill
ISBN　9781259070389

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50264	A	英語中級	矢田部 修一	英語	火 2	151	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　映画『Shane』を見る

授業の目標概要　映画『Shane』のシナリオを読み、映画自体を見ることを通じて、話し言葉の英語を理解する力を養成することを目指します。

評価方法　３回の小テストと期末テストの出来具合に基づいて評価します。どのテストも読み取り問題と聞き取り問題の両方を含みます。聞き取り問題は、『Shane』の音声を聞いてそのまま書き取る、という形式の問題しか出しません。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50265	A	英語中級	高橋 英海	英語	火 2	150	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　英語で世界を見聞きする

授業の目標概要　英語はいまや英米豪などの英語圏のみの言語ではなく、事実上の世界の共通語であり、世界への扉である。本授業では、世界の中の英米豪以外の地域、特にアジアや中東・アフリカ地域から発信されるニュースなどの視聴覚教材を見聞きしながら、世界への視野を広めるとともに英語の理解力を高める。

評価方法　授業への参加度およびテストによる。

教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50266	A	英語中級	寺澤 盾	英語	火 2	152	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　プレゼンテーションの基礎

授業の目標概要　本授業では、英語によって明晰かつ説得力のあるプレゼンテーションを行うことを目標にする。そのために、まず、モデルとなるプレゼンテーションのヴィデオを視聴し、その後、発表原稿の作成の仕方を学んでいく。併せて、発表に関する質疑応答のスキル、発表をより効果的に行うためのハンドアウトや視覚的資料の用い方についても学んでいく。

評価方法　授業への参加度、提出課題、プレゼンテーションなどを総合して評価する。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50460	A	英語中級	Williams David	英語	火 5	155	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　Intermediate Reading, Thinking & Discussion

授業の目標概要

The purpose of this class is to build students' English language reading and thinking skills beyond simple description to a more critical and analytical point. Taking a contemporary, thematic approach students will critically examine and consider authentic and semi-authentic texts in groups where texts will be revisited after in depth pre-class reading. The themes explored in class will be exclusively on contemporary British culture.

At the end of this course it is expected that students will be able to critically consider and assess a wide range of contemporary topics of domestic and international significance. Students will find that the skills acquired in this class will assist in expressing themselves in other areas of their academic studies, and later in their professional lives.

評価方法

Assessment for this class will be based on evidence of completed homework reading (40%), active class participation, two forum-based presentations (30%), and a final assessment (30%). In order to gain a top grade for this course students are expected to make an original and unique contribution to each class.

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50664	A	英語中級	小林 宜子	英語	水 4	153	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　英語で書かれたエッセイを味わう

授業の目標概要

著者の身近な事柄や現代社会が抱える種々の問題をめぐり、鋭い観察と深い思索に基づいて書かれたエッセイ（随筆）の読解を通じて、英語の理解力や表現力を養うことをめざします。英米の雑誌や個人のエッセイ集に掲載された最近のエッセイの中から、多様なテーマを扱った良質の文章を 6〜7 篇選び、それらを教材として用います。英文を細部まで正確に読み取る力を養うとともに、エッセイに扱われたテーマについて英語で考え、それを表現する力を磨きます。

評価方法　小テストの成績、課題への取り組み、授業への参加度、および期末試験の成績を総合して評価します。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50676	A	英語中級	武田 将明	英語	水 5	102	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　Critical Reading of Literary Texts

授業の目標概要

現代の英語圏文学を批評的に読む。批評的に読むためには、作品の書かれた背景を知ることも必要だが、何よりも一定の長さの英文をじっくりと読み、前後の文脈やレトリックにも注意しながら、文学作品特有の意味の広がりを理解し、感じ取ることが重要である。

上記の目標を意識しながら、4 篇の特徴の異なる作品を読むことで、英文読解のセンスを磨くことができるだろう。また、各自が批評的な読みを言語化するために、4 本の英文エッセイを提出してもらい、その内容に基づいた英語のディスカッションも行いたい。事前に作品について深く考えることで、話すこと自体が得意でない人も議論に参加できるようになるはずである。

最終的には、英語を用いて批評的な言葉を話し、書くことへの動機づけができれば、今後の専門的な学習にも役立つことだろう。

評価方法　授業への貢献（出席だけではなく、講師の質問への解答や、学生からの良質な質問を元に貢献度を判定する、ディスカッションでの貢献もここに含まれる）30%、4 本の英文エッセイ（200〜300 語程度）40%、期末試験 30%

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50931	A	英語中級	LANDAU Samantha	英語	金 2	155	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　Maritime Economy and the Weird Tale

授業の目標概要
This class will focus on reading a variety of short "weird tales" that concern the maritime economy between the mid-1800s to early WWII, touching on monsters, shipwrecks, and weird sea places. Students will consider how these stories criticize nautical transport, slavery and the slave economy, colonialism, and human greed. This course is designed to engage students in interdisciplinary approaches to reading a text. This course also aims to teach students to deeply consider historical contexts when reading literature. Students who want to understand psychological, economic, or scientific aspects of literature are encouraged to take this course.

評価方法　Final Report: 40%, Written assignments (Including Mid-term Report): 30%, In-class assignments and participation: 30%

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　From the Depths and Other Strange Tales of the Sea
著者(訳者)　Mike Ashley
出版社　British Library (Tales of the Weird)
ISBN　978-0-7123-5236-9

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50932	A	英語中級	西川 杉子	英語	金 2	104	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　History Today を読む

授業の目標概要
イギリスで出版されている歴史の教養雑誌 History Today に収録された小論文を読み、イギリスの文化・歴史を学ぶ。History Today については図書館に入っているので、参考にするとよい。

評価方法　毎回の小テストおよび授業への参加度。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51079	A	英語中級	ナルト デリック	英語	金 5	151	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　"Success": From Aristotle to Zuckerberg

授業の目標概要
In this course, we will study "success" principles as understood by Western thinkers and innovators ranging from philosophers in Classical Greece to contemporary business professionals. The purpose of the course, besides being to expose students to life questions that date back to ancient times and the ideas of the most influential thought leaders of our own era, is to help participants formulate their own definition of "success," set concrete and achievable goals, improve their levels of self-confidence and self-awareness, and become more effective in their personal, academic, and work lives.

評価方法
Writing assignment: 40%
Presentations: (2 x 15) 30%
Participation: 30%

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50191	A	英語上級	トム・ガリー	英語	月 5	153	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　Travelers' Tales about Japan

授業の目標概要

After Japan's opening to the world in the mid-19th century, many foreign visitors and residents published accounts of their experiences in the country. In this class, we will read excerpts from books about Japan that were published in Britain and the United States between about 1855 and 1914, and we will discuss what those writings reveal not only about Japan and foreigners' perceptions of Japan but also about how people in general try to understand and describe unfamiliar countries and cultures. The reading passages will be taken from books available for free through the Internet Archive. Some of the passages will be chosen by the students based on their interests.

評価方法　Students will be graded based on attendance, preparation, class participation, and a final examination, which will cover the vocabulary and content of the passages read in class.

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50706	A	英語上級	ダルグリーシュ ブレガム	英語	木 1	150	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　Ideas and Thinkers

授業の目標概要

Thought is the means by which we elaborate who we are, assert our membership of a culture, authorise institutions within society, and make claims upon each other. Indeed, without any philosophical reflection upon society and politics, life today would have neither rationale nor articulated meaning. It is thus precisely at the cross-roads between our daily practices and taken for granted ideas that this course is situated in terms of an examination and critical analysis of a range of texts at the core of the intellectual inheritance of the West.

Objectives:

1. reading, analysing and synthesising academic texts;
2. presenting, elaborating and defending arguments orally;
3. taking part in seminars and academic discussions;
4. structuring and organising ideas in a coherent and logical written form.

評価方法　Student presentation (individually or in groups, depending on student enrolment) = 30%;
Seminar participation = 30%;
End of semester written short response paper = 40%.

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

総合科目 L　ドイツ語

ドイツ語初級（演習）②	開講区分	A

授業の目標・概要	In dem Kurs werden überwiegend Grammatik- und Gespraechs-, durchgeführt, die sich an den Themen des Lehrbuchs orientieren, das auch in der ersten Reihe verwendet wird. 一列の授業で学習する教科書のテーマに沿った文法と会話の練習をおこなう。
成績評価方法	出席、および授業中の積極的な参加を平常点として成績評価に入れる。期末に筆記および口頭によるテストを行う（平常点 30%、筆記試験 35%、口頭試験 35%）。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名　　ドイツ語共通教科書『Einblicke』 著者（訳者）　東京大学教養学部ドイツ語部会編
関連ホームページ	http://deutsch.c.u-tokyo.ac.jp/

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50609	月 4	クリスティアン クリンク	K113	1 年 文三(16)
50286	火 2	Ｉ・カウフマン	10-102	1 年 文科(TLP)
50287	火 2	稲葉 治朗	10-204	1 年 文科(TLP)
50142	火 3	クリスティアン クリンク	K114	1 年 文一二(20)
50638	火 3	オプヒュルス 鹿島	162	1 年 文一二(22)
50803	水 3	SCHWARZ Thomas	112	1 年 文一二(21)
50688	水 5	クリスティアン クリンク	K113	1 年 文科(TLP)
50689	水 5	Ｉ・カウフマン	10-102	1 年 文科(TLP)
50046	木 2	SCHWARZ Thomas	105	1 年 文三(15)
50950	金 2	クリスティアン クリンク	K114	1 年 文科(TLP)
50951	金 2	斉藤 渉	106	1 年 文科(TLP)

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50267	A	ドイツ語初級（演習）	SCHWARZ Thomas	ドイツ語	火 2	518	1 年 理科

講義題目　Konversation auf Deutsch
ドイツ語の会話

授業の目標概要　発音練習・聴き取り・読解や表現の練習などを行い、一列。特に会話の練習に重点を置く。
Dieser Sprachkurs bietet Übungen zur Konversation, zum Hör- und Leseverständnis.
Im Zentrum steht die Arbeit mit dem Lernroman „Der Auftrag“ von Hans Magnus Enzensberger. Die Studierenden trainieren ihr Hörverständnis und ihre kommunikative Kompetenz. Sie lernen, wie man eine Geschichte erzählt, die Handlung eines Buches wiedergibt und die eigenen Reaktionen auf das Gelesene beschreibt.

評価方法　2 Tests / Hausaufgabenkontrollen

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts
書名　Der Auftrag. Deutsch auffrischen und festigen
著者（訳者）　Hans Magnus Enzensberger / Volker Eismann
出版社　Langenscheidt
ISBN　978-3-468-498107

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50284	A	ドイツ語初級（演習）	稲葉 治朗	ドイツ語	火 2	10-204	1 年 理科

講義題目　ドイツ語演習（TLP クラス指定科目）

授業の目標概要　In dem Kurs wird zum einen das in der 1. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt und zum anderen werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs richtet sich an Anfänger ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A2+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen.
Die Teilnehmer üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen.
この授業では、必修の一列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 のレヴェルを修了することを目指す。
ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。

評価方法　Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt.
授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　Menschen A2: Deutsch als Fremdsprache / Kursbuch
著者(訳者)　Habersack, Charlotte et al.
出版社　Hueber
ISBN　978-3192119026

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50285	A	ドイツ語初級（演習）	I・カウフマン	ドイツ語	火 2	10-102	1 年 理科

講義題目　ドイツ語演習（TLP クラス指定科目）

授業の目標概要

In dem Kurs wird zum einen das in der 1. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt und zum anderen werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs richtet sich an Anfänger ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A2+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen.

Die Teilnehmer üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen.

この授業では、必修の一列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 のレヴェルを修了することを目指す。

ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。

評価方法

Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt.

授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。

教科書

次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名　Menschen A2: Deutsch als Fremdsprache / Kursbuch
著者（訳者）　Habersack, Charlotte et al.
出版社　Hueber
ISBN　978-3192119026

ガイダンス

特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50686	A	ドイツ語初級（演習）	クリスティアン クリンク	ドイツ語	水 5	K113	1 年 理科

講義題目　ドイツ語演習（TLP クラス指定科目）

授業の目標概要

In dem Kurs werden die im 1. Semester erworbenen Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben weiter ausgebaut. Der Kurs richtet sich an Lerner auf dem Niveau A1 und soll zum Niveau A2 des Gemeinsamen europäischen Referenzrahmens führen. Die Teilnehmer lernen, Alltagsgespräche zu führen, verschiedene anwendungsbezogene Textsorten zu verstehen und Texte zum Informationsaustausch zu verfassen. Die grammatischen Schwerpunkte sind Nebensätze, Deklination der Adjektive und Verbrektion.

この授業では、Ｓセメスターで習得した、聴く・読む・話す・書く能力をさらに発展させます。授業は、ヨーロッパ参照枠でＡ１レヴェルのドイツ語力をもつ受講生が対象で、Ａ２レヴェルに高めることが目標です。受講者は、日常会話、テクスト読解、情報交換のための文章を作成することを学習します。文法事項としては、副文、形容詞の格変化、動詞の格支配に重点を置きます。

評価方法

Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt.

授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。

教科書

次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名　Menschen A2: Deutsch als Fremdsprache / Kursbuch
著者（訳者）　Habersack, Charlotte et al.
出版社　Hueber, Verlag GmbH & Co. KG
ISBN　978-3-19-211902-6

ガイダンス

特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50687	A	ドイツ語初級（演習）	Ｉ・カウフマン	ドイツ語	水 5	10-102	1 年 理科

講義題目　ドイツ語演習（TLP クラス指定科目）

授業の目標概要

In dem Kurs wird zum einen das in der 1. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt und zum anderen werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs richtet sich an Anfänger ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A2+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen.

Die Teilnehmer üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen.

この授業では、必修の一列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 のレヴェルを修了することを目指す。

ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。

評価方法

Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt.

授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。

教科書

次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名　Menschen A2: Deutsch als Fremdsprache / Kursbuch
著者(訳者)　Habersack, Charlotte et al.
出版社　Hueber
ISBN　978-3192119026

ガイダンス

特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50948	A	ドイツ語初級（演習）	斉藤 渉	ドイツ語	金 2	106	1 年 理科

講義題目　ドイツ語演習（TLP クラス指定科目）

授業の目標概要

In dem Kurs wird zum einen das in der 1. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt und zum anderen werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs richtet sich an Anfänger ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A2+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen.

Die Teilnehmer üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen.

この授業では、必修の一列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 のレヴェルを修了することを目指す。

ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。

評価方法

Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt.

授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。

教科書

次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名　Menschen A2: Deutsch als Fremdsprache / Kursbuch
著者(訳者)　Habersack, Charlotte et al.
出版社　Hueber
ISBN　978-3192119026

ガイダンス

特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50949	A	ドイツ語初級（演習）	クリスティアン クリンク	ドイツ語	金 2	K114	1 年 理科

講義題目　ドイツ語演習（TLP クラス指定科目）

授業の目標概要

In dem Kurs werden die im 1. Semester erworbenen Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben weiter ausgebaut. Der Kurs richtet sich an Lerner auf dem Niveau A1 und soll zum Niveau A2 des Gemeinsamen europäischen Referenzrahmens führen. Die Teilnehmer lernen, Alltagsgespräche zu führen, verschiedene anwendungsbezogene Textsorten zu verstehen und Texte zum Informationsaustausch zu verfassen. Die grammatischen Schwerpunkte sind Nebensätze, Deklination der Adjektive und Verbrektion.

この授業では、Ｓセメスターで習得した、聴く・読む・話す・書く能力をさらに発展させます。授業は、ヨーロッパ参照枠でＡ１レヴェルのドイツ語力をもつ受講生が対象で、Ａ２レヴェルに高めることが目標です。受講者は、日常会話、テクスト読解、情報交換のための文章を作成することを学習します。文法事項としては、副文、形容詞の格変化、動詞の格支配に重点を置きます。

評価方法

Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt.

授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。

教科書

次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名　Menschen A2: Deutsch als Fremdsprache / Kursbuch
著者(訳者)　Habersack, Charlotte et al.
出版社　Hueber, Verlag GmbH & Co. KG
ISBN　978-3-19-211902-6

ガイダンス

特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51080	A	ドイツ語初級（会話）	Ｉ・カウフマン	ドイツ語	金 5	10-102	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　ドイツ語初級（会話）

授業の目標概要

In diesem Kurs liegt der Schwerpunkt auf dem Hörverständnis und dem mündlichen Ausdruck im Alltag. Die Teilnehmer sollen lernen, sich in Alltagssituationen auf Deutsch auszudrücken und sich über Themen des Alltags zu unterhalten. Bereitschaft zur aktiven Teilnahme am Unterricht ist Grundvoraussetzung.

この授業では聴き取りと日常会話を練習します。日常のさまざまな場面でのドイツ語表現や、日常的なテーマについてドイツ語の表現することを学びます。授業への積極的な参加を求めます。

評価方法

平常点および試験によって行う。

教科書

次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名　DaF leicht A1.2
著者(訳者)　Sabine Jentges et al.
出版社　Klett
ISBN　978-3-12-676251-9

ガイダンス

特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50933	A	ドイツ語初級（作文）	工藤 達也	ドイツ語	金 2	149	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目

授業の目標概要　ドイツ語を S セメスターから始めた学生を対象に基礎となる文法事項を確認、復習しながら独作文の能力を高める。A セメスターから習う文法事項も扱うことになるが、履修しているクラスの進度も考慮する。
以上のことから、必ず前期課程の統一教科書である Einblicke を持参すること。

評価方法　出席、平常点（発表などの授業貢献度）、小テスト、 期末試験。以上を総合して評価。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　基礎ドイツ語作文
著者(訳者)　福田 幸夫
出版社　白水社
ISBN　9784560012628

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50268	A	ドイツ語初級 （表現練習）	オプヒュルス 鹿島	ドイツ語	火 2	104	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　口頭表現の練習（続）

授業の目標概要　初めてドイツ語を学ぶ学生をめざし、DVD 付きの教科書を使って日常生活における基礎的なドイツ語表現（聞き取り、コミュニケーション能力、単語習得）の運用能力を養う（S1 から継続）。
Der Zweck dieses Kurses ist es, mit Hilfe von DVDs und entsprechenden Übungen dazu, die kommunikativen Fähigkeiten (Hörverständnis, Sprech- und Kommunikationsfähigkeit, Entwicklung des Vokabulars) der Teilnehmer zu entwickeln.

評価方法　平常点（出席、宿題）および試験によって行う。
Regelmäßige Anfertigung der Hausaufgaben und Tests. Aktive Teilnahme wird vorausgesetzt.

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　ドイツ語の時間－－恋するベルイン（DVDMeine Deutschstunde – Auf geht‘s nach Berlin）
著者(訳者)　清野智昭
出版社　朝日出版社
ISBN　978-4-255-25303-9

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50192	A	ドイツ語初級（インテンシヴ）	SCHWARZ Thomas	ドイツ語	月 5	515	1 年 文科 理科

講義題目　ドイツ語初級（インテンシヴ）
Einführung in die deutsche Sprache und Kultur

授業の目標概要　このコースはドイツ語の予備知識を前提しないが、基礎科目などで学習するドイツ語の文法知識を確認しながら、基礎的なドイツ語を実践的に練習して、読む・聴く・話す・書く総合的な能力の定着を図る。ドイツ文化についても折に触れて紹介する。

Im Zentrum dieses Kurses steht die Kommunikation im Alltag auf Deutsch. Die Studierenden trainieren ihr Hör- und Leseverständnis und die Schreibfertigkeiten. Der Kurs vermittelt elementare Grammatikkenntnisse und thematisiert verschiedene Aspekte der deutschen Kultur.

This course introduces students to everyday communication in German. They will develop their listening and reading comprehension, as well as their writing skills. The course provides not only training in German grammar but also gives an insight into German culture.

評価方法
- 宿題, テスト
- Hausaufgaben (20 %), Tests (80 %)
- Homework (20%), tests (80 %)

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　studio express. Kompaktkurs Deutsch A1
著者（訳者）　Funk, Hermann / Kuhn, Christina
出版社　Cornelsen
ISBN　978-3-06-549971-2

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50677	A	ドイツ語初級（インテンシヴ）	SCHWARZ Thomas	ドイツ語	水 5	516	1 年 文科 理科

講義題目　ドイツ語初級（インテンシヴ）
Einführung in die deutsche Sprache und Kultur

授業の目標概要　このコースはドイツ語の予備知識を前提しないが、基礎科目などで学習するドイツ語の文法知識を確認しながら、基礎的なドイツ語を実践的に練習して、読む・聴く・話す・書く総合的な能力の定着を図る。ドイツ文化についても折に触れて紹介する。

Im Zentrum dieses Kurses steht die Kommunikation im Alltag auf Deutsch. Die Studierenden trainieren ihr Hör- und Leseverständnis und die Schreibfertigkeiten. Der Kurs vermittelt elementare Grammatikkenntnisse und thematisiert verschiedene Aspekte der deutschen Kultur.

This course introduces students to everyday communication in German. They will develop their listening and reading comprehension, as well as their writing skills. The course provides not only training in German grammar but also gives an insight into German culture.

評価方法
- 宿題, テスト
- Hausaufgaben (20 %), Tests (80 %)
- Homework (20%), tests (80 %)

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　studio express. Kompaktkurs Deutsch A1
著者（訳者）　Funk, Hermann / Kuhn, Christina
出版社　Cornelsen
ISBN　978-3-06-549971-2

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50193	A	ドイツ語初級 (第三外国語)	クリスティアン クリンク	ドイツ語	月 5	K113	1 年 文二 文三 理科 2 年 文科 理科

講義題目
Deutsche Grammatik / German Grammar (Anfänger / Beginner)
Fortsetzungskurs / Continuation Course

授業の目標概要
Dieser Kurs ist für Studierende mit Vorkenntnissen der deutschen Sprache konzipiert (Stufe A1.1 des Europäischen Referenzrahmens). Im Mittelpunkt steht die Festigung der bereits erlernten Grammatik sowie die Vermittlung von weiteren grundlegenden grammatischen Strukturen. Durch diverse Übungen sollen die vier sprachlichen Fähigkeiten (Hören, Lesen, Schreiben, Sprechen) erlernt bzw. gefestigt werden. Der Kurs baut auf dem im Sommersemester (April – Juli) Gelernten auf, d.h. dass dieser im Wintersemester (September – Januar) angebotene Kurs ein Fortsetzungskurs auf Niveau A1.1 ist. Studenten, die nicht am Einführungskurs im Sommersemester teilgenommen haben, können ebenfalls an diesem Kurs teilnehmen, insofern ihre Kenntnisse in etwa auf dem oben angegebenen Niveau sind.

This course is designated for students with previous knowledge of German (roughly equal to Level A1.1 of the European Reference Framework). The course focuses on consolidating the students' German knowledge. Moreover, further essential German grammatical structures are taught. Through various exercises (listening, reading, writing, speaking), students train what they have previously learned as well as practice newly learned grammar. This course (September – January) continues where the one in the summer semester (April – July) left off. This means this course is meant to be a continuation course (level A1.1). Students who did not participate in the course offered in summer semester can still take this class, if their knowledge of German is roughly equal to the level mentioned above.

評価方法
Die Bewertung erfolgt aufgrund der Qualität der Beiträge im Seminar, den Hausaufgaben und Tests.
Relevant for the evaluation are the quality of the contribution in class, homework as well as tests.

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　Schritte international Neu 2: Kurs- und Arbeitsbuch
著者(訳者)　Daniela Niebisch et al.
出版社　Hueber, Verlag GmbH & Co. KG
ISBN　978-3-19-601082-4

ガイダンス
特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50269	A	ドイツ語初級 (第三外国語)	日名 淳裕	ドイツ語	火 2	153	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目
第三外国語としてドイツ語を学ぶ人を対象にした授業です。秋学期は比較的平易なドイツ語の文章を素材として，発音から接続法まで初級文法の定着を図り，中級文法を習得することを目標とします。読解力の養成に比重を置きますが，メールの書き方，簡単な会話，聞き取りを練習する時間もとります。また，ドイツ語を通して，ドイツ語圏の政治，生活，歴史，文化などについても学びます。

授業の目標概要
・ドイツ語の初級文法を復習し，その定着を図る。
・ドイツ語の中級文法を習得する。
・辞書を用いつつ新聞・雑誌記事などが読めるようになる。
・旅行などでドイツ語圏に滞在したおりにドイツ語で挨拶や意思表示ができるようになる。

評価方法
積極的な授業参加，小テスト，定期試験によって評価します。

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　ドイツ百科ミニ読本
著者(訳者)　佐伯 啓
出版社　白水社
ISBN　9784560064238

ガイダンス
特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50874	A	ドイツ語初級（第三外国語）	岡山 具隆	ドイツ語	木 5	103	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　第三外国語

授業の目標概要
　この授業では 1 学期という限られた時間で欧州共通参照枠の A1 レベルに到達することを目標とします。文法の理解も不可欠ですが、「読むこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「話すこと」を総合的に学び、基本的なドイツ語運用能力を身に着けていきます。

評価方法　授業への出席状況、宿題や課題への取り組み、小テスト、期末試験を総合的に評価します。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　ドイツ語アルファ 改訂版
著者（訳者）　生駒美喜、岩井方男、荻野静男、斉藤寿雄、室井禎之
出版社　朝日出版社
ISBN　978-4-255-25399-2

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50270	A	ドイツ語中級（演習）	香田 芳樹	ドイツ語	火 2	154	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　自分で読んでみよう、ドイツの旬の話題 II

授業の目標概要
　この授業では、初年度で獲得した初級文法の知識を、読解を通して実用的に運用できるようにすることを目指します。
　テクストは、ドイツの教育出版社 Spotlight 社が発行しているドイツ語教育雑誌『Deutsch perfekt』（月刊）を使用します。この雑誌には、ドイツや世界に関するさまざまなテーマを扱った、短いコラムからやや長めの論説までのさまざまなテクストが、3 つの難易度レベルに分けて掲載されています。それぞれには、読解のポイントや語彙の解説があり、学習の助けをしてくれます。
　扱うテーマはたとえば、「無賃乗車は犯罪か？」、「スイスのなまはげ」、「移民が国を豊かにする？」、「トランプ一家は元ドイツ人」、「16 歳選挙権への Ja oder Nein」、「若者言葉 Heute」、「１００の愛の言葉」などヴァラエティーに富み、読者を飽きさせません。ドイツ語は初学者用に、選び抜かれた語彙と構文が使われ、教育教材として優れています。
　受講者のレベルに合わせて、Leicht（平易）から Mittel（中級）までのテクストを選んで、初年度度習った基礎を復習しながら授業を進めていきます。
テクストはプリントを配布します。

評価方法　平常点（2/3 以上の出席）と期末の筆記試験

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50678	A	ドイツ語中級（会話）	ククリンスキ ルーベン	ドイツ語	水 5	K114	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　Deutsch-Konversation für Fortgeschrittene (Mittelstufe)

授業の目標概要
　Der Kurs richtet sich an Studierende mit Vorkenntnissen (ein Jahr und mehr). Trainiert werden vor allem das aktive Sprechen und Reagieren im Gespräch; Ziel ist die Erweiterung des Wortschatzes und der Redemittel zur aktiven und spontanen Anwendung. Lehrmaterial und Themen orientieren sich am Niveau und Interesse der Teilnehmenden.
　ドイツ語を 1 年（以上）学んだことがある受講者を想定している。授業の目標はドイツ語圏での日常生活の様々な状況に対応できる表現力を養うことにある。授業はペアーや少人数グループ練習などを通して実際的な口頭練習に重点をおく。教材と具体的な内容は、参加者のレベルと興味によって決定させる。

評価方法　Die Bewertung erfolgt aufgrund der Qualität der Beiträge im Seminar, der Hausaufgaben und Präsentationen. Regelmäßige und aktive Teilnahme werden vorausgesetzt.
成績評価は平常点によって行う。授業中の貢献、宿題、小さな発表の質が判断基準となる。積極的な参加が前提となる。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50875	A	ドイツ語中級（作文）	SCHWARZ Thomas	ドイツ語	木 5	105	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　ドイツ語作文
Schreibübungen

授業の目標概要　様々なテーマについてドイツ語で表現する練習をする。
In diesem Seminar lernen die Studierenden, wie man Texte auf Deutsch zu verschiedenen Themen liest und schreibt. Sie erwerben die Fähigkeit, Texte zu gliedern, Inhalte zusammenzufassen und kritisch zu erörtern.

評価方法　３度の課題提出。
3 benotete Texte

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50194	A	ドイツ語中級 （インテンシヴ）	Ｉ・カウフマン	ドイツ語	月 5	10-102	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　ドイツ語初級（インテンシヴコース）A

授業の目標概要　Der Kurs baut auf den im Sommersemester im Intensivkurs oder anderen Kursen erworbenen Deutschkenntnissen auf und entwickelt vor allem die kommunikativen Sprachfertigkeiten Hören, Sprechen, Schreiben, Lesen weiter. Der Kurs knüpft an das Niveau A1 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens an und soll zum Niveau A2 führen.
この授業は、S セメスターに「初級インテンシブ」を履修した学生（およびそれと同等のドイツ語運用能力を習得した学生）を対象としている。ヨーロッパ言語共通参照枠（Common European Framework of Reference for Languages：CEFR）の A2 レベルに到達することを目標とする。

評価方法　Die Bewertung erfolgt aufgrund der Qualität der Beiträge im Seminar, den Hausaufgaben und regelmäßiger Tests. Regelmäßige und aktive Teilnahme werden vorausgesetzt.
成績評価は積極的な授業参加、提出課題および試験によって行う。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　Studio Express - Der Kompaktkurs Deutsch A2
著者（訳者）　H. Funk & C. Kuhn
出版社　Cornelsen
ISBN　978-3-06-549972-9

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50934	A	ドイツ語中級 （インテンシヴ）	Ｉ・カウフマン	ドイツ語	金 2	10-102	1年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　ドイツ語初級（インテンシヴコース）A

授業の目標概要　Der Kurs baut auf den im Sommersemester im Intensivkurs oder anderen Kursen erworbenen Deutschkenntnissen auf und entwickelt vor allem die kommunikativen Sprachfertigkeiten Hören, Sprechen, Schreiben, Lesen weiter. Der Kurs knüpft an das Niveau A1 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens an und soll zum Niveau A2 führen.
この授業は、S セメスターに「初級インテンシブ」を履修した学生（およびそれと同等のドイツ語運用能力を習得した学生）を対象としている。ヨーロッパ言語共通参照枠（Common European Framework of Reference for Languages：CEFR）の A2 レベルに到達することを目標とする。

評価方法　Die Bewertung erfolgt aufgrund der Qualität der Beiträge im Seminar, den Hausaufgaben und regelmäßiger Tests. Regelmäßige und aktive Teilnahme werden vorausgesetzt.
成績評価は積極的な授業参加、提出課題および試験によって行う。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　Studio Express - Der Kompaktkurs Deutsch A2
著者（訳者）　H. Funk & C. Kuhn
出版社　Cornelsen
ISBN　978-3-06-549972-9

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51081	A	ドイツ語上級（会話）	クリスティアン クリンク	ドイツ語	金 5	K114	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　Konversationskurs Oberstufe
ドイツ語上級（会話）

授業の目標概要　Der Kurs richtet sich an Studenten, die bereits über (sehr) gute Deutschkenntnisse verfügen und diese weiter verbessern und anwenden möchten. Besonders die mündliche Ausdrucksfähigkeit soll hier trainiert werden, aber auch die anderen Teildisziplinen (Lesen, Schreiben, Hören) werden gezielt gefördert.

評価方法　Die Bewertung erfolgt aufgrund einer Präsentation und/oder einer mündlichen Prüfung.
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50195	A	ドイツ語上級（読解）	石原 あえか	ドイツ語	月 5	10-202	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　ドイツ語上級（読解）／German Language (Advanced)
授業の目標概要　読解能力の向上を主目標としつつ、語彙を増やし、総合的なドイツ語力を身につける。
具体的には 2 年生 TLP ドイツ語の延長も考えているため、中級後期（B2 レベル）あたりから始めて、さまざまな種類のテクストを読むことを通して、上級 C1 レベルに到達することを目標にする。

評価方法　平常点と筆記試験によって評価
教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50271	A	ドイツ語上級（読解）	久保 哲司	ドイツ語	火 2	155	1年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　ドイツ・ロマン派の短篇小説を読む
授業の目標概要　ドイツ後期ロマン派の作家ホフマンは怪奇幻想文学の元祖として有名です。彼の作品はまた数々のオペラやバレエや映画の原作となっています。たとえばフランスの作曲家オッフェンバックのオペラ『ホフマン物語』（1881 年初演）はホフマンのいくつかの小説をもとにしていますが、この授業ではその中から短篇「大晦日の夜の冒険」（1815 年初出）を取り上げ、原文で精読します。ドイツ語の読解力をつけるとともに、先のオペラや映画「ホフマン物語」（イギリス、1952 年）なども鑑賞することで、作品のテーマである男女の関係性や自己認識の問題についての理解を深めたいと思います。

評価方法　平常点と期末試験によって評価します。
教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

総合科目 L　フランス語

フランス語初級（演習）②	開講区分	A

授業の目標・概要　一列・二列で文法および講読の基礎を学習していることを踏まえ、演習では発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や講読の応用練習などを行う。
　この授業科目は文科生を対象としたものであるが、理科生に対しては、これに相当するものとして、国際コミュニケーション「フランス語初級（演習）」が開講されているので、積極的に参加してほしい。

成績評価方法　平常点（宿題、出席、発言等）と期末試験で総合的に評価する。
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　Rythmes & communication (リズコミ！ フランス語会話)
著者（訳者）　アルベリック・ドリブル、ベアトリックス・ファイフ、寺田寅彦
出版社　朝日出版社
ISBN　978-4-225-35275-6
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50144	月 4	デルヴロワ ミカエル	10-103	1 年 文一二(26)
50289	火 2	桑田 光平	K302	1 年 文科(TLP)
50353	火 3	ビゼ	K211	1 年 文一二(23)
50422	火 4	ビゼ	K211	1 年 文一二(24)
50536	水 2	ファイフ ベアトリクス	10-101	1 年 文一二(27)
50537	水 2	アルベリック ドリブル	10-308	1 年 文一二(28)
50606	水 3	ファイフ ベアトリクス	10-101	1 年 文一二(25)
50642	水 4	アルベリック ドリブル	10-101	1 年 文三(20)
50996	金 3	ビゼ	K211	1 年 文三(17)
50997	金 3	マルティネル ルイ	10-103	1 年 文三(19)
51047	金 4	アガエス ジュリアン	10-203	1 年 文三(18)

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50288	A	フランス語初級（演習）	伊達 聖伸	フランス語・イタリア語	火 2	112	1 年 理科

講義題目　ＴＬＰフランス語演習（1 年次）

授業の目標概要　ＴＬＰ（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（ＴＬＰ用）、そしてインテンシヴ・コース（ＴＬＰ用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。

評価方法　期末試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　Amical Niveau 2
著者（訳者）　Sylvie Poisson-Quinton, Evelyne Sirejols
出版社　CLE International
ISBN　978-2-09-038602-8

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50679	A	フランス語初級（演習）	デルヴロワ ミカエル	フランス語・イタリア語	水 5	10-103	1 年 理科

講義題目　フランス語初修

授業の目標概要　一列・二列での学習内容を踏まえながら、発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や講読の応用練習などをおこないます。文科生の必修授業「フランス語演習」に対応する授業内容を理科生に向けて開く、ということが趣旨です。

評価方法　平常点（宿題、出席、発言等）と期末試験で総合的に評価する。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
書名　Rythmes & communication (リズコミ！ フランス語会話)
著者（訳者）　アルベリック・ドリブル、ベアトリックス・ファイフ、寺田寅彦
出版社　朝日出版社
ISBN　978-4-225-35275-6

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50272	A	フランス語初級（会話）	Vallienne Corinne	フランス語・イタリア語	火 2	156	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　Parlons français !

授業の目標概要　会話の例文を読んでからペアで練習します。学生同士のコミュニケーションが中心です。教科書の練習問題をしながら、聞く、読む、話す、書くの 4 つの能力も鍛えます。初心者を対象とします。

評価方法　平常点 40 点、期末テスト 60 点

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　SPIRALE NOUVELLE EDITION/LIVRE DE LELEVE
著者（訳者）　CREPIEUX+CALLENS+TAKASE+NEGISHI
出版社　Hachette FLE
ISBN　9782014015812
その他　履修人数に制限をかける場合があるので、教科書を事前に購入しないこと。

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50707	A	フランス語初級（作文）	寺田 寅彦	フランス語・イタリア語	木 1	151	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　フランス語作文

授業の目標概要　毎週の短い作文課題に取り組むことで初級文法を用いて作文の能力を高めることを目標とする。同時に綴り字法の能力を高めるためにディクテ（書き取り）を毎週行う。

評価方法　中間試験（ディクテと作文)、最終試験（ディクテと作文)、毎回のディクテの出来具合、毎回の課題の提出状況を総合的に判断して評価する。なお課題の作文の出来具合は評価の対象としない。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50273	A	フランス語初級（読解）	関俣 賢一	フランス語・イタリア語	火 2	158	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　フランス語で好きなものを読んでみよう

授業の目標概要　各自が興味・関心のあるフランス語で書かれた文章を読むことによって、フランス文法・語彙の基礎固めをし、中上級への足掛かりをつくる。また、フランス語の文章読解を通して、多様な分野に亘る知見の深め方を習得する。

評価方法　成績評価の方法も、受講人数によって変わり得ます。履修者が少数で、普段の授業で負担が多い場合は平常点評価の可能性もあります。履修者が多数で、普段の授業で全員の参加度を高めることが出来ない場合は、平常点に加えてレポートを考えています。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50935	A	フランス語初級（読解）	鈴木 順子	フランス語・イタリア語	金 2	150	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　フランス語初級（読解)

授業の目標概要　受講者の中には初級文法に未修項目がある人もいることを踏まえつつ、文法の学習を並行して進めながら、授業を行う。文学作品の読解によって、語彙力、読解力のさらなる向上を図る。珠玉の名作の講読を通して、フランスの文化と社会の理解を深めていきたい。

評価方法　授業への参加状況および学期末試験による。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名　Le Petit Prince
著者（訳者）　Antoine de Saint Exupery
出版社　Gallimard (1999/06/10)
ISBN　978-207075589-9

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50005	A	フランス語初級（インテンシヴ）	アルベリック ドリブル	フランス語・イタリア語	月 1	10-204	1 年 文科 理科

講義題目　ＴＬＰフランス語インテンシヴ・コース（1 年次）

授業の目標概要　ＴＬＰ（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読)、演習（ＴＬＰ用)、そしてインテンシヴ・コース（ＴＬＰ用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。

評価方法　期末試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　Amical Niveau 1
著者（訳者）　Sylvie Poisson-Quinton, Evelyne Sirejols
出版社　CLE International
ISBN　978-2-09-038602-8

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50006	A	フランス語初級（インテンシヴ）	アガエス ジュリアン	フランス語・イタリア語	月 1	10-203	1 年 文科 理科

講義題目　ＴＬＰフランス語インテンシヴ・コース（1 年次）

授業の目標概要　ＴＬＰ（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読)、演習（ＴＬＰ用)、そしてインテンシヴ・コース（ＴＬＰ用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。

評価方法　期末試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　Amical Niveau 1
著者（訳者）　Sylvie Poisson-Quinton, Evelyne Sirejols
出版社　CLE International
ISBN　978-2-09-038602-8

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50196	A	フランス語初級（インテンシヴ）	アルベリック ドリブル	フランス語・イタリア語	月 5	10-201	1 年 文科 理科

講義題目　フランス語初級（インテンシヴコース）

授業の目標概要　このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる２つの授業のうちの１つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに 開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培する授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、水曜 5 限の授業（フランス語初級（インテンシヴ)、ドリブル）も受講しなくてはなりません。S セメスターと A セメスターを通して履修することは必修 S セメスターと A セメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。

評価方法　参加者の規則正しい出席を前提としています。宿題、定期試験によって評価をします。

教科書　その他　開講時に指示します（学期開始の時点ですでに教科書が販売されていても初回終了までは購入しないこと)。

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50197	A	フランス語初級（インテンシヴ）	アガエス ジュリアン	フランス語・イタリア語	月 5	10-203	1 年 文科 理科

講義題目　フランス語初級（インテンシヴコース）

授業の目標概要　このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる２つの授業のうちの１つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに 開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培する授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、木曜日 1 限の授業（フランス語初級（インテンシヴ）、アガエス）も受講しなくてはなりません。S セメスターと A セメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。

評価方法　参加者の規則正しい出席を前提としています。宿題、定期試験によって評価をします。

教科書　その他　開講時に指示します（学期開始の時点ですでに教科書が販売されていても初回終了までは購入しないこと）。

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50680	A	フランス語初級（インテンシヴ）	アルベリック ドリブル	フランス語・イタリア語	水 5	10-101	1 年 文科 理科

講義題目　フランス語初級（インテンシヴコース）

授業の目標概要　このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる２つの授業のうちの１つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに 開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培する授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、月曜日 5 限の授業（フランス語初級（インテンシヴ）、ドリブル）も受講しなくてはなりません。S セメスターと A セメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。

評価方法　参加者の規則正しい出席を前提としています。宿題、定期試験によって評価をします。

教科書　その他　開講時に指示します（学期開始の時点ですでに教科書が販売されていても初回終了までは購入しないこと）。

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50708	A	フランス語初級（インテンシヴ）	アガエス ジュリアン	フランス語・イタリア語	木 1	10-203	1 年 文科 理科

講義題目　フランス語初級（インテンシヴコース）

授業の目標概要　このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる２つの授業のうちの１つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに 開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培する授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、月曜日 5 限の授業（フランス語初級（インテンシヴ）、アガエス）も受講しなくてはなりません。S セメスターと A セメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。

評価方法　参加者の規則正しい出席を前提としています。宿題、定期試験によって評価をします。

教科書　その他　開講時に指示します（学期開始の時点ですでに教科書が販売されていても初回終了までは購入しないこと）。

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50952	A	フランス語初級（インテンシヴ）	アルベリック ドリブル	フランス語・イタリア語	金 2	10-204	1 年 文科 理科

講義題目　ＴＬＰフランス語インテンシヴ・コース（1 年次）

授業の目標概要　ＴＬＰ（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（ＴＬＰ用）、そしてインテンシヴ・コース（ＴＬＰ用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。

評価方法　期末試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　Amical Niveau 1
著者（訳者）　Sylvie Poisson-Quinton, Evelyne Sirejols
出版社　CLE International
ISBN　978-2-09-038602-8

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51085	A	フランス語初級（インテンシヴ）	アガエス ジュリアン	フランス語・イタリア語	金 5	10-203	1 年 文科 理科

講義題目　ＴＬＰフランス語インテンシヴ・コース（1 年次）

授業の目標概要　ＴＬＰ（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（ＴＬＰ用）、そしてインテンシヴ・コース（ＴＬＰ用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。

評価方法　期末試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　Amical Niveau 1
著者（訳者）　Sylvie Poisson-Quinton, Evelyne Sirejols
出版社　CLE International
ISBN　978-2-09-038602-8

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50198	A	フランス語初級（第三外国語）	中田 健太郎	フランス語・イタリア語	月 5	150	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　フランス語初級（第三外国語）

授業の目標概要　Ｓセメスターにおいて私の担当した「フランス語初級（第三外国語）」にひきつづき、フランス語の初級文法を理解する。フランス語の発音の規則を学び、テキストを音読できるようになる。仏和辞典の引き方を理解する。

評価方法　平常点（授業への積極的参加の度合いや小テストの結果）および学期末の試験によって総合的に判断する。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　フランス文法要説
著者（訳者）　石井洋二郎
出版社　朝日出版社
ISBN　978-4-255-35258-9

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50556	A	フランス語初級（第三外国語）	須藤 佳子	フランス語・イタリア語	水 2	166	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　フランス語初級（第三外国語）
授業の目標概要　フランス語の初級文法の骨格を理解する。フランス語を正しく音読できるようにする。

評価方法　平常点（授業参加度・宿題・小テスト）と学期末試験の点数を併せて評価する。
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　ル・フランセ・ファシル
著者（訳者）　斎藤 昌三
出版社　白水社
ISBN　9784560060698
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50681	A	フランス語初級（第三外国語）	小野 潮	フランス語・イタリア語	水 5	151	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　フランス語初級
授業の目標概要　フランス語の初級文法の骨格を理解する。
フランス語のテキストを正しく音読できるようにする。
辞書を引きながら簡単なフランス語を理解できるようにする。

評価方法　学期末の試験
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50274	A	フランス語中級（演習）	COUCHOT Herve	フランス語・イタリア語	火 2	101	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　フランス語既習
授業の目標概要　フランス語中級程度の講読および会話のクラス。履修者の学力に応じた指導を行う。francophone が担当する。
Présentation de la société française daujourdhui à partir dun film étudié par extraits (2) (Saint Jacques ... La Mecque de Coline Serreau, 2005)

評価方法　平常点（授業への参加）＋期末試験（ディスカッション）
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51064	A	フランス語中級（会話）	ビゼ	フランス語・イタリア語	金 4	K211	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　Cours de conversation

授業の目標概要　Ce cours a pour objectif dintroduire les étudiants aux techniques de la discussion et du débat contradictoire.
Le thème choisi pour ce semestre est: "lanthropocène" (人新世)

評価方法　Un examen oral en fin de semestre, qui consiste dans lorganisation dun débat dans lequel les étudiants sont amenés à endosser un "rôle", et par conséquent à défendre des arguments précis.

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50665	A	フランス語中級（作文）	DE VOS PATRICK HENRI	フランス語・イタリア語	水 4	156	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　Entraînement à lexpression écrite en français

授業の目標概要　Ce cours sera consacré à des exercices de thème proposés à partir de textes relevant de divers registres (épistolaire, dramatique, journalistique, littéraire ou théorique). Laccent sera mis sur les problèmes spécifiques que pose la traduction du japonais en français sur différents plans : lexique, syntaxe, organisation sémantique et stylistique du discours.

評価方法　Lévaluation sera faite en tenant compte de lass iduité, de la participation au travail collectif en classe et dun exercice final.

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50070	A	フランス語中級（読解）	大池 惣太郎	フランス語・イタリア語	月 2	112	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　フランスの現代喜劇「奇人たちの晩餐会（Le Dîner de cons）」の講読

授業の目標概要　題目にある、フランシス・ポール・ヴェベール（Francis Paul Veber）による舞台劇のスクリプトを講読しながら、フランス語の発音、語彙、文法、表現を総合的に学びます。

1993 年に書かれたこの戯曲は、フランスで大きな成功を博した現代コメディーであり、1998 年にはヴェベールを監督に映画化もされています。戯曲には、スラングから日常表現、ニュアンスに富む繊細な言い回しまで、様々な使用域の言葉が使われており、生きたフランス語を学ぶうってつけの教材です。さらに、フランスのブルジョワ文化と大衆文化の違い、パリの都市的生活のあり方、フランス的笑いのツボなど、文化的にも多くのことを教えてくれます。

映画を視覚教材・音声教材として戯曲の講読を行い、それを通じて総合的なフランス語力を養うことが、授業目的です。

評価方法　発表と学期末試験で評価します。ただし、受講者が少ない場合試験は行わず、授業内の発表のみで評価します。3 回を超える欠席は評価対象外になります。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名　Le Dîner de cons
著者（訳者）　Francis Veber
出版社　Éditions Ramsa, coll. « poket », 1995
その他　購入の必要はありません

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50275	A	フランス語中級（読解）	中島 ひかる	フランス語・イタリア語	火 2	102	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　フランス時事問題に関する新聞・雑誌記事の講読

授業の目標概要　【注意】この授業は、2014 年度以前の入学者には、総合科目 A 系列 フランス語テクスト分析Ⅱ として開講される。
　フランス現代のニュース記事を取り上げ講読することで、フランス語の読解力を高めるとともに、現代の時事問題に使われている語彙や表現を知る。また、フランスやヨーロッパの文化や社会、政治･経済に対する関心を高める。フランス社会の特徴が良く現れているニュースを幅広く取り上げる予定だが、あくまで語学の授業であるため、ニュースの背景について、授業で深く分析することはしない。

評価方法　受講者が 7 人程度の場合は原則試験は行わず､授業中の発表で評価する。
受講者が多い場合は授業の準備 80%、レポート２０％程度で評価する。
3 分の 1 以上欠席したものは評価の対象としない。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time
2019/09/24

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50709	A	フランス語中級（読解）	原 和之	フランス語・イタリア語	木 1	149	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　生のフランス語に触れる

授業の目標概要　ひととおりフランス語の文法を履修した学生が、さまざまな場面で実際に用いられているフランス語テクストを読んで内容を理解し、適切な翻訳ができるようになることを目指す。

評価方法　平常点および期末試験によって総合的に評価する。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50241	A	フランス語上級（会話）	アガエス ジュリアン	フランス語・イタリア語	火 1	10-203	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　Cours de conversation en français niveau avancé (DELF B1/B2 et plus)

授業の目標概要　Nous allons étudier lactualité des pays francophones et discuter à propos de sujets et de thèmes variés.
　Nous demanderons également aux étudiants de participer à lélaboration du programme afin détudier des thématiques qui les concernent et pour lesquelles ils ont un intérêt.

評価方法　Examen final, présentations, rapports, attitude et participation en classe.

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51099	A	フランス語上級（読解）	森元 庸介	フランス語・イタリア語	木 2	515	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　ニコラ・ド・シャンフォールを読む

授業の目標概要　めっぽう口は悪いが不思議と心打つ言葉を残しもした 18 世紀の文人ニコラ・ド・シャンフォールの『箴言と考察、人のありさまと逸話』を読む。

評価方法　授業中に指示する。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60246	A2	フランス語上級（演習）	CAPEL Mathieu	フランス語・イタリア語	集中	UTAS 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　Expression écrite et orale en langue française

授業の目標概要　Il s’agit dans ce cours de permettre aux étudiants d’améliorer leurs compétences en expression personnelle. Le cours comprendra des exercices de prononciation (maîtrise des sonorités, des liaisons), selon des registres de langue soutenus mais aussi familir (situation de conversation quotidienne). On fondera ces activités sur un travail écrit de thème japonais-français. Lévaluation sera faite sous forme de contrôles continus oraux et écrits, adaptés en fonction du niveau des étudiants.

評価方法　授業時での参加度、平常点。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

総合科目 L　中国語

中国語初級（演習）②	開講区分	A

授業の目標・概要　一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用する。
注意事項：クラス別に開講するので、自分のクラスの演習を履修すること。
TLP 生は教科書が異なるので UTAS で確認をすること。

成績評価方法　期末試験と小テストなど
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　現代漢語基礎 口語演習教材
著者（訳者）　駒場中国語教育研究会編

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50040	月 2	林 立梅	104	1 年 文一二(16)
50141	月 4	賈 黎黎	112	1 年 文一二(13)
50147	月 4	毛 興華	121	1 年 文三(11)
50148	月 4	王 嵐	104	1 年 文三(14)
50352	火 3	喬 志航	166	1 年 文一二(19)
50636	水 4	中原 裕貴	112	1 年 文一二(15)
50742	木 2	王 前	108	1 年 文一二(17)
50745	木 2	菊池 真純	121	1 年 文三(12)
50842	木 4	李 雲	101	1 年 文一二(18)
50846	木 4	柴 森	113	1 年 文三(13)
50985	金 3	張 玉萍	105	1 年 文一二(14)

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50242	A	中国語初級（演習）	李 洵	中国語	火 1	106	1 年 理科

講義題目　中国語の基礎を固める理系生のためのトレーニング
授業の目標概要　1 年理系生を対象とした演習授業である。
一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用する。

評価方法　期末試験と小テストなど
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　現代漢語基礎 口語演習教材
著者（訳者）　駒場中国語教育研究会編
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50135	A	中国語初級（作文）	賈 黎黎	中国語	月 3	112	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　中国語初級作文
授業の目標概要　半年から一年程度中国語を学習した学生を対象とした授業である。基礎語彙と文法を学び、その知識をもとに作文の訓練をする。更に履修者の作文を添削しながら解説を行うことで初歩的な中国語作文能力を身に付けることを目標とする。

評価方法　課題、小テストと期末試験によって総合的に評価する
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　チャイニーズ ライティング
著者（訳者）　何彬 小野秀樹
出版社　白帝社
ISBN　4-89174-712-9
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50710	A	中国語初級（作文）	何 珍時	中国語	木 1	152	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　中国語初級（作文）
授業の目標概要　中国語の基本な仕組みを理解しながら、中国語で作文をする力をつけ、自分自身のことや日常生活で必要なことを中国語で書いて表現する能力を養成するということを目標としています。

評価方法　予習・復習を学習者に求めますので、その完成度や出席率、試験によって総合的な判断します。
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　小野 秀樹
著者（訳者）　『チャイニーズライティング』
出版社　中国語研究室
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time
1 限／1st Period

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50936	A	中国語初級（表現練習）	王 英輝	中国語	金 2	157	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　中国語初級会話演習

授業の目標概要　一列、二列で学習した発音と文法事項を踏まえた上で、さらに発展させ、会話とリスニングを中心に練習し、簡単な日常会話ができるようになることを目的とする。
＊注意：TLP 生は同じ金曜日 2 限に開講される菊池真純先生担当の「初級表現演習」を履修すること。

評価方法　期末試験、小テスト、課題、平常点などを総合して評価する。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　体验汉语 旅游篇
著者（訳者）　张如梅，艾辛
出版社　高等教育出版社

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50953	A	中国語初級（表現練習）	菊池 真純	中国語	金 2	107	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　TLP 中国語 理系生のための基礎トレーニング

授業の目標概要　TLP(トライリンガル・プログラム)理系履修生のための科目。中国語一列・二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。TLP 修了必須科目ではない が、できるだけ参加することが望ましい。
※今学期は同時間（金２）に王英輝先生の「初級表現演習」が開講されますが、TLP 生はこちらの授業を履修してください。

評価方法　期末試験、小テスト、平常点

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
書名　『汉语纵横 精读』 ○级
著者（訳者）　马燕华
出版社　北京语言大学出版社

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50199	A	中国語初級 （インテンシヴ）	毛 興華	中国語	月 5	121	1 年 文科 理科

講義題目　中国語の実践能力を養うためのトレーニング B

授業の目標概要

基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。月曜日５限と木曜日１限をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』）月曜日５限では、主に発音・会話の訓練を行う。木曜日１限では主に発音・聞き取りの訓練を行う。

実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。今学期は２クラス開講し各クラス定員を２０名までとする。希望者多数の場合は抽選を行う。各クラスの組み合わせは下記のとおり。

【A】担当教員：賈黎黎
開講曜限：木５と金２　抽選日：９月２６日（木）５限
【B】担当教員：毛興華
開講曜限：月５と木１　抽選日：９月２６日（木）１限
☆初回の授業で人数多数の場合には抽選を行うため必ず出席をすること。（S セメスターで履修した学生を優先）
☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。
☆木１の抽選で漏れた者は木５の抽選に参加することが可能である。木 1 の抽選に当選した者は木 5 の抽選に参加できないので注意すること。

評価方法　期末試験など

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　『初級インテンシヴコース会話教材』及び『初級インテンシヴコース リスニング教材』
著者（訳者）　駒場中国語教育研究会編

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50290	A	中国語初級 （インテンシヴ）	白 春花	中国語	火 2	149	1 年 文科 理科

講義題目　TLP 中国語実践トレーニング

授業の目標概要

この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。

評価方法　授業態度・小テスト・期末試験等を総合的に評価する。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　汉语縱横 会話 0 級 第二版
著者（訳者）　盛双霞
出版社　北京言語大学出版社

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50291	A	中国語初級 （インテンシヴ）	李 彦銘	中国語	火 2	113	1 年 文科 理科

講義題目　TLP 中国語実践トレーニング

授業の目標概要　この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。

評価方法　授業態度・小テスト・期末試験等を総合的に評価する。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　汉语縱横 会話 0 級 第二版
著者（訳者）　盛双霞
出版社　北京言語大学出版社

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50711	A	中国語初級 （インテンシヴ）	毛 興華	中国語	木 1	153	1 年 文科 理科

講義題目　中国語の実践能力を養うためのトレーニング B

授業の目標概要　基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。月曜日５限と木曜日１限をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』）月曜日５限では、主に発音・会話の訓練を行う。木曜日１限では主に発音・聞き取りの訓練を行う。

実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。今学期は２クラス開講し各クラス定員を２０名までとする。希望者多数の場合は抽選を行う。各クラスの組み合わせは下記のとおり。

【A】担当教員：賈黎黎
開講曜限：木５と金２　抽選日：９月２６日（木）５限
【B】担当教員：毛興華
開講曜限：月５と木１　抽選日：９月２６日（木）１限
☆初回の授業で人数多数の場合には抽選を行うため必ず出席をすること。（S セメスターで履修した者を優先とする）
☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。
☆木１の抽選で漏れた者は木５の抽選に参加することが可能である。木１の抽選に当選した者は木５の抽選に参加できないので注意すること。

評価方法　期末試験など

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　『初級インテンシヴコース会話教材』及び『初級インテンシヴコース リスニング教材』
著者（訳者）　駒場中国語教育研究会編

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50714	A	中国語初級（インテンシヴ）	白 春花	中国語	木 1	154	1 年 文科 理科

講義題目　TLP 中国語実践トレーニング（初級リスニング）

授業の目標概要　この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。
特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。

評価方法　授業態度・小テスト・期末試験等を総合的に評価する。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　現代漢語基礎 初級インテンシヴコース リスニング教材
著者（訳者）　駒場中国語教育研究会 孫軍悦、王雪萍、小野秀樹

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50715	A	中国語初級（インテンシヴ）	鄧 芳	中国語	木 1	155	1 年 文科 理科

講義題目　TLP 中国語実践トレーニング（初級リスニング）

授業の目標概要　この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。
特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。

評価方法　授業態度・小テスト・期末試験等を総合的に評価する。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　現代漢語基礎 初級インテンシヴコース リスニング教材
著者（訳者）　駒場中国語教育研究会 孫軍悦、王雪萍、小野秀樹

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50865	A	中国語初級（インテンシヴ）	鄧 芳	中国語	木 4	150	1 年 文科 理科

講義題目　TLP 中国語実践トレーニング

授業の目標概要　この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。

評価方法　授業態度・小テスト・期末試験等を総合的に評価する。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　汉语縱横 会話 0 級 第二版
著者（訳者）　盛双霞
出版社　北京言語大学出版社

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50876	A	中国語初級 （インテンシヴ）	賈 黎黎	中国語	木 5	106	1 年 文科 理科

講義題目　中国語の実践能力を養うためのトレーニング A

授業の目標概要

基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。木曜日５限と金曜日２限をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』）木曜日５限では、主に発音・会話の訓練を行う。金曜日２限では主に発音・聞き取りの訓練を行う。

実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。今学期は２クラス開講し各クラス定員を２０名までとする。希望者多数の場合は抽選を行う。各クラスの組み合わせは下記のとおり。

【A】担当教員：賈黎黎
開講曜限：木５と金２　抽選日：９月２６日（木）５限
【B】担当教員：毛興華
開講曜限：月５と木１　抽選日：９月２６日（木）１限
☆初回の授業で人数多数の場合には抽選を行うため必ず出席をすること。（S セメスター履修者を優先する）
☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。
☆木１の抽選で漏れた者は木５の抽選に参加することが可能である。木 1 の抽選に当選した者は木 5 の抽選に参加できないので注意すること。

評価方法　期末試験など

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　『初級インテンシヴコース会話教材』及び『初級インテンシヴコース リスニング教材』
著者（訳者）　駒場中国語教育研究会編

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50920	A	中国語初級 （インテンシヴ）	李 彦銘	中国語	金 1	113	1 年 文科 理科

講義題目　TLP 中国語実践トレーニング（初級リスニング）

授業の目標概要

この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。

特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。

評価方法　授業態度・小テスト・期末試験等を総合的に評価する。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　現代漢語基礎 初級インテンシヴコース リスニング教材
著者（訳者）　駒場中国語教育研究会 孙军悦、王雪萍、小野秀樹

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50937	A	中国語初級（インテンシヴ）	賈 黎黎	中国語	金 2	151	1 年 文科 理科

講義題目　中国語の実践能力を養うためのトレーニング A

授業の目標概要

基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。木曜日５限と金曜日２限をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』）木曜日５限では、主に発音・会話の訓練を行う。金曜日２限では主に発音・聞き取りの訓練を行う。

実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。今学期は２クラス開講し各クラス定員を２０名までとする。希望者多数の場合は抽選を行う。各クラスの組み合わせは下記のとおり。

【A】担当教員：賈黎黎
開講曜限：木５と金２　抽選日：９月２６日（木）５限
【B】担当教員：毛興華
開講曜限：月５と木１　抽選日：９月２６日（木）１限
☆初回の授業で人数多数の場合には抽選を行うため必ず出席をすること。（S セメスターに履修した者を優先する）
☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。
☆木１の抽選で漏れた者は木５の抽選に参加することが可能である。木１の抽選に当選した者は木５の抽選に参加できないので注意すること。

評価方法　期末試験など

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　『初級インテンシヴコース会話教材』及び『初級インテンシヴコース リスニング教材』
著者（訳者）　駒場中国語教育研究会編

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50003	A	中国語初級（第三外国語）	林 立梅	中国語	月 1	104	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　中国語入門～A セメスターから始める中国語

授業の目標概要

中国語学習の重要な基礎となる”発音”と”文法”を学ぶ。このクラスは A セメスターより開始し、中国語学習初心者を対象としている。初回授業で定員を超えている場合には抽選を行うので履修希望者は必ず出席をすること。

※S セメスターで半年間履修した者が引き続きこの科目を履修する場合は、木５に開講する授業（担当：毛興華）を履修すること。（同教科書使用）

評価方法　期末試験など

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　北京の風
著者（訳者）　木村英樹・小野秀樹・陳蓉 著
出版社　白帝社
ISBN　9784891742492

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50877	A	中国語初級（第三外国語）	毛 興華	中国語	木 5	153	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　中国語入門（S セメスターの続き）

授業の目標概要　中国語学習の重要な基礎となる”発音”と”文法”を学ぶ。この授業は、S・A セメスターを通して 1 年間開講する。両セメスターで同一テキストを使用し、中国語の発音、基礎的語彙、初級文法に関する知識を習得することを目指す。今学期は S セメスターの続きから行う。
※今学期から初めて中国語を学ぶものは月 1 の林立梅教員の「初級第三外国語」を履修することが望ましい。

評価方法　期末試験など

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　北京の風
著者（訳者）　木村英樹・小野秀樹・陳蓉 著
出版社　白帝社
ISBN　9784891742492

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50938	A	中国語初級（第三外国語）	張 玉萍	中国語	金 2	105	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　中国語の基礎

授業の目標概要　この授業は直接教授法を取り入れ、基本的に中国語で中国語を教えるものである。教員の一方的な説明に終始することなく、学生とのやり取りや学生同士の様々な形の練習を通して、中国語の表現力・思考力を次第に身につけるようにする。PEAK の学生向けとなっているため、できるだけ日本語は使わずに中国語で講義をする。S セメスターは Ⅰ、A セメスターはその続きの Ⅱ である。

評価方法　期末試験と小テスト・中国語での発表および授業参加など

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　『おぼえチャイナ Ⅰ』
著者（訳者）　八木章好 鄺麗媚
出版社　朝日出版社 2014 年

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50071	A	中国語中級（演習）	鍾 非	中国語	月 2	158	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　中国語作文と和訳

授業の目標概要　中国語作文（奇数週）と和訳（偶数週）を隔週で行う。前者はいろいろなレベルの中国語作文（和文中訳）。後者は近年出版された中国語の単行本（経済・政治・社会；向こうの出版社）を拼音（ピンイン）に基づき正確に朗読した後（もちろん、本には拼音表記なし）、流麗に和訳してゆく（中文和訳）。「いろいろ」と主張しただけに、受講者に「作文に終着駅などない」ことを強く気づかせる（＝自称「上級者」の出端を挫く）。「和訳」である以上、みなさまに本格的な日本語訳の醍醐味を存分に味わわせる。ありとあらゆるレベルの受講者に対応可能。日中両国の慣用句・ことわざ・熟語・成語などを習慣的且つ瞬間的に言う・書く技を身に付けさせる。

評価方法　（出席を含む）平常点。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50375	A	中国語中級（会話）	劉 岸麗	中国語	火 3	153	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　使える中国語を身に着けよう

授業の目標概要　基礎文法、文型を使って日常会話、リスニングを練習する。会話、読解両方のテキストを勉強していくうちにその違いも自然にわかってきます。中検対策のために練習問題も充実しているので、中国語の基礎がより確かなものとなるでしょう。

評価方法　中間テスト、定期試験

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　新ブラッシュアップ中国語
著者（訳者）　関中研
出版社　朝日出版

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50772	A	中国語中級（会話）	姚 毅	中国語	木 2	164	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　コミュニケーション能力を高めるための実践的授業

授業の目標概要　初級段階で学習した文法項目を応用し、語彙を増やしながら、中国語のコミュニケーション能力を高めるための実践的授業である。勉強、買物、趣味、仕事、交友など日常触れるさまざまな場面を話題にし、「聞く」「話す」の反復練習を通して、その場面に関する典型的表現を覚えていく。また、習ったことを活かし、自分自身の経験、感想などについて発表してもらう。

評価方法　平常点（授業の参加・小テスト）と期末試験を吟味して評価する。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　会話と読解中心やさしく楽しい中級中国語―中国基礎知識 12 篇
著者（訳者）　郭 春貴 郭 久美子
出版社　白帝社
ISBN　978-4-86398-269-7

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51030	A	中国語中級（会話）	李 雲	中国語	金 3	101	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　中級レベルの中国語日常会話

授業の目標概要　１年の基礎科目で身につけた文法事項と発音を基礎に、会話ができることを目標とする。

評価方法　出席、授業態度、書き取り（適宜）、暗誦、ペアでの発表の全てを考慮して、評価する。

教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50862	A	中国語中級（作文）	柴 森	中国語	木 3	113	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　やや高度の中級作文練習

授業の目標概要　基礎復習から始め、中国語の構文を中心にした文法事項を系統的に学習しながら、さまざまな練習問題を解いていく。自分の伝えたいことをできるだけ幅広く中国語で表現できることを目指す。
内容は夏学期「中級作文」の続き。

評価方法　試験（期末試験）と平常点（課題など）による総合的評価。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50666	A	中国語中級（読解）	岩月 純一	中国語	水 4	102	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　中国語文献講読

授業の目標概要　中国語で書かれた短文を精読し、初級で学習した文法項目を確認するとともに、接続表現を中心とするより高度な文法項目を学習する。

評価方法　毎回提出を課する宿題に対する評価の平均と、学期末試験の結果とを、それぞれ半分ずつの比率で平均する。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50276	A	中国語上級（演習）	秋山 珠子	中国語	火 2	106	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　中国語映像翻訳実習

授業の目標概要　本授業は、中国語の映像作品（劇映画、ドキュメンタリー、ビデオアート、テレビ作品等）の字幕翻訳の実習を通し、1) 言語・音声および映像が伝えるイメージを分析し、2) 的確な日本語に翻訳する力を身につけ、3) 既存の字幕翻訳ルールを再検討し、デジタル化、グローバル化が進む今日の映像文化にふさわしい字幕翻訳の方法を模索することを目標とする。またその過程で、映像翻訳の可能性/不可能性を考察し、作品の背景となる中国の社会や文化に関する理解を深めていく。

評価方法　提出物、授業貢献度（出席状況・授業への取り組み・発表など）と最終試験の成績から総合的に判断する。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50557	A	中国語上級（会話）	白 春花	中国語	水 2	102	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　中国語で話し、中国を知る

授業の目標概要　現代中国の様々な時事問題をトピックにし、初級で習得した文法事項を確認しながら「話を聞く」「質問する」「表現する」という三つの会話力を磨き上げる。中級から上級へのステップアップを意識するレッスンである。

評価方法　課題、授業中のパフォーマンス（プレゼンテーション、発言の積極性や学習内容の応用力など）、期末発表会

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50827	A	中国語上級（作文）	賈 黎黎	中国語	木 3	106	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　中国語上級（作文）

授業の目標概要　読解力を高めながら、平明達意な中国語の文章を書けることを目標とする。講義の前半では日本語母語話者に多く見られる誤用の例を紹介しつつ、翻訳練習をすることによって作文の基礎を固める。後半では文章の書き方に関する中国語の文章を読んだ上で、テーマ別に中国語で書いてもらい、教員が添削することによって、文章力が着実に身につくことを目指している。

評価方法　課題の完成度、受講態度及び最後に提出された作文に基づいて評価を行う。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50939	A	中国語上級（読解）	斉 金英	中国語	金 2	117	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　現代中国文学精読

授業の目標概要　中国の文学雑誌『人民文学』（2018 年度）に掲載された短篇傑作を精読する。生きた中国語や現代中国の世相に触れ、翻訳を通して言語力を高めると同時に、行間から滲み出る社会的、文化的なメッセージを読みとる。

評価方法　担当した部分の翻訳や授業への参加度により総合的に評価する。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

総合科目 L　ロシア語

ロシア語初級（演習）②	開講区分	A

授業の目標・概要　正確な発音を実につけて、簡単なテクストを読む。内容を理解した上で、テクストに関して質疑応答ができるようにする。

成績評価方法　平常点など。
教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50839	木 4	Gutova Ekaterina	112	1 年 文一二(4)
50843	木 4	ゴルボフスカヤ リュボーフィ	517	1 年 文三(4)
50901	金 1	ゴロウィナ クセーニヤ	154	1 年 文科(TLP)

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50921	A	ロシア語初級（演習）	ゴロウィナ クセーニヤ	ロシア語	金 1	154	1 年 理科

講義題目　ロシア語演習（TLP）
授業の目標概要　ロシア語でのオーセンティックな内容 （教科書以外）を理解し、それについて議論することができるための基礎を作る演習です。

評価方法　授業にてアナウンスします。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51082	A	ロシア語初級（演習）	ゴルボフスカヤ リュボーフィ	ロシア語	金 5	517	1 年 理科

講義題目　ロシア語演習②
授業の目標概要　初級文法を学習中の学生を対象に、ロシア語の発音・イントネーションに習熟し、簡単な会話が行えるようになることを目指す。

評価方法　平常点など。
教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50940	A	ロシア語初級（会話）	ゴロウィナ クセーニヤ	ロシア語	金 2	154	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　会話力強化コース
授業の目標概要　ロシア語の会話力を集中的にアップします。発音を改善するだけでなく、習った文法や表現を実際のロシア人との会話の場面において正確に適用できる余裕を身につけます。また、ロシア語のメディアなどの理解力の向上にも繋がります。

評価方法　授業でのアクティビティへの積極的参加
授業への準備（宿題、復習）
期末テスト＋口頭のナレッジチェック
教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50200	A	ロシア語初級（作文）	奈倉 有里	ロシア語	月 5	151	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　ロシア語初級（作文）／ Russian Language (Introductory)
授業の目標概要　この授業は、ロシア語初級文法の学習者を対象として、自ら文章を構成する力をつけていくためのものです。これまでに習った文法事項を応用し、より豊かな表現を身につけていきます。

評価方法　授業への取り組み、提出物、小テストなどを中心に総合的に判断します。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50277	A	ロシア語初級（インテンシヴ）	ゴルボフスカヤ リュボーフィ	ロシア語	火 2	517	1 年 文科 理科

講義題目　ロシア語（インテンシヴ）
授業の目標概要　必修のロシア語に加えて、さらなるロシア語知識の獲得を目指す。
初級インテンシヴは週 2 コマセットでのみ履修できます。かならず水曜 5 限の授業と合わせて履修すること。

評価方法　日常の授業、小テスト、および期末テスト
教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50202	A	ロシア語初級（インテンシヴ）	ゴロウィナ クセーニヤ	ロシア語	月 5	154	1 年 文科 理科

講義題目　ロシア語初級（インテンシヴ）→TLP
授業の目標概要　TLP1 年生を対象に、ロシア語の基本的能力を高度に育成する。

評価方法　授業参加、宿題、ナレッジチェック、期末テスト、口頭試験。
教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts
書名　Русский язык: Первые шаги.
著者(訳者)　Беликова Л.Г., Шутова Т.А., Ерофеева И.Н.
出版社　Златоуст
ISBN　978-5-86547-939-0
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50682	A	ロシア語初級（インテンシヴ）	濵田 華練	ロシア語	水 5	114	1 年 文科 理科

講義題目　ロシア語初級（インテンシヴ）
授業の目標概要　ロシア語の初級文法をある程度習得した学生を対象に、実践的に「読む・書く」能力を総合的に伸ばしていくことを目指す。
※初級インテンシヴは週 2 コマのセットでのみ履修可能。かならず火曜 2 限の授業と合わせて履修すること。
評価方法　最後の授業に試験（自由作文）を実施し、その結果に出席状況、授業態度、普段の課題の成果等から算出した平常点を加えて評価する。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50884	A	ロシア語初級（インテンシヴ）	ゴロウィナ クセーニヤ	ロシア語	木 5	154	1 年 文科 理科

講義題目　ロシア語初級（インテンシヴ）→TLP
授業の目標概要　TLP1 年生を対象に、ロシア語の基本的能力を高度に育成する。

評価方法　授業参加、宿題、ナレッジチェック、期末テスト、口頭試験。
教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts
書名　Русский язык: Первые шаги.
著者（訳者）　Беликова Л.Г., Шутова Т.А., Ерофеева И.Н.
出版社　Златоуст
ISBN　978-5-86547-939-0
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51083	A	ロシア語初級（第三外国語）	丸山 由紀子	ロシア語	金 5	152	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　ロシア語初級（第三外国語）
授業の目標概要　基礎的なロシア語文法を学びます。桑野 隆『初級ロシア語 20 課』白水社 9 課から行います。
平易な文章であれば辞書を使って読め、また口頭で簡単なコミュニケーションを取れるようになることが目標です。

評価方法　出席、小テスト（２回程度)、学期末試験で総合的に評価します。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50278	A	ロシア語中級（演習）	毛利 公美	ロシア語	火 2	516	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　ロシア語中級（演習）
授業の目標概要　ロシア語の初級文法を習得した学生を対象とし、ロシア語で書かれたさまざまなテクストを丁寧に読みながら、中級レベルの文法、語彙、構文の習得を目指す。必要に応じ、基礎文法の確認のための練習問題の実施、関連語彙や構文の解説、リーディング（音読）の練習を行うことで、総合的なロシア語運用能力を高める。講読するテクストを通じてロシア語文化圏の人々が常識として共有する文化的な背景知識を身につける。

評価方法　平常点（授業への取組み）と期末課題（人数によっては試験）により総合的に判断する。
教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50376	A	ロシア語中級（会話）	ゴルボフスカヤ リュボーフィ	ロシア語	火 3	517	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　ロシア語中級（会話）
授業の目標概要　ロシア語での表現力の向上をめざす。1 年以上，ロシア語を学習した者を対象とする。

評価方法　平常点。
教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51065	A	ロシア語中級（作文）	丸山 由紀子	ロシア語	金 4	152	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　ロシア語中級作文
授業の目標概要　既習の基本的な文法事項、語彙を使いこなせると同時に、一歩上の文法、語彙も取り入れた、より豊かで大人の文章をロシア語で書けるようになるのが目標です。

評価方法　出席状況、課題の出来映え、授業への貢献度で総合的に判断します。
教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50178	A	ロシア語中級（読解）	奈倉 有里	ロシア語	月 4	151	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　ロシア語中級（読解）／ Russian Language (Intermediate)
授業の目標概要　初級文法をひととおり学習した方向けの授業です。
これまでに習った文法の知識を生かし、中級レベルの文書読解を行うなかで、使える語彙や慣用表現を増やしていきます。
様々な状況に合った文章を読み、ロシア語の表現能力の向上を狙います。
必要に応じてその背景となる文化的知識についても解説します。
文学テクストを中心に、文学的背景も踏まえた幅広い表現の習得を目指します。
評価方法　授業への取り組み、提出物、小テストなどをもとに総合的に判断します。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50627	A	ロシア語中級 （インテンシヴ）	安岡 治子	ロシア語	水 3	517	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　ロシア語中級インテンシヴ。ロシア語力拡充コース。
授業の目標概要　ロシア語を一年半程度積極的に学んできた学生を対象に、主にロシア文学作品購読を通して、文法力の向上、ロシア語表現力の拡充などを目指す。

評価方法　毎回の授業での応答と学期末最後の授業に行う試験によって評価する。
教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50878	A	ロシア語中級 （インテンシヴ）	ゴルボフスカヤ リュボーフィ	ロシア語	木 5	517	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　ロシア語インテンシヴ（中級）
授業の目標概要　教科書の会話文の練習をとおして、ロシア語の発音やイントネーション、会話表現の向上を目指します。

評価方法　授業にてアナウンスします。
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　Говорите по-русски
著者（訳者）　С.Хавронина
出版社　М. Русский язык. 2014г.
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51031	A	ロシア語上級（会話）	ゴルボフスカヤ リュボーフィ	ロシア語	金 3	517	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　ロシア語上級（会話）
授業の目標概要　ロシア映画を素材に、ロシア語会話の独特な表現法を学ぶ。ロシア語による講義。

評価方法　平常点および定期試験
教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50667	A	ロシア語上級（作文）	Gutova Ekaterina	ロシア語	水 4	155	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　ロシア語上級（作文）
授業の目標概要　語彙や表現を増やし、文法事項を復習し、語結合力を確認し、作文を書く能力の向上を目標とする。

評価方法　出席、授業への積極的な参加、宿題提出状況を総合的に判断し、評価する。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

総合科目 L　スペイン語

スペイン語初級（演習）②	開講区分	A

授業の目標・概要　共通教科書を用い、Aセメスターでは、一列で扱う文法及び講読の進度に合わせ、発音、聞き取り、会話練習、文法の応用練習などを行い、スペイン語の運用能力を高めることをめざす。

成績評価方法　各担当教員に任せられている。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　スペイン語初級
著者（訳者）　東京大学教養学部スペイン語部会
出版社　朝日出版社

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50028	月 2	ドニャス ベレニャ アントニオ	105	1 年 文一二(7)
50039	月 2	ロサレス パトリシア	106	1 年 文一二(12)
50140	月 4	ロサレス パトリシア	106	1 年 文一二(9)
50146	月 4	イサベル カルロス	108	1 年 文三(10)
50203	月 5	ドニャス ベレニャ アントニオ	105	1 年 文科(TLP)
50336	火 3	イサベル カルロス	108	1 年 文一二(10)
50337	火 3	ドニャス ベレニャ アントニオ	1212	1 年 文一二(11)
50513	水 2	ドニャス ベレニャ アントニオ	1232	1 年 文一二(8)
50844	木 4	イサベル カルロス	121	1 年 文三(8)
50845	木 4	FERNANDEZ HERBOSO	122	1 年 文三(9)
51045	金 4	ドニャス ベレニャ アントニオ	101	1 年 文三(7)

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50292	A	スペイン語初級（演習）	イサベル カルロス	スペイン語	火 2	121	1 年 理科

講義題目　Seminario de español para el TLP
TLP スペイン語演習

授業の目標概要　Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana.
　コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。

評価方法　Exámenes parciales y examen final: 70%　小テストと期末テスト 70 点
Participación y tareas: 30%　平常点 30 点

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　Entre amigos 2, Editorial Asahi, 2º edición.

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50941	A	スペイン語初級（演習）	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	金 2	122	1 年 理科

講義題目　スペイン語初級（演習）

授業の目標概要　スペイン語初級は共通教科書を用い、S セメスターでは 1 列で文法を学び、2 列で講読を行う。この演習は理科生限定で、教科書の進度に合わせ、発音、聞き取り、初歩的な会話の練習、文法の応用練習などを行い、スペイン語の運用能力をいっそう高めることをめざす。理科生は積極的に参加してほしい。

評価方法　授業の初回に説明する。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　スペイン語初級 第 4 版
著者(訳者)　東京大学教養学部スペイン語部会
出版社　朝日出版社

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50712	A	スペイン語初級（会話）	受田 宏之	スペイン語	木 1	10-201	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　スペイン語初級（会話）—SKYPE を用いたメキシコの大学生との会話

授業の目標概要　SKYPE（ないし ZOOM）を用いてメキシコの大学生と会話することを通じて、実践的なスペイン語力を身につけると同時に、ラテンアメリカについての理解を深めることを目標とする。

評価方法　受講者は、1 月初頭までに自分の好きなテーマについて 3 分程度のスペイン語のビデオを作成する。UNAM 側の受講者も日本語のビデオを作成する。東大受講者のビデオは UNAM 教員が、UNAM 受講者のビデオは受田がそれぞれ評価する。1 月初旬にビデオを鑑賞し合う機会を設ける。ビデオの評点に、毎回の授業への参加状況を加えて成績をつける。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time
9/26/2019

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50879	A	スペイン語初級（会話）	FERNANDEZ HERBOSO	スペイン語	木 5	122	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　スペイン語（初級会話）

授業の目標概要
　練習を通して、文法とその機能についての内容を体系化し、生徒の理解を強化する。また、授業を通して学んだことを、それぞれの生徒が活用し表現できるようにすることを目指す。
　その他に文法、単語のレベルを DELE A2 まで引き上げていく。

評価方法　小テスト、学期末テスト及び口頭試験。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51084	A	スペイン語初級（会話）	エクトル シエラ	スペイン語	金 5	150	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　¿HABLAMOS? スペイン語での基本的なコミュニケーション

授業の目標概要
　スペイン語で日常生活について話せるようになることを目指す。
　自己紹介、天気や家族、好きなこと、嫌いなこと、料理の簡単な感想、町の様子、過去にしたことや近い未来にしたいことについての会話の演習を行う。
　スペイン語らしい発音や自然なイントネーションの習得を目指す。また、前学期で学習した規則動詞の現在形、現在進行形や近未来の復習をした上で、不規則動詞や再帰動詞を使った会話を習得する。

評価方法　参加 30%、宿題・パフォーマンス・態度・授業への貢献 30%、プレゼン 40%。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50942	A	スペイン語初級（作文）	有田 美保	スペイン語	金 2	152	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　スペイン語初級（作文）

授業の目標概要
　本コースは、和文（おもに単文）から適切にスペイン語文にするための解説と演習を中心としたものである。一年生の初修外国語（文科・理科）の授業で既習あるいは学習中である文法事項を『書く』ことを通して復習するとともに、能動的な言語応用を図る諸君の積極的な学びの場となるように展開していく。初修外国語の授業でカバーされなかった語彙やフレーズ、またさまざまな話題や言語使用のシーンにふれて、本言語の運用の幅を広げていってほしい。【今セメスターは、GUSTAR 型構造→再帰動詞→過去時制→未来形→完了時制→接続法と進んでいく予定である】

評価方法
授業内の３０分で西訳５題を西訳してもらい、出来栄えや仕上げの丁寧さによって評点を受ける（３０点満点×３回＝９０点満点）。これに第２週に実施する『単語テスト』（１０点満点）を加えた得点から、欠席・遅刻・早退、 教科書不携帯、宿題未遂行、 態度不良などがある場合には減点し（最大３０点めやす）、また質問・発言など積極的な態度が伺える者にのみプラス評価（最大１０点めやす）を入れ、最終評価を算出する。
「特別な理由」（診断書のある疾病、立証書類で客観性の認められる就職活動・学業活動・冠婚葬祭、遅延証明のある交通機関の遅延、等）による欠席（またはそれにともなう未提出課題）については、都度教員に相談すること。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　Paso Doble~Primer Paso
著者（訳者）　有田美保
出版社　弘学社
その他　改訂をおこなったので、旧版は使用できない。

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50007	A	スペイン語初級（インテンシヴ）	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	月 1	156	1 年 文科 理科

講義題目
Seminario de español para el TLP
Curso intensivo de español para el TLP
TLP スペイン語インテンシブ

授業の目標概要
Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana.
コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。

評価方法
Exámenes parciales y examen final: 70% 小テストと期末テスト 70 点
Participación y tareas: 30% 平常点 30 点

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　Entre amigos 2, Editorial Asahi, 2º edición.

ガイダンス
特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50201	A	スペイン語初級（インテンシヴ）	イサベル カルロス	スペイン語	月 5	108	1 年 文科 理科

講義題目
スペイン語初級

授業の目標概要
必修スペイン語に加えてスペイン語を集中的に勉強したい学生のために、インテンシヴクラスを開講する。内容は会話と作文で、必修の授業の進度に合わせながら実践的な運用能力を獲得することをめざす。履修人数を制限し、週２回の授業に出席することを義務とする。２つの授業ともスペイン語ネイティブの教員（カルロス・イサベル）が担当する。

評価方法
授業初回で示される。

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　Nuevo Avance Básico A1,A2
著者(訳者)　Concha Moreno, Victoria Moreno, Piedad Zurita
出版社　SGEL
ISBN　978-84-9778-595-2
その他　教科書の後半、10 課から 18 課まで

ガイダンス
第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50293	A	スペイン語初級（インテンシヴ）	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	火 2	122	1 年 文科 理科

講義題目
Seminario de español para el TLP
Curso intensivo de español para el TLP
TLP スペイン語インテンシブ

授業の目標概要
Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana.
コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。

評価方法
Exámenes parciales y examen final: 70% 小テストと期末テスト 70 点
Participación y tareas: 30% 平常点 30 点

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　Entre amigos 2, Editorial Asahi, 2º edición.

ガイダンス
特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50716	A	スペイン語初級（インテンシヴ）	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	木 1	156	1 年 文科 理科

講義題目
Seminario de español para el TLP
Curso intensivo de español para el TLP
TLP スペイン語インテンシブ

授業の目標概要
Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana.
コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。

評価方法
Exámenes parciales y examen final: 70% 小テストと期末テスト 70 点
Participación y tareas: 30% 平常点 30 点

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　Entre amigos 2, Editorial Asahi, 2º edición.

ガイダンス
特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50880	A	スペイン語初級（インテンシヴ）	イサベル カルロス	スペイン語	木 5	121	1 年 文科 理科

講義題目
スペイン語初級

授業の目標概要
必修スペイン語に加えてスペイン語を集中的に勉強したい学生のために、インテンシヴクラスを開講する。内容は会話と作文で、必修の授業の進度に合わせながら実践的な運用能力を獲得することをめざす。履修人数を制限し、週２回の授業に出席することを義務とする。２つの授業ともスペイン語ネイティブの教員（カルロス・イサベル）が担当する。

評価方法
授業初回で示される。

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　Nuevo Avance Básico A1,A2
著者(訳者)　Concha Moreno, Victoria Moreno, Piedad Zurita
出版社　SGEL
ISBN　978-84-9778-595-2
その他　教科書の後半、10 課から 18 課まで

ガイダンス
第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50885	A	スペイン語初級（インテンシヴ）	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	木 5	156	1 年 文科 理科

講義題目
Seminario de español para el TLP
Curso intensivo de español para el TLP
TLP スペイン語インテンシブ

授業の目標概要
Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana.
コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。

評価方法
Exámenes parciales y examen final: 70% 小テストと期末テスト 70 点
Participación y tareas: 30% 平常点 30 点

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　Entre amigos 2, Editorial Asahi, 2º edición.

ガイダンス
特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50004	A	スペイン語初級 （第三外国語）	栗林 ゆき絵	スペイン語	月 1	151	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　スペイン語（初級）（第三外国語）

授業の目標概要
　スペイン語の骨格となる動詞の全時制形式を知り、それらが日常会話でいかに用いられているかを学ぶ。
　空港・買い物・アポイント・レストラン・ホテル・タクシー等、場面別のダイアログを教材とし、片言以上の運用能力を身につけることを目標とする。
　受講者の希望があれば新聞記事講読等も行う。

評価方法　平常点 20%(小テスト)、期末試験 80%の予定。
出席点は数値化しないが、小テスト(毎回開始時 5 分程度)を受けたものを出席とみなす。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　エスペランサ
著者(訳者)　栗林ゆき絵
出版社　同学社
ISBN　4-8102-0428-5

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50943	A	スペイン語初級 （第三外国語）	笛田 千容	スペイン語	火 4	117	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　スペイン語初級

授業の目標概要
　スペイン語文法の基礎をじっくり学び、「聞く、話す、読む、書く」の 4 技能を磨きながら、簡単な会話・読解・作文に取り組む。音楽・映画などにも触れながら楽しく学ぶ。

評価方法　平常点６０％（小テスト、出欠）期末試験４０％

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
書名　初級スペイン語文法 全音声ＤＬ版
著者(訳者)　和佐 敦子
出版社　朝日出版社
ISBN　978-4-255-55077-0

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50628	A	スペイン語初級 （第三外国語）	齊藤 文子	スペイン語	水 3	157	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　速習スペイン語

授業の目標概要
　１セメスターでスペイン語文法の基礎を学びます。

評価方法　毎回の小テストと期末テスト

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　スペイン語文法の要点
著者(訳者)　二宮哲
出版社　朝日出版社

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50683	A	スペイン語中級（演習）	ガルシア ルイス カスティージョ カルロス	スペイン語	水 5	153	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　Habla en español

授業の目標概要

この教科の目的は、学生が A2-B1 レベル相当の学力を身につけることである。授業は主に口頭表現の習得のために構成されている。口頭表現に加え、リスニング、読解、文章表現といった基礎も学習し、学生は実際にスペイン語を使うのに必要な社会文化にも親しむ。

El objetivo del curso es que los estudiantes adquieran las competencias propias de los niveles A2-B1. La clase está planteada para practicar principalmente la expresión oral. Además de la expresión oral, practicaremos también las otras destrezas básicas (comprensión auditiva y lectora y expresión escrita) y los estudiantes se familiarizarán con los aspectos socioculturales necesarios para poder usar la lengua en contextos reales.

評価方法

40%:出席、授業中の積極性、課題
60%:試験
40% Asistencia, participación y tareas de clase.
60% Exámenes

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51066	A	スペイン語中級（会話）	エクトル シエラ	スペイン語	金 4	150	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　¿HABLAMOS? スペイン語を通じて西洋式のコミュニケーション

授業の目標概要

様々なトピックについて話せるようになることを目指す。スペイン語らしい発音や自然なイントネーションの習得を練習する。文法を復習しながら、会話を習得する。

日本語での婉曲的なコミュニケーションと違って、西洋人の「メタフォリックなコミュニケーション」を理解するために、良く使われている婉曲動詞（迂言動詞）や動詞を使った慣用句を積極的に学ぶ。

コースと授業の最初は日本語で説明を行うが、後半はスペイン語だけで行う予定。

評価方法　参加 30%、宿題・パフォーマンス・態度・授業への貢献 30%、プレゼンテーション 40%。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50279	A	スペイン語中級（作文）	深澤 晴奈	スペイン語	火 2	K113	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　スペイン語中級（作文）

授業の目標概要

本コースは、初修外国語の文法知識を確認しながら中級レベルの作文練習をおこない、スペイン語表現能力の向上を目標とするものである。スペイン語の文法事項を、レベル①：基礎力の確認、レベル②：学習者がつまづきやすい文法事項の整理、レベル③：①と②で扱った文法事項を用いて作文する、という順序で、スペイン語の知識のより確実な習得を目指す。授業前半では例題をドリル式に大量にこなすスタイルを取り、授業後半では作文課題に取り組んでもらう。また、セメスターの最後には、テーマを設定した上でより長い分量の文章課題を提出してもらう。

評価方法　積極的な授業への参加と質問・コメント及びセメスター最後の提出課題への取り組みを通じて総合的に評価をおこなう。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名　レベル別 スペイン語文法ドリル
著者(訳者)　西村君代他
出版社　朝日出版社
ISBN　978-4-255-55028-2

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50558	A	スペイン語上級（演習）	イサベル カルロス	スペイン語	水 2	1225	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　Español Avanzado. Gramática y vocabulario.

授業の目標概要

Este curso está destinado a estudiantes que ya han alcanzado niveles intermedios y desean profundizar en su aprendizaje del español.

Los objetivos son:

- En caso necesario, repasar contenidos propios de los cursos de niveles inferiores que suelen provocar más dudas, tales como los contrastes de los tiempos pasados o los usos básicos del modo subjuntivo .
- Presentar nuevos contenidos gramaticales y discursivos que permitan a los alumnos expresarse en español con más precisión, tanto por escrito como oralmente.
- Ampliar el vocabulario de los alumnos, con el mismo objetivo de mejorar la riqueza y precisión de su expresión en español.
- Practicar los nuevos aprendizajes por medio de ejercicios estructurales, redacciones y ejercicios de práctica oral.

評価方法

Se evaluará a los alumnos por medio de dos pruebas al final del semestre, y también a lo largo del curso en su trabajo en clase y por medio de tareas asignadas.
Prueba escrita: 50%
Prueba oral: 25%
Actividades de clase y tareas: 25%

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51484	A	スペイン語上級（会話）	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	木 2	156	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　スペイン語上級（会話）／ Spanish Language (Advanced)

授業の目標概要

この授業ではコミュニケーションのために必要な実践練習を行います。1 年次に学習した文法項目の復習を行い、文法を自分のものとすることをめざします。さらに発音を練習するとともに、スペイン語でのコミュニケーション能力を向上させ、 スペイン語圏のさまざまな文化について学びます。 ヨーロッパ言語共通参照枠の A 1 から A 2 レベルに対応しています 。

評価方法　授業への参加、ショートテスト、課題の提出、/ 口頭試験。 70% / 30%

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

書名　Es noticia
著者(訳者)　Nakajima, Satoko, Sato, Saichi, Taranco, David
出版社　Editorial Sanshusha
ISBN　ISBN: 978-4-384-4216-6 C 1805

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50773	A	スペイン語上級（作文）	FERNANDEZ HERBOSO	スペイン語	木 2	1221	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　スペイン語による作文の授業

授業の目標概要

Aprender a escribir bien en una nueva lengua requiere del aprendizaje de un género discursivo totalmente nuevo. Este curso de redacción tiene como fin dotar a los alumnos de las estructuras conceptuales imprescindibles que les permitan comprender el objetivo del texto y cómo realizarlo. El enfoque consiste en la introducción de los modelos conceptuales que permitan al estudiante reorganizar sus ideas y su entorno tanto dentro del aula como fuera de ella para facilitar el aprendizaje de este nuevo el discurso escrito en español.

新しい言語で正しく書くことを学ぶには、まったく新しい論法を学ぶ必要がある。この授業では、文章を書く目的とその実行方法を理解できるようにするための基本的な概念構造を学生に提供することを目的としている。授業の方法は、スペイン語で書かれたこの新しい論法の学習を容易にするために、学生が自分の考えを教室の内外で再編成できるようにする概念モデルを紹介することである。

評価方法

Método de evaluación: La evaluación continua del trabajo diario en el aula y de la producción de textos que se pidan en la clase.
期末試験は実施しない。毎回の授業で課す課題によって評価する。

教科書

教科書は使用しない。／Will not use textbook

書名　Trivium. Manual de composición escrita
著者(訳者)　Arturo Escandón
出版社　Liberas Press
ISBN　978-4-909580-02-3

ガイダンス

特に行わない。／Will not conduct guidance

総合科目 L　韓国朝鮮語

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50246	A	韓国朝鮮語初級（演習）②	崔 泰源	韓国朝鮮語	火 1	155	1 年 文科(TLP)

講義題目　韓国朝鮮語初級（演習）② TLP
授業の目標概要　韓国朝鮮語一列・二列で学んだ基礎知識の定着と発展のために、練習や活動を多く取り入れ、韓国朝鮮語の表現能力の向上を目指す。

評価方法　期末試験、小テスト、課題、授業への参加などで総合的に評価する。
教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50629	A	韓国朝鮮語初級（演習）②	崔 泰源	韓国朝鮮語	水 3	103	1 年 文一二(5)文三(5)

講義題目　韓国朝鮮語初修（文系）
授業の目標概要　韓国朝鮮語のネイティブ教師が担当する。一列の授業で学んだ基礎知識の定着と、さらに「スピーキング」「リスニング」「リーディング」「ライティング」の諸領域におけるバランスの取れた理解・表現能力の向上を目指す。

評価方法　期末テスト、小テスト、課題、出席など
教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50245	A	韓国朝鮮語初級（演習）	崔 泰源	韓国朝鮮語	火 1	155	1 年 理科

講義題目　韓国朝鮮語初級（演習）TLP
授業の目標概要　韓国朝鮮語一列・二列で学んだ基礎知識の定着と発展のために、練習や活動を多く取り入れ、韓国朝鮮語の表現能力の向上を目指す。

評価方法　期末試験、小テスト、課題、授業への参加などで総合的に評価する。
教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50559	A	韓国朝鮮語初級（会話）	崔 泰源	韓国朝鮮語	水 2	103	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　韓国朝鮮語初級（会話）
授業の目標概要　韓国朝鮮語の初級レベルの語彙や文法、表現などを、会話練習を中心にして学習していく。
ハングルの読み方や韓国朝鮮語の基礎的な文法を半年ほど学習した人を対象とする。
本授業を通して韓国朝鮮語の基礎会話力を身につけることを目指す。

評価方法　出席、課題、小テストなどの平常点＋期末試験を総合的に評価する。
教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50881	A	韓国朝鮮語初級（会話）	金 東漢	韓国朝鮮語	木 5	102	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　韓国朝鮮語の基礎固め(その 2)

授業の目標概要
　基本的には S セメスターの続きになります。下記は S セメスターのシラバスの内容なのでご参照ください。
　本講座は、主に初心者の受講生が対象になります。そのため、最初はハングルの形や発音を習い、続いて複数の文字が前後に並ぶ際に起きる様々な音の変化について勉強します。
　その後、基本的な文法知識も交えながら、簡単なあいさつ文や自己表現などの総合学習に移り、次のステップへの土台を築いていく予定です。

評価方法　課題などの平常点＋最終週授業日の小テスト。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　「新韓国語レッスン初級」
著者(訳者)　金東漢・張銀英
出版社　スリーエーネットワーク
ISBN　978-4-88319-781-1

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50377	A	韓国朝鮮語初級（作文）	ジ ミンギョン	韓国朝鮮語	火 3	K402	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　韓国朝鮮語作文(初級)

授業の目標概要
　韓国朝鮮語の文字と発音を学び、文章を書くために必要な基本的な文型を学習する。学習した文型を用いて作文の練習を重ねると同時に、初級の語彙をしっかり覚えることで表現力の向上を目指す。

評価方法　期末テストと平常点（課題、発表など）

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50008	A	韓国朝鮮語初級 （インテンシヴ）	ジ ミンギョン	韓国朝鮮語	月 1	107	1 年 文科 理科

講義題目　韓国朝鮮語初級 インテンシヴ一列

授業の目標概要
　必修授業に加えて韓国朝鮮語を集中的に勉強したい学生を対象に、韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。

評価方法　期末試験、課題、授業中の参加などで総合的に評価する。

教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50294	A	韓国朝鮮語初級（インテンシヴ）	ジ ミンギョン	韓国朝鮮語	火 2	114	1 年 文科 理科

講義題目　韓国朝鮮語初級 インテンシヴ二列

授業の目標概要　必修授業に加えて韓国朝鮮語を集中的に勉強したい学生を対象に、韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。

評価方法　期末試験、課題、授業中の参加などで総合的に評価する。

教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50863	A	韓国朝鮮語初級（インテンシヴ）	金 東漢	韓国朝鮮語	木 4	102	1 年 文科 理科

講義題目　基礎知識の確立と定着(その 2)

授業の目標概要　基本的には S セメスターの続きになります。
下記は S セメスターのシラバスの内容なのでご参照ください。
韓国朝鮮語のネイティブ教員が担当するこの「インテンシヴ」クラスでは、文字と発音のルールを始め、初級レベルの文法・会話・作文などの総合演習を通じて、一列・二列の授業で学んだ知識の応用・発展と表現力の向上及び定着を目指していく。

評価方法　課題などの平常点＋最終週授業日の小テスト。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　「大学韓国語演習」
著者(訳者)　金東漢
出版社　白帝社
ISBN　978-4-86398-154-6

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50944	A	韓国朝鮮語初級（インテンシヴ）	ジ ミンギョン	韓国朝鮮語	金 2	162	1 年 文科 理科

講義題目　韓国朝鮮語初級 インテンシヴ二列

授業の目標概要　必修授業に加えて韓国朝鮮語を集中的に勉強したい学生を対象に、韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。

評価方法　期末試験、課題、授業中の参加などで総合的に評価する。

教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50072	A	韓国朝鮮語初級 （第三外国語）	ジ ミンギョン	韓国朝鮮語	月 2	107	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　韓国朝鮮語初級
授業の目標概要　韓国朝鮮語の文字（ハングル）と発音、基本的な助詞、数詞、用言の活用（現在形、過去形）を学習する。これらの文型と一緒に基礎語彙を増やしていくことで、簡単な会話や作文ができることを目指す。

評価方法　小テスト、課題、期末テスト
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　『根と幹』
著者(訳者)　生越直樹、生越まり子、池玟京
出版社　朝日出版社
ISBN　978-4-255-55639-0
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50243	A	韓国朝鮮語初級 （第三外国語）	張 銀英	韓国朝鮮語	火 1	119	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　韓国朝鮮語初級
授業の目標概要　できるだけ日本語を使わずに授業を行う。
文字と発音を確認しながら、基本的な文法と会話などを学ぶ。
「読む」「書く」「聴く」「話す」の基本をしっかり身に付けるようにする。
通年で行う授業。A セメスターは S セメスターの続きの学習内容になる。

評価方法　「小テスト」と「期末試験」と「課題」
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　easy Korean 1
著者(訳者)　Easy Korean Academy
出版社　Hangulpark （韓国）
ISBN　978-89-5518-726-7
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50281	A	韓国朝鮮語初級 （第三外国語）	岩井 智彦	韓国朝鮮語	火 2	10-304	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　韓国語初級
授業の目標概要　S セメスター火曜 2 限の初級クラスの続きで、同講義を履修した方を受講対象としています。初級後半レベルの文法項目、語彙表現を、確実に身につけることを目標とします。

評価方法　課題、小テストおよび期末テスト
教科書　その他　引き続き前学期の教科書を使用
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50774	A	韓国朝鮮語初級（第三外国語）	崔 泰源	韓国朝鮮語	木 2	1212	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　韓国朝鮮語初級の文法と会話

授業の目標概要　現代韓国朝鮮語の文字や発音から始め、基礎文法と語彙を体系的に学習し、基本的な自己紹介やレストランで簡単な注文ができる程度のコミュニケーション能力を身につけることを目指します。受講に際しての予備知識は要りませんが、文字が特殊なので最初の１ヶ月は、きちんと授業を受け、予習・復習を徹底する必要があります。

評価方法　期末テスト、小テスト、課題などに基づいて総合的に評価する

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　『根と幹（こんとかん)』
著者(訳者)　生越直樹・生越まり子・池玟京
出版社　朝日出版社

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50882	A	韓国朝鮮語中級（作文）	崔 泰源	韓国朝鮮語	木 5	149	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　韓国朝鮮語の作文練習(中級)

授業の目標概要　Ｓセメスターに引き続き、日常生活で必要な文章が自由に書ける程度の表現能力を身につけることを目指す。メールやエッセイ作成などの課題については、教師による添削をもとに誤用の分析と解説を行う。
※この授業は、2014 年度以前入学者のうち、既修/初修 韓国朝鮮語語二列③ の単位未取得者には、読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。

評価方法　期末課題、発表など

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50775	A	韓国朝鮮語中級（表現練習）	伊藤 英人	韓国朝鮮語	木 2	1224	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　韓国朝鮮語講読

授業の目標概要　日本漢字音と朝鮮漢字音の対応規則を学び、漢語を多く含む論説文の読解力を涵養する。

評価方法　授業時の発言、発表。訳読の正確さ　３０％
小テスト　５０％
期末テスト　５０％

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50073	A	韓国朝鮮語中級（読解）	植田 喜兵成智	韓国朝鮮語	木 4	156	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　韓国朝鮮語の文章の講読

授業の目標概要　韓国朝鮮語の新聞や雑誌の記事、小説、論説など様々な種類の文章を講読していく。授業は、文法の説明とともに、日本語に訳す場合の難しさ、その背景にある日本語との違いについて確認しながら進めていく。

評価方法　授業での発表

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51032	A	韓国朝鮮語上級（会話）	ジ ミンギョン	韓国朝鮮語	金 3	162	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　韓国朝鮮語上級（会話）

授業の目標概要　様々な会話場面における語彙と文型を覚えていくことで、的確な表現・伝達ができるように練習する。また、韓国朝鮮語らしい表現法を身につけ、コミュニケーション能力の向上を目指す。

評価方法　平常点、発表、期末レポート

教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50436	A	韓国朝鮮語上級（作文）	崔 泰源	韓国朝鮮語	火 4	1225	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　韓国朝鮮語作文(上級)

授業の目標概要　韓国の大学や大学院への留学も想定し、専門書籍や資料の理解、レポートや論文の作成ができるように、読解力と表現力の向上を目指す。また、日本語との違いを踏まえつつ韓国朝鮮語らしい表現法を身につける。課題として提出した作文やレポートは講師による添削と誤用の分析、解説を行う。

評価方法　期末テストと平常点（課題、発表など）

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

総合科目 L　イタリア語

イタリア語初級（演習）②	開講区分	A

授業の目標・概要　会話、作文など、イタリア語の表現の練習を中心に行い、より実践的なコミュニケーション能力の習得と文法知識の定着をめざします。

成績評価方法　平常点と繰上げ試験（最終授業時）。
教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50362	火 3	アンドレア チヴィーレ	K303	1 年 文三(6)
50982	金 3	アンドレア チヴィーレ	K303	1 年 文一二(6)

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50244	A	イタリア語初級（演習）	アンドレア チヴィーレ	フランス語・イタリア語	火 1	K301	1 年 理科

講義題目　イタリア語初級（演習）

授業の目標概要　習った文法の知識を復習しながら実際のコミュニケーションに結びつけることがを目指します。生きたイタリア語の材料を使いながら、ことばとして理解する力を高めながら、話したり書いたりする能力や意欲を高めることが目標です。S セメスターと A セメスターを通じて、コミュニケーション能力としての目標は下の通りです。

評価方法　学期末筆記試験（最終授業時）と平常点だけではなく、毎回の授業に積極的に参加しているか、総合的に評価します。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50864	A	イタリア語初級（会話）	マルコ ビオンディ	フランス語・イタリア語	木 4	K303	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　イタリア語初級会話

授業の目標概要　ネイティヴスピーカーの教員とともに、イタリア語の初歩を身につけながら、基本的なコミュニケーションと、自然な会話を学びます。

評価方法　成績評価の方法について
1) 全授業回数のうち、2/3 以上の出席が必須です。
2) 【イタリア語初級（会話)】授業中に行われる 2 回の小テストと期末試験を受けることが必須です。小テストの欠席者は次の授業で実施しますので必ず願い出てください。
3) 授業中の課題/アクティビティへの個人およびグループでの参加態度は評価の対象になります。
4) 科目への興味や習得したいという熱意は評価の対象になります。
出席/欠席について
1) 最終授業日には期末試験を行いますので、必ず出席してください。
2) 期末試験に欠席した学生は、出席回数が足りていても単位取得できません。
3) 病気、その他の正当な理由によって期末試験に欠席した学生は、できるだけ早く教師と連絡を取ってください。このような場合には、追試験を受けなくてはなりません。
4) インターンシップや就職活動が、やむを得ず授業日と重なる場合には、すみやかに教師に連絡してください。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50945	A	イタリア語初級（会話）	アンドレア チヴィーレ	フランス語・イタリア語	金 2	K301	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目

授業の目標概要　習った文法の知識を復習しながら実際のコミュニケーションに結びつけることがを目指します。生きたイタリア語の材料を使いながら、ことばとして理解する力を高めながら、話したり書いたりする能力や意欲を高めることが目標です。

評価方法　学期末筆記試験（最終授業時）と平常点だけではなく、毎回の授業に積極的に参加しているか、総合的に評価します。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50883	A	イタリア語初級（作文）	大崎 さやの	フランス語・イタリア語	木 5	152	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　イタリア語初級（作文）
授業の目標概要　イタリア語の初級文法を学びながら、作文の練習をします。

評価方法　平常点と期末試験（最終授業時に行います）
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　イタリア語練習問題集
著者(訳者)　ディ・ルッソ、長神、西本
出版社　白水社
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50946	A	イタリア語初級（作文）	野里 紳一郎	フランス語・イタリア語	金 2	158	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　イタリア語初級（作文）
授業の目標概要　本講義では、作文演習を主目的としているが、その前提としての基礎的な文法の知識、およびその運用力は不可欠であろうから、まずその習得を目標とする。作文の演習にも配慮しつつ、現代イタリア語の基礎文法の理解をはかっていくことにしたい。

評価方法　学期末試験。
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　イタリア語練習問題集
著者(訳者)　マリーサ・ディ・ルッソ 長神悟 西本晃二
出版社　白水社
ISBN　4-560-00739-xc3087
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50684	A	イタリア語初級 （表現練習）	マルコ ビオンディ	フランス語・イタリア語	水 5	K301	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　E allora…?
授業の目標概要　Questo corso è rivolto sia agli studenti che affrontano lo studio dellitaliano per la prima volta o con una conoscenza di ba se della lingua, sia a chi conosce già la grammatica ma vuole estendere la conoscenza del vocabolario e delle espressioni utili ad affrontare le situazioni più comuni della vita quotidiana.　（この講義は、初めてイタリア語を勉強しようとする人も、文法の基礎はあるがよりボキャブラリーや表現を広げて、日常的な場で使えるようになりたいという人も対象です）

評価方法　成績評価の方法について
1) 全授業回数のうち、2/3 以上の出席が必須です。
【共通イタリア語／イタリア語初級（表現練習）】教師より出された課題/アクティビティを行い学期末に筆記または口述試験を受験する必要があります。
2) 授業中の課題/アクティビティへの個人およびグループでの参加態度は評価の対象になります。
3) 科目への興味や習得したいという熱意は評価の対象になります。
出席/欠席について
1) 最終授業日には期末試験を行いますので、必ず出席してください。
2) 期末試験に欠席した学生は、出席回数が足りていても単位取得できません。
3) 病気、その他の正当な理由によって期末試験に欠席した学生は、できるだけ早く教師と連絡を取ってください。このような場合には、追試験を受けなくてはなりません。
4) インターンシップや就職活動が、やむを得ず授業日と重なる場合には、すみやかに教師に連絡してください。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50282	A	イタリア語初級（インテンシヴ）	日向 太郎	フランス語・イタリア語	火 2	107	1 年 文科 理科

講義題目　初級イタリア語（初修）の応用

授業の目標概要　初修クラス受講者が集中的にさらにイタリア語能力を向上させるためのコース。必修の時間にプラスして週に、読解・文法練習・作文を中心に運用能力をたかめる授業１コマと、会話聞き取りを中心に応用力をつけるネイティブの教員による授業１コマのあわせて２コマの両方を履修し、１年間のイタリア語学習によって、イタリア語の総合的な能力をしっかり身につけて定着させ、今後さまざまな分野で用いることを確かなものとすることが目標。映画や音楽など、生きたイタリア語イタリア文化に触れる。

評価方法　授業中の参加と、小テストなどの学期中の課題を考慮し、学期末の試験とあわせて評価する。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50713	A	イタリア語初級（インテンシヴ）	マルコ ビオンディ	フランス語・イタリア語	木 1	K303	1 年 文科 理科

講義題目　Bravissimo!

授業の目標概要　Questo corso è rivolto a chi desidera esercitarsi nellascolto e nella conversazione per il livello principiante -elementare intensivo (A1).初修イタリア語・国際コミュニケーションのイタリア語科目に加えて、聞き取り・会話をより集中的に勉強したい人が対象です。

評価方法　成績評価の方法について
1) 全授業回数のうち、2/3 以上の出席が必須です。
2) 【イタリア語初級（インテンシヴ）】授業中に行われる２回の小テストと期末試験を受けることが必須です。小テストの欠席者は次の授業で実施しますので必ず願い出てください。
3) 授業中の課題/アクティビティへの個人およびグループでの参加態度は評価の対象になります。
4) 科目への興味や習得したいという熱意は評価の対象になります。
出席/欠席について
1) 最終授業日には期末試験を行いますので、必ず出席してください。
2) 期末試験に欠席した学生は、出席回数が足りていても単位取得できません。
3) 病気、その他の正当な理由によって期末試験に欠席した学生は、できるだけ早く教師と連絡を取ってください。このような場合には、追試験を受けなくてはなりません。
4) インターンシップや就職活動が、やむを得ず授業日と重なる場合には、すみやかに教師に連絡してください。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50074	A	イタリア語初級（第三外国語）	野里 紳一郎	フランス語・イタリア語	月 2	164	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　イタリア語初級（第三外国語）I

授業の目標概要　イタリア語の基本文法の理解。

評価方法　学期末試験（最終授業時）

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50283	A	イタリア語初級（第三外国語）	宮坂 真紀	フランス語・イタリア語	火 2	108	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　初修イタリア語

授業の目標概要　イタリア語共通教科書（東京大学イタリア語教材編集委員会編『Italiano... in partenza! イタリア語のスタート』）を用いて、イタリア語の基礎を勉強します。A セメスターでは文字の読み方、文の組み立て方の学習から始めて、イタリア語の概要を理解するとともに初級レベルの文法の習得を目指します。

評価方法　学期中に随時提出してもらう課題と学期末試験の結果をもとに評価を行います。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　『Italiano... in partenza! イタリア語のスタート 文法と練習』
著者(訳者)　東京大学イタリア語教材編集委員会編
出版社　白水社
ISBN　978-4-560-01763-0

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50776	A	イタリア語中級（表現練習）	マルコ ビオンディ	フランス語・イタリア語	木 2	K303	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　イタリア語中級表現練習（Lingua italiana, espressioni di livello intermedio）

授業の目標概要　すでにイタリア語文法の基礎的な知識の上に、ネイティヴスピーカの教員とともに、自然な発音と会話の力や作文力・語彙力をつけることをめざします。受講者の希望等にも考慮しながら、ヴィデオ教材なども交えて、イタリア文化をテーマに授業をすすめる予定です。通年で開講していますが、セメスターごとに独立して受講することが履修上も内容としても可能です。

評価方法　成績評価の方法について
1) 全授業回数のうち、2/3 以上の出席が必須です。
【共通イタリア語／イタリア語中級（表現練習）】教師より出された課題/アクティビティを行い学期末に筆記または口述試験を受験する必要があります。
2) 授業中の課題/アクティビティへの個人およびグループでの参加態度は評価の対象になります。
3) 科目への興味や習得したいという熱意は評価の対象になります。
出席/欠席について
1) 最終授業日には期末試験を行いますので、必ず出席してください。
2) 期末試験に欠席した学生は、出席回数が足りていても単位取得できません。
3) 病気、その他の正当な理由によって期末試験に欠席した学生は、できるだけ早く教師と連絡を取ってください。このような場合には、追試験を受けなくてはなりません。
4) インターンシップや就職活動が、やむを得ず授業日と重なる場合には、すみやかに教師に連絡してください。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50179	A	イタリア語中級（読解）	山﨑 彩	フランス語・イタリア語	月 4	114	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　イタリア語中級（読解）

授業の目標概要　イタリア語の基本的な文法を学習し終えた人を対象とします。イタリア語のテクスト（20 世紀以降に書かれた小説あるいはエッセイ）を精読し、イタリア語の読解力の向上を目指します。授業で扱うテクストは受講者の興味や、どの程度イタリア語の学習経験があるのかなどを考慮して決めます。

評価方法　毎回の授業に十分予習して積極的に参加しているか、文法事項・作品の内容などをどれだけ理解しているかを、総合的に評価します。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50668	A	イタリア語中級（インテンシヴ）	村松 真理子	フランス語・イタリア語	水 4	151	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　中級イタリア語の応用

授業の目標概要　初修クラス受講者を中心に、集中的にさらにイタリア語能力を向上させるための中級コース。読解・文法練習・作文を中心に運用能力をたかめる授業と、会話聞き取りを中心に応用力をつけるネイティブの教員による中級の授業の両方を履修することを推奨する。1 年間の初修イタリア語クラスで身につけられる基礎の上に、イタリア語の総合的な能力を定着させ、さまざまな専門分野で運用するための能力を養成することを目指す。

評価方法　授業中の参加と、小テスト・作文などの学期中の課題を考慮し、学期末の試験とあわせて評価する。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50919	A	イタリア語中級（インテンシヴ）	マルコ ビオンディ	フランス語・イタリア語	金 1	K401	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　中級イタリア語の応用

授業の目標概要　初修クラス受講者が集中的にさらにイタリア語能力を向上させるための中級コース。読解・文法練習・作文を中心に運用能力をたかめる授業 1 コマと、会話聞き取りを中心に応用力をつけるネイティブの教員による授業 1 コマのあわせて 2 コマの両方を履修する。1 年間の初修イタリア語学習の基礎の上に、イタリア語の総合的な能力を定着させ、さまざまな専門分野で運用するための能力を養成する。

評価方法　成績評価の方法について
1) 全授業回数のうち、2/3 以上の出席が必須です。
2) 【イタリア語中級（インテンシヴ）】授業中に行われる 2 回の小テストと期末試験を受けることが必須です。小テストの欠席者は次の授業で実施しますので必ず願い出てください。
3) 授業中の課題/アクティビティへの個人およびグループでの参加態度は評価の対象になります。
4) 科目への興味や習得したいという熱意は評価の対象になります。
出席/欠席について
1) 最終授業日には期末試験を行いますので、必ず出席してください。
2) 期末試験に欠席した学生は、出席回数が足りていても単位取得できません。
3) 病気、その他の正当な理由によって期末試験に欠席した学生は、できるだけ早く教師と連絡を取ってください。このような場合には、追試験を受けなくてはなりません。
4) インターンシップや就職活動が、やむを得ず授業日と重なる場合には、すみやかに教師に連絡してください。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50947	A	イタリア語上級（会話）	マルコ ビオンディ	フランス語・イタリア語	金 2	K401	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　Facciamo un passo avanti!

授業の目標概要　Questo corso è rivolto sia per chi desidera esercitarsi nellascolto e nella conversazione per il livello avanzato (B1)..

評価方法　成績評価の方法について
1) 全授業回数のうち、2/3 以上の出席が必須です。
2) 【共通イタリア語／イタリア語上級（会話)】授業中に行われる２回の小テストと期末試験を受けることが必須です。小テストの欠席者は次の授業で実施しますので必ず願い出てください。
3) 授業中の課題/アクティビティへの個人およびグループでの参加態度は評価の対象になります。
4) 科目への興味や習得したいという熱意は評価の対象になります。
出席/欠席について
1) 最終授業日には期末試験を行いますので、必ず出席してください。
2) 期末試験に欠席した学生は、出席回数が足りていても単位取得できません。
3) 病気、その他の正当な理由によって期末試験に欠席した学生は、できるだけ早く教師と連絡を取ってください。このような場合には、追試験を受けなくてはなりません。
4) インターンシップや就職活動が、やむを得ず授業日と重なる場合には、すみやかに教師に連絡してください。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50630	A	イタリア語上級（作文）	マルコ ビオンディ	フランス語・イタリア語	水 3	K301	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　イタリア語上級作文（Lingua italiana- composizione di livello avanzato）

授業の目標概要　Lobiettivo del corso è imparare come scrivere un testo accademico.
Redarre un testo accademico non è una cosa facile, non lo è neanche nella propria lingua. Scriverlo in unaltra lingua porta la sfida a un nuovo livello.
La scrittura accademica è piena di strutture e frasi fisse che sono probabilmente presenti anche nella tua lingua madre.

評価方法　Compiti durante il semestre e il test alla conclusione del corso

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50685	A	イタリア語上級（読解）	野里 紳一郎	フランス語・イタリア語	水 5	152	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　イタリア語上級講読

授業の目標概要　テクストの精読により基礎文法の知識をいかに運用して行くかをトレーニングする。

評価方法　講義最終日に、辞書持ち込み可にて全訳の試験を課す（予定)。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

総合科目 L　その他外国語

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50295	A	アラビア語初級（会話）	エベード イハーブ	古典語・地中海諸言語	木 2	K301	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　アラビア語初級（会話）

授業の目標概要
This course is offered by courtesy of the Arabic Islamic Institute in Tokyo (AIIT). The aim of the course is to acquaint the students with the fundamentals of the Arabic language. The emphasis will be on conversation, and the students will be taught to speak Arabic in the correct way using essential and useful daily life expressions. The students will also be introduced to the basics of Arabic writing and grammar, as well as to elements of Arabic art and culture. The classes will be conducted by Ehab Ebeid as a native-speaking adjunct lecturer.

評価方法　The evaluation will be based on attendance and participation, as well as small tests conducted in class time.

教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50378	A	アラビア語初級 （第三外国語）	濱田 聖子	古典語・地中海諸言語	火 3	1224	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　アラビア語初級

授業の目標概要
1 年間で、正則アラビア語（フスハー）の文法を概観する。辞書を用いて、アラビア語の文章が読解できるようになることを目指す。

評価方法　毎回の課題提出と学期最後のテストで評価します。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　現代アラビア語入門
著者(訳者)　黒柳恒男・飯森嘉助
出版社　大学書林
ISBN　978-4-475-01838-8

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50690	A	アラビア語初級 （第三外国語）	杉田 英明	古典語・地中海諸言語	水 5	1223	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　アラビア語初級 （第三外国語） II

授業の目標概要
アラビア文字の読み方から始めて，1 年間で文語文法の構造を概観します。毎回，教科書の練習問題を割り当てますので，自宅での作業が不可欠です。

評価方法　期末試験（75%）と提出物（25%）によります。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　現代アラビア語入門
著者(訳者)　黒柳恒男・飯森嘉助
出版社　大学書林
ISBN　4-475-01838-2

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50669	A	アラビア語中級（第三外国語）	杉田 英明	古典語・地中海諸言語	水 4	103	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　アラビア語中級 （第三外国語） II

授業の目標概要　初級文法を一通り終えた方を対象に，文法事項を確認しながら，母音符号の付いた比較的簡単な読み物を講読します。自分で辞書を引きながら，文章の意味が取れるようになることを目標とし，母音符号のない文章が自由に読めるようになるまでの橋渡しをいたします。

評価方法　訳読の分担によります。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50828	A	ヒンディー語初級（第三外国語）	藤井 毅	アジア・日本研究コース	木 3	1211	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　ヒンディー語（初級）：Introductory Hindi

授業の目標概要　インド共和国の連邦公用語であり、北インド出身のインド系移民のなかでも広く用いられ、推定話者人口 5 億人超を有する「共通標準ヒンディー語」を学びます。

表記に用いるデーヴァナーガリー文字と音声をすでに修得したとの前提のもと、秋学期で指定教科書の残り部分 11 課から 18 課までを終えることを目標とします。

評価方法　初回の授業を除き、毎回宿題が出ます。その出来を判断します。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名　Complete Hindi (Teach Yourself Series)
著者（訳者）　Rupert Snell and Simon Weightman
出版社　Teach Yourself
ISBN　9781444106831

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50866	A	ヒンディー語中級（第三外国語）	藤井 毅	アジア・日本研究コース	木 4	1211	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　ヒンディー語（中級）・読解：Intermediate Hindi course/ Reading

授業の目標概要　インド共和国の連邦公用語であり、北インド出身のインド系移民のなかでも広く用いられ、推定話者人口 5 億人超を有する「共通標準ヒンディー語」を学びます。

ヒンディー語（初級）で用いたテキストの知識に基づき、実際のヒンディー語文を読むことにより、より深い知識を身につけることを目指します。

評価方法　初回の授業を除き、毎回、指定テキストの予習が不可欠になります。その出来を判断します。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50829	A	インドネシア語初級（第三外国語）	高地 薫	アジア・日本研究コース	木 3	1221	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　インドネシア語入門 2 (Indonesian language for beginners)

授業の目標概要　インドネシア語はローマ字表記で、発音も日本人にとって比較的容易で、文法の簡易な言語である。この授業では、S タームにインドネシア語を履修した学生を対象に、文章を読むために必要なインドネシア語の基本文法を完成することを目的とする。
A タームでは、S タームにおける授業内容を前提に授業を進める。

評価方法　学期末テスト

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50867	A	インドネシア語中級（第三外国語）	高地 薫	アジア・日本研究コース	木 4	1221	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　インドネシア語中級 (Indonesian language for Intermediate Students)

授業の目標概要　この授業では、インドネシア語既習者を対象に、原文の精読をする。講読するテクストは広い分野から新聞や雑誌の記事、エッセイ、短編小説などを用いる。

評価方法　演習の内容により評価する。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51067	A	ベトナム語初級（第三外国語）	加藤 栄	アジア・日本研究コース	金 4	154	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　ベトナム語初級

授業の目標概要　夏学期の学習をふまえ、引き続きベトナム語の初級文法を学ぶ。冬学期の授業では、基本文型を用いた口頭練習ばかりでなく、平易な会話文や読み物を辞書を使って読めるようになることも目標としている。

評価方法　課題の提出、小テスト、定期試験の成績をもとに総合的に評価する。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50296	A	ベトナム語中級（第三外国語）	大泉 さやか	アジア・日本研究コース	火 2	115	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　ベトナム語文献講読

授業の目標概要　ベトナム語文献の初歩的な読解力を身につけることを目標とする。

評価方法　授業における音読、訳読を見て、総合的に判断する。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50691	A	広東語初級 （第三外国語）	吉川 雅之	中国語	水 5	10-204	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　香港広東語の入門と初級

授業の目標概要
　広東語は香港と澳門（マカオ）で第 1 言語である他、中国国内では広東省・広西壮族自治区・海南省の華南 3 地域を覆うリンガ・フランカ（広域共通語）として、またベトナムやマレーシア、シンガポールを始めとする東南アジア及び世界の華僑社会では現地語や英語に次ぐ有力言語として広く使用されています。中国語の中では民族共通語（普通話）に次ぐ影響力を誇り、使用人口は全世界で約 8000 万人と推定されます。また文学作品・漫画・映画・歌謡曲・新聞雑誌記事などが広東語で書かれることも多く、香港を発信地とした文化的影響力が日本社会にまで及んでいることは周知の事実です。
　この授業では社会的に均質で、対外的に影響力の最も大きい香港の広東語について入門から初級のレベルの習得を目指します。

評価方法
１．期末試験と小テスト、平常点から算出します。
２．平常点は、授業中の積極的な態度・学習姿勢を重視します。
３．小テストは随時行います。

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　香港粤語［基礎会話］
著者(訳者)　吉川雅之
出版社　白帝社
ISBN　978-4-86398-094-5

ガイダンス
特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50560	A	ヘブライ語初級 （第三外国語）	飯郷 友康	アジア・日本研究コース	水 2	761	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　ヘブライ語文法初歩

授業の目標概要
　ユダヤ文化を深く理解するために、また中東情勢の一端を把握するために、ヘブライ語の知識は欠かせない。この重要な、そして面白い言語の初歩を、なるべく実用的、実践的に習得したいと思う。ひとまずの目標は、自力で辞書を検索できるようになること──すなわち、文法の基礎を把握すること。そして、ある程度の複雑な長文を理解し得る読解力を身につけること。

評価方法
単元を終えるごとに簡単な宿題、また期末にレポートの提出を課す。

教科書
教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス
特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50297	A	ペルシア語初級（第三外国語）	前田 君江	アジア・日本研究コース	火 1	K201	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　ペルシア語会話と読解

授業の目標概要　授業の目標は、以下の 3 点である。
１）ペルシア語文法のうち、とくに、動詞時制と複文構造を理解し覚えること。
２）学習した文法を、実際の文章作成（とくに話すこと）において使いこなせること。
３）ペルシア語の文章に慣れ、辞書を使いこなしながら、読解できること。
全体的には、ペルシア語 3 分間スピーチ、教科書に沿った文法学習と練習、単語の小テスト、文章読解を行う（詳細は「授業の方法」を参照）

評価方法　以下の 2 点で評価する。
１）授業内での課題や小テスト
２）期末試験
期末試験の内容については、学期末に授業内で指示する。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　ペルシア語の文法 初級編
著者(訳者)　前田君江、ソホラーブ・アーザルパランド
出版社　三恵社
ISBN　9784866930053

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50954	A	セルビア・クロアチア語 初級（第三外国語）	山崎 信一	ロシア語	金 2	156	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　セルビア・クロアチア語（初級）

授業の目標概要　セルビア・クロアチア語の初等文法の基礎の学習を終えた者を対象に、読解力向上のための平易な文章の購読を行う。あわせて、文法事項の復習、簡単な会話の練習、簡単な聞き取りの練習などの機会を設ける。

評価方法　平常点による。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51068	A	ポーランド語初級（第三外国語）	小椋 彩	ロシア語	金 4	158	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　ポーランド語初級

授業の目標概要　引き続きポーランド語の基礎的な文法を学ぶ。簡単な会話ができ、辞書を活用できることを目標とする。

評価方法　平常点と期末試験

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　ニューエクスプレスポーランド語
著者(訳者)　石井哲士朗、三井レナータ
出版社　白水社
ISBN　9784560067949

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50631	A	タイ語初級 （第三外国語）	浅見 靖仁	アジア・日本研究コース	水 3	518	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　タイ語初級（ภาษาไทยเบื้องต้น）

授業の目標概要　Ｓセメスターからの継続。原則として、Ｓセメスターの授業を履修した学生のみに受講を認めますが、すでにタイ語の基礎的知識を持っている学生については、Ａセメスターのみの履修も認めます。Ａセメスターの前半は、テキスト第 11 課までを２週間に３課のペースで扱います。A セメスター後半は、タイ語で書かれたウェブサイト上の記事や子供向けの本などを教材として用い、タイ語の読解力を向上させます。辞書を引けば、タイ語で書かれたウェブサイトなどを理解できるようになるのが目標です。

評価方法　宿題 10%、期末試験 90%。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　ニューエクスプレス タイ語
著者(訳者)　水野潔
出版社　白水社
ISBN　978-4560067819

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50886	A	ポルトガル語初級 （第三外国語）	牧野 真也	スペイン語	木 5	151	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　ポルトガル語の基礎

授業の目標概要　ポルトガル語を初めて学習する人を対象としており、S セメスターの講義と併せて通年でポルトガル語の基礎的な文法を学びます。

評価方法　授業最終日の筆記試験で評価しますが、欠席 1/4 以上で受験資格を失いますので留意してください。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50868	A	ポルトガル語中級 （第三外国語）	牧野 真也	スペイン語	木 4	151	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　ポルトガル語の基礎

授業の目標概要　ポルトガル語の初歩的な知識を有する者を対象としており、ポルトガル語（初級）とポルトガル語（中級・夏学期）の履修内容を土台として読解力と聴解力を身に付けることを目指します。

評価方法　出席点 5 割＋平常点 5 割（講読の割り当て部分の発表など）で 60 点以上を合格とします。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50204	A	台湾語初級（第三外国語）	王 嵐	中国語	月 5	104	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　台湾語会話

授業の目標概要
　台湾語は、もとは中国の８大方言区のうちの「閩南語」であり（「閩」は古来福建省の別称)、17 世紀の初頭以来、中国の福建省南部より台湾に大挙して移住 してきた人々の子孫によって使われ始め、現在では、台湾「第二の公用語」とされ、60％以上の台湾人が使用している。台湾語の文法や音韻根幹は福建閩南語 とほぼ同じだが、語彙の面において若干異なる。
　この授業は、台湾に興味を抱く人のために、台湾語の発音や表記を学習し、名詞・動詞・形容詞等、簡単な日常会話及び基礎文法を学ぶ。

評価方法　平常点（授業への取り組み・出席状況）及び期末試験によって評価する。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　ニューエクスプレス台湾語
著者(訳者)　村上嘉英
出版社　白水社
ISBN　978-4-560-00364-0

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50247	A	モンゴル語初級（第三外国語）	荒井 幸康	アジア・日本研究コース	火 1	157	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　モンゴル語

授業の目標概要
　本授業は、夏学期履修者を前提とした授業である。
　夏学期に引き続き、初歩的な文法および語彙を習得し、辞書を引きつつ、新聞が読める程度の語学力を身につけることを目標とする
　会話では、適切な質問文をつくり、5 分程度の会話を成立させることを目標とする
　また、モンゴル語の背景にある文化を織り込んだ話題を購読に織り込み、モンゴル文化への理解を深める

評価方法　毎回小テストを行う予定であるので、その点数と
最終テストおよび、授業での発言で評価する

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　すぐに役立つ最新モンゴル語会話
著者(訳者)　近藤和正
出版社　テンブックス
ISBN　4886960359

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50379	A	トルコ語初級（第三外国語）	高松 洋一	アジア・日本研究コース	火 3	1226	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　現代トルコ語初級文法入門 2

授業の目標概要
　現代トルコ語の初級文法を習得する。S・A 両セメスターの通年で完結するため、A セメスターは、S セメスターの既習箇所の継続となる。最終的に新聞･雑誌等のトルコ語のテキストを辞典をひきながら読めるようになることをめざす。A セメスターでは、受動の動詞、動詞の提案形、命令形、願望形、後置詞、可能の動詞、動名詞、副動詞、形動詞などを中心に学習し、初級文法をひととおりマスターすることを目標とする。

評価方法　原則として学期末の試験の成績をもとに評価するが、随時行なう課題レポートも考慮することがありうる。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　『トルコ語文法 初級・中級 改訂版』
著者(訳者)　東京外国語大学 トルコ語専攻 編
出版社　東京外国語大学生活協同組合出版部
ISBN　978-4-903386-18-8

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50437	A	トルコ語中級 （第三外国語）	高松 洋一	アジア・日本研究コース	火 4	1226	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　トルコ語中級文献講読 2

授業の目標概要　文献講読を通じて、現代トルコ語の初級文法をいちおう習得した者を対象に、既習・未習の文法事項を整理しつつ、語彙を増やしてトルコ語テキスト読解のスキルを身につけることを目標とする。どのようなテキストに出会っても辞典さえあれば自分で問題を解決できるようになることを目指したい。 あわせて講読する文献の内容を通じて、トルコの社会・文化・歴史などに関する知識を深めることも期待したい。

評価方法　学期末に試験は行わない。毎回指名してやってもらう訳読によって評価する。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50009	A 1	日本語上級	宇佐美 洋	日本語	月 1	10-201	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　論文執筆・アカデミックライティング（準備編）

授業の目標概要　※この授業は留学生向けの授業です。日本語を母語とする学生は履修できません。
大学では，それぞれの専門分野において，自ら問題を設定し，情報・データを収集したうえで考察を加え，その内容を日本語で，論文やレポートとしてまとめていくことが求められます。ただしそのためには，適切な方法論に基づき，準備を行っていくことが必要です。
　この授業では，日本語で論文やレポートを執筆していくために必要となる，基本的な考え方のトレーニングを行っていきます。さらに，学生自身が作成した論文アウトラインや論文そのものを相互に読み，批判的に評価し，かつ建設的なコメントを与え合うことで，自分なりの「論文観」を確立していくことを目指します。

評価方法　授業への参加状況（出席・小課題への回答等を含む）
授業でのプレゼンテーション（学生同士の相互評価）・最終レポート

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60001	A 2	日本語上級	宇佐美 洋	日本語	月 1	10-201	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　論文執筆・アカデミックライティング（実践編）

授業の目標概要　大学では，自ら問題を設定し，情報・データを収集したうえで考察を加え，その内容を日本語で，論文やレポートとしてまとめていくことが求められます。ただしそのためには，適切な方法論に基づき，準備を行っていくことが必要です。
　この授業では，自分にとって興味ある問題を見つけ，その問題について自らデータ収集を行って，実際に小論文を執筆し，相互批評を行う，というプロセスを実践します。

評価方法　授業への参加状況（出席・小課題への回答等を含む）
最終プレゼンテーション・レポート

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50205	A 1	日本語上級	大久保 雅子	日本語	月 5	10-205	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　アカデミック・プレゼンテーションのための発音／Academic presentation and pronunciation

授業の目標概要
授業でのスピーチ、ゼミ発表、学会発表等のアカデミック・プレゼンテーションに必要な発音スキルの向上を目指す。
また、ニュース等の動画を活用した発音練習により、なめらかな発音を身につける。概要は以下のとおりである。
1）ニュース等の生素材を活用し、発音練習を行う。
2）自分の発音を音響解析し、発音上の問題点を把握する。
3）自分や他者の発音を振り返り、問題点を改善させる。
4）日本語の正しいアクセント・イントネーションを知る。
5）聞き手に伝わりやすいスピーチ・プレゼンテーションの発音を身につける。

評価方法
録音課題 30%
スピーチ・プレゼンテーション 30%
授業中の課題 40%

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60008	A 2	日本語上級	大久保 雅子	日本語	月 5	10-205	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　アカデミック・プレゼンテーションのための発音／Academic presentation and pronunciation

授業の目標概要
授業でのスピーチ、ゼミ発表、学会発表等のアカデミック・プレゼンテーションに必要な発音スキルの向上を目指す。
また、ニュース等の動画を活用した発音練習により、なめらかな発音を身につける。概要は以下のとおりである。
1）ニュース等の生素材を活用し、発音練習を行う。
2）自分の発音を音響解析し、発音上の問題点を把握する。
3）自分や他者の発音を振り返り、問題点を改善させる。
4）日本語の正しいアクセント・イントネーションを知る。
5）聞き手に伝わりやすいスピーチ・プレゼンテーションの発音を身につける。

評価方法
録音課題 30%
スピーチ・プレゼンテーション 30%
授業中の課題 40%

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50248	A 1	日本語上級	宇佐美 洋	日本語	火 1	10-201	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　論文執筆・アカデミックライティング（準備編）

授業の目標概要
※この授業は留学生向けの授業です。日本語を母語とする学生は履修できません。
大学では，それぞれの専門分野において，自ら問題を設定し，情報・データを収集したうえで考察を加え，その内容を日本語で，論文やレポートとしてまとめていくことが求められます。ただしそのためには，適切な方法論に基づき，準備を行っていくことが必要です。
この授業では，日本語で論文やレポートを執筆していくために必要となる，基本的な考え方のトレーニングを行っていきます。さらに，学生自身が作成した論文アウトラインや論文そのものを相互に読み，批判的に評価し，かつ建設的なコメントを与え合うことで，自分なりの「論文観」を確立していくことを目指します。

評価方法
授業への参加状況（出席・小課題への回答等を含む）
授業でのプレゼンテーション（学生同士の相互評価）・最終レポート

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60009	A 2	日本語上級	宇佐美 洋	日本語	火 1	10-201	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　論文執筆・アカデミックライティング（実践編）

授業の目標概要　大学では，自ら問題を設定し，情報・データを収集したうえで考察を加え，その内容を日本語で，論文やレポートとしてまとめていくことが求められます。ただしそのためには，適切な方法論に基づき，準備を行っていくことが必要です。

この授業では，自分にとって興味ある問題を見つけ，その問題について自らデータ収集を行って，実際に小論文を執筆し，相互批評を行う，というプロセスを実践します。

評価方法　授業への参加状況（出席・小課題への回答等を含む）
最終プレゼンテーション・レポート

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50717	A 1	日本語上級	奥川 育子	日本語	木 1	10-205	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　「テーマで考え議論する日本語 - Active Learning in JSL -」と連動する精読・語彙・ライティング

授業の目標概要　「基礎科目日本語一列(2)」『テーマで議論する日本語 - Active Learning in JSL -』でのテーマや読解テクスト・活動と連動して、構文・語彙習得、正確な精読と要約を行いつつ、ライティングやプレゼンテーション発表を行う。
一列授業と連動し、相互に相補的な活動を行う 。それぞれの授業目的・概要や履修方法等詳細は、初回授業での説明、および、それぞれの授業シラバスを参照のこと。

評価方法　出席、授業参加度、課題、クイズ、発表

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　『テーマで考え議論する日本語 - Active Learning in JSL - 』

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60175	A 2	日本語上級	奥川 育子	日本語	木 1	10-205	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　『テーマで考え議論する日本語 - Active Learning in JSL -』と連動する精読・ライティング・プレゼンテーション

授業の目標概要　『基礎科目日本語一列』でのテーマや読解テクスト・活動と連動し、アクティブラーニングのプレゼンテーション・レポート執筆を行う。一列授業と連動しつつ、相互に相補的な活動を行う。それぞれの授業目的・概要や履修方法等詳細は、初回授業での説明、および、それぞれの授業シラバスを参照のこと。

評価方法　出席、授業参加度、課題、発表、レポート

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　『テーマで考え議論する日本語 - Active Learning in JSL - 』

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50887	A 1	日本語上級	大久保 雅子	日本語	木 5	10-205	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　アカデミック・プレゼンテーションのための発音／Academic presentation and pronunciation

授業の目標概要
授業でのスピーチ、ゼミ発表、学会発表等のアカデミック・プレゼンテーションに必要な発音スキルの向上を目指す。
また、ニュース等の動画を活用した発音練習により、なめらかな発音を身につける。概要は以下のとおりである。
1）ニュース等の生素材を活用し、発音練習を行う。
2）自分の発音を音響解析し、発音上の問題点を把握する。
3）自分や他者の発音を振り返り、問題点を改善させる。
4）日本語の正しいアクセント・イントネーションを知る。
5）聞き手に伝わりやすいスピーチ・プレゼンテーションの発音を身につける。

評価方法
録音課題 30%
スピーチ・プレゼンテーション 30%
授業中の課題 40%

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60180	A 2	日本語上級	大久保 雅子	日本語	木 5	10-205	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　アカデミック・プレゼンテーションのための発音／Academic presentation and pronunciation

授業の目標概要
授業でのスピーチ、ゼミ発表、学会発表等のアカデミック・プレゼンテーションに必要な発音スキルの向上を目指す。
また、ニュース等の動画を活用した発音練習により、なめらかな発音を身につける。概要は以下のとおりである。
1）ニュース等の生素材を活用し、発音練習を行う。
2）自分の発音を音響解析し、発音上の問題点を把握する。
3）自分や他者の発音を振り返り、問題点を改善させる。
4）日本語の正しいアクセント・イントネーションを知る。
5）聞き手に伝わりやすいスピーチ・プレゼンテーションの発音を身につける。

評価方法
録音課題 30%
スピーチ・プレゼンテーション 30%
授業中の課題 40%

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51086	A 1	日本語上級	大久保 雅子	日本語	金 5	10-205	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　文学作品を読む・味わう・まとめる・伝える

授業の目標概要
目標：日本の近代から現代にかけての文学に焦点をあて、作品に親しみながら、読む力、まとめる力、伝える力を養うことを目的とする。
概要：様々な文学作品に触れることで、内容理解の力、語彙力を高める。さらに、読んだ内容をわかりやすくまとめ、作品について話し合う活動を行う。最終的には、自分の選んだ作品の内容をまとめ、その作品の良さを伝えるレポートを作成する。

評価方法　クイズ・課題・最終レポート・発表・出席・授業への貢献度（グループ・ペアワークへの参加など）を総合的に評価する。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60185	A 2	日本語上級	木村 政樹	日本語	金 5	10-205	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　日本の近代小説を読む

授業の目標概要　授業の目標：日本の近代小説を読むことで、文章を理解する力、語彙力、思考力を身につける。
授業の概要：いくつかの日本の近代小説をじっくり読むことで、言葉の意味や表現の豊かさを学ぶ。その際、時代背景や当時の社会状況について知ることで、日本文化についての理解を深める。最終回では、作品ひとつを選んで、その魅力について発表する。また、選んだ作品についてのレポートを提出する。

評価方法　毎回の授業の参加度や、発表・レポート等に基づき、総合的に評価する。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50718	A	古典語初級 （ギリシア語）Ⅱ	上野 愼也	古典語・地中海諸言語	木 1	8-420	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　古典ギリシア語の手ほどき（のつづき）

授業の目標概要　古典ギリシア語で綴られた平易な文章を読解するための力を培う。

評価方法　平常点と期末試験による。平常点とは、授業時間中、教科書の問題演習をする際に、自己の予習結果を発表する事で積み上がる点の事を謂う。「出席点」なるものは存在しない。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
書名　古典ギリシア語初歩
著者(訳者)　水谷知洋
出版社　岩波書店
ISBN　4000008293

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51087	A	古典語初級（ギリシア語）Ⅱ	松浦 高志	古典語・地中海諸言語	金 5	117	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　古典ギリシア語初級（後半）

授業の目標概要

※当授業は S セメスターの「古典ギリシア語初級（前半）」（科目名：「古典語初級（ギリシア語）I」）の続きである．これを履修していない場合，その内容を自習しておく必要がある．当授業の第 1 回で扱う内容は以下の「授業計画」と「関連ホームページ」に記載されているので確認しておくこと．

1, 目標

初級文法を 1 年かけて学び，古典ギリシア語で書かれた簡単な文章を読めるようにし，難しい文章であっても文法書と辞書を使えば何とか読めるようにする．

一般に古典ギリシア語を学ぶにはかなりの負担を覚悟しなければならないと思われている．したがって，そのために学修をためらったり，途中であきらめてしまう場合も少なくないと思われる．できるだけそのようにならないよう，履修者の理解度や自宅学習の時間を適宜確認しつつ，学修内容・進度と自宅学習の時間を調整するので，ためらわずに履修してほしい．

2, 古典ギリシア語

ギリシア語の重要性については改めて説明するまでもないだろう．古代ギリシア文明は西洋文化の原点であり，西洋文化の根底にあるものを知ろうとすれば，必然的に古代ギリシア文明に触れることになる．古代ギリシア語を学ぶのは容易とは言えないが，これを学ぶと，古代ギリシア語が擁する哲学・歴史学・文学・科学などあらゆる分野の膨大な文献に直接触れることができ，それらがどのように西洋文明やその他の文明に影響を与えているのかを知ることができるようになる．

　ギリシア語の文献は紀元前 15 世紀頃の線文字 B 粘土板にさかのぼる．使用地域はやがて東地中海地域から地中海地域全体へ，一時はさらにインド方面にまで広がった．古典ギリシア語とは，紀元前 5–4 世紀にアテーナイを中心とする地域で使われていたギリシア語のことを言う．これを学べば，ホメーロス（紀元前 8 世紀頃）から中世ギリシア語に至るまでの各時代・地域のギリシア語や新約聖書のギリシア語も容易に習得できる．文献の豊富さゆえにラテン語，サンスクリット語などとともに印欧比較言語学に豊富な資料を提供するという点でもギリシア語は重要である．

評価方法

「古典ギリシア語初級（前半）」（S セメスター）とは異なり，学期末試験は実施しない．小テスト（50 点），練習問題の発表状況・原典講読の訳読状況（50 点）で評価する．

練習問題を解く際は，単語の形態（名詞なら性・数・格，動詞なら法・時称・相・数・人称など）をきちんと調べておき，また構文や語法については教科書のどの節に説明があるかを調べておくと上達が早い．すなわちそのようにすれば，教科書の練習問題や学期末試験の問題をよく理解して解くことができ，ギリシア語の原典も正確に理解することができるようになる．単に上手（に見えるよう）な和訳ができただけでは評価を得ることができないことに注意せよ．逆に和訳がぎこちなかったとしても，形態や構文等について教科書の内容をきちんと理解した上でのものであれば評価は高くなる．

教科書

次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名　『古典ギリシア語初歩』
著者(訳者)　水谷智洋
出版社　岩波書店
ISBN　978-4-00-000829-7
その他　3,500 円＋税（ただし変更されることがある）

ガイダンス

特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50777	A	古典語中級（ギリシア語）Ⅱ	上野 愼也	古典語・地中海諸言語	木 2	8-420	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　古典ギリシア語散文講読

授業の目標概要

　古典期（前五～四世紀）のアッティカ方言で綴られた散文を精読する。初級で習得した文法の運用能力を錬磨し、実際の読解に必要な作品の背景について基礎知識を蓄える。

評価方法　平常点による。毎回の訳読の首尾を以てこれに当てる。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50438	A	古典語初級（ラテン語） I	ヘルマン ゴチェフスキ	古典語・地中海諸言語	火 4	学際交流ホール	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　ラテン語初級（１）–名詞形容詞変化と動詞の現在形を中心に

授業の目標概要　ラテン語は古代から近代まで広く使われた言語で、さまざまな学問分野で読まれる文献も多種多様だが、その基礎勉強を提供するこの授業は古代（紀元前後一世紀ごろ）の「古典語」の文法と基礎単語を一年間のコースで身に付けることを目標としている。

評価方法　試験（最後の授業で実施）

教科書　その他　教科書は以下の二冊を使います。生協でお買い求め下さい。生協で手に入らない場合（過去には有った）授業で教科書を手配します。Hans H. Ørberg Lingua Latina per se Illustrata, Pars I: Familia RomanaFocus Publishing 同書の練習問題：Hans H. Ørberg Lingua Latina per se Illustrata, Exercitia Latina IFocus Publishing

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50010	A	古典語初級（ラテン語） II	井上 秀太郎	古典語・地中海諸言語	月 1	8-416	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　ラテン語初級

授業の目標概要　辞書を使って独力でラテン語の簡単な文章が読めるように、基本的な文法事項を身につける。

評価方法　平常点と期末テストに基づいて評価する

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　標準ラテン文法
著者(訳者)　中山恒夫
出版社　白水社
ISBN　ISBN978-4-560-01761-6

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50075	A	古典語中級（ラテン語） II	井上 秀太郎	古典語・地中海諸言語	月 2	8-416	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　ラテン語散文講読

授業の目標概要　元首政時代の散文を丁寧に読むことにより、ラテン語を読解する能力を向上させる。初級の授業で身につけた知識、特に文法的な事項を逐一確認しながら、読み進めていく。
授業では小プリニウスの『書簡集』を読んでいく。文中に盛り込まれた古代ローマの社会、文化、政治に関する豊富な情報と合わせ、帝政ローマを代表する文人政治家の端正なラテン語を味わってほしい。

評価方法　平常点に基づいて評価する。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50249	A	古典語初級 （サンスクリット語）II	加藤 隆宏	アジア・日本研究コース	火 1	156	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　サンスクリット初級文法 (II)

授業の目標概要

古典サンスクリット語の初級文法を習得し、平易なサンスクリット文を読解する運用力を養成することをめざす。A セメスターは、文法の後半部（動詞の変化・複合語）を扱う。

サンスクリット語は古代・中世インドで聖典に用いられ、仏教などを通してアジアの文化にも少なからぬ影響を与えた言語である。また、印欧比較言語学においては、ギリシア語・ラテン語とならぶ重要な位置を占める。サンスクリットを学ぶことは、古典教養の基礎を身につけることである。

授業は文法の解説と練習問題による演習を組み合わせて進める。

評価方法　授業参加状況（練習問題への取組と課題の提出を含む）と、試験（学期中に行う小テストを含む）による。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名　『サンスクリット語初等文法』
著者(訳者)　J.ゴンダ　（鎧淳訳）
出版社　春秋社

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

総合科目 A（思想・芸術）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50298	A	言語比較論	森 芳樹	言語情報科学専攻	火 2	K301	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　意味論に基づく言語の比較対照と普遍性

授業の目標概要　この講義では、主にヨーロッパの諸言語を扱いながら、様々な言語現象について各言語でどのように表現されるかという観点から、「言語」とはなにかということと個別言語の特性とはなにかということの双方について考察を進める。日本語をはじめとする東アジアの諸言語との対照も課題の一つである。

今年度は意味論を基盤として、言語の対照比較を考えていきたい。したがって、問題になるのは（それへの言及はあるが）歴史的な比較言語学ではなく、言語の理論とその基盤かつ応用としての個別言語学の「せめぎ合い」である。また言語普遍性と言語相対論の論争も中心課題ではない。それより、個々の意味論上の現象を扱いながら、言語の対照比較について議論する予定である。

評価方法　積極的な授業への参加と期末レポートによる。

教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50955	A	翻訳論	ペティート ジョシュア	言語情報科学専攻	金 2	153	1 年 文二 文三 理科 2 年 文科 理科

講義題目　翻訳論

授業の目標概要　本授業では様々な翻訳理論を読み、翻訳の色々な形態や問題について検討することにより翻訳研究を概観します。

評価方法　貢献度、プレゼンテーション、期末プロジェクトなどによって総合的に評価します。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50692	A	言語態理論	吉国 浩哉	言語情報科学専攻	水 5	517	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　文学入門：本屋さんで売っている文庫本で古今東西の文学を実際に読んでみる

授業の目標概要

そろそろ大学の授業にも慣れてきた（＝こんな程度かと失望したり、飽きてきたりしきた）人々に、オースティン、バルザック、フロベール、ドストエフスキーなど（それなりに有名な）文学作品を実際に読む機会を提供することがこの授業を開講する目的です。様々な言語で書かれた様々な作品を日本語訳でできるだけ多く読みます。古今東西これまでの人類の歴史の中で世界中のさまざまな場所で書かれたとても有名な文学作品をできるだけたくさん読むことによって世界標準の教養を身につける・・・ということを最終的な目標として掲げはするがそれは大変すぎるのでとりあえず入手しやすい文庫本でお手軽に読むことでまずは受験勉強で破壊された脳細胞のリハビリを行いつつ「文学」なるものにちょっとだけ入門してみるような授業です。

授業で扱う予定の長編小説は以下の通りです。

オースティン『高慢と偏見』
フローベール『ボヴァリー夫人』
バルザック『ゴリオ爺さん』
ドストエフスキー『白痴』

以上四編の小説をおおむね一ヶ月に一作品のペースで読みます。それに加えて、ソフォクレス、ゲーテ、シェークスピアによる戯曲、メルヴィル、ジェームズ、漱石、魯迅、カフカによる中短篇も読む予定です。

授業の形式は、教員が詳細な作品解説をするような講義ではなく（最低限の情報提供は行いますが）、学生による発表とディスカッションを中心とします。そのことによって、ただひたすらに本を読むことに加えて、文学作品について自分の言葉で語る（そして書く）方法も学びます。

何はともあれ、これらの「有名な」作品は、普通の意味で面白いです（だから今まで読み継がれてきました）。古い作品なので敬遠されがちですが、だまされたと思って読んでみてください。映画、ドラマ、マンガ、ゲームよりもさらに一歩、人間と人間社会の暗部（＝リアル）に踏み込んだ物語を読んでみたいと思う人にはお勧めです。

文学「入門」の授業ではありますが、人文学の学問を専門とする大学院進学を考えている学生の履修も歓迎します。というよりも、高校までの日本の学校では人文学の教育はあまり行われていないので、今から入門しても人文学のエキスパートとなることは十分に可能です。人文学に関しては、入門は同時に専門家養成でもあります。

評価方法　発表、小レポート、ディスカッション、期末レポートなどを総合的に評価する。欠席 4 回以上で期末レポートを提出する権利を失う。

教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51247	A	外国文学	新井 潤美	文学部	木 2	112	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　英国ヴィクトリア朝の小説と演劇

授業の目標概要

英国ヴィクトリア朝（1837ー1901）のいくつかの小説と演劇を、その歴史的、文化的な時代背景を解説しながら紹介することによって、文学テクストを分析し、解釈することを学んでもらう。

評価方法　リアクションペーパー 40%
学期末試験 40%
特別課題 20%

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time
2019/9/26　2 限／2nd Period

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50299	A	現代哲学	石原 孝二	哲学・科学史	火 2	K212	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　他者を理解するための現代哲学／Contemporary Philosophical Theories for Understanding Others

授業の目標概要
「私は他ならぬ私であって、他の誰でもない。私の思いは他人にはわからないし、他の人がどう思っているのか、私には本当のところはわからない。それでも私は私の思いを他者に伝えようとするし、私は他者の思いをある程度は理解できているようにも思える。」
私たちはなぜこのように考えるのだろうか。お互いの思いは分からないと考えるのはなぜなのだろうか。また逆に、ある程度は自分の思いを伝えることができるし、他者の思いを理解できると考えるのはなぜなのだろうか。この授業では、近現代の哲学や関連する思想や科学における様々なアプローチを手掛かりにしながら、この問題を考えていくことにしたい。

評価方法　授業への参加状況と期末試験による。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50300	A	科学哲学	上田 知夫	哲学・科学史	火 2	1311	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　科学哲学概論

授業の目標概要
科学哲学についての導入的講義をおこないます。
特に、「科学的説明はなにか」と「科学的実在論について」という 2 つのトピックに着目して議論したいと思います。

評価方法　授業時に課す小課題と期末試験を併用します。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50956	A	現代思想	池田 喬	哲学・科学史	金 2	108	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　M. ハイデガー『存在と時間』への入門

授業の目標概要
この授業では、現代思想の最重要人物の一人マルティン・ハイデガー（独 1989-1976）の主著『存在と時間』の概念や分析について学び、この書物の現代思想へのインパクトを説明できるようになることを目標とする。『存在と時間』のいくつかの概念は聞いたことがあるが読んだことはない人や、本を開いてはみたがよくわからないという人がしばしば抱く疑問（問い）に答えることを通じて、『存在と時間』の主要な概念や分析（道具と事物、世界内存在、世人、真理、死への先駆、本来性、時間性など）を学ぶ、という方法をとる。

評価方法　授業への参加状況と期末試験
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　『存在と時間』I, II
著者(訳者)　ハイデガー（原佑・渡邊二郎）
出版社　中央公論新社
ISBN　9784121600516, 9784121600530
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50957	A	記号論理学Ⅰ（文科生）	藤川 直也	哲学・科学史	金 2	1102	1 年 文科 2 年 文科

講義題目　記号論理学の基本を学ぶ。

授業の目標概要　古典命題論理、いくつかの多値命題論理、様相命題論理、古典一階述語論理について、その統語論、意味論、タブローを習得する。上記の論理のそれぞれについて、モデルを用いた妥当性の証明、反例モデルの構成、タブローによる証明ができるようになることを目標とする。

評価方法　学期末テストで評価する

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50011	A	記号論理学Ⅱ	岡本 賢吾	哲学・科学史	月 1	524	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　完全性定理から不完全性定理まで

授業の目標概要　まず、古典一階述語論理の完全性定理を概観する。その上で、ゲーデルの不完全性定理に進み、その証明を一歩ずつ辿る。(第一)不完全性定理とは、(1)自然数論としての最も基本的な力能（i.e.再帰関数の表現可能性）を備え，(2)しかも，通常の意味での公理系（i.e.再帰的に枚挙可能な公理系）を成している，という 2 条件を満たす形式体系であれば，いかなるものであっても，それが無矛盾（より詳しくは ω 無矛盾）である限り，必ず，証明することも反証すること（否定を証明すること）も不可能な文（閉じた式）を含む，というものである。この定理の証明に関わる技術的な事項をできるだけ精確に説明し、この定理が持つ概念的な意義を適切に考察するための基盤を作ることを目指す。

評価方法　レポート（テーマは講義中に指示する)。なお、場合によって、数回出席を取り、この結果を肯定的な評価のためのデータとして使うことがある（否定的評価のためには使わない)。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50461	A	精神分析学	原 和之	フランス語・イタリア語	火 5	121	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　思想史のなかの「精神分析」

授業の目標概要　〔内容〕十九世紀の終わりに神経症の治療法として登場した精神分析は、二十世紀以降人文諸学のさまざまな分野において参照されるようになり、その発想や概念の理解は、現代思想の展開を理解する鍵の一つとなっています。この授業では、精神分析学がそうした位置を占めるようになった歴史的な経緯を、特に創始者フロイトからそのフランスにおける展開に注目して辿りつつ、その基本的な発想や概念を、精神分析学内外のさまざまな文献に即して紹介します。さらに講義では、このアプローチが一般に現代の「こころ」をめぐる議論において提起するさまざまな問題や、隣接領域との歴史的あるいは今日的な関連についてもお話ししたいと思います。

評価方法　期末試験（持ち込み不可）による。

教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50693	A	表象文化論	森元 庸介	表象文化論コース	水 5	166	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　作品と罪 フィクションをめぐる一視角

授業の目標概要　ある芸術家がなにかしらの罪に問われ、その作品がマーケットから引き揚げられ、「作品に罪はないのに…」といったことが呟かれ、みなが忘れかけたころ作品がマーケットに戻ってくる――少なからず儀礼行為のようでもあるそうした事象を頭の片隅に置きつつ、フィクションという概念について、思想史的に、かつ大方とは少し異なる角度から考えてみる。メインの素材は近世のキリスト教道徳神学に汲むが、近現代の関連トピック（サド、『ボヴァリー夫人』裁判、映画『怪僧ラスプーチン』裁判、フランク・ザッパ「ポルノ・ウォーズ」等）も扱い、複合的な視野を確保する。

評価方法　期末レポート。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51069	A	演劇論 I	松岡 心平	表象文化論コース	金 4	109	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　能楽鑑賞入門

授業の目標概要　代表的な能のテクストを読み、また能に関する歴史や約束事などを解説した上で、良いコンディションでの能楽鑑賞をめざしたい。

銕仙会（観世流）の 11 月 8 日（金）6：00p.m.、12 月 13 日（金）6：00p.m.の公演の鑑賞を目標にして、授業を進める。

どちらも、水道橋の宝生能楽堂での公演。 11 月公演の能の演目は「三輪」「車僧」、12 月公演のそれは「小督 」「羽衣」の 2 番立であり、この 4 曲について、授業で詳しく解説し、実際に能楽堂で鑑賞する。各公演にはそれぞれ 2500 円程度のチケット代が必要。

敷居が高いと思われがちな能楽（能と狂言）の世界にじかに触れてもらえたら、と思っている。

評価方法　能楽鑑賞のレポート（2 回）と期末試験

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51249	A	美術論	芳賀 京子	文学部	火 2	157	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　神話図像学入門

授業の目標概要　ギリシア・ローマ神話は西洋文化に多大な影響を与え、文学・音楽・美術のインスピレーション源となった。授業では特にその美術表現に的を絞り、近世以降の美術における神話図像を読み解き、さらには古代美術においてそれがどのように生まれてきたのかまでを概観する。

評価方法　レポートによる

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50694	A	音楽論	ヘルマン ゴチェフスキ	表象文化論コース	水 5	学際交流ホール	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　西洋音楽の演奏解釈史２–録音時代

授業の目標概要

この授業は今年度の S-セメスター『比較文化論』（講義題目：西洋音楽の演奏解釈史１－録音以前）の続編で、主に 20 世紀以後の演奏史を扱う。

西洋音楽の演奏解釈史において、録音技術の開発によって何が変わってきたのだろうか。その変化をいくつかの観点から見ることができる。

まずは聴衆の観点から見れば、演奏者がいなくても音楽を聴くことができる。ただし演奏者がいなくても音楽を聴けるのは録音技術によって初めて可能になった訳でもない。古代や中世でも発明され、近代になってから数多く作られた自動楽器でも、演奏者が居ない音楽の再生が可能であった。また 18 世紀になってから人の手で弾かれた鍵盤楽器の鍵盤の動きを機械で記録したり（その場合は主に即興の記録が目的であった）、演奏者の個性的なニュアンスを含む名人の演奏を自動楽器で再現したりするようなアプローチが見られる。後者をパイプオルガンで実現したアングラメルが残した史料は 18 世紀の演奏法を知るのにも重要な文献であるから、この授業ではそこから本題に入ろうと考えている。

19 世紀前半に作られた「即興する」自動楽器（Componium）なども、人間の演奏に代わる機械の類に属する。ただし 18 世紀、19 世紀前半においてはこのような機械が普及することなく、様々な議論を呼び起こしたとしても、聴衆の観点から見る音楽文化に大きな影響を与えたとは言い難い。機械によって再生された音楽が聴衆の文化を大きく変えていくのは 19 世紀後半に発明された録音技術（空気の振動を記録し、それを再生する技術）であり、その普及は 20 世紀になってからのことである。録音と再生を可能にする記録媒体は初期においては楼観であったが、デジタル技術の普及以前に演奏文化に大きな役割を果たしたのは円盤レコード、トーキー映画と磁気テープ（コンパクトカセットを含む）である。この授業では技術の詳細というよりは、それぞれの制限が演奏文化にどのような影響を及ぼしたのかを考えたい。

ちなみに 20 世紀前半には録音技術以外の新しいメディアも聴衆の環境に大きな影響を及ぼした。例えば 20 世紀前半の記録・再生装置としてはピアノロールを再生する自動ピアノがある。その原理から考えればアングラメルの自動オルガンとは基本的に同じものであったが、録音から再生までのプロセスが合理化され、また 18 世紀後半の音楽文化でマイナーな役割を果たしていたオルガンに対して、20 世紀前半の音楽文化で中心的な役割を果たしていたピアノが対象であったことも多くな違いである。ともかくピアノロールには多くの重要なピアニストの演奏記録（厳密には「録音」とは言えない）が残されている。

また、音波を電波に変えて伝達し、演奏の現場と別な環境で同時に再生するラジオが演奏文化の社会的な普及に大きな役割を果たした。このように録音技術などは優れている演奏を聴く可能性を増やし、同じ演奏を繰り返して聴くこと、他の録音と比べて聴くこと、過去の演奏者の演奏を聴くことなどによって、聴衆の演奏に対しての意識も大きく変わったと考えられる。またそれに伴った音楽評論の変化（録音を対象とする批評など）も誕生した。

また演奏者の観点から見れば、それまで一回限りであった演奏が録音によって残り、楽譜、絵画、文学などと同様に芸術者の「作品」として成立する。そして演奏者は目の前にいる人々に（その反応を見ながら）語りかけるのではなく、想定された未来の聴衆に向かって演奏するようになる。指揮者カラヤンのように、自分が死んでも自分の演奏が残ることを大変重視し、同時代で売れない演奏までも自分の活動をアーカイヴした演奏者さえいる。それはまさに「引き出しのために書く詩人」のような態度である。ただし録音された音楽はいきなり創作物として認められた訳ではない。特に演奏者側からは、録音された音楽に対しての抵抗感が 20 世紀後半まで（あるいは部分的に今日までも）続いていた。録音作品の創作に最適な環境で作られた録音よりも、演奏会でライブ録音されたものの方が価値が高いという考え方が多かった。つまり録音は独立した芸術として中々認められなかった。録音技術が存在しても、演奏の本質はライブパフォーマンスに現れるとされた。従って録音はあくまでも写真のような記録で、ライブで実現できない演奏を録音技術によって創作することは修正された写真と同じように嘘っぽい作り物であり、不正のために芸術の領域から排除すべきだという考え方である。しかし実際には営利目的で作られたクラシック音楽の録音では（商業写真と同様に）こういう「不正」が非常に多く見られる。例えば、通して聴ける録音が通して演奏されたものの記録であるという「幻覚」は、大多数の場合には実際の創作過程とは全く違う。一つの録音作品を数多くの個別な録音からカットしながら合成することはもはや不正ではなく、録音作品の成立過程によって必然的に生じた創作手段である。ただその事実は大多数の消費者には知らされていない。しかし逆に人為的操作の応用を録音技術の手段として認め、その徹底的な応用を隠さず、それによって新しい芸術作品を作ろうとするアプローチも少数ながら存在する。その代表例はピアニスト、グレン・グールドである。彼は晩年ライブ演奏を辞め、自分の演奏を録音作品としてのみ発信することにした。

さらに録音を製造側から録音文化を見れば、レコードのマーケティングやカ販売形態によって、録音された音楽が会社側からどのような作品（または生産物）として見られたかが分かる。演奏者の存在を（生産のプロセスで働く他の専門家とどうように）伏せて作曲家名または作品名のみを中心とする製品もあれば、作品名を二次的なものとし、演奏者の個性を中心にする製品もある。また作曲家や演奏者よりも、新しい録音技術の応用をアピールする製品も存在する。これらの種類は製造者の考え方によって発生するが、同時に需要者の考え方を反映し、またその考え方に影響を与える。つまり金を出して録音媒体を手に入れる消費者は、場合によって作曲家の作品、場合によって演奏者の演奏、場合によって最新の音響を求めているのである。社会が録音をどのような作品（または生産物）と見なしていた（いる）か、それを知るのにはその販売形態を研究するのは有力な方法だと思われる。録音と再生の技術が発明される以前、ピアノの音を発するのにはピアノが必要だ、歌手の声を発するには歌手が必要だというのは、疑問視もしない事実だったのだろう。つまり「音楽は単に空気の振動である」という考え方は、すでに啓蒙主義の時代から物理学者によって主張されたが、録音技術によって初めて証明されたと言っても過言ではない。つまり音楽の本質は声や楽器ではなく、音響であるという考え方も、録音の時代で初めて可能になったのではなかろうか。21 世紀ではさらに事情が変わって、テレビや youtube などで演奏の行動を見ながら録音芸術を楽しむことが多くなったが、純粋なオーディオメディアを中心とする 20 世紀には演奏が他のどの時代よりも「聴覚的な」芸術と見なされたのではないだろうか。

これらの問題意識をもって、この授業では録音時代の西洋音楽演奏解釈史を概観したと考えている。

評価方法　期末試験

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50561	A	比較文化論	今橋 映子	比較文学比較文化コース	水 2	シラバス参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　展覧会カタログとは何かーー駒場博物館資料室実習

授業の目標概要

【展覧会カタログとは何かーー駒場博物館資料室実習】

カタログは、美術および文化研究の最先端の動向や研究成果を知る、絶好の資料である。それに加え、価格や装釘、デザインなどの面においても、展覧会鑑賞者に様々な楽しみをもたらしてくれる絶好の「商品」でもある。

駒場キャンパスの美術博物館には、専ら展覧会カタログ（文学、美術、歴史等）を数千冊以上収集し続けている資料室があり、近年ではその質と量から専門家からも高く評価されている。

本授業では、以下の教科書を導入として、展覧会カタログとは一体何なのかを、多角的に検討する。本授業参加者は、通常閉架スペースであるこの資料室に入庫できる資格が与えられる。

展覧会カタログは通常、博物館や美術館がおこなう「企画展」で制作されることが多いが、そのテーマや内容は、「比較芸術」的な観点で分析すると、実に豊かな世界を形づくっていることが分かってくる。

授業参加者は、展覧会カタログの探索方法、読解法、分析及び批評方法を順次会得していくことになろう。

参加者に特に予備知識は必要とされず、普段、美術（文学、歴史等）展に関心を深く持っていることが肝要となる。

また、資料室に直接立ち入る授業のため、関係する職員の方々ときちんと接することのできる参加者が期待される。

評価方法　授業参加度、小発表、学期末レポートによって、総合的に判断する

教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50830	A	比較文化論	前島 志保	比較文学比較文化コース	木 3	112	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　近代日本における出版・読書文化の大衆化

授業の目標概要

近代日本における出版・読書文化の大衆化の諸相を、雑誌の展開に焦点を当て、比較出版史的な観点から概観する。雑誌に書かれた（描かれた）言説・表象を分析する前に、まず、「言説・表象を盛る器」（メディア）としての雑誌自体に注目し、映画やラジオなど他メディアとの関連にも目配りしつつ、その文章表現・視覚表現の変容が、記事表象と読者、読者・編集部・専門寄稿家の間の関係性を、どのように変えたのか考えていく。様々な研究の資料として扱われることが多い雑誌を、文化的産物としてとらえなおすことを目指す。

評価方法　授業参加度、コメントシート、学期末レポートによって、総合的に判断する。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50301	A	比較文学	佐藤 光	比較文学比較文化コース	火 2	512	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　比較文学研究入門

授業の目標概要

比較文学とは、各国文学（英文学、日本文学など）の間の影響関係や対応関係を考察する学問です。この授業では比較文学の研究事例を（1）英文学と出会った日本、（2）日本と出会った英文学、（3）クロス・ジャンルの事例としてロンドンのミュージカル研究、という三つの観点から紹介します。歴史と文学をあわせて考える実証研究の事例集です。イギリス児童文学に関する講義ノートを作成中なので、間に合えば、4 つめの観点としてシリーズの中に組み込みます。

評価方法　学期末試験（持ち込み可）

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50206	A	比較芸術	三浦 篤	比較文学比較文化コース	月 5	525	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　西洋近現代絵画の見方

授業の目標概要

19 世紀、20 世紀の西洋絵画の見方、考え方を学ぶ。S セメスターの美術論「西洋伝統絵画の見方」で扱った絵画の体系が崩壊して、新しい近代のパラダイムに移行する時代が対象となる。19 世紀のロマン主義にはじまり、印象派、ポスト印象派、20 世紀の抽象絵画、ポップ・アートなど、現在にまでいたる歴史をたどっていくが、単純に時代順に語るのではなく、主題や造形様式や受容に関わるいくつかの重要な問題を設定して論じていく。広い意味における視覚芸術の機能、芸術と社会の関係、芸術家の意義や在り方等々、価値観が揺らぐ時代の美術を考えるためのテーマは少なくない。講義はスライドを使って、作品を具体的に分析しつつ行う。

評価方法　レポート提出

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名　まなざしのレッスン ②西洋近現代絵画
著者(訳者)　三浦篤
出版社　東京大学出版会
ISBN　978-4-13-083031-7

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50958	A	経済思想史	寺川 隆一郎	経済・統計	金 2	1225	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　市場社会論としての経済思想

授業の目標概要

現代の経済学では、市場は、資源を最も効率的に配分する機構として、洗練されたモデルで分析される。しかし、すべてを貨幣で評価する市場が、社会編成の中心原理になることについての思想的反省が行われることは少ない。歴史的には社会的義務が、貨幣の支払い義務に徐々に置き換えられる（例：租税の金納化）中で、全国的市場が成立し、貨幣を介した関係が中心となる市場社会が誕生した。貨幣化は社会関係を流動化、個人化することで、資源配分の効率を高めるが、同時に、その強力な遠心力は、社会関係への解体圧力として作用する。このような機構が、われわれの社会の中でどのように位置づけられるのか、またどのように位置づけるべきなのか。経済学の歴史を振り返ると、このような問いが通奏低音となっていることに気づく。本講義では、市場と社会の緊張関係について論じた過去の重要な経済思想家たちの議論を概説することで、市場社会論の多様な視点を紹介する。

評価方法　学期末に授業内試験を実施する。討論時間での発言や、リアクションペーパーの提出は平常点として加味する。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50012	A	科学史	東 慎一郎	哲学・科学史	月 1	1101	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　ヨーロッパにおける科学と科学論の展開――古代から初期近代まで

授業の目標概要

本講義では，古代ギリシャから 17 世紀までのヨーロッパにおける自然認識の展開，およびそれに関連した科学論や学問論の諸相について理解を深める．ここで言う科学とは，自然現象についての方法的・体系的探究を広く指す．また科学論とは，そうした科学の特徴，意義，そして限界について考察する知のことである．

現代世界を理解する上で，科学のかつてない発展とその影響力の増大を考えないわけにはいかない．現代において，科学は技術と結びつき，現代世界の物質的豊かさを生み出しているが，同時に，核兵器，バイオテクノロジー，経済格差の深刻化といった問題とも深く関係している．私たちの思考自体が，科学的思考法に深く影響されているものの，現代人はともすれば専門家万能の視点に陥りがちで，独立した視点の重要性を忘れる傾向にある．科学の光と影をどのように考えればよいのかは，現代人にとって重要な問題と言えるだろう．

本講義では，こうした問題に正面から取り組むことはできない．しかし代わりに，科学について考える上での重要な前提として，科学をめぐる歴史的認識を挙げ，科学と科学論というふたつの視点から科学に対する新しい視点を形づくっていきたい．

まず，近代以前の科学史に関しては，すでに分厚い研究の蓄積がある．研究の発展の中で，科学革命や科学の「パラダイム」をめぐる重要な議論も起きた．こうした研究の歴史に立脚しつつ，講義では，古代，中世，初期近代それぞれの時代に見られた，主立った学説や自然観について見てゆく．こうした学説の多くは，たしかに現代の私たちから見れば“正しい”学説には見えないが，こうした学説の盛衰を通して，現代まで通じる科学的思考が徐々に形成されたこともまた重要な事実である．

歴史理解と同時に，科学の変遷のメカニズムについても考える必要がある．科学自体は根拠を求める営みであるが，その結果生まれる学説の変遷は，自然科学の論理で理解できるわけではない．本講義では，科学の学説や研究方法と，歴史的・社会的背景の関連という問題についてもとりあげる．

本講義のふたつ目の視点は，科学論や学問論の歴史である．科学論には，科学的概念の哲学的考察も，科学的知が含意する世界観の敷衍も，また科学研究者の行動や価値観についての考察も含まれる．こうした科学論は，場合によっては知の本性について考察する倫理的議論として現れ，場合によっては人間の認識機能をめぐる哲学的議論としても現れた．ヨーロッパの知的伝統の重要な特徴として，科学や自然観の傍らで，こうした科学をめぐる議論が発展したということがある．ヨーロッパ前近代における，科学論の連続性と不連続性について，またさまざまな立場の現代的意義について考察してゆく．

【授業の目標】

・初期近代までのヨーロッパ科学史について基本的理解を獲得し，結果として科学について，より広く，より多様な視点から考察できるようになる．

・科学の変遷の理解から，科学と歴史や社会との関連について考察できるようになる．

・ヨーロッパ科学論の歴史について理解を深め，現代の科学についてより多元的，批判的視点から考察できるようになる．

評価方法　・中間考査，および定期試験を行う．

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

総合科目 B（国際・地域）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50959	A	国際関係論	下谷内　奈緒	国際関係	月 1	533	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	国際社会の秩序と正義
授業の目標概要	秩序と正義を軸に近代以降の国際関係を概説する。今日の「国際社会」はどのような考えに基づいて成り立っているのか、国際社会において秩序を維持し、正義を実現するためにどのような考えが生み出され実践されてきたのかを批判的に検討する。国際政治学の基礎的な概念と分析枠組みを用いて、国際社会の歴史的発展と主要争点について問題の所在を理解することで、国際問題を読み解く視座を獲得することを目的とする。
評価方法	授業参加度および定期試験
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class timr
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50302	A	国際関係論	湯川 拓	国際関係	火 2	1322	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	国際関係について理論的に考える
授業の目標概要	国際関係論（国際政治学）の入門的な講義であり、国際政治現象を分析的に理解するための「レンズ」あるいは「ものの見方」を得ることを目的とする。そのために、現在の国際社会の来歴を学んだ上で（歴史)、国際関係論という学問における重要概念とその基本的操作について理解する（理論)。 入門的講義ということもあり、国際関係における様々な問題を広範に取り上げる予定である。
評価方法	期末試験の成績に基づき評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50303	A	国際関係史	酒井 哲哉	国際関係	火 2	1225	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	国際関係史
授業の目標概要	幕末・維新期から、太平洋戦争終結にいたるまでの、日本外交の展開を、東アジア国際秩序の変容と関連付けながら、歴史的に概観する。
評価方法	通常の筆記試験による。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50960	A	現代国際社会論	石井 梨紗子	国際関係	金 2	743	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　国際協力論序説

授業の目標概要　本講義は、途上国の「開発」に向けた非軍事的支援の総称としての「国際協力」（International Development Cooperation）について、その担い手となる主体と活動の内容を多面的に理解することを目的としている。具体的には、各国政府による政府開発援助（ODA）を始めとした二国間支援、国際機関による多国間支援、非政府組織（NGO）を通じた支援、さらに企業による支援について、それぞれの特徴を概観し、比較検討する。

国際協力活動への評価はとかく二極化しがちであるが、本講義を通じて「国際協力」を捉える尺度の多様性を学んで欲しい。講義の中では、講師の開発コンサルタントとしての経験に基づくプロジェクト事例等も紹介していく予定である。

国際政治イシューとしての「開発」や「援助」に関心を持つ学生の他、途上国の社会・文化全般に関心を持つ学生の参加も歓迎する。

評価方法　期末試験の成績と講義への参加度合いから総合的に判断する。（ただし、受講者数が少ない場合、期末試験に替えてレポートの評点とする場合もある。）

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50380	A	平和構築論	キハラハント 愛	地域文化研究専攻	火 3	K011	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　平和構築と人間の安全保障の構成要素を考察する

授業の目標概要　平和を構築・維持するために必要な要素を考察し、この分野における人間の安全保障という考え方と、それ以前の考え方とを比較・考察する。国際社会における個々の人間の立場がどのように変遷してきたか、また、平和を維持・構築するためにどのような方法が取られてきたか、を理解する。世界の問題について、その背景・理由・変遷・多様な見方・解決方法などに目を向け、自分で情報収集・分析し、意見を構成する能力、また、それを他者に説明する際に、議論を構成する力、説明・発表する力を身につける。ディスカッションを通じて、多様な意見を分析、議論できるようにする。

評価方法　授業での発表を含む主体的参加度：40%、レポートでの成績：60%の配分で評価する。インターンなどの実務経験は、評価の考慮に入れる。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50869	A	地域文化論Ⅱ	LOWE David	地域文化研究専攻	木 4	KALS	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　Australia in the World

授業の目標概要　This course asks, how have Australians seen themselves in relation to others, and how has this changed over time? And how are we best able to study these changes? The course invites students to consider these questions in several ways, including through examining the lives of prominent Australians, studying international events, such as the two Summer Olympic Games held in Australia (1956 and 2000), and viewing Australians through the eyes of observers. It examines the following themes: early Aboriginal connections between Australia's north and Southeast Asia; the relationship between colonization and Australian identity; Australia's changing relations with Britain and growing relations with Asia; the effects of the two world wars and Cold War; and the impact of immigration and multiculturalism in modern Australia. This course enables students to develop their English reading, writing, and speaking skills, and their analytical skills in relation to different sources.

評価方法　In-class participation exercises
1 short essay
1 in-class test (week 13)

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51088	A	地域文化論Ⅱ	谷垣 真理子	地域文化研究専攻	金 5	113	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　紛争と和解から見たアジア共同体

授業の目標概要　この授業では、アジア地域における、一国内あるいは複数の国の間での、人びとの紛争・対立・葛藤について、個別の事例を取り上げて論じていく。具体的には、それがどのようにして起こり、その解決のためにどのような取り組みや政策がとられてきたのか、またそれが効果をもったのか、限界があるとすればどのようなものであるか、などを、それぞれの問題に詳しい研究者などに話を聞き、受講者と議論していく。
そして、それぞれの事例について知り、それを比較することで、地域文化研究のあり方を学んでいく。そうした紛争・対立・葛藤を乗り越えて、アジア共同体をどう展望していくのかについても議論していきたい。

評価方法　当該諸問題に関して毎回簡単なコメントペーパーを出してもらう。また、期末には 4000 字～6000 字程度のレポートを提出してもらう予定である。これらのほかに、授業への出席、授業における討論への参加貢献度などを総合的に判断して成績を評価する。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50961	A	比較地域史	上田 信	歴史学部会	金 2	523	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　人口史を読み解く：中国を軸に

授業の目標概要　地域の歴史を比較するうえで、対照する軸のひとつに人口を挙げることができる。各地域の人口の動向は、ヒトと生態環境との関係、日常的な生活の実態、さらにジェンダーなど、さまざまな視点から論じることが可能であり、またさまざまな課題に応えることが可能である。本講義では、担当者が専攻する中国について、古代から現代までを通観して比較の軸を立て、日本と西欧（主としてイギリスとフランス）と対比する。近世については歴史人口学の手法を紹介し、近現代についてはセンサス（国勢調査）に基づいて分析する。あまたの経済統計のなかで、将来をもっとも正確に予測できるものは人口統計だといわれる。授業の後半では、人口学の視点から、中国と日本の 30 年後を考えてみたい。

評価方法　年内最終回の授業までに、授業に関するレポートを提出する。年明けの最終回授業では、レポートに基づく討議を行う予定。成績評価は出席率（40%）・レポート（40%）・授業への参画度（20%：リアクションペーパーの内容、討議などを総合して判断）。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50207	A	日本文化論 I	品田 悦一	国文・漢文学	月 5	109	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　『万葉集』の近代

授業の目標概要　近代日本の社会で『万葉集』がナショナル・アイデンティティーを支える有力な文化装置の一つとなった経緯について、具体的に掘り下げる。「日本人の心のふるさと」というコンセプトが実はきわめて作為的なものであり、近代国民国家の要請に沿って慌ただしく立ち上げられたこと、そしてその後の百余年を通じ紆余曲折を経て定着してきたものであることを、はっきり認識できたとき、この授業の目標が達成されたことになる。

評価方法　定期試験を実施する。その際、約半量の問題は授業中に予告する。授業の進行状況しだいではリアクションペーパーを書かせることがあるかもしれない。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50962	A	日本文化論Ⅱ	高山 大毅	国文・漢文学	金 2	101	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　江戸時代の文学論
授業の目標概要　文学研究をしていると、「文学は何の役に立つのですか？」といった質問をぶつけられることがある。この種の質問は大抵礼を失していることはさておき、文学の価値をどのように説明するかについては古来様々な議論があった。この授業では、江戸期の文学論の検討することで、上記の問いについて考えてみたい。伊藤仁齋・荻生徂徠・賀茂真淵・本居宣長といった学者の所説を取り上げる。彼らの文学をめぐる思考は、今日の読者にとっても示唆に富んでいる。江戸期の思想・文学に関心がある人だけでなく、広く「文学」に関心のある人に受講してもらいたい。
評価方法　試験で成績評価を行う。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50719	A 1	日本語日本文学Ⅰ （理科生）	高山 大毅	国文・漢文学	木 1	108	1 年 理科 2 年 理科

講義題目　文学作品から学ぶ江戸文化史
授業の目標概要　いわゆる「理系」であったとしても、「日本社会」の「伝統」いったものに思いを巡らし、「日本は古くから～だから」といった一種の文化論を語ることはあろう。しかし、立ち止まって、自分が「日本」の伝統社会について、どれほど正確な知識を持っているかを省みると、その知識の乏しさに愕然としてしまう人が多いのではなかろうか。この講義では、江戸時代の文化・社会を考える上での重要な論点を紹介しながら、関連する文学作品を読んでいく。取り上げる作品は通俗文学から漢詩文まで様々である。
一限開講ということで敬遠する向きも多いかもしれないが、安易な「日本」語りから離れ、物事を認識できるようになることは、現代日本社会を生きる人々にとっては有益であるに違いない。過去に遡って「日本文化」について考えてみたい人には是非受講してもらいたい。
評価方法　レポートで成績評価を行う。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50695	A	日本語日本文学Ⅱ	田村 隆	国文・漢文学	水 5	121	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　『源氏物語』若菜巻の紫上
授業の目標概要　上下二巻に分かれる若菜巻は『源氏物語』54 帖の中でも最大の分量を有する。また、内容面でも前巻の藤裏葉で准太上天皇という栄華に上りつめた光源氏の舞台がこの若菜巻で暗転するという、きわめて重要な巻であり、著名な桐壺巻や若紫巻などを高校の教科書で学んできた皆さんにはその先の物語を是非味読してほしい。
本講義では 2017 年の 7 月から半世紀ぶりの改版が始まった岩波文庫をテキストに用い、本年 3 月に刊行されたばかりの若菜巻を一語一語にこだわりながら共に精読してゆく。今学期は、女三宮降嫁を光源氏が承引したことによる紫上の苦悩を中心に、呼称や女楽の問題等にも触れつつ丁寧に読み進める。併せて、『源氏物語』全体についても理解が及ぶよう努める。
評価方法　論述試験（持込不可）。
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　源氏物語（五）　梅枝―若菜下
著者(訳者)　藤井貞和・今西祐一郎ほか
出版社　岩波文庫
ISBN　9784003510193
その他　2019/03/01
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50831	A	東洋古典学	高芝 麻子	国文・漢文学	木 3	515	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	白居易詩歌入門
授業の目標概要	中唐時代を代表する詩人白居易（白楽天）は、当時の東アジア随一の知名度を誇る詩人であり、日本文化にも様々な影響を与えました。白居易の詩を読み解くことで漢詩の基礎的な知識に親しみ、唐代文化や歴史への知見を深めることを目指します。
評価方法	ミニレポート 30 点（6 点×5 回） 期末テスト 70 点
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51089	A	歴史社会論	長谷川 まゆ帆	歴史学部会	金 5	511	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ヨーロッパ近世史と 20 世紀の歴史家たち
授業の目標概要	この授業では、ヨーロッパのとくに近世期の歴史学研究に新しい領域を切り開いてきた 20 世紀の歴史家たちに焦点を絞り、中世と近現代社会の間にあったヨーロッパ世界のとらえ方がどのように広がってきたかを考える。また歴史家の扱う対象や分析と歴史家が生きる同時代の課題とがどのように関わりあっているかを考えたい。 歴史学研究の基礎的な方法や前提についても触れることになるが、講師の専門はフランス近世史であるため、主としてフランスに関する成果が中心となる。ヨーロッパおよびフランス近世期の概説的な知識やクロノロジックな流れについてはこの授業ではとくにとりあげない。基礎的な知識については、参考書を紹介するので、独自に勉強していただきたい。
評価方法	人数によってはレポートもありうるが、履修者数が 20 名を超えるときは、筆記試験になる。 上記のコメントシートも評価対象となる。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50888	A	近現代史	戸邉 秀明	歴史学	木 5	511	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　沖縄近現代思想史

授業の目標概要

＜目標＞

１．沖縄に関する 19 世紀半ば以降の歴史学習を通じて、高等学校段階の世界史及び日本近現代史の知識や理解の枠組みを批判的に捉え返せるようにする。

２．ある地域の歴史から現代世界の諸問題と密接に関わる普遍的課題をつかみとる能力を身につけ、歴史研究の意義と可能性について理解できるようにする。

３．幅広い性格の史料を読解することで、近現代史研究の基本的な進め方について学べるようにする。

４．関連する映像の視聴、ならびに映像に関する課題に取り組むことで、歴史に関する映像資料の読解力を高める。

＜概要＞

19 世紀半ば以降、現在までの沖縄をめぐる近現代史について講義する。特に「琉球処分」から地上戦・軍事占領を経て現在にいたる期間、沖縄に生きる人々が試みた「自立」をめぐる思想的模索を概観していく。人々は自立を阻む国際的・国内的権力状況にいかなる抵抗を試み、どのような思想を育んできたのか。この問いへの答えを、当時の具体的な史料の読解を通じて明らかにする。その際、沖縄近現代史を「沖縄問題」なる基地・安保問題の単なる背景とみなす狭い理解を排し、一方で近代以来の東アジア史の変動のなかに沖縄を位置づけ、他方で現代的課題の淵源を探究する理論的枠組みをもって、その実態に迫る。そのために、政治史・経済史・国際関係史の基本的な動向をおさえつつも、特に社会史・思想史的な観点を重視する。それにより、受講者が現代日本と世界の関係を新たに見据えるための歴史的視座を養う一助としたい。

評価方法

１．授業参加状況：レスポンスシート（毎回要提出）に書かれた感想・質問・意見等を評価する。(50%)

２．中間レポート：講義中に視聴する映像作品についてレポートを作成・提出する。(20%)

３．期末レポート：講義内容をふまえた具体的な課題は授業中に指示する。(30%)

＊以上３点による総合評価（計 100%）

＊１・２については、授業中（随時）に全体

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50304	A	歴史と文化	岩本 通弥	歴史学部会	火 2	1212	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　日常史としての衣食住ー民俗学からみた近現代日本の暮らし

授業の目標概要

民俗学からみた近現代日本の暮らしの変化を扱うが、例えば衣生活に関わる日本の近代は、一貫して和装から洋装への転換であった。しかし、いかに洋風化が進んでも、例えば玄関や上がり框では履物を脱いで素足で上がったり、あるいはスリッパという室内履きに履き替えることは、今も病院や学校などに残されている。本講義ではすでに古典となっている柳田國男の『明治大正史世相篇』(1931＝1993) を講読するともに、それにならって、近現代日本の世相や生活の変化を、引き続いて概観する。テキストとして『明治大正史世相篇』は毎回ほぼ 2 節ずつ精読してゆく。

評価方法　学期末テスト

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名　明治大正史世相篇

著者(訳者)　柳田國男

出版社　講談社学術文庫・中公クラシックス・平凡社東洋文庫・定本・全集

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51248	A	歴史と文化	守川 知子	文学部	月 4	1102	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　歴史の中のイスラームとその社会

授業の目標概要　本講義では、イスラーム社会の歴史的多様性に焦点をあてることにより、「イスラーム世界」とは何かについて考える。現在、世界人口の 2〜3 割を占める 18 億人がイスラーム教徒（ムスリム）と見積もられているが、その歴史をひも解くと、「イスラーム」や「ムスリム」の実態は、地域や時代によって千差万別であったことが明らかとなる。西アジア、東南アジア、中央アジアから中国、北・東アフリカ、インド、ヨーロッパなど、歴史的に見てもムスリムが暮らした地域は世界中に広がっている。このようなイスラーム社会の歴史的多様性を理解することは、将来、文学部に進学し歴史研究や思想研究を志す学生はもちろんのこと、国際社会の一員として生きるすべての学生にとって意味あることであろう。

評価方法　定期試験にて評価する。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50208	A	世界史論	小田 悠生	歴史学部会	月 5	512	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　「移民の国」アメリカの形成

授業の目標概要　みなさんはアメリカ合衆国にどのようなイメージを抱いているでしょうか。多くの人が共有するアメリカ像の一つは「移民の国」ではないでしょうか。実際、グローバル化が加速する今日、世界総人口の 3.4%に相当する約 2 億 6 千万人が生まれ育った国・地域の外で暮らしていますが、その 2 割はアメリカに居住しています。アメリカは、その建国以来 3 度目の大規模移住の只中にあると言われ、外国出身者は総人口 3 億 2700 万人の 15%を占め、アメリカ生まれの第二世代を含めると総人口の 25%となります。このような社会の変化と同時に、多様化を「われわれ」「わが国」「わたしたちの社会」への脅威と捉える排外主義もまた顕著となっています。歴史を振り返ってみれば、100 年前、現在とほぼ同水準の移民を迎えた後に続いたのは、厳格な移民制限の時代でした。しかし、皮肉なことに、アメリカは「移民の国」であるという国造りの物語が形成されたのも、移民制限の最中のことでした。わたしたちはこうした歴史からどのような知見を得られるでしょうか。この授業では、揺れ動く 「移民の国」アメリカの形成を 18 世紀末に遡って検討しながら、現代アメリカへの理解を深めます。

評価方法　平常点・授業内課題：40%
期末試験: 60%

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50696	A	世界史論	杉山 清彦	歴史学部会	水 5	531	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　中央ユーラシアから見た世界史

授業の目標概要　近代以前の世界史の主な舞台となってきたのはユーラシア大陸である。その内陸域、すなわち中央ユーラシアの人びとこそが、世界の各地域を結びつけるとともに、地域を超えて世界史を動かしてきた。本講義では、東西交渉史の枠組みや、「中国やヨーロッパの周辺の異民族」といった見方からではなく、中央ユーラシアに視座を置いて、ユーラシア世界史の展開を概観する。それを通して、あまり知られていない中央ユーラシア史の通史を示すとともに、さらにそこから新しい世界史・地域史を照らし出すことを目標とする。

評価方法　期末の論述試験を主とし、講義中随時課す小テスト・小レポートなどの評価を加味して判断する。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50963	A	文化人類学 I	岩原 紘伊	文化人類学	金 2	514	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　観光の人類学

授業の目標概要　国連世界観光機関によれば、2017 年に国境を越えた旅行者数は 13 億人を超え、1960 年代以降その数は増加の一途をたどっている。第二次世界大戦後、先進国・途上国を問わず、観光は多くの国で経済開発の有効な手段として積極的に推進されてきた。現在、観光は経済に限らず、政治、文化、環境など社会の様々な側面に大きな影響をもたらし、巨大な社会現象となっている。文化人類学による観光研究（観光人類学）が本格化したのは、文化人類学者たちが自身のフィールドに対する観光の影響の大きさを意識するようになった 1970 年代以降のことである。観光人類学の貢献は、観光を切り口に文化についての新たな見方を提示してきたところにある。観光のコンテクストにおいて文化は無意識の慣習や実践ではなく、意識的に操作され、表象され、また生成する。本講義は、観光という現象に文化人類学の視点からアプローチすることで、現代世界における文化の動態について理解を深めることを目標とする。前半は、先行研究や世界の事例をもとに、観光人類学の理論や分析方法について概観する。後半は、近年注目されている新しい観光形態を東南アジアの事例から検討し、その展開に現地の社会文化的動態がどう影響しているのか、それは同時に現代世界を取り巻く様々な課題とどう関わっているのかを考察する。

評価方法　リアクションペーパーの提出（30%）、期末試験（70%）

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50305	A	文化人類学 II	箭内 匡	文化人類学	火 2	513	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　人類学的思考とは何かー映像／イメージを通して学ぶー

授業の目標概要　文化人類学（以下「人類学」と略）はもともと、世界の諸民族を研究する「民族学」を原点とする学問だった。しかし、今日の人類学はそうしたイメージから大きくかけ離れたものになっている。「未開」や「伝統」はもはや人類学の中心的テーマではなく、今日の人類学者は、例えば先端科学のラボやインターネット上の世界などもフィールドワークの対象にするようになった。そのような現代人類学は、人類学の過去の学問的遺産とどのように連結しているのか。そして、そうした伝統の上に立つ現代人類学は、どのような独自の知見を我々にもたらしてくれるのだろうか。

過去から現在そして未来の人類学へと向かう、こうした流れの全体を見通すために、映像（写真を含む）は有益な土台となってくれる。人類学者はフィールドワークという作業をつねに重視してきたが、そこで大事なのは、「言葉で表現されたもの」と同じかそれ以上に、「言葉で表現されていないもの」であって、映像は、うまく使うならば、この後者（およびその前者との関係）をダイレクトの感じ取らせてくれるのだ。それゆえこの授業では、映像的素材を見ながら、フィールドの現場を間近で想像しつつ、古典的および現代的な人類学の独特の思考方法を学んでいってほしいと思う。

かつて「文化」、「社会」は人類学の基本概念であった。しかし実は、人類学は「文化」、「社会」の概念なしでも十分にやっていけるし、そういう考え方のほうが人類学的思考の今日的な現場に接近しやすいとも考えられる。この授業でのキーワードは、従って、社会・文化を次第に離れ、イメージ・自然・身体といったものになっていくはずである。このあたりの事情は、授業全体を追うなかで、少しずつ確実に理解していってもらえると思う。

評価方法　試験（予定）。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名　『イメージの人類学』
著者（訳者）　箭内匡
出版社　せりか書房
ISBN　978-4796703734

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

総合科目 C（社会・制度）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50720	A	法と社会	西土 彰一郎	法・政治	木 1	1221	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　法理論の探求

授業の目標概要　ある論者の表現を借りるならば、法理論とは「法システム全体が、環境に適合しつつその首尾一貫性を保つことができているかということについての、法システム内部における法の『反省理論』である」。本講義は、この意味での法理論を受講生諸君とともに探求することを目的とする。その際、社会学における社会システム理論など隣接分野の知見を用いつつ、法の理論的反省を企てている「教科書」を読みとくことにより、以上の目的を追究してみたい。

理論的反省の経験は、「思考の型の中で全体を推論すること」である。したがって、法の内的視点からとはいえ、反省理論を探求することは、様々な分野の学生にとっても刺戟的であるように考えられる。

評価方法　定期試験および授業の参加度で評価する。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名　法理論の再興

著者（訳者）　トーマス・ヴェスティング（毛利透＝福井康太＝川島惟＝西土彰一郎・訳）

出版社　成文堂

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50721	A	法と社会	山元 一	法・政治	木 1	109	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　法と社会――グローバル化時代の日本国憲法

授業の目標概要　本講義は，日本国憲法とそれを取り巻く諸問題について検討し，それを通じて，憲法の基本原理とその現代的課題についての理解を深めることを目標とします。その際の視点としては，法の歴史的考察や比較憲法にも留意しつつ，グローバル化時代の日本国憲法がいかなる役割を果たすべきなのかについて，考えていきたいと思います。

評価方法　学期末に実施される試験に基づいて成績評価を行います。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名　グローバル化時代の日本国憲法

著者(訳者)　山元一

出版社　放送大学教育振興会

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50964	A	日本国憲法	渋谷 秀樹	法・政治	金 2	1313	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　日本国憲法

授業の目標概要

教科書は，以下の体系に沿ってかかれている。

第 1 章 憲法総論 1 憲法の概念，2 憲法の性質，3 法の支配（立憲主義），4 憲法改正の限界
第 2 章 人権総論 5 人権の根拠と限界，6 人権の享有主体，7 私人間効力，8 新しい人権
第 3 章 人権各論 9 法の下の平等，10 思想・良心の自由，11 宗教の自由，12 表現の自由，13 刑事手続上の権利，14 財産権，15 生存権，16 選挙権
第 4 章 統治機構総論 17 権力分立，18 民主主義と違憲審査制，19 天皇，20 平和主義
第 5 章 統治機構各論 21 立法の概念，22 行政の概念，23 司法の概念，24 地方自治の本旨

授業は，より体系的なものに組みなおし，また適宜時事的な問題にも触れながら，憲法の基本が理解できるようなものとしたい。

なお，憲法の条文を適宜参照するので，教科書のほかに『六法』を用意されたい。

評価方法　学期末試験による。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名　憲法への招待 新版
著者(訳者)　渋谷秀樹
出版社　岩波書店
ISBN　978-4-00-431470-7

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50209	A	現代社会論	丹羽 美之	社会・社会思想史	月 5	1106	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　テレビ番組で見る戦後日本

授業の目標概要

【注意】この授業は、2014 年度以前の入学者には、総合科目Ｃ系列 マス･メディア論 として開講される。

日本でテレビの本放送が始まって 60 年あまり。テレビは単に戦後日本の歴史を映し出すだけでなく、戦後日本の歴史を積極的に作り出し、動かしてきた。この授業では、ドキュメンタリー、ドラマ、バラエティなど、それぞれの時代に放送されたテレビ番組を視聴しながら、テレビと戦後日本の歴史を多角的に振り返る。

評価方法　ミニレポート、学期末レポートによって総合的に評価する。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50965	A	比較社会論	重田 園江	社会・社会思想史	金 2	532	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　社会契約と統治性－近代の表と裏

授業の目標概要

この講義では、社会契約論と統治性という政治共同体をめぐる二つのアイデアを比較対照する。社会契約論は、第二次大戦後の日本では長い間、近代ヨーロッパにおける政治秩序を形づくる基本的な理念、理論と了解されてきた。では、社会契約の論理とはどのようなものなのだろうか。そしてそれが実は秩序についての常識はずれな見方であること、だからこそそこに存する根本性について考察する。

一方の統治性は、これまであまり政治学や政治思想史では注目されてこなかった概念である。統治性の観点から近代ヨーロッパ秩序を見ることが、社会契約的な見方といかに異なっているのかをまず説明する。その上で、16 世紀以降の政治における統治性の展開を跡づける。そのことによって、政治を統治の観点から眺めるとはどういうことなのか、それによって近代国家なるものが、社会契約を通じて捉えた場合とはいかに異なって見えてくるのかを明らかにする。

説明のしかたは、社会契約についてはある程度の歴史的背景、また思想史的な系譜を整理した後、契約に至る論理構成の解説を中心に行う。統治性については、歴史的な考察が中心になる。統治性が作り上げられ、変容してきた歴史的経緯をたどることは、その概念を理解するための主要な方法となる。理由は、統治性という概念はかなり実践的な場面で利用価値があり、社会契約論のような精緻で理論的構成を持っていないからである。統治性の歴史を知ることがそのまま統治性とは何かを知ることになる。

講義を通じて、思想史の面白さを知ってもらうことが一番の目標である。思想史は、論理と歴史と実践と思想の言語といった様々なものを交錯させて描くことで、はじめて奥行きをもって理解できるようになる。とりわけ政治思想史においてもっとも興奮させられる山場となるのは、近代が立ち上がってくる１７−１８世紀である。この時代に政治思想に何が起きたのかを知ることは、現代にまでつながる典型的な思考法や制度設計の知的源泉を知ることにほかならない。これがとても面白いということを伝えたい。

評価方法　期末テスト（長文の論述）　リアクションペーパーから見る興味の在処

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51090	A	相関社会科学	市野川 容孝	社会・社会思想史	金 5	512	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　現代社会と相関社会科学

授業の目標概要

教養学部後期課程の教養学科・総合社会科学分科に所属する数名の教員のリレー講義によって、同分科のコースの 1 つである「相関社会科学」の可能性を、具体的に知ってもらう。

評価方法　平常点（復習レポートの提出等）と期末レポートによる。それぞれ 50 点。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50966	A	政治経済学	丸川 知雄	経済・統計	金 2	521	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　マクロ・ヒストリー

授業の目標概要

人類の歴史を巨視的にとらえるさまざまな歴史観（マクロ・ヒストリー）を紹介し、その妥当性を検討します。

マクロ・ヒストリーとは、単に歴史を記述するものではなく、歴史の動きを内在的または外在的要因によって説明しようとする試みです。もちろん歴史学とは無縁ではありませんが、むしろ思想の系譜としては、哲学や政治思想、経済思想の分野から生まれてきたものです。

マクロ・ヒストリーには、技術や生産力の成長が社会の変動をもたらす、自然環境によって社会の発展パターンが決まる、といったように客観的な条件によって人類の歴史を説明するものと、民主主義や自由、あるいは特定の宗教などの理念が歴史を動かすと説明するものがあります。

また、おのおのの社会の内在的発展を見ようとする歴史観、社会の間の相互作用を重視する歴史観、さらに世界全体を見なければ意味がないとする歴史観など、歴史を見る単位による類型化もできます。

こうしてさまざまな歴史観を対比し、関連づけ、類型化することを試みたいと思います。また、理論の紹介にとどまらず、できればデータを用いて理論を検証することも試みたいと思います。

最後に、現在は歴史の転換点か歴史の直線路にあるのかともに考えましょう。

評価方法　レポートおよび期末の試験によって行います。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50013	A	現代教育論	橋本 和幸	心理・教育学	月 1	1106	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　教育・学校心理学

授業の目標概要

この授業では、「教育現場において生じる問題及びその背景」と「教育現場における心理社会的課題及び必要な支援」について、授業担当者の教育領域の心理臨床家（スクールカウンセラーや教育相談センター相談員）としての実践に基づいて説明する。

具体的には、下記の内容を取り扱う。

１．教育現場において生じる問題及びその背景

いじめ、不登校、学業不振など。

２．教育現場における心理社会的課題及び必要な支援

教育現場における社会心理的課題：友人関係、発達障害、精神疾患など。

学校内の支援体制と方法：教育相談、スクールカウンセラーなど。

学校外の支援体制と方法：教育委員会、医療機関など。

評価方法　学期中にレポートの提出を求める。レポートと期末試験の成績を総合的に評価する。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50076	A	教育臨床心理学	石垣 琢麿、 西口 雄基	心理・教育学	月 2	1313	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　臨床心理学概論

授業の目標概要

臨床心理学は、多様な個々のクライエントの具体的福祉向上をめざす、実践（心理臨床）のための「学」である。しかし、それを学問体系として、あるいは、科学として理解するためには、精神分析学や精神医学とならび、認知・発達・社会などの心理学諸分野の知識が不可欠である。本講義では、「発達」をキーワードに、「臨床心理学の成り立ち」と、それに基づく「臨床心理学の代表的な理論」と介入法、教育支援についての理解を目的とする。

評価方法　期末試験を行う。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50870	A	教育臨床心理学	前田 基成	心理・教育学	木 4	900	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　臨床心理学概論

授業の目標概要
　近年、いじめや不登校の問題行動のほか、自然災害や犯罪被害に関連して心のケア、カウンセリングということが社会的に注目されている。本講義では心の健康である精神保健、適応論と不適応、中学生・高校生の青年期に見られる問題行動などについて、その心理的メカニズムを臨床心理学の基礎知識に基づいて学習する。

評価方法　期末試験による。
教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51242	A 1	高等教育論入門	両角 亜希子	教育学部	火 2	1211	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　高等教育論入門

授業の目標概要
　この授業は、自身の経験を超えて大学を理解する機会を提供することで、受講生の学生生活の一助とすることに加えて、大学そのものへの関心を深めてもらうことを目標としています。そのために、学生生活に関わるいくつかの題材を取り上げ、日本の動向だけでなく諸外国の状況も踏まえながら、大学や学生生活のあり方を受講生と一緒に考えます。

評価方法　授業への参加状況ならびに最終レポートによって評価します。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51241	A	教育実践・政策学入門	北村 友人	教育学部	木 5	108	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　教育実践・政策学入門

授業の目標概要
（目標）
　この授業は、教育の「現場」と「制度・政策」がそれぞれどのように動いているのか、また両者がどのように関係しているのかを理解したうえで、現代の教育課題を分析する視点を獲得し、それらの課題について自分で考えることができるようにすることが目標である。
（概要）
　教育の実践や政策が関わる領域は多岐にわたる。この授業では、主に学校教育、教育行政、図書館情報学を専門とする 3 名の教員が交代で授業を担当し、それぞれの研究分野について、教育実践と制度・政策の実態、および相互の関係がどう展開しているのかについて、また、図書館などによる学校外における学びと知の組織化のあり方などについて、基本的な事項を含めながら講義を行う。

評価方法　担当者ごとにレポートまたは小テストを課す。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

総合科目 D（人間・環境）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51091	A	地球環境論	亀山 康子	国際関係	金 5	K113	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　地球環境論～問題への学術的なアプローチ／Studies in Global Environmental Studies~interdisciplinary approach towards environmental problem

授業の目標概要　年々顕著になる気候変動影響や生物多様性喪失など、人間活動は、地球上のさまざまな環境を改変しつつある。そして環境の劣化は、人間の生存そのものまで脅しかねない水準にまで近づきつつある。当講義では、以下のリサーチクエスチョンを踏まえて実施する。
・科学的にどこまで解明されているのか？
・問題があることが科学的に示されていても、解決に至らないのはなぜか？
・科学的に不確実性が残る問題にどのようにアプローチすればよいのか？

環境問題の解決には、現象解明から政策立案まで理解を深めることが求められるため、当講義は文系、理系にこだわらず、両者にとって相互理解を深められる内容を目指す。

評価方法　出席を 60 満点で評価する。レポート提出を 2 回予定しており、各 20 点満点。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
その他　講義前に ITC-LMS にスライドをアップする

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time
20199/27　5 限／5th Period

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50306	A	環境物質科学	松尾 基之	化学	火 2	523	1 年 文科 理科

講義題目　物質循環と環境化学

授業の目標概要　環境問題は近年、高濃度汚染による局地的な被害（いわゆる公害問題）から低濃度汚染による地球規模の慢性被害へと、質的に変化を遂げてきた。環境中に排出された化学物質はどのような挙動をとり、どのような運命をたどるのであろうか。そのことを考える際、忘れてはならない事は、もともと天然においても化学物質は動いているのであり、地球上での循環・滞留を繰り返しているという事である。
本講義では、環境化学・地球化学の立場から、環境中における種々の化学物質・元素の自然の分布とそれに対する人為の影響について検討する。具体的なテーマとしては、ＣＯ２による地球温暖化、フロンによるオゾン層破壊、酸性雨などについても取り上げる。

評価方法　学期末試験を行う。
なお、授業中に行うミニテストも加味する。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50307	A	生態学	山道 真人、川北 篤	生物	火 2	514	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　生態学

授業の目標概要

生態学は、身近な環境での生き物の生活史から、地球レベルでの生物圏の挙動や物質循環に至るまで、広いスケールを対象にする。同時に、個体内の遺伝的多様性、個体レベルでの種多様性、個体群（集団）や生物群集の動態と多様性、そして物質循環とエネルギー流を示す生態系に至るまで、多段階の階層性を持つことになるので、生態学の理解は多岐に渡り、一筋縄ではいかない面がある。しかし、それが自然界で生活している生き物と生態系の実態であり、生態学を学ぶ面白さでもある。

本講義の初回は生態学とはどのような学問かを紹介した後、前半は山道が担当し、個体群成長と生活史／生物間相互作用／個体群動態と食物網／多種共存と群集動態／水域のバイオーム／生態と進化の相互作用などを解説する。後半は川北が主に植物生態の視点から、日本と世界の植生／環境条件と植物群集／種多様性の地理的パターン／生態系における物質の流れ／共生／生物多様性の保全などを解説する。

全体として、基礎科学としての生態学だけに留まらず、人間社会との接点に位置する自然環境や生物多様性の保全、そして生態系への人為的負荷と地球環境への視点など、応用的な側面も併せて講義する。

評価方法　期末試験

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50832	A	社会環境論	梶田 真	人文地理学	木 3	1101	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　地域開発と地域の動態

授業の目標概要

地域的不均等発展という言葉があるように，経済成長は必ずしも全国一様の発展をもたらすわけではなく，成長地域と成長から取り残される地域を生みだすことになります。このような中で，中央政府は”均衡ある国土の発展”といった観点から，経済成長から取り残された地域の開発を推進し，後進地域自身も格差を埋めようと様々な開発事業を行ってきました。しかし，こうした政策・取り組みは意図するような成果をあげることができたのでしょうか。また，経済面以外の部分を含め，地域にどのような影響を及ぼしたのでしょうか。本講義では「虫の目」の視点から，個別地域の動態を丁寧に跡づけていくことによって，これらの点について考えていきたいと思います。

評価方法　成績はレポートによって評価します。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50778	A	社会生態学	松原 宏	人文地理学	木 2	K011	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　産業立地と地域経済の実態

授業の目標概要

本講義では、日本の地域経済の実態を事例を通して学ぶとともに、地域経済と地域政策の理論について理解を深めることをねらいとする。授業は３部からなり、第１部地域経済の理論では、経済地理学独自の経済地域のとらえ方、地域経済循環と地域構造の考え方を紹介する。第２部では、日本の地域構造の歴史的変化をおさえた後に、都市地域、工業地域、農山村地域の事例をもとに、現代日本の地域経済の実態をみていく。第３部では、地域経済政策の理論を解説した後、日本における地域政策の歴史と今後のあり方を検討する。

評価方法　試験

数回書いてもらう質問票も評価に含める

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名　地域経済論入門

著者（訳者）　松原 宏編

出版社　古今書院

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50308	A	地域生態学	江口 卓	人文地理学	火 2	1222	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　ブータンヒマラヤの地誌

授業の目標概要　地理学の視点から地域をどのようにとらえるかを理解するとともに、ヒマラヤ地域について理解を深めることを目標とする。ブータンヒマラヤを中心に、ヒマラヤ地域の自然・社会・文化の特徴について概観しながら、相互の関係について考え、ヒマラヤにおける地域の成り立ちについて理解を深める。

評価方法　成績は、授業内の小テスト（1 回）・レポート（1 回）・受講態度などにより評価する。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50211	A	人間行動基礎論（理科生）	今井 久登	心理・教育学	月 5	1313	1年 理科 2 年 理科

講義題目　心理学概論

授業の目標概要　心とは何か、そして心を探究する学問としての心理学とは何なのかを解説する授業である。
本講義では、出発点として「コミュニケーションの機能不全（うまくいかなくなった）」事態を想定し「どのような対応がありうるのか」という問題を経由しつつ、最終的に「心」が何なのかということについて各自がなんらかの答えにたど゛り着くことを目指して、人の心の理解のために現在まで゛に蓄積されてきた心理学の知見をたど゛るという方略をとる。
具体的には、「人の心の基本的な仕組み及び働き」について、「自己と他者」「生得と環境」「生涯発達」などの視点を持ちながら、現在までに蓄積されてきた心理学の数々の知見を概観する。これに加えて、心の不全や心の働きの基礎としての知覚や認知、そして学問としての心理学の成り立ちにも触れる予定である。解説の立ち位置としては、計算論的・生理学的なメカニズ゛ムの解説というよりは、機能的な側面からの解説が゛主で゛ある。
半期の講義が゛終わった後に、受講者が゛人間理解の各自の地平をそれぞ゛れのやり方で゛拓いてみようとした時、その方法のひとつとして心理学的な視点を用いたり、心理学の知見を援用してみたりといったことが゛で゛きるようになることが゛最終目標で゛ある。
心との付き合い方を考えながら、人間の心の働きの複雑さと華麗さ、あるいは単純さと愚かさについて知ることで゛、人間の心についての各自の理解を構築し、深化させてほしい。

評価方法　レポート形式の課題にて成績評価を行う（最終回の授業時間内で回収する予定）。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50779	A	人間行動基礎論（理科生）	大久保 街亜	心理・教育学	木 2	1313	1 年 理科 2 年 理科

講義題目　心理学概論

授業の目標概要　「人の心の基本的な仕組み及び働き」について知識を身につけ体系立てて説明できること、並びに「心理学の成り立ち」について理解することを目標とする。現生人類は Homo sapiens と呼ばれる。これは「人間、知的なるもの」と訳される。知性が人間の基本的特徴であることが、この名称からよくわかる。この講義では知覚、記憶、思考、感情といった基礎的な心的機能について紹介する。それらを通して人間の知的側面について理解を深め、心理学の基礎を理解し、願わくは「人間とは何か？」という根本的な疑問を考えるきっかけとしてほしい。

評価方法　レポート（30%、学期中に何回か提出を求める）、小テスト（20%、学期中に何回か行う）、期末テスト（50%）の 3 つから総合的に評価する。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50309	A	情報認知科学	鈴木 宏昭	心理・教育学	火 2	1313	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　知覚・認知心理学

授業の目標概要　記憶、推論、問題解決などの高次認知における、内的資源(情報処理機構、経験的知識、生得的制約)と外的資源(状況、道具、他者)の利用、およびその間の相互作用について論じる。これらを通して、人間の知性を多様な資源の巧みな組合せによる創発として捉える可能性を提示する。

評価方法　学期末試験による。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　教養としての認知科学
著者（訳者）　鈴木宏昭
出版社　東京大学出版会

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50077	A	認知脳科学	石金 浩史	心理・教育学	月 2	1102	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　神経・生理心理学

授業の目標概要
＜目標＞
・「脳神経系の構造及び機能」を説明することができる。
・視覚の特性とその神経科学的基盤を説明することができる。
・「記憶、感情等の生理学的反応の機序」を説明することができる。
・「高次脳機能障害の概要」を説明することができる。
・脳と心の関係を調べる実験的技法を研究に応用できる。

＜概要＞
本講義では様々な精神機能の実現に深く関与する「脳」を研究対象とする神経科学分野に関して、いくつかのトピックを選び、基礎的な知識から最新の知見まで紹介する。この分野は心理学・生物学をはじめとして医学・工学・物理学等が結集してその解明に突き進んでいる学際的なフロンティア領域であり、幅広くその応用が期待されている。そして、脳研究の知見は「我々がいかなる存在であるのか」ということを垣間見せてくれる。授業では「心の諸特性」とそれを司る「脳のメカニズム」がどのような実験手法で解明されてきたのかを、視聴覚教材を用いて体験しながら学ぶ。講義では、まず、脳が実現している私達人間の視覚・記憶・感情などの心的特性を学ぶ。また、脳神経系の構造及び機能を学んだ上で、視覚特性を説明する視覚系の概要や記憶・感情等の生理学的反応の機序を理解する。また、高次脳機能障害の概要を学び、そこから示唆されたことを証明した実験研究などを紹介する。さらに、心理・生物データの特性や標準的な科学的取り扱い、およびそれらに基づいた論理展開や解釈の仕方も勉強した上で、原著論文のデータを交えつつ、「ニューロンの活動」から「皮質レベルの活動」、そして「行動や意識」のレベルにいたるまでの「脳」と「心」の関係を包括的に理解することを目指す。

評価方法　期末試験成績による。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50381	A	認知脳科学	岡ノ谷 一夫	心理・教育学	火 3	1313	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　神経・生理心理学
授業の目標概要　脳神経系の構造及び機能
記憶、感情等の生理学的反応の機序
高次脳機能障害の概要

評価方法　期末試験による。
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　認知脳科学
著者（訳者）　嶋田聡太郎
出版社　コロナ社
ISBN　978-4-339-07812-1
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50871	A	適応行動論	大槻 久	心理・教育学	木 4	1313	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　人間の行動と心理の進化的理解
授業の目標概要　本講義の目標は、人間の身体や行動および心理の特性を進化の観点から理解することである。全ての生物種は進化という途方もなく長いプロセスを経て現在地球上に存在している。従って人間を一つの生物種である「ヒト」として捉えた時、我々の体や心も決して進化とは無縁でなく、そこには進化の痕跡が数多く残されていると考えられる。このような観点から人間の行動を理解する学問は人間行動進化学、心理を理解する学問は進化心理学と呼ばれ、近年目覚ましい発展を遂げている。またヒトの疾患の存在理由を進化的に理解する学問は進化医学と呼ばれる。
本講義では進化論が近現代の人間観・世界観に与えたインパクトを解説した後（第１回)、進化生物学の基本的な概念を学習する（第２～５回)。次に霊長類の特徴や人類の進化史を学び、生物としてのヒトの理解を深める（第６回～第７回)。これらの内容を踏まえた上で、進化が我々の身体や行動そして心理に及ぼしている影響について様々な例を挙げて解説する（第８回～第１３回)。具体的にはヒトの生活史、社会性、配偶行動を取り上げる。「人間とは何か」という大きな問題に対し、従来の人文科学や社会科学にはなかった新しい文理融合的アプローチによって迫りたい。本授業の履修にあたって進化学の知識は前提としない。必要な概念についてはその都度解説する。

評価方法　期末試験により評価（持ち込み不可）
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50562	A	社会行動論	北村 英哉	心理・教育学	水 2	1323	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　社会・集団・家族心理学

授業の目標概要

本授業は主に専門領域で言えば、心理学、なかでも社会心理学領域の講義を柱とし、家族心理学を補う。社会心理学は人間関係、集団関係の心理学領域であり、三面記事的な「社会」とは異なる。人間についても、自然法則、経済法則などといった他の分野と同様、あるいは独自の形で法則性が見られ、心理学とは人間を科学的に研究・解析してその法則性を樹立する学問分野である。イメージとしては行動科学、人間科学、認知科学といった用語の方が適合するかもしれない。一方、常に社会との関係性をも意識し、広く人文科学と社会科学をつなげる領域総合的な観点を有することも社会心理学の利点と魅力である。社会心理学分野は多岐にわたり、個人の行動分野から対人行動、自己、対人相互作用、集団過程、集合現象、家族関係など広く、経済学や政治学とも密接な関係をもつ隣接分野である。本講義は全体に目配りしながら、「対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程」、「人の態度及び行動」、「家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響」など、「公認心理師」の社会・集団・家族の選択科目分野が学べるような講義になっている。

人間関係は誰もが一生経験し、どのような職業についても無関係であることはなく、しかしながら単なる「人間関係のノウハウ」のような通俗本に取り上げられているものとは異なる。その知見は、実験や調査などの実証研究を土台とし、定義された専門用語によってはじめて正確に描写、記述することができるきわめて専門的な知識である。その専門的知識は深めるほどに個人の独創的・創造的な応用によってより深く、鋭く日常と接続し、本人の技量にしたがって一生役立てていける知識基盤となる。そして重要なのはそれは自分ためだけではなく、他者のためにもなり、またそれは結局ひいては自分のためであることを利他行動の授業回において明確に示すであろう。また心理学は一般に方法の学問と言われるように、その内容だけでなく、研究方法、知の獲得の仕方に特徴と味わいがあり、物の見方の学習こそが一生用いていくことができる最も応用可能な点である。

心理学は題材として人間を俎上に載せ、またその人間のひとりは他でもない自分自身であるだろうが、だからと言ってそれは学ばずして十分理解できるものでもなく、そのパースペクティブを獲得することがなければ一生気づかずに過ごしてしまう貴重な知見を豊富に含んでいる。とりわけ進化的なパースペクティブや体内物質、遺伝についての知見は、自分自身で気づくには圧倒的に不可能的なアイデアであったり、鋭く実証的な科学的知見であったりする。そもそも統計解析を重視する心理学にあって、人と環境の交互作用は知見の中心であるが、人は直観的に「交互作用効果」が理解できるように頭脳がしつらえられていない。これはきわめて現代的な進展であり、そうした学問の進展は生涯学び続けなければ、どんどん古びてしまうものである。

世間で心理学や人間について誤った言説が溢れているのは人が容易に新たな知見を学習しないからであると言っていい。受講者は一生にわたってこれらの知識を現代人として更新していってほしい。そういう意味で本講義の目標はよりよい現代人になることであり、基本的な人間の性質というものへの感受性を高め、その捉え方についてより科学的なスタンスを自分自身に確立させることを目標とする。

評価方法　70%テストによる。それ以外の学期途中の小課題の提出 3 回によって 30%を評価する。
社会心理学のモデルを専門用語によって理解し、正確に説明できるかが求められる目標である。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　『進化と感情から解き明かす社会心理学』
著者（訳者）　北村英哉・大坪庸介
出版社　有斐閣

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

スポーツ・身体運動実習	開講区分	A

授業の目標・概要	週１回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。
授業計画	第１回目の授業で、種目選択を行う。場所は仮設体育館（詳しくは９号館掲示板を参照）。 スポーツコース（テニス、サッカー等）、フィットネスコース、サイエンスコースから選択する。その曜限に開設されている種目と説明は https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp を参照のこと。 種目選択以降は、各種目に分かれて行う。
授業の方法	所定の場所で実施する。基本的には自分の身体を動かして、実習することが第一であるが、選択種目、担当教員により様々なアプローチがなされる。雨天時等で実施場所に変更がある場合等の連絡は、教務課掲示板ではなく、９号館前の掲示板に掲示する。
成績評価方法	1 出席 スポーツ・身体運動実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 2 達成度 各自が選択履修している授業について、学習達成度の評価を行う。 3 その他 授業中にどのような態度で参加し、そのように自己の役割を認識し、実行しているか、学習内容をどれだけ理解しているのか、等を評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
履修上の注意	種目選択後のキャンセルは認めない。併せて、１つの学期に３コマ以上登録することは認めない。 種目選択後の種目変更は、特別な事情（病気、怪我など）が無い限り認めない。
学習上のアドバイス	１コマ１単位であり、２S セメスター終了時までに２単位、２A セメスターに２単位、計４単位を上限として履修することができる。盗難が多いので注意する。体育館は、土足、飲食禁止。
関連ホームページ	https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50136	月 3	スポーツ・身体運動実習	実技担当	2 年 文科 理科
50310	火 2	スポーツ・身体運動実習	実技担当	2 年 文科 理科
50563	水 2	スポーツ・身体運動実習	実技担当	2 年 文科 理科
50967	金 2	スポーツ・身体運動実習	実技担当	2 年 文科 理科

スポーツ・身体運動実習（メディカルケア）	開講区分	A

授業の目標・概要	週１回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。
授業計画	第１回目 種目選択（仮設体育館、詳しくは９号館掲示板を参照） 月 3、火 2、水 2、金 2 のどれかのスポーツ・身体運動実習に出て、自分の選択するメディカルケアコースの登録をする。出席できない場合は、９号館１階教員控え室で登録する。 第２回目以降 各自の選択した曜限での授業
授業の方法	各自の状況に応じて、各自に合った運動を処方して行う。 毎回日誌をつけて、自己の状況を確認する。
成績評価方法	1 出席 この授業の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 2 達成度 各自が選択履修している授業について、学習達成度の評価を行う。 3 その他 授業中にどのような態度で参加し、どのように自己の役割を認識し、実行しているか、学習内容をどれだけ理解しているのか、等を評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
履修上の注意	初回のみスポーツ・身体運動実習の授業に参加する。次回からメディカルケアコースの曜限（月１、月５、火１、水１のいずれか）に移行し、教務登録もメディカルケアコースの曜限で行う。 体育館は土足、飲食禁止。 盗難注意。
学習上のアドバイス	基本的には健康診断等で保健センターから指示された者が受講するが、本人の申し出によりメディカルケア担当教員の判断によって指示されれば、受講できる。また学期途中でも、メディカルケアコースに移動すること、また回復により元の授業に復帰することも可能なので、担当教員とよく相談する。
関連ホームページ	https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50014	月 1	スポーツ・身体運動実習（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 3）	実技担当	2 年 文科 理科
50212	月 5	スポーツ・身体運動実習（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 1）	実技担当	2 年 文科 理科
50250	火 1	スポーツ・身体運動実習（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 3）	実技担当	2 年 文科 理科
50493	水 1	スポーツ・身体運動実習（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 2）	実技担当	2 年 文科 理科

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51100	A	スポーツ・身体運動実習Ⅱ	吉岡 伸輔	スポーツ・身体運動	集中	シラバス参照	1 年 文科 理科

講義題目　スキー・スノーボード実習

授業の目標概要　スキー・スノーボードは、代表的な冬季スポーツである。これらの種目は、雪山という特殊な自然環境のもとで、滑走のため の特別な用具を用いて行われる。そのため、安全で爽快な滑走を楽しむためには、事故防止のための知識や特殊な身体操作法の獲得が必須となる。本授業では、 スキー場での学外実習により、これらの知識・技能の獲得を目指す。なお、実習のための交通・宿泊・傷害保険、リフト代の費用負担が必要となる。用具を 持っていない者は、用具レンタル代が別途必要となる。
※身体運動・健康科学実習の A セメスター第 1 回目に受講手続きに関する説明を行う。

評価方法　実技上達、受講態度、技術の理解、および実技実習に関するレポート

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　教養としての身体運動・健康科学
著者（訳者）　東京大学身体運動科学研究室
出版社　東京大学出版会

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50494	A	身体運動科学	久保 啓太郎	スポーツ・身体運動	水 1	K114	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　健康増進およびパフォーマンス向上のためのスポーツ科学

授業の目標概要　運動（トレーニング）を実践することは、現代におけるあらゆる年齢層にとって大切であることは常識になりつつある。本講義では、一般人における健康増進、競技選手におけるパフォーマンス向上のためのスポーツ科学に関する基礎的な内容から、最近の知見も交えて概説する。特に、運動（トレーニング）に伴う身体諸機能（筋機能、骨強度、呼吸循環など）の変化から、それに基づいた適切な運動処方、トレーニング方法を紹介する。

評価方法　レポート 2 回（中間、学期末）を 80%、平常点（出欠確認を兼ねた複数回の小レポート）を 20%として、総合的に評価する

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50968	A	身体運動科学	中澤 公孝	スポーツ・身体運動	金 2	K213	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　身体運動科学

授業の目標概要　授業の目標：
ニューロリハビリテーションやスポーツ科学の理論基盤としての身体運動科学、特に神経科学の一領域であるヒトの運動制御を学び、実用科学としての身体運動科学の意義を、臨床応用の実例を通じて理解することが目標。

評価方法　出席状況。小テスト、レポートを総合的に評価する。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　歩行のニューロリハビリテーション ―歩行の再獲得をめざした理論と臨床―
著者(訳者)　中澤公孝
出版社　杏林書院

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50078	A	健康スポーツ医学	福井 尚志	スポーツ・身体運動	月 2	1331	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　健康スポーツ医学

授業の目標概要　現代生活では身体を動かす機会が少なくなったことで健康がさまざまに障害されることが多くなった。糖尿病、高血圧、高脂血症（脂質異常症）、心臓病、脳血管障害などの生活習慣病がその代表であるが、肩こりや腰痛も多くの場合運動の不足と関連している。 これらの健康障害を改善しまた予防するためにスポーツがすすめられる。一方、スポーツを一生懸命に行ったことでかえって健康を害する人もいる。過度の運動から病気になり、あるいはスポーツ中に怪我や障害を負うことも多い。スポーツ障害の原因は何か、予防のために何をすればよいか、また障害が起った場合スポーツ復帰のためにどういうことをすればよいのかを考え研究するのがスポーツ医学である。本講座では駒場にいる内科、整形外科、精神科、産業医、歯科の専門家から現代人が知っておくべき健康医科学、スポーツ医学などの医学的知識および健康に関する知識を学ぶ。

評価方法　筆記試験（講義を分担する教員がそれぞれ出題する）
教員によっては出席状況も考慮して評価する場合がある。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　教養としての身体運動・健康科学
著者(訳者)　東京大学身体運動科学研究室編
出版社　東大出版会

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50922	A	身体生命科学	佐々木 一茂	スポーツ・身体運動	金 1	1102	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　身体づくりの科学

授業の目標概要　身体の形状や機能は生涯を通じて変化を続けるが、こうした変化は全て遺伝的に決定されているわけではなく、相当に環境の影響を受けている。生活習慣を少し変えただけで、身体に大きな変化が生じることもある。現代社会においては、身体を適切に管理する術を身につけること、あるいは適切に管理された身体それ自体がひとつの教養と言える。
そこで本講では、前半は筋（骨格筋）、後半は脂肪（体脂肪）に焦点を当てながら、身体づくりに関する生命科学的な知見の紹介および考察を行う。授業の到達目標は、常に自らの存在とともにある身体との上手な付き合い方について本質から理解し、他者に説明できること、また身につけた知識を日々の生活に役立てられるようになることである。

評価方法　平常点（授業内テスト・レポート）を 60%、期末レポートを 40%として評価する。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50251	A	身体運動メカニクス	吉岡 伸輔	スポーツ・身体運動	火 1	1311	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　スポーツ動作を科学する

授業の目標概要　身体運動メカニクスでは、身体と運動をキーワードに、特にスポーツ動作について、自然科学的な研究成果を体系的に講義する。この授業では、通常、健康であれば意識外に追いやられる「身体や運動」について再認識し、それを自然科学的観点から直視して深く考えること、そしてダ イナミックなスポーツ動作の成り立ちをバイオメカニクスの観点から理解することを目的とする。

評価方法　授業への参加態度および試験

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　スポーツ動作の科学
著者(訳者)　深代千之、川本竜史、石毛勇介、若山章信
出版社　東京大学出版会
ISBN　978-4-13-052705-7 C3075

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51467	A	情報メディア伝達論	越塚 登、 住友 貴広	情報学環	月 5	K114	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　情報メディア伝達論 （オープンデータや AI, IoT を駆使した新しい公共政策）

授業の目標概要

近年、「情報」の「メディア表現」を活用した重要な取組の一つにオープンデータ（Open Data）がある。オープンデータとは、政府自治体や公的機関、教育研究機関、場合によっては民間企業等が保有する膨大な情報を、プログラムしやすい形式でオープンにすることによって、それらの機関組織の透明化や新しいビジネスやサービスの創出、また経済対策、イノベーション政策、地方創生などの目的に資する活動をいう。ここ数年、我が国の IT 戦略の中核にすえられた取組でありかつ、世界的にも G8 でオープンデータ憲章が採択されるなど、非常に活発に進められている。また、このオープンデータを核として、公共性の高いデータを出す政府自治体、それを使ってソリューションを提供する民間や個人が協業する、新しい官民連携の方式、またそれを行政に取り入れた新しいオープンガバメントのあり方（Government 2.0）も扱う。これは、まさに最先端の情報技術と公共政策、ビジネスモデルのクロスオーバーした領域であり、理系的知見と文系的知見がコラボレーションすることが不可欠である。

本授業では、まずはじめに、オープンデータとは何か、また世界のオープンデータの取組、それを利用した新しい情報サービスや行政問題の解決などを、世界における実例を挙げて解説する。例えば、本講義の担当教員である越塚が実際にリードしてきた、日本政府のオープンデータカタログである data.go.jp、公共交通オープンデータ、東京メトロオープンデータ、横須賀市・豊島区の自治体オープンデータ、札幌観光オープンデータなどの事例を紹介する。

（例）
・data.go.jp （日本政府、内閣官房によるオープンデータカタログ）
・www.odpt.org （公共交通オープンデータ）
・http://sapporo.odcity.org （札幌オープンデータ）

次に、実際に、行政や企業の前線で活躍している外部ゲスト講師をお招きし、行政におけるリアルな課題、企業における課題、そして、実際の行政は企業が保有するデータを授業の中で公開し、その「オープンデータ」を使った課題解決について授業の中で考えていく。

最後、講義の中で紹介された、実社会における様々な課題を、オープンデータを使っていかに解決するかを、履修者自らが考案し、課題発表や討論を行って理解を深めていく。

評価方法　出席、レポート提出、課題発表

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51102	A	情報メディア表現論	岡 美穂子	情報学環	月 5	K212	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　人は何に対して祈るのかー人類と宗教と表現の歴史ー

授業の目標概要

情報（宗教）が、メディア（宗教画、神像、仏像等）を通じて、どのように表現され、その土地の文化と混淆していったのかという歴史を学ぶ。宗教表現の中でも、とくにシンクレティズムと関係の深いものについて考察し、文化の基層について考える。

評価方法　授業への積極的な参加（質問、ディスカッション、出席回数）
期末レポート

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50697	A	科学技術基礎論 I	岡本 拓司	哲学・科学史	水 5	1212	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　思想的・歴史的・社会的な観点から科学技術の特質・役割・意義を検討する

授業の目標概要

現代社会においては、科学者や技術者ではない人々も、科学技術と関わりをもたずに生きていくことはできない。しかし、「科学ですべてが分かるわけではない」などと嘯くとき、われわれは科学について何をどこまで知っているというのであろうか。

科学技術と関わりなく生きようと望んでも、現代に生きる限りそれは許されない。この講義では、社会や歴史の中のさまざまな局面に現れる科学技術を取り上げ、それらを思想的・社会的・文化的な観点から分析することで、科学技術を侮りもせず、過度におそれもせず、うまく付き合いながら生きていくための手がかりをつかむ機会を作りたいと考えている。歴史の中に現れる科学技術の姿は、現在のそれからは予想もつかないかたちをしていることもある。

将来、科学・技術の領域で働くことを志す人々も、そうでない人々も、ともに学んで意義がある材料を提示していきたい。

評価方法　レポートを 1 回から 3 回程度提出していただき、それによって成績評価を行う予定であるが、受講者の態度などに応じて試験に切り替える可能性もある。状況に応じてノートを拝見させていただき、成績に加味する場合がある。必要があれば、レポートの書き方についても講義中に説明する。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50311	A	科学技術社会論	藤垣 裕子	情報図形	火 2	531	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　科学技術社会論入門

授業の目標概要

現代社会において科学／技術の発展はめざましく、生活の隅々にまで浸透し、かつ社会およびその構成員一人一人の安全やリスクに直結する形ですすんでいる。環境、食糧、医療、災害、情報、など、さまざまな分野において、科学／技術と社会との接点の問題の調停が求められている。遺伝子組換え食品や狂牛病の危険のある牛の規制をどうするか、情報技術のグローバル化にともなう各国の法整備の問題、医療技術の発達にともなう倫理の問題など、自然科学の個別の学問領域を越えた複合領域の問題となりつつある。ところが、既成の学問は、個別の学問領域によって分割されすぎていて、このような問題群がまっすぐに扱えないでいた。気がかりではあるが、各専門領域のメインタスクからは少々ずれているために今まで体系的に扱われてこなかった領域、あるいは各分野の人々が個別に論じ、相互に枠組みを共有してこなかったがゆえにいまだ見通しの悪い領域、そこに科学技術社会論の研究領域がある。これまで文系と理系双方から等閑視されてきた、膨大な境界領域の問題を扱う学問分野である。科学者の社会的責任とは何だろうか。今後の科学技術のガバナンスはどうあるべきか。専門家と市民の科学コミュニケーションはどうあるべきか。さまざまな事例をもとに考えてみよう。将来の自らの研究成果の社会への影響に関心のある理系の学生、そして自然科学の個別の学問領域を越えて、外交や国際関係、法律そして社会制度の関係する複合領域の問題（科学技術のガバナンス）に関心のある文系の学生、双方に開かれている。

評価方法　レポート

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名　科学技術社会論の技法
著者(訳者)　藤垣裕子編
出版社　東京大学出版会
ISBN　4-13-003204-6

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51274	A	現代工学概論	六川 修一	工学部	木 5	532	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　工学概論

授業の目標概要

工学とは、科学技術を用いて経済的･社会的価値を生み出すための学問である。対象は宇宙、地球、地域、都市、社会、産業、製品、生活から生命、分子、原子まで、多岐にわたる。生み出される価値も、地球環境の保全、経済発展、利便性、快適性、安全安心から心の豊かさまで、幅が広い。近年のディジタル化の進みつつある社会において、工学的に研究を進め解決すべき新たな課題がますます多様化しており、技術と社会との関わりを一層密にしなければならないことが再認識されている。工学がさまざまな価値を生み出すためのアプローチには、目標や問題を特定し、目標達成、問題解決の手段を設計するというニーズ立脚型アプローチと、目標達成、問題解決に活かされる技術を開発するというシーズ指向型アプローチが存在する。本講義では、工学に関わる複数の課題に関する各 2 回程度の講義を通じて、工学の全体像を把握するとともに、工学の基底をなす基本的な方法論を理解することを目的とする。

評価方法

６つのサブテーマに関してそれぞれ課題として与えるレポートと出席により総合的に評価する。
目安は出席 60%、レポート内容 40%.
（但し、レポート提出が 4 回未満の学生には、出席回数に関係なく単位を付与しない）
・レポートは各教員が指示したメールアドレス宛に送付。
・締め切り：２回目講義の１週間後。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time
2019/9/27　5 限／5th Period　駒場 5 号館 532 教室／Komaba Bldg.5 Room 532

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51255	A	現代工学基礎 I	泉 聡志	工学部	月 5	K011	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　四力学とデザイン入門～～ワークショップで学ぶ機械のデザイン

授業の目標概要

機械工学科で伝統的に教えられてきた四力学（ヨンリキガク）は，機械力学、材料力学、熱工学、流体力学からなり、自動車、鉄道、航空機、ガスタービン、スマートフォン、医療器械など、あらゆるものの設計に必須の知識となっている。さまざまな機械を生み出すためのいわゆるエンジニアリングには、デザインの思考と発想力が不可欠である。そしてその発想をかたちあるものにする設計（デザイン）の技術、これを実際にかたちづくる生産加工技術、この２つの連携が我々の生活を豊かにする様々な機械を生み出す。

講義の半分は四力学に関する講義であり、力学のエッセンス・面白さを学んでもらう。

残りの半分は、デザインの講義として、発想をデザインする方法、アイディアを実現する方法をワークショップ形式で学びながら実践する。また、材料の造り方、それを必要な形に仕上げる加工技術を分かりやすく紹介する。

前半は主に四力学の講義を行い、力学のエッセンス・面白さを学んでもらう。

後半は生産加工の講義として、材料の造り方、それを必要な形に仕上げる加工技術を分かりやすく紹介する。設計の講義として、発想をデザインする方法を学びながら実践する。

評価方法　出席及びレポートによる

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51261	A	現代工学基礎 I	妹尾 拓	工学部	水 5	162	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　物理情報システム工学 -あらゆる工学を計測・制御・認識で斬る-

授業の目標概要

物理的，人工的，社会的，どんな対象であれ，そこに望みの機能を工学的に実現する際，
1) 対象で生じる物理現象のモデリングと解析，
2) 計測による物理現象の本質の情報化，
3) 情報処理と制御による所望の機能の最適な実現
4) 情報の認識と実世界の理解，
が重要となる．本講義は，駒場生にこの工学的方法論のエッセンスを講義することを目的とする．具体的には，以下の各項目に関し，最先端の事例を交えつつ講義する．

1)物理現象の数理モデリング
未だ科学技術の土俵にあがったことがない社会的課題が生じたとき，まずその対象の中で生じている物理現象を数式で表現し，問題として定式化することが重要となる．これを数理モデリングという．本講義では，音声・生物・ロボット・環境など動きや空間的変化をもつシステムを例に数理モデリングの基礎を説明する．
2)信号処理の基礎
信号処理の基礎：情報理解と実世界インテリジェントシステムへの応用
信号処理とは，生物・社会・経済・ロボットや自動車など動きや空間的な変化をもつシステムから計測された様々な信号を数学的に加工し，望みの情報を取り出すことや機能を実現させるための技術である。
本講義では，音信号のモデリングを例にとり，システムモデリングに基づく情報理解と実世界制御の基礎事項とその応用について説明する。
3)制御の基礎
対象を望み通り操るために理論的に体系化された制御理論は，機械，情報通信，金融，生物などへ応用可能な横断的技術である．本講義では，制御理論として一般的な古典制御・現代制御について概説する．続いてロボットを例として，制御に必要となる機構や力学といったモデル化，対象を計測するセンサと状態フィードバック，およびロボットが環境とインタラクションする際に重要な位置制御と力制御について説明する．
4)認識の基礎
サイバースペースやサイボーグの元となる言葉、サイバネティクスとはノーバート・ウィーナーが著書『Cybernetics: or Control and Communication in the Animal and the Machine』で示したように、計測・認識・行動・コミュニケーションする過程が動物と自動機械とで類似していることに着目し、情報・物理・生物を俯瞰する学問分野である。
本講義ではヒト、(ヒト以外の)動物の認識機能を踏まえつつ、機械や人に超感覚を与えるシステムについて論じる。

評価方法　計測，制御，認識に関するレポート課題 3 つで評価する．
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51260	A	現代工学基礎Ⅱ	沙川 貴大	工学部	木 5	166	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　物理をエンジニアリング

授業の目標概要

物理学とエンジニアリングは互いに切っても切れない関係で発展して来ました。産業革命に刺激されて発展した熱力学、電磁気学の方程式から生まれた電信技術、ドイツ鉄鋼業から生まれた量子力学、など歴史を繙くとその例には事欠きません。そして現代、その関係はどのようになっているのでしょうか？ この講義では、身近だけれども不思議な現象を実際にお見せするところから始めて、その謎解きとその奥にひそむ物理を解説し、さらに現代科学技術との関係までのストーリーを下記の４つのテーマについてそれぞれ「読み切り」で示します。そして、物理がエンジニアリングに「応用される」というだけの関係ではなく、エンジニアリング自体が物理学を変革してゆく様子を皆さんにお伝えします。
１．超伝導 － 量子の世界からエネルギー革命へ
２．ナノサイエンス － オングストロームの世界を操る
３．光の物理学 － 光と原子の物理学―レーザーで原子を冷やす
４．理論物理学の挑戦 － 基礎方程式の力

評価方法　成績評価は出席とレポートで行う
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time
2019/9/26　5 限／5th Period

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51267	A	現代工学基礎Ⅱ	小寺 正明	工学部	木 5	E25	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　化学情報とシミュレーション

授業の目標概要　社会問題を化学の力で解決に導くための基本的なシミュレーション技術や情報処理技術を、Microsoft Excel を利用した演習を通して学ぶ。将来、プログラミング言語 Python などを使って高度情報処理・AI 技術を実践をするための基礎をつくる。

評価方法　出席、および、演習結果とレポート。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60206	A 2	現代工学基礎Ⅱ	梅田 靖	工学部	金 2, 火 2	K402	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　デザイン思考によるイノベーション入門

授業の目標概要　イノベーションを引き起こすためには、技術的、もしくは、非技術的な新しい発想が不可欠である。ただやみくもに考えても新しい発想が出てくる訳ではなく、そこには適切な思考方法がある。本講義では、イノベーションを引き起こすことが可能な人材になるために、広い意味での工学設計の分野で注目を集めている 4 つの思考法（本講義では、「イノベーションのための 4 つの道具」と呼ぶ）を学ぶ。四つの道具とは、デザイン思考、サービス設計、体系的設計方法論、および、ロジカル思考である。この 4 つの道具は、2 つの座標軸によって分類できる。第一の軸は、より論理性、体系性を重んじる「論理的思考」と、より思考の柔軟性、発想の豊かさを重んじる「デザイン思考」である。第二の軸は、対象を、ものを中心に考える「実物指向」と、ものだけでなくサービスを含めて考える「サービス指向」である。

本講義のメッセージは、この 4 つの道具を学ぶことにより、各道具を比較し、各道具の特徴と限界を知ることができ、結果としてこの 4 つの道具をバランス良く使い分けることで様々な新しい発想を生み出すことが可能になる、ということである。

手法は、チームによる演習を通して実践的に学習し、最終回で与えられた課題に対してイノベーティブな提案を行うプレゼンテーションを行う。

演習課題は、2015 年度は「一人暮らしの大学生の健康を増進する製品/サービス」、2016 年度は「自分たちの欲しい学内ファシリティ」、2017 年度は「超スマート社会における精神的 well-being を実現するための製品やサービスの提案」、2018 年度は「一人暮らしの大学生の時間を有効に使う製品/サービス」であった。今年は何が出てくるか？

評価方法　出席、演習課題、レポート、プレゼンテーション、演習への積極性を総合して評価する。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time
2019/11/19　2 限／2nd Period 通常の講義を行う教室

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51254	A	社会システム工学基礎Ⅱ	小泉 秀樹	工学部	木 5	1106	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　TOKYO: 東京の都市計画

授業の目標概要　さまざまな人々を惹きつけてやまない世界一の大都市 TOKYO それは、どのように発展し、制御されてきたのか、そしてどこに向かおうとしているのか？ 本講義では、TOKYO／東京を題材として、都市の発展とその制御について、歴史、文化、環境、経済、社会制度、計画・デザイン手法など総合的・包括的観点から講義を行い、都市の諸問題について自問し、またその将来を構想することにむけて必要となる学術的パースペクティブを獲得することを目的として実施する。

評価方法　出席点およびレポート

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51275	A	社会システム工学基礎Ⅱ	羽藤 英二、柴崎 隆一	工学部	水 5	1311	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　人間社会と交通システム

授業の目標概要　交通システムは、現在の経済・生活・社会において、なくてはならないものである。また、近年の増え続ける地震などの災害や度重なる事故のことを考えると、交通システムと社会のあり方は新しいステージへと向かう必要がある。本講義は、道路交通、鉄道、航空など様々な交通システムと人間・地域社会との様々な関わりやそうした交通システムを支える様々な技術について、社会基盤学、都市工学、機械工学、電気工学をはじめとする「交通」の専門家が、歴史、人、環境、インフラ、車両、動力、制御などといった切り口から、最新の技術的展望や現代の交通政策的課題を含めて包括的に講義する。

評価方法　1)課題内容：全 4 回のレポートの合計によって評価します(各 25 点)。各講義で出されるレポート課題に対して、前期（第 1 回-第 7 回）から 2 課題、後期（第 8 回-第 13 回）から 2 課題を選んで、レポートを提出してください。4 回提出された場合のみ、成績評価の対象となりますので、注意してください。
2)提出方法：レポートは、原則として前期は 11/20 16:50、後期は 1/15 16:50 までに ITC-LMS 上で提出するものとします。
3)レポートの体裁：表紙は不要。1 課題ずつ別ファイルとして提出のこと。レポート冒頭に対象とした講義名及び担当教員名、及び学籍番号・氏名・科類を明記すること。以上の体裁を満たしていないレポートは採点できないことがありますので、充分注意してください。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51257	A	総合工学基礎Ⅱ	寺本 進	工学部	金 5	104	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　航空宇宙工学 —社会を豊かにする総合工学—

授業の目標概要　"重力に逆らって空を飛ぶ飛行機や宇宙機には 無駄のない極限的な設計が求められます。そこには、流体、構造・材料、飛行・制御、推進などの様々な工学分野のバランスの取れた""統合""が要求されます。
　ライト兄弟が 1903 年に、初の動力飛行を成功させた鍵も大空への熱意と各分野の統合にありました。ライト兄弟の精神を受け継ぎ、宇宙まで飛行できる""再利用型スペースプレーン""や""小型衛星""、""惑星探査機""、""超安全航空機""、""高信頼性ロケット""など、人類のさらなる希望をかなえる航空機・宇宙機の研究に取り組んでいます。
　この「バランスよく統合された最先端技術」は、皆さんの社会・暮らしを直接間接に豊かにしています。

　この講義では、航空宇宙工学科で行われている研究と社会の関わりについて、理解を深めてもらうことを目的とします。

評価方法　出席および期末レポート

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51271	A	総合工学基礎Ⅱ	上坂 充	工学部	水 5	158	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　核科学応用概論

授業の目標概要　現代科学技術を構築する基礎のひとつに、原子核や放射線や光の科学がある。ここでは放射線、医療、核融合、原子核・素粒子・放射線やレーザーを用いた技術から、これらを応用したシステムである原子力安全、エネルギー政策、レジリエンス、核融合、医療装置について概説する。

評価方法　出席数とレポートの採点により評価する

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51258	A	生体医工学基礎Ⅱ	神保 泰彦	工学部	金 2	1221	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　生体医工学の世界－工学から見た生体物理現象と医療応用技術－

授業の目標概要　周囲の環境に適応しながら生命を維持し，伝えていくのが生体現象の本質であり，その過程で生じた障害への対処が医療診断・治療です．最先端の医療では，工学技術が重要な役割を果たしています．本講義では，生体現象を情報，物質，エネルギーの流れの視点から説明し，工学技術に基づく医療診断・治療の研究開発動向と今後の可能性について議論します．

評価方法　レポートで評価します（講義出席状況も考慮します）。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51272	A	環境・エネルギー工学概論	村上 進亮	工学部	火 2	166	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　環境・エネルギー工学概論／ Introduction to Environmental and Energy Engineering

授業の目標概要　本講義は工学部全体として、環境･エネルギー問題を概観した上で、工学的なアプローチの理解を進めることを目的としている。内容は大きく 3 つのパートに分かれており、それぞれの取りまとめ担当の教員が講義を行う。よって、受講者には以下を目標とされたい。
・現在良く議論されている環境･エネルギー問題の概観を理解すること
・それぞれの問題の特徴を技術的、社会システム的双方の視点から理解すること
・技術、社会それぞれどのようなアプローチでその解決に当たっているのかを理解すること
・これらを理解した上でどのような課題が残されており、そのために何をすべきかを考えること

評価方法　レポート（3 パートからそれぞれ 1 課題ずつ、各 A4 で 2 から 3 枚程度を予定）＋出席点による。
出席回数が余りに少ない場合は合計点の如何に関わらず単位を認めない場合がある。
詳しくは第 1 回目の講義でのオリエンテーションで説明する。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51266	A	環境・エネルギー工学基礎Ⅱ	山口 和也	工学部	火 2	515	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　最先端科学を理解する化学基礎

授業の目標概要　現在、科学が取り扱う範囲は、環境やエネルギーなどの分野に加え、バイオ、医学、およびエレクトロニクスなど幅広い領域に広がっている。その結果、従来の化学の基礎のみでこれら最先端科学を理解することが困難になっている。そこで、本講義では、最先端科学を理解するために必要な化学の基礎を学ぶことを目的とする。触媒、高性能電池、自己組織化、ソフトマテリアル、分析デバイス、一分子バイオ、分子設計、人工光合成、有機エレクトロニクスなど最先端の高度な化学を理解するための基礎を学ぶ。

評価方法　出席点とレポート点による総合評価

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51268	A	環境・エネルギー工学基礎Ⅱ	松島 潤	工学部	月 5	514	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　エネルギー資源論

授業の目標概要
本講義では、地球科学・工学、エネルギー化学・科学、資源経済・政策学の基礎学理を概観し、地球システムの理解、エネルギー資源の開発・変換・有効利用、環境の保全、エネルギー資源の安定供給といった一連の方法論を概説する。エネルギー資源を取り巻く多様な分野を多角的に概観することにより、エネルギー資源の本質を理解することを助け、複雑性を呈するエネルギー資源に係る困難な問題にどのように対処すべきかについてともに考える。

評価方法　出席状況とレポートにて成績評価する。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51269	A	環境・エネルギー工学基礎Ⅱ	多部田 茂	工学部	金 5	K301	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　海と社会概論

授業の目標概要
人類は地球に負担をかけながら生活している。有限な地球に負担をかけず、持続可能な社会を実現するためには、地球の面積の 7 割を占める海洋を賢く利用して行くことが必要不可欠である。これまで海洋は科学的な探査を主体とする調査の時代であったが、これからは、海洋のメカニズムを熟知した上での統制のとれた海洋利用を実現してゆくことが、カギとなる。
例えば、海洋には未だに利用されていない資源が相当量残されており、循環型社会に適したエネルギー資源の供給源となる可能性を有している。また我が国の EEZ（排他的経済水域）内には、黒潮と親潮の合流による好漁場、深層水、メタンハイドレート、鉱物資源等が存在しており、海洋資源の潜在的ポテンシャルは非常に高い。これらを利用することにより、我が国の脆弱な食料、資源・エネルギー基盤の強化や新産業の創出が期待されるとともに、海底空間の利用によって CO2 の海底下地層への隔離等の環境問題の課題解決に資する可能性をも秘めている。
この講義では、食料・資源・エネルギーの安定確保と地球環境問題解決のための海洋利用技術ついて包括的に学び、その方向性を論じる。

評価方法　出席点（初回は除く）40%
課題のプレゼンテーションおよびレポート 60%

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51246	A	看護学概論Ⅱ	武村 雪絵、 國江 慶子	医学部	木 5	159	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　看護学概論Ⅱ－社会で活躍する看護プロフェッショナル－

授業の目標概要
高度に医療技術が発展してきた現代社会では、疾患を抱えたまま生活する者は多くなり、また、従来の医学モデルでは解決できない、健康への様々なニーズが顕在化してきている。特に少子高齢化が高度に進んだ日本においては、この社会を看護学モデルとして扱い、新たな対処方法を構築することへの社会的期待が高まっている。つまり、生きることを支える学問である看護学は、あらゆる年代の個人から集団、地域社会を対象に、健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛緩和等について、生涯を通して支援することが出来る。
本講義では、保健・医療・福祉の分野における臨床実践や研究、政策活動に至るまで、社会で広く活躍している看護のプロフェッショナルから実際の活動についてご講義いただき、少子高齢社会において看護学が担う役割と今後の看護学の発展について議論する。

評価方法　出席及び毎回の小レポートにより評価を行う。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60234	A 2	環境と生物資源	木南 章	農学部	木 5	107	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　農業フィールドワーク論
授業の目標概要　農業および農村におけるフィールドワークについて理解を深める

評価方法　授業への参加状況とプレゼンテーションの内容により評価する。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60233	A 2	食糧と環境	根本 圭介	農学部	月 1	K211	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　農業生産学概論
授業の目標概要　人口爆発に伴う食糧需要、農業を取り巻く環境の悪化と自然資本の枯渇、穀物を巡る食糧需要とエネルギー需要の競合、経済のグローバル化に伴って深刻化する世界農業の構造的問題など、今日の農業は、かつてなかったほど多くの問題を抱えている。本講義では農業の生態学的な原理を踏まえつつ、世界の農業システムはいかなる座標軸の上で多様化してきたか、そこで展開してきた技術発展の必然性とは何か、食料供給網（フードサプライチェーン）の発達は農業をどのように変えてきたか、今日の農業が将来の世界人口を扶養できるか、といった問題を論じた上で、あらためてアジア稲作の持つ意味を考えてみたい。

評価方法　・小課題（授業中に毎回実施する）と出席点により、総合的に評価する。原則として、出席回数が半分に達しない場合には単位は与えない。
・期末試験は行わない。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51280	A	放射線環境科学	田野井 慶太朗	農学部	水 5	1214	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　福島第一原発事故に起因した農業環境における放射能汚染の実状および調査研究により得られた知見を学ぶ
授業の目標概要　2011 年 3 月の東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所事故では多くの放射性物質が環境中に放出されました。放射性物質が降下した場の多くは農林水畜産業の場であり、事故直後から農学者により多くの調査研究がなされました。本講義では、食の安全と農業環境に焦点を当て、農業の場における放射能汚染の実態とその対策のための試験研究で得られた知見を学びます。同時に放射線や放射性物質の基礎も講義します。受講者は、本講義を通じて、農業環境における放射能汚染の実態把握と放射能汚染からみた食の安全確保への取り組みを理解することが期待されています。さらに、当該事故と同時代を生き、今後世界を舞台に活躍が期待される受講者諸君にとって、本講義が、当該事故を体験とともに語れる人材となる最初のステップとなることを期待します。なお、この講義は「福島復興学（仮称）」の支援により現場の方の話を聞く機会など設けています。

評価方法　試験により評価します。
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　土壌汚染―フクシマの放射性物質のゆくえ
著者(訳者)　中西友子
出版社　NHK ブックス
ISBN　ISBN-10: 4140912081、 ISBN-13: 978-4140912089
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51277	A 1	住環境の科学	稲山 正弘	農学部	木 5	113	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　人と木と木造建築

授業の目標概要　地球温暖化などの環境問題に対し、木材の適切な利用を核とした資源循環型社会への移行が世界的に求められています。本講義では、森林資源から木造建築に至るまでの様々な観点で「人と木と木造建築」について学んでいきます。すなわち、木材の微細構造から基礎的物性などに関する基礎知識や、未利用資源あるいはリサイクル利用に関する社会科学的な分野の基礎知識等を学び、木材を有効活用してつくられる製材・木質材料（集成材・合板・繊維板等）の特徴や、木造住宅に至るまでの生産・流通などについて学び、木造建築の設計に必要な基礎知識や様々な木造建築の事例、および居住空間等木材を使用した環境のアメニティ等について学習します。

評価方法　各教員における出席点とレポート点を集計して評価する。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51243	A	教育心理学の世界	能智 正博、 岡田 謙介、滝沢 龍	教育学部	木 5	1311	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　教育心理学の世界

授業の目標概要　教育心理学は、心理学の手法を用いて、教育の科学的基礎を実証的に探究し、また、その知見の教育や生活場面への応用まで考える学問である。このため、教授・学習、発達、臨床、認知科学、情報科学など、人間理解にかかわる多岐にわたる内容を扱う。この授業では、教育心理学において具体的にどのような研究が行われているのかや、どのような実践が行われているのかを知ってもらうために、これまで行われてきた重要な研究から近年の新たな知見まで幅広く紹介する。各回の授業は、本学の教育心理学コースの教員や教育心理学にかかわる若手研究者が行う。これらを通じて、教育心理学とはどのような学問であるのかを知ることが主たる目的である。さらに、心理学の手法と知見にもとづき、広い分野での応用・実践に取り組む研究者、心理技術者の養成の基礎となる、人間に関する心理学的理解や、心理学の基本的な研究手法を知ることも目的としている。

評価方法　最終回に、理解度を確認するテストを実施して評価を行う。テストは、本授業で扱った複数の領域から出題される。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

総合科目 E（物質・生命）

振動・波動論	開講区分	A

授業の目標・概要

音や光は我々が生存してゆく上で決定的に重要な情報を担い，音楽，美しい景色，絵画，写真と生活に喜びを与えてくれる．
音と光は共に波動現象の典型例であるが，我々の知的興味を引き付ける振動・波動現象は身近なところに数多く存在する．
たとえば，ブランコはどうして漕げるのだろうかとか，海の波はどうして波打ち際で砕けるのだろうかなど．
また，建造物や製品の設計においても，振動・波動の影響は欠かせない．
このように我々の日常と密接に関わっている振動・波動現象を，物理学の基本法則により根本的に理解することがこの講義の目的である．
その内容は古典的な場の理論の初歩を含み，引き続き量子力学，場の量子論を学ぶ者にとっては必須なものでもある．
主な項目は以下の通りであるが，実際の内容や順序は教員によって多少の違いがあり、特に＊印のついた項目は省略される場合がある．

1. 序論
2. 1 自由度系の振動
 ・単振動
 ・減衰振動
 ・強制振動，共鳴，Q 値
 ＊パラメーター励振
 ＊簡単な非線形振動
3. 連成振動
 ・2 自由度系
 ・基準振動，うなり
 ・N 自由度系
4. 1 次元の波動
 ・弦，弾性体，気柱
 ・縦波と横波
 ・波動方程式
 ・反射と透過
 ＊波のエネルギー
 ＊インピーダンス
5. フーリエ級数，変換の方法
 ・考え方，基本事項，線形性
 ・波束
 ・位相速度と群速度
 ＊不確定性関係
＊6. 2，3 次元の波
 ＊波動方程式
 ＊平面波
 ＊球面波
 ＊水の表面波
 ＊反射と屈折
 ＊干渉，回折

成績評価方法　各授業の UTAS シラバスを参照すること
教科書　その他。／Other
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50312	火 2	鈴木 康夫	721	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
50313	火 2	大川 祐司	723	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
50722	木 1	加藤 雄介	523	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
50969	金 2	大川 祐司	721	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50213	A	解析力学	加藤 光裕	物理	月 5	523	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　解析力学

授業の目標概要　解析力学は、ニュートンに始まる古典力学の最も一般的で洗練された理論形式であり、これによって保存量と対称性の関係や可積分性等の力学の構造を見通し良く理解することができるようになる。また、量子力学や統計力学を構築する上で不可欠な基礎を与えるものでもあり、現代物理学を理解する上で重要な役割を果たす。本講義では、理系 1 年で学ぶ力学の基礎知識をもとにして、その発展としての解析力学の理論形式や諸概念をじっくりと学ぶことを目標とする。

評価方法　主に試験による。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50698	A	相対論	大川 祐司	物理	水 5	721	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　特殊相対性理論

授業の目標概要　特殊相対性理論の基礎についての講義を行う。
相対性の概念、相対論以前の光の伝播の問題、相対論における異なる慣性系の間の座標変換である Lorentz 変換、テンソルを用いた共変的な記述、相対論的な力学、Maxwell 方程式の相対論的共変性などについて、基本的に教科書に沿って講義を行うが、教科書がなくても理解できるように板書を行う。
高校で習う数学および物理学の知識を前提とし、大学で電磁気学を履修していなくても十分に内容が理解できるように講義を行う。

評価方法　定期試験

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　相対性理論入門講義
著者(訳者)　風間洋一
出版社　培風館
ISBN　978-4563023218

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51092	A	量子論	菊川 芳夫	物理	金 5	513	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　量子力学入門

授業の目標概要　量子力学における基本的な概念と理論の枠組みを，基礎的な物理系の学習を通して体験する．また，発展的な例を通して，量子論が現代物理学の中でどのように展開しているか概観する．これによって量子論の概要を正しく把握し，今後の学習の基礎付けとすることをめざす．

評価方法　定期試験とレポート。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50015	A	統計物理学	福島 孝治	物理	月 1	511	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　統計物理学

授業の目標概要

多数の気体分子を考えたとき，初期条件としての位置と運動量のようなミクロな状態とその時間発展規則としての運動方程式が与えられると，少なくとも古典力学の意味で，ミクロな状態の時々刻々の移り変わりは予言することはできるであろう．しかしながら，その気体分子の数がアボガドロ数のように非常に大きな数の場合に，運動方程式を解くことで有益な情報は得られるとは限らない．一方で，熱力学は，温度や圧力のように驚くほど少数の変数でマクロな世界の性質を記述することに成功している．このミクロな状態からマクロな熱力学的性質を議論する理論体系を与えているのが統計力学である．講義では，統計力学の基本的な考え方や概念を古典平衡統計力学の範囲で説明し，いくつかの適用例題(気体のボイルーシャルルの法則，強磁性の相転移現象，等)を解説する．

評価方法　定期試験と数回のレポートによる総合評価
中村メソッドによるレポート点検も評価対象

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50699	A	物理科学Ⅱ（文科生）	横倉 祐貴	物理	水 5	1322	1年 文科 2 年 文科

講義題目　物理学と時空

授業の目標概要

物理学では、自明な現象・事実から出発し、そこから帰納的に自然法則を見出し、それを原理として論理を展開して、全く非自明な結果を演繹的に導き出す。物事を原理的に捉える物理学独特の考え方は自然科学に限らず、あらゆる問題解決やアイデア形成に役立つものである。この授業では、アインシュタインの相対性理論を導き出すことを通して、この物理学的思考過程を体験してもらいたいと思う。

授業は若きアインシュタインの疑問「光を光の速さで追いかけたら、光はどのように見えるだろうか？」から始まる。この疑問の意味を理解するために、まずニュートン力学を解説し、光について説明する。そして、アインシュタインの考えに沿って、時間と空間の意味を考え直し、特殊相対性理論を構成する。このとき、時間と空間を「時空」として統一し、ローレンツ変換、さらに E=mc^2 を導き、その物理的意味を理解する。

さらに、一般相対性理論に進む。素朴な経験事実から原理を見抜き、それらを巧みに組み合わせ、「時空は入れ物ではなく“動く物理的実体”である」という驚くべき結果がどのように導かれるのかを概説する。もし時間が許せば、ブラックホールについても説明したい。

物理学の 1 つの特徴はその普遍性にある。物理法則は地球上だけでなく、遠く離れた宇宙でも成立する普遍的な「物」の「理」である。これを可能にするのが、自然言語である数学である。従って、この授業では、ただの解説話ではなく、実際に数式を使って、法則を書き下し、それを一歩一歩変形して、結果を導き出す。高校物理を履修していない生徒でも理解できるように、必要な物理や数学の内容は全て授業で与え、なるべく初等的な数学からきちんと解説する。慣れない考え方も多くあるかもしれないが、真摯に学べば、素朴な興味や事実からどのように宇宙を支配する法則に至るのか、その物理学の壮大なロマンを感じてもらえると思う。

評価方法　定期試験。レポート課題を出す可能性あり。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50970	A	化学平衡と反応速度	奥野 将成	化学	金 2	522	1 年 文科 理科

講義題目　化学平衡と反応速度／Chemical Equilibrium and Kinetics

授業の目標概要　化学平衡と反応速度は、さまざまな化学反応を理解するうえで必要不可欠な概念である。本講義では、熱力学の基礎を踏まえ、物質間の平衡である化学平衡を導出する。さらに、化学反応が平衡状態にいたるまでの反応速度について講義する。化学平衡および反応の基礎となる気相中での反応を解説したのち、現実の化学反応で問題とある溶液中の化学反応について講義する。触媒反応・光化学反応・ラジカル反応・酵素反応・爆発反応など、具体的な事例を学習する中で化学反応の基礎の理解を目指す。

評価方法　演習と定期試験

教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51093	A	化学平衡と反応速度	豊田 太郎	化学	金 5	514	1 年 文科 理科

講義題目　化学平衡と反応速度

授業の目標概要　自然現象、特に生命現象、を原子や分子の視点から理解するとき、化学平衡という自然のなりゆきと、そこへ至るまでの反応過程を反応速度によってとらえることが重要である。本講義ではこれらの視点を、適宜演習を通じて理解する。

評価方法　演習課題と学期末レポート。

教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50314	A	分子システムの化学	豊田 太郎	統合自然科学科	火 2	109	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　分子が協同的に形成する形・機能・ダイナミクス

授業の目標概要　身近にあふれる物質の様々な現象の解明、さらには最先端の高機能性材料の開発や新たな生命現象の発見は、分子の性質や反応、そして分子間の相互作用を理解し、「分子が組み合わされたシステム」という観点に立つところから始まる。これまでの講義では、原子・分子や化学反応をただ暗記していただけではなかっただろうか。もしくは、分子の形状や反応の仕組みを、物理の観点に立って理解することが、最先端の化学ということに終始していたかもしれない。否、化学本来の持ち味は「物質の多様性の理解」、「物質の設計と開発」である。本講義では、そのサイエンスの最先端を駒場の化学系教員が紹介する。基礎から体系立てて化学の最先端を解説する本講義を受講することで、分子や物質の多様性、分子システムという考え方を習得していただきたい。

評価方法　各回での復習問題（12 回）の解答を総合して評価する。研究室見学会での小課題も成績評価に含まれる。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51263	A	物質・生命工学概論	吉田 英弘	工学部	金 5	521	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　物質・生命工学概論

授業の目標概要
　本講義は，工学部が提供する工学概論 4 講義の一つである。
物質・材料の探究と開発は，新たな物理現象の発見につながる基礎科学として重要であるのに加え，生命工学を通じた医療分野の技術革新から環境・資源問題の解決に至るまで，幅広い分野での産業創出や新たな社会価値の創造を支える工学の基盤となっている。
　本講義では，ナノサイエンス・ナノテクノロジーをベースにした物質・材料の基礎と最先端研究を紹介し，エネルギーや環境，情報通信，バイオ，医療などへの応用について理解を深めることを目的とする。

評価方法　出席およびレポート（第 2 回～第 13 回の講義に関連して出題される課題（全 6 課題）のうち，3 つを選択してレポートを提出）

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time
2019/09/27　5 限／5th Period

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51264	A	物質・生命工学概論	長汐 晃輔	工学部	月 1	512	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　ナノ・機能マテリアル入門

授業の目標概要
　「古典的・量子力学的波動の振る舞いについて理解したうえで，ナノテクノロジーとその機能マテリアルへの応用について学ぶ」ことがこの講義の目標である．大学教養学部では基礎科学の普遍性を強調したアカデミックなアプローチで講義が行われることが多く，専門の決まっていない学生に対する講義としてはある種正しい．しかしながら，厳密性を重視した数学による表現が多用されると，高校までに学習した物理や化学の知識との間に大きなギャップを感じることも多いのではないかと思う．間違って捉えてはいけないのは，数学的難しさと物理的な難しさは違うという点である．この講義では，固体中の電子の挙動を表すシュレーディンガー方程式から得られる波動関数に対する物理的意味を正しく理解し，どのように我々の身の回りのテクノロジーに結実しているのかをわかりやすく解説する．
　文系も受講可ですが，偏微分方程式，常微分方程式，行列に対する数学的知識は必須ですので注意してください．
　以下の項目を具体的な題材として議論したい．
高速トランジスタ，電子顕微鏡，走査トンネル顕微鏡，半導体レーザ，等

評価方法　できる限り毎回の簡単なレポート(8 割)＋最終レポート(2 割)での評価

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51265	A	物質・生命工学基礎Ⅱ	馬渡 和真	工学部	木 5	112	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　量子計測化学序論 II
–分子・錯体・固体の化学を量子化学で理解する（物性化学への橋渡し）-
/Quantum chemistry for measurement II
-understanding molecules, complexes, and solids by quantum chemistry

授業の目標概要
　化学では分子から固体まで幅広い物質を取り扱う。これら分子、錯体、固体の基本的な性質（分子の形、結合の手、電気伝導性など）についてはすでに高校で学んではいるが、そのメカニズムについては量子化学ではじめて理解ができる。そこで、本講義では、分子、錯体、固体という化学で取り扱う物質の基本的な性質を量子化学により理解することで、暗記する化学から理解する化学へ移行することを目指す。

　In chemistry, you will use many materials from molecules to solids. Basic characterisctics of molecules, complexes, and solids were taught in high scholl, while the mechnisms can be understood through quantum chemistry. In this lecture, you lean the mechanisms by quantum chemistry and become to understand chemistry.

評価方法　出席とレポート

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50214	A	進化学	青木 誠志郎	生物	月 5	1322	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　進化学

授業の目標概要　生　物の研究には、生物を物質的・還元的に分けて調べる研究分野の他に、人も含めた生物同士あるいは生物と環境の関係性を研究する分野があり、進化学は主に後者についての興味を扱う学問とされています。例えば、多様な生物はなぜどのように生まれて来たのか？男女の違いや、そもそも性はなぜ存在するのか？協力的な関係が成立するためには何が重要か？ゲノムと形質の多様性はどう結びつき、何に起源するのか？といった疑問についての面白さを追求します。一般に進化学では"進化機構"と"進化史"が研究のための２つの柱と言われ、本授業はそれらの研究法と、そこからわかった様々な知見について解説します。関係する分野として系統学、集団遺伝学、分子進化学、生態学、ゲーム理論、発生進化学などにも触れつつ、色々な生物の例を具体的に挙げながら順次説明していきます。高等学校で生物を学ばなかった方にもわかるように、授業の早期に最低限の遺伝学・分子生物学の資料を渡し、解説を行う予定です。また最新の論文を紹介することで、教科書的にはまるで解決されてしまったかのように言われている現象の中に、まだたくさんの未解明の謎が隠れていることを紹介し、将来生物の研究を目指す方々にも楽しんでもらいたいと考えています。これらを通じ、遺伝子-個体-集団から見た生物の面白さ・楽しさについて、進化学的に理解することを本授業の目標とします。

評価方法　期末試験を行います。その他、宿題の提出、質問や発言、出席などの授業への積極的姿勢も重視します。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50215	A 1	現代生命科学 I （文科生、理一生）	石丸 喜朗	生物	月 5	1213	1 年 文科 理一 2 年 文科 理一

講義題目　生命科学の基礎

授業の目標概要　21 世紀以降、生命科学は飛躍的に発展しています。本授業では、生命科学の基礎知識・基本原理を幅広く習得し、科学的思考力を身に付けることを目標とします。身近な生命現象を手がかりとして、その奥にある仕組みを科学的に基本から学習します。過去の生物学の履修歴は問いません。知的好奇心に溢れ、勉学意欲に富んだ学生の参加を希望します。

評価方法　繰り上げ試験を実施

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　現代生命科学
著者(訳者)　東京大学生命科学教科書編集委員会
出版社　羊土社
ISBN　978-4-7581-2053-1

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50315	A 1	現代生命科学Ⅱ（文科生、理一生）	渡邊 雄一郎	生物	火 2	521	1 年 文科 理一 2 年 文科 理一

講義題目　現代社会の問題をを生命科学から考える。

授業の目標概要　教科書の内容を参考にしつつ、学生の皆さんの将来に想定される問題を考える知的基礎体力をつける。

評価方法　授業中に出してもらう小レポートと学期末試験

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　現代生命科学 第２版
著者(訳者)　東京大学生命科学教科書編集委員会 編
出版社　羊土社
ISBN　978-4-7581-2091-3

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time
2019/09/24　2 限／2nd Period

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51253	A	分子生命科学	濡木 理	理学部	木 5	523	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　分子から見た生命現象

授業の目標概要　生物の織りなすさまざまな生命現象は、すべて遺伝子 DNA にコードされた遺伝情報が機能を発揮した結果であると言ってもよい。遺伝情報は、RNA、タンパク質、そしてそれが作り出す低分子有機化合物などの分子の形となり、これらの分子が相互作用しながら細胞内外で働いた結果、生き物としての不思議な性質が作り出されてくるのである。生物化学という学問分野は、このような生命現象が、分子の働きによっていかに作り出されるかを解明する研究分野である。

この授業では、この分野の代表的な教科書である「細胞の分子生物学 第 5 版」に沿って基本的な概念の説明と、その知識を基盤とする最先端の研究の紹介を交互に行う。基礎知識がなくとも生命科学研究のテーストを味わうことができるように配慮して講義を進める。理学部生物化学科の担当教員 6 名により、本学科の研究と密着した、タンパクの質構造と機能、RNA による制御、神経細胞の分化、生体リズム、味覚・嗅覚・光感覚、学習記憶などのテーマについての講義を行う予定である。

評価方法　授業への出席（50%）と毎回の授業の最後に実施する小テスト（50%）にて評価する。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名　細胞の分子生物学（第 6 版）

著者（訳者）　ALBERTS/JOHNSON/LEWIS/RAFF/ROBERTS/WALTER（翻訳：中村 桂子, 中塚 公子, 宮下 悦子, 松原 謙一, 羽田 裕子, 青山 聖子, 滋賀 陽子, 滝田 郁子）

出版社　ニュートンプレス

ISBN　4315520624

ガイダンス　UTAS シラバスを参照

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50889	A	惑星地球科学 I (理科生)	小久保 英一郎、中本 泰史	宇宙地球科学	木 5	525	1 年 理科 2 年 理科

講義題目　惑星地球科学 I(惑星系天文学概論)

授業の目標概要　太陽系は惑星、衛星、環、小惑星、太陽系外縁天体、彗星と、質量・組成・軌道の異なる多様な天体から構成されている。これらの天体はどのような特徴をもち、どのようにして形成されたのだろうか。また、近年、観測によって銀河系には太陽系以外にも多様な惑星系が存在することが明らかになっている。これらの惑星系は太陽系とは何が違うのだろうか。授業では惑星系の構造・起源・進化について、最新の観測・理論研究の成果を交えながら概説する。

評価方法　課題レポートによって評価する。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50462	A	惑星地球科学 II (理科生)	磯﨑 行雄	宇宙地球科学	火 5	1102	1 年 理科 2 年 理科

講義題目　地球科学の基礎：とくに地球表層環境の物質とその変遷史

授業の目標概要　地球表層環境の歴史は、固体地球の歴史と密接に関連している。約 40 年に及ぶ地球生命および環境の歴史を、固体地球の歴史と対比しながら解説する。人類が直面する地球環境問題を考える上での基礎知識の習得を期待する。

評価方法　学期末試験、および各講義ごとに行う小テストにより評価する。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51252	A	地球惑星環境学入門	高橋 嘉夫	理学部	木 5	109	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　化学で解く地球と環境： 環境地球化学入門

授業の目標概要　地球表層での物質循環・化学過程のいくつかの例を大気圏・水圏・地圏に分けて考えると共に、関連する環境問題について取り上げる。関連して、地球の大気や海洋がどのように進化して現在の姿になったかについても知る。これらの知識を基盤とすることで、現在の地球環境問題の本質を探ることができる。また、これら地球化学・環境化学の基礎となる化学熱力学や分析手法についても解説する。

評価方法　出席、小テスト、期末テストを基に総合的に評価する。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50016	A	宇宙科学Ⅰ（理科生）	鈴木 建	宇宙地球科学	月 1	1102	1 年 理科 2 年 理科

講義題目　天文学・宇宙物理学の基礎的内容

授業の目標概要　宇宙における天体現象が、現代科学の手法を用いてどのように理解されているのかを、自ら噛み砕いて把握することが、本講義の目標である。

評価方法　期末試験 (義務) + 中間レポート (任意)

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50216	A	宇宙科学Ⅱ（理科生）	廣田 朋也	宇宙地球科学	月 5	1225	1 年 理科 2 年 理科

講義題目　電波観測を中心とした最新の天文学研究

授業の目標概要　本講義では、主に電波天文学という観点から、天文学・宇宙物理学の基礎、天文学研究の最新の成果や将来計画について理解することを目標とする。

講義では、天文学・宇宙物理学の基礎から始まり、続いて電波天文の観測手法や観測装置、将来計画を紹介する。その後、最新の電波天文学研究の成果をもとに、現在までに明らかにされている天体や宇宙についての描像を解説する。特に、講師の専門分野である星・惑星形成やその進化、星間物質の化学、宇宙生物学、銀河系構造、ブラックホールの観測的研究について、最新の講師自身の研究成果も交えながら重点的に紹介する。また、天文学・宇宙物理学の発見に関する最新のニュースなどがあれば、その解説も講義で行う。

評価方法　学期末に論述式問題による試験を行う。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50217	A	惑星地球科学Ⅱ（文科生）	小河 正基	宇宙地球科学	月 5	524	1 年 文科 2 年 文科

講義題目　地球の気候変動

授業の目標概要　近年、人為的な二酸化炭素の放出による地球温暖化が大きな問題となりつつある。この講義では、この問題の根本にある大気の温室効果や大気海洋大循環、エルニーニョに代表される気候の振動等の基礎的な解説を行った後、IPCC 報告書の内容について解説する。さらに、より長い時間スケールでの気候変動やそもそもなぜ地球では生命にとって都合の良い環境が維持されてきたのかについても解説する。

評価方法　期末試験を行う

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50971	A	宇宙科学Ⅰ（文科生）	土井 靖生	宇宙地球科学	金 2	1106	1 年 文科 2 年 文科

講義題目　天文学全般の基礎

授業の目標概要　現代科学による宇宙像の把握・天文現象の理解がどの様に進んでいるかを理解することを目標とする。

評価方法　定期試験により評価する。また任意のレポートを課す予定。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time
2019/09/27　2 限／2nd Period

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51279	A	微生物の科学	大西 康夫	農学部	水 5	1102	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　微生物の世界

授業の目標概要　微生物の種の多様性と微生物が示す驚くべき機能の多様性は、微生物が生物学、生物化学、遺伝学、生理学、分子生物学の基本的研究対象となり、かつバイオテクノロジーの主役として活躍する基本をなしている。本講義では、まず、イントロダクションとして、微生物学の歴史、微生物取扱手法、微生物の多様性を解説する。その後、種々の微生物（あるいは微生物群）について、それぞれが示す多様な生命現象をわかりやすく紹介していくことで、受講者を「微生物の世界」にいざなう。主として「人類に役に立つ微生物」という農学的見地から微生物について解説するが、受講者には、いわゆる「応用微生物学」のエッセンスを学んでいただきたいと考えている。

評価方法　期末試験の成績に出席点を加味して評価する。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51276	A 1	アグリバイオロジー	井澤 毅	農学部	金 5	K402	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　植物の機能とその利用

授業の目標概要
　前世紀後半、世界の食料生産は「緑の革命」に代表されるような資本投入型技術の開発により大きく飛躍した。これら増産主体の農業技術は、人口爆発に伴う食糧需要をなんとか支えてきた反面、農業生態系全体の調和・持続性との間に大きな摩擦を生んできた。さらなる人口増、工業化や砂漠化による耕地面積の減少、地球規模での異常気象などによってこのジレンマが拡大の一途を辿るなかで、問題解決に向けた新たな取り組みが求められている。
　本講義では、農業生産の基礎となる植物の機能とその利用について最新の知見を解説し、将来の技術開発の方向性を考える。

評価方法　期末試験、授業への参加姿勢（小レポートを含む）、出席点によって総合的に評価する。試験は定期試験期間に行う。ノートおよび配付資料は持ち込み可とする（ノート・配付資料以外は持ち込み不可）。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time
2019/09/27　5 限／5th Period

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51281	A	応用動物科学Ⅱ	堀本 泰介	農学部	月 5	522	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　高等動物の比較生物学

授業の目標概要
　高等動物（主に哺乳類、鳥類）の生理、病気、感染症、診療など、加えて公衆衛生、ヒトと動物の関係などについて、獣医学専攻と応用動物科学専攻の教員が講義する。

評価方法　出席とレポートによる。
レポート：各講義で自分が理解した内容およびそれに関する意見を A4 で 2 枚以内にまとめ、次回の講義時に提出（英文可、表紙不要、1 枚目上に講義タイトルと氏名、学籍番号を記載）。
最終回の講義のレポートは令和 2 年 1 月 10 日までにアドミニストレーション棟 1 階レポート BOX に提出すること。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time
2019/09/30　5 限／5th Period

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51278	A	海の生命科学	浅川 修一	農学部	金 5	743	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　海の生命科学

授業の目標概要
　水温、塩分、水圧等の大きく異なる棲息環境に、バクテリア、プランクトンなどの微小な生物から、各種の無脊椎動物、魚 類、大型ほ乳類に至る多種多様な生物が独自の進化・繁栄をしてきた。水圏には地球上のほぼすべての動物門が棲息しており、その多様性は陸上の比ではない。 水中での生活を可能にするために、陸上生物には見られない特殊な器官やユニークな代謝経路を発達させた種も多い。しかし、陸上生物である我々ヒトにとっ て、水圏にはまだまだ未解明の現象が多く、そこに未知の利用可能性や新たな研究領域の発展可能性を秘めたフロンティアが存在する。われわれ人類は、様々な 形で水圏生物と関わりを持っている。水圏生物に関する理解を深め、再生産可能な形で有効に利用することは、人類が真剣に取り組むべき課題である。この課題 達成のために求められることは、水圏生物をよく知ることである。
　本講義では、水圏生物科学専攻各講座の教員が、（1）海洋生物の生理、（2）海洋生物の有機化学、（3）海洋生物のゲノム科学、（4）海洋生物の食への利用と生理調節作用、について、その研究の概要と最新の動向について紹介する。

評価方法　授業への参加状況や理解状況（小テストなどを課す場合もある，30%）および期末試験（70%）をもとに評価する。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time
2019/09/27　5 限／5th Period

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50218	A	生物物理学	澤井 哲	統合自然科学科	月 5	1212	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　生物物理学 ー実験から理論までー

授業の目標概要

生物は物質で構成されている。したがって物理学的な立場から生命現象を理解できる。しかしながら、単に化学物質を寄せ集めただけでは生命らしさはあらわれてこない。生物物理学は、生物を分子や細胞に要素還元するとともに、それらが相互作用するシステムとして生物を捉えることで、生命現象の普遍的な理解をめざす学問であるといえる。本講義では、生物を構成する物質の最小単位であるタンパク質などの生体高分子から、それらの集合体である超分子や細胞までの各階層において生命らしさが創発する仕組みと、生命の可塑性と頑健性についての数理的な理解の方法を学ぶ。いま、生命科学研究の最前線では生命科学と物質科学の境目があいまいとなってきている。つまり、生物を物質として捉え、物理学的な観点から見直すことで、生命現象を自然現象の一部として統一的に理解しようとする試みが盛んに行われている。さらに、物理学の立場から生物を俯瞰すると、生物は未解明の新領域でもあり、新たな物理学を開拓できる可能性を秘めている。 このように、従来とは異なる観点で生物学を捉え直すことに興味がある学生や、物理学の立場から見た生命像に興味のある学生には、本講義の受講を勧める。大学の生命科学が未履修であっても構わない。

評価方法　平常点及び小テスト
場合によってレポートを課す場合もある。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50700	A	先進科学Ｉα	野口 篤史	先進科学	水 5	E38	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　量子技術と量子コンピュータ（アドバンスト理科）

授業の目標概要

【※ガイダンスは通常利用教室と異なる教室で行うため、注意すること】

近年、大学だけでなく、大企業やベンチャー企業までもが量子コンピュータ開発を目指した研究を進めている。夢のコンピュータである量子コンピュータを使える世界が近づいてきている．量子コンピュータが扱う量子情報を担う物理系は，分子や原子からなるものから，超伝導体の電気回路からなる人工的な素子まで様々なものが研究されてきた．この講義では，量子コンピュータが扱う量子ビットの基礎を学ぶ。また、授業の中では IBM Q Experience が提供する超伝導量子コンピュータ実機を使用可能なクラウドサービスを利用し、量子計算を実際にプログラムし、実行する演習を行う。また、授業の後半ではハードウェアとしての超伝導量子コンピュータの仕組みやその他の量子技術について解説する。

受講者数を 20 名程度に制限するので、ガイダンス時に線形代数の基礎学力の確認と量子力学への学習意欲に関する調査を行う。その結果、4 日以内に、第二回以降の受講対象者の学生証番号を正門横掲示板に発表する。

評価方法　授業中の発表の内容、学期中のレポートと出席状況をもとに評価する。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time
2019/09/25　5 限／5th Period　1225 教室

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50219	A	先進科学Ⅱα	市橋 伯一	先進科学	月 5	E38	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　生命進化概論（アドバンスト理科）

授業の目標概要

【※ガイダンスは通常利用教室と異なる教室で行うため、注意すること】

「生物学は進化という観点がないと何も理解できない」というのは進化生物学者のドブジャンスキーの言葉である。生物とは自然界で唯一進化する能力をもつ存在である。生物はおよそ 40 億年前に化合物の集まりとして誕生し、その後数億年を経て原核生物、真核生物、さらに多細胞生物へと進化し、ヒトが誕生した。そしてヒトの扱える技術やエネルギーの規模は拡大の一途をたどっている。なぜ生物は進化するのだろうか？ どこから来て、そしてどこへ行くのだろうか？ 生命とは何か？ なぜ死は不可逆なのか？ これらの答えを得るために、今現在も数多くの科学者が研究を続けている。本講義では、これまでに行われてきた生命進化の研究を紹介し、私たち人類が一体どこまで理解するに至ったのかを概説する。さらに進化を理解するための方法論を解説し、受講者に実際に進化の計算機シミュレーションを通じてその研究の一端を体験してもらう。

本講義の前半では、まず生命とは何か、その誕生の謎と人類に至るまでの進化について説明する。そしてその進化過程には一定のパターンがあることを学ぶ。そのパターンから私たち生命の過去と未来を議論する。本講義の後半では、これまでに生命進化の研究で行われてきた方法論を学ぶ。受講者には実際に進化シミュレーションを行ってもらう。シミュレーションにはプログラミング技術が必要であるが、意欲さえあればこれまでの経験は問わない。必要な知識は授業中に身につけることができる。本講義により、進化という現象を計算機の中に再現できるようになる。これにより生命進化の何が当然で、何が奇跡だったのかを理解できるようになる。

なお、受講者数を 20 名程度に制限するので、ガイダンス時に生命科学の基礎学力の確認と学習意欲に関する調査を行う。その結果、4 日以内に、第二回以降の受講対象者の学生証番号を正門横掲示板に発表する。

評価方法　毎回の小レポート

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time
初回ガイダンス場所は 531 教室

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50972	A	先進科学Ⅲα	柳澤 実穂	先進科学	金 2	K302	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　物理学による生命の記述（アドバンスト理科）

授業の目標概要

【※ガイダンスは通常利用教室と異なる教室で行うため、注意すること】

我々の身の回りには、食品、医薬品、プラスチック等の石油化学製品など、柔らかな物質郡で溢れている。これらの総称である「ソフトマター」という単語が、Pierre-Gilles de Gennes のノーベル物理学賞受賞講演において用いられ普及すると共に、ソフトマターの物理的研究が進展してきた。ソフトマター物理学のいわば究極の研究対象として、生物がある。ソフトマターという単語が普及する以前に、Erwin Schrodinger は名著 “What is life?” のもととなる講演を行い、生命現象の物理的面白さや複雑さを紹介している。それから今日までの三四半世紀に実現されてきた生命の物理的記述を紹介し、生命現象に見られる一貫性と多様性を理解する。

本講義の前半では、ソフトという力学的性質の定義から、従来の気体・液体・個体とは異なるソフトマター全般の力学的性質について理解する。その後、生物細胞を題材に力学や熱力学、統計力学の知識を総動員しながら、生命を特徴付ける「生物の形、物質の移送、運動」といった現象について物理的に表現する。さらに、ソフトマターを用いた最先端の応用研究として人工細胞を用いた生細胞の再現や、非平衡定常系という考え方により明らかとなりつつある生命と非生命の境界に存在する未解決問題について学ぶ。

受講者数を 20 名程度に制限するため、ガイダンス時に微分積分と線形代数に関する基礎学力の確認と、生物学と物理学の複合領域への学習意欲に関する調査を行う。その結果、4 日以内に、第 2 回以降の受講対象者の学生証番号を正門横掲示板に発表する。

評価方法　レポートと出席状況、定期試験をもとに評価する。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time
初回ガイダンス場所は 741 教室

総合科目 F（数理・情報）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50723	A	数理科学概論 I (文科生)	小林 俊行	数学	木 1	511	1 年 文科 2 年 文科

講義題目　数理科学概論 I

授業の目標概要　文科生向けに一変数関数の微分法の基本的な考え方から始めて，二変数関数の偏微分法の基礎と応用ならびに重積分に関する基礎的な内容を扱う科目である．社会科学に関連する題材を織り交ぜ，数学的な概念を把握することに重点をおいて講義する．講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが，担当教員によって順序は異なることがある．この科目を履修した後に，より進んだ内容を理科生向け総合科目「微分積分学続論」で学ぶことができるが，そのためには「数学 II」「数理科学概論 II」もあわせて履修しておくことが望ましい．

評価方法　期末試験の成績に平常点（中間試験等）を加味する。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50316	A	数理科学概論Ⅱ(文科生)	山本 昌宏	数学	火 2	522	1 年 文科 2 年 文科

講義題目　数理科学概論 II（文科生）

授業の目標概要　文科生向けの，行列の定める線型変換（一次変換）の固有値と固有ベクトルを求める手法と その応用を扱う科目である．講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが， 担当教員によって順序は異なることがある．この科目では「数学 II 」で扱う内容を前提とするが， 基礎科目「数学 I 」で扱う内容は前提としない． ただし，項目 3 においては「数学 I 」の関連する 内容を理解しておくことが望ましい．

評価方法　期末試験による．小テストやレポートを課した場合，それらも加味する．

教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51262	A	数理工学入門	谷川 眞一	工学部	月 5	106	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　最適化の数理

授業の目標概要　産業経済活動に現れる生産計画，配送計画，スケジューリング，投資計画を始めとする多くの重要な問題は，大規模な最適化問題として捉えられる．本講義では，現実問題からどのように数理的な構造をとり出し，最適化問題として定式化するかを学ぶとともに，モデル化された最適化問題を効率的に解くアルゴリズムを設計し，解析するための考え方を学ぶ．

評価方法　出席と 2 回のレポート課題

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50317	A	統計データ解析 I	小池 祐太	数学	火 2	E41	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　データサイエンス入門

授業の目標概要　ビッグデータの時代と言われている。近年、データの計測およびストレージ技術の発達とともに、大規模データから適切に情報抽出し、それを意思決定に活用することが必須のリテラシーとなっている。いっぽうデータの形式と対応する解析法の変化は著しく、新しい方法を正しく利用するために、普遍的な統計科学の原理を理解することが重要である。基礎となる統計数理とともに、具体的な統計解析手法とその運用を、 統計ソフトウエアによるデータ解析実習を通じて習得する。

統計データ解析 I では、受講者が統計ソフトウエアを用いた実験によって確率的現象に慣れ、統計推測法の意味を理解し、データ解析の方法を実習する。統計ソフトウ エア R の使い方を学んだあと、シミュレーションによってランダムネスと極限定理を 体験する。後で必要になる確率分布を学び、基本的な記述統計量と標本分布に関する基礎事項を学習する。推測統計における基礎的な推定・検定法、および分散分析、回帰分析の方法を、データ処理を通じて実習する。

評価方法　出席およびレポートによる。

教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50701	A	統計データ解析 I	小池 祐太	数学	水 5	E41	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　データサイエンス入門

授業の目標概要　ビッグデータの時代と言われている。近年、データの計測およびストレージ技術の発達とともに、大規模データから適切に情報抽出し、それを意思決定に活用することが必須のリテラシーとなっている。いっぽうデータの形式と対応する解析法の変化は著しく、新しい方法を正しく利用するために、普遍的な統計科学の原理を理解することが重要である。基礎となる統計数理とともに、具体的な統計解析手法とその運用を、 統計ソフトウエアによるデータ解析実習を通じて習得する。

統計データ解析 I では、受講者が統計ソフトウエアを用いた実験によって確率的現象に慣れ、統計推測法の意味を理解し、データ解析の方法を実習する。統計ソフトウ エア R の使い方を学んだあと、シミュレーションによってランダムネスと極限定理を 体験する。後で必要になる確率分布を学び、基本的な記述統計量と標本分布に関する基礎事項を学習する。推測統計における基礎的な推定・検定法、および分散分析、回帰分析の方法を、データ処理を通じて実習する。

評価方法　出席およびレポートによる。

教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50890	A	統計データ解析 I	吉田 朋広	数学	木 5	E41	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　データサイエンス入門

授業の目標概要　ビッグデータの時代と言われている。近年、データの計測およびストレージ技術の発達とともに、大規模データから適切に情報抽出し、それを意思決定に活用することが必須のリテラシーとなっている。いっぽうデータの形式と対応する解析法の変化は著しく、新しい方法を正しく利用するために、普遍的な統計科学の原理を理解することが重要である。基礎となる統計数理とともに、具体的な統計解析手法とその運用を、統計ソフトウエアによるデータ解析実習を通じて習得する。

統計データ解析 I では、受講者が統計ソフトウエアを用いた実験によって確率的現象に慣れ、統計推測法の意味を理解し、データ解析の方法を実習する。統計ソフトウエア R の使い方を学んだあと、シミュレーションによってランダムネスと極限定理を体験する。後で必要になる確率分布を学び、基本的な記述統計量と標本分布に関する基礎事項を学習する。推測統計における基礎的な推定・検定法、および分散分析、回帰分析の方法を、データ処理を通じて実習する。

評価方法　出席、および課題の発表あるいはレポートによる。

教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

図形科学A	開講区分	A

授業の目標・概要　3 次元立体形状の図的表現および形状処理について、ＣＡＤ（計算機援用設計）／ＣＧ（コンピュータ・グラフィックス）ソフトの実習を通して学び、立体形状の把握・伝達・構想能力を養う.主な学習項目は以下のとおり.

1. 2D モデリング（線分，円，多角形，スプライン曲線）
2. 3D モデリング（押し出し・回転，空間幾何課題の解法）
3. アセンブリ・正投影図面
4. パースペクティブビュー（透視投影）
5. レンダリング（色彩，マッピング，陰影）
6. アニメーション（動的表示，ウォークスルー）

成績評価方法　出席、レポート（実習課題）、および、期末試験によって評価する.

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名　3D-CAD/CG 入門[第 3 版]～Inventor と 3dsMax で学ぶ図形科学
著者（訳者）　鈴木賢次郎，横山ゆりか，金井崇，舘知宏 共著
出版社　サイエンス社 発行日：2016 年 9 月
ISBN　978-4-7819-1389-6

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50055	月 2	舘 知宏、谷田川 達也	E21	1 年 文科 理一(7,16-17,29,39) 2 年 文科 理科
50104	月 3	谷田川 達也、舘 知宏	E21	1 年 文科 理一(6,12,19,36-37) 2 年 文科 理科
50260	火 2	吉岡 陽介、山下 典理男	E31	1 年 文科 理二三(1-13) 2 年 文科 理科
50364	火 3	山下 典理男、吉岡 陽介	E31	1 年 文科 理一(10,15,21,26,32) 2 年 文科 理科
50611	水 3	金井 崇、柏原 賢二	E31	1 年 文科 理一(5,11,14,23-24) 2 年 文科 理科
50644	水 4	柏原 賢二、金井 崇	E31	1 年 文科 理一(8,22,27-28,30) 2 年 文科 理科
50704	木 1	福田 玄明、早川 大地	E21	1 年 文科 理二三(14-24) 2 年 文科 理科
50754	木 2	早川 大地、福田 玄明	E21	1 年 文科 理一(13,18,34,38) 2 年 文科 理科
51003	金 3	田中 一郎、奈尾 信英	E31	1 年 文科 理一(20,25,35) 2 年 文科 理科
51048	金 4	奈尾 信英、田中 一郎	E31	1 年 文科 理一(1-4,9,31,33) 2 年 文科 理科

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50220	A	基礎統計	佐藤 俊樹	経済・統計	月 5	1108	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　基礎統計

授業の目標概要
　統計学の考え方の基礎にあたる部分を解説する。
範囲としては、分布をとらえる基本的な指標、確率分布の基礎知識、確率モデルの基本的な考え方、検定や推定などの統計的推測の初歩であるが、技法を詳しく説明するよりも、その背後にある考え方（いわば統計学はどういう風に世界を見ようとしたのか）に焦点をあてて進めていく。初心者にとって最大の障壁はそこが理解できないことであり、その結果として、具体的な数式や論理が「ブラックボックス」化するからである。

評価方法　試験。
成績評価は理系と文系で分けて採点し、A の比率はほぼ同じくらいにする。参考資料として、第一回目のガイダンスのときに、昨年度の成績分布を示す。試験の詳細もそのときに説明する。

教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50724	A	基礎統計	丸山 祐造	経済・統計	木 1	1313	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　統計学入門

授業の目標概要
　統計学は，近年注目されているデータサイエンスにおいて，数学・計算機科学と並んで基盤となる学問の一つである．データサイエンスを含め，人工知能，機械学習，ビッグデータといったバズワードで語られる分野で，将来一旗揚げたいと考える野心的な学生においては，統計学は学部前期課程のうちに身につけるべき素養であろう．また統計学の基礎的素養は，そのような野心的学生だけでなく，文科系を含むいかなる分野に進む学生にとっても必要であると考えられる．なぜならデータとともに思考する能力が，どんな分野においてもますます重要性を増しているからである．例えば中央官庁に進む場合，データや実証結果に基づく政策形成（Evidence Based Policy Making）への理解が不可欠である．法学，政治学，経済学といった伝統的に重視されてきた学問への素養だけではなく，統計学，データ解析に精通していることが期待されている．
　本講義では，東大入試二次試験の文系数学の出題範囲レベルを前提に，統計学の基本事項を解説する．統計学的なデータの見方，また統計学の手法を用いるとどんなことが出来るかを具体的に示し統計学の動機づけを重視する．

評価方法　期末試験による．

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50221	A	統計分析	倉田 博史	経済・統計	月 5	513	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　回帰分析のより進んだ扱い

授業の目標概要
　基礎統計などの入門講義で学んだ回帰分析のより発展的な内容について扱う。経済の実証的分析を例に取りながら解説するが、経済学に関する知識は要求しない。Excel とフリーソフトの gretl を用いる。

評価方法　期末試験による。

教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

アルゴリズム入門	開講区分	A

授業の目標・概要

コンピュータやインターネットに代表される情報処理・情報通信技術は、現代社会の基盤となっています。このような技術の基盤となっているのが「アルゴリズム」と呼ばれる概念です。アルゴリズムは、観測データからの気象予測や、文章からの執筆年代予測など、あらゆる分野での問題解決の基礎となるものです。
本科目の目的は、アルゴリズムの基本概念や、アルゴリズムを作るための考え方を、Python 言語によるプログラミングをを通して習得することです。

成績評価方法

試験および演習課題の成績によって評価します。
試験は基本的な事項の確認を中心とした問題になります。出題範囲などについては授業中に知らせます。

教科書

次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名　Python によるプログラミング入門 東京大学教養学部テキスト アルゴリズムと情報科学の基礎を学ぶ
著者（訳者）　森畑明昌
出版社　東京大学出版会
ISBN　978-4-13-062458-9

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50001	月 1	山口 文彦	E21	1 年 文科 理二三(1-10) 2 年 文科 理科
50056	月 2	山口 和紀	E31	1 年 文科 理一(18,27-28,38) 2 年 文科 理科
50150	月 4	塩谷 亮太	E21	1 年 文科 理一(8,10,15,17) 2 年 文科 理科
50183	月 5	伊知地 宏	E21	1 年 文科 理二三(11-17) 2 年 文科 理科
50259	火 2	千葉 滋	E21	1 年 文科 理一(12,14,20,23,26,32) 2 年 文科 理科
50318	火 2	萩谷 昌己	E26	1 年 文科 2 年 文科
50544	水 2	山口 泰	E26	1 年 文科 理一(9,21,25,29) 2 年 文科 理科
50643	水 4	田中 哲朗	E21	1 年 文科 理一(1-5,7) 2 年 文科 理科
50702	水 5	森畑 明昌	E21	1 年 文科 2 年 文科
50750	木 2	地引 昌弘	E31	1 年 文科 理一(6,11,16,37) 2 年 文科 理科
50910	金 1	松島 慎	E21	1 年 文科 理一(13,22,30,36,39) 2 年 文科 理科
50923	金 2	塚田 学	E21	1 年 文科 理二三(18-24) 2 年 文科 理科
51010	金 3	羽山 博	E26	1 年 文科 理一(24,31,33) 2 年 文科 理科
51053	金 4	羽山 博	E26	1 年 文科 理一(19,34-35) 2 年 文科 理科

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50382	A	計算機プログラミング	小林 浩二	情報・図形	火 3	E26	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　非専門家のためのアルゴリズムとデータ構造入門

授業の目標概要

アルゴリズムとは「問題」を解くための手順であり、データ構造は計算機（コンピュータ）上においてアルゴリズムを実行する際にデータを保持するための方法である。これらは計算機科学の基礎をなす学問分野である一方、計算機科学とは全く異なる分野においても陰に陽に重要な役割を果たしていることが少なくない。

そこで本授業では、文理問わず後期課程進学後に計算機科学「以外」の学問を修める学生を対象とし、進学後に出会うであろうアルゴリズムとデータ構造に関する事柄について学ぶ。具体的には、実際にこれらが他分野（例えば、言語学、生物学など）において関わってくる場面を例示しつつ、それらの機能や仕組みについて学ぶ。

そのため、本授業は後期課程進学後に計算機科学とそれに直接関わる分野を専攻することを検討している学生の履修は推奨されない。

評価方法　毎回出題する課題の解答状況により評価する。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51250	A	計算機プログラミング	萩谷 昌己	理学部	金 2	E26	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　プログラミング技法

授業の目標概要

プログラミングが簡潔で速く、正確になることは、情報科学の知識や数学的能力 だけでは不十分であり、技法としてのプログラミングを身に着け、訓練を経るこ とが必須である。本講義では、簡単なプログラム作成が出来ることを前提とし て、より速く、より正確、より大規模なプログラムを作成する技術的側面につい て講義し、実際の課題を通してプログラミング技法を錬成する。

評価方法　毎回、課題を課し、その結果により成績評価を行う。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51251	A	計算機システム概論	小林 克志	理学部	水 5	E42	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　計算機システム概論

授業の目標概要

コンピュータシステムを利用した情報サービスの知識はあらゆる分野で求められている。本講義では、情報サービスの提供に必要な知識・スキルに加えてそれらの獲得方法を学ぶ。具体的には、Web サービスの提供を想定し、その実現に必要な知識・技術を解説する。併せて、具体的なサービス構築を通じ知識・技術の活用に加え、それらの獲得方法を実践的に体得する。

評価方法　講義への参加意欲・小テスト・課題の成績を総合して評価する。

教科書　その他。／Other

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

2019/9/25　5 限／5th Period

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51273	A	情報・システム工学概論	長谷川 禎彦	工学部	月 5	521	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　情報・システム工学概論

授業の目標概要　近年情報技術の対象は、個数、金額、品番など、数値として管理するのが適切であることが一見してわかるものから、人間の言葉、動作、社会的行動など、単純な数値化による情報技術の適用が容易でないものに広がってきている。本講では、こうした対象に情報技術を適用するのに必要となる技術を概観し、具体的な適用例の紹介を通じてその理解を深める。

評価方法　出席数と、講義内容に関して出題される課題に対してレポートの採点を組み合わせて行う。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51259	A	情報システム基礎Ⅱ	三田 吉郎	工学部	月 1	513	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　わかる電子回路

授業の目標概要　電子回路は、自動車から玩具に至るまで、世の中のありとあらゆる分野で使われている、普遍的な技術である。と同時に、電気電子工学のしっかりした理論体系を持っているので、基礎理論を一たび学ぶだけで、驚くほど多くの分野に応用することができる。工学の基礎ともいえるこの電子回路理論を、実演も含めながらわかりやすく講義する。学習の応用として実用的な回路を設計し、学生の意欲により自作演習と発表会を計画する。

評価方法　出席、中間レポートならびに最終課題(学生の創意工夫を伸ばす自由課題）によって総合的に判断する。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51256	A	情報システム基礎Ⅱ	國吉 康夫	工学部	金 5	721	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　人間とロボットの科学

授業の目標概要　ロボットのルーツは，人間や動物の知的行動を工学的に再現しようとする試みにある．

身体，知覚，行動，知能を数理的，科学的に定式化し，適切な工学的実現を行うことで，様々なロボットができる．

それは，人間や動物を科学的に理解することであると同時に，人間に有用なロボット技術を構築することでもある．さらには，人間の能力を補い，拡張する技術，人間に新たな体験を提供する技術にもつながる．

本講義では，人間のための技術としての仮想現実や生活支援ロボット，人間を理解する手段としての認知発達ロボティクス，ヒューマノイドロボットやサイボーグ技術など，最先端のロボティクスを俯瞰すると共に，その実現に向けた基礎知識を学ぶ．高校～大学 1 年程度の数学および物理学を使って，人間とロボットに共通の機能定式化を具体的に学び，工学的実現方法も見ていく．これらを統合すると，知能ロボット機能の一つの全貌が理解できるはずである．

評価方法　出席，小テスト，レポートによる．

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51270	A	モデリングとシミュレーション基礎Ⅱ	鳥海 不二夫	工学部	集中	シラバス参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　経済物理・金融情報学・計算社会科学

授業の目標概要

現代の社会における現象は複雑系に特徴的な特性を示し，新古典経済理論や金融工学，社会学では説明の付かない現象が数多く観察される．それに対して理工系の知見を適用して，社会現象を実証的に解明し解析しようとする学問がいくつも存在する．この講義では，そのような学問の中で経済物理・金融情報・計算社会科学の考え方や手法を学習するとともに，社会現象・人間行動に関係する複雑な現象にどのように取り組むかを考える．

※履修人数制限 20 人
※講義は集中講義にて行う．(2020 年 1 月 20，21 日を予定)
※受講希望者は 10 月 10 日までに 100 字程度の希望理由を添えてで申し込むこと
https://goo.gl/forms/IGGUSrUvEkFJlkwl2

評価方法　講義後に行われる試験によって評価.
試験は持ち込み可

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

学術フロンティア講義

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51378	A	西洋音楽の作曲技法概説	ヘルマン ゴチェフスキ	芸術創造連携研究機構	月 1	2	学際交流ホール	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　バッハからウェーベルンまでの作曲技法の理解

評価方法　出席および平常点
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　作曲の技法 バッハからウェーベルンまで
著者（訳者）　小鍛冶邦隆
出版社　音楽之友社
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51482	A	楽器としての身体：声楽の実践と科学	工藤 和俊	芸術創造連携研究機構	火 2	2	音楽実習室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　西洋クラシック音楽の器楽は楽器が用意されているのに対し声楽は身体を楽器として作ります。本授業は身体を楽器として作ることを、声楽の実践及び身体運動科学の方法論で実習することを目的とします。歌曲に込められた暗黙的な意味を自分自身に一体化する歌唱演奏トレーニングを行い、各自が芸術創造を体感することを目指します。その際、声楽実践時の感覚の言語化及び生体情報計測を実施し、身体情報をデータ化して分析・考察することで、自分自身の感性及び身体の変化を自覚・確認します。期待される効果として、自分が自分自身のコーチとなり教育する能力及び表現力の開発支援などがあります。
・講義：発声のメカニズムについて、芸術創造について、人体の構造について
・実践：呼吸法、姿勢（立位時、歩行時）確認、発声トレーニング、歌唱
・計測：呼吸、心拍、姿勢等
※歌唱曲はポピュラーな日本歌曲他。楽譜を第一回目の授業で配布します。
開講場所：コミュニケーションプラザ北館音楽実習室

評価方法　レポートにより行う。
教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51330	A	惑星科学の最前線	生駒 大洋	理学部	火 4	2	1322	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　我々は，太陽を周回する天体の一つである「地球」という惑星に住んでいる．それは，太陽系では地球にだけ海や温暖な気候が揃っているからだろう．そのような生命とって快適な環境はどのようにもたらされたのか？太陽系外には第二の地球と呼ぶにふさわしい惑星は存在するのか？近年では，理論・室内実験に加えて太陽系探査や系外惑星観測など様々なアプローチで研究がなされている．本講義では，この分野の世界をリードしている教員が最先端のサイエンスを講義する．

評価方法　出席・レポートを総合して評価
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

学術フロンティア講義

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60215	A 2	先端ビジネスローの諸問題	神作 裕之	法学部	水 3	1	K113	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　商法、競争法（独占禁止法）、知的財産法などビジネスローの分野で生起している先端的な問題を取り上げて、それぞれの専門分野の教員により、オムニバス方式で 7 回にわたって講義を展開する。法と技術の関係や、法規制の目的や手法、技術の革新により新たな法律問題が発生するのか、発生するとしたらどこに特徴があるのか、などについて考える。なお、第 2 回と第 3 回の講義は、英語と日本語で行われる。

評価方法　平常点による。毎回終了時に、コメントシートに記載し提出してもらう。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51310	A	信頼	原 和之、 白 佐立	教養教育高度化機構	水 5	2	106	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　この学術フロンティア講義シリーズは毎年の A セメスターに開講する。1 つのテーマについて、文理双方の教員から構成し、異なる切り口を提供する東大生向けのオムニバス講義である。一度南京大学で開講する集中講義と同じテーマを扱うことによって、南京大学集中講義での成果を反映させ、受講者たちに教員の思考作法を見せる刺激的な講義を行うことを目指す。2019 年度のテーマは「信頼」とする。

信頼は我々の生をシンプルにする。
青信号で道を渡るときに車に轢かれる可能性を考えず、雑踏でおびえることなく人とすれ違うことができるのは、私たちが制度なり人なりを信頼しているからだ。もしそうした信頼がなければ、私たちはあらゆる出来事の可能性の海に溺れ一掻きも進めないといった状況に陥るだろう。しかし翻ってその根拠を問うとき、私たちはそれが存外に不確かな地盤のうえに基礎づけられているのに気づく。そして新しい技術の登場やコミュニケーションと移動の拡大によって急速な変容を遂げ、あるいはまた大災害によって急激な変化を蒙る今日の世界において、私たちはその不確かさを、日々生きることを余儀なくされているように思われる。
本集中講義では、人文科学、社会科学、自然科学の三領域からの「信頼」へのアプローチを示し、それが決して自明な所与ではありえない現代の状況を考え直す手がかりを提供することをめざす。

評価方法　出席、毎回の講義内容に対するコメントの提出等の平常点と期末の小論文とで判断する。
評価基準について、初回授業時に指示する。
教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51483	A	写真演習——自己表現としての写真	加治屋 健司、 長島 有里枝	芸術創造連携研究機構	木 4	2	K302	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　写真を通じて、自己表現の方法を学ぶ。
社会情勢上の変化や、テクノロジーの発展による芸術表現の変遷について学ぶ。
自分の置かれた状況、好みに適した機材や撮影手法が選択できる。

評価方法　試験はおこなわず、最終課題への取り組みかたを評価の対象とする。
展覧会鑑賞会のレポート提出、中間講評、最終講評への参加がなかった場合には採点不可。
5 日以上の欠席も採点不可とする。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time
2019/9/26

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51284	A	脳科学の基礎と研究の最前線	岡ノ谷 一夫	心理教育学部会	木 5	2	1108	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　脳科学は脳の仕組み（メカニズム）と働き（機能）を研究する学際領域である。このテーマ講義では、脳科学に関心のある教養学部前期課程の学生諸君を対象に、この分野の見取り図を示すと共に、その奥行きと魅力を伝え、脳科学への誘い（いざない）を目指している。

脳科学は比較的新興の学際領域であるため、伝統的な個々の学問分野ではとうていカバーしきれない。そこでこの講義では、教養学部生命・認知科学科、理化学研究所脳科学総合研究センター（理研 BSI)、総合文化研究科進化認知科学研究センターの各スタッフが、オムニバス形式で脳科学の全体像を描いてゆく。

具体的な下位分野のテーマとしては、電気生理学、神経解剖学（計測法を含む)、分子神経科学、認知神経科学（神経経済学を含む)、計算神経科学などを扱う。初学者向けの講義なので、文系諸君の受講も歓迎する。

評価方法　１０回の講義のうち特に興味をもった３回を選び、それぞれについて１５００－２０００字のレポートを作成する。
教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51295	A	現代の数学 －その源泉とフロンティア －	小木曽 啓示	数理科学研究科	木 5	2	521	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　この講義では、現在の数学研究の現場で話題になっている事柄を平易に解説する。
高等学校で学んだ数学、大学の前期課程で学ぶ数学が、どのように現代の数学につながっているか、現代の数学の研究の源泉はどこにあり、どのようなことがわかっていて、何を求めて研究が行われているかということを、最前線で活躍する数学者がいくつかのトピックについて数回ずつ解説する。

評価方法　講義形式
教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time
9/26/2019　5 限／5th Period　講義予定教室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51356	A	海研究のフロンティアⅡ	早稲田 卓爾	工学部	金 2	2	112	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　本講義は、理学・工学・農学・法学・総合文化・新領域創成科学研究科、大気海洋・地震・気候システム・東洋文化・生産技術研究所、史料編纂所・アジア生物資源環境研究センターなどで海洋に関する研究・教育活動に関わっている教員が、最先端の研究成果を紹介する。

講義に関する追加情報は、以下に記載されます。
http://www.oa.u-tokyo.ac.jp/

※この講義は 9 月 24 日(火) 6 限 (18：45～) に駒場キャンパス 7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。

評価方法　出席および授業内レポート
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51308	A	放射線を科学的に理解する	鳥居 寛之	教養教育高度化機構	金 5	2	K303	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

福島第一原子力発電所の事故から歳月が経ちました。現地では、復興と帰還、そして廃炉に向けた取り組みが進んでいますが、事故にともなって広範な地域に放出された大量の放射性物質による環境汚染は、未だに社会的影響を与えています。かつてはメディアを賑わせた放射線をめぐるリスクの議論も、必ずしも人々の科学的リテラシーを向上させたとは言えない状況の中、人々の意識が風化しつつあります。

放射線の問題を理解するには、物理・化学・生物・医学・工学・農学・法律・社会学など様々な分野の知識が必要で、全てを網羅することは容易ではありません。放射線の基礎的知識に関する教育は十分とは言い難く、大学においても、広く一般の学生が系統立って学べる機会は限られています。

その貴重な機会を提供すべく、教養学部の教員が科学者・教育者の使命と意気込んで始めた講義が、今期で 9 年目の実績をもつ主題科目「放射線を科学的に理解する」です。担当教員に加えて、様々な分野の専門家をゲスト講師に招き、放射性核種や放射線の物理学的性質から生物学的・医学的影響やリスクの考え方、さらには環境汚染問題や社会的影響まで、幅広く講義を展開します。学際的な教養学部の強みを生かした講義で、科学的知識を体系的に身につけ、定性的および定量的に正しく判断する能力を養うことを目的とします。

理科生を主な対象としますが、意欲のある文科生も歓迎します。教員一同、熱意あふれる分かりやすい講義を心がけており、履修生からは、理解が深まり役に立つ授業だったと、毎年高い評価を受けています。多くの参加を期待しています。

★ 前半ガイダンス、後半【鳥居：理学部】放射線入門（放射線とは、身の周りの放射線）
★ 【鳥居】放射線物理学（放射性崩壊と放射能、放射線と物質の相互作用）
★ 【鳥居】放射線物理学・放射線化学（物質中でのエネルギー損失過程、放射線の単位）
★ 【小豆川：教養化学】放射線計測学（放射線の測定原理・方法・問題点）
★ 【渡邊：教養生命科学】放射線生物学（放射線の細胞および生体への影響）
★ 【鳥居】原子核物理学（原子核模型と核構造、核崩壊と核分裂）
★ 【鳥居】原子力工学と原子力事故（原子力発電の原理、原子力事故、放射性廃棄物処理問題）
★ 【小豆川】環境放射化学（放射線量の時間変化、放射性物質の濃縮と拡散、シミュレーション）
★ 【関谷直也：情報学環】原子力災害の社会的影響（風評被害・放射線リスクコミュニケーション）
★ 【藤原徹：農学部応用生命化学】放射性物質汚染と農業（植物によるセシウムの吸収と輸送）
★ 【太田岳史：医学部附属病院放射線科】放射線医療（放射線治療・診断技術と医療被ばく）
★ 【渡邊】放射線の利用（生命科学研究、育種、滅菌、工学応用など）
★ 【鳥居】加速器科学（人工の放射線）・放射線防護学（線量評価）・まとめ

なお、以下の教科書はこの講義を元に執筆したものです。なくても分かるように講義しますが、授業の深い理解に役立つので是非お薦めします。

評価方法　出席とレポートによる合否判定

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名　放射線を科学的に理解する ～基礎からわかる東大教養の講義～（初版第 5 刷以降を推奨）
著者(訳者)　鳥居 寛之・小豆川勝見・渡辺雄一郎 著（中川恵一 執筆協力）
出版社　丸善出版
ISBN　978-4-621-08597-4（2014 年発行の第 5 刷以降の購入を推奨します。）

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51309	A	教養学部生のためのキャリア教室	岡本 佳子	教養教育高度化機構	金 5	2	K213	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

国内外で活躍している各界の社会人をお迎えし、自身の進路選択、仕事の内容、人生の転機や悩み、生き方をお話いただくオムニバス形式の授業です。多様な価値観や進路選択を知ることで、グローバル化や超高齢化、情報化などの変化にさらされる現代で柔軟に自らのキャリアを形成するための基礎、考え方を学びます。

ゲストスピーカーは企業、官公庁、大学・研究機関、国際機関などグローバルに活躍するトップリーダーから若手まで、多様な幅広い年代の方を予定しています。講義を聞く時間だけでなく、受講生同士で議論してゲストへ質問する時間や、主体的に自分のキャリアや生き方について考えるためのワークショップもありますので、受講生には積極的に参加することが期待されます。

すでに具体的に進路を定めている人はもちろん、「社会人ってキツくて大変そうだけどどうなのだろう」と仕事と生活について話を聞いてみたい人、「何をやりたいかわからないけれど進学選択の際に困らないようにとりあえず高い点数を取っておこう」と考えるのを先延ばしにしている人も歓迎します。専門課程に進む前に自分のこれからについて考えてみましょう。

過去の授業概要や本年度の講義予定のゲストスピーカーと略歴は、授業ホームページ（http://www.sr.komex.c.u-tokyo.ac.jp/）で確認することができます。

評価方法　授業への参加貢献３０パーセント、中間レポート２０パーセント、最終レポート５０パーセントによる総合評価です。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51346	A	ノーベル賞に学ぶ物理工学	芝内 孝禎	工学部	金 5	2	522	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

近年のノーベル物理学賞の多くは、磁性や超伝導などの物性物理学、量子光学、量子情報、ソフトマターなど「物理工学」と呼べる分野での受賞となっている。これらの受賞内容を学ぶことは、物理工学の歴史や今後の展開を知るのにいい機会になると考えられる。そこで、過去 40 年間のノーベル物理学賞から物理工学分野に関連の深い受賞テーマをとりあげ、その物理的背景や受賞後の発展などを含めて、各テーマを専門とする教員陣がわかりやすく解説する。

評価方法　毎回提出する小レポートにより評価を行う。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time
2019/9/27　5 限／5th Period

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51291	A	医科学研究最前線	中西 真	医科学研究所	集中	2	シラバス参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

がん・免疫/アレルギー疾患・感染症をはじめとする難治性疾患の病因・病態の解明と、これらの疾患に対する治療・予防法の開発を目指す医科学研究所の研究活動の実際を紹介する。さらに、関連する分野（老化、疾患ゲノム解析、難治性感染症、マウス発生工学、ワクチン療法）の動向について、集中講義形式で分かりやすく解説する。

※開講日時:令和元年 12月14日（土）9:15〜16:40、および 12月15日（日）9:30〜16:40
<12月14日>
9:15〜9:30 医科研紹介
9:30〜16:40 講義(1 コマ 90 分、12:40〜13:30 昼休み)
<12月15日>
9:30〜16:40 講義(1 コマ 90 分、12:40〜13:30 昼休み)

※開講場所:医科学研究所(白金台キャンパス) 講堂(1 号館 1 階)
※ガイダンスは 10月日(火) 2 限に教養学部で行う
※10月29日(火) 2 限のガイダンスに参加できなくても、履修登録をしていれば、本講義への参加は可能である。

評価方法　レポート
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/10/29　2 限／2nd Period　12 号館 1221 教室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51379	A	ライブエレクトロニクスの検討と実装—ブーレーズ作曲《レポン》を題材に	ヘルマン ゴチェフスキ	芸術創造連携研究機構	集中	2	シラバス参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　ライブエレクトロニクスの歴史と技術、美学を検討し、音楽プログラミングにより作品として実装する。

評価方法　出席および平常点、作品にて評価する
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/9/25　4 限／4th PeriodKOMCEE EAST の K011 教室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60238	A 2	個と群 — 紋様デザイン	舘 知宏	芸術創造連携研究機構	集中	2	シラバス参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

アーティストの野老朝雄氏を講師に招き、集中講義でアート制作の演習を行う。野老氏は、東京 2020 オリンピック・パラリンピックエンブレムの「組市松紋」をはじめとして、紋・紋様作品、グラフィックデザイン、建築ファサードデザインなど、多様な表現を生み出している。単純なピースを組み合わせから非周期的に平面や空間を充填する仕組みの背後には幾何学的操作や原理が存在する。幾何学を介した表現を実践することで、「かたち」の視点から、自然現象、工学、アート、デザインなど、さまざまな領域を横断する。

評価方法　授業の取り組み、提出物、最終発表を総合して評価する。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

全学自由研究ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51302	A	微分積分学から理解する現代数学の必須概念・ルベーグ積分とソボレフ空間	米田 剛	数理科学研究科	月 2	2	120	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

微分積分学を履修したばかりの初学者が、ルベーグ積分とソボレフ空間を理解する事を目標としている。ルベーグ積分とは、現代数学において必須の概念の一つであるが、通常はその習得のためには「測度論」を学ばなければならず、その為に、初学者にとって、そのルベーグ積分の本質をなかなか掴みにくくなっているのが現状である。本講義では、「無限」という概念に焦点を当て、微分積分の知識のみで「何故ルベーグ積分という積分がむしろ自然か」ということを理解することが目標である。

ソボレフ空間とは、自然現象を記述する際に重要となる「偏微分方程式」を数学解析する際に必須となる概念であり、より具体的には、微分した関数が連続とはならないもの全体を扱ううえでとても重要となる概念である。その概念を習得する為には、（ルベーグ積分のときと同様）通常は色々な前提知識を積み重ねていかなければならず、最低でも学部 3 年、4 年までかかるのが通常である。本講義ではそのような概念を最短で（従って微分積分学のみを前提知識として）習得するのがもう一つの目標となる。

評価方法　出席点とレポートによる。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51283	A	ココロのトリセツ -ソーシャルサポートと臨床-	石垣 琢麿、 細野 正人	心理・教育	月 5	2	K402	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

【概要】

このゼミの目標は次の 2 つです。（1）自分自身の心理的特徴を知ることによって、自身の心理的不調を長期的に予防する、（2）逆境やトラブル、強いストレスに直面する場面での不適応状態が長期化しないようレジリエンスを高める。長期的な目標は、大学在学中ももちろんですが、社会人になった後も心の健康を保つことができる人材を育てることです。

授業は 3 つのフェーズに分かれています。フェーズ 1 では、精神科臨床における複数の症例や支援の実例から、自身や周囲の人が心理的不調に陥ったときの対処法や心構えを学びます。フェーズ 2 では、ダイバーシティ実現のために必要な、生きづらさを解消する方法やソーシャルサポートについて学びます。フェーズ 3 では、メンタルヘルスの維持・増進やダイバーシティ実現に関して、企業で実際に行われている取り組みを紹介し、ダイバーシティ推進部門で働く社会人とディスカッションを行います。

自身の心の健康を維持しつつ、他者の心の健康にも配慮できる能力は、現代社会の責任ある立場で活躍するために必要不可欠です。このゼミを通じて、心の健康の重要性と、人と人とが支え合うことの重要性について学んでください。

本ゼミは、精神保健福祉士である細野正人特任助教が主担当を務めます。

評価方法

【評価方法】

1）出席点（60%）
単位認定には、全ての授業に出席することが求められます。病欠などの理由で欠席することは 2 回まで認めますが、1 欠席あたり 3,000 字超のレポート提出が必要になります。

2）学術ポスターの作成(30%)
ゼミ 8 回目終了までに、学術ポスターを作成し、アウトリーチセッションにおいて、学術ポスターを掲示し発表します。ポスターのテーマはガイダンス時に発表します。ポスター作成作業は授業時間外で行います。

3）口頭試問(10%)
第 13 回目授業時間内に、口頭試問を実施し、評価します。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time
2019/9/30　5 限／5th Period　K402 教室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51365	Ａ１	伊豆に学ぶプラス２０１９Ａ1 「感じる・考える・行動する」 サイクルの発動	鴨田 重裕	農学部	月 5	1	158	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

この講義の最大の目標は、伊豆ゼミ運営に関わる学生スタッフの育成と組織化である。学生スタッフとは一ゼミ生でありながら、伊豆ゼミをよく理解するファシリテーターとしてゼミにおいて自律的に活躍してゼミの目指すべき方向性を示す、伊豆ゼミの中核となる存在である。大役であればこそ、大きく成長する機会となるであろう。大役と聞いてちょっと尻込みする貴方・貴女へは、「できる様に育てるのがプラスの講義」「案ずるより産むが易し」と励ましたい。

さて、近年「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律」が制定されるなど環境教育の重要性は社会的認知度を増した。実際、「持続可能な社会の実現」というキーワードを意識せずには将来を考えられない状況にある。しかし、環境教育は初等・中等教育において既に「完了」したことになっており、大学生ともなればその手の「環境教育」は卒業済みなのでもう考えることはないといった風になってはいないだろうか。法が謳うように、環境保全活動及び環境教育を自ら進んで行うような流れになっているだろうか。

環境教育が重要だとされるが、その真意はなかなか学生の皆さんには伝わりにくいのではないか。もしかすると伊豆ゼミは、その伝わり難い部分を少しだけでも補えるのではなかろうか。これまでに受けて来た環境教育は、おそらく大学受験ではほとんど役に立たなかったと思われる。受験で役に立たなかったことを、社会に出てからも役に立たないことだと思い込んでいる節はなかろうか。「環境保全の意欲」が低いのは、身につまされる経験がなければ致し方ないことかも知れない。真に社会の役に立つ人材となるために、そんな誤解は早々に解くべきでしょう。

「伊豆に学ぶ」シリーズでは、環境の問題、景観の問題、獣害の問題など身近な森林が抱える様々な問題を意識化するために、現地に足を運び、伊豆半島に特徴的な事象観察を行い、また、実体験を交えて自分の五感で体験学習した。受講者は色々なことを気付ける自分に気付くという思いがけない体験をしたと思う。そもそも学びとは一体何なのだろうかと、少し自問する気分も生じたのではあるまいか。また、同じ体験をしながらも、自分とは違った見方、感じ方で捉える同世代の大きな存在も強く意識したに違いない。 伊豆ゼミは、高い志と低い垣根の両立を目指して丁寧に組み上げ、第一に「感じる」ことを大事にしている。正味 4 日程の短い間に、様々な「つながり」を感じられる仕掛けに仕上げたつもりである。

本講義「伊豆に学ぶプラス」は、伊豆ゼミの果実を確かなものにすることを大きな目標とし、真剣に考え・顧みて、議論することを大切にする。最近の若者を支配する「空気を読む」ことを半ば強要するような雰囲気には、異を唱えたい。同じるばかりに気が行っては、自由にとことん議論して真に和するということがないのではないかと心配になる。和して同ぜず。色々な背景を背負った受講生同士が異なる意見を吐露し合い、むしろ意見が違っても大切に思っている根っこの部分が同じであったり共通性があったりすることに気付くこと、そういう仲間の存在のありがたさを知ることを実現する「場」を本ゼミに具現したい。受講生同士のつながりから、己と社会のつながりをいかに構築していくかを模索し、社会の一員として環境保全に取り組むべきと強く意識できることを期待したい。学生が主体となり、自由に学ぶ「場」を実現すること、それが全ての伊豆に学ぶシリーズに共通する理念であり、伊豆に学ぶプラス生が果たす役割である。総合大学ならではの面白さを追求したいと考えている。

※このゼミは９月２６日（木）１８時４５分～１９時４５分に 1313 教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定している。

評価方法　授業態度、取組姿勢を重視し、プレゼンテーションとファシリテーションの質を評価する。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60219	Ａ２	伊豆に学ぶプラス２０１９Ａ２「感じる・考える・行動する」サイクルの発動	鴨田 重裕	農学部	月 5	1	158	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

この講義の最大の目標は、伊豆ゼミ運営に関わる学生スタッフの育成と組織化である。学生スタッフとは一ゼミ生でありながら、伊豆ゼミをよく理解するファシリテーターとしてゼミにおいて自律的に活躍してゼミの目指すべき方向性を示す、伊豆ゼミの中核となる存在である。大役であればこそ、大きく成長する機会となるであろう。大役と聞いてちょっと尻込みする貴方・貴女へは、「できる様に育てるのがプラスの講義」「案ずるより産むが易し」と励ましたい。

さて、近年「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律」が制定されるなど環境教育の重要性は社会的認知度を増した。実際、「持続可能な社会の実現」というキーワードを意識せずには将来を考えられない状況にある。しかし、環境教育は初等・中等教育において既に「完了」したことになっており、大学生ともなればその手の「環境教育」は卒業済みなのでもう考えることはないといった風になってはいないだろうか。法が謳うように、環境保全活動及び環境教育を自ら進んで行うような流れになっているだろうか。

環境教育が重要だとされるが、その真意はなかなか学生の皆さんには伝わりにくいのではないか。もしかすると伊豆ゼミは、その伝わり難い部分を少しだけでも補えるのではなかろうか。これまでに受けて来た環境教育は、おそらく大学受験ではほとんど役に立たなかったと思われる。受験で役に立たなかったことを、社会に出てからも役に立たないことだと思い込んでいる節はなかろうか。「環境保全の意欲」が低いのは、身につまされる経験がなければ致し方ないことかも知れない。真に社会の役に立つ人材となるために、そんな誤解は早々に解くべきでしょう。

「伊豆に学ぶ」シリーズでは、環境の問題、景観の問題、獣害の問題など身近な森林が抱える様々な問題を意識化するために、現地に足を運び、伊豆半島に特徴的な事象観察を行い、また、実体験を交えて自分の五感で体験学習した。受講者は色々なことを気付ける自分に気付くという思いがけない体験をしたと思う。そもそも学びとは一体何なのだろうかと、少し自問する気分も生じたのではあるまいか。また、同じ体験をしながらも、自分とは違った見方、感じ方で捉える同世代の大きな存在も強く意識したに違いない。 伊豆ゼミは、高い志と低い垣根の両立を目指して丁寧に組み上げ、第一に「感じる」ことを大事にしている。正味 4 日程の短い間に、様々な「つながり」を感じられる仕掛けに仕上げたつもりである。

本講義「伊豆に学ぶプラス」は、伊豆ゼミの果実を確かなものにすることを大きな目標とし、真剣に考え・顧みて、議論することを大切にする。最近の若者を支配する「空気を読む」ことを半ば強要するような雰囲気には、異を唱えたい。同じるばかりに気が行っては、自由にとことん議論して真に和するということがないのではないかと心配になる。和して同ぜず。色々な背景を背負った受講生同士が異なる意見を吐露し合い、むしろ意見が違っても大切に思っている根っこの部分が同じであったり共通性があったりすることに気付くこと、そういう仲間の存在のありがたさを知ることを実現する「場」を本ゼミに具現したい。受講生同士のつながりから、己と社会のつながりをいかに構築していくかを模索し、社会の一員として環境保全に取り組むべきと強く意識できることを期待したい。学生が主体となり、自由に学ぶ「場」を実現すること、それが全ての伊豆に学ぶシリーズに共通する理念であり、伊豆に学ぶプラス生が果たす役割である。総合大学ならではの面白さを追求したいと考えている。

※このゼミは９月２６日（木）１８時４５分～１９時４５分に 1313 教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定している。

評価方法　授業態度、取組姿勢を重視し、プレゼンテーションとファシリテーションの質を評価する。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51297	A	圏と層	斎藤 毅	数理科学研究科	月 5	2	117	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

圏と層は，20 世紀の抽象数学の特徴的な対象である．
圏論のことばにより，数学の対象を同種あるいは異種の対象との関わりの中でとらえることができる．
層は幾何的な対象の大域的性質と局所的性質をつなぐことばとして導入された．
圏と層について基本的な内容を解説し，その応用を紹介する．

評価方法　出席点とレポートで評価する．
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51376	A	現代質量分析学入門 ～環境動態解析から生命科学まで～	松崎 浩之	総合研究博物館	月 5	2	K302	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

質量分析は，同位体を検出する最も強力なツールとして，自然科学の様々な分野で基礎的な分析手法として活躍している．近年では，有機化合物や高分子にも応用され，生命科学や医薬学の分野でも欠かすことのできない分析手法となっている．さらには，現在も新しい概念・新しい技術の導入による新しい形の質量分析の開発が進んでいる．本コースでは，質量分析技術の技術的基礎をしっかり学び，加速器質量分析，レーザー共鳴質量分析，生命科学への応用など，最先端の技術・応用研究を正しく理解する．その上で，実際に現代の最先端質量分析システムを実際に体験する実習を行うことによって，「現代質量分析学」の概念を体得する．

地球上のどのような物質を持って来ても，究極の感度で分析すれば，あらゆる元素・同位体を検出できるだろう．そしてそれらは，その物質がそこに至るまでに経験してきたあらゆる物理・化学的過程を記録しているはずである．私たちは物質中に記録された宇宙・地球・生命の歴史を読み解くことを夢見て，研究開発を進めている．この夢を皆さんと共有するのが本コースの目標である．

評価方法　出席とレポート
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time
2019/9/30　5 限／5th Period 講義を実施する教室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51304	A	立場の心理学： Crossing Your Culture-日本社会や他国のマジョリティの特権（権力含む）について考える	伊藤 圭子	グローバルキャンパス推進本部	月 5	2	K301	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

これまでの多文化理解や国際化などの教育現場では、「他者」であるマイノリティー（弱者）」に焦点を当て、他者の立場について学ぶことが多いが、本科目では、マジョリティー側、「特権・権力を持つ者（社会における強者）」としての自己の立場に焦点を当てることで異文化理解を深めることが目標である。

特権とは「労なく得ることのできる恩恵」と定義され、努力のもとでなく、特権集団（例えば、人種でいえば、日本で日本人として生まれたこと、など）にたまたま生まれたことで自動的に受けることのできる恩恵のことである。「特権を持つ集団」、いわばマジョリティ集団に属する人々は、社会的強者の立場となる。本科目では、心理学の立場理論を通して、この社会における強者としての立場を可能にしている構造や制度について学ぶと共に、特権集団の持つ心理的特徴やアイデンティティ、社会化のプロセスについて紹介する。学生の皆さんが世界に通じる国際性豊かな人間になる上でも、「自分の特権に自覚的である」ことで、他者（ここでは社会的弱者）との信頼関係を得て、他者（弱者）と共により良い社会を築くには何をすれば良いのか、ということについて考察する。

評価方法　出席状況/ Attendance （ 40 ）%
リアクションペーパー/ Reaction papers （ 30 ）%
授業内での議論への貢献等の平常点/ Class participation （ 30 ）%
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51301	A	対称群の表現論	松本 久義	数理科学研究科	月 5	2	シラバス参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　群とは対称性を記述する数学的概念である。「対称群」とは有限集合における置換全体のなす群であるが、これは有限集合の対称性を表す基本的な概念ということになる。
「群の表現」とは群のいろいろな数学的対象における対称性としての現れ方を、線形代数を用いて記述することであるといえよう。この方法論は大きな成功をおさめ数学の多くの分野のみならず物理学などにも影響を及ぼす一大分野が形作られている。
対称群自体は一見単純なもの見えるが、表現を考えることにより極めて豊かな世界を垣間見ることができる。
このセミナーでは群についての簡単な解説から始めて対称群の表現論を目標とする講義を私が行う。聴衆としては数学あるいは数理物理の研究者を志望している学生を想定している。
この講義は数理科学研究科棟 １２２で行う。

評価方法　レポートによる。授業中に提示する。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51377	A	『世界開発報告』を読む	森川 想	工学部	火 2	2	K401	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　最新版の『世界開発報告』を会読します。講師は開発の専門家ではありませんが、開発を学ぶことは、先進国・途上国を問わず現代社会の課題を見つめることに直結すると考えています。報告そのものや、その根拠となっている文献をクリティカルに読み、議論することで、社会課題解決のために世界各国で行われているプラクティスの可能性と限界や、科学技術（社会科学・自然科学）と公共政策の関係等について考え、見直す機会としていただければ幸いです。

評価方法　議論への貢献
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51321	A	MATLAB による Brain Computer Interface のための情報処理	坂口 菊恵、開 一夫	教養教育高度化機構	火 2	2	K303	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　さまざまなセンサーや無線を用いた通信技術が容易に手に入るようになった現在、IoT（モノのインターネット）や「人のインターネット」を研究や実用に活用することが求められている。
本演習では、教室内で利用できる簡易脳波計（1Ch および 14Ch）と Bluetooth で接続し、データを収集してクラウド上に蓄積したり、リアルタイムに分析結果を可視化したりする方法を学ぶ。
さらに、MALTAB などのソフトウェアを用いて、神経科学的に意味のある情報を分析し、学習効率の向上や官能評価、モノを動かす、コミュニケーション支援など、測定した生理指標を日常生活に役立てるアイディアを立案し、実装を目指す。
難易度は参加者の進度を見て調整する。

評価方法　グループワークを通じた作業、成果発表
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51312	A	アクティブラーニング（模擬国連会議）で学ぶ問題解決法	網野 徹哉、中村 長史	教養教育高度化機構	火 2	2	KALS	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　この授業では、「模擬国連会議（Model United Nations）」というアクティブラーニングの手法を用いて、国際問題の解決法を考えます。多様な利害・価値観に配慮することの重要性を理解するには体感してみることが早道ですが、模擬国連会議では、一人一人が米国政府代表や中国政府代表などの担当国になりきって国際問題について話し合います。立場を固定されている点ではディベートと同様です。しかし、 相手を論破することで勝利を目指すディベートと異なり、模擬国連会議では合意形成が目的であるため相手の利害・価値観を尊重したうえでの妥協が重要になります。この点を重視し、授業内では対立の激しい議題・担当国を設定して、 ロールプレイ・シミュレーションに取り組みます。

具体的な到達目標は、以下の通りです。
①国際問題の構造や原因を説明できる【中間レポートで評価】
②国際問題をめぐる多様な立場（利害・価値観）を説明できる【中間レポートで評価】
③国際問題の解決における妥協の重要性を説明できる【中間レポートで評価】
④国連の資料を自ら調べて国際問題の分析に用いることができる【期末レポートで評価】
⑤国際問題の解決策について、選択肢を複数挙げて比較衡量したうえで、妥当と考えられるものを説得的に示すことができる【期末レポートで評価】
⑥模擬国連会議の教育手法としての特徴を説明できる【期末レポートで評価】

評価方法　期末レポート（50%）と、中間レポート（模擬国連会議のふりかえりレポート：25%×2）により、評価します。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51296	A	幾何学工房 ー 作って，見て，触って理解する幾何学	金井 雅彦	数理科学研究科	火 2	2	シラバス参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　数学の一分野，幾何学がこの授業の主題です．そもそも，幾何学は数学のなかではかなり特殊な分野であると言えるかもしれません．その理由は，わたしたち人間が有する五感，すなわち，視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚のうち，視覚・触覚を用いて得られる知的体験から幾何学が誕生したと考えられる点にあります．五感のいずれかから発生した分野は，数学の中では幾何学のみです．その意味で，幾何学はきわめて直感的かつ根源的であると言うことができるでしょう．このゼミナールの大きな特徴のひとつは，実際に視覚や触覚を利用する点にあります．学期の前半では，幾何学に関わる模型を授業中に皆さんに作成してもらいます．そして，それを見たり，触ったりしながら，対象に対する理解を徐々に深めることを目標とします．工作や模型を使っての「体験」をぜひ気軽に楽しんで頂ければと思います．

評価方法　毎回の授業への出欠，授業中のパーフォーマンス，および最後の発表により決定する．
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51314	A	外国語で書かれた東京論を読む	谷本 道昭	教養教育高度化機構	火 4	2	119	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　都市文学には都市出身者＝ネイティブの書き手と非ネイティブの書き手がいると言われるのと同じように、都市文学論にもネイティブの書き手と非ネイティブの書き手がいる。そして、すぐれた都市文学がしばしば非ネイティブの書き手によるものであるのと同じように、都市文学論には、非ネイティブの書き手、それも外国出身者によって書かれたものが多くある。外国語、他者の視点を介してなされる都市文学についての記述は、ときに、ネイティブの読者が無意識的に持っている都市のイメージに揺さぶりをかけ、塗り替えていく力を持っている。

本演習では、日本近代文学における公共交通機関による移動、交通、利用者の表象分析を基点に、実証的な手法で近代都市東京を論じる Alisa Freedman, Tokyo in Transit : Japanese Culture on the Rails and Road (Stanford University Press, 2011) を教材とし、近代日本の都市文学の諸側面を知ることと同時に、非ネイティブの書き手ならではの観点や指摘に注目することで、自己の視点を相対化することを目標としたい。なお、担当教員は英語や英米文学を専門とするものではないため、英語学習そのものを目的とするのではなく、外国語の研究書を読むための学術的スキルの習得を重視する演習型授業であることを念のため申し添えておく。

評価方法　出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51334	A	未定	伊東 乾	学際情報学府	火 5	2	学際交流ホール	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　UTAS シラバスを参照
評価方法　UTAS シラバスを参照
教科書　UTAS シラバスを参照
ガイダンス　UTAS シラバスを参照

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51360	A	エルンスト･ユンガーを読む	和仁 陽	法学部	火 5	2	1233	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　エルンスト・ユンガー(Ernst Jünger, 1895-1998)は、二十世紀のほぼすべてに亙って生きたドイツの文筆家である。この作家のテクストを、丁寧にドイツ語で読むことにする。非常に簡潔なドイツ語なので、文法・構文・語彙上の難易度は低い。ドイツ語初学者でも意欲ある方であれば奮ってご参加いただきたい。文芸的作品(小説・エッセイ)のみならず、日記・書簡など、さまざまのジャンルのテクストが厖大にあるので(最近の普及版全集だけで 22 巻、11,000 頁超)、何を取り上げるかは、参加者の関心に応じて柔軟に決定する。

一案として、Auf den Marmorklippen (1939 年初版。相良守峯訳[岩波書店 1955]では『大理石の断崖の上で』)を Helmuth Kiesel による校訂版(2017 年)に拠って精読するのはどうか。

https://www.klett-cotta.de/buch/Juenger/Auf_den_Marmorklippen/84829

評価方法　平常点による。そのためにも、全回出席を大原則とし、無断で欠席すると単位を与えないことがありうる。

教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time

書名　Sämtliche Werke in 22 Bänden
著者（訳者）　Ernst Jünger
出版社　Klett-Cotta
その他　https://www.klett-cotta.de/buch/Juenger/Saemtliche_Werke_in_22_Baenden/62294

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51468	A	外食産業理論とその実際	河崎 妙子	学生による全学自由研究ゼミナール	火 5	2	515	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　実際の飲食店づくりのノウハウを学び、経営者としての実践的考察を行う。外食産業の歴史、企業構造や用語を学ぶこともできる。外部講師やビデオ等を使った授業も実施。概論だけでなく実例を挙げながらの授業なので、実践的な力を付けることができる。後半の授業では実践的な作業を伴うので、必要とされる店舗企画書が作成できるようになる。

評価方法　グループによる企画書及びレポートの評価

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51332	A	考える力を養う／コントラクトブリッジ	浅井 潔	理学部	火 5	2	114	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　本ゼミナールでは、コントラクトブリッジの基礎を初歩から学び、簡単にプレイできる実戦経験を身につける。さらに、判断力、分析力を駆使し、確率を見積って最適なプレイを選ぶ考え方を実践を通じて身に着ける。 コントラクトブリッジは、カード（トランプ）を使用して行う競技であり、チェス、囲碁、将棋と共に頭脳スポーツと呼ばれている。世界中に愛好者がおり、ブリッジの国際組織（WBF = World Bridge Federation）には１００か国以上が加盟している。担当教員は日本リーグ１部でプレイした経験を持つ上級者である。本授業は公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟の協力を得る。

評価方法　合格・不合格： 宿題の成績、ゲーム達成度および授業への出席実績に基づいて行う。

教科書　その他　Web ページ及び無料学習用ソフトを使用

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time
2019/9/24　5 限／5th Period　114 教室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51469	A	ベルカント研究ゼミナール	夏目 張安	学生による全学自由研究ゼミナール	水 5	2	音楽実習室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　イタリア、ベルカント唱法の発声と呼吸法を学び、輝きに満ちた広がりのある声と、表現豊かな歌唱力を身につける。

評価方法　課題曲の演奏発表
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　イタリア歌曲集 1、コンコーネ５０番
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51300	A	ルベーグ積分論に関する文献の輪講	下村 明洋	数理科学研究科	水 4	2	115	1 年 理科 2 年 理科

授業の目標概要　ルベーグ積分論（測度と積分）の初歩について，それに関する文献を受講生が輪講形式で発表する事によって学ぶ．ルベーグ積分論は，フーリエ解析，関数解析，関数空間論，偏微分方程式論，確率論等を学ぶ際に必須であると考えられる．現代の解析学では，無限次元の関数空間の知見が不可欠と考えられるが，関数空間はルベーグ積分を用いて定義されるものが多い．また，現代の確率論は，測度と積分によって定式化されている．この科目では，受講生による日本語での発表形式で行うので，ルベーグ積分論の内容の理解とともに，発表内容を他の人に説明する能力を身に付ける事も目標とする．

大学で数学やそれに近い分野を学ぶ学生にとって，ルベーグ積分論は，学部 3 年の S セメスター辺りで学ぶのが標準的と思われる．（例えば，理学部数学科では，3 年の S セメスターにルベーグ積分論の講義と演習が開講されている．）この科目は，その様な内容を，教養学部前期課程で A セメスターに受講生による輪講形式で（受講生のペースで）学ぶという趣旨のものである．

この科目の履修には，極限や関数列の一様収束等の厳密な微分積分を理解している事が前提である．リーマン積分（広義重積分辺りまで）に関する素養があった方が親しみやすいかもしれない．前期課程での開講という事を考慮すると，集合と位相については，必要な事をその都度身につけていくという姿勢で構わない．
この科目は授業形態の観点から少人数で行うのが望ましいので，履修希望者が多数の場合には，選抜を行う事がある．

詳しくは第 1 回の授業で説明するので，この科目の履修を検討している人は必ず第 1 回の授業に出席すること．

評価方法　発表内容や授業への取り組み状況等で評価する予定である．
教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51313	A	文学と雑誌—日本近代小説と雑誌を中心とする活字メディアの関係を探る	谷本 道昭	教養教育高度化機構	水 4	2	119	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　世に知られている文学作品はすべて、作品として流通し、読者の目にふれるにあたって、出版・公開の過程を経ており、紙媒体であれ電子媒体であれ、掲載メディアとの結びつきなくしてテクストが作品として認知されることはない。近代以降の文学を理解し論じるにあたって、文学作品の主要な掲載媒体のひとつである雑誌の存在を無視することができないのはそのためであり、洋の東西を問わず、近現代文学の興隆と新聞、雑誌に代表されるかつての新興活字メディアの躍進は切り離せない関係にある。

本演習では、明治から第二次大戦期までの日本近代小説と雑誌の関係を論じる先行研究に学びながら、図書館、資料館など学内外の施設を利用した資料調査を実際に行うことで、文学研究、出版文化史・メディア史研究、文学社会学など複数の研究領域にまたがる雑誌研究の基礎を習得することを目標とする。雑誌という無色透明ではありえないメディアの特徴や性質を理解することによって、文学作品を読み解き、読み替えていく視点を持つことが可能となるはずである。授業は、前半に、受講者によるレジュメ報告式の文献講読を通じて明治大正期の雑誌の歴史を概観したうえで、後半は、個別作家・作品と個別雑誌との関係について、受講者がそれぞれに対象を選び、発表を行う形で進めていきたい。

評価方法　出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51282	A	危機対応の社会科学	玄田 有史	社会科学研究所	水 5	2	117	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　社会科学研究所の全所的プロジェクトとして実施してきた「危機対応の社会科学」（略称・危機対応学」についてオムニバス形式の講義を行う。危機対応学は、社会に発生する様々な危機（クライシス）および社会そのものの危機的状況と、それに対する社会や個人の対応のあり方について、社会科学の観点から総合的に考察する新たな学問を目指している。講義では、社会における危機の発生と対応のメカニズムの解明であり、同時にそこから「危険（リスク)」を「機会（チャンス)」に転じるための諸条件について、講義参加者と共に考えていく。

評価方法　出席とレポート
教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time
2019/9/25　5 限／5th Period

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51286	A	現代世界のグローバル化とメディア	馬路 智仁	社会・社会思想史	水 5	2	115	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　グローバル化と情報化が急速に進展する中、世界の構造も日本の社会やシステムも劇的に変貌しつつある。国内外で活躍する人材には、国外の情報を的確に選別・分析し、世界の中における日本の位置や、世界全体の動きを冷静に見通す能力がますます必要とされている。この授業では、国内外のメディアから出される重要な情報の取得の仕方や分析の仕方を学ぶ。変革期を乗り越え、グローバル化した世界でリーダーシップを発揮できる人材となるために必要な知識の獲得と情報分析技術の取得を目指す。

最初の授業で、受講者をヨーロッパ地域、アメリカ地域、アジア・アフリカ地域の三つのグループに分け、毎週各グループから一人ずつ、その担当する地域に関する重要な記事（日本語以外の新聞・雑誌からのもの）の報告と分析を行う。

★選考を行うので、氏名、学生証番号、学年、科類、連絡先（メールアドレスなど）とともに、受講希望理由を A4 サイズの紙一枚にまとめ、最初の授業に持参すること。
★履修人数を 18 名に制限する（A セメスターからの新規生として若干名を迎える)。

評価方法　授業での報告・ディスカッションを基に評価する。
教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51306	A	現代生物学研究の独創と創造	堀越 正美	定量生命科学研究所	水 5	2	150	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　現代の学生は将来、自分が研究者、科学者としてどのように人生を生きていくのか、研究の独創や創造はどのように生み出されるのか、また、論理的に考えるとはどういったことなのか等について、まったくと言ってよいほど考えてきていないように思われる。そのような状況を踏まえ、教養学部の時から研究者としての将来を考える志の高い学生に対して、現代生物学研究の現状や研究者のあり方について考える機会を提供したい。
　本全学自由研究ゼミナールは、東京大学の授業の中では、異色な授業と言われている。考える力、考え抜く力、世界に通用する力、そして独創性を発揮する力を身につけるにはどうしたらよいかと考えている学生、研究者や科学者を目指したい学生、自分の考えを述べ議論するような授業に参加したい人に勧める。

評価方法　出席
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51290	A	室町・戦国時代の法制史料を読む	前川 祐一郎	史料編纂所	水 5	2	119	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　日本中世の社会には、現代人の「常識」と大きく異なる法や慣習が存在した。それらの法や慣習は中世社会の独特のあり方を示しており、室町から戦国時代にかけての法制史料、たとえば戦国大名の分国法や単行法令などの中に多く残されている。この授業では、戦国大名の分国法などの法制史料を読むことにより、中世史料に慣れ親しみ、史料から中世社会の面白さ・興味深さを読み取る初歩的訓練・体験の場を、受講者に提供できればと考えている。

評価方法　受講者の授業への主体的な参加の状況（史料読解への挑戦意欲と習熟の度合いや、報告・発表など）および提出レポートによる。
教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51362	A 1	植物はどう生きるか-植物と栄養との関わり	藤原 徹	農学部	水 5	1	515	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　地球上の生態系は植物抜きでは成り立たない。植物の成長には例外なく無機栄養を吸収する必要がある。植物の無機栄養の吸収は植物の生育を促進し人類に恵みをもたらす一方で、物質の移動をもたらし環境に大きな影響を与える。人類の活動がさらにその影響を大きくしている。本講義では植物と栄養の関わりを多様な観点から考え、人類の活動が、植物の持つ特性によって恩恵を受けるとともに、制限もされていることを理解するとともに、それらを踏まえて将来の展望について議論する。

評価方法　出席とレポートによって評価する。
教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time
2019/9/25　5 限／5th Period 授業を行う講義室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51470	A	多文化社会と教育—移民の子どもたちをめぐる現状と課題の理解	高橋 史子	教養教育高度化機構	水 5	2	K303	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

＜概要＞

日本は正式に”移民”を受け入れると発表していないものの、外国人流入数では OECD 加盟国中 4 位であり（OECD, 2017)、実質上の「移民受け入れ国」と言っても過言ではない。また、2019 年春からは単純労働分野への外国人受け入れも拡大されている。外国人の定住化・滞在の長期化も進んでおり、日本社会の多民族化・多文化化*は進んでいると考えられる。

民族・人種・文化に関係なく、平等に社会に参加するために教育は重要な役割を果たす。本ゼミは、家庭、学校、地域、労働市場などさまざまな観点から、移民の子どもたちの生活世界に対する理解を深め、多文化社会と教育に関する基本的な概念や理論について学び、日本に在住する移民や難民の子どもたちの教育に関する課題と展望について検討する。

*ただし、日本の多文化社会化は今に始まったことではない。もともと、日本社会にはアイヌや部落などの人々、さらに在日コリアンなど、さまざまな民族的・文化的背景を持つ人々が生活してきた。

＜目標＞

・日本に住む移民の子どもたちについて、出身国、数、渡日背景、移民世代（移民 1 世、２世・・）などの基本的な情報を説明できる。
・家庭、学校、地域、労働市場などを切り口に、移民の子どもたちの生活世界に対する理解を深め、基本的な概念や理論を説明できる。
・学校や地域における多文化共生に向けた教育的取り組みについて学び、多様性と平等、公正の観点から論じることができる。
・本ゼミに関連するテーマについて文献購読やフィールドワークを通じて調べ、グループ内で意見交換を行い、授業で学んだ知識と結びつけてグループ発表を行う。
・本ゼミで取り扱ったテーマの中から一つ選び、移民の子どもたちの教育をめぐる現状と課題について個人レポートで論じる。

評価方法

・振り返りフォーム（20%）・・・各回で学んだ知識、概念、理論に関する簡単な復習。疑問点や感想も書いてください。
・グループワーク発表（40%）・・教員（15%)、TA（15%)、他グループ（10%）で評価を行います。評価基準についてはルーブリック（グループ発表）（ホームページで 9 月上旬公開）を参照してください。
・個人レポート（40%）・・・本ゼミで取り扱ったテーマの中から一つ選び、移民の子どもたちの教育をめぐる現状と課題について個人レポートで論じる。評価基準についてはルーブリック（個人レポート）（ホームページで 9 月上旬公開）を参照してください。

教科書

次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名　『移民から教育を考える—子どもたちをとりまくグローバル時代の課題—』
著者(訳者)　額賀美紗子・芝野淳一・三浦綾希子編
出版社　ナカニシヤ出版
ISBN　978-4-7795-1369-5
その他　2019 年 8 月刊行予定

ガイダンス

第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time
2019/9/25　5 限／5th Period　KOMCEE WEST K303

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51361	A	農学入門：タネ蒔く農学部有志	高橋 伸一郎	農学部	水 5	2	518	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

本講義は、『農学』とは何か？『農学部』は何を教育・研究しているところか？そんな素朴な疑問を持たれている学生の皆さんと一緒に、農学の観点から地球の未来を考えることを目標としています。

『農学』とは、有限な資源を前提として、人類の安定した生存と心地よい生活に貢献する「実学」です。生物が生息している空間は、すべて農学がカバーすべき学問領域であり、分子、細胞、組織、個体レベルは言うまでもなく生態系、そして地球レベルに至るまでが、研究対象となっています。農学では、自然科学だけではなく、社会・経済学、そして人文科学の手法も動員して、総合科学的に問題を捉える必要があります。

人類は誕生以来，微生物，植物や動物，鉱物など，地球上のあらゆる「もの」を利用して生きてきました。この活動は人類の生活を豊かにすると同時に，経済価値を優先した産業開発が，私たちのかけがえのない地球に大きなダメージを与えてきたことは、皆が認めるところだと思います。この危機に行政的には、生物多様性の観点から「愛知目標」や「科学と政策の統合（IPDES)」、人間活動の観点から「持続可能な開発目標（SDGs)」などが設定されました。人類の衣食住を多方面から支えてきた学問領域『農学』においても，持続可能で環境調和型の科学技術の確立が喫緊の課題となっています。そういう意味では、ヒトを含めた生物の共存共生のため、地球上の生物資源を利用することで起こした問題を俯瞰的に洗い出して，総合科学の力で解決していくことが、「農学」の使命といえます。

この使命達成のため、農学部は多くの専修や専攻、附属施設から構成されています。この講義は、農学部の広報室メンバーの教員を中心に、農学部教員の有志が担当します。本講義では、生物の共存共生に今後我々人類が何をしていくべきかを抽出した後、いろいろな専修・専攻・附属施設の教員が、それぞれの課題の解決法につながるような農学領域の情報を提供し、これを基に出席者が農学を通じて地球のために何ができるかを考え、議論、解決法を提案することを最終ゴールとしています。

評価方法　出席と提案の策定

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

2019/9/25

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51318	A	「茶わんの湯」から最新の科学を考える	鹿島 勲	教養教育高度化機構	木 4	2	K113	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

普段は特別に意識しない、なんの変哲もない身近な現象や事柄、例えば茶わんと湯であっても、よくよく観察することで様々な系に共通する普遍的な構造や法則および、最新の知見と関係していることが見えてくる。オムニバス形式で行う本ゼミは、物理学者・寺田寅彦の名随筆「茶わんの湯」の追体験に加え、茶わん（陶磁器）やお茶に関連する講義を随所に実験・体験を組み込んで水平展開して進んでいく。寺田寅彦的思考、領域を横断する研究、独創的な研究、実社会問題の発見や解決と密接に関係しうる研究とはどんなものか問いかける講義もある。あらゆる先入観・偏見から解き放たれ、学問領域を自由に往来して、さまざまな視点・観点から知の獲得と思考のトレーニングをする機会を「茶わんの湯」を通じて提供する。

【講義予定】（順不同・敬称略）

「茶碗と科学」
　杉浦 照定
　株式会社ノリタケカンパニーリミテド

「破壊に見る記憶」
　中原 明生
　日本大学理工学部・一般教育教室（物理）

「味を感じる仕組み」
　石丸 喜朗
　明治大学 農学部 農芸化学科 食品機能化学研究室

「お茶にまつわる話」
　衣笠 仁
　小林 誠
　細山 広和
　株式会社伊藤園 中央研究所

「茶の色から考える光合成色素」
　増田 建
　東京大学大学院総合研究科 広域科学専攻広域システム科学系 増田建研究室

「お茶のなかの分子世界：はたらく分子・みえる分子」
　原野 幸治
　東京大学総括プロジェクト機構「革新分子技術」総括寄付講座 大学院理学系研究科化学専攻（兼務）

「分子建築士が操る茶碗分子の化学」
　寺尾 潤
　東京大学大学院総合文化研究科 広域科学専攻 相関基礎科学系／教養学部統合自然科学科

「液滴の魔術①：ニュートンの虹と現代光科学」・「液滴の魔術②：ウィルソンの霧箱と放射線科学」
　鳥井 寿夫
　東京大学大学院総合文化研究科 広域科学専攻 相関基礎科学系

「寺田寅彦と複雑系の科学」
　松下 貢
　中央大学 理工学部 名誉教授

「生き物の「形」を作る逆折り紙メカニズム」
　近藤 滋
　大阪大学 大学院生命科学研究科 時空生物学講座

「茶わんの湯から考える五感と自分」
　鳴海 拓志
　東京大学大学院情報理工学系研究科 知能機械情報学専攻

評価方法

①出欠カード兼感想・質問カードの提出、②最終レポートの提出により評価する。成績評価方法の詳細は、第1回目のガイダンスにて説明し、まとめを関連ホームページに掲載する。履修希望者は必ず確認すること。感想・質問カードおよび、レポートは書籍・ホームページ等で公開する予定がある。

教科書

教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス

第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51471	A 1	国連とインクルージョン	井筒 節	教養教育高度化機構	木 4	1	115	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

国連で、193 カ国の首脳によって採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」（2015）。SDGs は、2016 年から 2030 年までの国際の優先事項を定めたもので、「誰一人取り残さない（Leaving no one behind）」こと、すなわち「インクルージョン」をコア概念としている。国連では、女性、子供、移民・難民・国内避難民、先住民・少数民族、障害者、高齢者、LGBT 等のインクルージョンが重点課題とされている。偏見や差別により周辺化された人々は、身体的・性的暴力や殺人を含む人権侵害、貧困、健康問題を始めとする様々な開発上の困難に曝されることが多い。また、国際社会においては、障害、LGBT、精神保健等、テーマ自体が周辺化されることもある。

2019 年 A セメスターは、SGDs において優先事項として含まれた「性と生殖に関する健康（Sexual and Reproductive Health：SRH）」を主要テーマとする。SRH とは、ジェンダーの平等が達成され、人が安全で満ち足りた性生活を営み、結婚をするかしないか、子どもを産むか産まないか、産むなら何人産むかを自由に決められることであり、国連人口開発会議（カイロ）以降、人口問題の根本理念として国連の優先事項の一つとされている。一方で、性教育、避妊具の使用、望まない妊娠、妊産婦保健、HIV を含む性感染症、性暴力、女性器切除、LGBTI、人身取引等、宗教や文化と深く関わるテーマを多く含んでいるゆえ、国際の合意が難しく、開発途上国の現場でも周辺化されやすい分野の一つでもある。ジェンダーや人権、教育・保健、そして貧困削減においても基礎をなす SRH をめぐっては、国連人口基金（UNFPA）をはじめ、国連児童基金（UNICEF）、世界保健機関（WHO）、国連教育科学文化（UNESCO）、国際移住機関（IOM）等、多くの国連機関が様々な取組みを行っている。しかし、昨今も、文化的または政治的観点から論議を呼んでおり、例えば、米国トランプ政権は、UNFPA への資金拠出を停止している。

本講義では、国連機関職員や当事者を含む講師から現場の状況を学びつつ、学生間の討議や調査を行い、SRH をめぐる国際社会の新しい解決策を考える。また、これを通して、国連の実際およびインクルージョンについて学ぶことを目的とする。

評価方法　授業への参加と課題 。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51315	A 1	図書館の学び・活用・提案①	岡本 佳子	教養教育高度化機構	木 4	1	K201	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

「図書館の学び・活用・提案」（通称「こまとちゃんゼミナール」）は、教養学部生のホームライブラリーとなる駒場図書館の使い方を身に付け、大学の学習や研究に役立てるとともに、図書館と学生の協働や学びのあり方について考える授業です。担当教員による授業進行を中心に、駒場図書館からの協力を得て実施します。

A1 ターム実施分「図書館の学び・活用・提案①」では、大学図書館をよりよく利用するための実習を行います。具体的には、1．駒場図書館の概要を知る、2．学習や研究のための図書館の活用方法（参考図書スペースやレファレンスサービス等）を学ぶ、3．情報を探すための基本的なデータベースの使い方を実習する（学外 GW サービスの利用を含む）を通して、学内で利用可能なリソースを使いこなすことを目標とします。詳細は Web サイト（http://www.sr.komex.c.u-tokyo.ac.jp/index.html）を参照の上、初回ガイダンスに参加してください。

※受講人数を 20 名程度に制限します
※本授業の受講生は A2 ターム実施の「図書館の学び・活用・提案②」への連続履修が望ましいです
※授業内容は受講人数等により変更する可能性があります
※「こまとちゃん」は駒場図書館の公式キャラクターです

評価方法　出席状況、授業への貢献度、課題提出状況とその内容から合否判定を行います
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60213	A 2	図書館の学び・活用・提案②	岡本 佳子	教養教育高度化機構	木 4	1	K201	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

「図書館の学び・活用・提案」（通称「こまとちゃんゼミナール」）は、教養学部生のホームライブラリーとなる駒場図書館の使い方を身に付け、大学の学習や研究に役立てるとともに、図書館と学生の協働や学びのあり方について考える授業です。担当教員による授業進行を中心に、駒場図書館からの協力を得て実施します。

A2 ターム実施分「図書館の学び・活用・提案②」では、駒場図書館所蔵の資料を発信するための実習を行います。具体的にはビブリオバトル実施（予定）のほか、チームでテーマを決め、関連する資料を選定し紹介文を執筆します。執筆した文章はチームでのブラシュアップを経て、ウェブサイトや展示等で公開することを目指します。

そのほか授業内外（授業外実施の場合は希望者のみ）にて、駒場図書館のバックヤード見学、学外図書館の見学を予定しています。詳細は Web サイト（http://www.sr.komex.c.u-tokyo.ac.jp/index.html）を参照の上、ガイダンスに参加してください。ガイダンスは 9 月 26 日（木）4 限の「図書館の学び・活用・提案①」の第 1 回授業日と 11 月 28 日（木）4 限の「図書館の学び・活用・提案②」第 1 回授業日、あわせて 2 回行います。

※受講人数を 20 名程度に制限します
※本授業の受講者は「図書館の学び・活用・提案①」を履修済みの者とします
※授業内容は受講人数等により変更する可能性があります
※「こまとちゃん」は駒場図書館の公式キャラクターです

評価方法　出席状況とチームワークへの貢献度、課題の提出状況とその内容で合否判定を行います
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/9/26　4 限／4th Period「図書館の学び・活用・提案①」実施教室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51293	A	ファッションと法	玉井 克哉	先端科学技術研究センター	木 5	2	シラバス参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

知的財産権に関わる最先端の問題に触れることを目的にしている。今学期は「ファッションと法」を中心にする。

このようなゼミを教養課程の諸君に提供する意義は、三つあると考えている。まず、学問研究のあり方に触れることである。大学での諸君の活動は、すべて、学問研究に向けられている。既存の議論を咀嚼し自己の意見を形成するという作業は、そのための第一歩である。次に、法律学の分野に関心を向けるということがある。このゼミで取り上げる最新の話題は、法律学においても最もエキサイティングな話題でもある。法律学は積み上げ型の学問であり、基礎的なトレーニングが不可欠である。法学を専門にしようとする諸君には、その修練のための動機付けを与えることができるであろう。また、他分野に進もうとする諸君には、一見すると無味乾燥な法律学に活き活きとした側面のあることが体得されるであろう。第三に、実務との架橋を果たすということである。法律学は世の中の具体的な問題を解決するための「実学」であり、その点で医学や工学と類似する。法学者や法律家が解こうとする問題は日本社会においても問題なのであり、その法的側面を知っておくことは、諸君が将来を考える上で何がしかの貢献ができるのではないかと考えている。

今学期はファッション法という分野としてまったく未成熟な領域を取り上げるが、そうであるだけに、上の３つの目標がよく達成できるのではないかと期待している。また、例年、外国からの客人が来日される際には、（ゼミのテーマとはまったく別個のものでありうる）知的財産法の最前線に関わる講演を臨時にお願いすることとしている。

評価方法　各回のクラスで共同して議論を練り上げるのに貢献した度合いを評価し、その綜合によって合否を決める。
教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51472	A	ボーカロイド音楽論	鮎川 ぱて	学生による全学自由研究ゼミナール	木 5	2	学際交流ホール	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

ボカロ P で音楽評論家の鮎川ぱてと申します。本講義は、現代日本の音楽状況の中でもっとも重要な存在感を示す「ボーカロイド（ボカロ)」を用いた音楽群の分析を通して、近年のボカロ流行現象の本質、ひいては音楽自体の本質に迫ろうというものです。

講義では、講師がこれまでも強調してきた「永きにわたった人類による”うたの私有”が終わった」ことのインパクトを考えます。それは同時に、既存の音楽論を振り返り、再検討する機会にもなるでしょう。「アンチ・セクシュアル」というキーワードが、講義のひとつの軸になっていきます。

最初に「シーンの中で人気を博したのが、ラブソング群ではなかった」という事実に注目します。かつて音楽評論家の湯川れい子さんは「人間は、思春期を迎えるとラブソングを求めるようになる生き物なんです」と語りました。果たしてそうでしょうか。ボカロシーンでは、アンチ・ラブソング、とまでは言わないまでも、恋愛などの通念を自明とはしない感性を持った曲が人気を集めました（ex.「ラブという得体の知れないもの」)。人によっては厨二病的とも言うその感性の内と外を、フランスの人文学者ミシェル・フーコーの議論を参照しながら考えていくところから講義はスタートします。

主なアプローチ手法は、記号論、ジェンダー論、精神分析ですが、駒場と言えば、リベラルアーツ。私は、一本学出身者としてこの理念に共感する者です。狭義のアカデミシャンではないゆえに可能なある種の知的蛮勇として、前記の人文科学的手法に留まらない領域横断的な分析を試みてみたいと思っています。

開講にあたって大学から頂戴した前期課程講師用マニュアルには、皆さんに次の 3 つを促すようにと謳われています。「新しい概念の理解」「自発的想起」「創造的思考」。これらの現場的実践が、私の言葉で言えば「知的蛮勇」であり、「批評」です。

ボカロは老若男女、すべての人を受け入れるシーンですが、その上で、やはり主役は、若いみなさんだと思っています。みなさんが当事者として立ち会い、そしていまだ深度のある議論が少ないボカロカルチャーこそは、そのような批評の対象とするに最適です。

初音ミクが発表されて 12 年が経ちました。新しい作家が参入しつづけるこのシーンは衰えることを知りません（本ゼミからも何人ものボカロ P が誕生しました)。出会いばかりでなく、別れもありました。本学における本講義には、必ず弔わなければいけない作家がいます。

ボカロが好きな人。音楽が好きな人。かつてボカロが好きだった人。どの立場の人も主役です。科類は問いません。「感覚を思考の俎上にあげること」を恐れないあなたの参加をお待ちしています。

＜補記＞

講師は 2017 年より東京大学先端科学技術研究センター人間支援工学分野中邑研究室に協力研究員として所属しています。同研究室は、学校教育がフィットしない非典型的な子どもたちにオルタナティブな教育を提供するプロジェクト「ROCKET」を運営しています。本講義は独立したものですが、「典型的ではないこと」をめぐる思考において同プロジェクトと共鳴しています。このような活動に関心のある学生にも集まってもらえたらと思っています。

評価方法　出席および、中間提出物と学期末レポートなどで評価する。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51336	A	建築構造デザイン入門（Introduction to Structural Design for Buildings）	糸井 達哉	工学部	木 5	2	162	1 年 理科

授業の目標概要　講義と実験演習等を通じて、建築構造デザインに関わる様々な課題を理解する。

評価方法　構造実験コンテスト（１２／２６）を含めた講義への参加状況に基づき評価

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51485	A	古典落語から知る江戸の自然・文化	石橋 整司、露木 聡	農学部	木 5	2	116	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　古典落語は江戸時代に発展した庶民の娯楽であり、その中で描かれる情景は江戸庶民の生活ぶりや江戸時代の風俗を反映している。いいかえれば、現代の東京の姿からはわからない当時の自然や文化、生活を知ることができる。本ゼミでは、古典落語の中に出てくる江戸の自然や文化に関する描写をきっかけとして当時の江戸庶民が生活していた自然環境や生活の中に息づいていた文化を知ることを目的としている。

９月 26 日開講
毎週の講義では、実際の古典落語の内容にまつわるテーマについて担当者が事前に調査を行い発表する形式で講義を進める。また、10 月から 12 月まで各月 1 回ずつ土曜日ないし日曜日に学外での集中講義を行う。
詳しい講義の進め方、内容、講義日と休講日、集中講義の内容等については第 1 回の講義の際に説明する。
※履修人数制限 １５名

評価方法　授業への取り組み姿勢ならびにレポートで評価する。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51359	A	災害復興と法・社会	米村 滋人	法学部	木 5	2	115	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　日本は世界有数の災害大国であり、地震・津波・火山噴火・台風・集中豪雨等による被害が頻繁に発生している。災害の発生後に問題となるのが、被災者・被災地域の復興である。復興支援は行政（政府や関係自治体）によっても担われるが、近年は、ボランティア活動や各種非営利活動等の民間の支援活動が重要な役割を担っている。この授業では、東日本大震災や熊本地震などの実例を素材として、災害復興の現状と課題を知り、復興に向けた活動の意義やそのあり方を考えることを目的とする。同時に、われわれ自身が有意義な復興支援に従事するためにはどうすれば良いかについても、議論を交わしたい。

評価方法　平常点とレポートによる。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time
2019/9/26　5 限／5th Period

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51473	A	障害者のリアルに迫る	野澤 和弘	学生による全学自由研究ゼミナール	木 5	2	K303	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　障害をもつ当事者や、障害問題に関わる実践家や専門家など、多彩なゲストの語りを聞き、対話を重ねる中で、障害および人間についての深い理解を目指す。

評価方法　リアクションペーパーを授業後に提出し、その内容を踏まえて成績を判断する
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51287	A	読み破る政治学 －多読・乱読・精読ゼミ－	牧原 出	先端科学技術研究センター	木 5	2	シラバス参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　今年で７年目となるこのゼミでは、多読、乱読、ときに精読を心がけ、古今東西の政治学に関する本を「読み破る」ことを目標にします。毎週１冊本を読んで短いペーパーを書いて全員が事前にそれを読んだ後ゼミが始まります。ゼミでは、いくつかのペーパーを取り上げて、全学生が意見を言う、質問をする、反論をする、といった議論を繰り返します。もちろん人の意見をじっくり聞くことも大事です。教員はできるだけ議事進行に努めますが、ここぞというときには今学生に必要と判断したコメントを出すようにします。学生同士の議論が基本です。そこから何が得られるのでしょうか。もちろん政治と政治学についてよりよい読みを目指して理解を深めることはとりあえずの課題です。しかしそれだけではありません。まずは自分の考えを構築してみましょう。その上で他の学生からの質問で驚いたり考え直したりすることで、一冊の本に対する多様な理解があることを知るでしょう。集合知としての本に対する理解というものがあることに気づいてほしいと思います。そこから初めて自分の読みが広がります。このように自分の読みを深め広げることこそが、これから勉学を深めたり、研究に踏み込んだり、自分の人生を生きぬく力を得る源泉なのです。ゼミでは、そのためにいろいろな仕掛けを用意しています。著者同席の回や、「私の勧める一冊」という回もあるでしょう。アフター・ブック・サロン、ブック・トリップ、ラボ・アドヴェンチャーもあるでしょう。すでの多くの修了生がいますが、夏休み・冬休みには OB・OG も参加する合宿を行います。合宿で何をするかは未定ですが、ここ数年、夏合宿は本の集中的な講読、冬合宿は本に関するドキュメンタリーを製作することが課題でした。

※受講人数：あらかじめ制限はしない。
※開講場所：駒場Ⅱキャンパス・先端科学技術研究センター１３号館２Ｆセミナー室（２２５号室）

評価方法　平常点による。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51474	A	平和のために東大生ができること	岡田 晃枝	教養教育高度化機構	木 5	2	KALS	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　ソ連崩壊後に誕生した国々の多くはソ連の負の遺産を抱えたままで、それぞれの国内事情や国際環境等に応じた速度と程度で民主化・資本主義化の道を、（前向きであれ後ろ向きであれ）進んでいる。民主主義への移行にしばしば伴う国内社会の混乱をいかに抑えるか。民主化を融資や援助のコンディショナリティとする欧米先進国にどう取り入るか。15 か国の道のりは一様でなく、また、平坦ではありえない。
この授業では、非民主主義国家の開発の問題を、国連の持続可能な開発目標（SDGs）に照らして考える。具体的には、旧ソ連諸国の中でもとくに強い権威主義体制の国と言われるトルクメニスタンを取り上げ、開発、民主化、安定を検討する。

＊この授業は、A2 タームの集中講義として行われる国際研修「平和のために東大生ができること：トルクメニスタン研修」の事前準備および選抜を兼ねる。トルクメニスタンへの国際研修に参加したい者は必ず初回ガイダンスに参加し、この授業に履修登録すること。

評価方法　授業の中で行われる議論へのコミットメント、毎回のレポートおよび最終レポート
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51345	A 1	スペキュラティブ・デザイン	川原 圭博	工学部	木 5, 木 6	2	K301	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

文明の発達と人類の幸福は必ずしもイコールではありません。アートとデザインと科学技術によって世界はどのように変化するのか、したいのか？何をもって幸福なのか？そもそも私たちの存在する目的は幸福になることなのか？このような根本的な問いから始まるアートからデザイン、社会実装までを網羅する授業です。

アート、デザイン、プロトタイピング制作に関する色々な知識や技術について老人問題、貧困問題、戦争問題 、ジェンダー問題、食料問題、環境問題、病気障碍問題等、社会問題にまつわるアート、デザイン作品等の講義とディスカッションを行います。

最後の講義で課題の発表を計画しています。「2030 年の革命家」として様々な国に振り分け、歴史＆未来予測リサーチをしてもらい、どのような問題をどう解決するか作品やプレゼン、パフォーマンスにして発表してもらいます。

※この講義は 9 月 24 日(火) 6 限 (18：45～) に駒場キャンパス 7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。

評価方法　出席と最終発表
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/9/25　6 限／6th Period 全　学ゼミ工学部合同説明会

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51317	A	音楽劇への学術的アプローチ	岡本 佳子	教養教育高度化機構	金 2	2	K501	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

全学自由研究ゼミナール「教養としての芸術学」は講読や創作体験を通して、芸術を座学と実践の両面から学ぶ授業です。

2019 年度 A セメスター「音楽劇への学術的アプローチ」では、音楽劇研究を通じて芸術と社会の接点を学びます。音楽劇は各地で古くから幅広い層に受容されており、娯楽としてはもちろん貴族や中産階級のステイタスシンボル、ときに支配層から市民への教育的効果、さらには民族主義の発露など様々な機能を持って創作・上演されてきた歴史があります。本授業では様々な観点からの分析と発表を通じて、これら音楽劇の機能と意義について考察します。

授業は前半と後半に分かれます。前半では講義と演習によって音楽劇作品（オペラやミュージカルなどの西洋音楽劇を中心に、音と言葉の要素を含んだ広義の芸術ジャンルを想定）をチームまたは個人で分析・発表し、音楽劇を議論する方法を学びます。後半では、音楽劇に関連する駒場キャンパスでの企画（公演、ワークショップ、展示等）をチームまたは個人で考えます。最終的には企画を絞り、年度末までに実際にその企画を実現して公開することを目指します。
授業実施にあたっては実践の場で活動するゲスト講師を招聘し、指導と助言を受ける予定です。授業時間外で見学や体験を行なうこともあります。

前提知識は不要ですが、授業外でも積極的に劇場やコンサートに足を運び、なるべく芸術に多く触れる積極性を期待します。詳細はウェブサイトを確認の上、初回ガイダンスに参加してください。

授業ウェブサイト：http://www.sr.komex.c.u-tokyo.ac.jp/index.html

※履修人数を 15 名程度に制限します
※授業の内容は進捗状況、理解度に応じて一部変更することがあります
※一部授業外の日程・場所で、見学や実践体験等を実施します
※授業外で個人またはチームでの作業が発生します

評価方法　全ての授業への参加を前提に、演習への貢献度 50 パーセント、課題提出とその内容 50 パーセントにより合否判定します。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51322	A	教育×神経科学×AI	坂口 菊恵、 開 一夫	教養教育高度化機構	金 2	2	K303	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

AI が人々の就業環境や生活のあり方を急速に様変わりさせることが予測され、また先端の神経科学は「ヒトの脳を再現する」ことを目標としている。このような状況下では、教育の目標や方法も変わらざるを得ないだろう。

「21 世紀型スキル」はこれからの教育が求める方向性を示す指針として国際団体により提唱された。日本においても教科書のデジタル化、小学校でのプログラミング教育必修化、「主体的学び」を目指した大学入試制度改革といったかたちで実装が進められようとしている。

しかしながら、社会リソースのデジタル化や STEM 教育推進の現状を見ると、日本での取り組みは他国から大きく遅れを取っていることが分かる。本ゼミナールでは国際的な動向や官民での取り組みの現状に詳しい有識者を招き、これからの教育の可能性や、新たに創出されるビジネスモデルについて議論する。

【登壇者と講演内容（順不同)】

1. 越塚登先生（情報学環）
 ユビキタス・コンピューティングが社会にもたらす変革
 東京大学における教育情報化と EdTech 研究・実装に向けた取り組み
2. 中尾彰宏先生（情報学環）
 これからのネットワーク環境と、それが生み出すオープンイノベーション
3. 滝沢頼子さん (中国 IT ジャーナリスト、UX デザイナー/コンサルタント)
 中国のデジタルイノベーション、教育へのデジタル活用
4. 田中和哉さん(株式会社ディープコア)
 IT 人材育成と情報化社会における最先端科学の動向、日本の科学技術政策や高等教育の今後
5. 中島さち子さん（株式会社 steAm 代表、ジャズピアニスト）
 芸術と数学のエキスパートとして、STEAM 教育の展望
6. 河合道雄さん（LITALICO）
 オープンコースウェア、インクルーシブ教育、プログラミング教室
7. 佐藤昌宏先生（デジハリ大学、内閣官房教育再生実行会議技術革新 WG 委員）
 日本で EdTech を推進してきた経緯と、政府の動き・産官学連携の現状
8. 土井皓介さん／中條武さん（EdTech 学生起業家）
 在学中に起業した経緯と経験
9. 金子真大さん・根本紘志さん（株式会社 BEIL）
 起業の経緯とアダプティブラーニング・教育のデジタル化について

評価方法　ディスカッション、グループワークでの調査、プレゼンテーション
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51288	A	日本の経済戦略と政策が果たす役割～政策の最前線で奮闘する現役官僚が語る～	坂田 一郎	公共政策大学院	金 4	2	522	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

私たちは、これまで他国と比較すれば「豊かで安心できる」社会に生きてきました。しかしながら、日本における超少子高齢化や財政赤字、グローバルにはエネルギーや温暖化をめぐる問題、世界の貿易に関する対立や中東などにおける民族や宗教の対立をはじめとする世界の不安定化等日本を取り巻く環境はめまぐるしく変化しています。このような環境下、これまで我々が享受してきた「豊かさ」や「安心」は、もはや自明なものではありません。他方で、AI、バイオテクノロジー、新素材、量子コンピュータなどの新技術は、私たちの社会や生活を大きく変える可能性を秘めています。「豊かさ」や「安心」を持続可能にしながら、「今までなかった価値」を生み出していくためには、社会と経済の「仕組み」を不断に見直し、世界の目まぐるしい変化の最先端に適応し続けることが求められます。

本講義では、このような激動する社会において、政策立案の最前線で日々奮闘している経済産業省、財務省及び金融庁の現役官僚をゲストスピーカーとして招きます。それぞれが担当する政策分野について、①激動する国際社会の動向、②その変化が私たちの社会・経済に与える影響やその変化の意義、③これらを踏まえた日本経済の再生に向けた戦略、④政策が果たす役割を語るとともに質問に答え、また学生の皆さんとディスカッションしていただきます。産業政策、財政政策、金融政策、通商政策、資源エネルギー政策、環境政策など、私たちの社会・経済のあり方に深く関わる政策をテーマとしてとりあげる予定です。

本講義を通じ、以下の３点を身につけていただくことができると考えています。
１）メディアでは時として報道されない、世界規模の構造変化の真の姿
２）学際的な視点から、社会・経済の諸問題を分析すること
３）日本経済の再生戦略と、それを実現するために政策が果たす役割

文系・理系を問わず、次代の日本を担う学生の皆さんの幅広い参加を期待しています。

評価方法

出席点及びレポートにより評価。レポートは、各回の終わりにゲストスピーカーが出題する課題について、２テーマを選択し、それぞれ数枚（Ａ４・２－３ページ）にまとめたものを、所定の時期（各回の講義の中でお知らせします。）までに提出して下さい。

教科書

教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス

第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60212	A 2	エネルギー基礎論	堤 敦司	教養教育高度化機構	金 4, 金 5	2	K113	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

化石エネルギーの大量消費により地球温暖化が進行しており、CO2 排出量を削減し地球温暖化を防止することは最重要課題となっており、CO2 排出量を 1/10 まで提言する必要があると言われている。温暖化対策として考えられているのが以下の 3 つである。

1．太陽光、風力、バイオマスなどの再生可能エネルギーの導入促進
2．省エネルギー
3．CCS(Carbon Capture and Storage)または CCUS

まず、CCS であるが、石油や LNG を液体で輸入して、燃焼させ、質量が 3 ～ 5 倍に増え、窒素で 5 倍に希釈された排ガスから C02 を分離し、それを液化させて地中に埋め戻すということが、本当に正しいことであろうか？
次に、省エネルギーだが、産業分野では絞りきった雑巾に例えられるように、省エネルギーの余地は少ないと言われている。また白熱球を LED に変えるなど高効率機器の導入や節電・省エネなどにより電力消費は低減できる。しかし、実際は、世界の電力消費は伸び続けている。

再生可能エネルギーは、多くの人が期待しているが、人類が消費しているエネルギーは莫大であり、バイオマスのポテンシャルは半分にも満たない。太陽光のポテンシャルは 4 桁ほど大きい。しかし、地球に降り注ぐ太陽エネルギーは、大気や水の地球規模での循環の推進力であり、大規模な太陽光発電が導入に伴い、間違いなく局所的な気候変動をもたらす。まして森林を伐採して太陽光パネルを設置することがどれだけの環境破壊を引き起こすか十分に検証する必要がある。結論として、従来の温暖化対策では不十分である。エネルギー消費量そのものを 1/10 にする以外、温暖化問題を解決することができないと考えられる。

エネルギーは熱力学第一法則で保存されていることはよく理解されている。すなわち、エネルギーは「消費」できないもの、使っても使っても決して減らないもののはずである。しかし、実際は、人類は膨大な化石エネルギーを「消費」しており、地球環境問題などを引き起こしている。この矛盾は、どう理解すれば良いのか？この講義では、まずこの疑問に答えるべく、エクセルギー、アネルギー、エクセルギー再生、といったエネルギー科学技術の基本理論を学び、現代のエネルギー生産・利用における科学技術を体系的に学習し、その問題点を明らかにしていく。そして、エネルギー消費量を 1/10 にする技術体系の可能性について考察し、持続可能な社会を構築する具体的なエネルギー技術戦略について議論する。

評価方法　出席とレポート
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time
2019/11/29

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51294	A	Molecular Biology of the Cell 輪読ゼミ	尾藤 晴彦	医学部	金 5	2	118	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

主に駒場の 2 年生を対象とし（1 年生も参加可能）、Molecular Biology of the Cell を英語で読むことで、生命科学を英語で学ぶ習慣を身につけ、さらにその基礎となっている原著論文を読む事が出来るようになる事を目標とする。

※ガイダンス場所：医学部・教育研究棟二階 N203、および教養学部 (教室は後ほど発表) 初回 9 月 27 日（金）5 限
※開講場所：医学部・教育研究棟二階 N203、本郷に来られない学生のために教養学部にて遠隔講義を行うことも検討する（教室はのちほど発表）。

評価方法　出席と上記のプレゼンテーションに基づいて評価を行う。
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　Molecular Biology of the Cell 6th edition
著者（訳者）　Bruce Alberts, Alexander Johnson, Julian Lewis, David Morgan, Martin Raff, Keith Roberts, and Peter Walter
出版社　Garland Science
ISBN　978-0815344322
ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/9/27　5 限／5th Period　医学部・教育研究棟二階 N203、本郷に来られない学生のために教養学部にて遠隔講義を行うことも検討

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51358	A	世界の人権侵害を考える	大串 和雄	法学部	金 5	2	119	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　世界では国家による反対派の投獄、拷問、殺害などの人権侵害が後を絶たないが、日本ではよほどひどい殺りくでもない限り、めったに報道されることがない。その結果、多くの日本の学生は、世界の人権侵害の実態を知らない。この授業では、世界の人権侵害について学生各自が調べることによってその実態を知り、人権の問題を考えることを目的としている。

評価方法　履修者の調査発表、授業の議論への参加、文献に対するコメントを総合的に評価する。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　癒されぬ傷跡 拷問はいま……
著者(訳者)　アムネスティ・インターナショナル
出版社　現代人文社発行、大学図書発売
ISBN　4877980318

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time
2019/9/27　5 限／5th Period

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51475	A	法と社会と人権 －社会の実態を知り，人権を学び考える－	中川 素充	学生による全学自由研究ゼミナール	金 5	2	164	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　当ゼミは，１９９２年度から川人博弁護士が中心になり担当してきた。今学期も川人弁護士の協力を得て，当ゼミの出身者である中川素充弁護士が担当する。笠置裕亮弁護士（当ゼミＯＢ）も協力する。
　Ａセメスターのテーマとしては，メディア，環境，司法，国際などを予定している。
文Ｉは勿論，文Ⅱ・文Ⅲ・理Ｉ・理Ⅱ・理Ⅲの学生も歓迎する（例年，文Ｉ以外の学生も多く参加している)。
人権問題を考えるにあたって大切なことは，社会の実態をよく知ることである。このゼミでは，普段の授業時間での講義以外にフィールドワークを実施している。事件現場，ＮＧＯ，法律事務所，官公庁，企業，労働組合，裁判所，少年院，刑務所，テレビ局，新聞社，病院などに出向き，様々な当事者，専門家，弁護士，医師，公務員などから話を聞く。様々な職に就いている当ゼミ卒業生との交流も随時行う。
　これらのフィールドワーク（主として平日午後６時４０分以降，土日祝日に実施）は，今学期を通じて１５回以上実施予定であるが，いずれかを選択して，計１回以上参加すること。
金曜５限の授業では，１０月～１１月は講義形式を中心にし，１２月～１月はテーマ班ごとに，授業やフィールドワークで学んだことをまとめて，論考を作成してもらうとともに，口頭で学生発表を実施する。

※ ガイダンスは９月２７日５限（第１回授業時）におこなう。

評価方法　日常のゼミ活動，学生発表及び学期末レポートにもとづく合否判定
　講義及びフィールドワークで学んだことを基礎にして，上記発表を行い，かつ学期末レポートを作成すること

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　『テキストブック現代の人権第４版』
著者（訳者）　川人 博 編著
出版社　日本評論社
ISBN　978-4-535-51725-7

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time
2019/9/27　5 限／5th Period　授業を行う教室にて

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60244	A 2	太陽光発電とエネルギーシステム：原理の理解から実習まで	杉山 正和	工学部	集中	1	シラバス参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

地球温暖化問題に対する切り札として近年ますます注目されている太陽光発電について，太陽電池の構造・機能を物理に基いて理解し，現在までに提案されている様々な太陽電池の利点・欠点を概観することにより，超高効率・低コストな次世代太陽電池・太陽光発電システムを開発するための基礎を学ぶ.

太陽電池の研究開発を行っている教員により基礎から最先端のトピックまでの集中講義のほか，受講者が自ら量子ドット太陽電池を作成・評価する実習を行い，体験に基づいた深い理解を得ることを目指す．また，実際に最先端太陽電池の研究開発を進めている駒場 II キャンパスの先端研でゼミを行うため，講義と並行して研究設備を見学し，研究者との交流することも可能である.

※この講義は 9 月 24 日(火) 6 限 (18：45～) に駒場キャンパス 7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。

評価方法　講義と実習への出席により単位を与える.

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/10/3　6 限／6th Period

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51373	A	2019 年度Aセメスター 最先端のサイエンスを駒場で研究体験するプログラム	内田 さやか	教養学部	集中	2	シラバス参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

本ゼミは、駒場キャンパスの後期課程「教養学部 統合自然科学科」に所属する研究室に直接来て、最先端のサイエンスを体験してもらうプログラムである。これまで、講義科目や分野ごとに学習した自然科学が、先端のサイエンスへどのように深化、融合、創成されるのかを、研究室での実習を通じて実感できる。つまり、最先端のサイエンスと基礎科目や総合科目との”架け橋”が本ゼミの特徴といえる。受講者は、配属先の研究室で、実験、データ解析、討論、文献調査、などを体験することで、研究活動の実践的な方法論を学ぶことができる。

１つの研究室が数名の学生を受け入れる。ゼミの進め方は、受け入れ教員との相談の上決定するが、研究室によって、曜日時限を指定する場合と、指定せずに集中で行う場合がある。成果報告会 兼 懇談会を学期末試験終了後に開催し、教員、大学院生を交え、発表と討論を行う予定である。

本ゼミのガイダンスは、9 月 26 日（木）昼休み（12：15～12：30）に 1 号館 120 教室にて行う。その際に、各ゼミの内容や進め方について、資料を配布する。ガイダンス後に学生の希望を集計し、配属先を決定する。（ガイダンスに出席できない場合でも、下記の HP からガイダンス資料を参照し、資料に記載された手続きに則れば、本ゼミは受講可能である）

※本ゼミに関する最新情報とガイダンス資料は、
世話人（内田さやか）の HP：http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/suchida/ に掲載する

評価方法　ゼミへの取り組みによる

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/9/26　12:15-12:30 に 1 号館 120 教室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51363	A	ジビエを通して獣害問題と向き合うＡ１ 充実の学園祭。ジビエ販売を通して問題の本質を伝える企画系ゼミ	鴨田 重裕	農学部	集中	1	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

【注意】web 版シラバスにより詳細な情報があります。受講希望者はそちらを熟読ください。
【注意】このゼミはゼミの仲間と一緒に学園祭に参加します。ですので学園祭において別の企画で中心的な役割を果たす人には向かないゼミとなります。

南伊豆も獣害と向き合う地域の一つで、農林業は獣の影響が深刻です。本ゼミを通して獣害問題を自分事として考えられるようにしたい。
「伊豆に学ぶ」シリーズでは、現代人を取り巻く様々な関係が希薄であること、それがために諸処に自分と様々な対象物や対象事象との繋がりに実感が伴わないこと、皆が当事者意識を持てないことが問題をさらに深刻化させていることなどを重要な気付きとして位置付けています。
伊豆ゼミを受講した学生であっても、ゼミ中に得たその「感覚」はそのまま放置すると、あっという間に風化してしまいます。それは実にもったいないことです。
本自由研究ゼミナールは、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」とは少し違う角度から本件について考察を深めていきたいと考えています。違う角度とは何か？このゼミナールでは自律的に企画することにより、「伊豆に学ぶ」とは違った視点得て、発信することを通して深く考える力や行動する力を涵養してもらいたい。
感じる力、考える力、行動する力。東大生に足りないものは何であろう。
一度立ち止まって、ゆっくりじっくり自分流に自分の人生を振り返ってみて欲しい。多くの東大生が回り道をしたがらず、効率重視で最短を突き進むべきと考えがちであるように見受けられますが、果たしてそれで良いのでしょうか。ともすれば価値観まで人任せにしてしまっていたりしないでしょうか。皆が価値あると言うものにしか価値を見出せなかったり、自分にとってどういう価値があるのかを考えもしなかったり、そんなことはありませんか？
このゼミでは五月祭・駒場祭に「ジビエを通して獣害問題と向き合う」企画を打ち出します。このゼミはまず動くことから始めるゼミです。企画のデザインをどうしようというところから手作りする、そんな実験的なゼミです。私はこの手の実験が成立するところを何度も見て来ました。今回、どんな面白い展開になるかは、君たち次第ということになります
。
※受講人数：特に設定しない
※講義の目標：自主・自律に動けるようになること。様々な問題を他人ごとにしない気分を身に付けること。学園祭企画を立ち上げること。
※開講場所：駒場（必要に応じて樹芸研究所を訪ねる）
※駒場での講義：月曜６限。企画進捗に合わせて 3，4 回。それに加えゼミ既修者との交流。
※駒場祭：先学期のゼミ生が実施する模擬店（伊豆の獣害問題の提示とイノシシソーセージを販売する）経営に合流する。
※五月祭：新たな企画を立ち上げ、五月祭にて伊豆の獣害問題の提示やイノシシソーセージを販売する企画を実施する。

評価方法　授業中の取り組み姿勢、企画立案および企画実行の取り組み姿勢、責任ある行動を重視する。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/9/30　2 限／2nd Period1 号館 159 教室（10/7, 10/28, 11/11 にも実施します）

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60217	A 2	ジビエを通して獣害問題と向き合うA2 充実の学園祭。ジビエ販売を通して問題の本質を伝える企画系ゼミ	鴨田 重裕	農学部	集中	1	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

【注意】web 版シラバスにより詳細な情報があります。受講希望者はそちらを熟読ください。
【注意】このゼミはゼミの仲間と一緒に学園祭に参加します。ですので学園祭において別の企画で中心的な役割を果たす人には向かないゼミとなります。

南伊豆も獣害と向き合う地域の一つで、農林業は獣の影響が深刻です。本ゼミを通して獣害問題を自分事として考えられるようにしたい。
「伊豆に学ぶ」シリーズでは、現代人を取り巻く様々な関係が希薄であること、それがために諸処に自分と様々な対象物や対象事象との繋がりに実感が伴わないこと、皆が当事者意識を持てないことが問題をさらに深刻化させていることなどを重要な気付きとして位置付けています。
伊豆ゼミを受講した学生であっても、ゼミ中に得たその「感覚」はそのまま放置すると、あっという間に風化してしまいます。それは実にもったいないことです。
本自由研究ゼミナールは、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」とは少し違う角度から本件について考察を深めていきたいと考えています。違う角度とは何か？このゼミナールでは自律的に企画することにより、「伊豆に学ぶ」とは違った視点得て、発信することを通して深く考える力や行動する力を涵養してもらいたい。
感じる力、考える力、行動する力。東大生に足りないものは何であろう。
一度立ち止まって、ゆっくりじっくり自分流に自分の人生を振り返ってみて欲しい。多くの東大生が回り道をしたがらず、効率重視で最短を突き進むべきと考えがちであるように見受けられますが、果たしてそれで良いのでしょうか。ともすれば価値観まで人任せにしてしまっていたりしないでしょうか。皆が価値あると言うものにしか価値を見出せなかったり、自分にとってどういう価値があるのかを考えもしなかったり、そんなことはありませんか？
このゼミでは五月祭・駒場祭に「ジビエを通して獣害問題と向き合う」企画を打ち出します。このゼミはまず動くことから始めるゼミです。企画のデザインをどうしようというところから手作りする、そんな実験的なゼミです。私はこの手の実験が成立するところを何度も見て来ました。今回、どんな面白い展開になるかは、君たち次第ということになります。
※受講人数：特に設定しない
※講義の目標：自主・自律に動けるようになること。様々な問題を他人ごとにしない気分を身に付けること。学園祭企画を立ち上げること。
※開講場所：駒場（必要に応じて樹芸研究所を訪ねる）
※駒場での講義：月曜 6 限。企画進捗に合わせて 3，4 回。それに加えゼミ既修者との交流。
※駒場祭：先学期のゼミ生が実施する模擬店（伊豆の獣害問題の提示とイノシシソーセージを販売する）経営に合流する。
※五月祭：新たな企画を立ち上げ、五月祭にて伊豆の獣害問題の提示やイノシシソーセージを販売する企画を実施する。

評価方法　授業中の取り組み姿勢、企画立案および企画実行の取り組み姿勢、責任ある行動を重視する。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/11/18　2 限／2nd Period1 号館 159 教室（11/25, 12/2, 12/16, 1/6 にも実施します）

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51342	A	スタートアップ・チャレンジ	長藤 圭介	工学部	集中	1	シラバス参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

「新しくて面白いものを生み出す力」が重要視される時代になった。

本ゼミではベンチャー企業や大企業が新規事業を考える際に用いる「リーン・スタートアップ」や「顧客開発モデル」の手法を、ワークショップを通じて実践的に学んでいく。具体的には、アイデアを出し、磨き、発表し、投票する事で、ビジネスモデルの仮説検証方法を一通り体験する。

文系理系問わず、何か作ってみたい・やってみたいがアイデアがない・何から始めたらいいかよくわからない人を歓迎する。

本郷で開講中のソニー・東大の社会連携講座 Ignite Your Ambition の導入編としての位置づけとなる。

上記講座は 4 月からソニーの新規事業担当者らも交えてワークショップ・トレーニング・オーディションを始めるので、本ゼミで生まれたアイデアやチームで講座にエントリーし、その先の社会実装や発売に向けてチャレンジしていって欲しい。

※この講義は 9 月 24 日(火) 6 限 (18：45～) に駒場キャンパス 7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。

評価方法　出席状況、発表内容などを加味して行う。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51364	A	ビーントゥバーチョコレート作り体験から学ぶべきことA1 学園祭でビーントゥバーチョコレート作り体験から学ぶべきことをどう伝える？企画系ゼミ	鴨田 重裕	農学部	集中	1	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

【注意】web 版シラバスにより詳細な情報があります。受講希望者はそちらを熟読ください。

南伊豆の樹芸研究所では温泉熱を利用した温室で熱帯産有用植物を育てている。その温室で収穫したカカオを使ってチョコレートを作り市販したのが 4 年前のことです。日本国産カカオによるチョコレートを市販した第一号案件となります。

「伊豆に学ぶ」シリーズでは、現代人を取り巻く様々な関係が希薄であること、それがために諸処に自分と様々な対象物や対象事象との繋がりに実感が伴わないこと、皆が当事者意識を持てないことが問題をさらに深刻化させていることなどを重要な気付きとして位置付けています。

伊豆ゼミを受講した学生であっても、ゼミ中に得たその「感覚」はそのまま放置すると、あっという間に風化してしまいます。それは実にもったいないことです。

本自由研究ゼミナールは、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」とは少し違う角度から本件について考察を深めていきたいと考えています。違う角度とは何か？このゼミナールでは自律的に企画することにより、「伊豆に学ぶ」とは違った視点得て、発信することを通して深く考える力や行動する力を涵養してもらいたい。

感じる力、考える力、行動する力。東大生に足りないものは何であろう。

一度立ち止まって、ゆっくりじっくり自分流に自分の人生を振り返ってみて欲しい。多くの東大生が回り道をしたがらず、効率重視で最短を突き進むべきと考えがちであるように見受けられますが、果たしてそれで良いのでしょうか。ともすれば価値観まで人任せにしてしまっていたりしないでしょうか。皆が価値あると言うものにしか価値を見出せなかったり、自分にとってどういう価値があるのかを考えもしなかったり、そんなことはありませんか？

こ　のゼミでは五月祭に（間に合えば駒場祭にも）「ビーントゥバーチョコレート作り体験」を来訪者にしてもらう企画を打ち出します。このゼミはまず動くことから始めるゼミです。企画のデザインをどうしようというところから手作りする、そんな実験的なゼミです。私はこの手の実験が成立するところを何度も見て来ました。今回、どんな面白い展開になるかは、君たち次第ということになります。

※受講人数：特に設定しない
※講義の目標：自主・自律に動けるようになること。様々な問題を他人ごとにしない気分を身に付けること。学園祭企画を立ち上げること。
※開講場所：駒場。ゼミ後に弥生キャンパス（五月祭）
※駒場での講義：火曜 2 限。企画進捗に合わせて 3，4 回とゼミ既修者との交流。
※駒場祭：先学期のゼミ生が実施するビーントゥバーチョコレート作り体験企画に合流します。
※五月祭：新たにビーントゥバーチョコレート作り体験ができる企画を立ち上げます。（A 2 ゼミ）

評価方法　授業中の取り組み姿勢、企画立案および企画実行の取り組み姿勢、責任ある行動を重視する。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/9/30　6 限／6th Period　1 号館 158 教室（10/21, 11/7, 11/11 にも実施します）

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60218	Ａ２	ビーントゥバーチョコレート作り体験から学ぶべきことＡ２学園祭でビーントゥバーチョコレート作り体験から学ぶべきことをどう伝える？企画系ゼミ	鴨田 重裕	農学部	集中	1	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

【注意】web 版シラバスにより詳細な情報があります。受講希望者はそちらを熟読ください。

南伊豆の樹芸研究所では温泉熱を利用した温室で熱帯産有用植物を育てている。その温室で収穫したカカオを使ってチョコレートを作り市販したのが 4 年前のことです。日本国産カカオによるチョコレートを市販した第一号案件となります。

「伊豆に学ぶ」シリーズでは、現代人を取り巻く様々な関係が希薄であること、それがために諸処に自分と様々な対象物や対象事象との繋がりに実感が伴わないこと、皆が当事者意識を持てないことが問題をさらに深刻化させていることなどを重要な気付きとして位置付けています。

伊豆ゼミを受講した学生であっても、ゼミ中に得たその「感覚」はそのまま放置すると、あっという間に風化してしまいます。それは実にもったいないことです。

本自由研究ゼミナールは、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」とは少し違う角度から本件について考察を深めていきたいと考えています。違う角度とは何か？このゼミナールでは自律的に企画することにより、「伊豆に学ぶ」とは違った視点得て、発信することを通して深く考える力や行動する力を涵養してもらいたい。

感じる力、考える力、行動する力。東大生に足りないものは何であろう。

一度立ち止まって、ゆっくりじっくり自分流に自分の人生を振り返ってみて欲しい。多くの東大生が回り道をしたがらず、効率重視で最短を突き進むべきと考えがちであるように見受けられますが、果たしてそれで良いのでしょうか。ともすれば価値観まで人任せにしてしまっていたりしないでしょうか。皆が価値あると言うものにしか価値を見出せなかったり、自分にとってどういう価値があるのかを考えもしなかったり、そんなことはありませんか？

このゼミでは五月祭に（間に合えば駒場祭にも）「ビーントゥバーチョコレート作り体験」を来訪者にしてもらう企画を打ち出します。このゼミはまず動くことから始めるゼミです。企画のデザインをどうしようというところから手作りする、そんな実験的なゼミです。私はこの手の実験が成立するところを何度も見て来ました。今回、どんな面白い展開になるかは、君たち次第ということになります。

※受講人数：特に設定しない
※講義の目標：自主・自律に動けるようになること。様々な問題を他人ごとにしない気分を身に付けること。学園祭企画を立ち上げること。
※開講場所：駒場。ゼミ後に弥生キャンパス（五月祭）
※駒場での講義：火曜２限。企画進捗に合わせて 3，4 回とゼミ既修者との交流。
※駒場祭：先学期のゼミ生が実施するビーントゥバーチョコレート作り体験企画に合流します。
※五月祭：新たにビーントゥバーチョコレート作り体験ができる企画を立ち上げます。（Ａ２ゼミ）

評価方法　授業中の取り組み姿勢、企画立案および企画実行の取り組み姿勢、責任ある行動を重視する。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/11/18　6 限／6th Period　1 号館 158 教室（11/25, 12/9, 12/23, 1/6 にも実施します）

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51316	A	ブランドデザインスタジオ２１「『SDGs』を実現するブランドを創る」	真船 文隆、宮澤 正憲、岡本 佳子	教養教育高度化機構	集中	2	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

【注意】この授業に参加するには、履修登録とは別に「説明会への出席」と「エントリーシートの提出」が必要です。授業登録だけでは参加できません。

●プログラムについて

『正解のない問いに、共に挑む』特別教育プログラムです。参加者の皆さんが今後、広く社会一般で活用し得る「共創」の手法を「21 KOMCEE （理想の教育棟)」を舞台に、東京大学×博報堂ブランドデザインのコラボレーションにより学んでもらいます。全回、ワークショップ形式で行われ、現役の広告会社社員、ブランド･コンサルタントがプログラム･デザインおよびファシリテーションを担当します。

本プログラムでは参加者の多様性を重視する目的により、参加学生と一定数の社会人参加者が一緒になってプロジェクトチームを結成し、チームでのアイデア創出を行ってもらうことを予定しています。

【URL】http://www.bdstudio.komex.c.u-tokyo.ac.jp/

●この授業について

今回のブランドデザインスタジオでは、『「SDGs: Sustainable Development Goals」を実現するブランドを創る』をテーマに設定します。

持続可能な開発目標（SDGs）とは，2001 年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として，2015 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」にて記載された 2016 年から 2030 年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための 17 のゴール・169 のターゲットから構成され，地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。(以上、外務省ホームページより引用。) 国際連合広報センターによれば、SDGs とは「すべての人々にとってよりよい、より持続可能な未来を築くための青写真」です。「貧困や不平等、気候変動、環境劣化、繁栄、平和と公正など、私たちが直面するグローバルな諸課題の解決」を目指すもので、また「SDGs の目標は相互に関連して」いるといいます。

SDGs の達成について大きな力のひとつになると目されているのが、ビジネスや商業活動を SDGs 達成に資する方向へとデザインしていくことです。既に世の中では、SDGs を達成することを起点に構想された商品・サービスがいろいろと立ち上がっています。グローバル企業の中にも、SDGs を軸に自らのビジネスをリデザインする企業が現れ始めています。今回のブランドデザインスタジオは、この「SDGs」に関する新しいブランドを創り出すことをゴールに置きます。 参加いただく皆さんには、まず多様なリサーチや議論を通じて「SDGs」というテーマを多面的に捉え直し、また生活者が SDGs が規定するさまざまなテーマに対してどのような考えを気持ちを抱いているのか、どのように行動し生活の中で付き合っているのかを探索していただきます。その後、集めた情報を分析・統合し、テクノロジーの進化や社会の変化などの未来を見据えたうえで、「SDGs」を実現する新しい「ブランド」を創出していただきます。「ブランド」は、新たな商品やサービスなど自由に発想していただきます。「ブランド」の力で、SDGs 達成に向けた生活者や世の中の動きを生み出していく。そんな新しい提案を世に問うていただきたいと思います。

本授業における最終成果物として、授業終了後に一般公開する形でプレゼンテーションをしていただく予定です。

評価方法

全ての授業への参加を前提に、個人ワークの提出内容、グループワークへの貢献、最終プレゼンテーション内容により評価します。

教科書

教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス

特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

2019/9/26　21KOMCEE K502 教室（17:30～20:30）

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51341	A	ロボティック医療システム	光石 衛	工学部	集中	1	シラバス参照	1年 理科 2年 理科

授業の目標概要

【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意してください。

手術ロボットによって，（1）臓器や骨格の裏側や内部などの医師が通常では見ることができない部位を見ることができるようになる．また，（2）医師が通常手では困難な狭い領域や臓器の裏側の手術，微細な手術，高精度な手術が可能となる．さらに，（3）遠隔地での診断や手術も可能となる．

本ゼミナールでは，当該研究室で開発されている世界最先端の深部脳神経外科超微細手術支援システム，眼科手術支援システム，最小侵襲人工膝関節置換術支援システム，遠隔低侵襲手術支援システム，集束超音波を用いた非侵襲結石破壊システムなどを実際に操作する．次に，ものづくり技術・知識，コンピュータ・ネットワークなどの情報学の知識，医学的知識を駆使して実現する手術ロボットはどのようにして構築されるのか，その入門を学ぶ.

第１回（駒場）：ガイダンスと概略説明
第２回（本郷：土曜，あるいは，日曜）：手術ロボットの実体験（その１）
第３回（本郷：土曜，あるいは，日曜）：手術ロボットの実体験（その２），手術ロボットをどのようにして構築するかの基礎の解説

※受講人数：20 名に制限する。
※この講義は 9 月 24 日(火) 6 限 (18：45～) に駒場キャンパス 7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。

評価方法　出席（２／３）と最終レポート１回（１／３）にて採点
教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/9/26　6 限／6th Period　1 号館 102 教室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60216	A 2	ワンパクなタンパク質を科学する：実習編	高橋 伸一郎	農学部	集中	1	シラバス参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

私たちの初年次ゼミナール理科「私たちの身近にあるワンパクなタンパク質を科学する」では、身近にある興味あるタンパク質を選び、性質を調べると同時に、その重要性を体験し、この経験をもとに、一般の人達にそのタンパク質の重要性を納得してもらうツールを作ってきました。本講義は、その続編として、タンパク質やこれをコードする遺伝子を実際に扱ってみて、タンパク質とは何かを実体験することを目標としています。もちろん、私たちの担当した初年次ゼミナール理科の講義を履修していない学生さんの参加も歓迎します。

※このゼミは 9 月 26 日（木曜日）18 時 40 分～19 時 45 分に行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。

評価方法　出席と実習での活動で評価します。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/9/26　6 限／6th Period

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51307	A	学部学生のための研究入門コース-UROP2 (Undergraduate Research Opportunity Program 2)	川越 至桜	生産技術研究所	集中	2	シラバス参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意してください。

駒場リサーチキャンパスにある生産技術研究所（生研）では、ＩＴ、ナノテクノロー、バイオや環境の分野を始めとした、工学全般における様々な最先端の研究を行っている。このような先端研究について、従来の受動的な授業とは異なり、自分自身の手を動かしながら研究を進め、実験や実習を通して実践的に学んでいくのが、本ゼミナールの特徴である。

研究テーマに関しては、生研で行われている数々の研究から興味のあるテーマを選択する。授業の形態としては、選択したテーマを研究している研究室の一員として、設定した目的や計画のもと研究を進め、最後に研究成果の発表を行う。具体的な方法、内容や日時などの研究の進め方については、研究室の教員と相談しながら決めること。

このような実際の研究プロセスを体験することにより、研究のノウハウを学んでいく入門コースである。

授業内容や研究テーマの詳細については、ホームページ (http://www.oshimalab.iis.u-tokyo.ac.jp/UROP/) を参照のこと。

※履修人数を 20 名に制限する。
※開講場所：生産技術研究所
※ガイダンスは、9 月 24 日（火）および 9 月 26 日（木）の 2 日間、12 時 20 分より
教養学部 1 号館 104 教室にて行う。2 回とも同一内容で実施。

評価方法　日頃の研究への取り組み、報告書、および研究発表により、成績を評価する。
教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/9/24　9 月 24 日および 9 月 26 日の 2 日間、12 時 20 分より 教養学部 1 号館 104 教室 で行う。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51331	A	基礎植物学輪講 IV	寺島 一郎	理学部	集中	2	シラバス参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　生物学の講義では現在の知見を解説することが多いが、受講する学生が最前線に立つころにはその知識は時代遅れになる。現時点の知見を「暗記」するよりも「歴史的背景をふまえて基礎を理解」する方がはるかに大切である。このゼミナールでは、歴史的背景をふまえて基礎を理解するという姿勢で、基本的な教科書を使った輪講を行う。テーマは「葉と光合成との関係」とする。

評価方法　受講生各人について、このゼミナールによって植物学の基礎の理解がどれだけ深まったのかを評価する。物理・化学を受験科目とし、生物学の知識の乏しい受講生も歓迎する。ゼミナール開始時点での知識のレベルは問わない。
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　The Leaf: A platform for performing photosynthesis
著者（訳者）　William W. Adams III and Ichiro Terashima (editors)
出版社　Springer
ISBN　1572-0233
その他　プリントして配布する
ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/9/28　13 時から本郷キャンパス理学部 2 号館 026 号室で行う

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51285	A	機械学習を通して見る自然科学の新たな一面	福島 孝治	総合文化研究科	集中	2	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

自然科学（理科）の分野と聞いてまず思い浮かべるのは，科目名として慣れ親しんできた物理・化学・生物・地学だろう．一方で，境界・融合・学際を標榜する領域も俄かに林立するようになった．こうした状況に向き合うと，中には学問の細分化が助長されると憂える人が（特に駒場には）いるかもしれない．しかし，翻って考えると，対象により類別していたこれまでとは別の切り口で自然科学を眺めてみることが実は有効ではないかとも思えてくる．自然科学の新しい一面をとらえる好機である．

自然科学をとりまく状況とは独立に，情報科学や人工知能の界隈で（統計的）機械学習という言葉を聞いたことがあるかもしれない．機械学習とは，平たく言えば計算機（コンピュータ）でデータを情報に結び付けること，もしくはそのような情報処理を可能にすることである．自然科学は実験データから自然現象に関する知識を抽出し理論を構築するという情報処理を必要とするので，機械学習を使ってみたくなるのは道理である．計算機は私たち人間とは違って，「○○しか興味がない」とか「××は絶対に嫌だ」という選り好みはしないはずであり，強力なパートナーになり得る．一方で「無理なものは無理」と容赦なく言い放ってくる．たとえば，データは私たちが取ってこないといけないし，私たちが築いてきた理論は教えてあげないといけない．そもそも私たちが何をしたいのかという目的を共有しないといけない．

本講義では計算機と共同研究する心構えを一緒に学んでいきたい．本講義では，受講者に３（＋１）個のテーマから１個選んでもらい，それぞれのテーマについてグループワークを実施する中で，機械学習と自然科学との関係について議論する．

テーマ１　データ取得から始める体感時間の機械学習
テーマ２　データ解釈を深める水分子構造の機械学習
テーマ３　データ予測に繋げる天文・宇宙の機械学習
テーマ４　熱意ある学生からの積極的なテーマ提案を求む！

テーマ４を希望する場合はガイダンスの際に提案すること．講義日までに担当教員と議論・調整を行い実現可能と判断された場合は採用する

本ゼミのガイダンスは９月２７日(金）お昼休みに行なう．場所はガイダンスの項目を参照のこと．

評価方法　授業への参加，最終プレゼンテーションとその質疑応答を踏まえて総合的に判断

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/9/27　昼休み 1号館 113 教室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51477	A	駒場すずかんゼミナール『学藝饗宴』	鈴木 寛	公共政策大学院	集中	2	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

本ゼミナールは、元文部科学副大臣・公共政策大学院教授の鈴木寛（すずかん）主催のもと、『学藝饗宴』と題して学術と藝術を横断する教養教育を行うことを目指したゼ゛ミで゛ある。

「すずかんゼミ」として過去長くさまざまな主題で駒場にて開講されてきた歴史を持ち、2017 年度より新しく本題にて開講されているこのゼミの主な授業内容は、ゼ゛ミ生同士の議論および各界の第一線で゛活躍するゲ゛ストを講師に招き行うセッションである。2019 年度 S セメスターで゛は、「ノスタルジア」および「ディスコミュニケーション」 をテーマとして、過去あるいは他者との断絶を見つめ、そこに立ち現れるなにものかをめぐって縦横無尽に議論することを試みた。

今年度 A セメスターのテーマは「触れられない」と「黎明」である。美・真理・他者など遥かなるものへ近づけば近づくほど触れられないことが露わになるという逆説と、揺籃の中で過去が未来へ漸近し徐々にそして不可逆に時が新たな顔を覗かせる神秘的な過程の両概念を主軸に、今秋の知の冒険は展開される。

本ゼミナールは、特定の問題についての答えを与えるゼミではない。むしろ、自らの関心のある領域をそれぞれが見出し、頭から離れなくなるような問いを得ることを目的とする。問いに際して、論理や経験から答えを導こうとするだけではなく、個々人が自らの真善美を追求し、感性を磨きあげることに重きをおく。分からないものの分からなさに好奇心を抱き、それを自らの血肉としてゆっくりと結実させようと試みるような学生に参加してほしい。なお、 本講座では多角的視野から議論を深めるため、文理を問わず多様なバックグラウンドを持った学生の受講を大いに歓迎する。

※本講義は集中講義のゼミであるが、履修者・先輩・オムニバス講師等が主体的に開催する毎週のサブゼミは基本的に火曜日の 19 時～21 時に行われる。集中講義ゼミも、基本的に同時間帯である。

また、集中講義の一環として、学期末（試験期間後）に合宿を予定している。

※選考をガイダンス時に行い、受講者を若干名に限定する。

※講義内容、予定課題図書、過去の選考課題、その他の詳細は
Facebook ページ（https://www.facebook.com/MinervaKomaba/）を参照すること。

評価方法　集中講義ならびにサブゼミへの積極的な参加と貢献をもって評価の対象とする。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/9/24　6 限／6th Period1 号館 1 階 109 教室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51319	A	駒場の水を科学する ーADVES ラボで研究体験ー	佐藤 守俊、 堀 まゆみ、 中村 優希	教養教育 高度化機構	集中	2	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

本ゼミは、駒場キャンパス内の各建物の水道水やペットボトル水など普段身近に接している「水」について調査し多角的に考察を行う、全学体験ゼミナール「身近な環境化学実習－駒場の水を水質調査から科学する－」の発展的なプログラムである。集中講義期間中に網羅できなかった実験や自身がデザインした実験を遂行し、文献調査など行い考察を深めるとともに、研究活動を体験するものである。希望者は国内外での学会発表や論文投稿を目指す。専門知識や事前学習を必要とせず、文理問わず履修可能である。与えられた題材をもとに、個々の興味に合わせ自身で実験を計画・遂行するため、自発的な学生を歓迎する。

本ゼミの履修者は、2020 年 2 月 3 日(月)から 2 月 6 日(木)までの 4 日間の集中講義に出席することが必須条件である。集中講義終了後は、各自が考えた実験を遂行、完了させる。進め方は、担当教員と相談の上、決定する。

ガイダンスは、10 月 1 日(火)12:20 から 1 号館 121 教室にて行う。その際に、内容や進め方について説明する。ガイダンスに出席できない場合は、必ず記載された連絡先に連絡をすること。

【実施日】

2020 年 2 月 3 日(月)から 2020 年 2 月 6 日(木)、10:30-18:00（実験の進行状況により、開始時刻および終了時刻は前後する場合がある）。その後の進め方は、担当教員と相談し決定する。

【連絡先】

UTAS シラバスを参照

評価方法　ゼミ取り組み姿勢。詳細はガイダンス時にアナウンスする。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

2019/10/1　12:20　121 教室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51372	A	最先端の生命科学研究を 駒場で体験する	新井 宗仁	教養学部	集中	2	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

教養学部後期課程（理系）・統合自然科学科の「統合生命科学コース」には、ライフサイエンス研究の若きトップランナーが集結し、生命科学のフロンティアを開拓している。本ゼミの履修学生は、最先端の研究を展開している研究室に数名ずつ配属され、未解明の研究課題に実際に取り組んでもらう。

研究の進め方は教員と相談して決める。研究室によって曜限を指定する場合、指定しない場合、集中して行う場合がある。セメスターの最後に、履修者全員が参加して成果報告会を開催する。

統合生命科学コースの特徴は、先端性と多様性である。准教授が独立した研究室を運営できるため、２６もの研究室がある。その研究テーマは極めて多様であり、分子生物学や細胞生物学、植物生理学といった理学的な基礎研究から、神経科学、内分泌学といった医科学的な研究、そして、創薬などを目指した薬学・農学・工学的な研究まで多岐にわたる。ノーベル生理学・医学賞を受けたオートファジー研究が駒場で開始されたという事実が象徴するように、流行にとらわれない独創性の高い研究が行われている。実験や理論などのアプローチ法も多彩である。若き教員が柔軟な発想で、先端的でチャレンジングな研究テーマを選び、熱心に学生を指導するのみでなく、教員自らが現場に立って実験をしている研究室も多い。

ガイダンス資料はゼミのウェブサイト（http://folding.c.u-tokyo.ac.jp/seminar/）にも掲載する。ガイダンス後に学生の希望を集計して配属先を決定する。ガイダンスに出席できない場合には、ウェブサイトに記載された方法で希望を提出すること。

生命科学が大好きで、新しい分野を切り拓きたいという熱い想いを持つ学生を歓迎する。また、文系から理系への転向を考えている学生も受講できる。熱い現場で、熱い教員たちが学生諸君を待っている。

担当教員と研究テーマ：

阿部 光知 植物の形づくりの遺伝学
新井 宗仁 計算機を使って理論的に新規タンパク質をデザインする
大杉 美穂 マウス受精卵の細胞分子生物学
佐藤 守俊 生命現象を操作する技術を作ろう
坪井 貴司 真正粘菌の細胞内で起きている現象を目で視てみよう！
道上 達男 ツメガエル胚の形づくりに力はどのように関わるか
矢島潤一郎 光学顕微鏡を用いたバイオナノマシンの機能定量
吉本敬太郎 分子認識型核酸をみつけよう＆調べよう！

評価方法　研究への取り組みや成果報告会での発表をもとに評価する。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

2019/9/30　12:15～12:45 に 1 号館 108 教室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60211	A 2	実践的サイバーセキュリティ	宮本 大輔	情報基盤センター	集中	2	シラバス参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

サイバーセキュリティの基礎を実践的に学ぶ。私たちの社会活動はコンピュータ・ネットワークが形成するサイバー空間に大きく依存している。そのため、サイバー攻撃が社会活動に与える影響は甚大であり、サイバー攻撃に対処する技術、すなわちサイバーセキュリティの確保は重要である。

本ゼミでは、まずサイバー空間の要素であるコンピュータシステム、ネットワークの構成について、セキュリティの観点から講義及び演習を通じて学ぶ。その後、サービスの運用を妨害する攻撃やシステムの脆弱性を悪用するサイバー攻撃の事例と共にサイバー空間に対する脅威やリスクを学び、サイバー攻撃に対する防御方法や、被害を低減するレジリエンス技術についても演習を通じて学ぶ。

本ゼミは、情報セキュリティ教育研究センター(https;//si.u-tokyo.ac.jp)の教育活動として実施するものであり、演習では情報基盤センターのコンピュータとネットワーク環境も利用する。また、サイバーセキュリティの実務を行う企業の専門家としてヤフー株式会社からゲストスピーカーをお招きし、現実のサイバー攻撃とその対処事例についても学ぶ予定である。

評価方法　授業の理解度に関する小試験及びレポートによって行う。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time
2019/12/3　5 限／5th Period 情報教育棟 E42 教室（10 月 15 日にも実施）

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51374	A	生命の普遍原理に迫る研究体験ゼミ	石原 秀至	教養学部	集中	2	シラバス参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

東京大学生物普遍性連携研究機構（Universal Biology Institute, UBI）に関連する研究室で研究体験型のゼミをおこなう。

過去半世紀にわたる生命科学の進展により、我々は生体内で起こる分子レベルの反応の詳細や、それに関わる分子種についての膨大な知識を集積してきた。一方で、それら分子が総体として織りなす「生きている状態」とは、そもそもどういう状態なのか？そして、そのような状態を特徴付ける法則や原理は何か？このような基本的な問題について、我々人類はまだほとんど理解できていない。この問いは生物学のみに閉じた課題ではなく、現象の記述と理解に必要な数理科学の発展や、新たな実験・計測技術の開発を必須とする。この意味で現代生命科学は科学諸分野のフロンティアを押し広げるともに、これらを再統合する現場ともなっている。UBI では、生物に共通する普遍的な法則とメカニズムの解明を目指し、従来の生物学の枠を越えて、数理科学、理論物理、分子生物学、生物物理学、進化生物学、有機化学、ナノバイオテクノロジー、細胞イメージングなど、広範な分野の研究者が共同で研究に取り組んでいる。

本ゼミでは、通常の学生実験や授業とは異なる、最先端の科学研究の現場を体験する機会を提供する。履修者は下記のいずれかの研究室に配属し、学問分野の垣根を越えた、分野横断的な科学研究に触れながら、基本的な実験技術やデータ解析手法を学習したり、数理演習や計算機実習を通じて理論研究の基礎を学んだりする。未知の分野にチャレンジし、将来的に自ら新しい分野を開拓していこうと思う意欲的かつ野心的な学生を歓迎する。

担当教員と研究テーマ

【駒場キャンパス】

金子 邦彦: 生命システムの進化に関するモデル・シミュレーション
澤井 哲: 細胞のナビゲーションを、実験的・理論的に理解する
若本 祐一: 細胞表現型ゆらぎと適応・進化の関係を探る実験研究
石原 秀至: 生命現象の数理モデルのシミュレーション
太田 邦史・小田有沙: 栄養飢餓時の分子の振る舞いと細胞の生存戦略を探る
佐藤 守俊: バイオイメージングに関する原著論文の輪講
道上 達男: 胚の形態形成に関わる”力”を調べる実験
矢島 潤一郎: タンパク質の作動機構解明に関わる実験
豊田 太郎・竹内 昌治: 人工細胞観察デバイスを微細加工技術で創って，人工細胞を実際に観察する
小林 徹也: 細胞複製過程の熱力学を考える
市橋 伯一: RNA ゲノムを持つ人工細胞を継代してみて、寄生体が自然発生すること、細胞構造によって防ぐことができることを実験とシミュレーションで体験する
柳澤 美穂: 細胞モデルを用いた生命現象の物理的理解

【本郷キャンパス】

入江 直樹: 最も進化した脊椎動物はどれだ？ -遺伝子発現情報解析からの探索-
樋口 秀男: 顕微鏡を創って，分子や細胞の運動を観察する
古澤 力: 進化過程の計算機シミュレーションによって何が解るか?
岡田 康志: 顕微鏡を作って生きた細胞を計測する
伊藤 創祐: 情報理論や確率的な熱力学を用いた生命現象の理論的研究

最新の情報は以下を参照。http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/UBI/education.html

評価方法　講義・実習への出席、取り組み姿勢、成果報告会での発表をもとに評価する。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/10/1　昼休みに 1 号館 101 教室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51344	A	製品を分解してわかる環境問題	梅田 靖	工学部	集中	1	シラバス参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

製品を開発する際に、環境への影響を配慮して製品を設計することは今や当たり前のことになりつつある。この講義では、製品使用後にリサイクルを容易にするための「リサイクル性設計」に焦点を当て、実際の製品（液晶テレビを予定）を分解しながら、どのような設計上の工夫がされているのかを観察するとともに、「リサイクル」の仕組みについて学ぶ。

※このゼミは 9 月 24 日(火)6 限（18：45～）に駒場キャンパスにて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。

評価方法　出席、講義中の積極性、レポートから総合的に判断する
教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/9/24　6 限／6th Period　工学部合同ガイダンスで行う。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51375	A	野球の最新科学と実践	中澤 公孝	教養学部	集中	1	シラバス参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	トップレベルの野球にはデータサイエンス、情報科学、神経科学などの最新科学が導入されている。本ゼミでは、野球に応用されている最新科学について学ぶとともに、プロ野球 OB の桑田真澄氏による実践の理論と実技指導の講習を受ける。
評価方法	レポート評価
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance 2019/11/12

全学体験ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51370	A 1	森の魅力をマッピング ～GPS を使ったオリジナル地図づくり～	石橋 整司、 露木 聡、 藤原 章雄	農学部	火 2	2	K113	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

「木材資源を得る場所」、「レクリエーションの場所」、「癒しの場所」等々森林には人それぞれの活用の仕方があり、また楽しみ方がある。人々が森林に求める情報もさまざまであり、森林を対象とした情報発信には個々の情報の特性に合った多様な方法が求められるが、特に地図情報にさまざまな属性を盛り込んだフィールドマップは森林の魅力を伝えるための有効なツールである。本ゼミナールでは、「森の魅力を伝える地図づくり」をテーマに、ＧＰＳ受信機とデジタルカメラを使って森林の魅力を視覚的に伝えるオリジナルの地図づくりに挑戦する。

本ゼミナールの直接の目標はオリジナル地図の作成であるが、地図づくりを通じて森林の持つさまざまな「魅力」に意識を向け、五感を使って森林を観察する機会を得ることが本質的な目的である。自らの感性を高め、五官を通してさまざまな森の情報を獲得することで見逃してきた多くの「魅力」の存在を実感して欲しい。

なお、講義の実施概要は以下の通りであるが、詳細な計画については９月 24 日（火）２限に行うガイダンスを兼ねた第１回講義で説明する。

【講義計画（予定)】事前講義は KOMCEE East K113 で実施する。

９月 24 日（火）２限 ガイダンスと講義 （駒場キャンパス）
10 月１日（火）２限 講義 （駒場キャンパス）
10 月８日（火）２限 講義 （駒場キャンパス）
10 月 15 日（火）２限 講義 （駒場キャンパス）
10 月 29 日（火）２限 講義 （駒場キャンパス）
11 月１日（金）夜から３日（日） 現地講義（富士癒しの森研究所）
11 月５日（火）２限 講義 （駒場キャンパス）

評価方法　授業への取り組み姿勢、現地講義で作成する成果品、レポートで評価する。なお現地講義に参加できない学生の履修は原則として認められない。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51305	A	生命科学の最前線	新藏 礼子	定量生命科学研究所	火 5	2	シラバス参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

本全学体験ゼミナールは、「生命科学の成果が人々の倫理観・道徳観・宇宙観に与える影響が甚大であることを自覚して、生命科学のあるべき姿を真剣に捉えて研究を遂行する」という精神に基づき開講する。今回は、本目的を達成するために、教養課程の学生にわかりやすいように、生命科学の実際だけではなく、「科学と政治の関わり」に視点を絞って、科学研究倫理に対する造詣の深い池上 彰客員教員も１コマの講義を分担する。

A セメスターに行われる本ゼミナールでは、定量生命科学研究所の各研究室にて最先端の生命科学研究を体験学習する。

評価方法　出席

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51357	A	Arduino を使って応用システムを作ろう D	廣瀬 明	国際工学教育推進機構（工学部）	火 6	2	K301	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

IT の普及と発展により、我々の身の回りには新しい製品やサービスが登場し、時として生活スタイルを大きく変えたり、ビジネスの枠組み自体に大きな影響を与えたりすることがある。購買者や利用者として製品やサービスが提供するメリットを享受することはたやすいが、逆に購買者や利用者を興奮させたり、目を見開かせたりする製品やサービスを創造することは容易ではない。では、購買者や利用者を「これはすごい！」、「これは便利だ」、「これは心地よい」、「これは楽しい」と言わせるモノを創ってみようではないかというのがこのゼミの狙いである。

まずは、「作ってみた」というレベルから開始して、最終的には製品やサービスが果たす「社会的なゴール」を意識したレベルのモノづくりに取り組んで欲しいと考えている。従って、ゼミに参加するにあたっては何にチャレンジしたいのか、具体的な目標を持って臨んでもらいたい。個々のゼミ生の目標に基づき、専門家による指導を受けたり、製造現場を見学に出向いたりしたいと考えている。また、構築した応用システムは、完成後、想定される利用者に試用してもらい、利用者の評価を受ける予定である。さらに、本ゼミでは起業を支援した実績があり、起業にチャレンジしたい学生諸君の参加を大いに歓迎する。

※受講人数： 10 名に制限する。
※開講場所： 駒場 KOMCEE West 3 階 K301 号室 を予定
受講を希望する学生は、廣瀬（ahirose@ee.t.u-tokyo.ac.jp） まで必ず事前にメールで申し込みこむこと。（希望者多数の場合には抽選とする）
※この講義は 9 月 24 日(火) 6 限 (18：45～) に駒場キャンパス 7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。

評価方法
ガイダンス、講義、実習、システム構築、プレゼンテーション、発表会への参加。

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名 Arduino をはじめよう
著者（訳者） Missimo Banzi （船田 巧）
出版社 オーム社（オライリー・ジャパン）
ISBN 978-4-87311-537-5

ガイダンス
特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
工学部の合同ガイダンスが設定される場合（別途周知される予定）にはこれに参加するほか、第 1 回講義で行う

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51327	A	実験を通して学ぶ科学の考え方	松本 悠	教養教育高度化機構	水 2	2	K113	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

理系の学生は A セメスターから基礎実験が始まります。とても重要な授業ですが、現段階ではとにかく指定された実験をこなすだけで精一杯なのではないでしょうか？

この授業では、いくつかの基礎物理学実験のテーマを改めて取り上げ、とのような観点で実験を進めていくべきであるのか、科学的思考を鍛えるという本質と照らし合わせて検討します。そして、同じ実験機器を独自の実験目的で利用し、基礎実験がどのように研究活動に応用されていくのかを、体験してもらいたいと思っています。

評価方法
出席点を基本とします。その上に、題材への取組姿勢や、グループワークへの積極性、プレゼンテーションおよびレポートの内容を評価に加えます。

教科書
教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス
第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51343	A	飛行ロボットを作って飛ばす	土屋 武司	工学部	水 5	2	シラバス参照	1 年 理科 2 年 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

飛行ロボットとは無人航空機（ドローン）である．室内で飛行する大きさ数 10cm～1m 程度，重量数 100g の飛行ロボットを自ら設計，製作し飛行させることを目標とする．小さくても飛行ロボットには航空工学の要素が詰まっており，講義，実習を通じてこれを理解する．
全日本学生室内ロボットコンテストのレギュレーションに沿った機体とする．http://indoor-flight.com/

※駒場からの移動時間を考慮し，17 時 40 分から開始する．
開講場所は工学部 7 号館 70 号講義室．工作場所は工学部 13 号館．
※この講義は 9 月 24 日(火) 6 限 (18：45～) に駒場キャンパス 7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。

評価方法　授業への参加，貢献度による．
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60232	A 2	ピアサポート・支えあいの理論と実践を学ぶ - 相互扶助のキャンパスづくり	高野 明	学生相談ネットワーク本部	水 5	1	120	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

ピアサポートとは、学生生活上で支援(援助)を必要としている学生に対し、 仲間である学生同士で気軽に相談に応じ、手助けを行う活動です。本学では、学生のみなさんの支え合いと自主的成長を促進するために、 学生ボランティアのピアサポーターを組織し、 学生による学生を支えるピアサポート活動を全学的に展開しています。
この授業では、ピアサポートの理論と実践方法について体験的に学習し、相互扶助のキャンパスづくりに貢献できる知識とスキルを習得することを目標とします。授業は、ピアサポート活動に関わる教員による講義と実習、学生同士のディスカッションと発表によって構成されます。受講者には、相互扶助のキャンパス作りに関する学習への積極的なコミットメントが求められます。
なお、この授業を受講することで、ピアサポーター認定のための予備研修を受けたことになります。

評価方法　授業での発表や毎回授業で実施するレポート作成をもとに評価します。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51337	A	ロボット競技を体験しようB	國吉 康夫	工学部	水 6	2	1212	1年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

ロボット競技とは，決められたルールに従ってオリジナルのロボットを製作して競わせるものである．ルールを徹底的に分析し，討論して最適戦略と最適マシン仕様を策定し，機械工学，電子工学，情報工学，人工知能を学び，身につけ，協力して最強のマシンを設計・製作・改良・検証する．勝つためには，訴求力あるプレゼン資料の作成や，力を発揮する組織運営，あらゆる事象を想定した危機管理など，文系的能力も不可欠である．
本ゼミでは，これらの総合的取り組みの様々な段階を実体験することで，一つの具体的目標に向けて，全員が徹底的に頭脳を振り絞り，創造力を発揮することで，総合的に人間力を高めることを狙う． 専門的な知識は前提としない．文理問わず興味を持った人に来てもらいたい．

本ゼミは 1 年夏学期の A から 2 年冬学期の D までで構成されるが，途中からの参加も歓迎する．A に参加した学生と，B～D に途中から参加した学生には，基礎からの講義および実習を行い，基礎的な知識・技能の習得をまず達成する．その後，次学期以後の当ゼミに参加して発展的内容に取り組むことは歓迎するが，どうするかは全く本人の自由である．発展的な内容を体験したい学生や，本格的なロボットの企画設計，製作等の活動を通した「ものづくり」を体験したい場合は，「NHK 大学ロボコン」に参加するチーム「東京大学 RoboTech」の活動への参加も歓迎する．

講義は平日 5 限後に駒場で行い，実習は集中講義形式をとり，本郷で行う（土曜，日曜に行う場合がある）．
※履修人数を 20 名程度に制限する。
※関連 HP：http://www.isi.imi.i.u-tokyo.ac.jp/lectures/robo-semi/index.html
https://tuk.t.u-tokyo.ac.jp/robotech/

評価方法

講義及び実習への参加度合いにより，合格・不合格を判定する．
各学生の得意分野を積極的に評価する．たとえば，文系の学生で機械加工等が得意でなくとも，論理的分析やプレゼン資料作成で評価するなど，多様性を重んじる．

教科書

教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス

第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51338	A	ロボット競技を体験しようD	國吉 康夫	工学部	水 6	2	1212	2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

ロボット競技とは，決められたルールに従ってオリジナルのロボットを製作して競わせるものである．ルールを徹底的に分析し，討論して最適戦略と最適マシン仕様を策定し，機械工学，電子工学，情報工学，人工知能を学び，身につけ，協力して最強のマシンを設計・製作・改良・検証する．勝つためには，訴求力あるプレゼン資料の作成や，力を発揮する組織運営，あらゆる事象を想定した危機管理など，文系的能力も不可欠である．
本ゼミでは，これらの総合的取り組みの様々な段階を実体験することで，一つの具体的目標に向けて，全員が徹底的に頭脳を振り絞り，創造力を発揮することで，総合的に人間力を高めることを狙う． 専門的な知識は前提としない．文理問わず興味を持った人に来てもらいたい．

本ゼミは 1 年夏学期の A から 2 年冬学期の D までで構成されるが，途中からの参加も歓迎する．A に参加した学生と，B～D に途中から参加した学生には，基礎からの講義および実習を行い，基礎的な知識・技能の習得をまず達成する．その後，次学期以後の当ゼミに参加して発展的内容に取り組むことは歓迎するが，どうするかは全く本人の自由である．
発展的な内容を体験したい学生や，本格的なロボットの企画設計，製作等の活動を通した「ものづくり」を体験したい場合は，「NHK 大学ロボコン」に参加するチーム「東京大学 RoboTech」の活動への参加も歓迎する．

講義は平日 5 限後に駒場で行い，実習は集中講義形式をとり，本郷で行う（土曜，日曜に行う場合がある）．
※履修人数を 20 名程度に制限する。
※関連 HP：http://www.isi.imi.i.u-tokyo.ac.jp/lectures/robo-semi/index.html
https://tuk.t.u-tokyo.ac.jp/robotech/

評価方法

講義及び実習への参加度合いにより，合格・不合格を判定する．
各学生の得意分野を積極的に評価する．たとえば，文系の学生で機械加工等が得意でなくとも，論理的分析やプレゼン資料作成で評価するなど，多様性を重んじる．

教科書

教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス

第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51326	A	将棋で磨く知性と感性	金子 知適	教養教育高度化機構	木 5	2	K501	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

将棋は千年に亘る歴史を持つ日本の伝統文化である。このセミナーでは日本将棋連盟の全面的協力を得て、講義と対局の両面から将棋文化を学ぶ。
第 1 回にガイダンスを行う。履修希望者が多い場合は、第 1 回目のガイダンスの際に書いて提出してもらう作文によって、未経験者を優先して履修者を決定する。 ガイダンスの会場は授業の部屋とは異なる。

※受講人数：最大 40 名に制限する。
※ガイダンス：初回授業日 5 限に K011 教室で行う。
4 名の担当教員のうち，代表教員は金子

評価方法　出席や簡単なレポートで評価する。
教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time
K011 教室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51368	A	秋の奥秩父を巡る	山田 利博、平尾 聡秀、鈴木 智之、浅野 友子	農学部	木 5	2	120	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

森林は多様な生物の生息場所であるとともに、人にとっても水や食物などさまざまな恩恵をもたらす存在です。日本の国土の約 7 割は森林に覆われていますので、森林を知ることは、自然の成り立ちや、人と自然のかかわりを知ることそのものであるといえます。しかし、現代の日常生活では、森林の生命の営みや森林の恵みを経験的に知る機会は決して多くありません。秩父演習林の位置する奥秩父山系は、関東甲信越地方の水源地であり、深い森林と切り立った渓谷が原生的な自然を形作っています。気軽に行ける場所ではありませんが、関東地方で人間の影響の少ない自然に触れることができる数少ない地域です。
本ゼミでは、秩父地方の自然史や生業に関する事前講義を踏まえ、奥秩父山系の森林生態系の見学を行います。具体的には、標高に伴う森林の推移、森林に対する自然撹乱、樹木の更新、動植物の分布、シカによる植生の衰退、山地森林のもつ水源涵養機能など、森林生態系の動きについて経験を通じて学びます。また、薪炭林としての二次林や放棄された人工林など、過去から現在までの森林利用について学ぶとともに、山村の代表的な食品である蕎麦の収穫から蕎麦打ちまでの工程を体験します。また、森林の恵みの一つとしてつる植物などの樹皮を用いたクラフト制作を行います。最終的に、手つかずの原生林と、資源利用されてきた二次林・人工林を比較し、森林の成り立ち・山村における人と森林のかかわりについて、自らの体験をもとに考えていただくことを目標とします。本ゼミを通じて、奥秩父の壮麗な自然を味わうとともに、経験的に自然を知るという自然科学の基本的なアプローチを学んでいただくことを期待しています。

※受講人数を 10 名以下に制限します。
※受講希望者はガイダンスに参加して下さい。
※担当教員：山田利博・平尾聡秀・浅野友子・鈴木智之
※このゼミは 9月26日（木）18 時 40 分～19 時 45 分に 1313 教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。

評価方法　出席と発表・レポートで評価します。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time
2019/9/26　5 限／5th Period

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51299	A	電磁気学で使う数学	志甫 淳、 清野 和彦	数理科学研究科	金 2	2	513	1 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

理系の 1 年生が A セメスターで学ぶ電磁気学では、物理的な量の関係がベクトル場や微分形式と呼ばれるものの微積分によって表されます。ところが、ベクトル場や微分形式の微積分を数学の授業で学ぶのは 2 年生の S セメスターであり、さらに、その前提となる多変数関数の積分を学ぶのは 1 年生 A セメスターの微分積分学の中盤になるのが普通です。そこで、このゼミナールでは多変数関数の積分とベクトル場や微分形式の微積分について学びます。内容がかなり多いので、数学として何を言っているのかを説明するのが主で、証明はほとんどしない予定です。必要なことは電磁気学の講義でも説明されますし、少し待てば数学の講義でも学ぶ内容ですので、数学が気になって電磁気学の本当の内容に集中できない人や、数学が苦手で見たこともない数学の記号がでてきただけでめまいがして電磁気学どころではなくなってしまう、というような人を念頭において話を進める予定です。

なお、電磁気学の物理学としての内容には一切触れません。電磁気学そのものの理解を深めようというものでないことにくれぐれも注意してください。また、このゼミで扱う数学はすべて電磁気学で使われますが、電磁気学の講義で使われるかどうかはそれぞれの電磁気学の授業の担当教員の考え如何です。その点も心に留めておいて下さい。

評価方法　毎回の小テストと、それを補充するレポートによる。
教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51324	A	自由に読み、書き、 表現する —コラムランド—	椿本 弥生	教養教育高度化機構	金 2	2	K201	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

■概要

文章を読んだり書いたりするのは好きですか？

自分の専門分野以外の文章も、もっと読んだり書いたりしたい。自分が書いたものを誰かに読んでもらいたい。誰かが書いたものを読んでみたい。でも、なかなかそんな機会がない…。このゼミは、その機会を提供します。

このゼミは、全員参加型のゼミです。毎週変わるお題に対して各自が自由に発想をひろげ、作品としてまとめて投稿します。ゼミ内では、それらを作者名をふせた状態で読み、グループで話し合って「今週のチャンピオンコラム」を決定します。最後の最後に、各作品の作者名を公開します。

ゼミタイトルは「コラム」ですが、ここで対象とする文章は何でもありです。詩、散文、論説など、自由に書いてください。

毎週の作品の分量は、A4 用紙 1 枚以内。余白もフォントサイズも指定しません。用紙いっぱいに書く必要もありません（書きたいかたはぜひどうぞ）。一般的に文章評価の研究で重視される「文章の内容・構成・表現」という観点以外の部分も、コラムの総合的表現のうちとします。お題について豊かに発想を膨らませてください。

楽しんで文章を書く、人が書いたものを興味深く読む、多様な視点をもって積極的にディスカッションに参加する。

これらが好きな人をお待ちしています。得意か不得意かは問いません。

このゼミが、みなさんの「(素の）自分を表現する」練習の舞台になれば幸いです。

なお担当教員は、文章評価を自身の専門のひとつとしています。

評価方法
・全体の 2/3 回（以上）の出席と、規定回数（以上）の執筆・・・60%
・毎回の授業態度（主に、ディスカッションへの積極的な参加）・・・40%
上記 2 点を得点化し、総合して評価します。
得点化の詳細については、第 1 回のオリエンテーションで説明します。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51298	A	じっくり学ぶ数学 II	志甫 淳、 牛腸 徹	数理科学研究科	金 5	2	シラバス 参照	1 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

数学を学ぶ上で微積分学と線型代数学は最も基本的なものです。そこで、S セメスターの「じっくり学ぶ数学 I」に引き続き、論理的な順番には余りこだわらずに、微積分学や線型代数学における基本的な考え方を順番に取り上げて、何をどう考えているのかとか、何がアイディアなのかということをなるべくはっきりした形で説明してみようと思います。それにより、正規の数学の講義と合わせて、皆さんにより良く微分積分学や線型代数学を身につけていただく助けになればと考えています。

一応、ゼミは講義形式で行おうと考えていますが、時間の余裕のある方には演習問題を解いて頂く時間を取りたいと思っています。また、文系の方でも十分理解していただけるのではないかと思いますので、文系、理系を問わず、興味のある方でしたらどなたでも歓迎します。

※開講場所：数理科学研究科棟 117 号室
※授業登録はできませんが、もう一度、数学をじっくり学び直したいと思われている 2 年生の参加も歓迎します。

評価方法　問題を解いたノート提出
教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51325	A	囲碁で養う考える力	森畑 明昌	教養教育高度化機構	金 5	2	K501	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

囲碁は，古い歴史を持つ日本の伝統文化であるばかりでなく，国際的にも広く普及し親しまれている頭脳のスポーツである。本ゼミナールでは，囲碁のルールを学び，お互いの実戦を通じて，判断力，分析力，洞察力，集中力などを養う。指導に際しては日本棋院の全面的な協力を得る。 囲碁は初めての人を対象として，基本のルールから教える。

第 1 回にガイダンスを行い，希望者が多い場合は，第 1 回目のガイダンスの際に書いてもらう作文によって，履修者を（未経験者の中から）決定する。

※受講人数：40 名に制限する。
※5 名の担当教員のうち，代表教員は森畑

評価方法　講義への参加状況をもとに合否を判定する。
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　東大教養囲碁講座 －ゼロからわかりやすく
著者(訳者)　石倉昇・梅沢由香里・黒瀧正憲・兵頭俊夫
出版社　光文社（新書）
ISBN　978-4334034108
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time
5 限／5th Period　KOMCEE West レクチャーホール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51367	A 1	森のエネルギーを使いこなす	安村 直樹、内田 圭、 齋藤 暖生、當山 啓介	農学部	金 5	2	E25	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

本講義は森のエネルギーを体感すること、森林管理の観点からその流通・利用（森からエネルギーを取り出して家庭等で使うまで）における問題点について学ぶことの二点を目的とする。

わが国の森には莫大な利用可能エネルギーが眠っている。しかもそのエネルギーは森林の成長に伴って毎年増え続けている。我々は森のエネルギーを薪（まき）や炭、ペレットの形で取り出して採暖や炊事などに利用することができる。

木材の用途は大きく分けて住宅用材などの用材と炭や薪などの燃材に二分できる。一般に先進国では木材消費量に占める燃材の割合は低いが、わが国の燃材割合はここ数年急速に上昇し、欧米先進国の水準（10～16%）と同程度となっている。ただし、わが国の燃材利用は発電用途が中心で欧米先進国とは内容が異なる。森林資源の豊富なわが国には身の回りにおける燃材、すなわち森のエネルギー利用の増大する余地がある。

森のエネルギー利用の増大によって、現在手入れが不足しているとされる里山や人工林の回復も期待される。現時点での、田無および富士地域での森のエネルギー利用がどのように森林管理に関わっているのか、自身の目で確認してもらいたい。

講義の目的を達するため本講義では伐倒および植樹、薪割りや炭焼き、薪や炭を用いた炊事・ストーブ・暖炉を体験する。普段の電気や石油・ガスそしてエアコンを用いた食事・ストーブ・空調との違いを、五感を働かせて体感する。自らの体を動かして何かを体感したい学生の参加を歓迎する。体験に際して、炭焼きの歩留まりや炊事の薪炭消費量、伐採による光環境の変化などの定量的なデータを出来る限り取得する。これらに加え実際に森のエネルギーを日常的に利用する世帯・施設への聞き取り調査などを通じて、森林管理の観点から森のエネルギーの流通・利用における問題点について学び、考察する。

講義は初回ガイダンスを含む通常講義 3 回（2019/9/27、10/4、10/11＠教養学部キャンパス）と集中講義 2 回（2019/10/12 土曜日＠田無演習林、10/25 金曜日夜-27 日曜日＠富士癒しの森研究所）から構成される。薪割りなどの作業の安全を確保する関係上、履修人数を 18 名に制限する。田無演習林および富士癒しの森研究所における集中講義は参加必須である。宿泊費 8,000 円（予定）は事前の講義で集金する。宿泊費の他に往復交通費（田無およそ 800 円、富士およそ 4,000 円）が必要となる。

※このゼミは 9 月 26 日木曜日 6 限に行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。

評価方法　出席とレポート

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time
2019/9/27　5 限／5th Period　講義教室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51369	A 1	危険生物の知識（秋編）	石橋 整司、齋藤 暖生、井上 広喜、久本 洋子、前原 忠	農学部	金 5	2	105	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

森林に生息する生物の中には人間を含めた他の生物に対して有害ないしは不快なものも含まれている。こうした生物から被害を受けないようにする知識はフィールドで作業をする場合大切であるが、同時にそれらの生物が生態系の中で果たす役割についての理解なしに「有害」、「危険」と退けてしまうことは自然についての正しい知識を身につけることにはならない。そこで、人間にとって「有害」、「危険」、「不快」といわれる生物を実際のフィールドで観察、学習し、これらの生物に対する対処法を身につけると同時に、自然の中での人間との関わりについて学ぶ。

※受講可能人数：最大 20 名まで。
※現地講義開講場所：大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林および富士癒しの森研究所。
※駒場キャンパスでの事前講義と富士癒しの森研究所、千葉演習林における 2 回の現地講義、駒場キャンパスでの事後講義を行う。開講日は以下のように予定している。
事前講義（ガイダンスを含む）【駒場キャンパス】
9 月 27 日（金） 5 限
10 月 4 日（金） 5 限
第 1 回現地講義【千葉演習林管内】
10 月 12 日（土） 日帰り
第 2 回現地講義【富士癒しの森研究所管内】
10 月 19 日（土）～20 日（日）（1 泊 2 日）
事後講義【駒場キャンパス】
10 月 25 日（金） 5 限
富士癒しの森研究所での現地講義の宿泊費および食費は自己負担（5,000 円程度）。また、現地講義の交通費も自己負担となる。正確な負担額については事前講義時に説明する。

評価方法　授業への取り組み姿勢とレポートで評価する。なお現地講義に参加できない学生の履修は原則として認められない。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time
5 限／5th Period

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51289	A	映像デザイン実習	松本 文夫	総合研究博物館	集中	2	シラバス参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

映像制作の実習を通して「世界を表現する」体験をすることがこの授業の目標である。20 世紀は映像の世紀であったといわれる。19 世紀以降、写真、映画、テレビ、インターネットが次々と生み出され、視覚情報の生産と流通は劇的に増大した。社会の出来事や物語がおびただしい映像断片に記録され、世界は映像を介して理解される対象になっている。一方、自らカメラを持って「世界をみる」という行為は、現実を観察して写し取ることに始まり、そこに内在する人・モノ・意味などの諸関係を再編成する試みに結びつく。すなわち、映像は記録と保存だけでなく、創出と再生を担うメディアである。映像によって記憶を蓄積し、物語を構築し、時空を横断し、新しい世界の姿を示すことができるだろう。この授業を通して、映像による表現の可能性を実験的に追求してほしい。映像制作の経験は必要としないが、映画・写真・物語・構造・空間・造形などに関心があることが望ましい。

10 月 1 日の授業ガイダンスの際に小課題を実施する。履修希望者が予定人数（20 名）を上回るときは、この小課題により履修許可者を選抜する。授業ガイダンスに参加できない者は、事前に担当教員に申し出ること（期限後の申し出は受け付けない）。該当者には小課題にかわるレポートの提出を求める（10 月 1 日の内容とは異なる）。申し出の期限および連絡先は UTAS の「履修上の注意」の項を参照のこと。
※履修人数を 20 名に制限する

評価方法　提出作品により評価する。
教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/10/1　5 限／5th Period　108 教室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51292	A	最先端メディカルゲノムサイエンスを体験する	松田 浩一	新領域創成科学研究科	集中	2	シラバス参照	1 年 理科 2 年 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

メディカル情報生命専攻に所属する教員・若手研究者が、それぞれのキャンパスで実施する体験的プログラムに参加し、現代生物学・基礎医科学研究の最先端の現場を体験することができます。
合わせて、実施キャンパスの見学説明等も行いますので、実際の大学院での研究がどんな雰囲気のところで、どのように行われるのかを直接肌で感じ取り、今後の進路選択にも役立つ貴重な経験が出来るでしょう。

★履修ガイダンスとして、下記メディカル情報生命専攻 HP の「カリキュラム」→「教養学部生へ」→『全学体験ゼミナール』を是非訪問してください。
『A セメスター開催予定プログラム』（履修者は下記から一つを選択できます）
（1）泊 幸秀 先生「遺伝情報を消去!?～RNA サイレンシングを体験する～」
（2）清宮 啓之 先生「がん薬物療法入門」
（3）佐藤 均 先生「染色体の秘密を覗いてみよう！」
（4）松田 浩一 先生「遺伝子医療革命-DNA が医療を変える-」

※ 詳細や更新内容については、メディカル情報生命専攻のホームページ 【URL】： http://www.cbms.k.u-tokyo.ac.jp に掲示するので随時確認してください。
※ 各プログラムは、それぞれの実施キャンパス、実施期間、予定日時が異なります。また、UTAS への履修登録に加え、別途メールで実習申込を行い採用される必要があります。詳細情報は「授業計画」を参照してください。

評価方法　各プログラム責任者からの出席状況を取りまとめこれに基づき評価(合格、不合格、未受験)を決定する。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51323	A	ピアチューター・トレーニング	椿本 弥生	教養教育高度化機構	集中	2	シラバス参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

■概要
高等教育の質を高めるために、学生（Teaching Assistant／Peer Tutor）が学生の学びを支援する活動が国内外で重視されています。Peer Tutoring には、教える側にも教わる側にもさまざまなメリットがあることが多くの研究で指摘されています。
この講義では、学習者を支援する際に役立つ理論や、具体的な支援方法を学びます。
この講義の TA には、本学のラーニングコモンズや授業で TA を経験している大学院生が参加します。講義内で体験談を提供してもらったり、演習に参加してもらうなどしますので、経験者から活きた知識を学ぶこともできます。
いつか実際に TA をやってみたい人や、教えるための知識と技術や学びの支援に興味がある人の受講をお待ちしています。
■授業の目的
学習支援に関する重要な理論や教育実践方法を、受講生同士で学び合いながら獲得します。これをとおして、学習支援の知識とスキルを高めつづける態度を育成することを目指します。
■到達目標
上記の目的を達成するために、以下の目標を設定します。
・学習支援者に求められる行動を 5 つ以上説明できる
・学習支援に必要な理論や教育実践方法を知ることができる
・サンプルケースに理論を応用し、効果的な学習支援の方法を考えることができる
・グループワークに積極的に参加し、学習支援者に必要な対話能力をつける
・よりよい学習支援を行うために学び続けることができる

評価方法　(1)最終回に記述するミニレポート、(2)講義への参加態度、の 2 つの課題で評価します。最終試験はありません。
ただし、10 回以上に相当する時間数講義に出席していることが、成績評価の対象となる前提条件です。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51335	A	全国高校生社会イノベーション選手権 II	小松崎 俊作	工学部	集中	2	シラバス参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

世界的に漂う閉塞感を打ち破るのは，新しい価値を生み出すイノベーションしかありません．世界の人々が賞賛する，日本らしい優れたモノやサービスを次々に生み出してゆくことが日本の生き残る道ではないでしょうか．そのためにはイノベーションを産み出すことのできる人材を育てることが重要です．

中等教育においても，創造性を育てることが新たな教育指導要領に盛り込まれ，イノベーション教育が爆発的に広まろうとしています．そこで私たち（工学部社会基盤学科）は，イノベーション創造に取り組む全国の高校生にとって目標とする大会を創出すべく，2018 年度から全国高校生社会イノベーション選手権（イノチャン）を開始しました．（全国から 11 チームのエントリーがあり，広島高校（広島県）が優勝，今治西高校（愛媛県），観音寺第一高校（香川県）が準優勝となりました．2019 年度の第 2 回大会には全国から 99 チームのエントリーがありました．）

この全学体験ゼミナールは，駒場生の皆さんにもイノチャン企画・運営に参加していただき，イノベーションを生み出す作法や楽しさを知っていただくこと，自ら新規事業（イノチャン）を興す体験を一度でも得ていただくことを目的としています．

A セメスターは，翌年の大会に向けた企画・イノベーションワークショップ等の設計などに注力する予定です．

※この講義は 9 月 24 日(火) 6 限 (18：45～) に駒場キャンパス 7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
※全国高校生社会イノベーション選手権（イノチャン）は，東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻（工学部社会基盤学科）主催事業です．

評価方法　大会運営への貢献と，ワークショップ（集中講義）での発言等を総合的に判断する
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51339	A	全日本学生フォーミュラ大会に向けたフォーミュラレーシングカーを作るプロジェクト B	草加 浩平	工学部	集中	2	シラバス参照	1 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

本ゼミでは 9 月に開催が予定されている「全日本学生フォーミュラ大会」出場車両の企画から設計、製作、試験、改良の一連のプロジェクトを体験する。フォーミュラレーシングカーを題材とした「ものづくり」の一連の流れを体験し、「ものづくり」の楽しさ、面白さ、難しさを感じ取ると共に、その中で自分のやりたいこと、進むべき道を発見することを目標とする。

車産業が総合産業であると同様、本プロジェクトに要求される内容も単に工学的知識だけでなく、企業との交渉、広報活動、ドライビングなど多岐にわたる。本ゼミ参加メンバー各自がそれぞれに自分の得意とするあるいは好きな分野の仕事を見つけ、進めることで、本プロジェクトはうまく進む。よって本ゼミでは工学部進学希望者に限らず、文科系、理科系すべての学生を対象とする。

※この講義は 9 月 24 日(火) 6 限 (18：45～) に駒場キャンパス 7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。

評価方法　必修項目への出席及びプロジェクトへの参加度合いにより、合格･不合格を判定する。
教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/10/2　5 限／5th Period　1 号館 101 教室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51340	A	全日本学生フォーミュラ大会に向けたフォーミュラレーシングカーを作るプロジェクト D	草加 浩平	工学部	集中	2	シラバス参照	2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

本ゼミでは 9 月に開催が予定されている「全日本学生フォーミュラ大会」出場車両の企画から設計、製作、試験、改良の一連のプロジェクトを体験する。フォーミュラレーシングカーを題材とした「ものづくり」の一連の流れを体験し、「ものづくり」の楽しさ、面白さ、難しさを感じ取ると共に、その中で自分のやりたいこと、進むべき道を発見することを目標とする。

車産業が総合産業であると同様、本プロジェクトに要求される内容も単に工学的知識だけでなく、企業との交渉、広報活動、ドライビングなど多岐にわたる。本ゼミ参加メンバー各自がそれぞれに自分の得意とするあるいは好きな分野の仕事を見つけ、進めることで、本プロジェクトはうまく進む。よって本ゼミでは工学部進学希望者に限らず、文科系、理科系すべての学生を対象とする。

※この講義は 9 月 24 日(火) 6 限 (18：45～) に駒場キャンパス 7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。

評価方法　必修項目への出席及びプロジェクトへの参加度合いにより、合格･不合格を判定する。
教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/10/2　5 限／5th Period　1 号館 101 教室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51347	A	ひとりでに組み上がる分子 ～分子で多面体を作ろう～	杉山 弘和	工学部	集中	2	シラバス参照	1 年 理科 2 年 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

本ゼミナールは工学部の化学・生命系三学科(応用化学、化学システム工学、化学生命工学)の研究室の協力により実施する全学体験ゼミナールの一つです。各研究室において最先端の研究を体験し、化学・生命系分野に関する理解を深めてもらうことを目的としています。本ゼミを含む下記のゼミは、合同でガイダンス、最終プレゼンテーションを行います。
51347 全学体験ゼミナール（ひとりでに組み上がる分子 ～分子で多面体を作ろう～）
51348 全学体験ゼミナール（マイクロ化学チップに触れてみよう）
51349 全学体験ゼミナール（DDS のための薬物徐放ビーズを作ってみよう）
51350 全学体験ゼミナール（やってみよう！Python を使った化学シミュレーション）
51351 全学体験ゼミナール（排ガスはどこまで浄化できるのか？自動車触媒技術）
51352 全学体験ゼミナール（化学システム工学を冒険しよう～ショートオムニバス＆研究室見学～）
51353 全学体験ゼミナール（液晶の自己組織化と新しい機能を探ろう）
51354 全学体験ゼミナール（マウス脳のニューロンを観る）
51355 全学体験ゼミナール（エラストマーの物性を測ってみよう）

原則教養学部の講義と重ならない日程、時間帯に各研究室に数人のグループで参加し、研究室の教員や大学院生の指導のもとに、ショートコースの研究プログラムにしたがって実験・研究を行います。実際にゼミを行う日程、時間帯は受講決定後、受講生と受け入れ研究室との相談により決定します（3~4 日間)。2020 年 2 月 1 日（土）午後に、成果発表会を本郷地区にて共同で開催し、他のグループの成果についても聞き、討論を行います。研究現場、プレゼンテーション資料の作成、討論などを体験できる貴重な機会ですので、多くの方の参加をお待ちしております。なお、この本ゼミは入門編ですので、高度な専門知識は必要ありません。対象クラスは 1 年 理科です。本講義を受講するためには、履修届提出のみではなく、別途申込が必要です。ガイダンスにて申込方法をアナウンスするので、必ずそれに従い申し込んで下さい。

※開講日・具体的内容は、授業計画欄参照。
※この講義は 9 月 24 日(火) 6 限 (18：45～) に駒場キャンパス 7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
※ 上記工学部合同ガイダンスとは別に、化学生命系の合同ガイダンスを 9 月 27 日（金）5、6 限（16:50~、18:45~）に 101 教室で行います。(5 限と 6 限は同じ内容です)

評価方法　出席および成果発表による総合評価
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/9/27　5 限／5th Period　1 号館　101 教室（同日 6 限にも同じ内容で開催）

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51348	A	マイクロ化学チップに触れてみよう	杉山 弘和	工学部	集中	2	シラバス参照	1 年 理科 2 年 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

本ゼミナールは工学部の化学・生命系三学科(応用化学、化学システム工学、化学生命工学)の研究室の協力により実施する全学体験ゼミナールの一つです。各研究室において最先端の研究を体験し、化学・生命系分野に関する理解を深めてもらうことを目的としています。本ゼミを含む下記のゼミは、合同でガイダンス、最終プレゼンテーションを行います。

51347 全学体験ゼミナール（ひとりでに組み上がる分子 ～分子で多面体を作ろう～）
51348 全学体験ゼミナール（マイクロ化学チップに触れてみよう）
51349 全学体験ゼミナール（DDS のための薬物徐放ビーズを作ってみよう）
51350 全学体験ゼミナール（やってみよう！Python を使った化学シミュレーション）
51351 全学体験ゼミナール（排ガスはどこまで浄化できるのか？自動車触媒技術）
51352 全学体験ゼミナール（化学システム工学を冒険しよう～ショートオムニバス＆研究室見学～）
51353 全学体験ゼミナール（液晶の自己組織化と新しい機能を探ろう）
51354 全学体験ゼミナール（マウス脳のニューロンを観る）
51355 全学体験ゼミナール（エラストマーの物性を測ってみよう）

原則教養学部の講義と重ならない日程、時間帯に各研究室に数人のグループで参加し、研究室の教員や大学院生の指導のもとに、ショートコースの研究プログラムにしたがって実験・研究を行います。実際にゼミを行う日程、時間帯は受講決定後、受講生と受け入れ研究室との相談により決定します（3~4 日間)。2020 年 2 月 1 日（土）午後に、成果発表会を本郷地区にて共同で開催し、他のグループの成果についても聞き、討論を行います。研究現場、プレゼンテーション資料の作成、討論などを体験できる貴重な機会ですので、多くの方の参加をお待ちしております。なお、この本ゼミは入門編ですので、高度な専門知識は必要ありません。対象クラスは 1 年 理科です。本講義を受講するためには、履修届提出のみではなく、別途申込が必要です。ガイダンスにて申込方法をアナウンスするので、必ずそれに従い申し込んで下さい。

※開講日・具体的内容は、授業計画欄参照。
※この講義は 9 月 24 日(火) 6 限 (18：45～) に駒場キャンパス 7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
※ 上記工学部合同ガイダンスとは別に、化学生命系の合同ガイダンスを 9 月 27 日（金）5、6 限（16:50~、18:45~）に 101 教室で行います。(5 限と 6 限は同じ内容です)

評価方法　出席および成果発表による総合評価
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/9/27　5 限／5th Period　1 号館 101 教室（同日 6 限にも同じ内容で開催）

全学体験ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51349	A	DDS のための薬物徐放ビーズを作ってみよう	杉山 弘和	工学部	集中	2	シラバス参照	1 年 理科 2 年 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

本ゼミナールは工学部の化学・生命系三学科(応用化学、化学システム工学、化学生命工学)の研究室の協力により実施する全学体験ゼミナールの一つです。各研究室において最先端の研究を体験し、化学・生命系分野に関する理解を深めてもらうことを目的としています。本ゼミを含む下記のゼミは、合同でガイダンス、最終プレゼンテーションを行います。
51347 全学体験ゼミナール（ひとりでに組み上がる分子 ～分子で多面体を作ろう～）
51348 全学体験ゼミナール（マイクロ化学チップに触れてみよう）
51349 全学体験ゼミナール（DDS のための薬物徐放ビーズを作ってみよう）
51350 全学体験ゼミナール（やってみよう！Python を使った化学シミュレーション）
51351 全学体験ゼミナール（排ガスはどこまで浄化できるのか？自動車触媒技術）
51352 全学体験ゼミナール（化学システム工学を冒険しよう～ショートオムニバス＆研究室見学～）
51353 全学体験ゼミナール（液晶の自己組織化と新しい機能を探ろう）
51354 全学体験ゼミナール（マウス脳のニューロンを観る）
51355 全学体験ゼミナール（エラストマーの物性を測ってみよう）

原則教養学部の講義と重ならない日程、時間帯に各研究室に数人のグループで参加し、研究室の教員や大学院生の指導のもとに、ショートコースの研究プログラムにしたがって実験・研究を行います。実際にゼミを行う日程、時間帯は受講決定後、受講生と受け入れ研究室との相談により決定します（3~4 日間)。2020 年 2 月 1 日（土）午後に、成果発表会を本郷地区にて共同で開催し、他のグループの成果についても聞き、討論を行います。研究現場、プレゼンテーション資料の作成、討論などを体験できる貴重な機会ですので、多くの方の参加をお待ちしております。なお、この本ゼミは入門編ですので、高度な専門知識は必要ありません。対象クラスは 1 年 理科です。本講義を受講するためには、履修届提出のみではなく、別途申込が必要です。ガイダンスにて申込方法をアナウンスするので、必ずそれに従い申し込んで下さい。

※開講日・具体的内容は、授業計画欄参照。
※この講義は 9 月 24 日(火) 6 限 (18：45～) に駒場キャンパス 7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
※ 上記工学部合同ガイダンスとは別に、化学生命系の合同ガイダンスを 9 月 27 日（金）5、6 限（16:50~、18:45~）に 101 教室で行います。(5 限と 6 限は同じ内容です)

評価方法　出席および成果発表による総合評価
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/9/27　5 限／5th Period　1 号館 101 教室（同日 6 限にも同じ内容で開催）

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51350	A	やってみよう！Python を使った化学シミュレーション	杉山 弘和	工学部	集中	2	シラバス参照	1 年 理科 2 年 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

本ゼミナールは工学部の化学・生命系三学科(応用化学、化学システム工学、化学生命工学)の研究室の協力により実施する全学体験ゼミナールの一つです。各研究室において最先端の研究を体験し、化学・生命系分野に関する理解を深めてもらうことを目的としています。本ゼミを含む下記のゼミは、合同でガイダンス、最終プレゼンテーションを行います。

51347 全学体験ゼミナール（ひとりでに組み上がる分子 ～分子で多面体を作ろう～）
51348 全学体験ゼミナール（マイクロ化学チップに触れてみよう）
51349 全学体験ゼミナール（DDS のための薬物徐放ビーズを作ってみよう）
51350 全学体験ゼミナール（やってみよう！Python を使った化学シミュレーション）
51351 全学体験ゼミナール（排ガスはどこまで浄化できるのか？自動車触媒技術）
51352 全学体験ゼミナール（化学システム工学を冒険しよう～ショートオムニバス＆研究室見学～）
51353 全学体験ゼミナール（液晶の自己組織化と新しい機能を探ろう）
51354 全学体験ゼミナール（マウス脳のニューロンを観る）
51355 全学体験ゼミナール（エラストマーの物性を測ってみよう）

原則教養学部の講義と重ならない日程、時間帯に各研究室に数人のグループで参加し、研究室の教員や大学院生の指導のもとに、ショートコースの研究プログラムにしたがって実験・研究を行います。実際にゼミを行う日程、時間帯は受講決定後、受講生と受け入れ研究室との相談により決定します（3~4 日間)。2020 年 2 月 1 日（土）午後に、成果発表会を本郷地区にて共同で開催し、他のグループの成果についても聞き、討論を行います。研究現場、プレゼンテーション資料の作成、討論などを体験できる貴重な機会ですので、多くの方の参加をお待ちしております。なお、この本ゼミは入門編ですので、高度な専門知識は必要ありません。対象クラスは 1 年 理科です。本講義を受講するためには、履修届提出のみではなく、別途申込が必要です。ガイダンスにて申込方法をアナウンスするので、必ずそれに従い申し込んで下さい。

※開講日・具体的内容は、授業計画欄参照。
※この講義は 9 月 24 日(火) 6 限 (18：45～) に駒場キャンパス 7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
※ 上記工学部合同ガイダンスとは別に、化学生命系の合同ガイダンスを 9 月 27 日（金）5、6 限（16:50~、18:45~）に 101 教室で行います。(5 限と 6 限は同じ内容です）

評価方法　出席および成果発表による総合評価
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/9/27　5 限／5th Period　1 号館 101 教室（同日 6 限にも同じ内容で開催）

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51351	A	排ガスはどこまで浄化できるのか？自動車触媒技術	杉山 弘和	工学部	集中	2	シラバス参照	1 年 理科 2 年 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

本ゼミナールは工学部の化学・生命系三学科(応用化学、化学システム工学、化学生命工学)の研究室の協力により実施する全学体験ゼミナールの一つです。各研究室において最先端の研究を体験し、化学・生命系分野に関する理解を深めてもらうことを目的としています。本ゼミを含む下記のゼミは、合同でガイダンス、最終プレゼンテーションを行います。
51347 全学体験ゼミナール（ひとりでに組み上がる分子 ～分子で多面体を作ろう～）
51348 全学体験ゼミナール（マイクロ化学チップに触れてみよう）
51349 全学体験ゼミナール（DDS のための薬物徐放ビーズを作ってみよう）
51350 全学体験ゼミナール（やってみよう！Python を使った化学シミュレーション）
51351 全学体験ゼミナール（排ガスはどこまで浄化できるのか？自動車触媒技術）
51352 全学体験ゼミナール（化学システム工学を冒険しよう～ショートオムニバス＆研究室見学～）
51353 全学体験ゼミナール（液晶の自己組織化と新しい機能を探ろう）
51354 全学体験ゼミナール（マウス脳のニューロンを観る）
51355 全学体験ゼミナール（エラストマーの物性を測ってみよう）

原則教養学部の講義と重ならない日程、時間帯に各研究室に数人のグループで参加し、研究室の教員や大学院生の指導のもとに、ショートコースの研究プログラムにしたがって実験・研究を行います。実際にゼミを行う日程、時間帯は受講決定後、受講生と受け入れ研究室との相談により決定します（3~4 日間)。2020 年 2 月 1 日（土）午後に、成果発表会を本郷地区にて共同で開催し、他のグループの成果についても聞き、討論を行います。研究現場、プレゼンテーション資料の作成、討論などを体験できる貴重な機会ですので、多くの方の参加をお待ちしております。なお、この本ゼミは入門編ですので、高度な専門知識は必要ありません。対象クラスは 1 年 理科です。本講義を受講するためには、履修届提出のみではなく、別途申込が必要です。ガイダンスにて申込方法をアナウンスするので、必ずそれに従い申し込んで下さい。

※開講日・具体的内容は、授業計画欄参照。
※この講義は 9 月 24 日(火) 6 限 (18：45～) に駒場キャンパス 7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
※ 上記工学部合同ガイダンスとは別に、化学生命系の合同ガイダンスを 9 月 27 日（金）5、6 限（16:50~、18:45~）に 101 教室で行います。(5 限と 6 限は同じ内容です)

評価方法　出席および成果発表による総合評価
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/9/27　5 限／5th Period　1 号館 101 教室（同日 6 限にも同じ内容で開催）

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51352	A	化学システム工学を冒険しよう～ショートオムニバス＆研究室見学～	杉山 弘和	工学部	集中	2	シラバス参照	1 年 理科 2 年 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

本ゼミナールは工学部の化学・生命系三学科(応用化学、化学システム工学、化学生命工学)の研究室の協力により実施する全学体験ゼミナールの一つです。各研究室において最先端の研究を体験し、化学・生命系分野に関する理解を深めてもらうことを目的としています。本ゼミを含む下記のゼミは、合同でガイダンス、最終プレゼンテーションを行います。

51347 全学体験ゼミナール（ひとりでに組み上がる分子 ～分子で多面体を作ろう～）
51348 全学体験ゼミナール（マイクロ化学チップに触れてみよう）
51349 全学体験ゼミナール（DDS のための薬物徐放ビーズを作ってみよう）
51350 全学体験ゼミナール（やってみよう！Python を使った化学シミュレーション）
51351 全学体験ゼミナール（排ガスはどこまで浄化できるのか？自動車触媒技術）
51352 全学体験ゼミナール（化学システム工学を冒険しよう～ショートオムニバス＆研究室見学～）
51353 全学体験ゼミナール（液晶の自己組織化と新しい機能を探ろう）
51354 全学体験ゼミナール（マウス脳のニューロンを観る）
51355 全学体験ゼミナール（エラストマーの物性を測ってみよう）

原則教養学部の講義と重ならない日程、時間帯に各研究室に数人のグループで参加し、研究室の教員や大学院生の指導のもとに、ショートコースの研究プログラムにしたがって実験・研究を行います。実際にゼミを行う日程、時間帯は受講決定後、受講生と受け入れ研究室との相談により決定します（3~4 日間)。2020 年 2 月 1 日（土）午後に、成果発表会を本郷地区にて共同で開催し、他のグループの成果についても聞き、討論を行います。研究現場、プレゼンテーション資料の作成、討論などを体験できる貴重な機会ですので、多くの方の参加をお待ちしております。なお、この本ゼミは入門編ですので、高度な専門知識は必要ありません。対象クラスは 1 年 理科です。本講義を受講するためには、履修届提出のみではなく、別途申込が必要です。ガイダンスにて申込方法をアナウンスするので、必ずそれに従い申し込んで下さい。

※開講日・具体的内容は、授業計画欄参照。
※この講義は 9 月 24 日(火) 6 限 (18：45～) に駒場キャンパス 7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
※ 上記工学部合同ガイダンスとは別に、化学生命系の合同ガイダンスを 9 月 27 日（金）5、6 限（16:50~、18:45~）に 101 教室で行います。(5 限と 6 限は同じ内容です)

評価方法　出席および成果発表による総合評価
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/9/27　5 限／5th Period　1 号館 101 教室（同日 6 限にも同じ内容で開催）

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51353	A	液晶の自己組織化と 新しい機能を探ろう	杉山 弘和	工学部	集中	2	シラバス 参照	1 年 理科 2 年 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

本ゼミナールは工学部の化学・生命系三学科(応用化学、化学システム工学、化学生命工学)の研究室の協力により実施する全学体験ゼミナールの一つです。各研究室において最先端の研究を体験し、化学・生命系分野に関する理解を深めてもらうことを目的としています。本ゼミを含む下記のゼミは、合同でガイダンス、最終プレゼンテーションを行います。
51347 全学体験ゼミナール（ひとりでに組み上がる分子 ～分子で多面体を作ろう～）
51348 全学体験ゼミナール（マイクロ化学チップに触れてみよう）
51349 全学体験ゼミナール（DDS のための薬物徐放ビーズを作ってみよう）
51350 全学体験ゼミナール（やってみよう！Python を使った化学シミュレーション）
51351 全学体験ゼミナール（排ガスはどこまで浄化できるのか？自動車触媒技術）
51352 全学体験ゼミナール（化学システム工学を冒険しよう～ショートオムニバス＆研究室見学～）
51353 全学体験ゼミナール（液晶の自己組織化と新しい機能を探ろう）
51354 全学体験ゼミナール（マウス脳のニューロンを観る）
51355 全学体験ゼミナール（エラストマーの物性を測ってみよう）

原則教養学部の講義と重ならない日程、時間帯に各研究室に数人のグループで参加し、研究室の教員や大学院生の指導のもとに、ショートコースの研究プログラムにしたがって実験・研究を行います。実際にゼミを行う日程、時間帯は受講決定後、受講生と受け入れ研究室との相談により決定します（3~4 日間)。2020 年 2 月 1 日（土）午後に、成果発表会を本郷地区にて共同で開催し、他のグループの成果についても聞き、討論を行います。研究現場、プレゼンテーション資料の作成、討論などを体験できる貴重な機会ですので、多くの方の参加をお待ちしております。なお、この本ゼミは入門編ですので、高度な専門知識は必要ありません。対象クラスは 1 年 理科です。本講義を受講するためには、履修届提出のみではなく、別途申込が必要です。ガイダンスにて申込方法をアナウンスするので、必ずそれに従い申し込んで下さい。

※開講日・具体的内容は、授業計画欄参照。
※この講義は 9 月 24 日(火) 6 限 (18：45～) に駒場キャンパス 7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
※ 上記工学部合同ガイダンスとは別に、化学生命系の合同ガイダンスを 9 月 27 日（金）5、6 限（16:50~、18:45~）に 101 教室で行います。(5 限と 6 限は同じ内容です)

評価方法　出席および成果発表による総合評価
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/9/27　5 限／5th Period　1 号館 101 教室（同日 6 限にも同じ内容で開催）

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51354	A	マウス脳のニューロンを観る	杉山 弘和	工学部	集中	2	シラバス参照	1 年 理科 2 年 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

本ゼミナールは工学部の化学・生命系三学科(応用化学、化学システム工学、化学生命工学)の研究室の協力により実施する全学体験ゼミナールの一つです。各研究室において最先端の研究を体験し、化学・生命系分野に関する理解を深めてもらうことを目的としています。本ゼミを含む下記のゼミは、合同でガイダンス、最終プレゼンテーションを行います。

51347 全学体験ゼミナール（ひとりでに組み上がる分子 ～分子で多面体を作ろう～）
51348 全学体験ゼミナール（マイクロ化学チップに触れてみよう）
51349 全学体験ゼミナール（DDS のための薬物徐放ビーズを作ってみよう）
51350 全学体験ゼミナール（やってみよう！Python を使った化学シミュレーション）
51351 全学体験ゼミナール（排ガスはどこまで浄化できるのか？自動車触媒技術）
51352 全学体験ゼミナール（化学システム工学を冒険しよう～ショートオムニバス＆研究室見学～）
51353 全学体験ゼミナール（液晶の自己組織化と新しい機能を探ろう）
51354 全学体験ゼミナール（マウス脳のニューロンを観る）
51355 全学体験ゼミナール（エラストマーの物性を測ってみよう）

原則教養学部の講義と重ならない日程、時間帯に各研究室に数人のグループで参加し、研究室の教員や大学院生の指導のもとに、ショートコースの研究プログラムにしたがって実験・研究を行います。実際にゼミを行う日程、時間帯は受講決定後、受講生と受け入れ研究室との相談により決定します（3~4 日間)。2020 年 2 月 1 日（土）午後に、成果発表会を本郷地区にて共同で開催し、他のグループの成果についても聞き、討論を行います。研究現場、プレゼンテーション資料の作成、討論などを体験できる貴重な機会ですので、多くの方の参加をお待ちしております。なお、この本ゼミは入門編ですので、高度な専門知識は必要ありません。対象クラスは 1 年 理科です。本講義を受講するためには、履修届提出のみではなく、別途申込が必要です。ガイダンスにて申込方法をアナウンスするので、必ずそれに従い申し込んで下さい。

※開講日・具体的内容は、授業計画欄参照。
※この講義は 9 月 24 日(火) 6 限 (18：45～) に駒場キャンパス 7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
※ 上記工学部合同ガイダンスとは別に、化学生命系の合同ガイダンスを 9 月 27 日（金）5、6 限（16:50~、18:45~）に 101 教室で行います。(5 限と 6 限は同じ内容です)

評価方法　出席および成果発表による総合評価
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/9/27　5 限／5th Period　1 号館 101 教室（同日 6 限にも同じ内容で開催）

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51355	A	エラストマーの物性を測ってみよう	杉山 弘和	工学部	集中	2	シラバス参照	1 年 理科 2 年 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

本ゼミナールは工学部の化学・生命系三学科(応用化学、化学システム工学、化学生命工学)の研究室の協力により実施する全学体験ゼミナールの一つです。各研究室において最先端の研究を体験し、化学・生命系分野に関する理解を深めてもらうことを目的としています。本ゼミを含む下記のゼミは、合同でガイダンス、最終プレゼンテーションを行います。
51347 全学体験ゼミナール（ひとりでに組み上がる分子 ～分子で多面体を作ろう～）
51348 全学体験ゼミナール（マイクロ化学チップに触れてみよう）
51349 全学体験ゼミナール（DDS のための薬物徐放ビーズを作ってみよう）
51350 全学体験ゼミナール（やってみよう！Python を使った化学シミュレーション）
51351 全学体験ゼミナール（排ガスはどこまで浄化できるのか？自動車触媒技術）
51352 全学体験ゼミナール（化学システム工学を冒険しよう～ショートオムニバス＆研究室見学～）
51353 全学体験ゼミナール（液晶の自己組織化と新しい機能を探ろう）
51354 全学体験ゼミナール（マウス脳のニューロンを観る）
51355 全学体験ゼミナール（エラストマーの物性を測ってみよう）

原則教養学部の講義と重ならない日程、時間帯に各研究室に数人のグループで参加し、研究室の教員や大学院生の指導のもとに、ショートコースの研究プログラムにしたがって実験・研究を行います。実際にゼミを行う日程、時間帯は受講決定後、受講生と受け入れ研究室との相談により決定します（3~4 日間)。2020 年 2 月 1 日（土）午後に、成果発表会を本郷地区にて共同で開催し、他のグループの成果についても聞き、討論を行います。研究現場、プレゼンテーション資料の作成、討論などを体験できる貴重な機会ですので、多くの方の参加をお待ちしております。なお、この本ゼミは入門編ですので、高度な専門知識は必要ありません。対象クラスは 1 年 理科です。本講義を受講するためには、履修届提出のみではなく、別途申込が必要です。ガイダンスにて申込方法をアナウンスするので、必ずそれに従い申し込んで下さい。

※開講日・具体的内容は、授業計画欄参照。
※この講義は 9 月 24 日(火) 6 限 (18：45～) に駒場キャンパス 7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
※ 上記工学部合同ガイダンスとは別に、化学生命系の合同ガイダンスを 9 月 27 日（金）5、6 限（16:50~、18:45~）に 101 教室で行います。(5 限と 6 限は同じ内容です)

評価方法　出席および成果発表による総合評価
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/9/27　5 限／5th Period　1 号館 101 教室（同日 6 限にも同じ内容で開催）

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51371	A	ダムと土砂と海	蔵治 光一郎､佐藤 貴紀、菊池 潔、田中 延亮、水内 佑輔、石橋 整司	農学部	集中	2	シラバス参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

ダムは、河川の流れを寸断して自然生態系に大きな悪影響をもたらすとともに、堆砂（砂が溜まること）により数十年間から百年間で利用不可能になります。海岸では、川から海へ流れ出す砂がダムによってせきとめられたことにより、供給量が減少し、波と風によって削られ、砂浜や砂丘が年々縮小しています。環境負荷の大きいダム建設を続けることは将来に大きな禍根を残す可能性があります。

本ゼミは、ダムの最も大きな問題の一つである「土砂」の問題について、現場でのフィールド体験を通じて学ぶことを目的として開講します。日本で最も多量に土砂が堆積している天竜川佐久間ダム（1956 年完成、総貯水量 3 億 2685 万立米、土砂堆積量 1 億 2700 万立米）を見学します。

東京大学演習林生態水文学研究所（愛知県瀬戸市）では、小さいダムにたまった土砂量を実際に測定する実習を行い、得られたデータを用いて流出した土砂量を計算する手法についても学びます。

また、下流の海岸で、天竜川からの土砂の供給が減少したことにより、砂丘が削られ、くぼ地に埋め立てたごみが露出するという事件が起きた「中田島砂丘」を見学します。また、東京大学水産実験所の菊池潔教授の案内により、遠州灘や浜名湖の沿岸域の漁業の現場などを見学します。この地域では、海岸沿いの低地に住宅が密集しており、南海トラフ津波対策として巨大防潮堤の建設工事が始まっていますが、砂丘侵食や津波防災を住民のみなさんがどのように受け止め、行動されているかを学びます。

ダムや土砂、海岸について、予備知識は必要としません。文系、理系いずれの学生でも楽しめる内容です。現地の状況を自分の目で確かめ、肌で感じてもらうことが最大のねらいです。

※代表教員のほか、菊池潔（東京大学水産実験所）、石橋整司・田中延亮・水内佑輔・佐藤貴紀（東京大学演習林生態水文学研究所）が協力教員として参加します。
※人数：20 名に制限します。受講希望学生が 20 名を超過した場合は選抜を行います。
※9/25（水）5 限と 6 限に 104 教室にてガイダンスおよび第一回講義を行います（同じ内容）。ガイダンスに出ないで履修を希望する学生も受け付けますので、9/25 の 16 時までに担当教員にその旨をメールで連絡してください。
※フィールド体験ゼミの日程（予定）

3/1（土）名鉄瀬戸線・尾張瀬戸駅前集合（前泊も可）
演習林生態水文学研究所にて、ダムに堆積した土砂量を測定する実習
データを用いて、土砂流出量、堆積量の計算手法の学習
東京大学演習林生態水文学研究所赤津宿泊施設（愛知県瀬戸市）泊

3/2（日）天竜川佐久間ダムにて、堆積土砂の現場見学
東京大学水産実験所（浜名湖畔）泊

3/3（月）東京大学水産実験所および周辺の浜名湖・遠州灘にて、漁船、漁港、海岸などの見学
浜松市の中田島砂丘の見学、津波防潮堤工事現場の見学
午後 5 時頃、浜松駅にて解散予定

評価方法

3 月 1－3 日の 2 泊 3 日のフィールド体験ゼミに全日程参加し、当日指示する感想文を締切日までに提出した者を合格とします。

教科書

教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス

特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/9/25　5 限／5th Period および 6 限／ 6 th Period に 1 号館 104 教室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51502	A	都市生活誌フィールドワーク実習於岩手・宮古	白 佐立	教養教育高度化機構	集中	2	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

【授業の目標、概要】

本講義では、2019 年 11 月に中国・南京大学からの日本語上級者を迎え入れ、両国の学生共同都市生活誌フィールドワークを実施する。例年、東京で開講してきたこの講義だが、今年度は新たな試みとして岩手県・宮古市で実施する。

生活誌とは人びとの「生を描いたもの」を指す。フィールドワークでは、東大生と南大生の合同チームを編成し、宮古市の市街地で宮古の生活誌を作成する。具体的な作業としては住民のライフストーリーを聞き取り、さらに、住民たちの生活を営むための技術を取材・体験してもらった上で、記事にまとめてもらい、ウェブサイト上で公開する。本講義では、生活誌を作る作業を通じて、人びとに対する理解を深めると同時に、人びとの生活に基づいた土地の魅力を描き出すことを目指す。本実習は南京大生との共同作業であり、他文化圏の学生との付き合い方や互いの視点の相違を学ぶ機会にもなるだろう。

フィールドワーク期間中、調査で得た内容を記事にまとめ、ウエブサイト上で公開する他、地元の住民にプレゼンテーションすることによって、フィールドワークの内容を地域に還元する。

履修者はガイダンス、事前講義（日時未定）、フィールドワークに参加することが単位取得の必須条件となる。なお、南京大生とは主に日本語でコミュニケーションをとるので、中国語未習得者の参加も歓迎する。積極的にコミュニケーションを取る意欲こそが望まれる。

＊開講日程：2019 年 11 月中旬に行う予定。具体的な日程などについては必ずガイダンスおよび LAP のウェブサイトで確認してください。
＊ガイダンス
日時：2019 年 10 月 1 日（火）12：20～12：50
場所：国際教育研究棟（旧 6 号館）314 教室
＊受講人数：10 名程度。履修希望者が多い場合はレポートによる選抜を実施する。
＊授業計画・方法：ガイダンス時に説明する。
＊駒場キャンパスから現地までの往復交通費、現地での宿泊費の一部は大学により負担する。参加費用に関してはガイダンスで説明する。
＊必ず「学研災付帯補償責任保険」の A コース（自己負担）に加入してください。

講義に関する最新情報は LAP ウェブサイトを参照すること。問い合わせも、LAP ウェブサイトの問い合わせ欄から行うこと。 http://www.lap.c.u-tokyo.ac.jp/ja/

評価方法

実習への参加度合いにより、合格・不合格を判定する。ガイダンス、事前講義（日時未定）、現地実習への参加が単位取得の必須条件となる。

教科書

プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス

特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/10/1　国際教育研究棟（旧 6 号館）314 教室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60214	A 2	身近な環境化学実習 －駒場の水を水質調査から科学する－	佐藤 守俊、 堀 まゆみ、 中村 優希	教養教育 高度化機構	集中	2	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

「水」と聞いてどのようなイメージを持つだろうか。水道水は採取場所や日時によって違いがあるのか、水道水とペットボトルの水はどう違うのか、ミネラルウォーターといっても色々な種類があるがいったいどのような違いがあるのか、といった水に関する様々な疑問を、実習を通して多角的な視点で解決していくことが本実習の目標である。
本実習では、身近な水、例えば駒場キャンパス内の各建物の水道水や市販のペットボトルウォーターについて、化学分析（試料サンプリング、前処理操作、測定）を実際に体験し、試料を構成している成分が何であるか、それらの成分濃度はどれくらいであるか、といった情報を取得し、得られた結果から普段私たちが身近に接している水の状態を環境化学的に解釈し考察する。また、実習最終日にはショートプレゼンテーションを実施し、履修者同士でのピアレビューを行うことで、得られた結果や考察に対する理解を深めていく。
本実習の履修には、専門知識や事前学習を必要としない。化学分析を体験し、環境分析化学の面白さに触れてもらうことを重要視しているため、文科・理科を問わず興味がある学生を歓迎する。

【実施日】
2020 年 2 月 3 日(月)から 2020 年 2 月 6 日(木)の 4 日間の集中講義。
各日ともに 10:30-18:00 予定（実験の進行状況により、開始時刻および終了時刻は前後する場合がある）。

【ガイダンス】
2019 年 10 月 1 日（火）12:20 から 121 教室

【問い合わせ先】
practical-a@adves.c.u-tokyo.ac.jp

評価方法

出席、実習取り組み姿勢、ショートプレゼンテーションを総合的に評価。詳細は、ガイダンスおよび実習 1 日目に説明する。

教科書

教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス

特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/10/1　12：20　121 教室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60229	A 2	雪の森林に学ぶ ～北海道演習林	鎌田 直人、廣嶋 卓也、 鈴木 智之、福井 大	農学部	集中	2	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。第 1 回講義およびガイダンスに出席していない学生の受講は認めない。

北方針広混交林帯に位置する北海道演習林では、森林環境の保全と持続的な木材生産との調和を目指した研究を一貫して行っている。本ゼミナールでは、雪に覆われた北海道の冬の森林をスノーシューを履いて探索し、冬季の樹木、植物、動物などの姿を通じて森林生態系の総合的な理解を深める。また、北海道演習林で行っている天然林施業の実際を学ぶことにより、森林資源の保全と活用の方法について考究する。

評価方法　インターネット経由でビデオ配信する第 2 回講義の課題および、現地講義・実習におけるレポートによる合否判定
教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/11/20　6 限／6th Period　1 号館 109 教室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60230	A 2	癒しの森と 地域社会（冬）	浅野 友子、齋藤 暖生、 三浦 直子、藤原 章雄	農学部	集中	2	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

山梨県山中湖村は，富士山の麓にある観光地であり、別荘も多数存在する地域である。周辺には戦前戦後にかけて植林されたカラマツ林を主として森林が多く存在し、豊かな自然景観に恵まれている。しかし，近年ほとんどの森林では，枯れ木の処理，アクセス路の管理，適切な除伐や間伐，などの手入れが行われておらず，大きな樹木や繁茂した潅木がむしろ景観の阻害となったり，樹木が倒れて人や家屋に対して危険であったりする。また、森林内には散策や自然観察が行えるような道はほとんど整備されておらず、観光資源としても利用されていない。つまり、森林が地域の環境資源として十分に活用されていない状況があり、森林の利用が地域の課題となっている。

富士癒しの森研究所（山梨県山中湖村）では，この地域課題の解決に向けて，「癒しの森プロジェクト」という地域と協働した研究・教育活動に取り組んでいる。このプロジェクトでは，とくに森林の持つ人間への「癒し」の機能に着目し，地域の人々と森林との関係を再構築しようとしている。

本ゼミナールでは，癒しの森プロジェクトの一環として，受講生には，地域の森林を取り巻く現状を調査し，地域住民と交流，議論しながら，実際に地域の森林を活用した「地域づくり」の現場を体験してもらう。具体的には，山中湖村内に点在する将来散策路として活用しうる未整備の道を踏査し現状調査を行う。調査結果をもとに活用の可能性，整備の必要性などを現場の関係者と議論し，調査報告および提案書を作成する体験を行う予定である。キャンパス内では体験することのできない，地域住民との交流と協働の体験を通して日本の地域社会が直面する課題に挑む貴重な体験をしてもらいたい。

評価方法　出席とレポートで評価する。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time
2019/11/19　2 限

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60231	A 2	房総の森と生業（なりわい）を学ぶ	尾張 敏章、楠本 大、久本 洋子、當山 啓介	農学部	集中	2	シラバス参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

森林は長らく人間の生活の一部であり、生業（なりわい）として森林の資源を利用する人々を中心に管理されてきた。しかし、現代ではそれらの生業の多くは衰退し、人間と森林の関わりは希薄になってきており、様々な弊害も生じている。

たとえば、森林における生業が衰退すれば広大な森林への目配りや管理が不十分となる。その上、森林との関わりの希薄化は森林に対する誤解や過剰な期待をもたらし、森林による地球温暖化防止や国土保全といった課題に際して方向性を誤る恐れも大きくなる。

本ゼミは、人間との共存の長い歴史を持つ南房総の暖温帯林において、森林の生態や景観に親しむとともに、炭焼きや木工、竹林利用、林業、狩猟採集などの生業を体験・学習することで、自分が納得できる「森林との関係」を会得するとともに、今後推進すべき森林産業や、森林と人間のあるべき未来を考えてもらうことが目的である。

将来様々な分野に進む幅広い人材が受講することを期待しています。

※最大履修受入人数 20 名

【履修希望者への注意事項】

履修希望者は、第 1 回講義終了後から 10 月 6 日（日）17：00 までに下記サイトにアクセスし，所定のフォームで①氏名，②メールアドレス，③希望動機（100 字程度）を入力してください。10 月 6 日の 17 時を過ぎるとアクセスできなくなります。なお、上記の履修希望申込とは別に、大学の通常の履修登録も所定の手続きで行ってください。

参加希望申込サイト： https://ws.formzu.net/fgen/S26786589/

参加の可否は 10 月 10 日（木）までにメールで連絡しますが，連絡がない場合は下記の担当教員にメールで問い合わせて下さい。また履修希望申込をしたあとでキャンセルする場合も必ず担当教員に連絡して下さい。

連絡先：當山啓介（千葉演習林 助教） toyama@uf.a.u-tokyo.ac.jp

※このゼミは 9 月 26 日（木）の 6 限に行われる農学部合同ガイダンスへの参加を予定しています。

評価方法　現地実習の中で、学習成果を発表し討論を行う。成果発表により合否を判定する。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

2019/9/25　6 限／6th Period　1 号館 107 教室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51303	A	火山との共生 ：箱根火山を知ろう	青木 陽介	地震研究所	集中	1	シラバス参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

日本は世界の約 7 パーセントの火山が集中する火山国である。火山は噴火による災害をもたらすが、平時においては美しい景観

・温泉・肥沃な土地などにより我々に多くの恩恵をもたらす。本講義では、火山のでき方、火山の内部構造、噴火のメカニズムなどの火山を理解するために必要な基本的な知識を講義する。さらに、火山の噴火を監視し予測するためにどのような観測が行われているかについても解説する。

評価方法　講義および巡検への出席によって評価を行います。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

2019/9/26　5 限／5th Period　1 号館 104 教室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51333	A	目に見えない素粒子や原子核を見てやろう	山口 英斉	理学系研究科附属原子核科学研究センター	集中	1	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

サブ゛アトミック粒子、即ち原子以下の大きさを持つ微細粒子を測ることは、原子核・素粒子・宇宙物理学の実験的研究において最も基本的な手法で゛あり、検出器はサブ゛アトミックな世界を研究する上で゛の目や耳ともいうべ゛きもので゛ある。 授業で゛は、目に見えないサブ゛アトミック粒子測定の基本原理を理解することを目標とする。そのため、授業は以下のような構成を取る。

（1）講義により、粒子検出器についての基礎的な検出原理を理解する。
（2）実際に、幾つかの検出器を構築する。
（3）構築した検出器を用いてサブ゛アトミック粒子を測定する。
（4）測定結果を評価考察する。

※実習指導の都合から、履修人数は 10 名以下が望ましい。
※期間中は和光市理化学研究所近隣の宿に宿泊することを前提とする。

評価方法　実習へと取り組み姿勢と達成度、及び゛発表会で゛の発表内容に基づ゛いて評価する。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/10/03　5 限／5th Period　駒場 1 号館　101 教室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51366	A 1	森に学ぶ 森林・林業を意識しながら歩く低山 A 1	鴨田 重裕	農学部	集中	1	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は高校時代に山岳部やワンダーフォーゲル部に所属した人を対象とするものではありません。山野に興味ある人に、安全に山を楽しんでもらい、同時に山や森林で営まれる林業を意識し考えてもらうために実施する講義です。人並みの体力は必要ですが、山歩きとしては初級向けですので誰でも参加できます。

あなたはふらのゼミの既修者あるいは未修者？
このゼミは夏に富良野岳に登った学生に、ふらのゼミで得た視点を持って、もう少し身近な山を森林・林業を意識しながら歩く機会を提供することを目的に立ち上げた講義です。でも、興味を持ってこのシラバスを眺めてくれているのでしたら、あなたが未修者であったとしても何も問題ないでしょう。このゼミを契機として来年のふらのゼミに繋がることを期待したいと思います。
北海道・富良野を舞台に展開したふらのゼミでは、ゆっくりと、足下の植物たちを観察しながら、空気を、日差しを、そして歩くことそれ自体を楽しみながら歩けたでしょうか？大自然を十分に満喫したその次に、人が向きあう林業の森に向かいましたが、そこでは人が自然に向き合う営み、すなわち一次産業を意識することができたでしょうか？もう一度意識しながら山を歩いてみる、本ゼミはふらのゼミを補完することを強く意識してデザインしました。
森に何を学ぶべきでしょう。何を学ぶべきかを考えに森に誘う。そういうゼミにします。
夏ゼミで登った富良野岳は森林限界を超える世界を垣間見るという点で、ある意味で特別な体験であったと思います。本ゼミ「森に学ぶ 森林・林業を意識しながら歩く低山」では、富良野岳に比べればもっとありふれた山を歩きます。少し意識して歩く低山をお楽しみいただきたいと思っています。
大方の日本人（もちろん東大生も含め）は日本は先進国だと思っていると思います。先進国とは一次産業を捨て高次産業にシフトすることを意味するのでしょうか？大卒エリート（？）は一次産業に携わらない？携わる必要がない？本当にそれでよいのしょうか？
ふらのゼミで自然の中にどっぷりと身を置いたことで、ちょっと内に変化が起った君たちには（来年度そういう変化を体験しようと思う君にも）、たっぷりとその様なことを考えてもらいたい。答えはない。答えは君達が積み上げていくものなのです。よく考えたあとで、仕上げにもう一度大自然の中に身を置いてみよう。

※このゼミは９月２６日（木）18 時 40 分～19 時 45 分に 1313 教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。

評価方法　講義の受講態度により合否を判定します。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/9/27　5 限／5th Period「伊豆に学ぶ」と同じ 158 教室で。１０／３の６限もアリ

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51476	A	ナノ・バイオテクノロジー ：最先端ラボへようこそ	宮田 完二郎	工学部	集中	1	シラバス参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

最先端の科学技術では，ナノスケールでの物質の構造や特性の制御が欠かせません。これをどうやって実現しているのか，学んでみませんか？
・ナノスケールのとても小さな世界で起こる出来事をどうやって知ることができるのでしょう？
・ナノスケールの材料を操作して組み立てるにはどうすればいいのでしょう？
まさに今，最先端の微細加工や分子レベルでの物質の操作を用いながら，バイオテクノロジーが目覚ましく発展しています。それだけでありません。巨大な構造物の強度を高めたいとき，物質が放つ光を制御して利用したいとき，その決め手となっているのは，ナノテクノロジーなのです。
本体験ゼミナールでは，ナノとバイオに関する２つの最先端技術に関するテーマを体験し，そのエッセンスを学びます。

※このゼミは 9 月 24 日(火)6 限（18：45～）に駒場キャンパス 7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。

評価方法　実験や講義への参加による評価
教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/9/25　6 限／6th Period　105 教室で行う個別ガイダンスほか，9 月 24 日の工学部合同ガイダンス

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60208	A 2	柏キャンパス サイエンスキャンプⅠ 物性コース（物性研究所） エネルギーとマテリアルコース（新領域創成科学研究科・基盤科学研究系） 環境コース（新領域創成科学研究科・環境学研究系）	村山 英晶	新領域創成科学研究科	集中	1	シラバス参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

本科目は、本学柏キャンパスの先端研究部局における「知の冒険の現場」を、ウィンタープログラムとして 3 泊 4 日にわたり集中的に体験する「柏キャンパスサイエンスキャンプ（以下、KSC）」 http://www.k.u-tokyo.ac.jp/ksc/ のひとつです。情報が随時アップデートされますので、上記 URL を参照してください。
将来の研究者としての基礎トレーニングを積むことを目的としています。（宿泊は隣接する宿泊施設を利用、宿泊費用は大学が負担）
4 名程度の小グループで行われる研究室体験活動では、柏キャンパスの研究室あるいは実地で実際に最先端の研究を体験します。最終日には研究室体験活動の成果発表会を行います。研究テーマは多岐にわたり、世界トップレベルの教員のもと、普段の授業では体験できない「研究者」としての自分を発見する新しい世界へ誘います。また、本科目をサポートする研究室の大学院生や若手研究員、海外研究者との交流を通じて、今後の「研究者という人生」を考える絶好の機会が提供されます。

KSC は日程別に I、Ⅱ、Ⅲの 3 つまであり、2 つまで履修可能です。各回で 2〜3 コース、各コース内に 4〜5 テーマがあります（下記参照）。きっと皆さんの興味をひくものがあると思います。
ただし履修人数には上限があります。履修希望者は KSC のホームページ https://www.k.u-tokyo.ac.jp/ksc/ にある応募フォームで必ずエントリーして下さい。

エントリー期限 2019 年 9 月 30 日（月）正午

※9 月 24 日(火) 6 限 (18：45〜) に駒場キャンパス 7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。また 9 月 26 日(木) 6 限(18：45〜)に駒場キャンパス 11 号館 1101 教室にて KSC2020 のガイダンスを開催します。

【物性コース（5 テーマ)】
物質の表面：機能と反応の最前線（文系可） 吉信 淳 教授
電気抵抗ゼロ！超電導状態の電子を見よう（文系可） 岡崎 浩三 准教授
強い磁場を物質にかけてみよう（文系可） 小濱 芳允 准教授
未知の物質を作ってみよう（文系可） 広井 善二 教授
分子シミュレーションを体験しよう（文系可） 野口 博司 准教授

【エネルギーとマテリアルコース（5 テーマ)】
分子サイズの穴を持つ多孔質材料をつくろう（文系可） 植村 卓史 教授
超電導で体験する量子物性の世界（文系可） 柴内 孝禎 教授、橋本 顕一郎 准教授
核融合プラズマを電磁波で測ろう（文系可） 辻井 直人 講師
惑星大気・プラズマ環境の量子力学観測法入門（文系可） 吉川 一朗 教授、吉岡 和夫 講師
惑星磁気圏型配位でプラズマを作ってみよう（文系可） 斎藤 晴彦 准教授

【環境コース（4 コース)】
スマートストラクチャを創ろう（文系可） 村山 英晶 教授、藤 公博 助教
新種の微生物を見つけよう！遺伝子で紐解く微生物の種多様性（文系可） 吉澤 晋 准教授
LIFE WITH TECHNOLOGY（文系可） 二瓶 美里 講師
『環境エネルギーまちづくり』を通じた地域社会イノベーション（文系可、福島県新地町での実地演習有） 井原 智彦 准教授、田中 俊徳 准教授

評価方法 担当教員による研究室体験活動の評価と成果発表会の評価による。
教科書 その他。／Other
ガイダンス 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/9/26 6 限／6th Period 駒場キャンパス 11 号館 1101 教室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60209	A 2	柏キャンパス サイエンスキャンプⅡ 宇宙コース（宇宙線研究所） 生研コース（生産技術研究所）	村山 英晶	新領域創成科学研究科	集中	1	シラバス参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

本科目は、本学柏キャンパスの先端研究部局における「知の冒険の現場」を、ウィンタープログラムとして 3 泊 4 日にわたり集中的に体験する「柏キャンパスサイエンスキャンプ（以下、KSC）」 http://www.k.u-tokyo.ac.jp/ksc/ のひとつです。情報が随時アップデートされますので、上記 URL を参照してください。

将来の研究者としての基礎トレーニングを積むことを目的としています。（宿泊は隣接する宿泊施設を利用、宿泊費用は大学が負担）

４名程度の小グループで行われる研究室体験活動では、柏キャンパスの研究室あるいは実地、あるいは神岡キャンパス（岐阜県）内の宇宙線研究所内の研究室で実際に最先端の研究を体験します。最終日には研究室体験活動の成果発表会を行います。研究テーマは多岐にわたり、世界トップレベルの教員のもと、普段の授業では体験できない「研究者」としての自分を発見する新しい世界へ誘います。また、本科目をサポートする研究室の大学院生や若手研究員、海外研究者との交流を通じて、今後の「研究者という人生」を考える絶好の機会が提供されます。

KSC は開催期間別に I、Ⅱ、Ⅲの 3 つまであり、2 つまで履修可能です。各回で 2～3 コース、各コース内に 4～5 テーマがあります（下記参照）。きっと皆さんの興味をひくものがあると思います。
ただし履修人数には上限があります。履修希望者は KSC のホームページ https://www.k.u-tokyo.ac.jp/ksc/ にある応募フォームで必ずエントリーして下さい。

エントリー期限 2019 年 9 月 30 日（月）正午

※9 月 24 日(火) 6 限 (18：45～) に駒場キャンパス 7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。また 9 月 26 日(木) 6 限(18：45～)に駒場キャンパス 11 号館 1101 教室にて KSC2020 のガイダンスを開催します。

【宇宙コース（４テーマ)】
神岡地下で触れるニュートリノ研究の最前線（神岡） 早戸良成 准教授
高エネルギーガンマ線天文学（柏） 手嶋 政廣 教授
最高エネルギー宇宙線の起源を探る（柏） 埒 隆志 准教授
重力波天文学へのいざない（神岡） 内山 隆 准教授

【生研コース（４テーマ)】
三次元計測機による複合材の形状計測 臼杵 年 教授
物性理論物理のフロンティア 羽田野 直道 教授
全球陸域水循環シミュレータで世界中の洪水を予測してみよう（文系可） 芳村 圭 准教授
湖沼・沿岸海域環境の将来予測シミュレーション 北澤 大輔 准教授

評価方法　担当教員による研究室体験活動の評価と成果発表会の評価による。
教科書　その他。／Other
ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/9/26　6 限／6th Period　駒場キャンパス 11 号館 1101 教室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60210	Ａ２	柏キャンパス サイエンスキャンプⅢ 大気と海洋コース大気海洋研究所） 生命コース（新領域創成科学研究科・生命科学研究系）	村山 英晶	新領域創成科学研究科	集中	1	シラバス参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

本科目は、本学柏キャンパスの先端研究部局における「知の冒険の現場」を、ウィンタープログラムとして 3 泊 4 日にわたり集中的に体験する「柏キャンパスサイエンスキャンプ（以下、KSC）」 http://www.k.u-tokyo.ac.jp/ksc/ のひとつです。情報が随時アップデートされますので、上記 URL を参照してください。
将来の研究者としての基礎トレーニングを積むことを目的としています。（宿泊は隣接する宿泊施設を利用、宿泊費用は大学が負担）
4 名程度の小グループで行われる研究室体験活動では、柏キャンパスの研究室あるいは実地で実際に最先端の研究を体験します。最終日には研究室体験活動の成果発表会を行います。研究テーマは多岐にわたり、世界トップレベルの教員のもと、普段の授業では体験できない「研究者」としての自分を発見する新しい世界へ誘います。また、本科目をサポートする研究室の大学院生や若手研究員、海外研究者との交流を通じて、今後の「研究者という人生」を考える絶好の機会が提供されます。

KSC は開催期間別に I、Ⅱ、Ⅲの 3 つまであり、2 つまで履修可能です。各回で 2〜3 コース、各コース内に 4〜5 テーマがあります（下記参照）。きっと皆さんの興味をひくものがあると思います。
ただし履修人数には上限があります。履修希望者は KSC のホームページ https://www.k.u-tokyo.ac.jp/ksc/ にある応募フォームで必ずエントリーして下さい。

エントリー期限 2019 年 9 月 30 日（月）正午

※9 月 24 日(火) 6 限 (18：45〜) に駒場キャンパス 7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。また 9 月 26 日(木) 6 限(18：45〜)に駒場キャンパス 11 号館 1101 教室にて KSC2020 のガイダンスを開催します。

【大気と海洋コース（５テーマ)】
人工衛星データを用いて地球環境を調べてみよう（文系可） 今須 良一 教授
海底ロボットデータを使って海の火山を調べよう（文系可） 沖野 郷子 教授
変わりゆく海洋環境－化学の視点から（文系可） 乙坂 重嘉 准教授
海底堆積物を観察して，太古の時代の地球環境を探る（文系可） 黒田 潤一郎 准教授
DNA から探るサンゴ礁生態系の謎（文系可） 新里 宙也 准教授

【生命コース（５テーマ)】
遺伝子の発現をコントロールするスイッチをつくろう 伊藤 耕一 教授、遠藤 慧 助教
タンパク質が目的地に行くしくみ 宇垣 正志 教授
最先端のプロテオミックスの手法を体験しよう 山本 一夫 教授
スパコンで生命データを解析しよう（文系可） 木立 尚孝 准教授
超音波で野菜がおいしくなるのはなぜ？（文系可） 尾田 正二 准教授

評価方法　担当教員による研究室体験活動の評価と成果発表会の評価による。
教科書　その他。／Other
ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/9/26　6 限／6th Period　駒場キャンパス 11 号館 1101 教室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60220	Ａ２	伊豆に学ぶ１－前編 竹炭焼き、山、桜、菜の花、温泉など自然と人の繋がりをまなぶ	鴨田 重裕、下村 彰男	農学部	集中	1	シラバス参照	1年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意１】web 版シラバスに申込方法などの重要な伝達事項をまとめてあります。必ず良くお読みください。
【注意２】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

はじめに
　体験ゼミ「伊豆に学ぶ」シリーズは、山のことや自然のことにあまり詳しくない初心者向けの講義です。垣根を低く設定してありますし、分かり易いことと伝わり易いことを心がけて、工夫して組み立てた体験型のゼミですから、知りたいという思いさえあれば、色々なことを学べます。例えば初日に菜の花畑と早咲きの河津桜を見学します。もちろんぼんやり眺めても楽しめる装置であることは間違いありません。あなたが観光客ならば「わー。きれい！ 超ヤバー」とか言っていればいいのかも知れません。でも、ゼミの視点で眺めてみると、そこからも数々の学びや気付きを引き出すことができることに気付きます。そして、ゼミでその様な取り組みをする方が、ずっとおもしろいことに気付くはずです。このように伊豆ゼミでは、受講学生それぞれが感じることと考えることを特に大切にしています。
　また、伊豆ゼミでは東大生のまじめな一面を引き出して、一人一人が魅力ある人格として、相互に作用しあったり高めあったりするそういった「場」を提供したいと考えています。東京大学が総合大学であることを満喫していただけるようなゼミを目指します。自分とは背景の異なる人が、何をどの様に捉え、感じ、考えるのかを知ることは、お互いにとても刺激的な体験となります。思いがけないインスピレーションを得ることもあるでしょう。

体験ゼミ「伊豆に学ぶ」の背景
　樹芸研究所と下賀茂寮のある伊豆半島南部は、シイ・カシの常緑広葉樹が優占する森林が多いのですが、かつて人の暮らしに役立てるために植えられた竹林が人の暮らしぶりの変容に従って放置され大きな問題となっています。この問題は、人間の勝手で自然を乱開発して破壊するという種類の問題ではなく、長い年月行ってきた自然への干渉の手を引いて放ったらかすという点に大きな特徴があります。
　意識してみるとそういう現象は他にもたくさんあることに気付くでしょう。このゼミナールではその問題の竹林の有効利用の一つとして竹炭生産をとりあげ、竹の伐採、窯詰め、炭焼きの作業を行いながら、これらの問題の本質が何なのかを一緒に考えてみましょう。簡単に「考えてみよう」と書きましたが、考える前にまず感じられる「感性」を研く必要があるかも知れません。本ゼミでは「そこ」の部分が大切です。ただ「炭焼きを体験したことがある東大生」を育てたいわけではないのです。

伊豆ゼミの流れ
　竹炭焼きの待ち時間には、樹芸研究所の森林を見てもらいます。近年大きな問題となっている獣害の現場をよく見てもらうこともゼミの重要なポイントです。山をぼんやりと歩いても何が獣害の痕跡なのか分からないかも知れません。まずは、その「分からない状態」を正しく認識することもとても重要だと考えています。モノを見る訓練をしていくとやがて心の底から「獣害ヤバイ！」と思えるようになるはずです。本ゼミでは、その様に自分が変化していくプロセスを意識的に体験できるような仕掛けがいくつも仕込んであります。
　獣害問題を少し自分の問題と捉えることができるようになったところで、原因獣の対処法の一例として、原因獣を野菜などと一緒に竹炭で炙る処分法（BBQ）の実施を計画しています。BBQ の燃料にする竹炭はもちろん自分で焼いた炭です。（本ゼミとは別の体験活動プログラムでは、罠を掛けてイノシシを捕獲することから始め、イノシシの命を奪い、解体・精肉し、最終的にソーセージに加工するまでの全工程を体験することができます。少しばかりディープですが、本ゼミの先にはそのような体験も用意してあります。そちらも来年度にどうぞ。）
　竹林の問題と獣害の問題は異なる問題ですが、実は本質的に同根の問題と考えることもできるそんな思いを、竹炭による原因獣の BBQ という妙味を楽しみながら巡らしてみるというのが、体験ゼミならではの思索と言えるでしょう。
　しかめっ面をしなくたって、重大な問題を捉えたり考えたりすることができる、そんな体験を楽しんでいただきたい。
　伊豆はまた温泉の地であるので温泉と景観に関する特別講義を行います。温泉と言えば湯に浸かることしか思わないかも知れませんが、おもしろい見方があることに驚くことでしょう。もちろん講義で温泉知識を涵養した後には、源泉１００％の天然温泉を堪能していただきます。ちょうど見頃を迎える河津桜と菜の花畑を観察し、人の暮らしと景観についても思索を巡らせてみましょう。本体験ゼミナールが目指すものは、かつては当たり前だった人間の生活の原点を見直すことにあります。現代社会では見えにくくなっている様々の「つながり」が見えるきっかけが得られます。
堅苦しく考える必要はありません。真剣にゼミを楽しんでもらいたいと思います。
　竹炭焼きというちょっと非日常的な体験を通して、ふだんあまり意識しないで通り過ぎてしまうことがいかに多いかを意識しながら、ゼミで用意したアクティビティを通して様々なことを体験しつつ、楽しく学んでください。
　受講生にとって有意義なゼミに仕上がることを一番大切にします。
　ゼミ後は、ゼミをじっくり振り返りつつ次のゼミの運営に参画する「伊豆に学ぶプラス」や学園祭企画に取り組む「企画系ゼミ」につなげてもらいたい。
　楽単ではない、楽しい伊豆ゼミをぜひご堪能いただきたい。

※このゼミは９月２６日（木）18 時 40 分～19 時 45 分に 1313 教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。

評価方法　駒場での事前講義と現地講義での取り組み姿勢とレポートを重視します。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/9/24　6 限／6th Period　11 号館 1102 教室（９/２４、２７、１０/３、１１/２７も同様）※10/3 は５限

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60221	Ａ２	伊豆に学ぶ１－後編 竹炭焼き、山、桜、菜の花、温泉 など自然と人の繋がりをまなぶ	鴨田 重裕、 下村 彰男	農学部	集中	1	シラバス 参照	1年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意１】web 版シラバスに申込方法などの重要な伝達事項をまとめてあります。必ず良くお読みください。
【注意２】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

はじめに
　体験ゼミ「伊豆に学ぶ」シリーズは、山のことや自然のことにあまり詳しくない初心者向けの講義です。垣根を低く設定してありますし、分かり易いことと伝わり易いことを心がけて、工夫して組み立てた体験型のゼミですから、知りたいという思いさえあれば、色々なことを学べます。例えば初日に菜の花畑と早咲きの河津桜を見学します。もちろんぼんやり眺めても楽しめる装置であることは間違いありません。あなたが観光客ならば「わー。きれい！ 超ヤバー」とか言っていればいいのかも知れません。でも、ゼミの視点で眺めてみると、そこからも数々の学びや気付きを引き出すことができることに気付きます。そして、ゼミでその様な取り組みをする方が、ずっとおもしろいことに気付くはずです。このように伊豆ゼミでは、受講学生それぞれが感じることと考えることを特に大切にしています。
　また、伊豆ゼミでは東大生のまじめな一面を引き出して、一人一人が魅力ある人格として、相互に作用しあったり高めあったりするそういった「場」を提供したいと考えています。東京大学が総合大学であることを満喫していただけるようなゼミを目指します。自分とは背景の異なる人が、何をどの様に捉え、感じ、考えるのかを知ることは、お互いにとても刺激的な体験となります。思いがけないインスピレーションを得ることもあるでしょう。

体験ゼミ「伊豆に学ぶ」の背景
　樹芸研究所と下賀茂寮のある伊豆半島南部は、シイ・カシの常緑広葉樹が優占する森林が多いのですが、かつて人の暮らしに役立てるために植えられた竹林が人の暮らしぶりの変容に従って放置され大きな問題となっています。この問題は、人間の勝手で自然を乱開発して破壊するという種類の問題ではなく、長い年月行ってきた自然への干渉の手を引いて放ったらかすという点に大きな特徴があります。
　意識してみるとそういう現象は他にもたくさんあることに気付くでしょう。このゼミナールではその問題の竹林の有効利用の一つとして竹炭生産をとりあげ、竹の伐採、窯詰め、炭焼きの作業を行いながら、これらの問題の本質が何なのかを一緒に考えてみましょう。簡単に「考えてみよう」と書きましたが、考える前にまず感じられる「感性」を研く必要があるかも知れません。本ゼミでは「そこ」の部分が大切です。ただ「炭焼きを体験したことがある東大生」を育てたいわけではないのです。

伊豆ゼミの流れ
　竹炭焼きの待ち時間には、樹芸研究所の森林を見てもらいます。近年大きな問題となっている獣害の現場をよく見てもらうこともゼミの重要なポイントです。山をぼんやりと歩いても何が獣害の痕跡なのか分からないかも知れません。まずは、その「分からない状態」を正しく認識することもとても重要だと考えています。モノを見る訓練をしていくとやがて心の底から「獣害ヤバイ！」と思えるようになるはずです。本ゼミでは、その様に自分が変化していくプロセスを意識的に体験できるような仕掛けがいくつも仕込んであります。
　獣害問題を少し自分の問題と捉えることができるようになったところで、原因獣の対処法の一例として、原因獣を野菜などと一緒に竹炭で炙る処分法（BBQ）の実施を計画しています。BBQ の燃料にする竹炭はもちろん自分で焼いた炭です。（本ゼミとは別の体験活動プログラムでは、罠を掛けてイノシシを捕獲することから始め、イノシシの命を奪い、解体・精肉し、最終的にソーセージに加工するまでの全工程を体験することができます。少しばかりディープですが、本ゼミの先にはそのような体験も用意してあります。そちらも来年度にどうぞ。）
　竹林の問題と獣害の問題は異なる問題ですが、実は本質的に同根の問題と考えることもできるそんな思いを、竹炭による原因獣の BBQ という妙味を楽しみながら巡らしてみるというのが、体験ゼミならではの思索と言えるでしょう。
　しかめっ面をしなくたって、重大な問題を捉えたり考えたりすることができる、そんな体験を楽しんでいただきたい。
　伊豆はまた温泉の地であるので温泉と景観に関する特別講義を行います。温泉と言えば湯に浸かることしか思わないかも知れませんが、おもしろい見方があることに驚くことでしょう。もちろん講義で温泉知識を涵養した後には、源泉１００％の天然温泉を堪能していただきます。ちょうど見頃を迎える河津桜と菜の花畑を観察し、人の暮らしと景観についても思索を巡らせてみましょう。本体験ゼミナールが目指すものは、かつては当たり前だった人間の生活の原点を見直すことにあります。現代社会では見えにくくなっている様々の「つながり」が見えるきっかけが得られます。
堅苦しく考える必要はありません。真剣にゼミを楽しんでもらいたいと思います。
　竹炭焼きというちょっと非日常的な体験を通して、ふだんあまり意識しないで通り過ぎてしまうことがいかに多いかを意識しながら、ゼミで用意したアクティビティを通して様々なことを体験しつつ、楽しく学んでください。
受講生にとって有意義なゼミに仕上がることを一番大切にします。
　ゼミ後は、ゼミをじっくり振り返りつつ次のゼミの運営に参画する「伊豆に学ぶプラス」や学園祭企画に取り組む「企画系ゼミ」につなげてもらいたい。
　楽単ではない、楽しい伊豆ゼミをぜひご堪能いただきたい。

※このゼミは９月２６日（木）18 時 40 分～19 時 45 分に 1313 教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。

評価方法　駒場での事前講義と現地講義での取り組み姿勢とレポートを重視します。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/9/24　6 限／6th Period1　1 号館 1102 教室（９/２４、２７、１０/３、１１/２７も同様）※10/3 は５限

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60222	A２	伊豆に学ぶ—熱帯植物編—前編 無意識に食べてきたチョコレートを教材に据えてみて初めて見えるコト	鴨田 重裕 下村 彰男	農学部	集中	1	シラバス参照	1年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意１】web 版シラバスに申込方法などの重要な伝達事項を記してあります。長文ですが、必ず良くお読みください。
【注意２】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分にご注意ください。

はじめに

体験ゼミ「伊豆に学ぶ」シリーズは、山のことや自然のことにあまり詳しくない初心者向けの講義です。垣根を低く設定してありますし、分かり易いことと伝わり易いことを心がけて、工夫して組み立てた体験型のゼミですから、知りたいという思いさえあれば、色々なことを学べます。例えば初日に菜の花畑と早咲きの河津桜を見学します。もちろんぼんやり眺めても楽しめる装置であることは間違いありません。あなたが観光客ならば「わー。きれい！ 超ヤバー」とか言っていればいいのかも知れません。でも、ゼミの視点で眺めてみると、そこからも数々の学びや気付きを引き出すことができることに気付きます。そして、ゼミでその様な取り組みをする方が、ずっとおもしろいことに気付くはずです。このように伊豆ゼミでは、受講学生それぞれが感じることと考えることを特に大切にしています。

また、伊豆ゼミでは東大生のまじめな一面を引き出して、一人一人が魅力ある人格として、相互に作用しあったり高めあったりするそういった「場」を提供したいと考えています。東京大学が総合大学であることを満喫していただけるようなゼミを目指します。自分とは背景の異なる人が、何をどの様に捉え、感じ、考えるのかを知ることは、お互いにとても刺激的な体験となります。思いがけないインスピレーションを得ることもあるでしょう。

伊豆に学ぶ－熱帯植物編－にも通底する背景

「伊豆に学ぶ」シリーズは、人と自然のつながりや、人と人のつながり、そして現代社会において見えにくい「プロセス」が見えてくる仕掛けであることを基本としている。そのコンセプトは熱帯編でも同じである。チョコレートやプリンが大好きという人は少なくないであろう。それらの原料が、カカオやバニラという植物由来であることを知っている人も少なくなかろう。しかし、それらがどういう植物なのか、実物を見たり触ったりしたことがある人はいるだろうか。実際にカカオを焙煎して、細かく挽いてカカオバターと混ぜて練ったことがある人はいるだろうか。その製造の過程で、きめ細かい温度制御が求められることを知っている人は果たしているだろうか。このゼミ中に完成させるカカオを出発材料とする手作りチョコレート（ビーントゥーバー）は、それはそれは価値あるものであることは間違いない。是非、店で売っている普通に手に入るチョコレートと食べ比べていただきたい。その体験こそが、このゼミでしかお伝えできない事だと言っても過言ではない。手作りした甲斐あって美味しいのか？をここで言及することは無意味だ。それを伊豆に来て実際に確認して欲しい。

本ゼミは農学生命科学研究科附属演習林の樹芸研究所で展開される。樹芸研究所と聞いて「樹芸」ってなんだ？？と思うだろうか。「樹芸」とは樹に親しみ、樹を暮らしに役立て、樹を育むことを包含する言葉と私たちは定義している。樹芸研究所が開講する一連の体験ゼミは「人の暮らしと生態系の関わり」を基調に、「樹芸」体験を盛り込んで、学ぶということの原点を見直すことに重きを置いている。「伊豆に学ぶ—熱帯植物編—」は森林・樹木の物質生産機能に重点を置いた体験ゼミで、熱帯植物を使う樹芸体験を用意している。チョコレートやプリンやバニラアイスなど、私たちの日常生活において在り来たりになっているモノたちに焦点を当て、日頃の生活において見ようともしない・気付こうともしない、見えにくい「プロセス」を探る旅に出よう。熱帯まで足を運んでもできないことを、東大生はなんと伊豆で体験デキルのだ。

樹芸研究所と下賀茂寮のある伊豆半島南部は、シイ・カシの常緑広葉樹が優占する森林が多いのですが、かつて人の暮らしに役立てるために植えられた竹林が人の暮らしぶりの変容に従って放置され大きな問題となっています。この問題は、人間の勝手で自然を乱開発して破壊するという種類の問題ではなく、長い年月行ってきた自然への干渉の手を引いて放ったらかすという点に大きな特徴があります。

意識してみるとそういう現象は他にもたくさんあることに気付くでしょう。このゼミナールではその問題の竹林の有効利用の一つとして竹炭生産をとりあげ、竹の伐採、窯詰め、炭焼きの作業を行いながら、これらの問題の本質が何なのかを一緒に考えてみましょう。簡単に「考えてみよう」と書きましたが、考える前にまず感じられる「感性」を研く必要があるかも知れません。本ゼミでは「そこ」の部分が大切です。ただ「炭焼きを体験したことがある東大生」を育てたいわけではないのです。

伊豆ゼミの流れ

竹炭焼きの待ち時間には、樹芸研究所の森林を見てもらいます。近年大きな問題となっている獣害の現場をよく見てもらうこともゼミの重要なポイントです。山をぼんやりと歩いても何が獣害の痕跡なのか分からないかも知れません。まずは、その「分からない状態」を正しく認識することもとても重要だと考えています。モノを見る訓練をしていくとやがて心の底から「獣害ヤバイ！」と思えるようになるはずです。本ゼミでは、その様に自分が変化していくプロセスを意識的に体験できるような仕掛けがいくつも仕込んであります。

獣害問題を少し自分の問題と捉えることができるようになったところで、原因獣の対処法の一例として、原因獣を野菜などと一緒に竹炭で炙る処分法（BBQ）の実施を計画しています。BBQ の燃料にする竹炭はもちろん自分で焼いた炭です。（本ゼミとは別の体験活動プログラムでは、罠を掛けてイノシシを捕獲することから始め、イノシシの命を奪い、解体・精肉し、最終的にソーセージに加工するまでの全工程を体験することができます。少しばかりディープですが、本ゼミの先にはそのような体験も用意してあります。そちらも来年度にどうぞ。）

竹林の問題と獣害の問題は異なる問題ですが、実は本質的に同根の問題と考えることもできるそんな思いを、竹炭による原因獣の BBQ という妙味を楽しみながら巡らしてみるというのが、体験ゼミならではの思索と言えるでしょう。

しかめっ面をしなくたって、重大な問題を捉えたり考えたりすることができる、そんな体験を楽しんでいただきたい。ゼミ後は、ゼミをじっくり振り返りつつ次のゼミの運営に参画する「伊豆に学ぶプラス」、より創造的に取り組む「企画系さらに伊豆に学ぶ」につなげてもらいたい。

※このゼミは９月２６日（木）18 時 40 分～19 時 45 分に 1313 教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。

評価方法

駒場での事前講義と現地講義での取り組み姿勢とレポートで合否を判定する。
志望者多数の場合、初回講義（ガイダンス）の出席者を優先する。

教科書

教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス

特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/9/27　6 限／6th Period　11 号館 1102 教室（９/２４、２７、１０/３、１１/２７も同様）※10/3 は５限

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60223	Ａ２	伊豆に学ぶ—熱帯植物編—後編 無意識に食べてきたチョコレートを教材に据えてみて初めて見えるコト	鴨田 重裕 下村 彰男	農学部	集中	1	シラバス参照	1年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意１】web 版シラバスに申込方法などの重要な伝達事項を記してあります。長文ですが、必ず良くお読みください。
【注意２】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分にご注意ください。

はじめに

体験ゼミ「伊豆に学ぶ」シリーズは、山のことや自然のことにあまり詳しくない初心者向けの講義です。垣根を低く設定してありますし、分かり易いことと伝わり易いことを心がけて、工夫して組み立てた体験型のゼミですから、知りたいという思いさえあれば、色々なことを学べます。例えば初日に菜の花畑と早咲きの河津桜を見学します。もちろんぼんやり眺めても楽しめる装置であることは間違いありません。あなたが観光客ならば「わー。きれい！ 超ヤバー」とか言っていればいいのかも知れません。でも、ゼミの視点で眺めてみると、そこからも数々の学びや気付きを引き出すことができることに気付きます。そして、ゼミでその様な取り組みをする方が、ずっとおもしろいことに気付くはずです。このように伊豆ゼミでは、受講学生それぞれが感じることと考えることを特に大切にしています。

また、伊豆ゼミでは東大生のまじめな一面を引き出して、一人一人が魅力ある人格として、相互に作用しあったり高めあったりするそういった「場」を提供したいと考えています。東京大学が総合大学であることを満喫していただけるようなゼミを目指します。自分とは背景の異なる人が、何をどの様に捉え、感じ、考えるのかを知ることは、お互いにとても刺激的な体験となります。思いがけないインスピレーションを得ることもあるでしょう。

伊豆に学ぶ－熱帯植物編－にも通底する背景

「伊豆に学ぶ」シリーズは、人と自然のつながりや、人と人のつながり、そして現代社会において見えにくい「プロセス」が見えてくる仕掛けであることを基本としている。そのコンセプトは熱帯編でも同じである。チョコレートやプリンが大好きという人は少なくないであろう。それらの原料が、カカオやバニラという植物由来であることを知っている人も少なくなかろう。しかし、それらがどういう植物なのか、実物を見たり触ったりしたことがある人はいるだろうか。実際にカカオを焙煎して、細かく挽いてカカオバターと混ぜて練ったことがある人はいるだろうか。その製造の過程で、きめ細かい温度制御が求められることを知っている人は果たしているだろうか。このゼミ中に完成させるカカオを出発材料とする手作りチョコレート（ビーントゥーバー）は、それはそれは価値あるものであることは間違いない。是非、店で売っている普通に手に入るチョコレートと食べ比べていただきたい。その体験こそが、このゼミでしかお伝えできない事だと言っても過言ではない。手作りした甲斐あって美味しいのか？をここで言及することは無意味だ。それを伊豆に来て実際に確認して欲しい。

本ゼミは農学生命科学研究科附属演習林の樹芸研究所で展開される。樹芸研究所と聞いて「樹芸」ってなんだ？？と思うだろうか。「樹芸」とは樹に親しみ、樹を暮らしに役立て、樹を育むことを包含する言葉と私たちは定義している。樹芸研究所が開講する一連の体験ゼミは「人の暮らしと生態系の関わり」を基調に、「樹芸」体験を盛り込んで、学ぶということの原点を見直すことに重きを置いている。「伊豆に学ぶ—熱帯植物編—」は森林・樹木の物質生産機能に重点を置いた体験ゼミで、熱帯植物を使う樹芸体験を用意している。チョコレートやプリンやバニラアイスなど、私たちの日常生活において在り来たりになっているモノたちに焦点を当て、日頃の生活において見ようともしない・気付こうともしない、見えにくい「プロセス」を探る旅に出よう。熱帯まで足を運んでもできないことを、東大生はなんと伊豆で体験デキルのだ。

樹芸研究所と下賀茂寮のある伊豆半島南部は、シイ・カシの常緑広葉樹が優占する森林が多いのですが、かつて人の暮らしに役立てるために植えられた竹林が人の暮らしぶりの変容に従って放置され大きな問題となっています。この問題は、人間の勝手で自然を乱開発して破壊するという種類の問題ではなく、長い年月行ってきた自然への干渉の手を引いて放ったらかすという点に大きな特徴があります。

意識してみるとそういう現象は他にもたくさんあることに気付くでしょう。このゼミナールではその問題の竹林の有効利用の一つとして竹炭生産をとりあげ、竹の伐採、窯詰め、炭焼きの作業を行いながら、これらの問題の本質が何なのかを一緒に考えてみましょう。簡単に「考えてみよう」と書きましたが、考える前にまず感じられる「感性」を研く必要があるかも知れません。本ゼミでは「そこ」の部分が大切です。ただ「炭焼きを体験したことがある東大生」を育てたいわけではないのです。

伊豆ゼミの流れ

竹炭焼きの待ち時間には、樹芸研究所の森林を見てもらいます。近年大きな問題となっている獣害の現場をよく見てもらうこともゼミの重要なポイントです。山をぼんやりと歩いても何が獣害の痕跡なのか分からないかも知れません。まずは、その「分からない状態」を正しく認識することもとても重要だと考えています。モノを見る訓練をしていくとやがて心の底から「獣害ヤバイ！」と思えるようになるはずです。本ゼミでは、その様に自分が変化していくプロセスを意識的に体験できるような仕掛けがいくつも仕込んであります。

獣害問題を少し自分の問題と捉えることができるようになったところで、原因獣の対処法の一例として、原因獣を野菜などと一緒に竹炭で炙る処分法（BBQ）の実施を計画しています。BBQ の燃料にする竹炭はもちろん自分で焼いた炭です。(本ゼミとは別の体験活動プログラムでは、罠を掛けてイノシシを捕獲することから始め、イノシシの命を奪い、解体・精肉し、最終的にソーセージに加工するまでの全工程を体験することができます。少しばかりディープですが、本ゼミの先にはそのような体験も用意してあります。そちらも来年度にどうぞ。)

竹林の問題と獣害の問題は異なる問題ですが、実は本質的に同根の問題と考えることもできるそんな思いを、竹炭による原因獣の BBQ という妙味を楽しみながら巡らしてみるというのが、体験ゼミならではの思索と言えるでしょう。

しかめっ面をしなくたって、重大な問題を捉えたり考えたりすることができる、そんな体験を楽しんでいただきたい。ゼミ後は、ゼミをじっくり振り返りつつ次のゼミの運営に参画する「伊豆に学ぶプラス」、より創造的に取り組む「企画系さらに伊豆に学ぶ」につなげてもらいたい。

※このゼミは９月２６日（木）18 時 40 分～19 時 45 分に 1313 教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。

評価方法　駒場での事前講義と現地講義での取り組み姿勢とレポートで合否を判定する。
志望者多数の場合、初回講義（ガイダンス）の出席者を優先する。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/9/27　6 限／6th Period　11 号館 1102 教室（９/２４、２７、１０/３、１１/２７も同様）※10/3 は５限

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60224	Ａ２	伊豆に学ぶ２－前編 竹炭焼き、山、桜、菜の花、温泉など自然と人の繋がりをまなぶ	鴨田 重裕、下村 彰男	農学部	集中	1	シラバス参照	1年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意１】web 版シラバスに申込方法などの重要な伝達事項をまとめてあります。必ず良くお読みください。
【注意２】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

はじめに

体験ゼミ「伊豆に学ぶ」シリーズは、山のことや自然のことにあまり詳しくない初心者向けの講義です。垣根を低く設定してありますし、分かり易いことと伝わり易いことを心がけて、工夫して組み立てた体験型のゼミですから、知りたいという思いさえあれば、色々なことを学べます。例えば初日に菜の花畑と早咲きの河津桜を見学します。もちろんぼんやり眺めても楽しめる装置であることは間違いありません。あなたが観光客ならば「わー。きれい！ 超ヤバー」とか言っていればいいのかも知れません。でも、ゼミの視点で眺めてみると、そこからも数々の学びや気付きを引き出すことができることに気付きます。そして、ゼミでその様な取り組みをする方が、ずっとおもしろいことに気付くはずです。このように伊豆ゼミでは、受講学生それぞれが感じることと考えることを特に大切にしています。

また、伊豆ゼミでは東大生のまじめな一面を引き出して、一人一人が魅力ある人格として、相互に作用しあったり高めあったりするそういった「場」を提供したいと考えています。東京大学が総合大学であることを満喫していただけるようなゼミを目指します。自分とは背景の異なる人が、何をどの様に捉え、感じ、考えるのかを知ることは、お互いにとても刺激的な体験となります。思いがけないインスピレーションを得ることもあるでしょう。

体験ゼミ「伊豆に学ぶ」の背景

樹芸研究所と下賀茂寮のある伊豆半島南部は、シイ・カシの常緑広葉樹が優占する森林が多いのですが、かつて人の暮らしに役立てるために植えられた竹林が人の暮らしぶりの変容に従って放置され大きな問題となっています。この問題は、人間の勝手で自然を乱開発して破壊するという種類の問題ではなく、長い年月行ってきた自然への干渉の手を引いて放ったらかすという点に大きな特徴があります。

意識してみるとそういう現象は他にもたくさんあることに気付くでしょう。このゼミナールではその問題の竹林の有効利用の一つとして竹炭生産をとりあげ、竹の伐採、窯詰め、炭焼きの作業を行いながら、これらの問題の本質が何なのかを一緒に考えてみましょう。簡単に「考えてみよう」と書きましたが、考える前にまず感じられる「感性」を研く必要があるかも知れません。本ゼミでは「そこ」の部分が大切です。ただ「炭焼きを体験したことがある東大生」を育てたいわけではないのです。

伊豆ゼミの流れ

竹炭焼きの待ち時間には、樹芸研究所の森林を見てもらいます。近年大きな問題となっている獣害の現場をよく見てもらうこともゼミの重要なポイントです。山をぼんやりと歩いても何が獣害の痕跡なのか分からないかも知れません。まずは、その「分からない状態」を正しく認識することもとても重要だと考えています。モノを見る訓練をしていくとやがて心の底から「獣害ヤバイ！」と思えるようになるはずです。本ゼミでは、その様に自分が変化していくプロセスを意識的に体験できるような仕掛けがいくつも仕込んであります。

獣害問題を少し自分の問題と捉えることができるようになったところで、原因獣の対処法の一例として、原因獣を野菜などと一緒に竹炭で炙る処分法（BBQ）の実施を計画しています。BBQ の燃料にする竹炭はもちろん自分で焼いた炭です。（本ゼミとは別の体験活動プログラムでは、罠を掛けてイノシシを捕獲することから始め、イノシシの命を奪い、解体・精肉し、最終的にソーセージに加工するまでの全工程を体験することができます。少しばかりディープですが、本ゼミの先にはそのような体験も用意してあります。そちらも来年度にどうぞ。）

竹林の問題と獣害の問題は異なる問題ですが、実は本質的に同根の問題と考えることもできるそんな思いを、竹炭による原因獣の BBQ という妙味を楽しみながら巡らしてみるというのが、体験ゼミならではの思索と言えるでしょう。

しかめっ面をしなくたって、重大な問題を捉えたり考えたりすることができる、そんな体験を楽しんでいただきたい。

伊豆はまた温泉の地であるので温泉と景観に関する特別講義を行います。温泉と言えば湯に浸かることしか思わないかも知れませんが、おもしろい見方があることに驚くことでしょう。もちろん講義で温泉知識を涵養した後には、源泉１００％の天然温泉を堪能していただきます。ちょうど見頃を迎える河津桜と菜の花畑を観察し、人の暮らしと景観についても思索を巡らせてみましょう。本体験ゼミナールが目指すものは、かつては当たり前だった人間の生活の原点を見直すことにあります。現代社会では見えにくくなっている様々の「つながり」が見えるきっかけが得られます。
堅苦しく考える必要はありません。真剣にゼミを楽しんでもらいたいと思います。
竹炭焼きというちょっと非日常的な体験を通して、ふだんあまり意識しないで通り過ぎてしまうことがいかに多いかを意識しながら、ゼミで用意したアクティビティを通して様々なことを体験しつつ、楽しく学んでください。

受講生にとって有意義なゼミに仕上がることを一番大切にします。

ゼミ後は、ゼミをじっくり振り返りつつ次のゼミの運営に参画する「伊豆に学ぶプラス」や学園祭企画に取り組む「企画系ゼミ」につなげてもらいたい。

楽単ではない、楽しい伊豆ゼミをぜひご堪能いただきたい。

※このゼミは９月２６日（木）18 時 40 分～19 時 45 分に 1313 教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。

評価方法　駒場での事前講義と現地講義での取り組み姿勢とレポートを重視します。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/10/03　5 限／5th Period　11 号館 1102 教室（９/２４、２７、１０/３、１１/２７も同様）※10/3 は５限

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60225	Ａ２	伊豆に学ぶ２－後編 竹炭焼き、山、桜、菜の花、温泉など自然と人の繋がりをまなぶ	鴨田 重裕、 下村 彰男	農学部	集中	1	シラバス参照	1年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意１】web 版シラバスに申込方法などの重要な伝達事項をまとめてあります。必ず良くお読みください。
【注意２】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

はじめに

体験ゼミ「伊豆に学ぶ」シリーズは、山のことや自然のことにあまり詳しくない初心者向けの講義です。垣根を低く設定してありますし、分かり易いことと伝わり易いことを心がけて、工夫して組み立てた体験型のゼミですから、知りたいという思いさえあれば、色々なことを学べます。例えば初日に菜の花畑と早咲きの河津桜を見学します。もちろんぼんやり眺めても楽しめる装置であることは間違いありません。あなたが観光客ならば「わー。きれい！ 超ヤバー」とか言っていればいいのかも知れません。でも、ゼミの視点で眺めてみると、そこからも数々の学びや気付きを引き出すことができることに気付きます。そして、ゼミでその様な取り組みをする方が、ずっとおもしろいことに気付くはずです。このように伊豆ゼミでは、受講学生それぞれが感じることと考えることを特に大切にしています。

また、伊豆ゼミでは東大生のまじめな一面を引き出して、一人一人が魅力ある人格として、相互に作用しあったり高めあったりするそういった「場」を提供したいと考えています。東京大学が総合大学であることを満喫していただけるようなゼミを目指します。自分とは背景の異なる人が、何をどの様に捉え、感じ、考えるのかを知ることは、お互いにとても刺激的な体験となります。思いがけないインスピレーションを得ることもあるでしょう。

体験ゼミ「伊豆に学ぶ」の背景

樹芸研究所と下賀茂寮のある伊豆半島南部は、シイ・カシの常緑広葉樹が優占する森林が多いのですが、かつて人の暮らしに役立てるために植えられた竹林が人の暮らしぶりの変容に従って放置され大きな問題となっています。この問題は、人間の勝手で自然を乱開発して破壊するという種類の問題ではなく、長い年月行ってきた自然への干渉の手を引いて放ったらかすという点に大きな特徴があります。

意識してみるとそういう現象は他にもたくさんあることに気付くでしょう。このゼミナールではその問題の竹林の有効利用の一つとして竹炭生産をとりあげ、竹の伐採、窯詰め、炭焼きの作業を行いながら、これらの問題の本質が何なのかを一緒に考えてみましょう。簡単に「考えてみよう」と書きましたが、考える前にまず感じられる「感性」を研く必要があるかも知れません。本ゼミでは「そこ」の部分が大切です。ただ「炭焼きを体験したことがある東大生」を育てたいわけではないのです。

伊豆ゼミの流れ

竹炭焼きの待ち時間には、樹芸研究所の森林を見てもらいます。近年大きな問題となっている獣害の現場をよく見てもらうこともゼミの重要なポイントです。山をぼんやりと歩いても何が獣害の痕跡なのか分からないかも知れません。まずは、その「分からない状態」を正しく認識することもとても重要だと考えています。モノを見る訓練をしていくとやがて心の底から「獣害ヤバイ！」と思えるようになるはずです。本ゼミでは、その様に自分が変化していくプロセスを意識的に体験できるような仕掛けがいくつも仕込んであります。

獣害問題を少し自分の問題と捉えることができるようになったところで、原因獣の対処法の一例として、原因獣を野菜などと一緒に竹炭で炙る処分法（BBQ）の実施を計画しています。BBQ の燃料にする竹炭はもちろん自分で焼いた炭です。（本ゼミとは別の体験活動プログラムでは、罠を掛けてイノシシを捕獲することから始め、イノシシの命を奪い、解体・精肉し、最終的にソーセージに加工するまでの全工程を体験することができます。少しばかりディープですが、本ゼミの先にはそのような体験も用意してあります。そちらも来年度にどうぞ。）

竹林の問題と獣害の問題は異なる問題ですが、実は本質的に同根の問題と考えることもできるそんな思いを、竹炭による原因獣の BBQ という妙味を楽しみながら巡らしてみるというのが、体験ゼミならではの思索と言えるでしょう。

しかめっ面をしなくたって、重大な問題を捉えたり考えたりすることができる、そんな体験を楽しんでいただきたい。

伊豆はまた温泉の地であるので温泉と景観に関する特別講義を行います。温泉と言えば湯に浸かることしか思わないかも知れませんが、おもしろい見方があることに驚くことでしょう。もちろん講義で温泉知識を涵養した後には、源泉１００％の天然温泉を堪能していただきます。ちょうど見頃を迎える河津桜と菜の花畑を観察し、人の暮らしと景観についても思索を巡らせてみましょう。本体験ゼミナールが目指すものは、かつては当たり前だった人間の生活の原点を見直すことにあります。現代社会では見えにくくなっている様々の「つながり」が見えるきっかけが得られます。

堅苦しく考える必要はありません。真剣にゼミを楽しんでもらいたいと思います。

竹炭焼きというちょっと非日常的な体験を通して、ふだんあまり意識しないで通り過ぎてしまうことがいかに多いかを意識しながら、ゼミで用意したアクティビティを通して様々なことを体験しつつ、楽しく学んでください。

受講生にとって有意義なゼミに仕上がることを一番大切にします。
ゼミ後は、ゼミをじっくり振り返りつつ次のゼミの運営に参画する「伊豆に学ぶプラス」や学園祭企画に取り組む「企画系ゼミ」につなげてもらいたい。

楽単ではない、楽しい伊豆ゼミをぜひご堪能いただきたい。

※このゼミは９月２６日（木）18 時 40 分～19 時 45 分に 1313 教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。

評価方法　駒場での事前講義と現地講義での取り組み姿勢とレポートを重視します。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/10/03　5 限／5th Period1　1 号館 1102 教室（９/２４、２７、１０/３、１１/２７も同様）※10/3 は５限

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60226	Ａ２	伊豆に学ぶ３ 前編 竹炭焼き、山、桜、菜の花、温泉など自然と人の繋がりをまなぶ	鴨田 重裕	農学部	集中	1	シラバス参照	1年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意１】web 版シラバスに申込方法などの重要な伝達事項をまとめてあります。必ず良くお読みください。
【注意２】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。
【注意３】このゼミではイノシシソーセージを手作りします。手作りしたソーセージは学園祭で来訪者に提供します。学園祭に参加する意志ある人を優先することがあります。

はじめに
　体験ゼミ「伊豆に学ぶ」シリーズは、山のことや自然のことにあまり詳しくない初心者向けの講義です。垣根を低く設定してありますし、分かり易いことと伝わり易いことを心がけて、工夫して組み立てた体験型のゼミですから、知りたいという思いさえあれば、色々なことを学べます。例えば初日に菜の花畑と早咲きの河津桜を見学します。もちろんぼんやり眺めても楽しめる装置であることは間違いありません。でも、ゼミの視点で眺めてみると、そこからも数々の学びや気付きを引き出すことができることに気付きます。このように伊豆ゼミでは、受講学生各人が感じることと考えることを特に大切にしています。また、伊豆ゼミでは東大生のまじめな一面を引き出して、一人一人が魅力ある人格として、相互に作用しあったり高めあったりするそういった「場」を提供したいと考えています。東京大学が総合大学であることを満喫していただけるようなゼミを目指します。自分とは背景の異なる人が、何をどの様に捉え、感じ、考えるのかを知ることは、お互いにとても刺激的な体験となります。思いがけないインスピレーションを得ることもあるでしょう。

体験ゼミ「伊豆に学ぶ」の背景
　樹芸研究所と下賀茂寮のある伊豆半島南部は、シイ・カシの常緑広葉樹が優占する森林が多いのですが、かつて人の暮らしに役立てるために植えられた竹林が人の暮らしぶりの変容に従って放置され大きな問題となっています。この問題は、人間の勝手で自然を乱開発して破壊するという種類の問題ではなく、長い年月行ってきた自然への干渉の手を引いて放ったらかすという点に大きな特徴があります。意識してみるとそういう現象は他にもたくさんあることに気付くでしょう。このゼミナールではその問題の竹林の有効利用の一つとして竹炭生産をとりあげ、竹の伐採、窯詰め、炭焼きの作業を行いながら、これらの問題の本質が何なのかを一緒に考えてみましょう。簡単に「考えてみよう」と書きましたが、考える前にまず感じられる「感性」を研く必要があるかも知れません。本ゼミでは「そこ」の部分が大切です。ただ「炭焼きを体験したことがある東大生」を育てたいわけではないのです。

伊豆ゼミの流れ
　竹炭焼きの待ち時間には、樹芸研究所の森林を見てもらいます。近年大きな問題となっている獣害の現場をよく見てもらうこともゼミの重要なポイントです。山をぼんやりと歩いても何が獣害の痕跡なのか分からないかも知れません。まずは、その「分からない状態」を正しく認識することもとても重要だと考えています。モノを見る訓練をしていくとやがて心の底から「獣害ヤバイ！」と思えるようになるはずです。本ゼミでは、その様に自分が変化していくプロセスを意識的に体験できるような仕掛けがいくつも仕込んであります。
　獣害問題を少し自分の問題と捉えることができるようになったところで、原因獣の対処法の一例として、ソーセージ作りを計画しています。時間の都合で「罠を掛けてイノシシを捕獲・イノシシの命を奪う・解体」の部分は端折ります。そちらの体験は伊豆で提供する体験活動プログラムで行えます。少しばかりディープですが、そちらもどうぞ。
竹林の問題と獣害の問題は異なる問題ですが、実は本質的に同じ問題と考えることもできる、そんな思いを竹炭による原因獣の BBQ という妙味を楽しみながら巡らしてみるというのが、体験ゼミならではの思索と言えるでしょう。しかめっ面しなくても、重大な問題を捉えることができる、そんな体験を楽しんでいただきたい。
　「伊豆に学ぶ３」はもう少し欲張ってチョコレート作りも体験してもらいます。ですから「伊豆に学ぶ 熱帯植物編」のシラバスにも目通しください。
　ちょうど見頃を迎える河津桜と菜の花畑を観察し、人の暮らしと景観についても思索を巡らせてみましょう。本体験ゼミナールが目指すものは、かつては当たり前だった人間の生活の原点を見直すことにあります。現代社会では見えにくくなっている様々の「つながり」が見えるきっかけが得られます。
　堅苦しく考える必要はありません。真剣にゼミを楽しんでもらいたいと思います。
　竹炭焼きというちょっと非日常的な体験を通して、ふだんあまり意識しないで通り過ぎてしまうことがいかに多いかを意識しながら、ゼミで用意したアクティビティを通して様々なことを体験しつつ、楽しく学んでください。
　受講生にとって有意義なゼミに仕上がることを一番大切にします。
　ゼミ後は、ゼミをじっくり振り返りつつ次のゼミの運営に参画する「伊豆に学ぶプラス」や学園祭企画に取り組む「企画系ゼミ」(全学自由研究ゼミ「ジビエを通して獣害問題と向き合う」「ビーントゥバーチョコレート作り体験から学ぶべきこと」) につなげてもらいたい。
　楽単ではない、楽しい伊豆ゼミをぜひご堪能いただきたい。

※このゼミは 9 月 27 日（木）18 時 40 分～19 時 45 分に 1313 教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。

評価方法　駒場での事前講義と現地講義での取り組み姿勢とレポートを重視します。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/11/27　6 限／6th Period1　1 号館 1102 教室（９/２４、２７、１０/３、１１/２７も同様）※10/3 は５限

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60227	Ａ２	伊豆に学ぶ３　後編 竹炭焼き、山、桜、菜の花、温泉など自然と人の繋がりをまなぶ	鴨田 重裕	農学部	集中	1	シラバス参照	1 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意１】web 版シラバスに申込方法などの重要な伝達事項をまとめてあります。必ず良くお読みください。
【注意２】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。
【注意３】このゼミではイノシシソーセージを手作りします。手作りしたソーセージは学園祭で来訪者に提供します。学園祭に参加する意志ある人を優先することがあります。

はじめに
　体験ゼミ「伊豆に学ぶ」シリーズは、山のことや自然のことにあまり詳しくない初心者向けの講義です。垣根を低く設定してありますし、分かり易いことと伝わり易いことを心がけて、工夫して組み立てた体験型のゼミですから、知りたいという思いさえあれば、色々なことを学べます。例えば初日に菜の花畑と早咲きの河津桜を見学します。もちろんぼんやり眺めても楽しめる装置であることは間違いありません。でも、ゼミの視点で眺めてみると、そこからも数々の学びや気付きを引き出すことができることに気付きます。このように伊豆ゼミでは、受講学生各人が感じることと考えることを特に大切にしています。また、伊豆ゼミでは東大生のまじめな一面を引き出して、一人一人が魅力ある人格として、相互に作用しあったり高めあったりするそういった「場」を提供したいと考えています。東京大学が総合大学であることを満喫していただけるようなゼミを目指します。自分とは背景の異なる人が、何をどの様に捉え、感じ、考えるのかを知ることは、お互いにとても刺激的な体験となります。思いがけないインスピレーションを得ることもあるでしょう。

体験ゼミ「伊豆に学ぶ」の背景
　樹芸研究所と下賀茂寮のある伊豆半島南部は、シイ・カシの常緑広葉樹が優占する森林が多いのですが、かつて人の暮らしに役立てるために植えられた竹林が人の暮らしぶりの変容に従って放置され大きな問題となっています。この問題は、人間の勝手で自然を乱開発して破壊するという種類の問題ではなく、長い年月行ってきた自然への干渉の手を引いて放ったらかすという点に大きな特徴があります。意識してみるとそういう現象は他にもたくさんあることに気付くでしょう。このゼミナールではその問題の竹林の有効利用の一つとして竹炭生産をとりあげ、竹の伐採、窯詰め、炭焼きの作業を行いながら、これらの問題の本質が何なのかを一緒に考えてみましょう。簡単に「考えてみよう」と書きましたが、考える前にまず感じられる「感性」を研く必要があるかも知れません。本ゼミでは「そこ」の部分が大切です。ただ「炭焼きを体験したことがある東大生」を育てたいわけではないのです。

伊豆ゼミの流れ
　竹炭焼きの待ち時間には、樹芸研究所の森林を見てもらいます。近年大きな問題となっている獣害の現場をよく見てもらうこともゼミの重要なポイントです。山をぼんやりと歩いても何が獣害の痕跡なのか分からないかも知れません。まずは、その「分からない状態」を正しく認識することもとても重要だと考えています。モノを見る訓練をしていくとやがて心の底から「獣害ヤバイ！」と思えるようになるはずです。本ゼミでは、その様に自分が変化していくプロセスを意識的に体験できるような仕掛けがいくつも仕込んであります。
　獣害問題を少し自分の問題と捉えることができるようになったところで、原因獣の対処法の一例として、ソーセージ作りを計画しています。時間の都合で「罠を掛けてイノシシを捕獲・イノシシの命を奪う・解体」の部分は端折ります。そちらの体験は伊豆で提供する体験活動プログラムで行えます。少しばかりディープですが、そちらもどうぞ。
竹林の問題と獣害の問題は異なる問題ですが、実は本質的に同じ問題と考えることもできる、そんな思いを竹炭による原因獣の BBQ という妙味を楽しみながら巡らしてみるというのが、体験ゼミならではの思索と言えるでしょう。しかめっ面しなくても、重大な問題を捉えることができる、そんな体験を楽しんでいただきたい。
　「伊豆に学ぶ３」はもう少し欲張ってチョコレート作りも体験してもらいます。ですから「伊豆に学ぶ 熱帯植物編」のシラバスにも目通しください。
　ちょうど見頃を迎える河津桜と菜の花畑を観察し、人の暮らしと景観についても思索を巡らせてみましょう。本体験ゼミナールが目指すものは、かつては当たり前だった人間の生活の原点を見直すことにあります。現代社会では見えにくくなっている様々の「つながり」が見えるきっかけが得られます。
　堅苦しく考える必要はありません。真剣にゼミを楽しんでもらいたいと思います。
　竹炭焼きというちょっと非日常的な体験を通して、ふだんあまり意識しないで通り過ぎてしまうことがいかに多いかを意識しながら、ゼミで用意したアクティビティを通して様々なことを体験しつつ、楽しく学んでください。
　受講生にとって有意義なゼミに仕上がることを一番大切にします。
　ゼミ後は、ゼミをじっくり振り返りつつ次のゼミの運営に参画する「伊豆に学ぶプラス」や学園祭企画に取り組む「企画系ゼミ」（全学自由研究ゼミ「ジビエを通して獣害問題と向き合う」「ビーントゥバーチョコレート作り体験から学ぶべきこと」）につなげてもらいたい。
　楽単ではない、楽しい伊豆ゼミをぜひご堪能いただきたい。

※このゼミは 9 月 27 日（木）18 時 40 分～19 時 45 分に 1313 教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。

評価方法　駒場での事前講義と現地講義での取り組み姿勢とレポートを重視します。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/11/27　6 限／6th Period　11 号館 1102 教室（9/２４、２７、１０/３、１１/２７も同様）※10/3 は５限

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60228	Ａ２	森に学ぶ 森林・林業を意識しながら歩く低山 Ａ２	鴨田 重裕	農学部	集中	1	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は高校時代に山岳部やワンダーフォーゲル部に所属した人を対象とするものではありません。山野に興味ある人に、安全に山を楽しんでもらい、同時に山や森林で営まれる林業を意識し考えてもらうために実施する講義です。人並みの体力は必要ですが、山歩きとしては初級向けですので誰でも参加できます。

あなたはふらのゼミの既修者あるいは未修者？
　このゼミは夏に富良野岳に登った学生に、ふらのゼミで得た視点を持って、もう少し身近な山を森林・林業を意識しながら歩く機会を提供することを目的に立ち上げた講義です。でも、興味を持ってこのシラバスを眺めてくれているのでしたら、あなたが未修者であったとしても何も問題ないでしょう。このゼミを契機として来年のふらのゼミに繋がることを期待したいと思います。
　北海道・富良野を舞台に展開したふらのゼミでは、ゆっくりと、足下の植物たちを観察しながら、空気を、日差しを、そして歩くことそれ自体を楽しみながら歩けたでしょうか？大自然を十分に満喫したその次に、人が向きあう林業の森に向かいましたが、そこでは人が自然に向き合う営み、すなわち一次産業を意識することができたでしょうか？もう一度意識しながら山を歩いてみる、本ゼミはふらのゼミを補完することを強く意識してデザインしました。
森に何を学ぶべきでしょう。何を学ぶべきかを考えに森に誘う。そういうゼミにします。
　夏ゼミで登った富良野岳は森林限界を超える世界を垣間見るという点で、ある意味で特別な体験であったと思います。本ゼミ「森に学ぶ 森林・林業を意識しながら歩く低山」では、富良野岳に比べればもっとありふれた山を歩きます。少し意識して歩く低山をお楽しみいただきたいと思っています。
　大方の日本人（もちろん東大生も含め）は日本は先進国だと思っていると思います。先進国とは一次産業を捨て高次産業にシフトすることを意味するのでしょうか？大卒エリート（？）は一次産業に携わらない？携わる必要がない？本当にそれでよいのしょうか？
　ふらのゼミで自然の中にどっぷりと身を置いたことで、ちょっと内に変化が起った君たちには（来年度そういう変化を体験しようと思う君にも）、たっぷりとその様なことを考えてもらいたい。答えはない。答えは君達が積み上げていくものなのです。よく考えたあとで、仕上げにもう一度大自然の中に身を置いてみよう。

※このゼミは９月２６日（木）18 時 40 分～19 時 45 分に 1313 教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。

評価方法　講義の受講態度により合否を判定します。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/9/27　5 限／5th Period「伊豆に学ぶ」と同じ教室で。１０／３の６限もアリ

「国際研修」の履修について

国際研修の各授業では、以下の共通目標が定められている。

異なる言語・文化の環境に触れ、国際交流の現場を体験し、グローバルな視野を養う機会を得る。

授業内容としては、（１）海外の学生との合同学習などを含む短期の海外研修、（２）海外教育機関との海外での共同教育プログラム、（３）海外の学生との日本国内での研修、（４）海外の教育機関が提供するプログラムを利用した研修、といったさまざまな活動がある。そのような機会によって得られる成果が、主題科目の単位として認定される。

国際研修の受講にあたっては、海外渡航経験の有無は問わない。国際研修はむしろ、学生にとってのはじめての海外経験を、後押しする科目である。進んで自分の視野を開こうとする、学生の積極的な参加姿勢がのぞまれる。

授業によっては、参加者の選抜を行ったり、ある水準以上の語学力を求めたりする場合がある。研修のため海外に渡航する前に事前講義が実施される授業や、他の科目の履修が条件とされる授業もある。履修科目登録期間後に選抜の結果が発表される授業もある。その場合は履修を希望する授業にまず登録し、選抜にもれた場合は履修科目確認・訂正期間に登録を削除すること。また、履修が許可された後から出発までの期間の履修の辞退は、担当教員に膨大な負担をかけることになるので、あらかじめ十分に授業内容、渡航に際する留意事項、費用を確認して履修登録すること（履修を取りやめることで学生個人に対して生じるキャンセル料は原則学生負担になる）。学生が負担する費用については、授業によって異なる。それぞれの授業のシラバスを参照し、ガイダンスに出席して説明を受けること。

国際研修

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	教室	対象
51503	A	変容するメキシコを理解する	受田 宏之	集中	2	K303	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が進級要件（2014 年度以前入学者）・前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

本研修プログラムでは、2020 年 2 月から 3 月にかけて 2 週間ほどメキシコ各地を訪問します。参加学生は、スペイン語力の向上はいうまでもなく、日本では到底得られないだろう知見を得ることが期待されます。「ラテンアメリカに興味があるけれども長期間留学するのは難しい」という学生に、特に勧めたいプログラムです。

スペイン語圏で最大の人口を誇るメキシコは、複雑な魅力に満ちた国です。ときに過酷でもある多様な自然は、各地域独自の農法や食文化を発展させてきました。日本には貧困や犯罪のニュースが入りがちですが、それらに対抗する市民社会の発達もみられます。600 万人ないしそれ以上ともされる先住民も、グローバリゼーションにしたたかに対応しています。首都のメキシコシティでは、まずメキシコ大学院大学（COLMEX）、メキシコ国立自治大学（UNAM）というラテンアメリカを代表する 2 つの大学との交流に励みます。ほかにも、ストリートチルドレンを支援する NPO を訪問する、人類学者の解説を聞きながら人類学博物館や近代美術館に行く等、様々な活動に取り組みます。現地の大学生にガイドをしてもらいつつ、旧市街など市内を観光する時間も設けます。メキシコシティ以外では、グアナファト州にある日系企業の自動車工場で社員と交流し、世界遺産である旧市街を散策し、ケレタロ州にある先住民コミュニティを訪れ、さらに南部ユカタン州にある個性豊かな農村に滞在します。

メキシコ研修は 3 度目となりますが、今回はアメリカにおけるトランプ政権の誕生、自国の政権交代など変化の最中にあるメキシコの現状を理解することに力点をおきます。

評価方法　事前講義への貢献、研修時の報告と姿勢、および報告書の内容に基づいて評価します。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time
2019/9/24　6 限　K303

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	教室	対象
51458	A	短期集中英語: オーストラリアで上級を目指す！／Intensive English: Forging an advanced level of English in Australia	岩原 紘伊	集中	2	シラバス参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が進級要件(2014 年度以前入学者)・前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

教室での体系的な英語学習と学外での活動を組み合わせ、実践的な英語運用力を向上させる。対象履修生は英語運用力の上級レベルを目指す学生とし、日本では体験できない様々な英語学習場面を経験し、新しい言語学習方法に触れ、今後の英語学習の可能性を広げることも目指す。オーストラリアにいる間は日本人同士でも英語でコミュニケーションをとることを求める。なお、本研修はオーストラリア国立大学の英語研修コースで実施するため、英語母語話者よりも非母語話者と話す機会が圧倒的に多いことは十分に理解すること。

成績評価係数が 3 点満点の 2.0 以上であれば、6 万円の奨学金が受給できる可能性が高いです（15 名まで）。成績評価係数の計算方法はこちらをご覧ください。https://goo.gl/sn9A9y

評価方法　合否評価。現地での活動状況、成果物、および帰国後のレポートを総合的に考慮して評価する。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	教室	対象
51460	A	中国語サマースクール	白 春花	集中	2	シラバス参照	2 年 文科 理科

授業の目標概要

■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。

【注意】この授業は選抜試験により履修者は決まっており、実施期間が既に終了しています。該当する履修者以外は履修登録しないよう注意してください。
【注意】この授業は開講日程の都合上、参加申し込みが通常と異なるため留意してください。

中国語を 1 年間学んだ学生を対象に、さらなる実力の養成のため、集中的に中国語を学ぶ特訓のプログラムを実施する。東アジアを足場に活躍する人材にとって、中国語は、中国の文化や社会を知るためだけでなく、世界的な知的交流に参画するための必須条件となるであろう。中国の現地で中国語に磨きをかけるとともに、フィールドワーク的な作業を通して、語学のスキルを磨きあげることをめざす。

評価方法　サマースクール期間中に実施するテスト、レポート等を総合的に評価する。
教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	教室	対象
51461	A	都市生活誌フィールドワーク実習	白 佐立	集中	2	シラバス参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

本講義では、中国・南京大学の学生と共に南京の市街地を歩き、街の人々の生活を観察・考察するフィールドワークを実施する。フィールドワークを通して南京の人々の生活に触れることで、人々の考え方や生活に対するリアルな理解、想像力を持つことを狙いとする。書籍やマスメディアからの情報を鵜呑みにするような〈情報の消費者〉ではなく、自らの眼と脚を使った体験から独自の視点と見解を創出する〈知の生産者〉を目指す、柔軟性と意欲とを有した学生の参加を期待する。
履修者には、1 週間のフィールドワーク期間中、ディスカッションとフィールドワーク（観察、聞き取り調査など）、発表を行ってもらう。履修希望者は 9 月に開催するガイダンスと事前講義ならびに事前フィールドワーク練習課題発表討論会に必ず参加すること。本講義は教養後期課程「都市生活誌フィールドワーク実習」の履修希望者と共に、レポート課題（ガイダンス時に説明）により派遣学生を選抜する。
なお、南京大生とは主に日本語と英語でコミュニケーションをとるため、中国語未習得者の参加も歓迎する。積極的にコミュニケーションを取る意欲こそが望まれる。

これまでのフィールドワークの内容は LAP ホームページ及び LAP 公式 FACEBOOK を参照のこと。

＊受講人数： 20 名以内（教養前期課程学生・教養後期課程学生併せて）
＊開講場所：中国・南京大学。フィールドワーク実施場所は南京市内。
＊開講期間：【予定】2020 年 3 月 1 日～8 日（前半）；3 月 15 日～22 日（後半）。前半、後半とも 7 泊 8 日で、それぞれ 10 名以内を派遣。ガイダンス、事前講義、事前フィールドワーク練習課題発表討論会への参加、及び帰国後、フィールドワークの内容をまとめた記事の提出は必須。
＊ガイダンス
　日時：2019 年 9 月 30 日（月）12：20～12：50
　場所：駒場国際教育研究棟（旧 6 号館）314 教室
＊選抜方法：履修希望者は必ずガイダンスに参加し、選考レポートを提出すること。
＊参加費用：派遣に必要な費用の一部は学生負担とする（詳細はガイダンス時に説明）。
＊単位登録についての説明は、ガイダンス時に行う。

講義に関する最新情報は LAP ホームページを参照すること。

評価方法　講義への参加状況および提出物で評価する
教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/9/30　国際教育研究棟（旧 6 号館）314 教室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	教室	対象
51462	A	台湾研修	阿古 智子	集中	2	シラバス参照	1 年 文科 理科

授業の目標概要

■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が進級要件（2014 年度以前入学者）・前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

台湾の大学、社会団体、文化団体、企業などを訪問し、日本統治の時代から国民党統治の時代、台湾人意識が高まる若者たちが民主化運動を展開する今日の台湾に至るまで、台湾の歴史と変化を現場で学ぶ。視察と交流は主に中国語で行い、これまで学んできた中国語の更なるブラッシュアップを図る。テーマ別に 2-3 人のチームを組み、日本語か英語のできる台湾の学生の支援を借りてフィールドワークを行い、インフォーマントから情報を得る。プログラムの最後には発表会を行う。

評価方法　講義、フィールドワークへの参加状況、プログラムの最後に行う発表、レポートを総合的に評価
教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
日時と場所は決まり次第連絡する

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	教室	対象
51463	A	イタリアで考古学を体験する	村松 真理子	集中	2	シラバス参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。

【注意】この授業は既に実施期間が終了しています。該当する履修者以外は履修登録しないよう注意してください。

ナポリ近郊、ソンマ・ヴェスヴィアーナ市にある本学の研究施設で考古学発掘を体験する。ローマ時代のヴィラ建築で、専門家とともに発掘の現場がどのようなものか見学するだけでなく、その作業を体験する。国際的なチームによる発掘現場の作業やネットワークにふれると同時に、ナポリ近辺の他の発掘調査や研究機関・ 考古学博物館・大学を訪ね、現地の文化遺産と記憶の継承の問題についても考える。。

評価方法　事前学習や帰国後の成果発表会への参加および現地での活動ぶりを評価し、あわせて帰国後の最終レポートを評価する
教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
日程は教務課掲示板および教養学部地域文化研究「イタリア地中海コース」の HP で知らせる

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	教室	対象
51466	A	TLP フランス語夏季研修	寺田 寅彦	集中	2	シラバス参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。

【注意】この授業は実施期間が既に終了しています。該当する履修者以外は履修登録しないよう注意してください。

アンジェ市（Angers）フランスでフランス語研修を行いフランス語の運用能力を高め、学生交流を行うことで高い国際感覚を養う。各国の学生と授業だけではなくエクスカーションや各種催しを通じて交流の現場を体験し、またホームステイ（予定）を通じて異なる言語・文化の環境に触れてグローバルな視野を養う機会を得る取り組みを行う

評価方法　研修への参加状況と現地での学習成果。
教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	教室	対象
60241	Ａ２	ドイツ語ＴＬＰ研修	森井 裕一	集中	2	シラバス参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が進級要件（2014 年度以前入学者）・前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

ドイツ語ＴＬＰクラスで学んだ知識を、ドイツ現地の大学の語学講座に通うことにより、さらに発展させると同時に、現地でのセミナー等に参加し、ドイツの社会と大学における実際のドイツ語の運用を体験する。
「国際研修」科目では、異なる言語・文化の環境に触れ、国際交流の現状を体験し、グローバルな視野を養う機会を得ることを目標とする。

評価方法　授業への参加と試験
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	教室	対象
60242	Ａ２	TLP フランス語春季研修	寺田 寅彦	集中	2	シラバス参照	1 年 文科 理科

授業の目標概要

■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が進級要件（2014 年度以前入学者）・前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

予定ではパリ市（フランス）、ブリュッセル市（ベルギー）でフランス語による発表を大学やフランス省庁で行いフランス語の運用能力を高め、学生交流や社会交流を行うことで高い国際感覚を養う。各国の学生と授業だけではなく各種催しを通じて交流の現場を体験し、また文化施設で異なる言語・文化の環境に触れてグローバルな視野を養う機会を得る取り組みを行う。

評価方法　研修への参加状況と現地での学習成果。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	教室	対象
60243	A 2	平和のために東大生ができること：トルクメニスタン研修	岡田 晃枝	集中	2	シラバス参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が進級要件・前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

ソ連崩壊にともない独立したトルクメニスタンは、隣接するアフガニスタンが混乱し、同じ中央アジアの国々の多くが内戦や民族衝突を経験する中、積極的中立政策をかかげ、治安の安定を保ってきている。豊富な天然ガスをもとに、経済的にも発展しつつある。その一方で、大統領の権限が非常に強い政治体制が「個人崇拝」「カルト的独裁」のように欧米の人権メディアから強く批判されている国でもある。

この研修では、「独裁」と呼ばれている国の実態がどのようなものであるか、その断片を知るとともに、閉鎖的な国であることからくる開発上の問題点を、国連の持続的開発目標（SDGs）に照らして学ぶ。強い権威主義体制の国で暮らし、その政府の方針のもとで教育を受けている、文化も規範も異なる若者たちと交流することで、コミュニケーションの重要性を身をもって知ることにもつながる。

なお、交流先大学の教授言語は英語であり、交流言語は英語とする。ロシア語が広く通じるので、ロシア語の習得を目指すロシア語学習者の履修も歓迎する。

＊この授業を履修するには、A セメスターに開講される全学自由研究ゼミナール「平和のために東大生ができること」を履修し、その授業の中で課される課題および面接を通じて選抜されることが必須要件である。授業のガイダンスは、全学ゼミ「平和のために東大生ができること」のガイダンスと同時に行う。履修希望者は必ず出席すること。

評価方法　研修準備への取組、研修中のコミットメント、研修後の報告書
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time
2019/9/26　5 限／5th Period　17 号館 KALS

PEAK 科目

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50663	A	社会科学ゼミナール (PEAK)	ジロドウ イザベル	PEAK 前期	水 4	517	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

■2016 年度以降入学の学生が履修する場合は、展開科目「社会科学ゼミナール」の科目として扱われます。
■2015 年度以前入学者は履修することができないので、注意してください。

講義題目
Global Environmental Justice

授業の目標概要
This course deals with global environmental justice in its various dimensions: institutional, legal, and political. We will start by examining the multifaceted character of global environmental justice and how it combines with emergent approaches such as Earth Jurisprudence, critical environmental law, eco-global criminology, and Earth system governance. Then, we will explore how the concept is used by different stakeholders in a variety of contexts. In so doing, we will reflect on the development of innovative platforms (such as the International Rights of Nature Tribunal) and new adjudication processes, from climate change litigation to ecocide. Through short interactive lectures, case studies, and role-play simulations, we will engage in a critical examination of the role played by courts in the shaping of global environmental governance.

評価方法
Evaluation is based on active participation to classroom discussions and team-based learning activities as described above (60%). In addition, students are asked to write two short individual essays (mid-term and final) (40%).

教科書
教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス
特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51440	A	自然科学ゼミナール (PEAK)	前田 章、ウッドワード・ジョナサン・ロジャー、甘蔗 寂樹	PEAK 前期	火 2	118	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

■2016 年度以降入学の学生が履修する場合は、展開科目「自然科学ゼミナール」の科目として扱われます。
■2015 年度以前入学者は履修することができないので、注意してください。

講義題目
Applications of Mathematics in the Sciences

授業の目標概要
This course is designed to demonstrate how mathematical concepts that U. Tokyo students have learned in their pure mathematics classes are used and applied in advanced studies in the natural and social sciences. Understanding applications of mathematics in the sciences allows students to understand what they have learned more deeply, and helps them to realize the importance of mathematics for their advanced studies in the Senior Division programs.

The course is delivered by three instructors from different fields of expertise, presenting three stories of the use of mathematics. Each part focuses on particular mathematical ideas and methods and gives examples of where they can be applied. The fields of academic discipline and topics are the following:

Part I (chemical and environmental engineering). Process modeling and control: Mathematical modelling and control systems related to industrial and environmental processes.

Part II (physics / chemistry). The mathematical description of quantum mechanics: Complex linear vector spaces and bra-ket notation and their application in describing the fundamental property of spin.

Part III (mathematical economics). Dynamic optimization and economic decision: Finding optimal lifelong consumption-savings plan.

評価方法
Grading for this course is based on those of three parts.
Part I: Assignments, attendance and participation
Part II: Assignments, quizzes, attendance and participation
Part III: In-class quizzes and attendance

教科書
授業中に指示をする。／Will specify at class time

ガイダンス
特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51394	A	哲学・倫理(PEAK)	ダルグリーシュ ブレガム	PEAK 前期	水 2	118	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 A（思想・芸術）の科目として扱われます。
■2014 年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。

講義題目
Intellectuals and Critique

授業の目標概要
Since the siècle des Lumières, (Western) philosophy has devoted itself to the production of knowledge which, amongst other things, establishes facts, anchors values, mediates justice and promises critique. This in turn has encouraged philosophers to side with society and speak the truth to power, especially in those moments when it tends to domination. Perhaps the most famous figure to deploy philosophy in this fashion has been the intellectual, yet in recent years the latter seems to have become a rare species, if not one that is near extinction. With the decline of the role of the intellectual the concomitant task of philosophy as the watchdog of power is brought into question, too. In this light, the course examines the role of the modern philosopher from the late 18th century up until the present. It surveys some paradigmatic cases, from the role of the legislator (Kant), clerc (Benda), freischwebende Intelligenz (Mannheim), organic intellectual (Gramsci), mandarin (Heidegger), critical theorist (Habermas) and engaged scholar (Chomsky), to the témoin engagé (Sartre), bi-dimensional critic (Bourdieu), interpreter (Walzer), specific intellectual (Foucault) or feminist activist (Haraway). In studying these roles, we inquire into what role the academic might assume and the accompanying form of criticism that philosophy could be assigned today.

評価方法
To be confirmed, but probably participation, presentation and essay

教科書
教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス
特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51436	A	思想・芸術 I (PEAK)	山辺 恵理子	PEAK 前期	金 2	115	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 A（思想・芸術）の科目として扱われます。
■2014 年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。

講義題目
Philosophical Issues in Education

授業の目標概要
COURSE OBJECTIVES

The aim of this course is to deepen students' understanding on education through philosophical dialogues on ethical and controversial issues in education.

Abilities 1) to pose philosophical questions, 2) to think logically and critically, 3) to listen to counterarguments and to take them into serious account, 4) to reflect on one's own conceptions, perceptions, and assumptions and at times reshape or even abandon them, and 5) to read and write philosophical papers, are essential to philosophical dialogues, and thus will be developed and assessed in this course.

評価方法
GRADING CRITERIA
Class participation 30%
Presentation and in-class discussions 30%
Final essay 40%

教科書
教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス
特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51033	A	思想・芸術Ⅲ(PEAK)	HOLCA Irina	PEAK 前期	金 3	151	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 A（思想・芸術）の科目として扱われます。
■2014 年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。

講義題目
Animals in modern and contemporary Japanese literature

授業の目標概要
This course introduces recent critical approaches to analysing the relationship between human and non-human beings, as well as theoretical reflections on how animals and nature are represented in art. It then explores the various ways animals are described in modern and contemporary Japanese literature, from the real cattle slaughtered in Tōson's "The Broken Commandment," to the fantastic talking bear in Kawakami's "God Bless You."

At the end of the course, students will be able to reflect on the role of animal representations in literature, engaging with the concepts of otherness, humanity, and death from a new perspective.

評価方法
* Class attendance and participation: 20%
* Critical comments/ short presentations on assigned readings: 40%
* Final essay/ exam: 40%

教科書
教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス
特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51070	A	国際・地域 I (PEAK)	バクスター，ジョシュア	PEAK 前期	木 5	118	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 B（国際・地域）の科目として扱われます。
■2014 年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。

講義題目
Introduction to East Asia

授業の目標概要
This course is designed to investigate the geographical area known as East Asia from roughly 1600 to the 1950s. It will focus on how we think about the past through looking at key problems that are shared by China, Japan, and Korea. Each week themes such as modernization, gender, eurocentrism, the nation, and colonialism, will be used to examine specific historical moments. How historical knowledge changes over time, bottom-up approaches to history, social constructions such as gender, and new forms of power, are a few of the problems that will be addressed through the course themes. The aim is that students will learn to read, think, and write with a critical and analytical self-awareness about history.

評価方法
Class Participation 20%
2 Quizzes 10%
Short Paper (1500 words) 30%
Final Exam 40%

教科書
教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス
特に行わない。／Will not conduct guidance

PEAK 科目

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51431	A	国際・地域Ⅲ(PEAK)	HOLCA Irina	PEAK 前期	水 5	149	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 B（国際・地域）の科目として扱われます。
■2014 年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。

講義題目
Japanese myths and legends in state ideology and propaganda, literature and popular culture

授業の目標概要
This class discusses the concepts of mythology, folklore, and religion, and introduces some basic tools used in their analysis. It focuses on the way Japanese myths, legends, and folktales were rediscovered and altered in the modern and contemporary world in order to support state ideologies and changing lifestyles. A wide variety of media (literary texts, school textbooks, political discourse, illustrations/ manga, movies/ anime, video games) will be used.

At the end of the course, students will 1) be able to recognize unique and universal elements in Japanese myths and legends; 2) become aware of the way myths and legends are constructed/ reinvented throughout history; 3) have advanced knowledge about the role of myths and legends in nation formation, imperialistic endeavours, as well as in the everyday lives of individuals; 4) be able to critically reflect, orally and in writing, on topics related to the course.

評価方法
* Attendance: 10%
* Quizzes& reading assignments: 20% (10 items x 2 points each)
* (Group) presentation: 30%
* Final essay/ exam: 35%

教科書
教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス
特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50441	A	法・政治(PEAK)	FOOTE DANIEL HARRING、 杉之原 真子	PEAK 前期	火 4	K213	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 C（社会・制度）の科目として扱われます。
■2014 年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。

講義題目
Law and Political Science

授業の目標概要
The objective of the course is to familiarize the students with the basics of law and political science. The course will be taught by specialists in these fields.

評価方法
Written examination at the end of the semester. Class participation will also be taken into account.

教科書
教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス
特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50180	A	経済・統計(PEAK)	Griffen Andrew Shields	PEAK 前期	月 4	K302	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 C（社会・制度）の科目として扱われます。
■2014 年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。

講義題目
Microeconomics

授業の目標概要
This is an introductory course in microeconomics in which the primary goal will be to introduce students to formal economic models. Economics is a tremendously interesting discipline and touches on many fascinating aspects of life: What determines prices? Why do we have markets? Why do we think the market allocation is "good" in some sense? Should governments intervene in markets? Why do countries have different standards of living? Why do people within countries have different levels of income? What determines decisions about whether to work and invest in education? How do people behave in strategic situations? Although an introductory course cannot possibly hope to cover all aspects of economics, the idea is to introduce a broad range of the models used in economics and to get students to understand economists' way of thinking. The course will be technical and cover the topics using formal models, which will be good in ways in which I will explain when we discuss educational investments. However, we will also play several games and have discussions based on readings to illustrate the principles involved.

評価方法
1. Homework
A small weekly homework assignment will be given and we will discuss its solution in the following class. It is recommended for students to complete the homework.
2. Quizzes
There will be pop quizzes during the semester. They will be given on random days and at random times during the lecture.
3. Exams
There will be one midterm exam and a cumulative final exam.

教科書
教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス
特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50210	A	社会・制度 I (PEAK)	NOBLE GREGORY WILLIAM	PEAK 前期	月 5	K401	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 C（社会・制度）の科目として扱われます。
■2014 年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。

講義題目
Japan and the Governance of Democratic Market Economies

授業の目標概要
Citizens in advanced societies constantly appeal to the ideals of democracy, but how is representative democracy actually organized? How do different countries handle the inevitable tradeoffs among competing democratic ideals? And how do they seek to make public policies that reflect the desires of their (often competing and contending) citizenries while also crafting effective responses to the vagaries of market capitalism?

Running through this course are two broad themes. First, democracy can be conceptualized as a chain of delegation from voters to politicians and parties and then to governments. This chain, though sometimes loose or knotted, makes governments sensitive to the demands of the people who elect them. Second, democracies generally fall into two broad camps, majoritarian and consensus. The first type places highest priority on majority rule, decisiveness, and accountability, while the second seeks to encourage participation by the widest possible range of social groups. Majoritarian systems, as exemplified by the United Kingdom tend to have two-party systems; consensus countries, such as Sweden or Denmark almost always have multi-party systems and coalition cabinets.

評価方法
Class participation (quality, quantity, civility): 25%
Three papers of roughly 1,000 words each (about three pages double-spaced; the third a little longer) due at the end of each course section: 25 x 3 = 75%

教科書
その他　See the instruction in the Section of "Advice for Prospective Students."

ガイダンス
第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51442	A	スポーツ・身体運動実習Ⅱ (PEAK)	竹下 大介、笹井 浩行	PEAK 前期	木 4	（実習）	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 D（人間・環境）の科目として扱われます。
■2014 年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。

講義題目
Recreational activities for the promotion of fitness and wellness

授業の目標概要
Provide an understanding of the fitness components and the importance of good strength, flexibility and endurance in physical health and wellness. Expose students to variety of activities that can be incorporated into a daily lifestyle. Apply the training principles for the management of the fitness components.

評価方法
a. Participation – 60% (minimum two-thirds attendance required) b. Effort in class activities – 25%
c. Written Report – 15%

教科書
教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス
第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time
4 限／4th Period　516

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50137	A	科学技術基礎論(PEAK)	橋本 毅彦	PEAK 前期	月 3	149	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 D（人間・環境）の科目として扱われます。
■2014 年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。

講義題目
History of Science

授業の目標概要
This lecture covers the history of Western science from ancient Greece to the development of the atomic bombs in the twentieth century.

評価方法
Final examination

教科書
教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス
特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51390	A	地球環境(PEAK)	成田 大樹	PEAK 前期	火 1	102	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 D（人間・環境）の科目として扱われます。
■2014 年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。

講義題目
授業の目標概要

Global environmental problems and sustainable development

This course will introduce the students to the current debates surrounding the global environmental problems, such as climate change, transboundary air pollution, biodiversity loss, and the issues of natural resources and land use (water, etc.). In the course, we will not discuss environmental problems in isolation but view them as an element among other great social challenges of our time. Specifically, the course's perspective is summarized by the following basic questions:

- People in the world are living under vastly different conditions in terms of income levels, etc. Given these differences, what kind of global environment should we aim for?
- How can we form a global consensus on collective actions against environmental problems? On a more practical level, what are the existing global agreements and institutions on the environment?
- On a global scale, what kinds of environmental or resource limits are we bound by?

Given the instructor's field of expertise, a particular attention will be paid to economic dilemmas of the global environmental problems, e.g., the needs for balancing environmental quality and poverty reduction. However, the lectures and class discussions also touch on various other aspects -- such as natural-scientific, policy (political and legal) and technological aspects -- of global environmental issues.

評価方法

Grading will be made based on a class presentation (25%), commentaries about class presentations (25%), a final essay (40%) and class attendance (10%). Details of each requirement will be given at class.

教科書
教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス
特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51434	A	電磁気学の基礎(PEAK)	堀田 知佐	PEAK 前期	木 3	518	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 E（物質・生命）の科目として扱われます。
■2014 年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。

講義題目
授業の目標概要

Electromagnetism (PEAK)

The main topic of this course is the derivation of time independent Maxwell's equations from the empirical rules that we could recognize within our circumstances.

These equations are a set of first-order partial differential equations which constitute a complete description of electric and magnetic phenomena.

The concept of classical "electric and magnetic fields" are introduced, which are indispensable in order to fully describe electric and magnetic forces and corresponding phenomena we observe in the real world.

評価方法

The audiences need to submit the homework almost every week.
(Some of them are solved within the class).
We give an exam at the end of the semester.

教科書
教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス
特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51395	A	分析化学(PEAK)	ウッドワード・ジョナサン・ロジャー	PEAK 前期	水 2	120	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 E（物質・生命）の科目として扱われます。
■2014 年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。

講義題目
Analytical Chemistry

授業の目標概要
To scientists, being able to measure and analyse our environment is one of the most important capabilities. This course is concerned with the methods and technologies available to accurately and precisely measure the properties of real world samples, for example from determining the concentration of heavy metal ions in river water, measuring the concentration of a drug molecule in a blood sample to determining the concentration of pollutant gases in the atmosphere. The course builds on existing knowledge of fundamental chemical principles and has a practical focus which will be of particular use to students with an interest in Environmental Science.

評価方法
Assessed homework activities plus final examination.

教科書
授業中に指示をする。／Will specify at class time

ガイダンス
特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51438	A	意思決定の数理(PEAK)	前田 章	PEAK 前期	金 2	515	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 F（数理・情報）の科目として扱われます。
■2014 年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。

講義題目
Decision Analysis

授業の目標概要
Policy makers in governments and management in businesses are experiencing ever more complex situations these days in light of their economic surroundings, stakeholders, organizations, etc. To make rational and sound decisions in policy making or management strategy, they seek for transparent methodologies and tools that have a basis on objective information and quantitative analyses.

In this lecture, students will learn the theory and practice of Decision Analysis (DA). DA is a school among theories of decision making that is on the basis of probability, optimization, and expected utility theories, and that is intended to offer a framework of “normative” decision making. Related disciplines include management science/operations research and microeconomics. This lecture thus also works as a good introduction to these subjects.

評価方法
Evaluation is based on final exam.

教科書
プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス
第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51392	A	コンピューティングの基礎 (PEAK)	甘蔗 寂樹	PEAK 前期	火 5	E38	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 F（数理・情報）の科目として扱われます。
■2014 年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。

講義題目
Introduction to computing

授業の目標概要
In recent academic and scientific researches, computer aided researches such as analysis and design have become more highlighted than before. In this class, beginners will touch the academic computing and learn how to create the numerical computing algorithms using MATLAB, a computer programming software.

評価方法
Performance in the class (40%), Class Participation (30%) and Assignments (30%)

教科書
プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス
特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51239	A	学術フロンティア講義(PEAK) (Introduction to Japan in East Asia)	前島 志保、野澤 俊太郎	PEAK 前期	水 3	162	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

■2014 年度以前入学の学生については、履修登録・成績ともに、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。

講義題目
Introduction to Japan in East Asia

授業の目標概要
This course is a lecture series offered by faculty members of the University, and designed to showcase the wide range of research in Japan and/or East Asia. The purpose is to illustrate how fundamental concepts as well as knowledge learned in the junior division can lead to interesting intellectual explorations in the senior division of the PEAK Japan in East Asia Program.
The scheduled twelve lectures are on cultures, societies and histories of Japan and/or East Asia. The lecturers of these classes are involved in three disciplines in the College of Arts and Sciences: Interdisciplinary Cultural Studies, Area Studies, and Interdisciplinary Social Sciences. The first class includes some guidance with a short lecture.

教養学部教養学科の三分科（超域文化科学分科、地域文化研究分科、総合社会科学分科）の教員が交代で英語による講義を行う、レクチャー・シリーズです。教養学部英語コース(Programs in English at Komaba/PEAK)の文系後期課程コースである国際日本研究コース（International Program on Japan in East Asia）の紹介も兼ねた授業ですが、PEAK 前期課程以外の学生も受講可能です。初回にガイダンスと詳細なスケジュールの説明を行います。

評価方法
50 % Class participation (reaction papers)
50% Final paper

教科書
教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス
第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

PEAK 科目

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50632	A	全学自由研究ゼミナール(PEAK) (Introductory course in linear algebra)	松尾 厚	PEAK 前期	水 3	531	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　Introductory course in linear algebra

授業の目標概要　Students will study the properties of vectors, matrices and determinants as well as the concepts of abstract vector spaces and linear maps on such spaces. Various applications of these concepts will also be presented.

評価方法　Written examination at the end of the semester as well as attendance and participation.

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51238	A	全学自由研究ゼミナール （PEAK) (Identity, Nationalism & Culture in International Affairs)	ディーエル グレゴリー ロジャース	PEAK 前期	月 1	10-103	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、＊＊＊の科目として扱われます。
■2014 年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。

講義題目　Identity, Nationalism & Culture in International Affairs

授業の目標概要　This is a multidisciplinary course designed to introduce students to the study of identity and nationalism. Students will be exposed to a range of theories, concepts, and ideas from sociology, social psychology, and international relations. Using this foundation, students will have the opportunity to explore a range of both historical and contemporary case studies.

評価方法
- Active participation in class
- Reflective summaries of weekly readings
- Student-led presentations & group discussions
- Exams (Mid-Term & Final)

教科書　その他　Assigned weekly readings.

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60247	A 2	全学自由研究ゼミナール（PEAK) (A look at Japanese Arts, Culture and History after WWII)	CAPEL Mathieu	PEAK 前期	木 1	118	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　A look at Japanese Arts, Culture and History after WWII

授業の目標概要　This course aims at giving an overview of Japanese arts and culture from postwar to the end of the twentieth century : if Japanese film history shall be its core interest, the course will also consider the birth of experimental cross-media practices as well as new developments in architecture, performing arts or visual arts.

評価方法　Level of participation as well as short essays.

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51448	A	全学自由研究ゼミナール(PEAK) (Qualitative Research Methods)	BUCKEN-KNAPP GREGG	PEAK 前期	木 3	516	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　Qualitative Research Methods

授業の目標概要

This course provides an introduction to qualitative research methods that can be meaningfully used to explore research topics across the liberal arts. Through seminars and exercises, students will become actively familiar with a varied and practical toolkit for conducting qualitative research. Emphasis will be placed on autoethnographic approaches, the use of photography, and various interview techniques as concrete methods whose basics can be learned and applied in a relatively short time frame. Social media and smartphone apps will be treated as a case for the qualitative exploration of how individuals anchor themselves within broader communities. Particular attention will be paid to the importance of situating one's research within the broader relevant scholarship that problematizes context. In addition to actively participating in classroom discussions, students will be expected to apply each method to a designated research topic, and to present a draft of their findings to classmates and the instructor at a final working session.

評価方法　Class participation 20%
Data portfolio and working session presentation 30%
Final report 50%

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51486	A	全学自由研究ゼミナール(PEAK) (Introduction to earth science)	東塚 知己、後藤 和久、角野 浩史、市原 美恵、鈴木 健太郎	PEAK 前期	火 3	K213	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　Introduction to earth science

授業の目標概要

This is an introductory course for earth science covering planetary science, ocean science, atmospheric science, solid earth science, and life in the past.

評価方法　Attendance, report, and final exam

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51105	A	全学自由研究ゼミナール(PEAK)	鮑 園園	PEAK 前期	木 3	517	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　Single-variable calculus

授業の目標概要

In this course, we study the differentiation and integration of a function in one-variable (which is also called one-variable function or single-variable function). Intuitively, differential is the slope of the tangent line of a function at a given point, and differential is the area bounded by the graph of the function and x-axis over a given interval. Both concepts need the concept "limit", so the first part of this course will contain the definition of a function, limit of a sequence, continuous function and related topics. In the second part of this course, we study the differential of a function, the definition, calculation techniques, properties and applications. In the third part, we define the definite and indefinite integral of a function, study the fundamental theorem of calculus: the connection between differentiation and integration, and introduce the calculation techniques. In the end, we study how to solve some simple differential equations.

評価方法　A written examination at the end of the semester.

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance